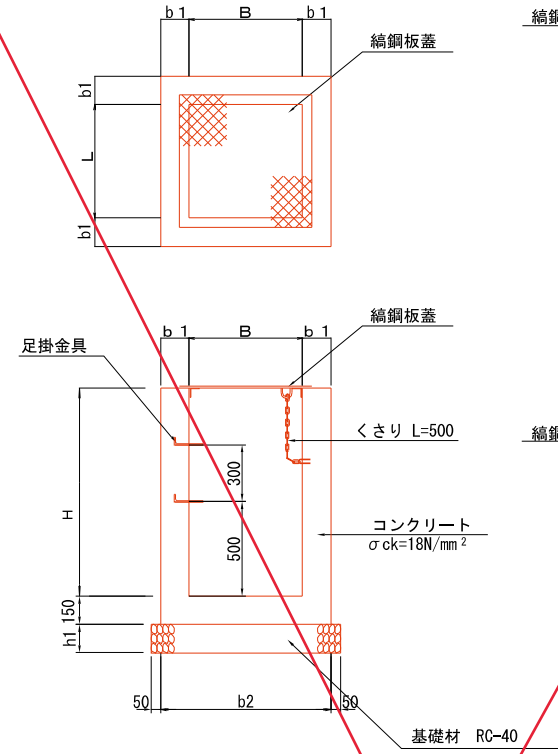
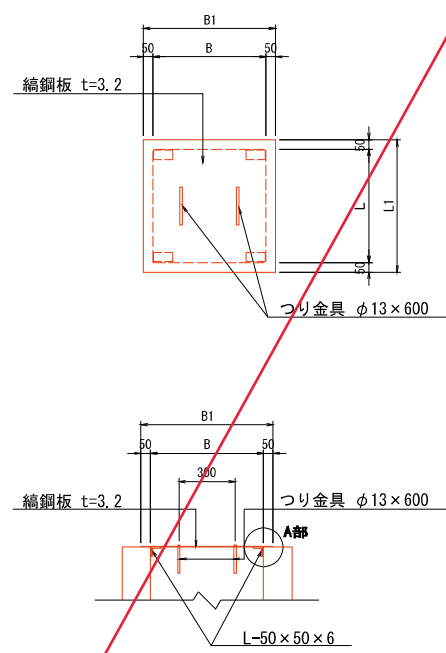


排水工構造図(8) S=1:20

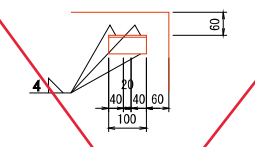
集水樹 G2型



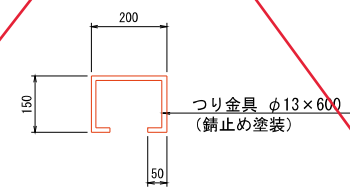
縞鋼板



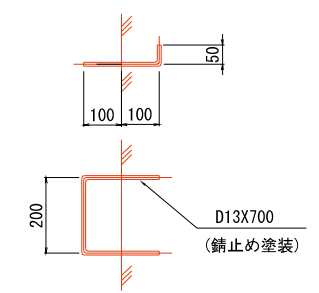
A部詳細図 S=1:10



つり金具 S=1:10



足掛金具 S=1:10

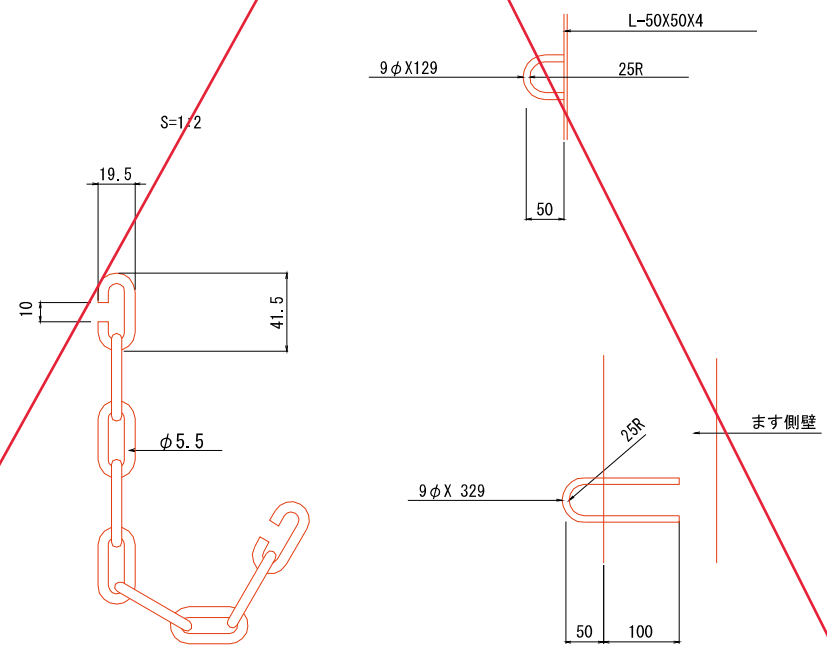


H=1.0m以上に使用

縞鋼板蓋寸法表

記号 (L-B)	B	L	B1	L1
G2-B500-L500-H	500	500	600	600
G2-B800-L800-H	800	800	900	900

くさりの詳細図 S=1:5

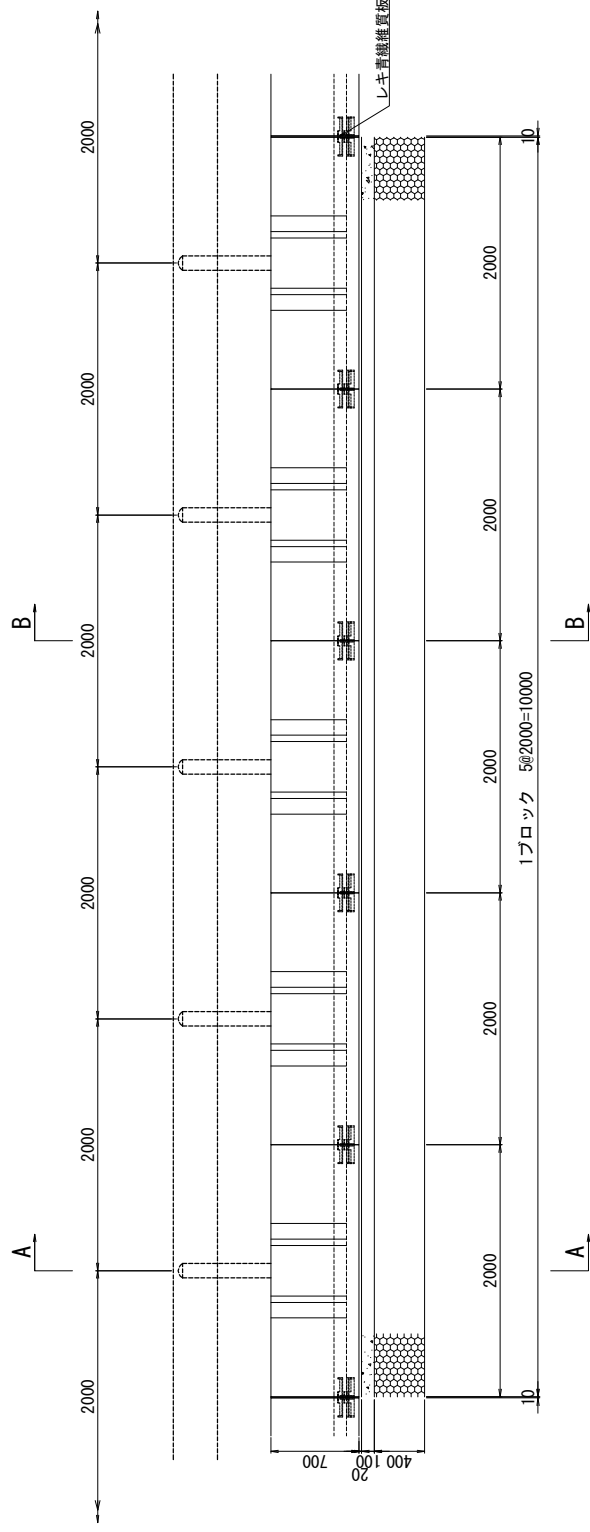


(参考図) ガードレール用基礎ブロック一般構造図

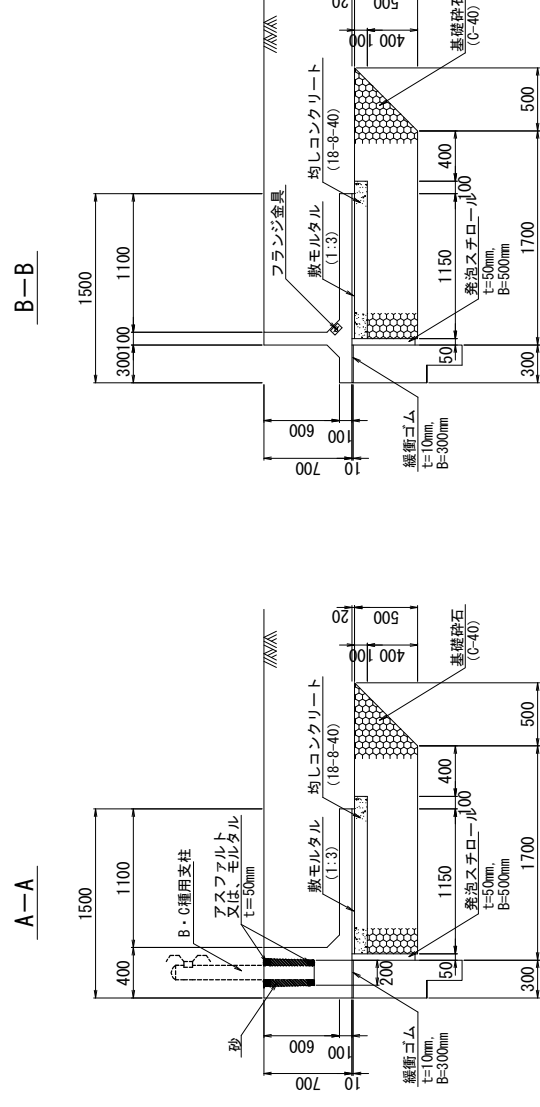
S=1:30

(補強土壁工天端部)

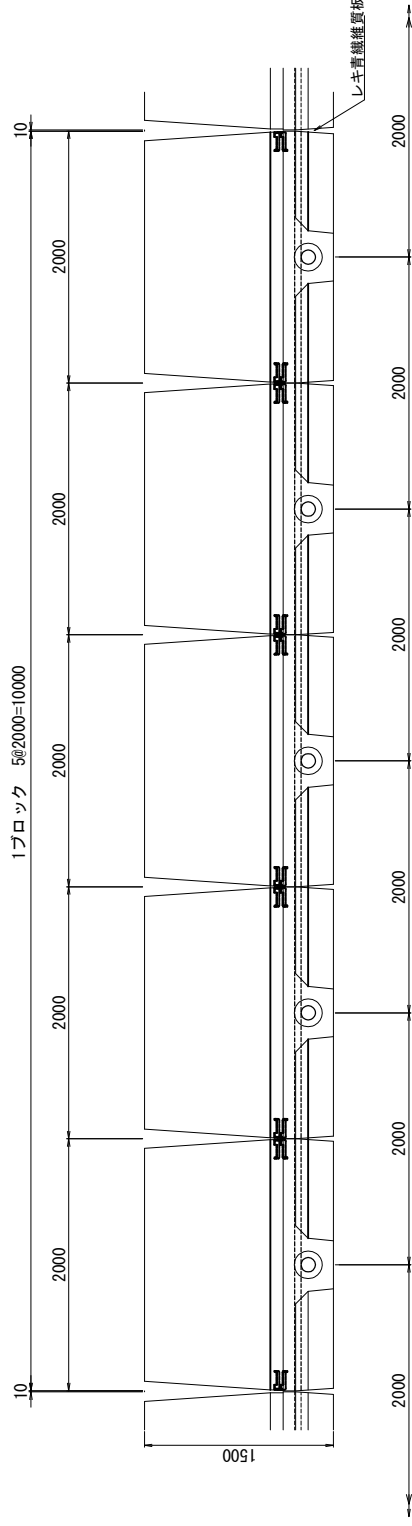
縦断展開図



標準施工断面図



平面展開図



設計条件

項目	単位	数値
衝突荷重	kN	B・C種: P=30.0kN
上載荷重	kN/m ²	10.0
鉄筋コンクリート	kN/m ³	24.5
単位体積重量	kN/m ³	19.0
コンクリート設計基準強度	N/mm ²	40.0
鉄筋コンクリート曲げ圧縮応力度	N/mm ²	14.0 (21.0)
鉄筋コンクリートせん断応力度	N/mm ²	0.55 (0.825)
鉄筋引張応力度	N/mm ²	180.0 (270.0)
土の内部摩擦角	°	30.0°
安全性の照査		転倒 安全率 F≥1.5
		滑動 安全率 F≥1.5
		衝突時 転倒 安全率 F≥1.5
		衝突時 滑動 安全率 F≥1.5

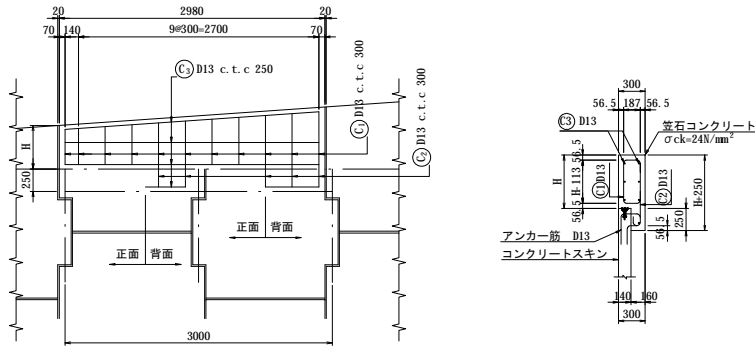
() は衝突時の許容値を表す。

注記
※参考図については、契約上の製品規格等を指定するものではない。

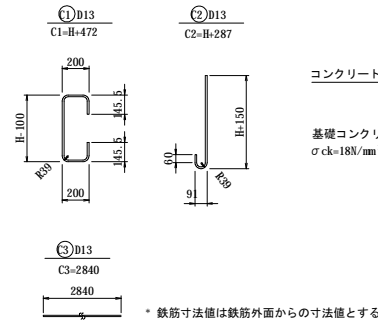
1号補強土壁工詳細図(2)

参考図

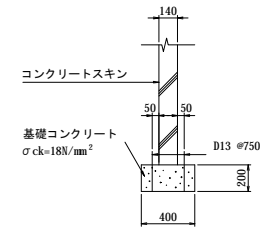
笠石コンクリート配筋図 S=1:30



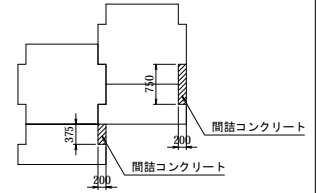
鉄筋加工図 S=1:20



基礎詳細図 S=1:20

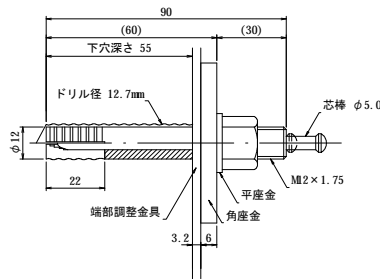


間詰コンクリート詳細図 S=1:50



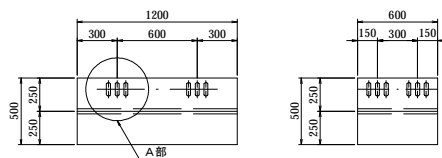
アローアンカー Cタイプ S=1:1

(M2-90 HDZ35)
公称重量 91g/セット



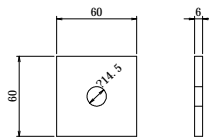
端部調整金具 S=1:20

(PL-250×250×3.2×L SS400 HDZ35)



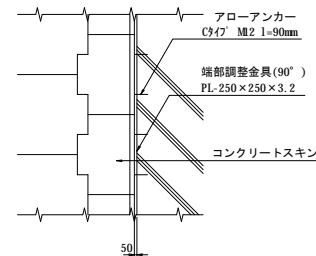
角座金 S=1:2

(PL-6×60×60 SS400 HDZ35)
公称重量 165g/枚

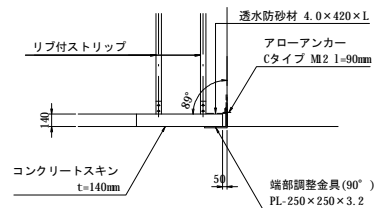


橋台取合い詳細図 S=1:30

正面図

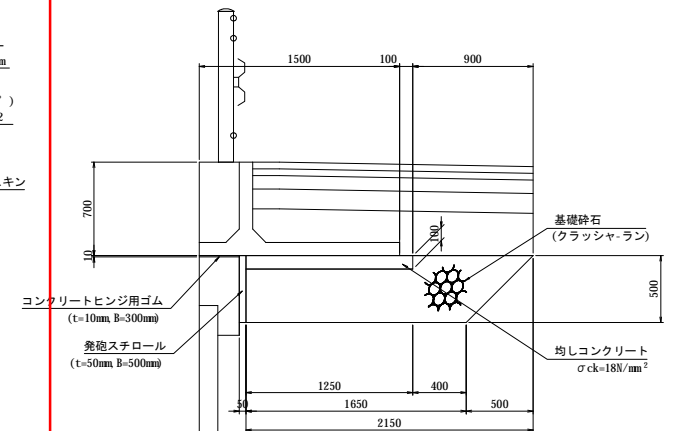


平面図 S=1:30



独立防護柵基礎断面図 S=1:20

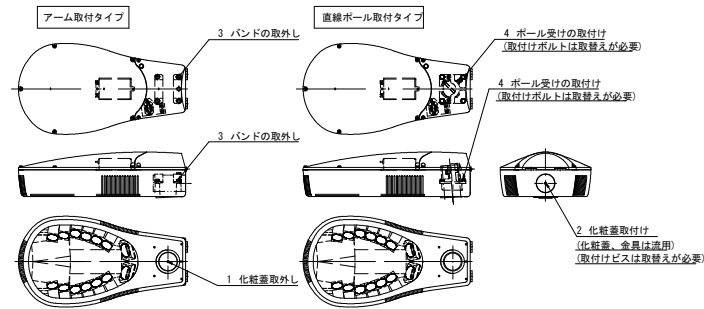
Gベース工 (C種)



年 度	H29~30年度	図面番号	11/67
河 川 名	安威川ダム		
工 事 名	左岸道路築造工事 (生保工区H29-2)		
施工位置	茨木市大字生保区内		
図 面 名	1号補強土壁工詳細図(2)		
縮 尺	1:100	作成年月日	平成29年5月
大阪府安威川ダム建設事務所			

照明柱参考姿図 S=1/80

アームー直線 金具詳細図



アームタイプから直線ポールタイプへの変更に必要な部品

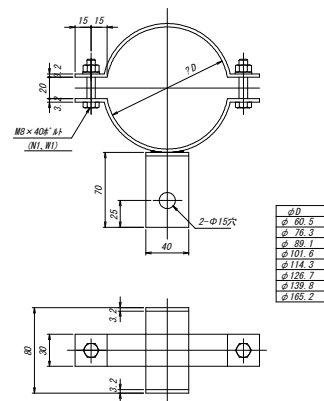


ボール受け
(バンド、
取付けボルト含む)

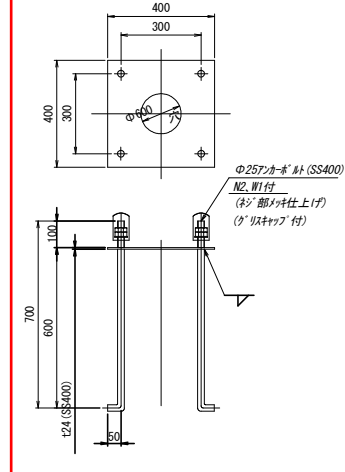
⇐ 化粧蓋取付用ビス
(M4皿ビス)

アンカーボルト

コ型バンド詳細図
S=1/5



アンカーボルト詳細図
S=1/20



※仕上：溶融亜鉛メッキ (HDZ55)

※ベースピッチ・開口部の向き、高さ・ニップル・カップリングは、参考とする

コンクリート製品一覧表

区分	区分	型式	摘要
歩車道境界	150/190×200×600 180/230×250×600 180/240×300×600	0-1型 0-2型 0-3型	一般部（セミフラット形式・フラット形式） 歩道すりつけ部
	150/190×200×600 180/230×250×600 180/240×300×600	0-4型 0-5型 0-6型	”（端部）
	150/170×200×600 180/205×250×600	0-7型 0-8型	一般部（マウンドアップ形式）
	150/190×200×600 180/230×250×600	0-9型 0-10型	一般部の集水樹部
	150/(190-170) ×(200-100)×600 180/(230-200) ×(250-100)×600	0-11型 0-12型	歩道切下げすりつけ部 車両出入口すりつけ部（端部）
	150/(170-168) ×(200-180)×600	0-13型 (1)	歩道すりつけ部
	150/(168-166) ×(180-160)×600	0-13型 (2)	”
	150/(166-164) ×(160-140)×600	0-13型 (3)	”
	150/(164-162) ×(140-120)×600	0-13型 (4)	”
	150/(162-160) ×(120-100)×600	0-13型 (5)	”
	180/(205-202) ×(250-225)×600	0-14型 (1)	歩道すりつけ部
	180/(202-200) ×(225-200)×600	0-14型 (2)	”
	180/(200-197) ×(200-175)×600	0-14型 (3)	”

区分	区分	型式	摘要
歩車道境界	180/(197-195) ×(175-150)×600	0-14型 (4)	歩道すりつけ部
	180/(195-192) ×(150-125)×600	0-14型 (5)	”
	180/(192-190) ×(125-100)×600	0-14型 (6)	”
	180/190×100×600	0-15型	歩道切下げ部
	40/180×100×600	0-16型	車両出入口部
	境界	180/180×100×600	0-17型
150/150×150×600		0-18型	官民境界JISA5307
150/150×150×600		0-19型	植樹帯根固め
管渠	φ200~φ2000 φ1000~φ3000		ソケット管 (第1種管) JISA5303 ソケット管 (第2種管) JISA5303
	側溝		PU型側溝JISA5305
視覚障害者誘導用ブロック	点状 300×300×66		点状ブロック
	線状 300×300×66		線状ブロック

工種	
種別	
図面名	コンクリート製品一覧表

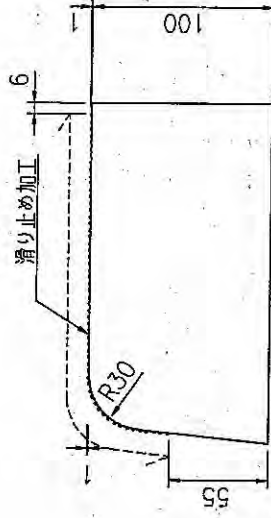
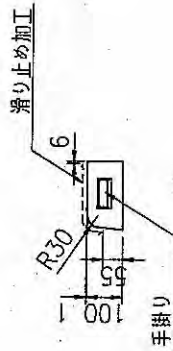
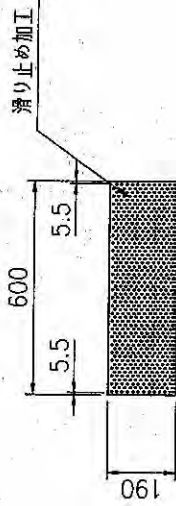
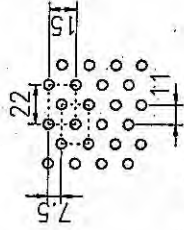
設計条件

荷重条件 T-25 (平行)

片面歩道境界ブロックB(切下げ)

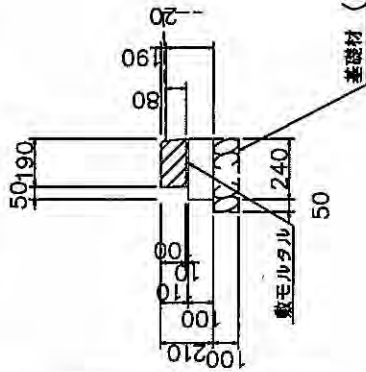
S=1/20

滑り止め加工 詳細図
S=1/5

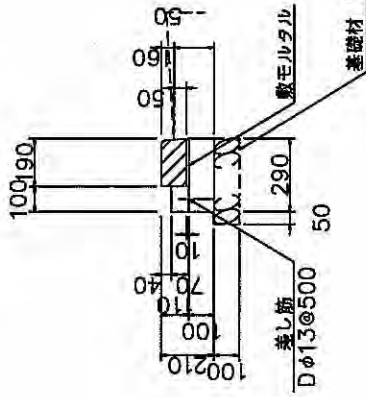


歩道切下げ部、車面出入口部

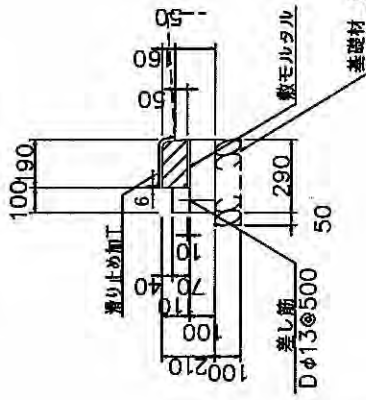
E型 (歩道切下げ部)



F型 (車面出入口部)



H型 (車面出入口部)



材料表

(10m当り)

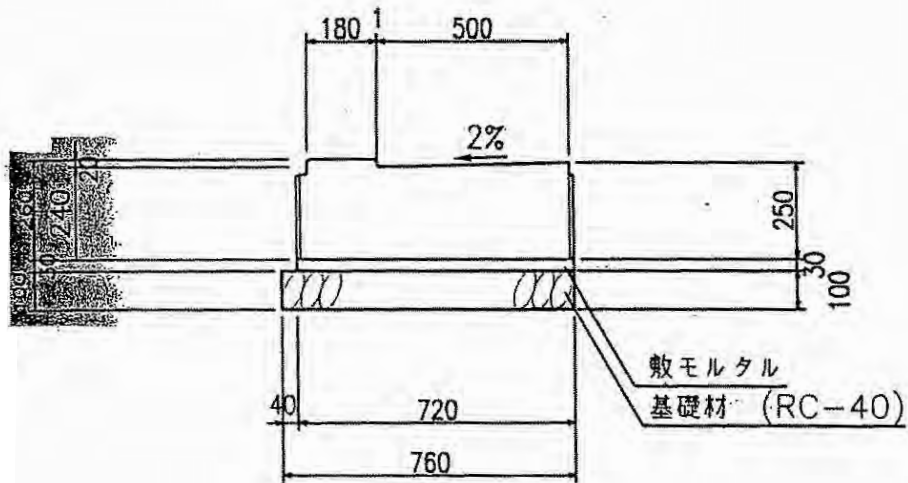
名称	規格	単位	数量		摘要
			E型	F型 H型	
基礎材		m ²	2.90	3.40 3.40	
型枠		m ²	2.00	2.70 2.70	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.24	0.36 0.36	
敷モルタル	1:3	m ²	1.90	1.90 1.90	据付
コンクリートブロック	180/190×100×600	個	16.5	16.5 16.5	O-15型
差し筋	Dφ13 L=150	kg	—	3.0 3.0	20本/10m
伸縮目地	目地板 t=10	m ²	0.02	0.03 0.03	

- 注) 1. E型は歩道切下げ部、F型、H型は車面出入口部にそれぞれ使用。
 2. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
 数量はRC-40の場合で表示する。
 3. 伸縮目地は瀝青繊維質目地を使用するものとする。

工種	歩車道境界工
種別	縁石
図面名	E型 F型 H型
大阪府都市整備部	

(横断歩道部)

B4型

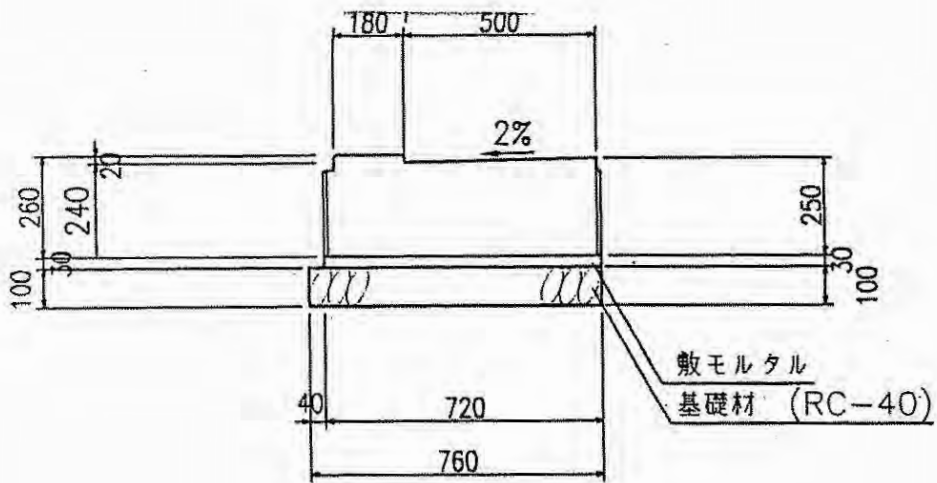


材 料 表

(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
基礎材		m ²	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m ²	7.20	

注) 1. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC-40の場合で表示する。



材 料 表

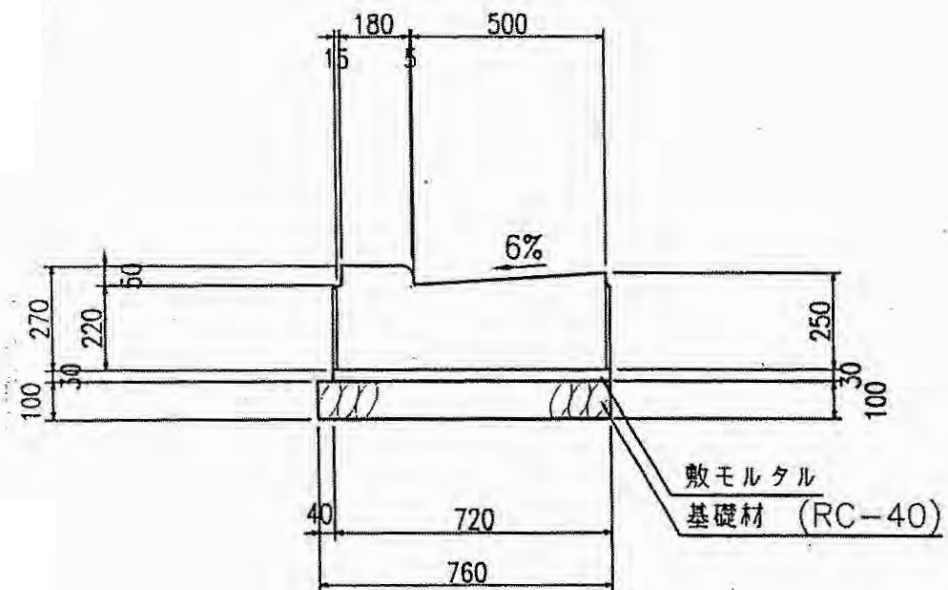
(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
基礎材		m ²	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m ²	7.20	

注) 1.基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC-40の場合で表示する。

(車両出入口部)

B2型



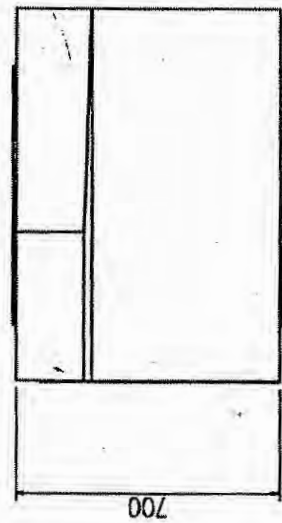
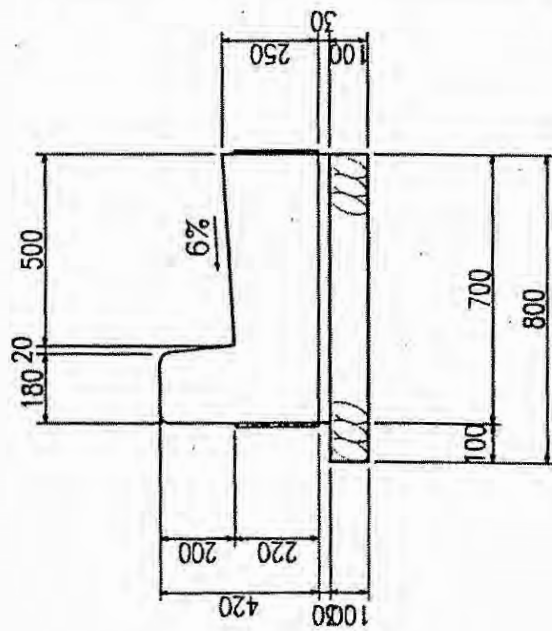
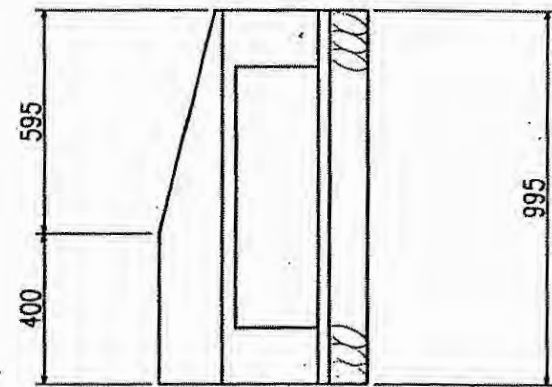
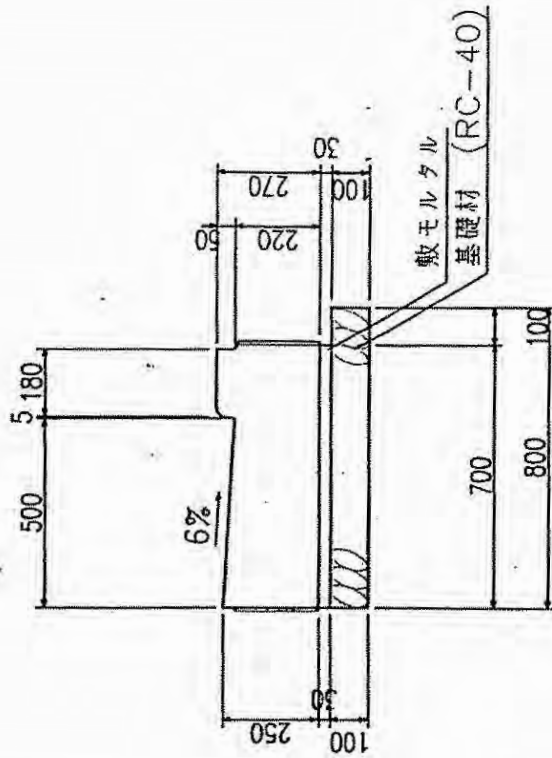
材 料 表

(10m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
基礎材		m ²	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m ²	7.20	

注) 1.基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC-40の場合で表示する。

歩車道境界ブロック詳細図
B3型(PGF)



市場製品図集タイプ

PGF525A-2 平成19年 1月 5日 ****

イプロン PGF525-A (基本)

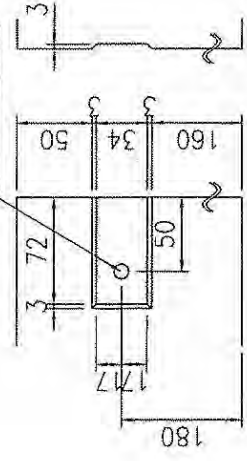
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-BXはSWM-P

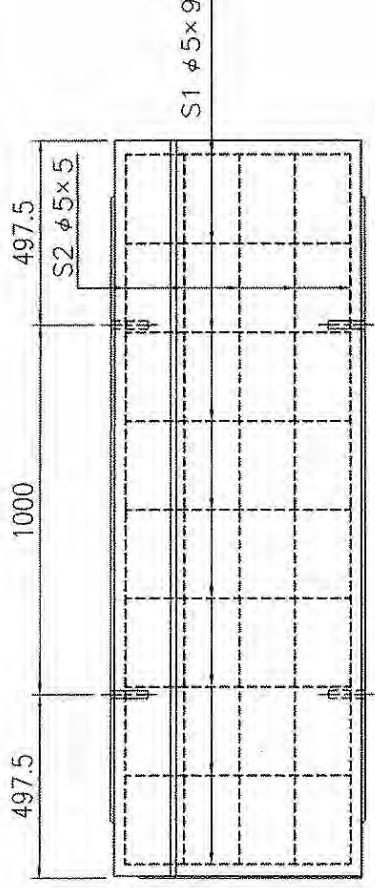
インサート部詳細図

S=1/5

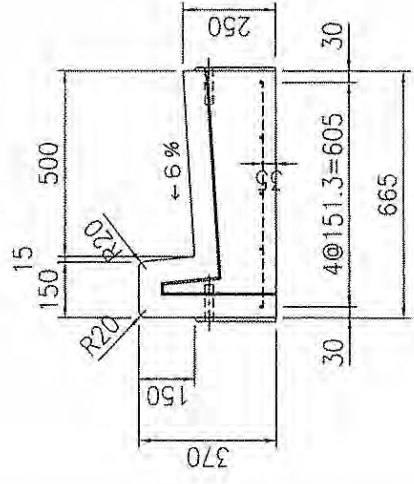
3/8W インサート



S=1/20

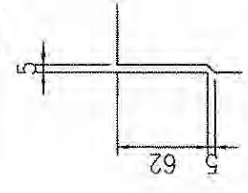


吊上げ用ウサート M16



バッキン部詳細図

S=1/5



37.5 8@240=1920 37.5

(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<ロー4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	9	0.610	0.8
S2	φ5	0.154	5	1.925	1.5
		鉄筋総重量			2.3 (Kg)
		製品立積			0.354 (m ³)

PGF525A-1 平成19年 1月 5日 ****

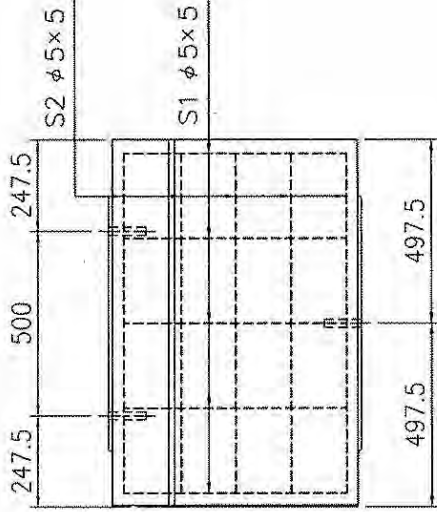
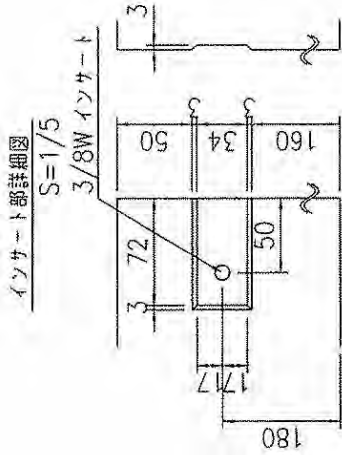
市場製品図集タイプ

設計条件

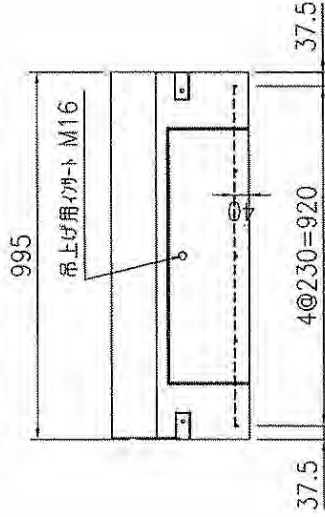
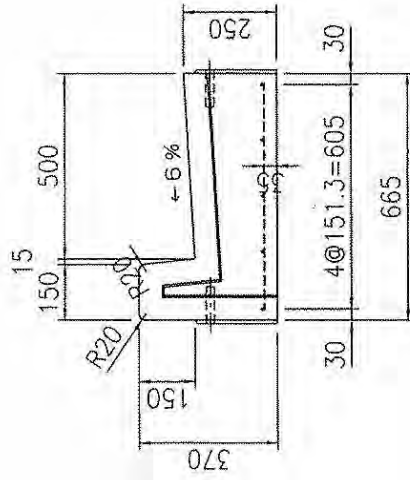
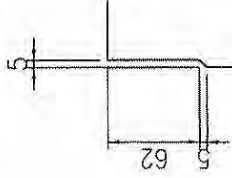
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

エプロン PGF525-A (基本)

l=1.0 (m) S=1/20



バッキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています。L-4。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
		鉄筋総重量		1.2	(Kg)
		製品立積		0.176	(m ³)

市場製品図集タイプ

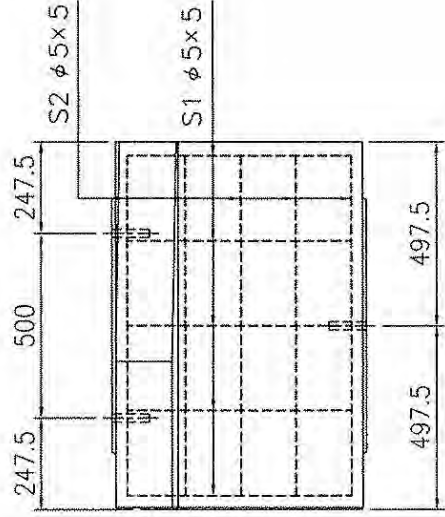
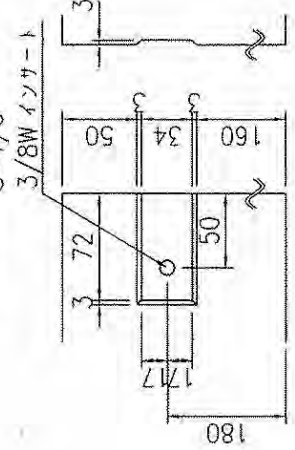
イプロン PGF525-S-A (斜用・左用)

設計条件

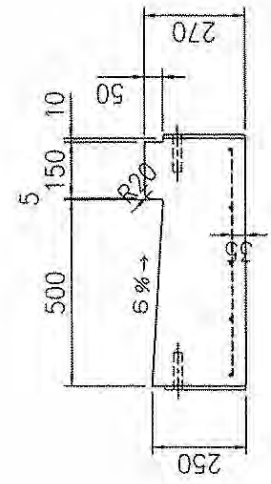
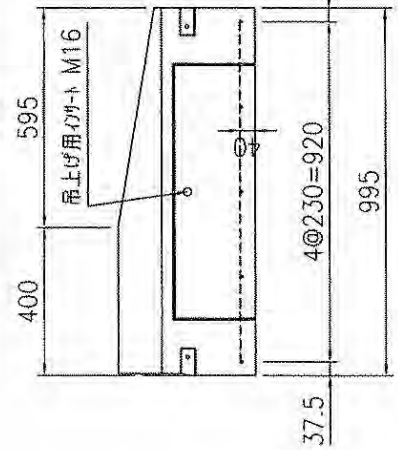
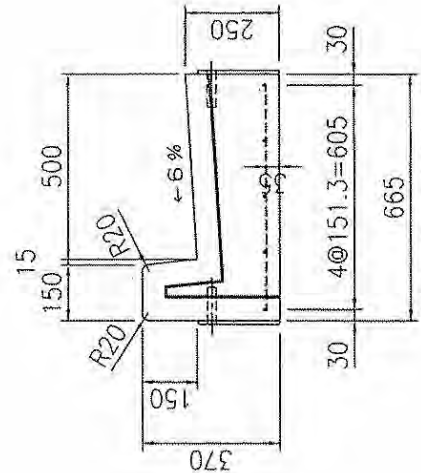
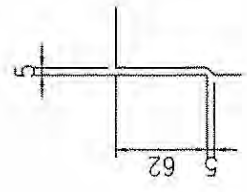
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24 (N/mm^2)$
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

l=1.0 (m) S=1/20

インサート部詳細図 S=1/5



バッキン部詳細図 S=1/5



*斜用には左右があり、車道から見て左上がりを左用と呼ぶ。(図は左用)

(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<スリー4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量					1.2 (Kg)
製品立積					0.171 (m³)

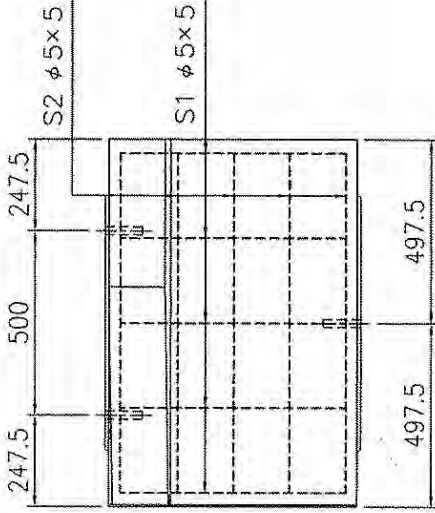
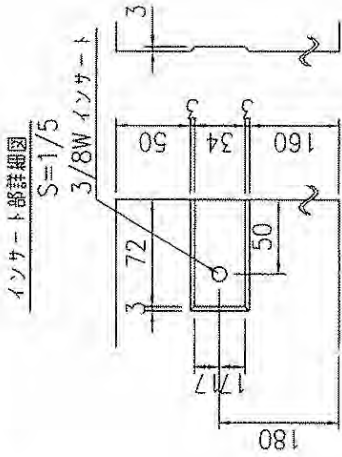
市場製品図集タイプ

イプロン PGF525-S-A (斜用・右用)

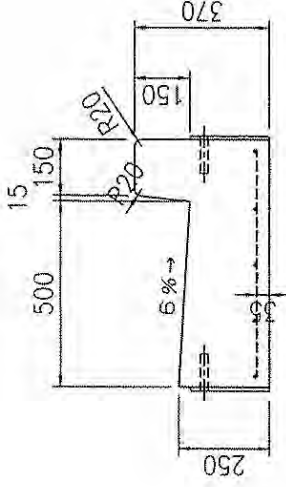
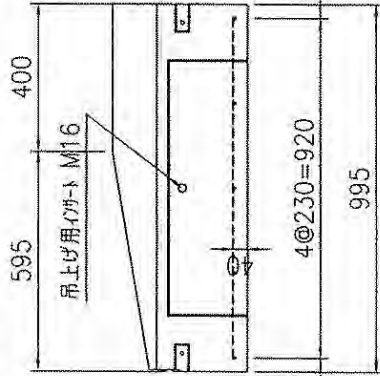
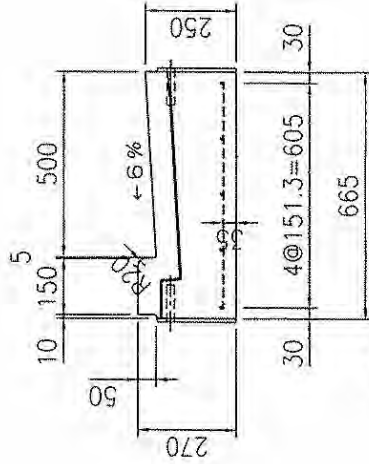
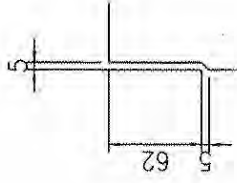
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

l=1.0 (m) S=1/20



パッキン部詳細図 S=1/5



※斜用には左右があり、車道から見て右上がりを用と呼ぶ。(図は右用)

(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量					1.2 (Kg)
製品立積					0.171 (m ³)

市場製品図集タイプ

Iブロン PGUF-A (基本)

l=1.0(m) S=1/20

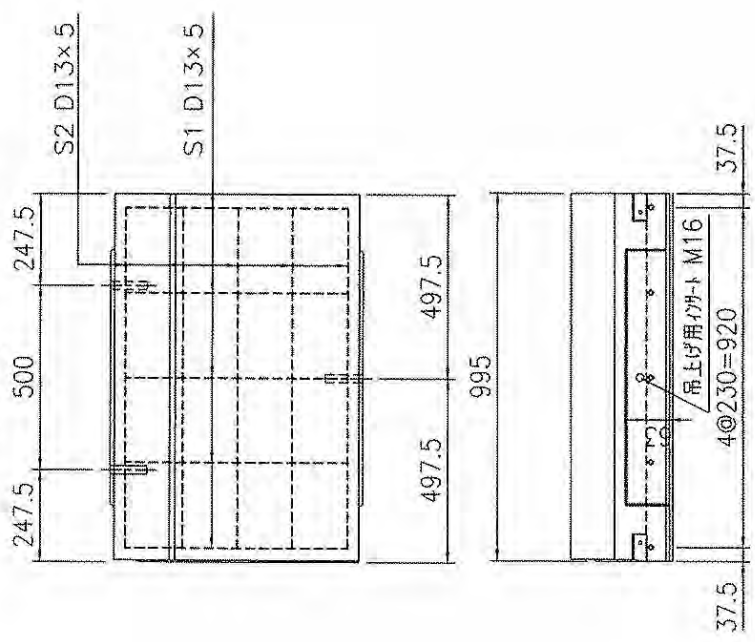
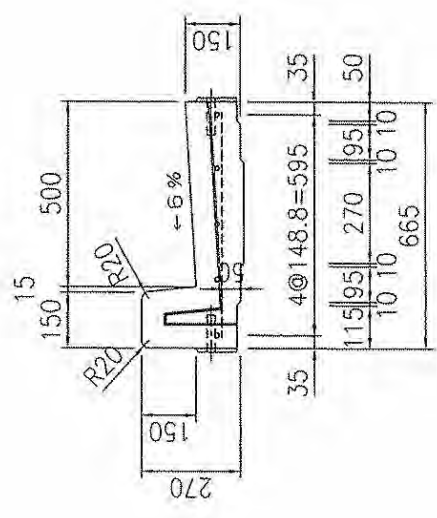
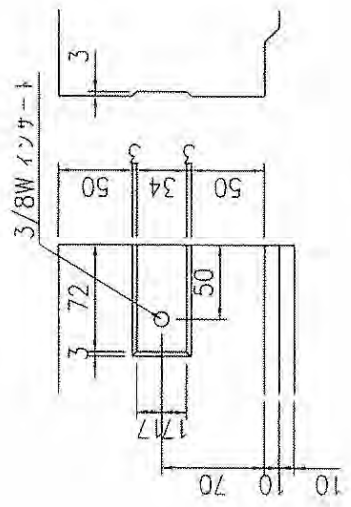
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

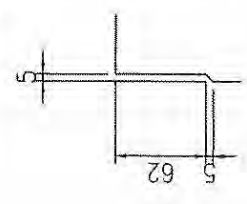
インサート部詳細図

S=1/5



パッキン部詳細図

S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
		鉄筋総重量		7.7	(Kg)
		製品立積		0.111	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

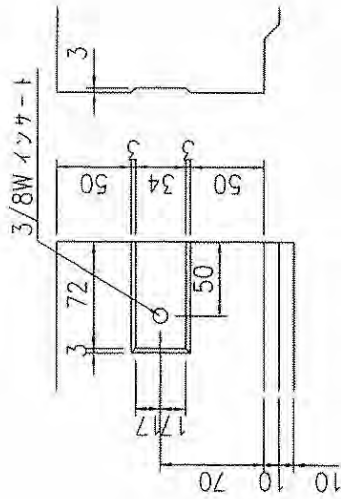
エプロン PGU-N-A (乗入用)

設計条件

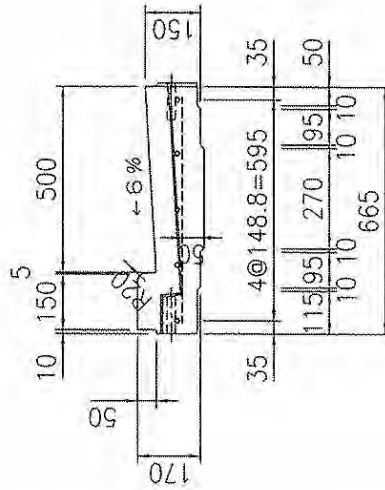
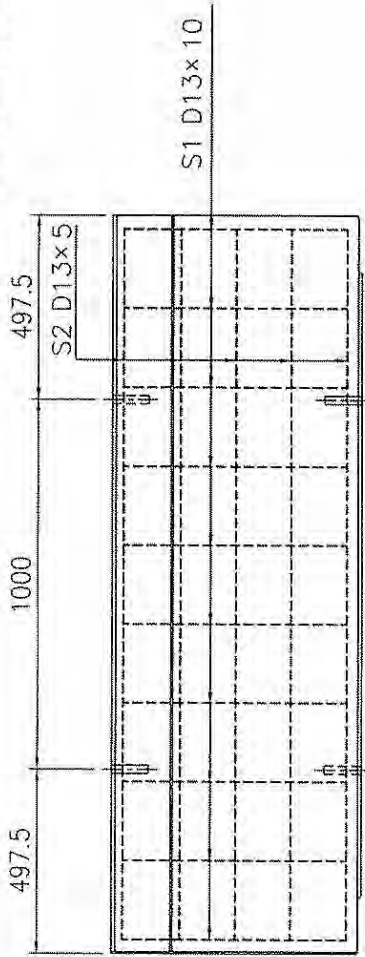
荷重条件	I-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート鋼詳細図
S=1/5

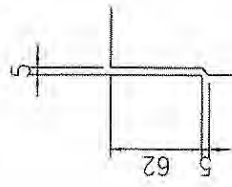


S=1/20



1995

バックリ部詳細図
S=1/5



吊上げ用ウット M16
9@213.3=1920
37.5

37.5

(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径 SD295*	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	(Kg)
製品立積				0.189	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

エプロン PGU-NG-A (乗入用G付)

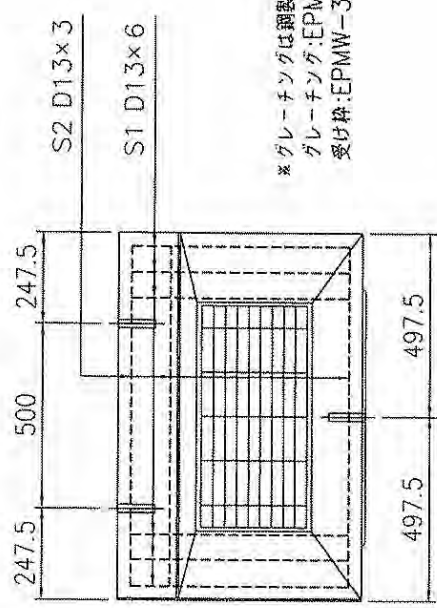
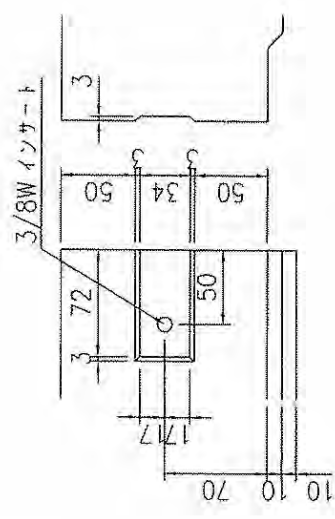
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24 (N/mm^2)$
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

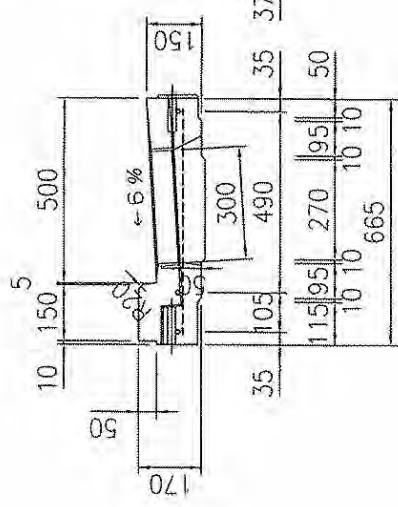
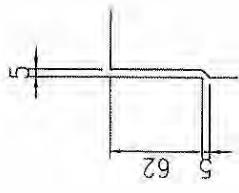
l=1.0(m) S=1/20

インサート部詳細図
S=1/5



*グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け枠: EPMW-35

ハッキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	6	0.610	3.6
S2	D13	0.995	3	0.935	2.8
		鉄筋総重量		6.4	(Kg)
		製品立積		0.066	(m³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

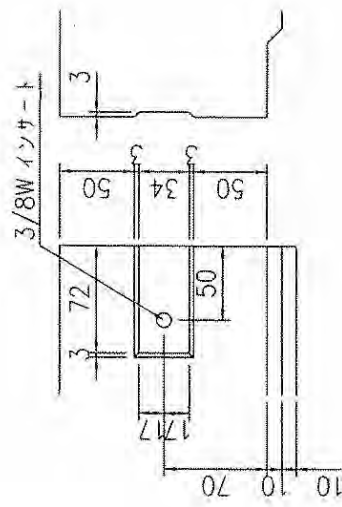
イプロン PGUF-G-A (G付)

設計条件

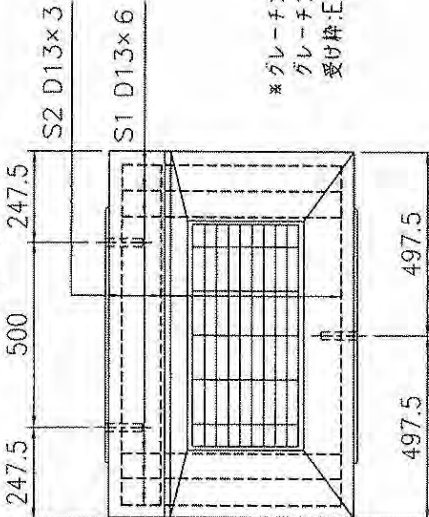
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24 (N/mm^2)$
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

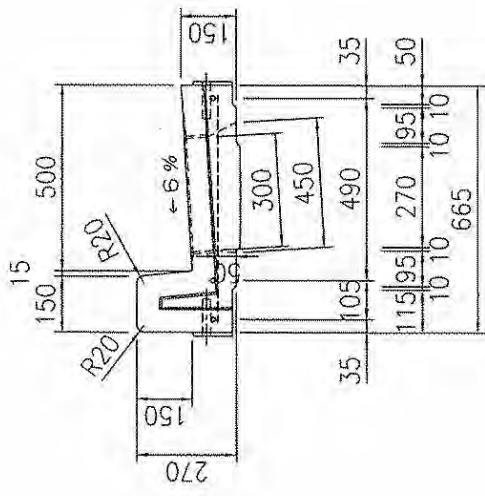
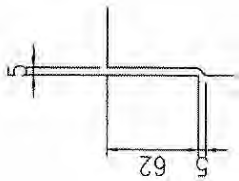


寸法
S=1/20



*グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け枠: EPMW-35

バックリ部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	6	0.610	3.6
S2	D13	0.995	3	0.935	2.8
		鉄筋総重量		6.4	(Kg)
		製品立積		0.095	(m ³)

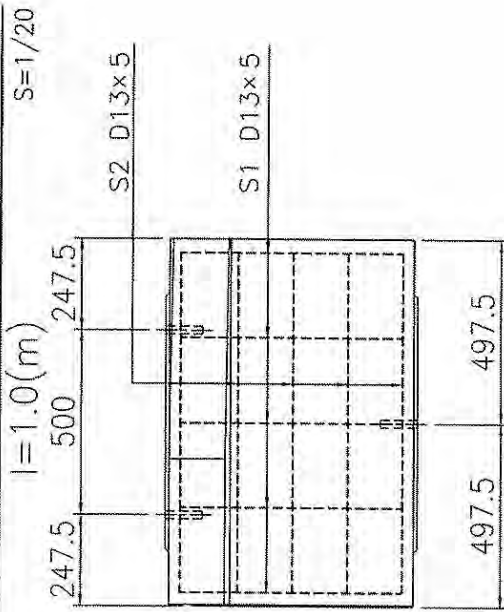
*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

エプロン PGUF-S-A (斜用・左用)

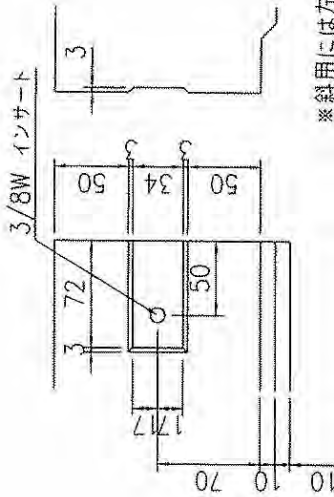
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$f_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

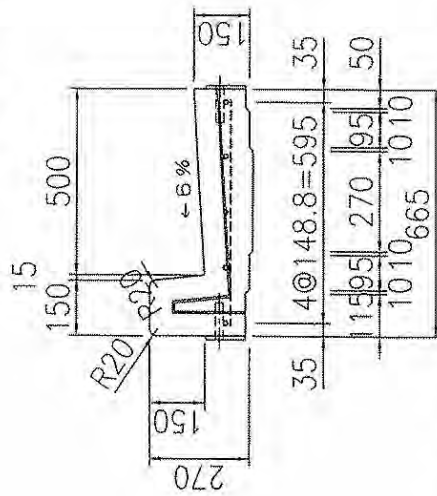
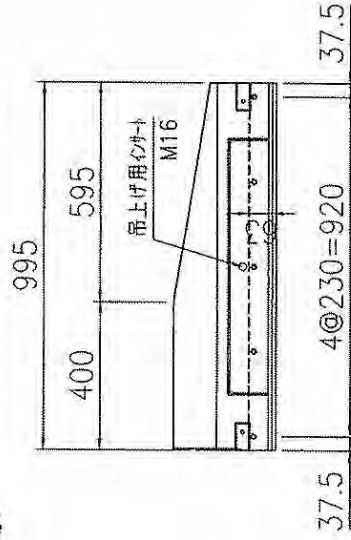
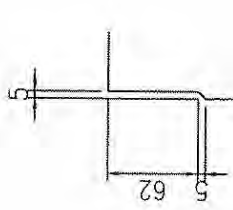


インサート部詳細図
S=1/5



*斜用には左右があり、車道から見ると左上がりを左用と呼ぶ。(図は左用)

バックキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています。<L-2>

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
		鉄筋総重量			7.7 (Kg)
		製品立積			0.107 (m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

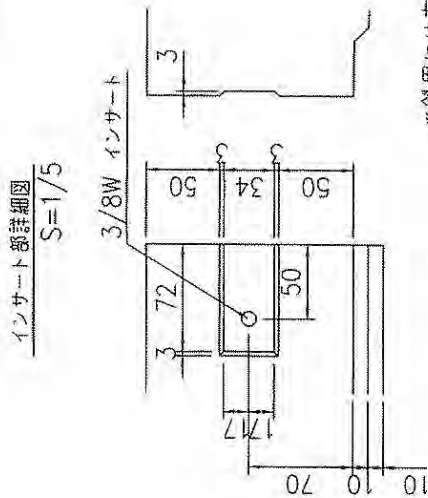
エプロン PGUF-S-A (斜用・右用)

設計条件

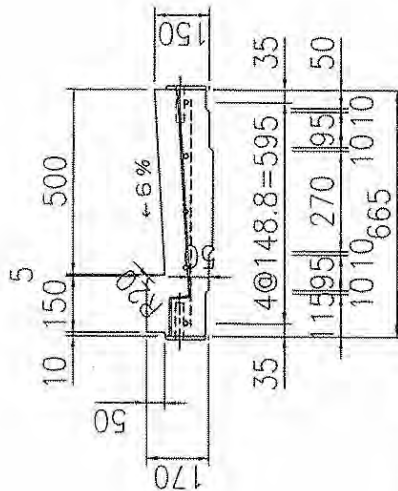
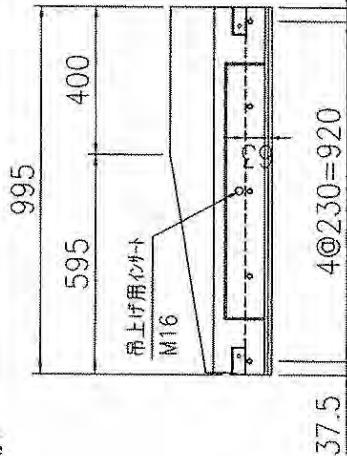
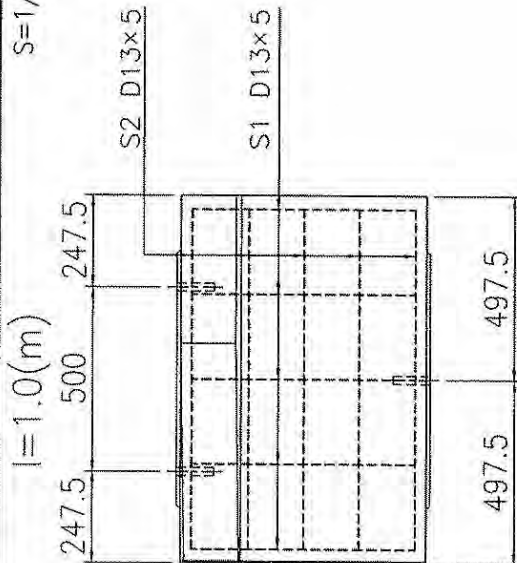
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$f_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5



*斜用には左右があり、車道から見て左上がりを用と呼ぶ。(図は右用)



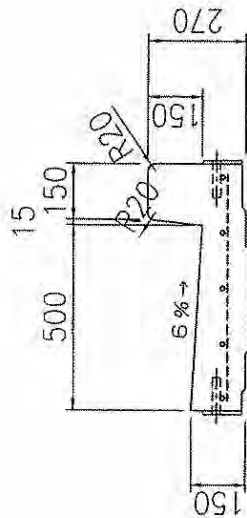
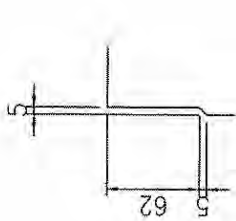
(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
鉄筋総重量				7.7	(Kg)
製品立積				0.107	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

パッキン部詳細図
S=1/5



エプロン PGU (役物用)

設計条件

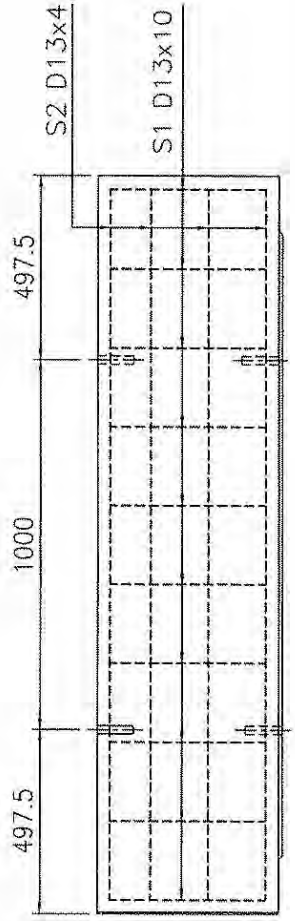
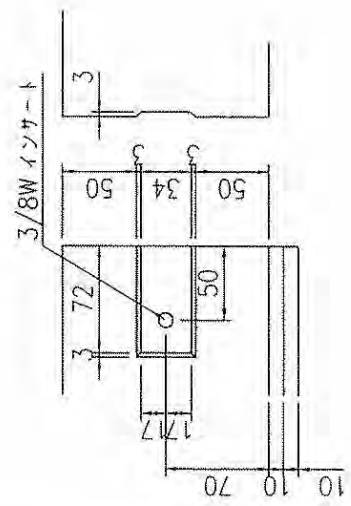
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24 (N/mm^2)$
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

S=1/20

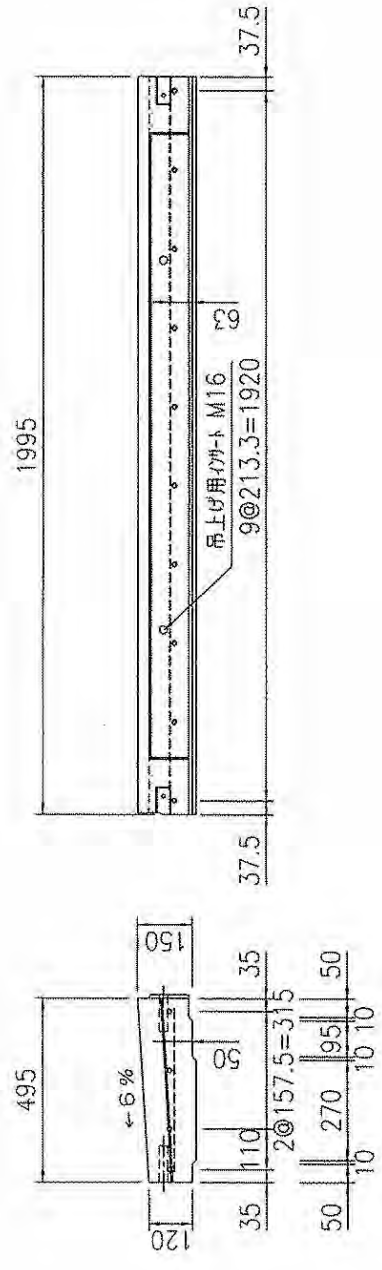
インサート部詳細図

S=1/5



バッキング部詳細図

S=1/5



記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.435	4.3
S2	D13	0.995	4	1.935	7.7
鉄筋総重量				12.0	(Kg)
製品立積				0.138	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

エプロン PGU (役物用)

l=1.0(m)

S=1/20

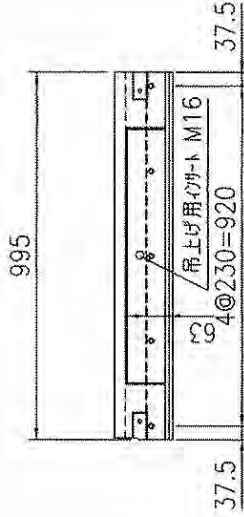
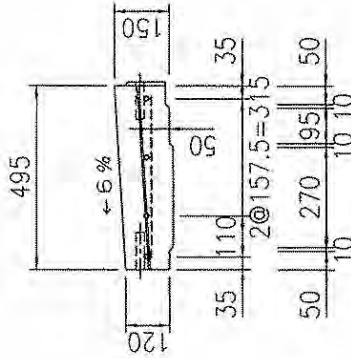
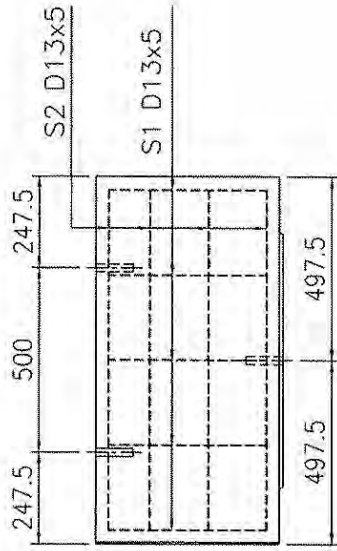
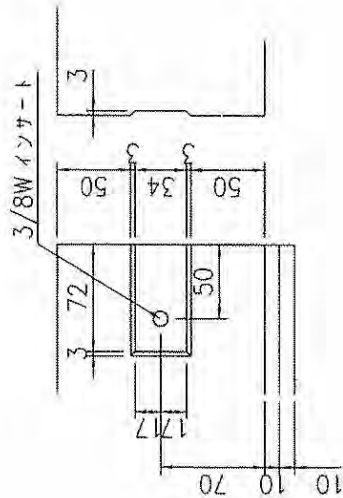
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

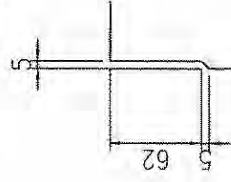
インサート部詳細図

S=1/5



ハッキン部詳細図

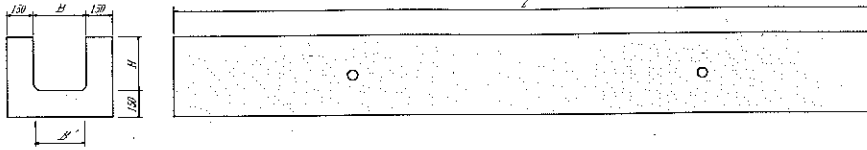
S=1/5



記号	鉄筋径 (SD295*)	単価重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.435	2.2
S2	D13	0.995	4	0.935	3.7
		鉄筋総重量			5.9 (Kg)
		製品立積			0.069 (m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

ロングU PU1型 T-25.4/65



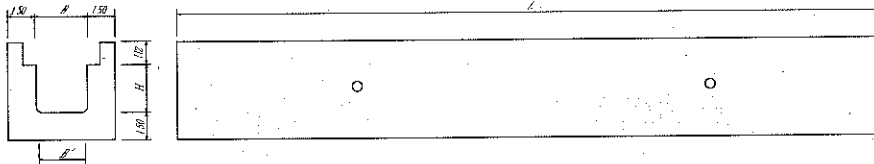
■PU1/蓋掛けなし

エブロンと併用して使用可能です。

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)				L (標準)	参考質量 (標準) (kg)	標準長製品標準布設歩掛				L=2000製品標準布設歩掛				L=1000製品標準布設歩掛			
	B	B'	H	H2			土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
PU133	300	290	300	-	4000	1,750	0.14	0.14	0.42	0.14	0.20	0.20	0.80	0.20	0.40	0.40	1.00	0.40
PU134	300	287	400	-	4000	2,040	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU135	300	280	500	-	4000	2,330	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU136	300	280	600	-	3000	1,970	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU144	400	387	400	-	4000	2,190	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU145	400	380	500	-	3000	1,860	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU146	400	380	600	-	3000	2,080	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU147	400	380	700	-	3000	2,280	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU155	500	480	500	-	3000	1,970	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU156	500	480	600	-	3000	2,180	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU157	500	480	700	-	3000	2,400	0.26	0.52	1.04	0.26	0.30	0.30	1.10	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
							諸雑費率:4%				諸雑費率:9%				諸雑費率:9%			
							(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

ロングU PU2型 T-25.4/65

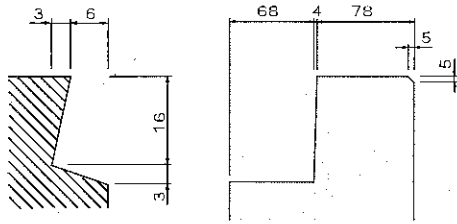


■PU2/蓋掛けあり

蓋 (NC2系) と併用して使用します。

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)				L (標準)	参考質量 (標準) (kg)	標準長製品標準布設歩掛				L=2000製品標準布設歩掛				L=1000製品標準布設歩掛				
	B	B'	H	H2			土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	
(旧PU434)	PU234	300	290	290	110	4000	1,890	0.15	0.15	0.45	0.15	0.20	0.20	0.80	0.20	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU435)	PU235	300	287	390	110	4000	2,190	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU436)	PU236	300	280	490	110	4000	2,470	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU444)	PU244	400	390	280	120	4000	2,020	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU445)	PU245	400	387	380	120	4000	2,320	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
	PU246	400	380	480	120	3000	1,960	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
	PU247	400	380	580	120	3000	2,160	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU455)	PU255	500	487	370	130	3000	1,830	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU456)	PU256	500	480	470	130	3000	2,050	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
	PU257	500	480	570	130	3000	2,270	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	1.10	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
							諸雑費率:4%				諸雑費率:9%				諸雑費率:9%				
							(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	



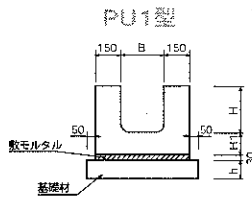
- *A1 参考寸法は標準寸法(標準)とは、寸法表に記載している寸法(標準)の寸法を指します。
- *A2 此図は、標準距離0.1m程度を含む標準的な取付け作業であり、実際の取付、型取り等は行いません。
- *A3 標準寸法は小間敷板の規格、且つモルタルおよび数モルタルの厚みとして、数モルタルトランプクレーン負荷の合計に準じた厚さを示した値を上限として示します。
- *A4 取付けに使用するトランプクレーンは油圧式8.1~1.9(形)を使用します。ただし、取付条件によりその規格を定めることができます。

■標準基礎材料表 (10mあたり)

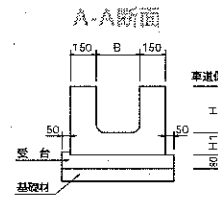
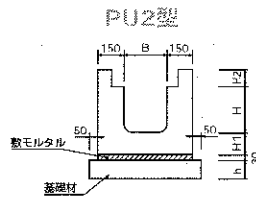
呼び名	基礎厚 h (mm)	数モルタル ()	基礎材 ()
PU133	150	0.18	1.1 (1.05)
PU134	150	0.18	1.1 (1.05)
PU135	150	0.18	1.1 (1.05)
PU136	150	0.18	1.1 (1.05)
PU144	150	0.21	1.2 (1.20)
PU145	150	0.21	1.2 (1.20)
PU146	150	0.21	1.2 (1.20)
PU147	150	0.21	1.2 (1.20)
PU155	150	0.24	1.4 (1.35)
PU156	150	0.24	1.4 (1.35)
PU157	150	0.24	1.4 (1.35)
PU234	150	0.18	1.1 (1.05)
PU235	150	0.18	1.1 (1.05)
PU236	150	0.18	1.1 (1.05)
PU244	150	0.21	1.2 (1.20)
PU245	150	0.21	1.2 (1.20)
PU246	150	0.21	1.2 (1.20)
PU247	150	0.21	1.2 (1.20)
PU255	150	0.24	1.4 (1.35)
PU256	150	0.24	1.4 (1.35)
PU257	150	0.24	1.4 (1.35)

*A1 基礎材の()内は全てコンクリートの場合に使用する。
*A2 数モルタルの材料及び施工の要領は小間敷板に付す。

■標準施工図

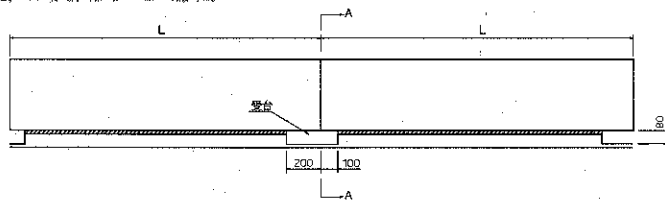


*寸法は標準基礎材料表参照

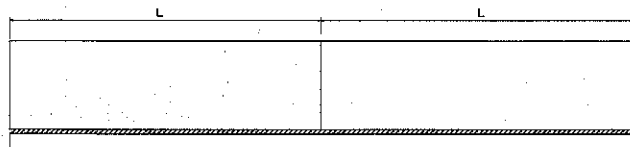


*受台のスレ止め突起は車道の反対側に向けて下さい。

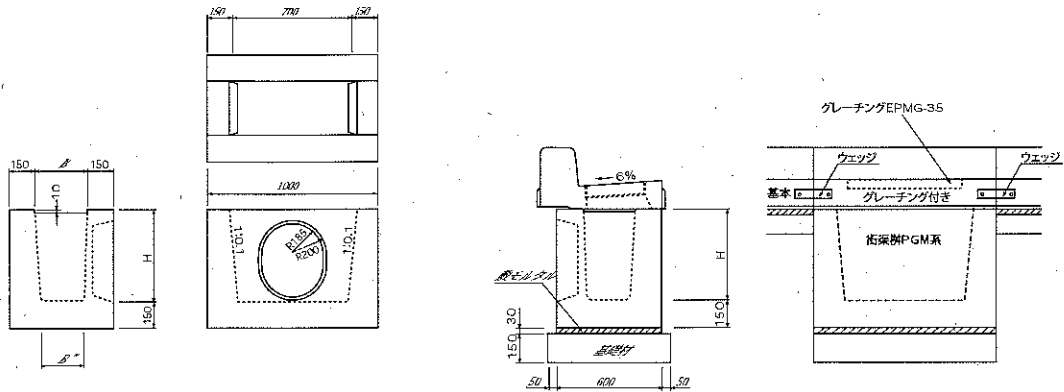
■受台を使用する場合



■受台を使用しない場合



街渠柵PGM系 T-25材用 (口ノ先と繋ぎしない型)



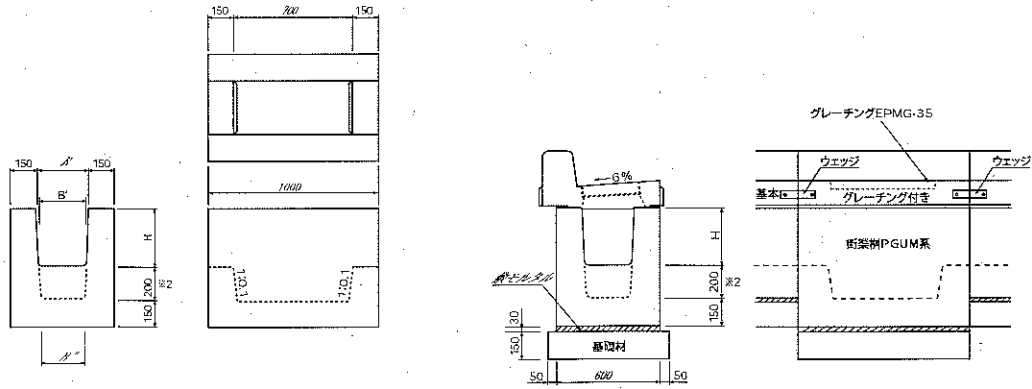
(10基あたり)

呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (標準) (kg)	標準布設歩掛			
	B	B'	H	L	土木 世話役		特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	
PGM-50	300	283	500	1000	680	0.4	0.4	1.0	0.6	
PGM-60	300	280	600	1000	795	0.4	0.4	1.0	0.6	
PGM-70	300	272	700	1000	910	0.6	0.6	1.1	0.7	
PGM-80	300	270	800	1000	1,135	0.7	0.7	1.5	0.8	

※配水管取付用孔は一方が標準です。

諸雑費率：3%
(人) (人) (人) (日)

街渠柵PGUM系 T-25材用 (口ノ先と繋ぎする型)



(10基あたり)

呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (標準) (kg)	標準布設歩掛			
	B	B'	B''	H	L		土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
PGUM-30	300	290	283	300	1000	625	0.4	0.4	1.0	0.6
PGUM-40	300	287	280	400	1000	755	0.4	0.4	1.0	0.6
PGUM-50	300	280	272	500	1000	860	0.6	0.6	1.1	0.7

※1 配水管取付用孔なしを標準とする。
別途指示により開孔します。

※2 PGUM30の形幅め500タイプもあります。

諸雑費率：3%
(人) (人) (人) (日)

街渠樹(集水樹)設置間隔

(単位:m)

集水幅	縦断勾配													
	0.3%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%	
3.0m	16	20	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
4.0m	12	16	24	28	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
5.0m	8	12	16	20	24	28	32	32	32	32	32	32	32	
6.0m	8	8	16	16	20	24	28	28	32	32	32	32	32	
7.0m	4	8	12	16	16	20	24	24	24	28	32	32	32	
8.0m	4	8	12	12	16	16	20	20	24	24	28	32	32	
9.0m	4	4	8	12	12	16	16	20	20	24	24	28	28	
10.0m	4	4	8	8	12	12	16	16	16	20	20	24	24	
11.0m	4	4	8	8	12	12	16	16	16	16	20	20	24	
12.0m	4	4	8	8	8	12	12	12	16	16	16	20	20	
13.0m	4	4	8	8	8	8	12	12	12	16	16	16	20	
14.0m	4	4	4	8	8	8	12	12	12	12	16	16	16	
15.0m	4	4	4	4	8	8	8	12	12	12	12	16	16	
16.0m	4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	16	16	
17.0m	4	4	4	4	8	8	8	8	8	12	12	12	16	
18.0m	4	4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	12	
19.0m	4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	8	12	12	
20.0m	4	4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	12	12	

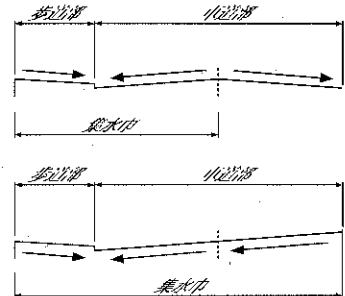
- A17 集水幅は幅と異なる長さの樹(集水樹)に導入する道路側集水樹の幅員です。
 A18 設置間隔は最大4m、最大30m以内の樹とします。
 A19 本表の集水幅は、集水幅について直近上流、成樹の有無については直近下流とします。
 A20 集水の方向に成樹は原則として使用しない。

街渠樹 PGM系 (ロングUと接続しない樹)

県記号	下部記号	上部記号	
		PGU系	PGUF系
PGM(F)-50-A	PGM-50	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-50-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-50-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-60-A	PGM-60	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-60-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-60-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-70-A	PGM-70	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-70-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-70-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-80-A	PGM-80	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-80-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-80-C		PGU-G-C	PGUF-G-C

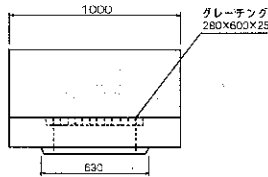
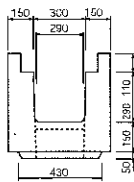
街渠樹 PGUM系 (ロングUと接続する樹)

県記号	下部記号	上部記号	
		PGU系	PGUF系
PGUM(F)-30-A	PGUM-30	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-30-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-30-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGUM(F)-40-A	PGUM-40	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-40-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-40-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGUM(F)-50-A	PGUM-50	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-50-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-50-C		PGU-G-C	PGUF-G-C

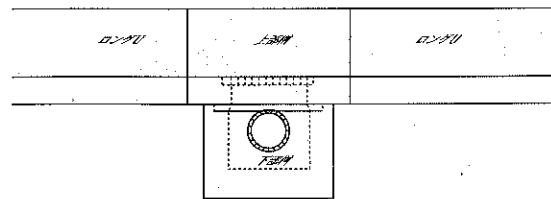


ロングU 会所樹

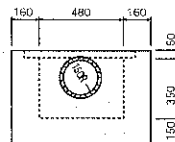
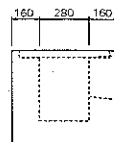
■ 上部樹



■ 標準施工図



■ 下部樹



(10基あたり)

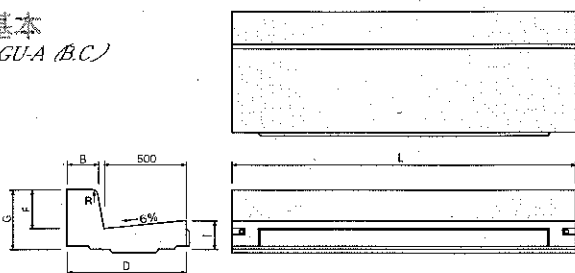
呼び名	参考質量	土木世帯役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	対応する側溝
上部樹	420	0.3	0.3	0.7	0.5	PU234
下部樹	450	0.3	0.3	0.7	0.5	PU534

(kg) (人) (人) (人) (日)

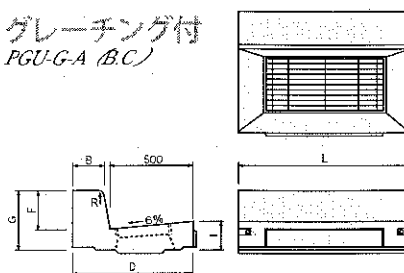
PGU型 T-25 A/B

ロングUの上のせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型

基本 PGU-A (B,C)

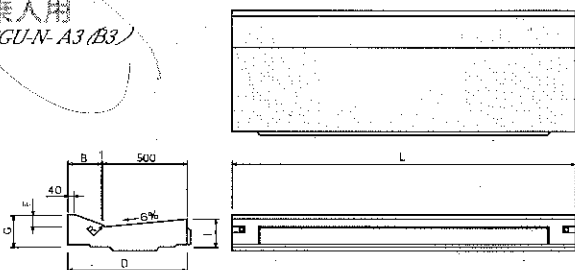


グレーチング付 PGU-G-A (B,C)

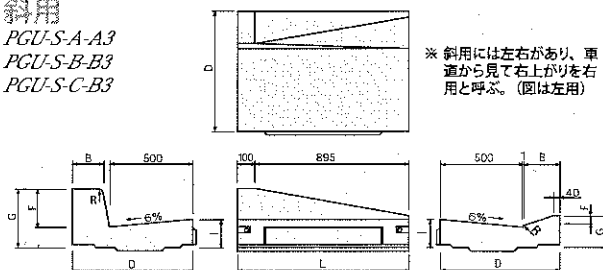


※ グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け 枠: EPMW-35

乗入用 PGU-N-A3 (B3)

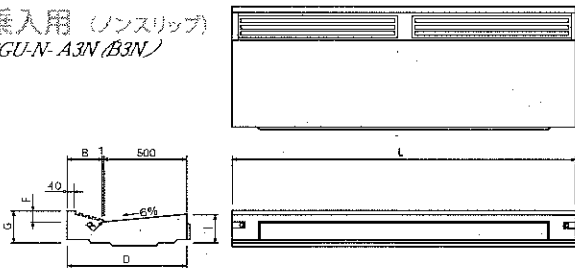


斜用 PGU-S-A-A3 PGU-S-B-B3 PGU-S-C-B3

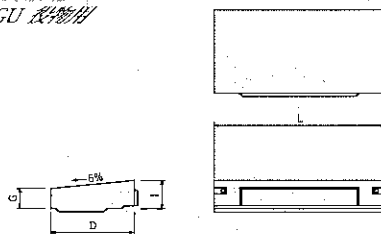


※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを見用を右用と呼ぶ。(図は左用)

乗入用 (ノンスリップ) PGU-N-A3N (B3N)



役物用 PGU 役物用



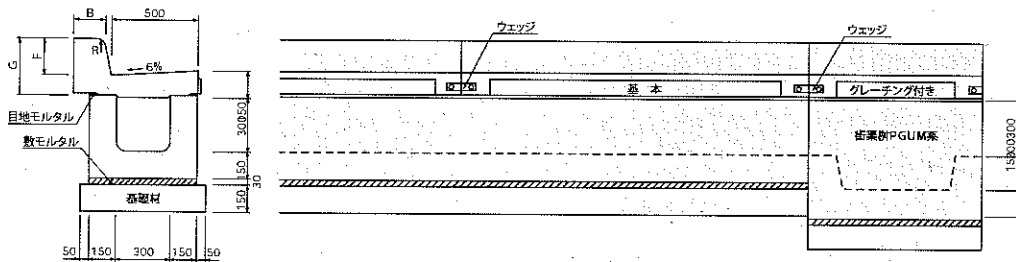
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PGU-A	150	665	150	270	150	20	527	263	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-B	180	700	200	320	150	30	612	305	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-C	180	705	250	370	150	30	662	330	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PGU-N-A3	164	665	50	170	150	10	443	221	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3	199	700	50	170	150	10	466	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-A3N	164	665	50	170	150	10	442	220	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3N	199	700	50	170	150	10	465	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
G付	PGU-G-A	150	665	150	270	150	20	-	225	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-G-B	180	700	200	320	150	30	-	267	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-G-C	180	705	250	370	150	30	-	292	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGU-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	-	244	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	-	272	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	-	286	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30
PGU役物用		-	495	-	120	150	-	-	163	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30

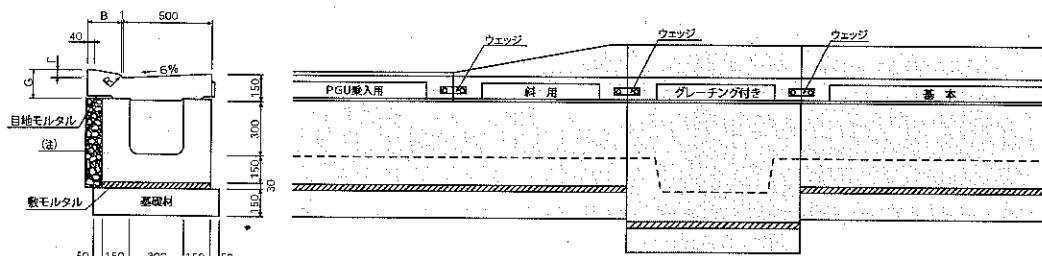
諸雑費率:3% (人) (人) (人) (日) (人) (人) (人) (日)

- A1 歩掛は運搬距離30m程度を含む標準的な配付作業であり、転倒、基礎、埋戻し等は含まれません。
- A2 最悪条件は小運搬距離の簡易目地付掛はふるよひ型モルタルの適用として、改築用、トラッククレーンの資材の方向には表の歩掛とした歩掛を上乗せして可しします。
- A3 最悪条件に使用するトラッククレーンは油圧式A3-A9Lを標準とします。ただし、現場条件によりその歩掛を変更することができます。

標準施工図

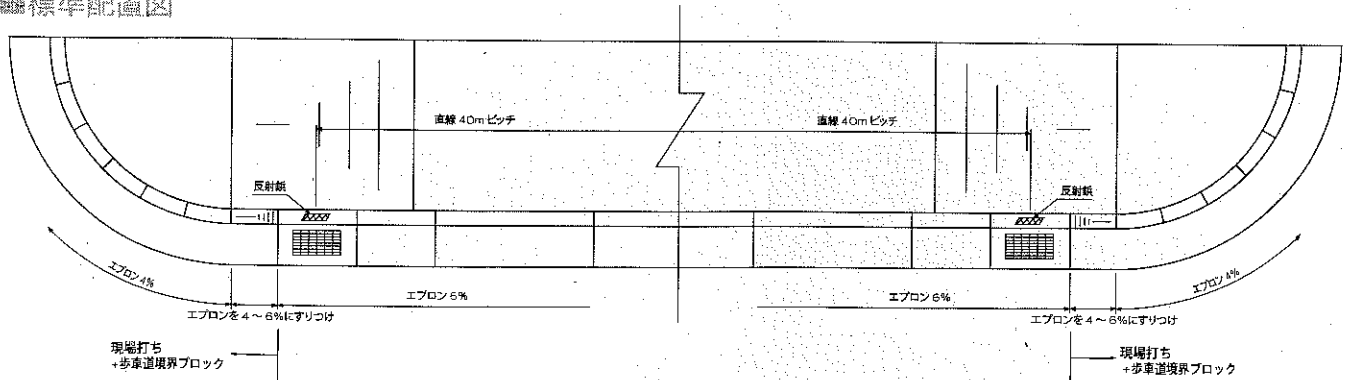


自動車乗入部施工図



(注) 歩掛を変更する範囲に際し、現場では図のように流しコンクリートを施工して下さい。
※乗入れ部に改築物は原則として使用しない。

標準記号図



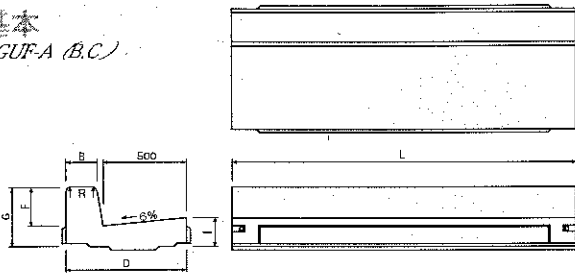
現場打ち
+歩道境界ブロック

現場打ち
+歩道境界ブロック

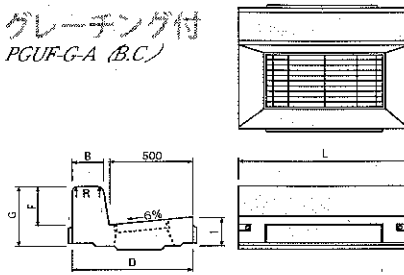
PGUF型 T-25.1/15

ロングUの上のせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がセミフラット型

基本 PGUF-A (B,C)

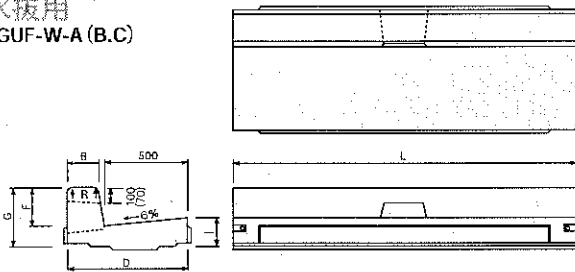


グレーチング付 PGUF-G-A (B,C)



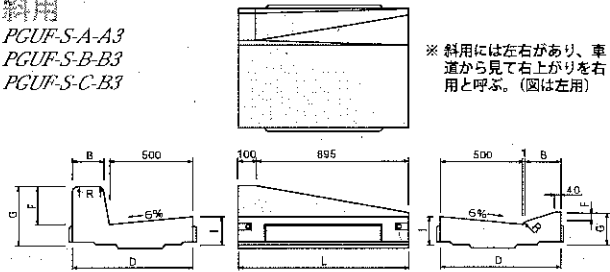
※ グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け 枠: EPMW-35

水抜用 PGUF-W-A (B,C)



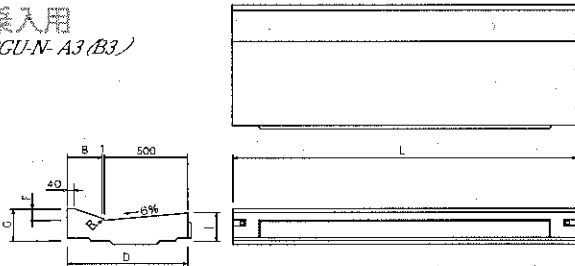
※ ()内はAブロック

斜用 PGUF-S-A-A3 PGUF-S-B-B3 PGUF-S-C-B3

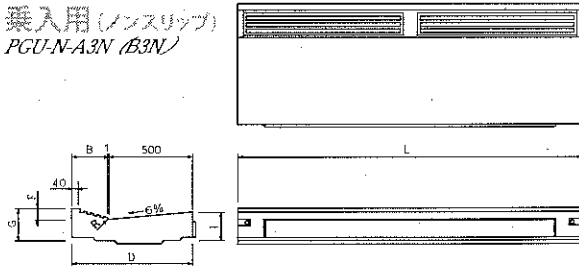


※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は左用)

乗入用 PGU-N-A3 (B3)



乗入用(ノンスリップ) PGU-N-A3N (B3N)



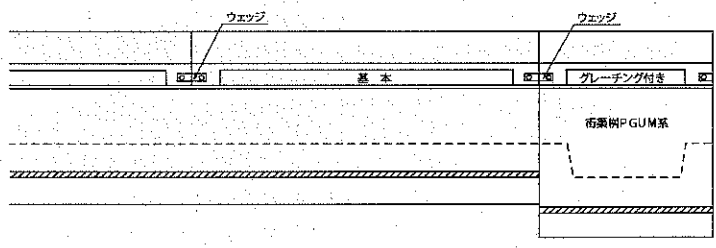
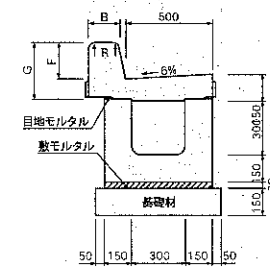
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm)						参考質量(kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PGUF-A	150	665	150	270	150	20	533	265	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-B	180	700	200	320	150	30	617	307	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-C	180	705	250	370	150	30	667	332	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
G付	PGUF-G-A	150	665	150	270	150	20	—	227	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-G-B	180	700	200	320	150	30	—	269	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-G-C	180	705	250	370	150	30	—	294	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGUF-W-A	150	665	150	270	150	20	519	251	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-W-B	180	700	200	320	150	30	597	287	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-W-C	180	705	250	370	150	30	643	308	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGUF-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	246	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	275	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	288	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PGU-N-A3	164	665	50	170	150	10	443	221	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3	199	700	50	170	150	10	466	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-A3N	164	665	50	170	150	10	442	220	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3N	199	700	50	170	150	10	465	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			

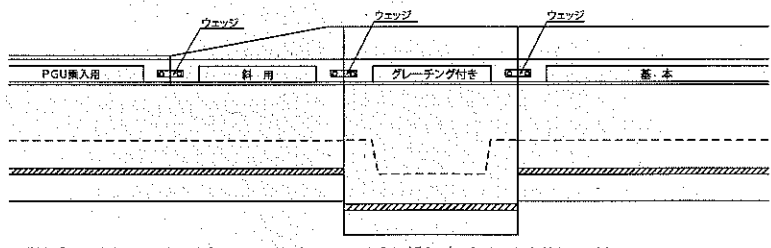
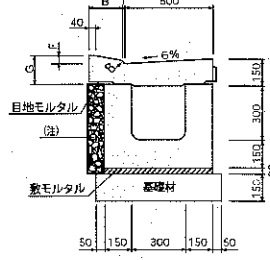
※1 歩掛は標準歩掛(20%)、長短を含む標準的な斜付作業であり、床掘、築造、掘戻し等は含まれません。
 ※2 諸雑費率は標準歩掛の歩掛、日当に算入されるよう算定したものと見做し、荷役機、トラッククレーンの
 賃料の合計に上乗せ率を乗じた歩掛として算入します。
 ※3 掘戻しに使用するトラッククレーンは油圧式(8~4.9)吊り標準とします。ただし、現場条件により
 その歩掛を変更することができます。

(人) (人) (人) (日) (人) (人) (人) (日)

標準施工図

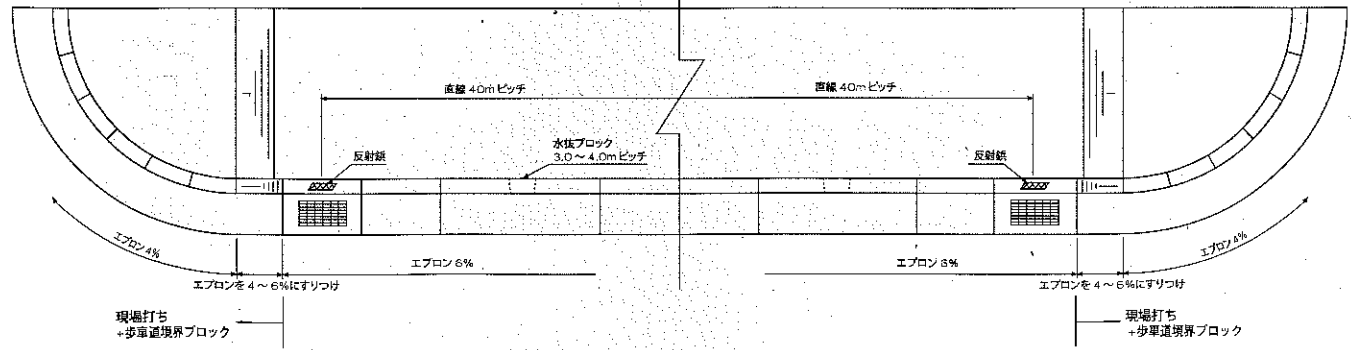


自動車乗入部施工図



(注) 掘戻しを認める箇所が乗り入れる箇所で斜用のように高層コンクリートと見做して下さい。
 ※歩掛の合計に上乗せ率を乗じた歩掛として算入します。

標準配置図



現場打ち
歩車道境界ブロック

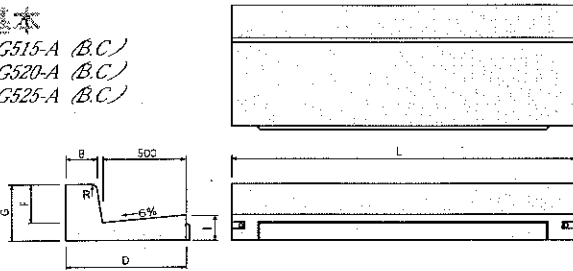
現場打ち
歩車道境界ブロック

PG型 T-25規格

路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型

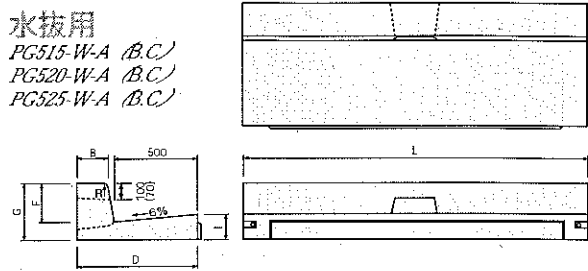
基本

- PG515-A (B.C.)
- PG520-A (B.C.)
- PG525-A (B.C.)



水抜用

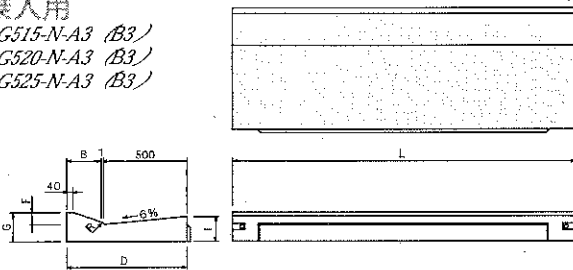
- PG515-W-A (B.C.)
- PG520-W-A (B.C.)
- PG525-W-A (B.C.)



※排水量取りについては別冊请下载。

乗入用

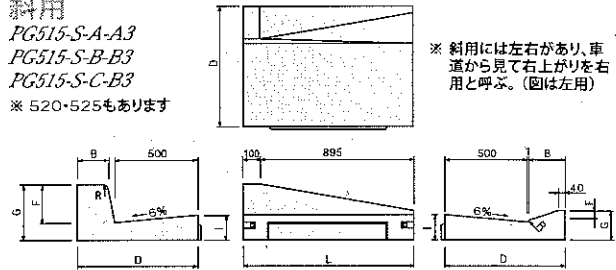
- PG515-N-A3 (B3)
- PG520-N-A3 (B3)
- PG525-N-A3 (B3)



斜用

- PG515-S-A-A3
- PG515-S-B-B3
- PG515-S-C-B3

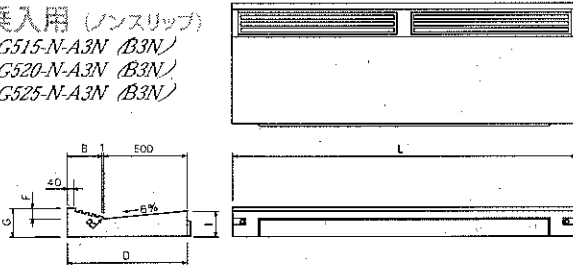
※520・525もあります



※斜用には左右があり、車道から見て右上がりを用と呼ぶ。(図は左用)

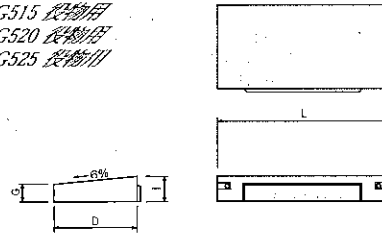
乗入用 (ノンスリップ)

- PG515-N-A3N (B3N)
- PG520-N-A3N (B3N)
- PG525-N-A3N (B3N)



役物用

- PG515 役物用
- PG520 役物用
- PG525 役物用



■エプロン厚 150mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PG515-A	150	665	150	270	150	20	522	260	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-B	180	700	200	320	150	30	609	304	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-C	180	705	250	370	150	30	659	329	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG515-N-A3	164	665	50	170	150	10	439	219	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3	199	700	50	170	150	10	463	231	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-A3N	164	665	50	170	150	10	438	218	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3N	199	700	50	170	150	10	462	230	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG515-W-A	150	665	150	270	150	20	511	248	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-W-B	180	700	200	320	150	30	592	285	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-W-C	180	705	250	370	150	30	638	306	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG515-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	242	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	271	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	285	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG515役物用		—	495	—	120	150	—	—	157	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

■エプロン厚 200mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PG520-A	150	665	150	320	200	20	679	339	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-B	180	700	200	370	200	30	774	386	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-C	180	705	250	420	200	30	826	412	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG520-N-A3	164	665	50	220	200	10	596	297	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3	199	700	50	220	200	10	628	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-A3N	164	665	50	220	200	10	595	296	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3N	199	700	50	220	200	10	627	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG520-W-A	150	665	150	320	200	20	669	326	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-W-B	180	700	200	370	200	30	758	368	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-W-C	180	705	250	420	200	30	805	389	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG520-S-A-A3	150~164	665	150~50	320~220	200	20~10	—	320	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-S-B-B3	180~199	700	200~50	370~220	200	30~10	—	353	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	420~220	200	30~10	—	367	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG520役物用		—	495	—	170	200	—	—	216	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

*エプロン厚180mmタイプも対応可能です。

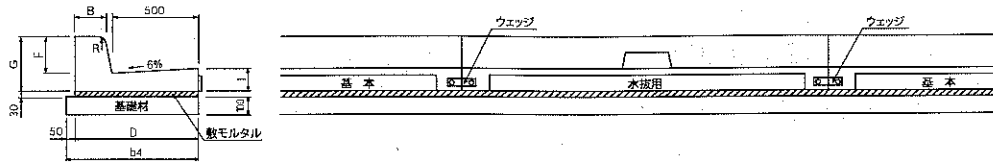
■エプロン厚 250mm

(10mあたり)

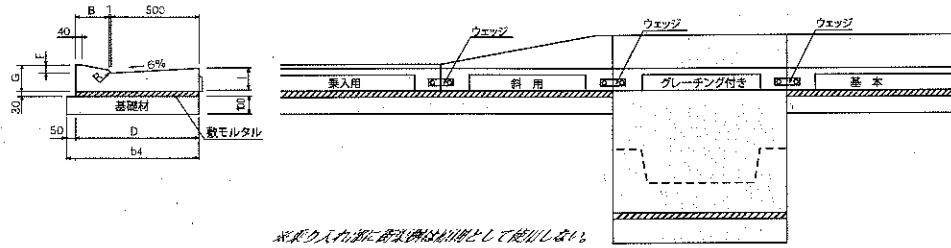
種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PG525-A	150	665	150	370	250	20	836	417	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-B	180	700	200	420	250	30	939	468	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-C	180	705	250	470	250	30	992	494	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG525-N-A3	164	665	50	270	250	10	753	375	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3	199	700	50	270	250	10	794	396	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-A3N	164	665	50	270	250	10	752	374	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3N	199	700	50	270	250	10	793	395	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG525-W-A	150	665	150	370	250	20	827	405	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-W-B	180	700	200	420	250	30	924	450	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-W-C	180	705	250	470	250	30	973	473	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG525-S-A-A3	150~164	665	150~50	370~270	250	20~10	—	398	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-S-B-B3	180~199	700	200~50	420~270	250	30~10	—	436	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	470~270	250	30~10	—	450	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG525役物用		—	495	—	220	250	—	—	274	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

PG型

標準施工図



自動車乗入部施工図



エプロン厚 150mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PG515-A	150	665	150	270	150	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG515-B	180	700	200	320	150	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG515-C	180	705	250	370	150	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

エプロン厚 200mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PG520-A	150	665	150	320	200	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG520-B	180	700	200	370	200	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG520-C	180	705	250	420	200	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

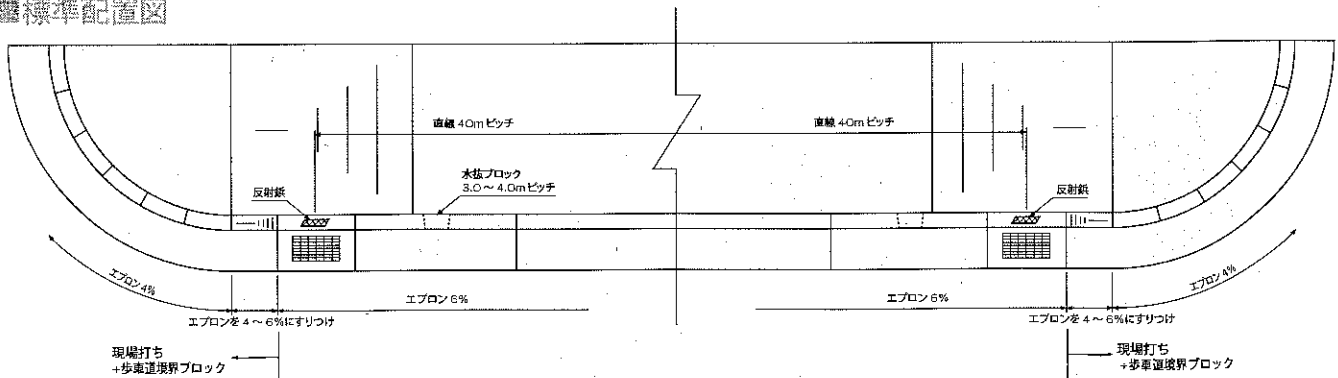
エプロン厚 250mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PG525-A	150	665	150	370	250	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG525-B	180	700	200	420	250	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG525-C	180	705	250	470	250	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

※基礎材の()内の数値は標準で寸法の場合に使用します。

標準配置図

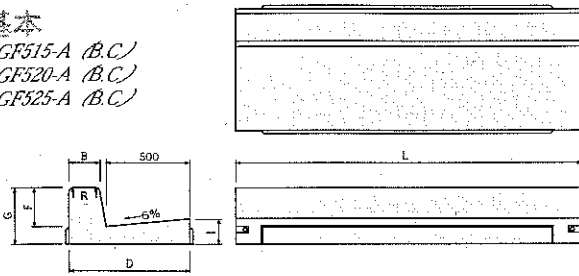


PGF型 T-25 形

路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がセミフラット型

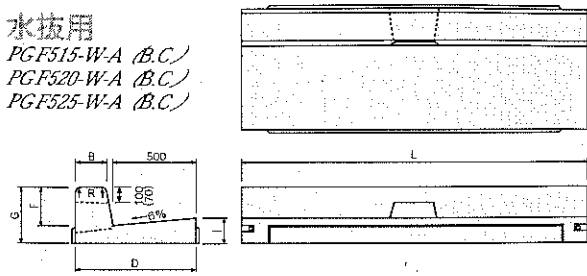
基本

- PGF515-A (B,C)
- PGF520-A (B,C)
- PGF525-A (B,C)



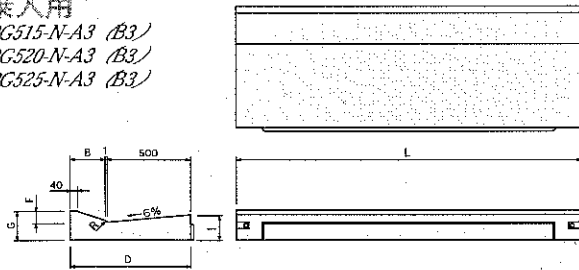
水抜用

- PGF515-WA (B,C)
- PGF520-WA (B,C)
- PGF525-WA (B,C)



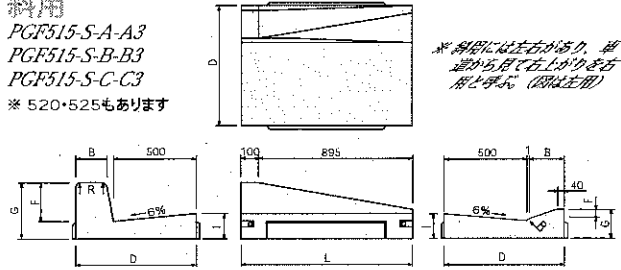
乗入用

- PG515-N-A3 (B3)
- PG520-N-A3 (B3)
- PG525-N-A3 (B3)



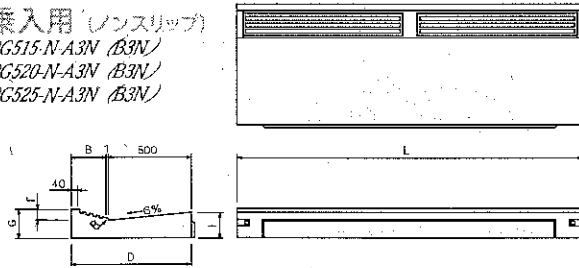
斜用

- PGF515-S-A-A3
 - PGF515-S-B-B3
 - PGF515-S-C-C3
- ※ 520・525もあります



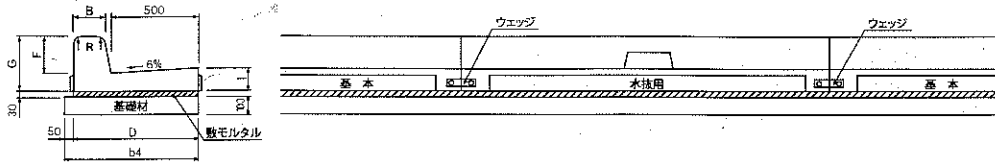
乗入用 (ノンスリップ)

- PG515-N-A3N (B3N)
- PG520-N-A3N (B3N)
- PG525-N-A3N (B3N)

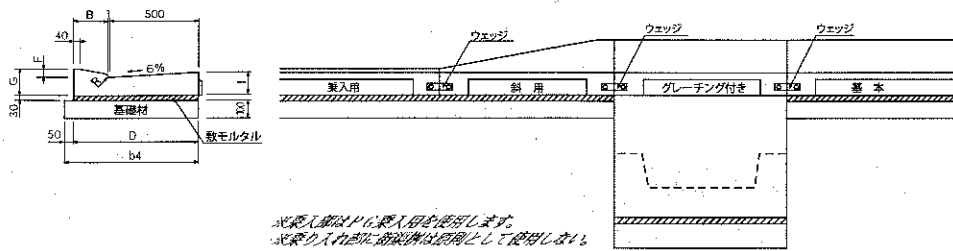


PGF型

標準施工図



自動車乗入部施工図



エプロン厚 150mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	数モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PGF515-A	150	665	150	270	150	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF515-B	180	700	200	320	150	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF515-C	180	705	250	370	150	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

エプロン厚 200mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	数モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PGF520-A	150	665	150	320	200	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF520-B	180	700	200	370	200	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF520-C	180	705	250	420	200	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

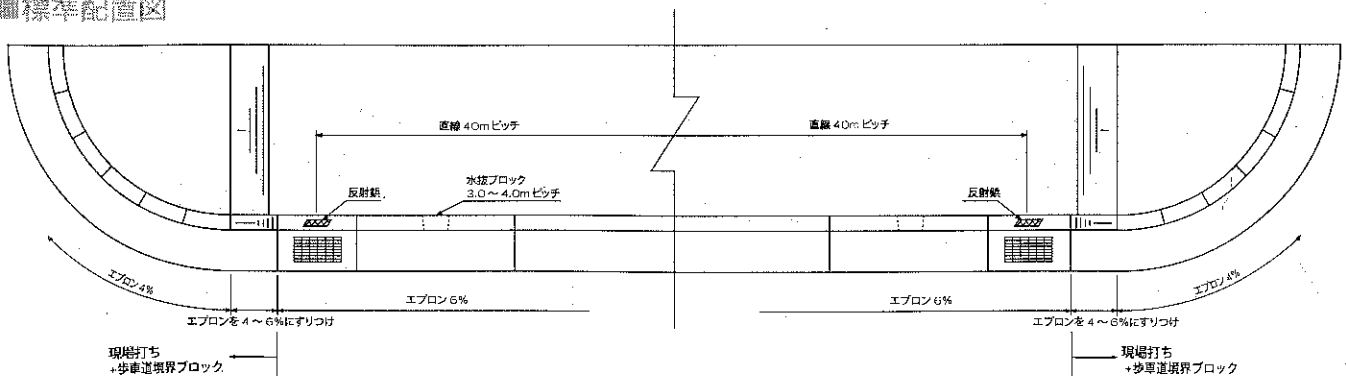
エプロン厚 250mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	数モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PGF525-A	150	665	150	370	250	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF525-B	180	700	200	420	250	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF525-C	180	705	250	470	250	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

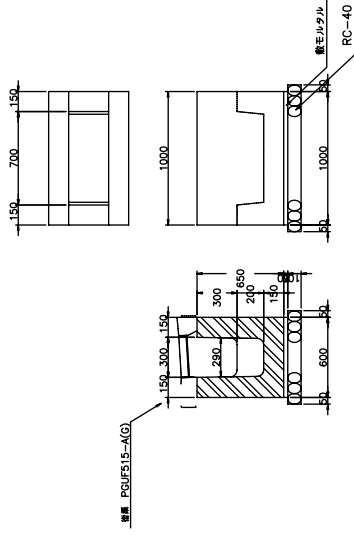
※基礎材のD、Iの寸法は全てコンの規格に使用します。

標準配置図



構造図 (その1) S=1:20

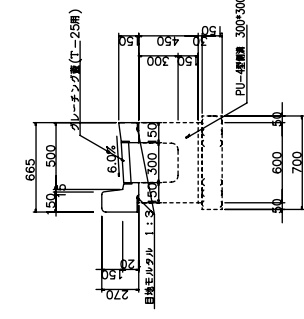
U型側溝樹 PGU型



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
渠床材	L=1000	個	7.00	PGUM-30
敷モルタル	1:3	m ²	6.00	

街渠工 PGUF515-A(G)

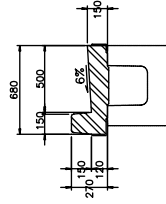


材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
PGUF515-A(G)	L=2000	個	5	一般部

注) 1.連続して設置する場合は、10m以内に1箇所水抜きブロックタイプを使用。

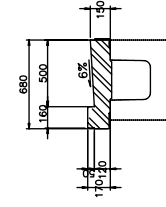
街渠工 PGUF515-S-A



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
PGUF515-S-A	L=1000	個	10	渠床材

街渠工 PGU515-N-A (単乗入用)



材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
PGU515-N-A	L=2000	個	5	渠床材

年度	番号
路線名	主要地方道枚方大和郡山線
工事名	
所属地名	交野市倉治2丁目地内
図面名	
縮尺	1:20
作成年度	平成
年月	年 月
大阪府枚方土木事務所	

路面排水工詳細図 1/4 S=1/20

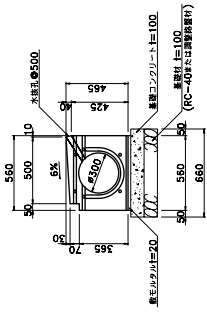
側溝工・街渠柵工

街渠柵工

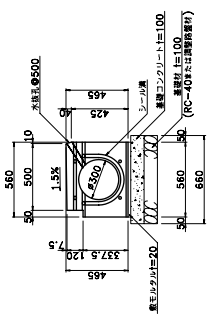
側溝工

L型側溝

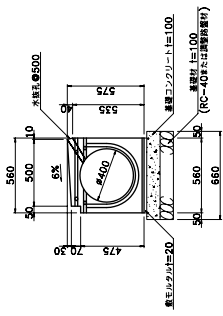
L1φ300型



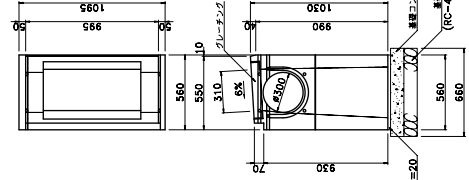
L2φ300型



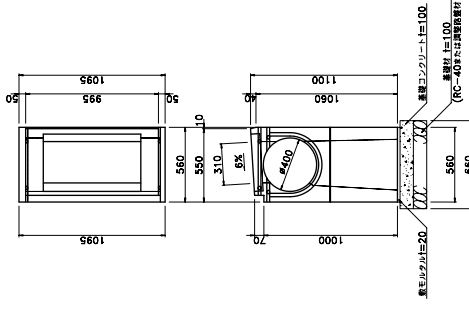
L1φ400型



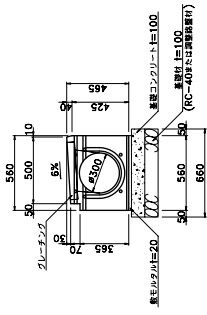
街渠柵Lφ300型



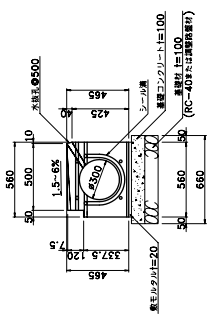
街渠柵Lφ400型



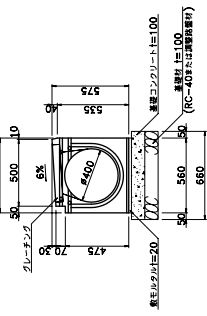
L5φ300集水型



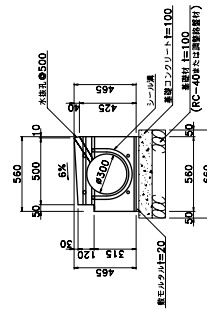
L3φ300型



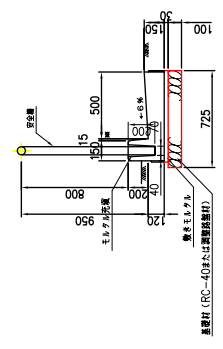
L5φ400集水型



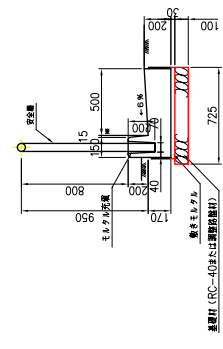
L4φ300型 (兼入部)



PGF515B型 (B交通用)



PGF520B型 (C交通用)



■ 支線の幅が5mm以上、幅毎200mm以上必要です。

年度	平成14~15年度	番号	66/73
路線名	都市計画道路 枚方大和南田線 外		
工事名	枚方市 茄子作東町 外		
所属地名	路面排水工詳細図 1/4		
図面種別	作	葉	平成16年3月
縮尺	図示	枚	大阪府枚方土木事務所

市場製品図集タイプ

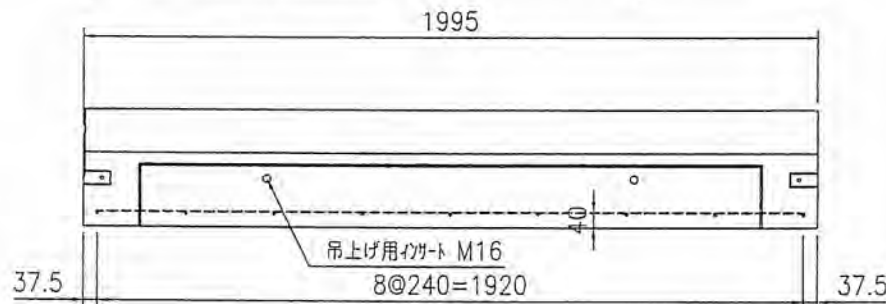
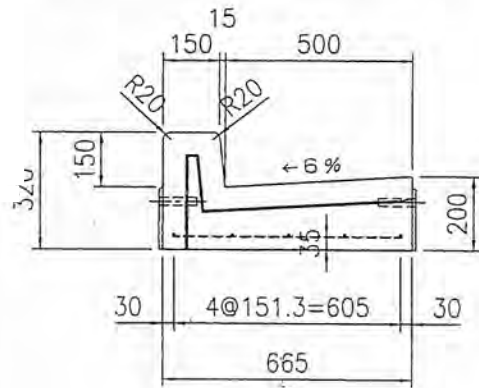
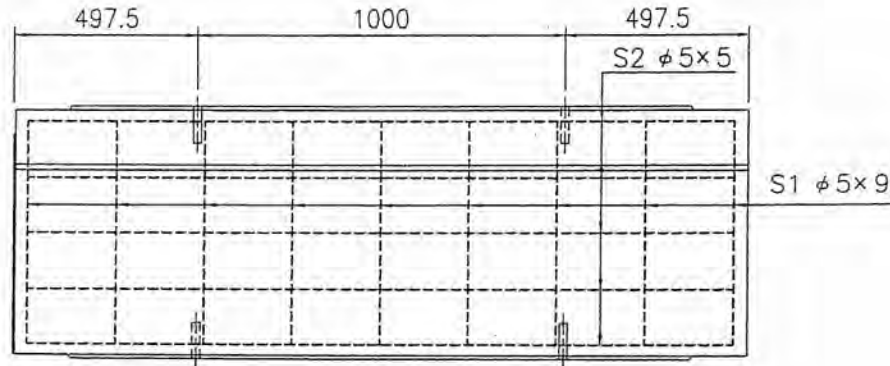
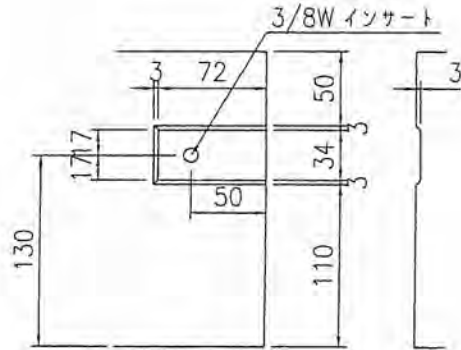
エプロン PGF520-A (基本)

S=1/20

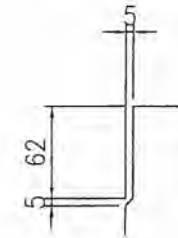
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

インサート部詳細図
S=1/5



バックイン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	9	0.610	0.8
S2	φ5	0.154	5	1.925	1.5
鉄筋総重量				2.3	(Kg)
製品立積				0.287	(m ³)

市場製品図集タイプ

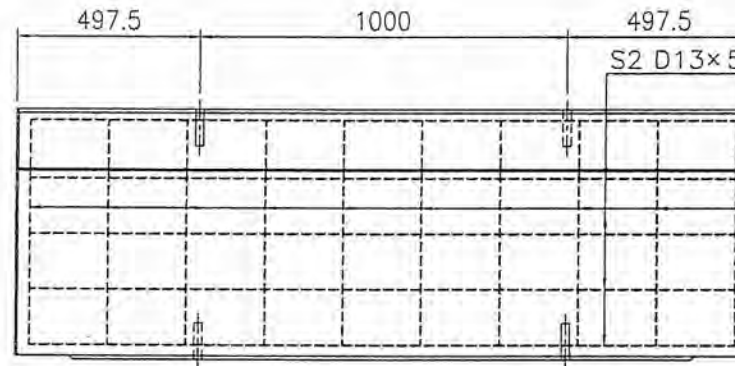
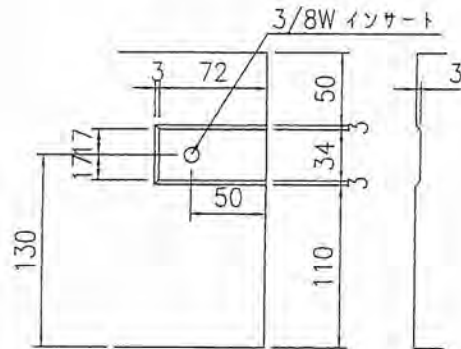
エプロン PG520-N-A (乗入用)

設計条件

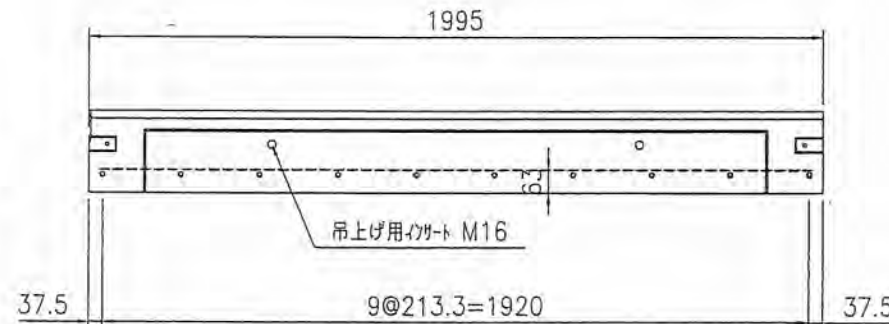
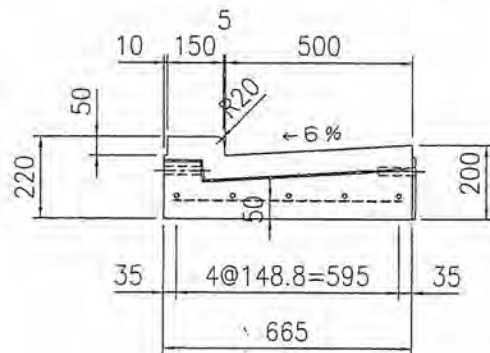
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

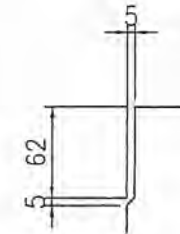
インサート部詳細図
S=1/5



S1 D13x10



バックイン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径 SD295*	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	(Kg)
製品立積				0.255	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

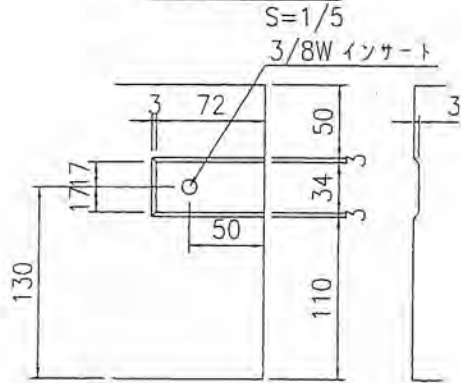
市場製品図集タイプ
 京都府・滋賀県仕様
 (バリアフリー)

エプロン PGF520-2%DS-A (斜用・右用)

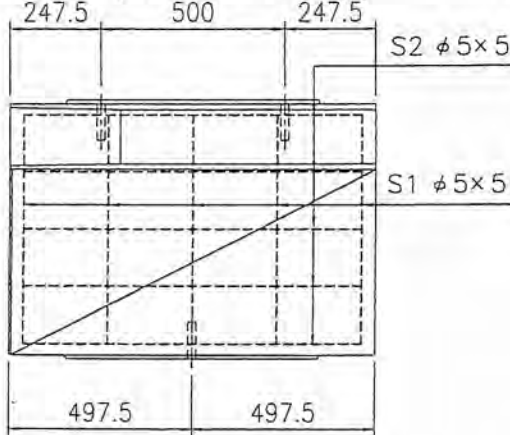
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24 (N/mm^2)$
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

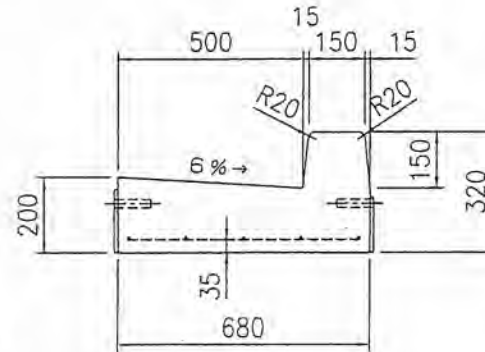
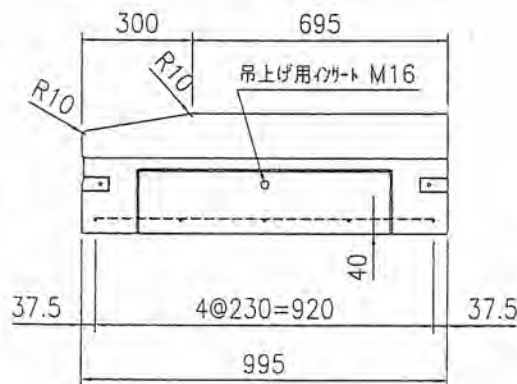
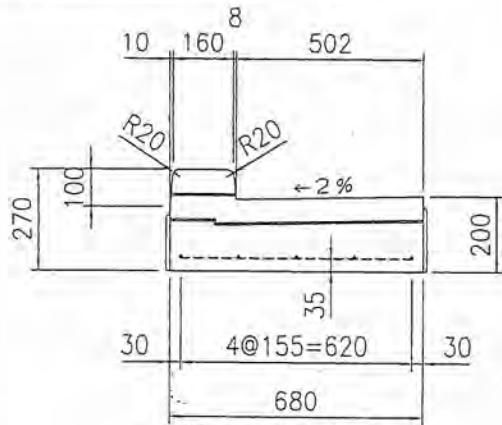
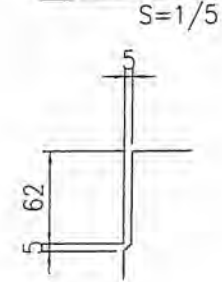
インサート部詳細図



H-10(mm) l=1.0(m) S=1/20



バックイン部詳細図



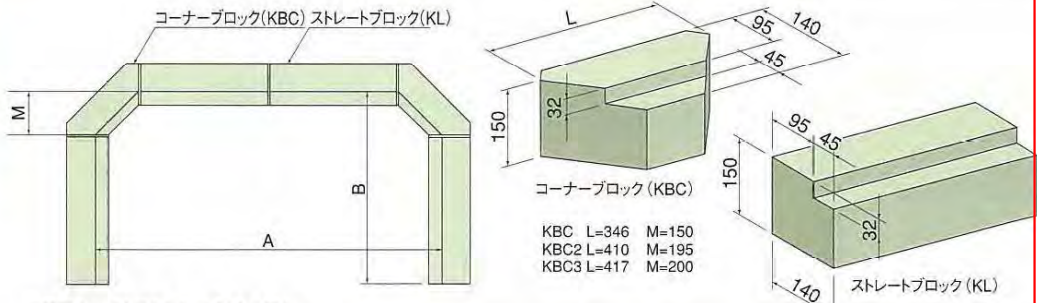
*斜用には左右があり、車道から見て右上がりを用と呼ぶ。(図は右用)

(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	5	0.625	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量				1.2	(Kg)
製品立積				0.146	(m ³)

ルーツグレート用
コンクリート
ブロック



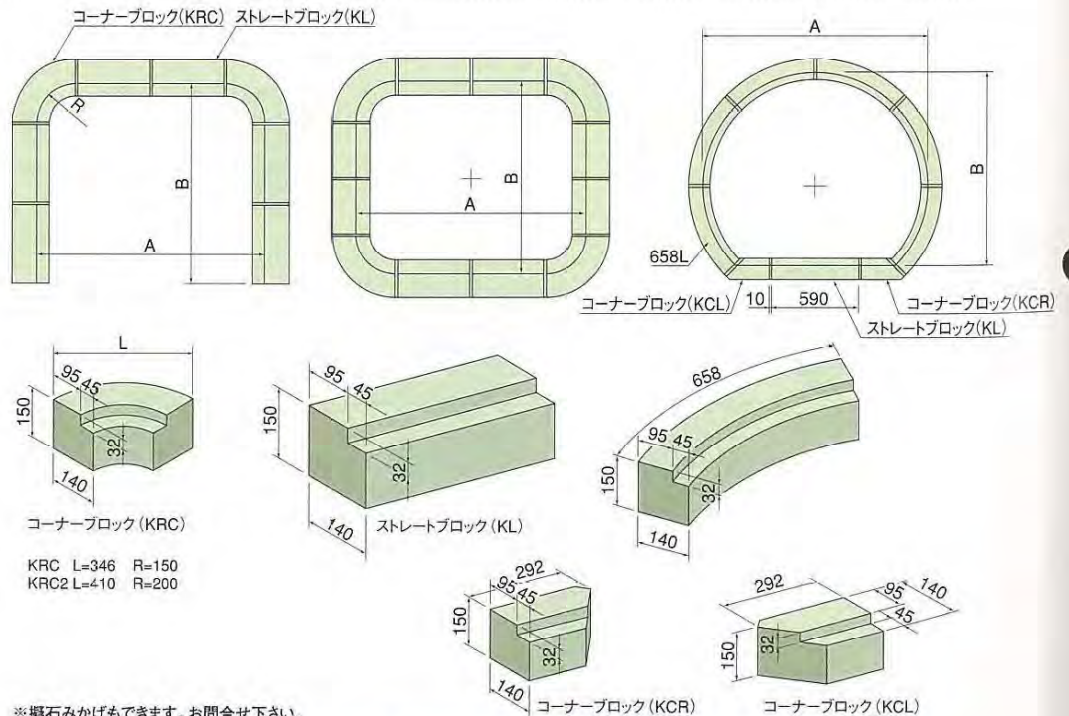
コーナーブロック (KBC)

KBC L=346 M=150
KBC2 L=410 M=195
KBC3 L=417 M=200

ストレートブロック (KL)

※擬石みかけもできます。お問合せ下さい。

ルーツグレートの形状	ルーツグレート外寸	コーナー	A×B	コンクリートブロックの種類と個数
	900× 745	C150	910× 750	KBC×2, KL-590×3
	1050× 300	C150	1060× 305	KBC×2, KL-145×2, KL-740×1
	1080× 400	C150	1090× 400	KBC×2, KL-240×2, KL-380×2
	1080× 640	C150	1090× 655	KBC×2, KL-380×2, KL-490×2
	1200× 745	C150	1210× 750	KBC×2, KL-440×2, KL-590×2
	1200×1000	C150	1210×1000	KBC×2, KL-340×2, KL-440×2, KL-490×2
	1300× 550	C150	1310× 550	KBC×2, KL-490×2, KL-390×2
	1300×1100	C150	1310×1100	KBC×2, KL-440×2, KL-490×4
	1500× 300	C150	1510× 305	KBC×2, KL-145×2, KL-590×2
	1500× 450	C150	1510× 450	KBC×2, KL-290×2, KL-590×2
	1500× 520	C150	1510× 520	KBC×2, KL-590×2, KL-360×2
	1500× 745	C150	1510× 750	KBC×2, KL-590×4
	1500× 750	C150	1510× 750	KBC×2, KL-590×4
	1500× 900	C150	1510× 900	KBC×2, KL-590×2, KL-740×2
	1500×1000	C150	1510×1000	KBC×2, KL-340×2, KL-490×2, KL-590×2
	1500×1150	C150	1510×1150	KBC×2, KL-590×2, KL-490×4
	1560× 780	C200	1570× 780	KBC3×2, KL-570×4
	1770× 985	C195	1780× 995	KBC2×2, KL-370×1, KL-490×2, KL-340×2, KL-440×2
	1800× 300	C150	1810× 305	KBC×2, KL-145×2, KL-490×3
	1800× 745	C150	1810× 750	KBC×2, KL-490×3, KL-590×2
2100× 525	C150	2110× 530	KBC×2, KL-590×3, KL-370×2	
2100× 745	C150	2110× 750	KBC×2, KL-590×5	
2200× 800	C150	2210× 800	KBC×2, KL-590×1, KL-640×4	
2210× 890	C195	2220× 895	KBC2×2, KL-460×1, KL-590×1, KL-340×4, KL-740×1	
2210×1100	C195	2220×1100	KBC2×2, KL-460×1, KL-590×1, KL-740×1, KL-395×2, KL-490×2	



コーナーブロック (KRC)

KRC L=346 R=150
KRC2 L=410 R=200

ストレートブロック (KL)

コーナーブロック (KCL)

コーナーブロック (KCR)

ストレートブロック (KL)

コーナーブロック (KCR)

コーナーブロック (KCL)

※擬石みかけもできます。お問合せ下さい。

ルーツグレートの形状	ルーツグレート外寸	コーナー	A×B	コンクリートブロックの種類と個数
	900× 745	R145	910× 750	KRC×2, KL-590×3
	1000× 800	R200	1010× 800	KRC2×2, KL-590×3
	1200× 750	R195	1214× 750	KRC2×2, KL-395×2, KL-540×2
	1200× 800	R195	1214× 850	KRC2×2, KL-395×2, KL-590×2
	1600× 800	R195	1610× 800	KRC2×2, KL-590×4
	1520×1240	R145	1530×1250	KRC×4, KL-460×6, KL-740×2
	1680×1520	R145	1690×1530	KRC×4, KL-370×2, KL-460×2, KL-490×4, KL-740×2
	1500×1280	—	1510×1290	KCL×1, KCR×1, M-1500×6, KL-590×1



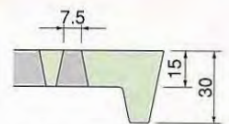
TG-UH-12746F

P195の製品共通特徴

- ヒール、タバコを通さない7.5mm幅スリット。
- スリットは逆テーパーなので小石、ゴミ等が目づまりしません。
- シャープで繊細な印象を与えるルーツグレート。
- 支柱穴の設置も可能です。ご相談ください。
- FCD素材をご希望の場合はご指定ください。



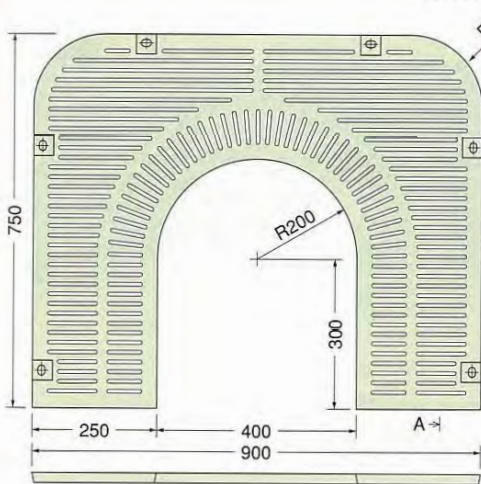
断面 A



歩道シリーズ

↑細目
スリット
7.5

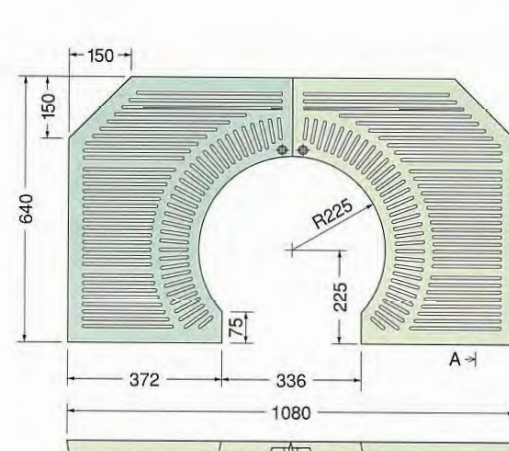
TG-UH-90754F



- 細目
- 構成 1P
- 質量 kg 49
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

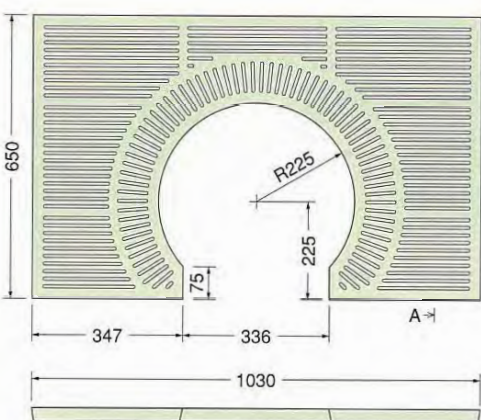
●外周ボルト固定タイプです。

TG-UH-10644F



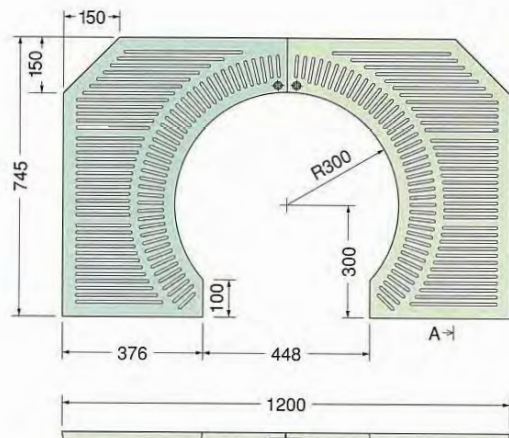
- 細目
- 構成 2P
- 質量 kg 36
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

TG-UHC-10654F



- 細目
- 構成 1P
- 質量 kg 36
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

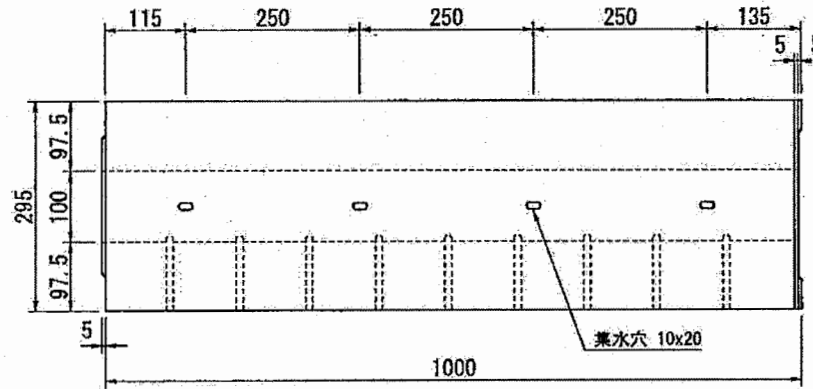
TG-UH-12746F



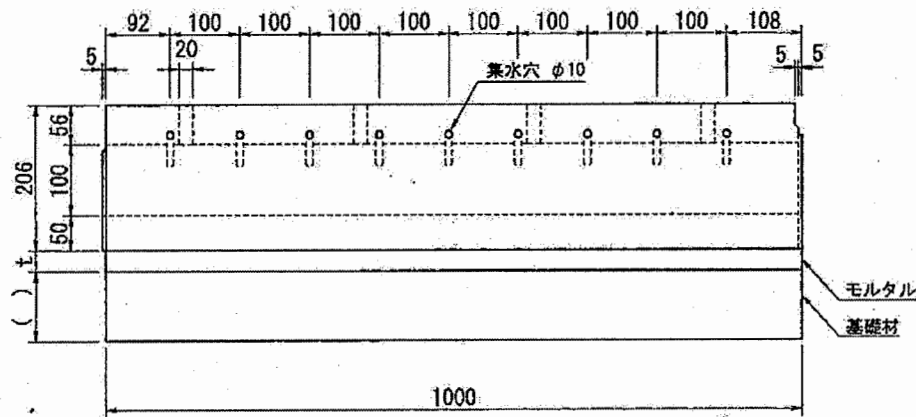
- 細目
- 構成 2P
- 質量 kg 48
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

【参考図】 ライン導水ブロックG型 構造図
 車道用 $\phi 100$

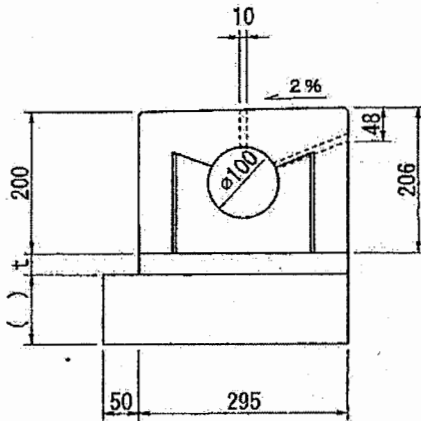
平面図



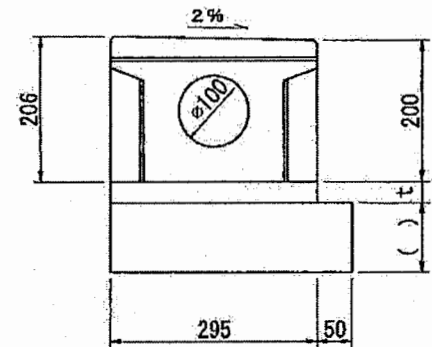
正面図



左側面図



右側面図



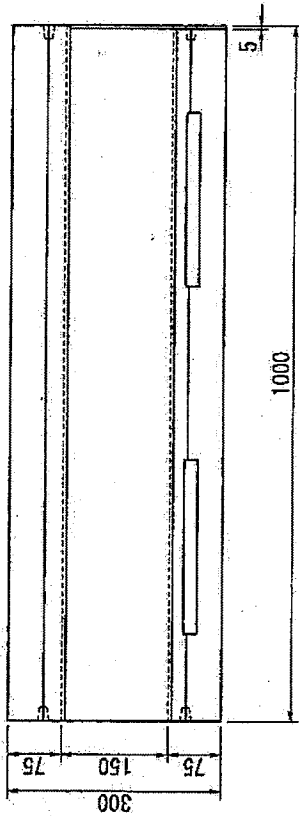
参考質量
 バイコン / ポーラス 116kg

注記) 基礎材については、地盤状況に応じて基礎コンクリート等を適宜ご検討下さい。

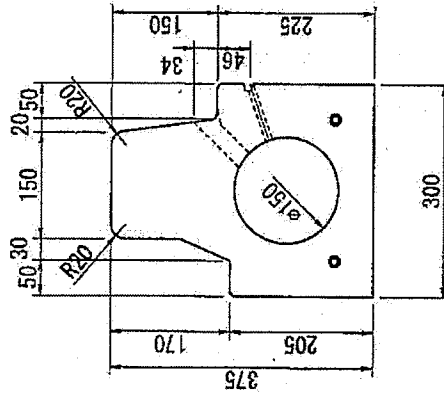
名	【参考図】ライン導水ブロックG型 構造図			図面番号
称	車道用 $\phi 100$ (LG-004)			
製図	校図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日

ライン導水ブロックF型製品図
標準A (-P)

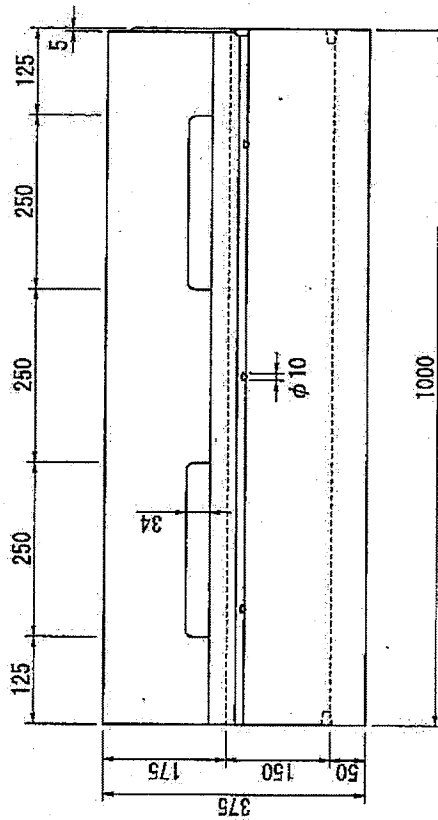
平面図



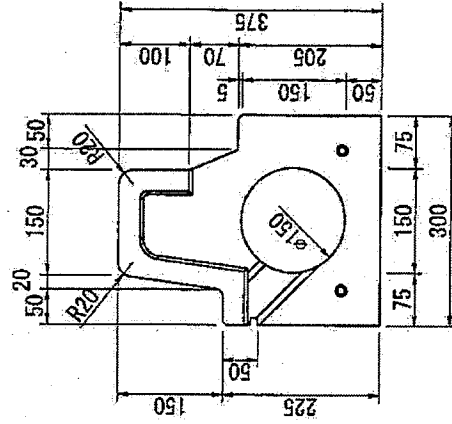
左側面図



正面図



右側面図

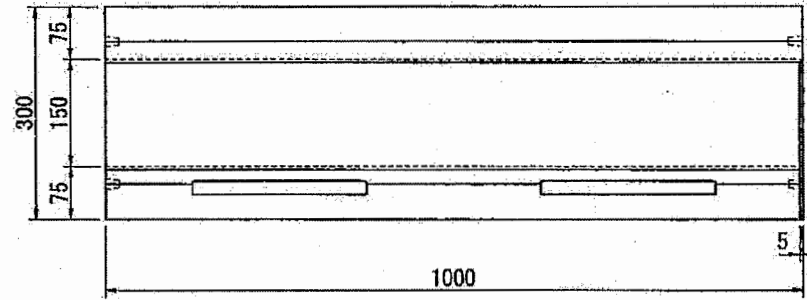


参考質量
ハイコン 172kg
ポーラス 148kg

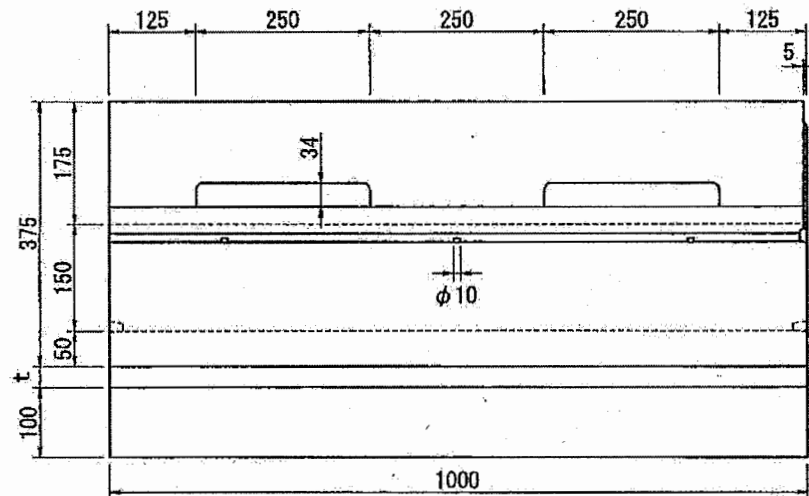
名	ライン導水ブロックF型製品図			図面番号
種	標準A (-P)			
	(LF-002, LF-004(-P))			
製図	検図	縮尺	年月日	2010年04月01日

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
標準A (-P)

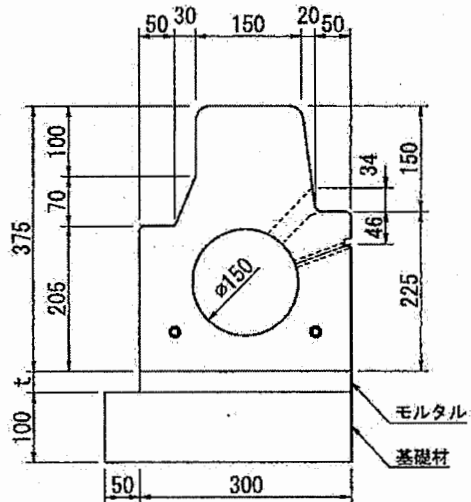
平面図



正面図



側面図

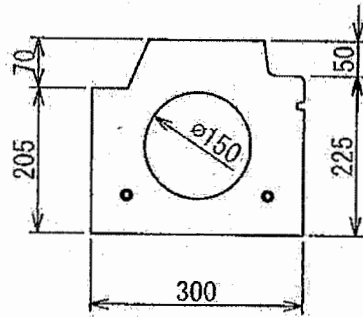


参考質量
 バイコン 172kg
 ポーラス 148kg

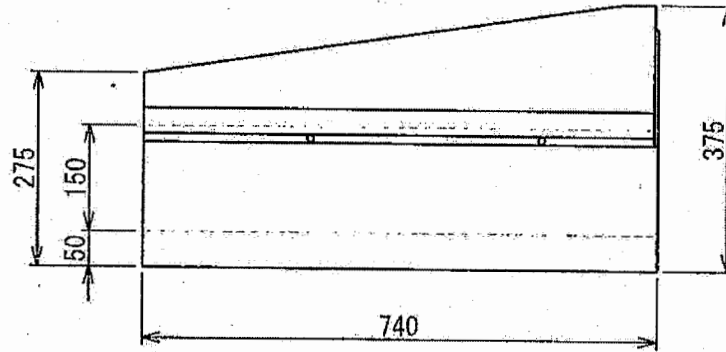
名	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図				図面番号
称	標準A (-P) (LF-002, LF-004 (-P))				
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日	

擦付A 車乗 フラット5 右

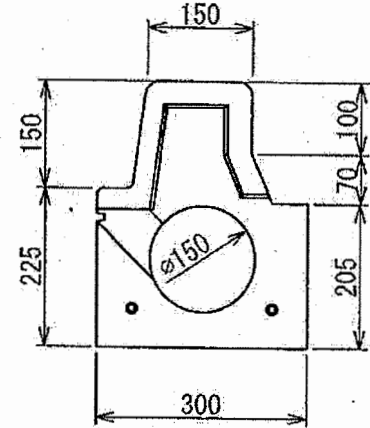
側面図



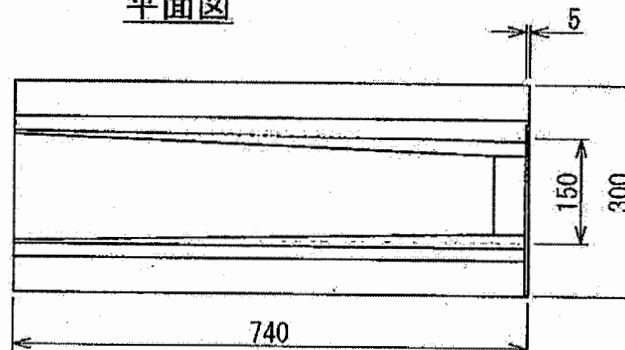
正面図



側面図



平面図

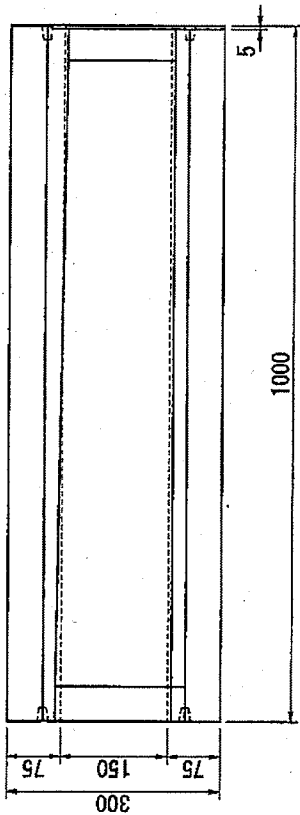


参考質量
 バイコン 122kg

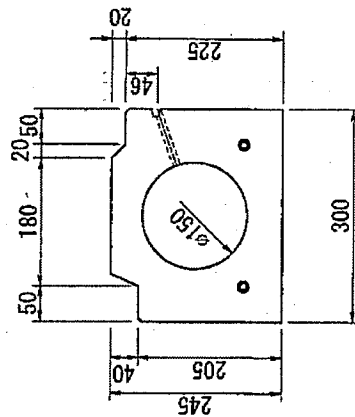
名称(title)		
ライン導水ブロック型 擦付・車乗用		
平成	21年 1月 12日	Scale 1/10

ライン導水ブロックF型 製品図
 擦付A 歩切フラット2 右

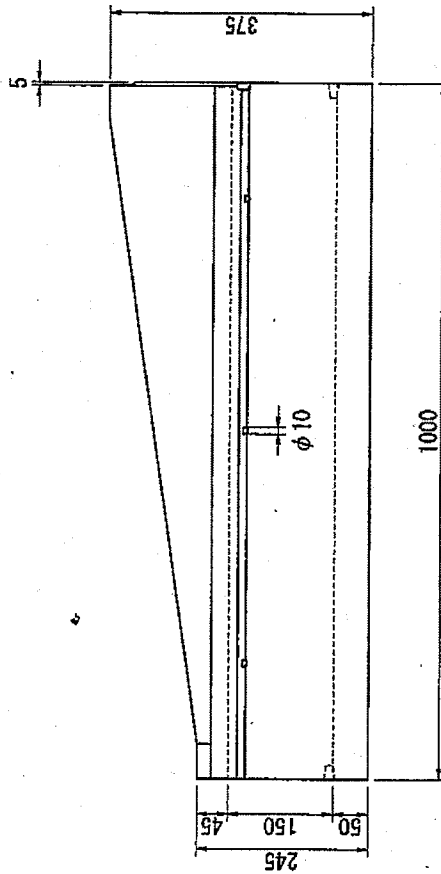
平面図



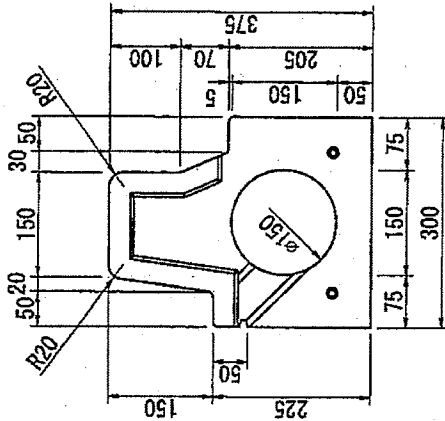
左側面図



正面図



右側面図

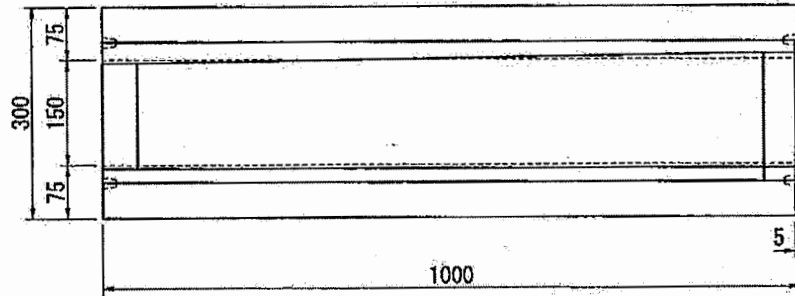


参考質量
 バイコン 154kg

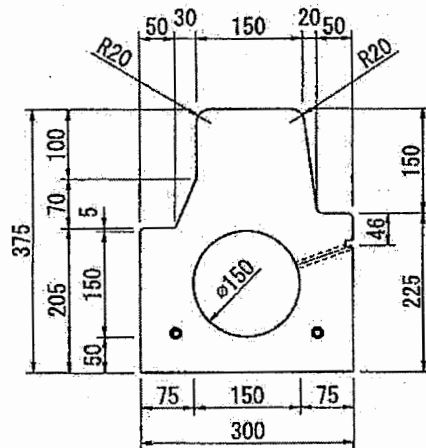
名	ライン導水ブロックF型 製品図	図面番号
称	擦付A 歩切フラット2 右 (LF-424)	
製	年月日	2010年 04月 01日
図	抜尺	縮尺

ライン導水ブロックF型 製品図
 擦付A 歩切 フラット2 左

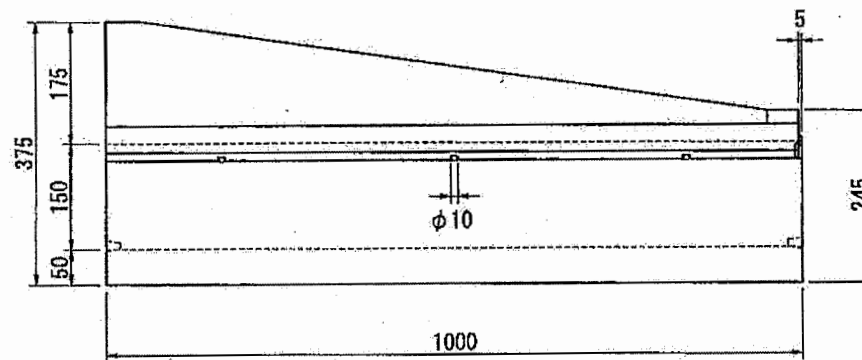
平面図



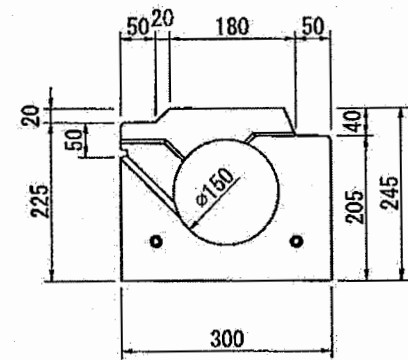
左側面図



正面図



右側面図

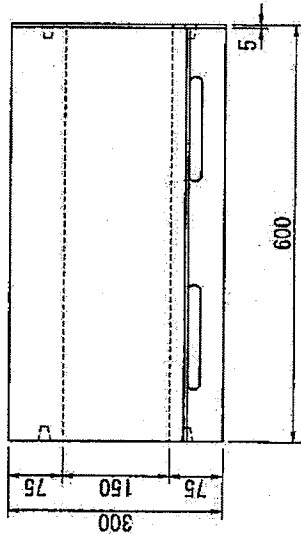


参考質量
 バイコン 154kg

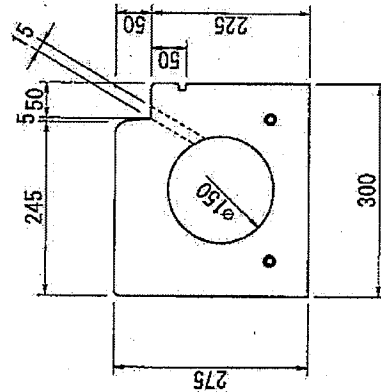
名称	ライン導水ブロックF型 製品図 擦付A 歩切 フラット2 左 (LF-425)				図面番号
	製図	扶図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日

ライン導水ブロック F型 製品図
車両乗入フラット5CM

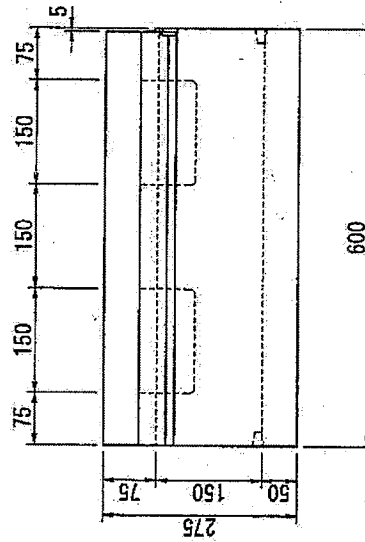
平面図



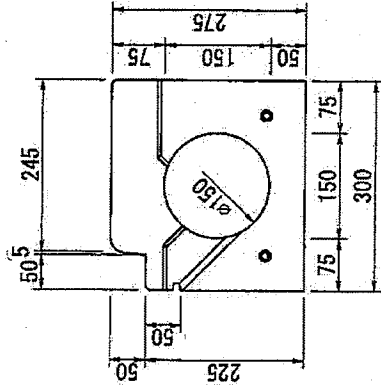
左側面図



正面図



右側面図

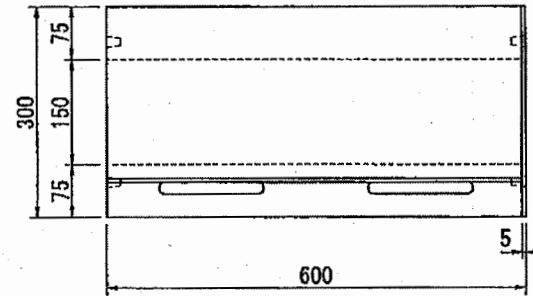


名	ライン導水ブロック F型 製品図			図面番号
称	車両乗入フラット5CM			
製図	抜図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日
				1

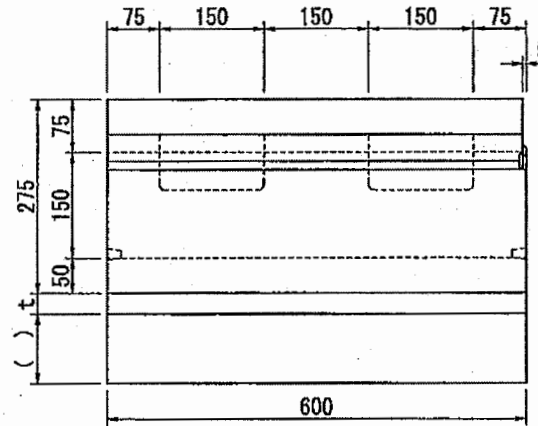
参考質量
バイコン 88kg

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
車両乗入 フラット5 CM

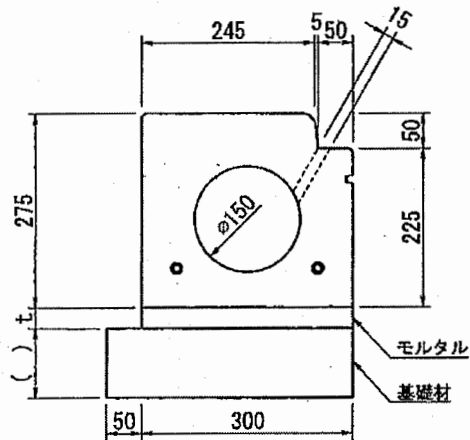
平面図



正面図



側面図



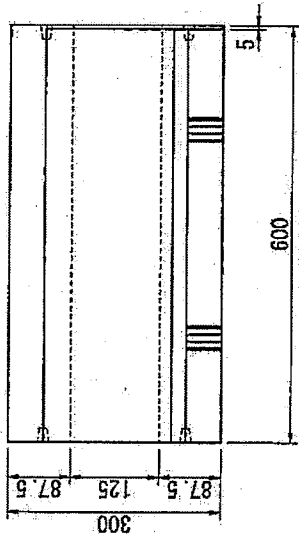
参考質量
 バイコン 88kg

注記) 基礎材については、地盤状況に応じて基礎コンクリート等を適宜ご検討下さい。

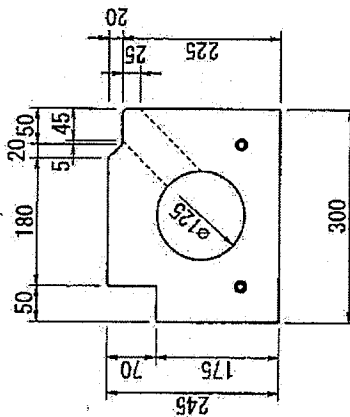
名	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
称	車両乗入 フラット5 CM			
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日

ライン導水ブロックF型 製品図
 歩道切下フラット2CM直線VP (P3 P)

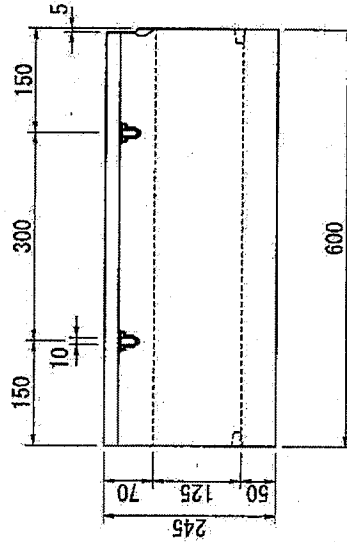
平面図



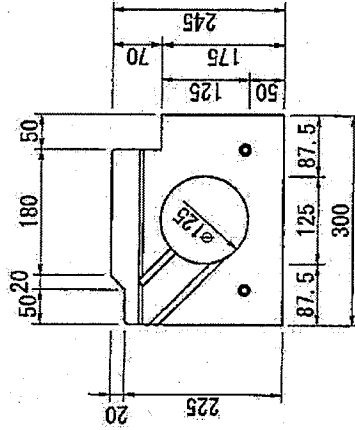
左側面図



正面図



右側面図

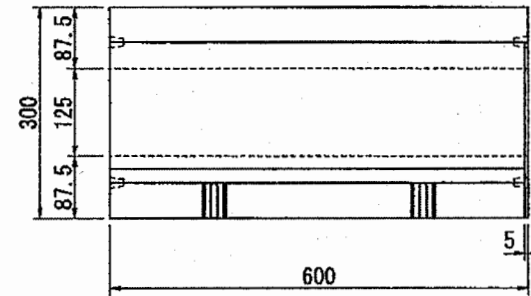


参考質量
 ハイコン 77kg
 ポーラス 72kg

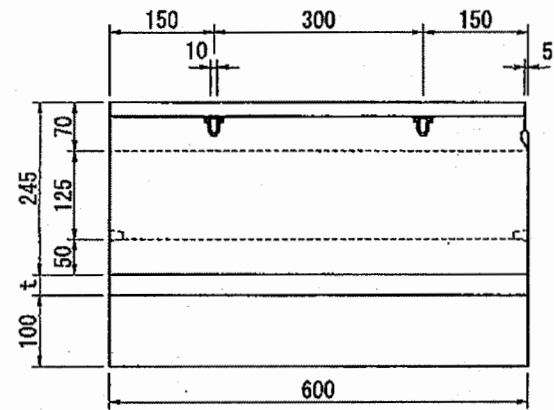
名	ライン導水ブロックF型 製品図			図面番号
称	歩道切下フラット2CM直線VP (P3 P)			
	(LF-298, LF-258 (P3 P))			
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
歩道切下 フラット2CM 直線 VP (P3 P)

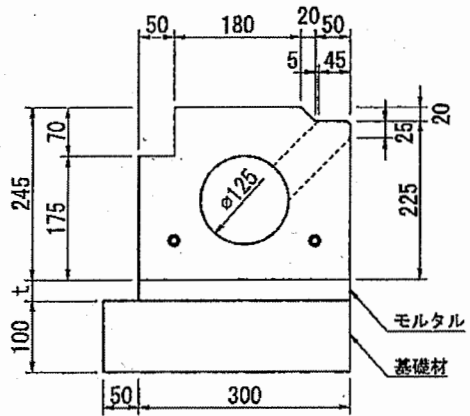
平面図



正面図



側面図

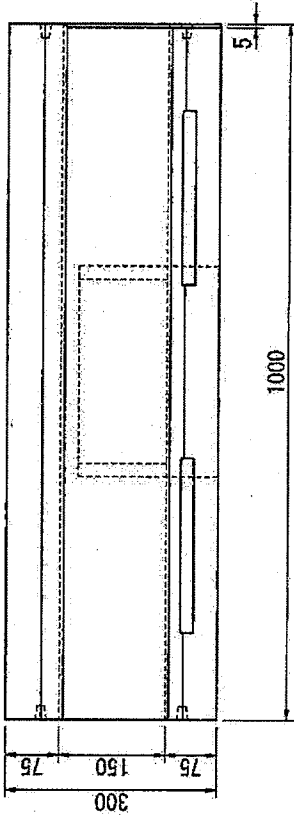


参考質量
 バイコン 77kg
 ポーラス 72kg

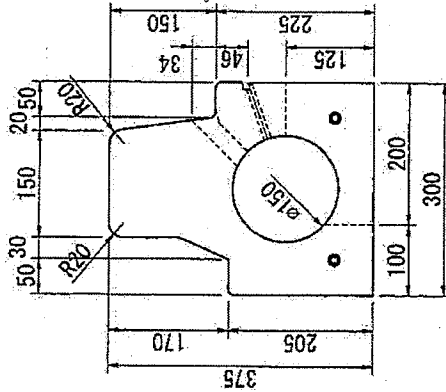
名 称	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図				図面番号
	歩道切下 フラット2CM 直線VP (P3 P) (LF-298, LF-258 (P3 P))				
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日	

ライン導水ブロックF型 製品図
 車道柵 縁石A (-P)

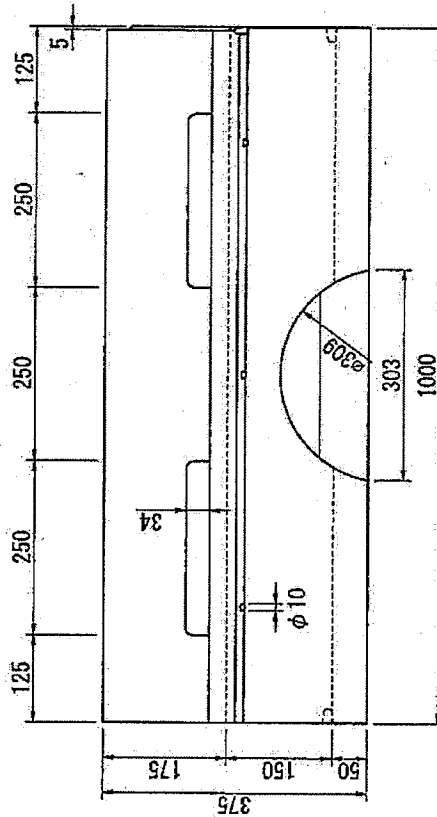
平面図



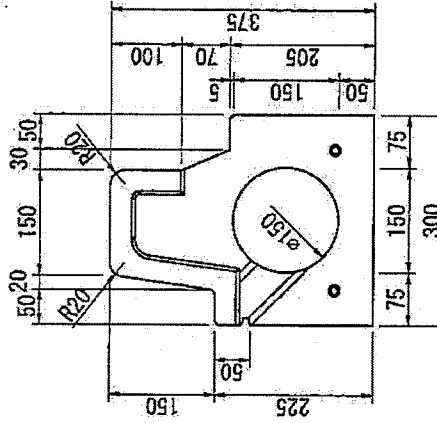
左側面図



正面図



右側面図

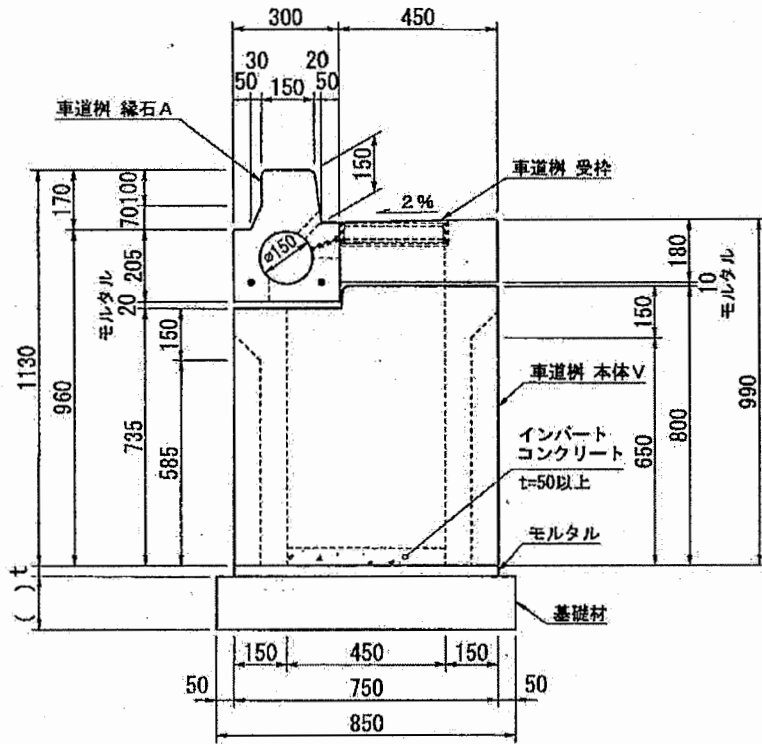


参考質量
 ハイコン 156kg
 ポーラス 134kg

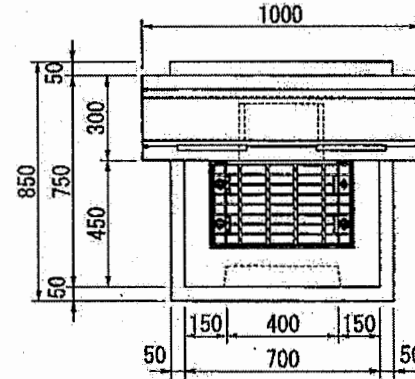
名	ライン導水ブロックF型 製品図	図面番号
称	車道柵 縁石A (-P) (LF-664, LF-661 (-P))	
製国	韓国	年月日
縮尺		2010年 04月 01日

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
車道樹A

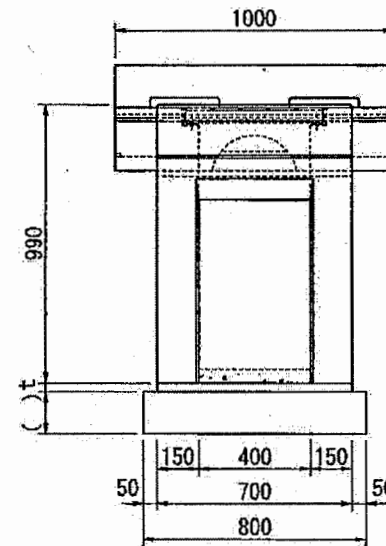
側面図 S=1/20



平面図 S=1/25



正面図 S=1/25



参考質量

- 車道樹本体V-バイコン 560kg
- 車道樹縁石A-バイコン 156kg
- 車道樹受枠 -バイコン 77kg
- 車道樹受枠蓋-SS 14kg
- 合計 807kg

注記) 基礎材については、地盤状況に応じて適宜ご検討下さい。

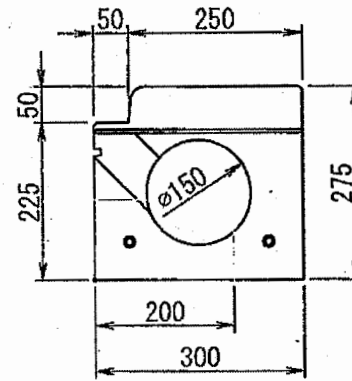
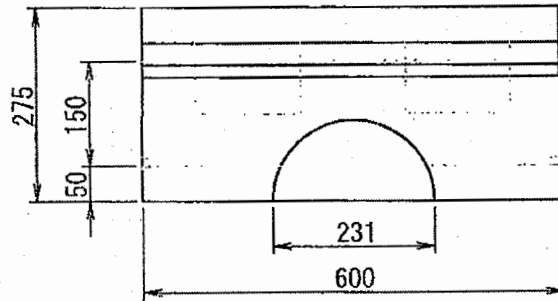
名	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
称	車道樹A			
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日

車両乗入 フラット 5cm段差 φ231穿孔加工品

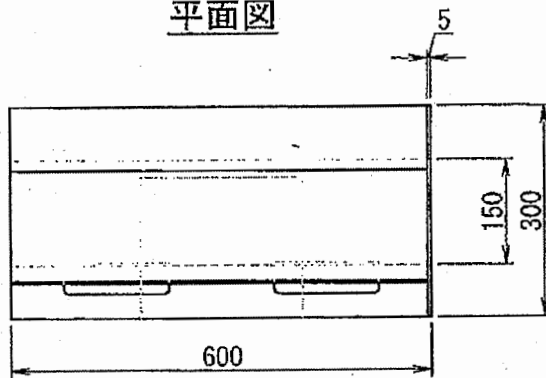
正面図

参考質量 81kg

側面図



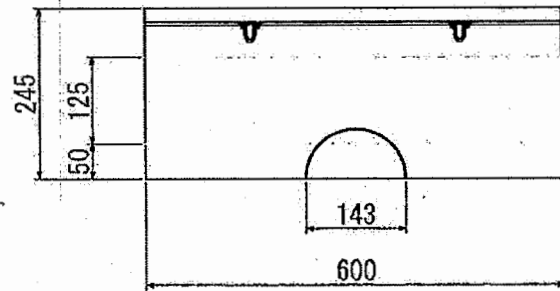
平面図



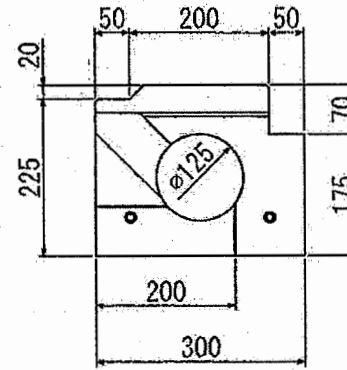
名称(title)	ライン排水ブロック型 車両乗入
平成 20年 1月 15日	Scale 1/10

歩道切下 フラット2cm 直線 $\phi 143$ 穿孔加工品

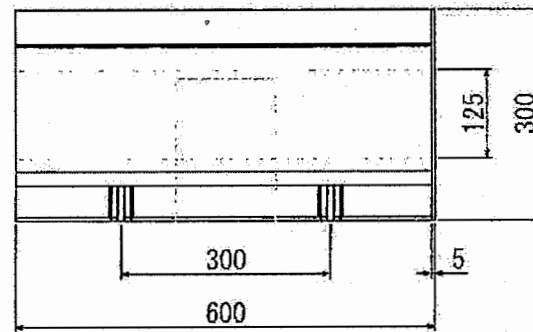
正面図



側面図



平面図

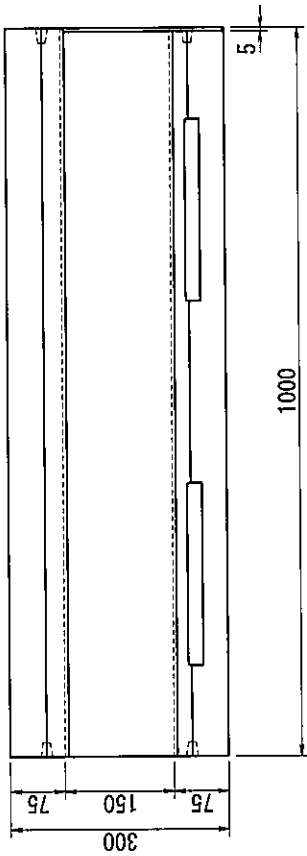


参考質量 7.3 kg (A' (コンクリート仕様))

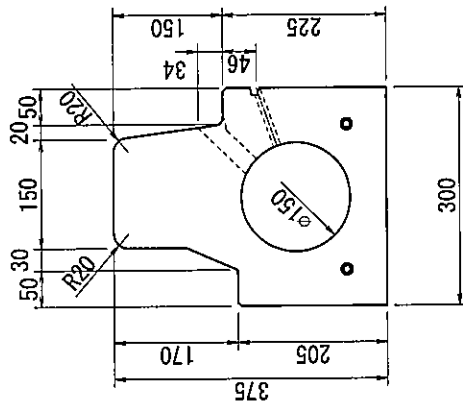
名称(title)	ライン導水ブロック切下 F2 直線
平成 20年 8月 21日	Scale 1/10

ライン導水ブロックF型 製品図
標準A (-P)

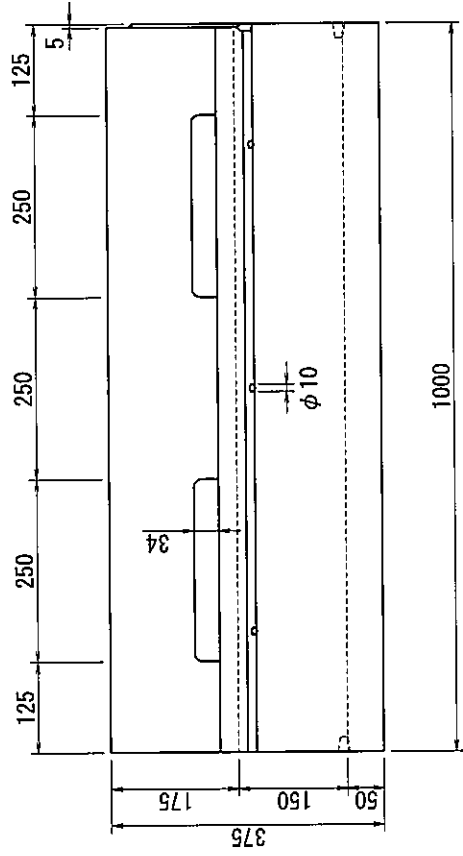
平面図



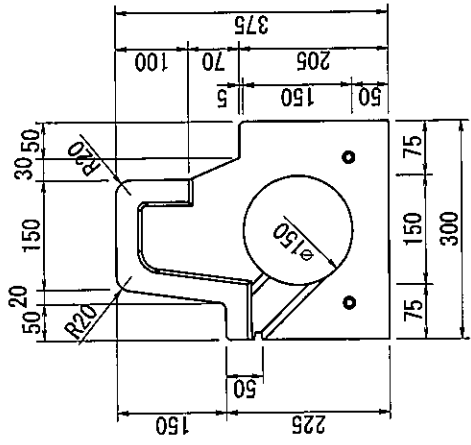
左側面図



正面図



右側面図



参考質量
バイコン 172kg
ポーラス 148kg

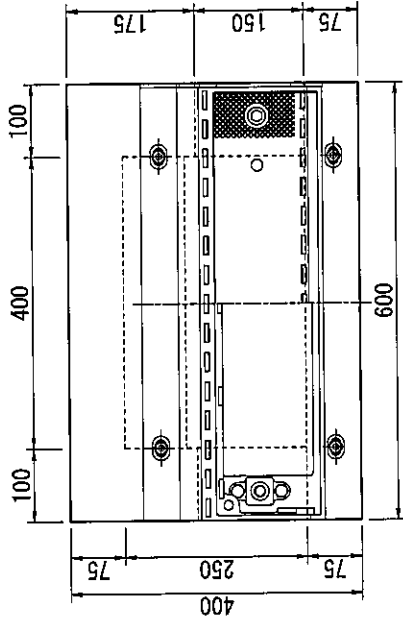
名	ライン導水ブロックF型 製品図		図面番号
称	標準A (-P)		LS-0005
製図	株図	縮尺	年月日
宮崎	関野	1/10	2010年04月01日
			株式会社
			アイエーエー

(品目C : 10002, 10004 (-P))

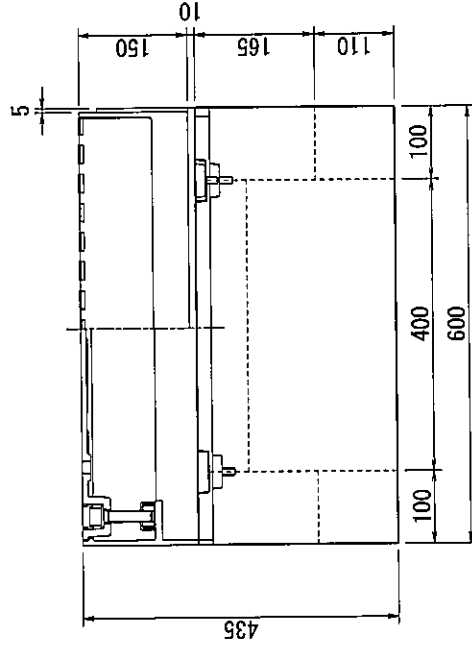
ライン導水ブロックF型 製品図

縁石柵A点検 (加・ゲレ)

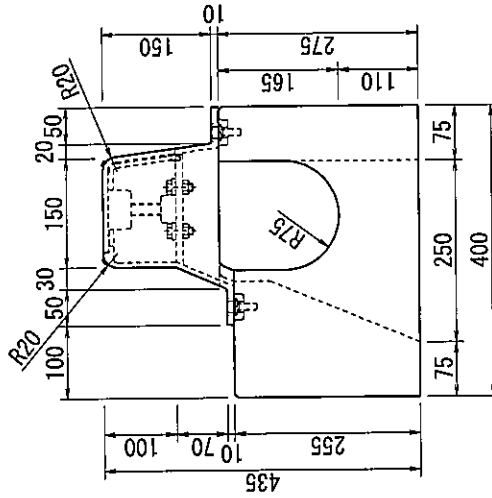
平面図



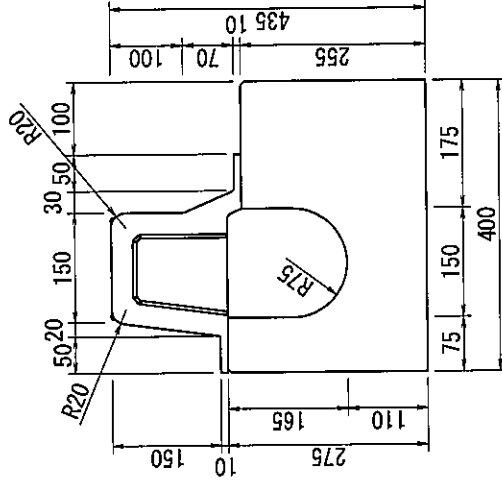
正面図



左側面図



右側面図



参考質量
 本体 88kg
 ーバイコン 25kg
 点検蓋-FC D 113kg
 合計

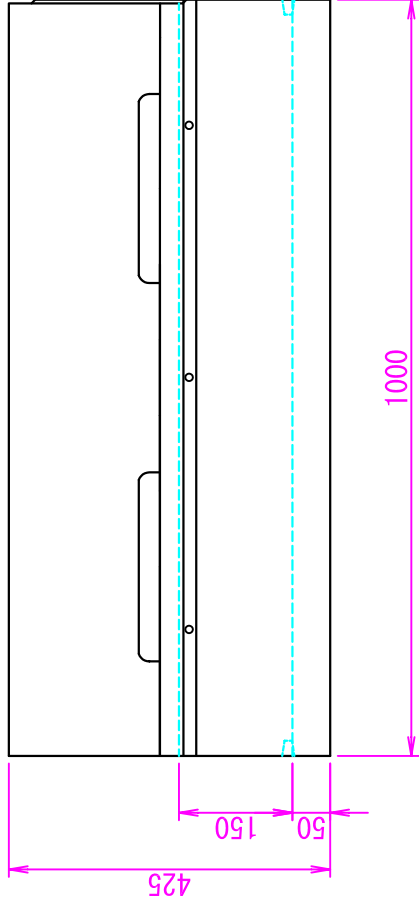
名	ライン導水ブロックF型 製品図			図面番号
称	縁石柵A点検 (加・ゲレ) (LF-670(加), LF-671(ゲレ))			LS-0601
製	製	年	縮	日
日	日	月	尺	日
01	20	04	1/10	01
日	年	月	縮尺	日
製	製	株式会社		
日	日	アイ・エー・エー		
01	20	アイ・エー・エー		
日	年	アイ・エー・エー		
	月	アイ・エー・エー		
		アイ・エー・エー		

(品目C : 10670(加), 10671(ゲレ))

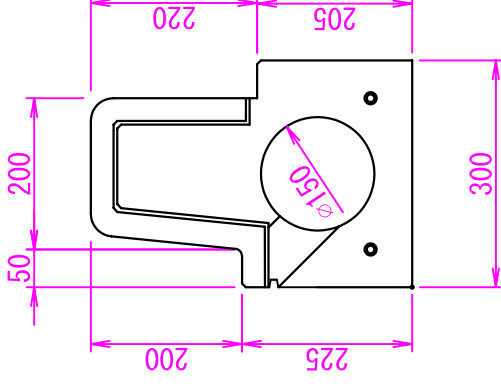
標準B

参考質量
バイコン 205kg
ポークラス 176kg

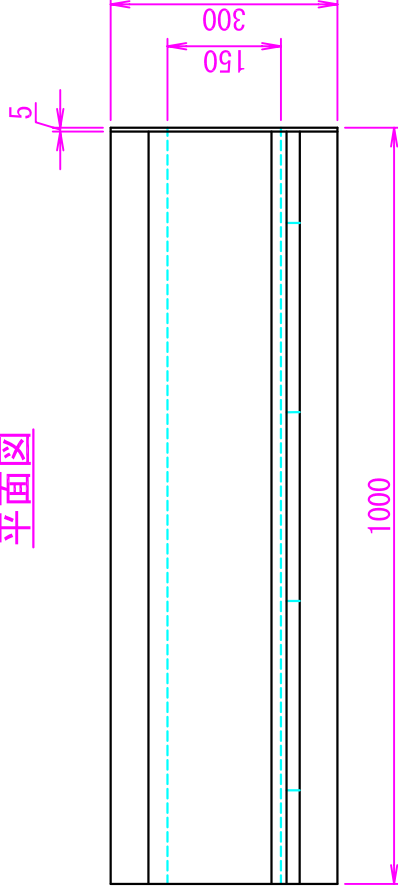
正面図



側面図



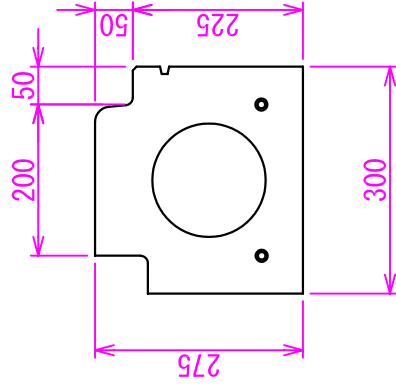
平面図



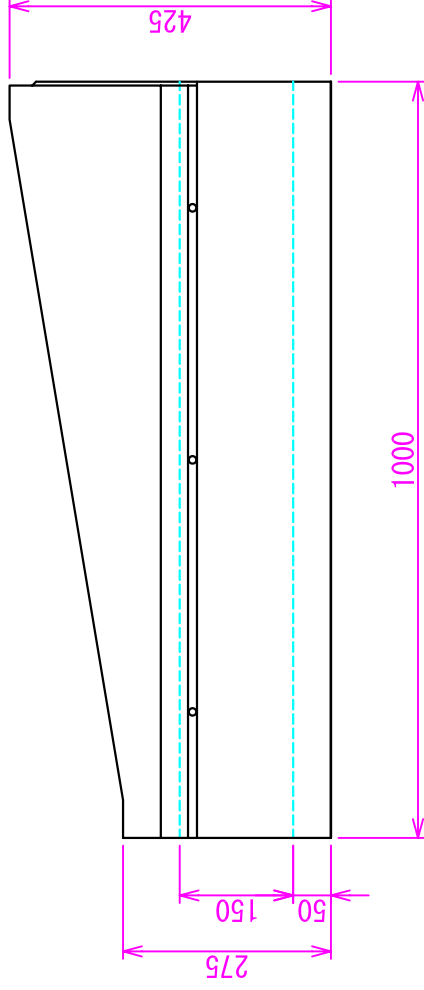
名称 (title) ライン導水ブロック型 標準	図面番号 (Draw.No) LS-0006
平成 17年 7月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

擦付B 車乗 フラット5 右

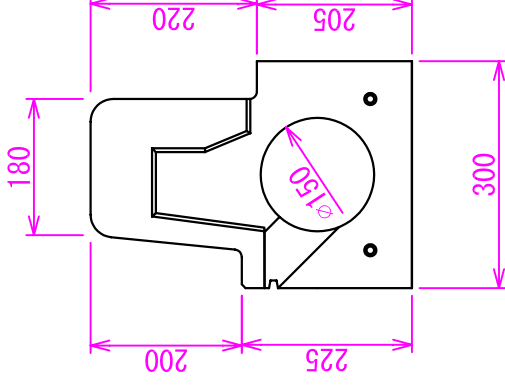
側面図



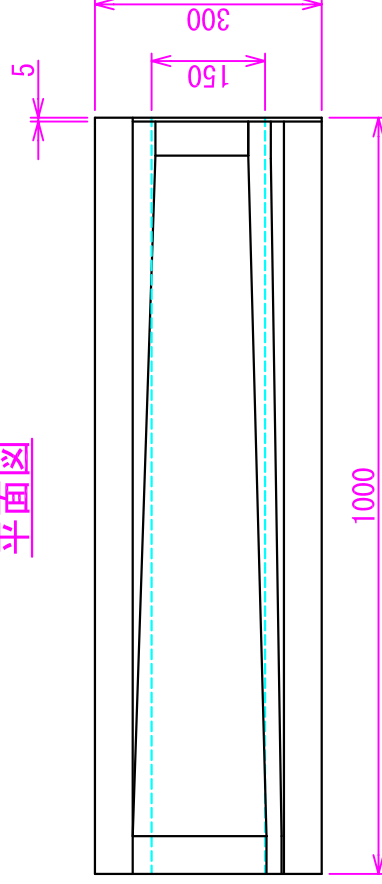
正面図



側面図



平面図

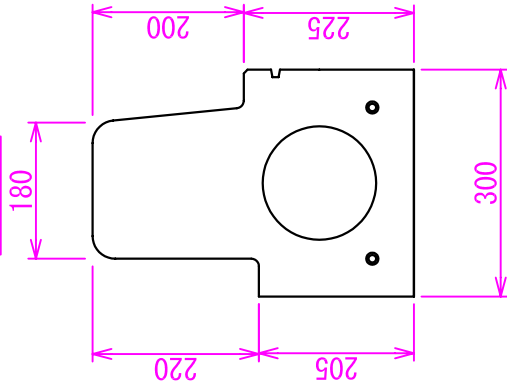


参考質量
バイコン 174k g

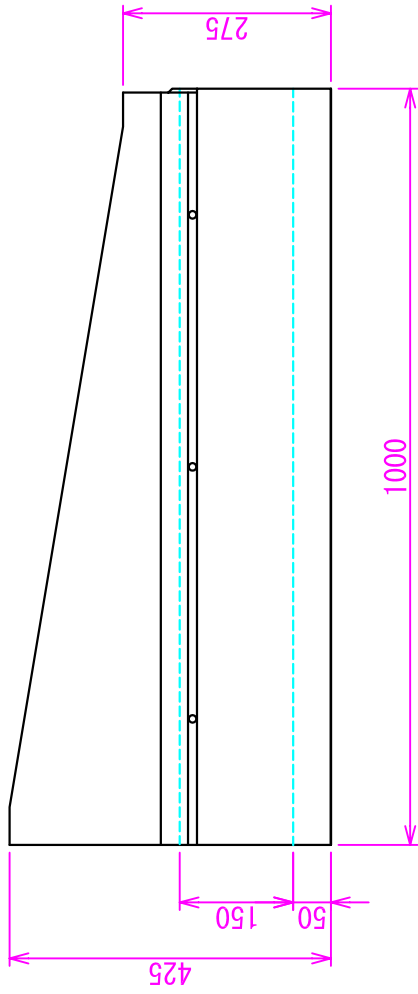
名称(title) ライン導水ブロックF型 擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0407
平成 18年 7月 10日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

擦付B 車乗 フラット5 左

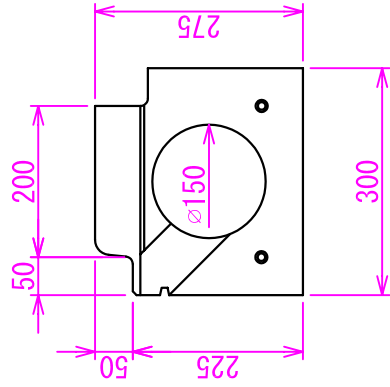
側面図



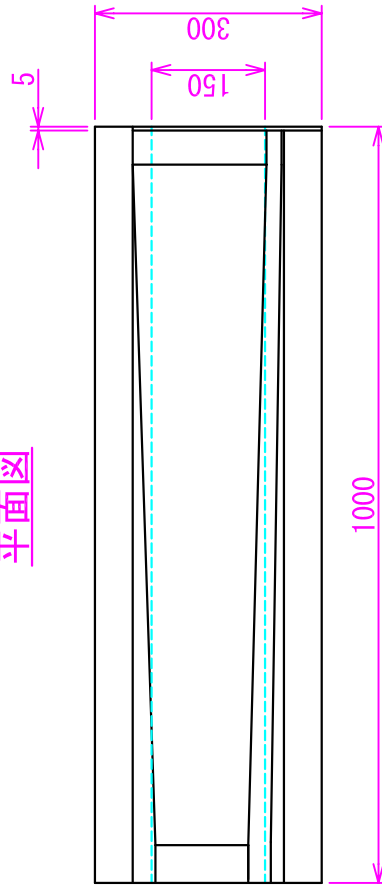
正面図



側面図



平面図

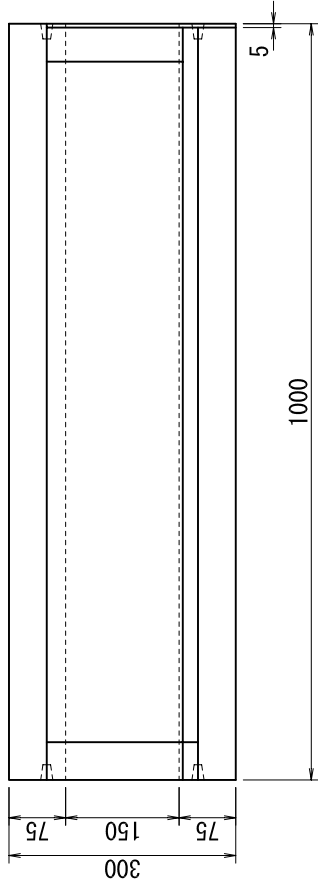


参考質量
バイコン 174kg

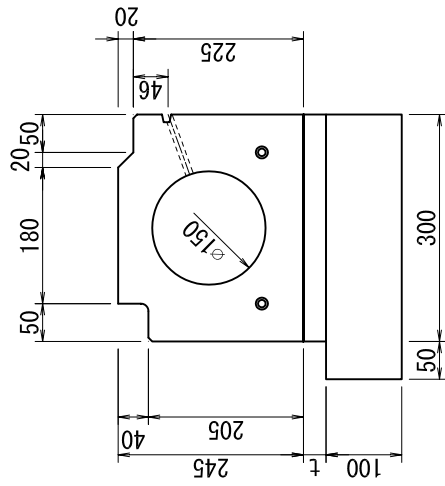
名称 (title) ライン導水ブロックF型 擦付・車乗用	図面番号 (Draw.No) LS-0409
平成 18年 7月 10日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 擦付B 歩切フラット2 右

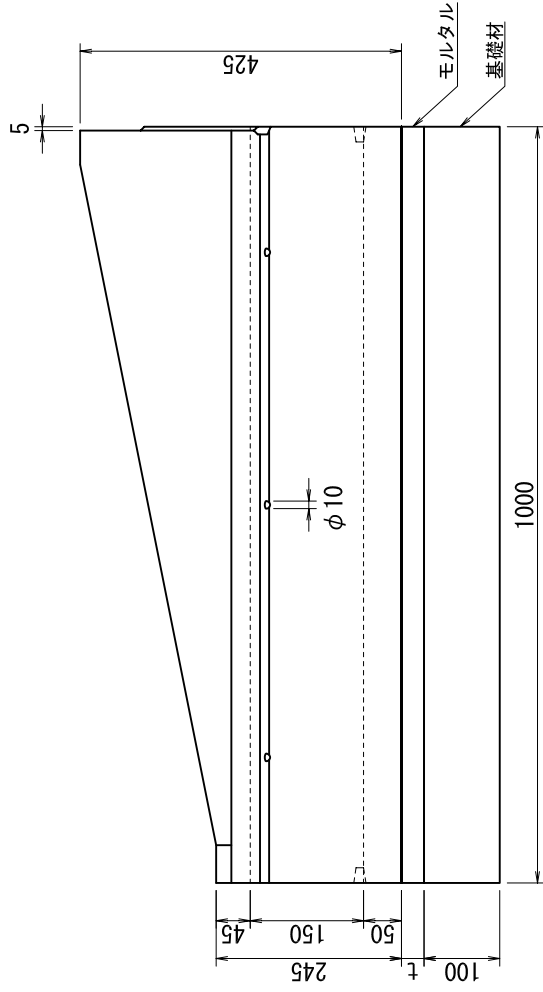
平面図



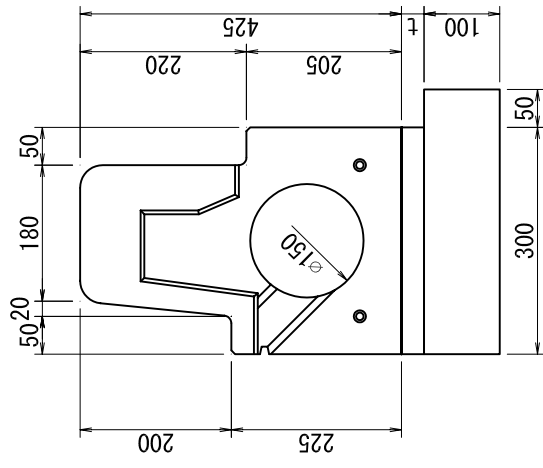
左側面図



正面図

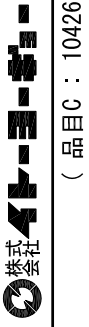


右側面図



参考質量
 バイコン 170kg

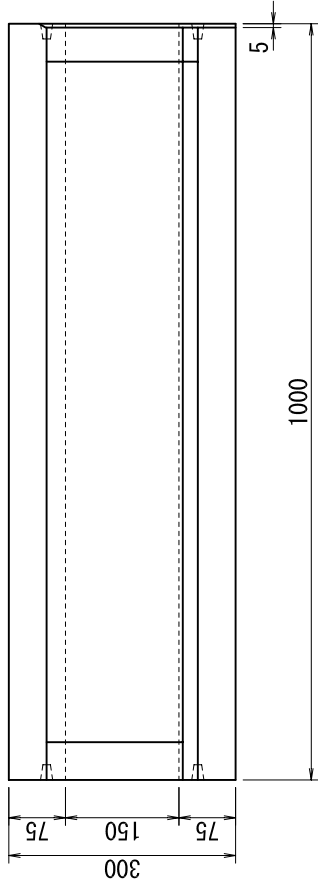
名	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図	図面番号	LK-0403
称	擦付B 歩切フラット2 右		
製	年月日	2010年08月01日	
図	検尺	縮尺	1/10
宮	関野		
崎			



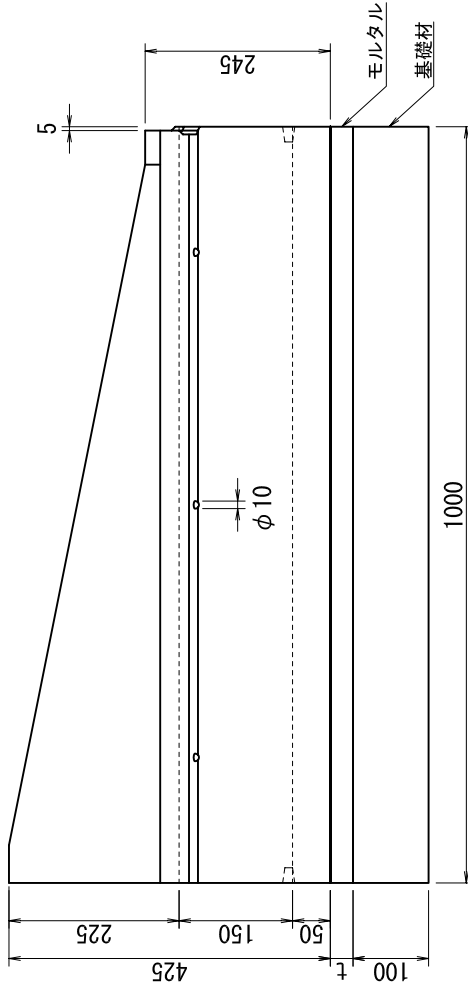
(品目C : 10426)

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 擦付B 歩切フラット2 左

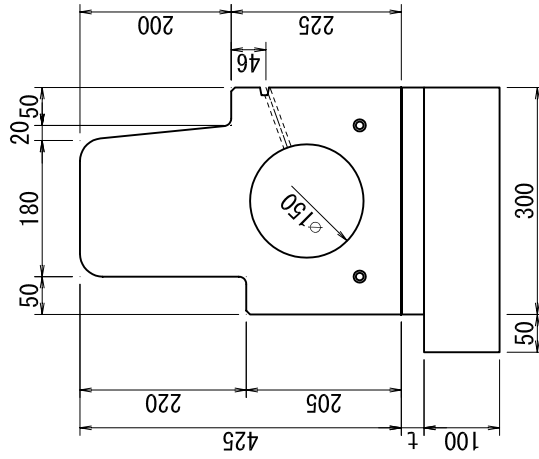
平面図



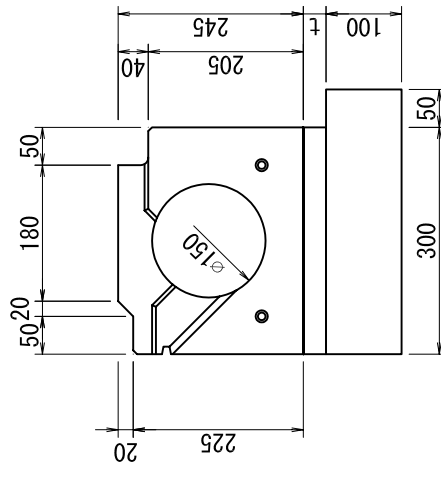
正面図



左側面図



右側面図



参考質量
 バイコン 170kg

名 称	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図 擦付B 歩切フラット2 左 (LF-427)			図面番号	LK-0419
製 図	検 尺	縮 尺	年 月 日	2010 年 08 月 01 日	
宮 崎	関 野	1/10			



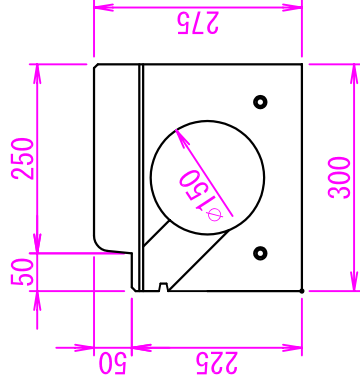
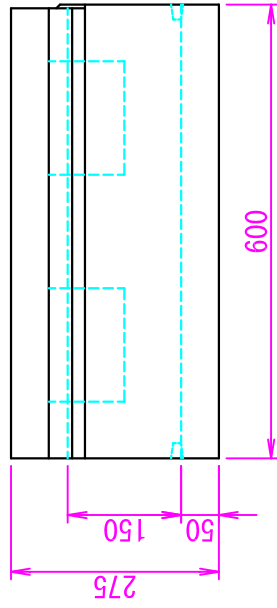
(品目C : 10427)

車両乗入 フラット 5cm段差

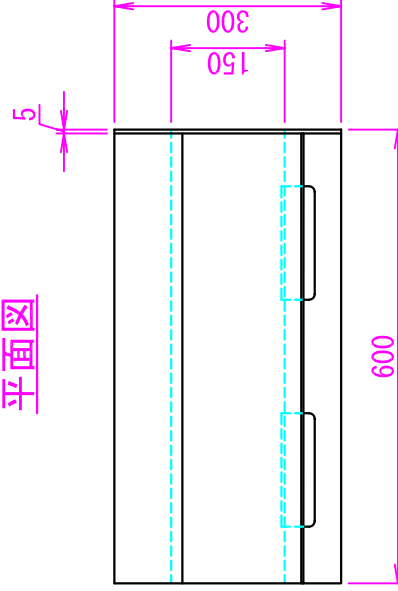
正面図

参考質量 88kg

側面図



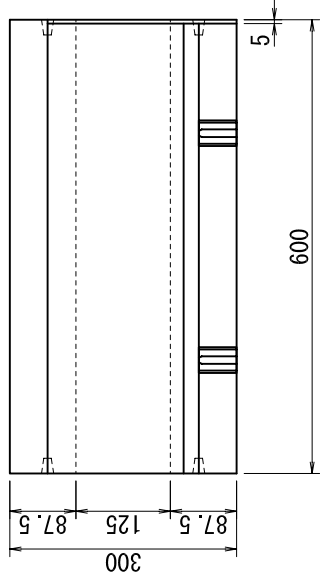
平面図



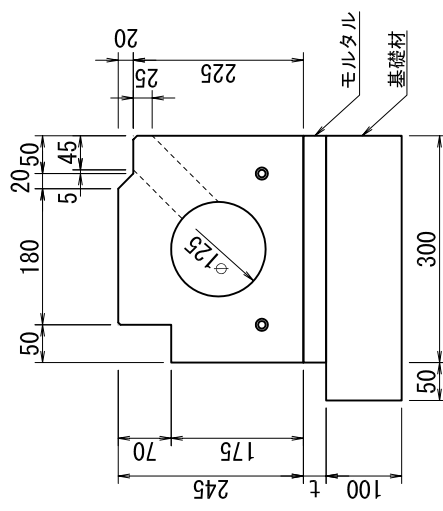
名称 (title) ライン導水ブロックF型 車両乗入	図面番号 (Draw.No) LS-0101
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
歩道切下フラット2CM 直線 VP

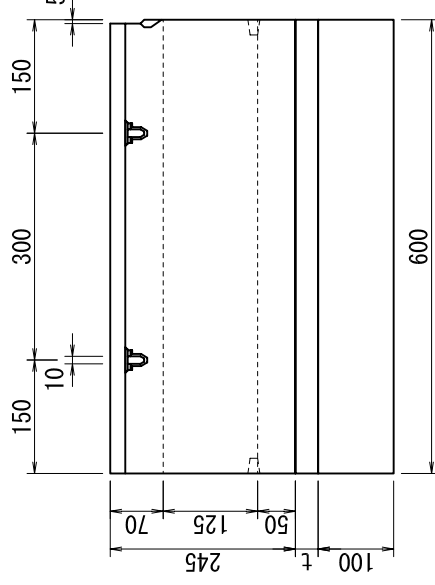
平面図



側面図



正面図



参考質量
バイコン 77kg

名称	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図 歩道切下フラット2CM 直線 VP (LF-298)			図面番号	LK-0202
製図	検図	縮尺	年月日	2010年08月01日	
宮崎	関野	1/10			

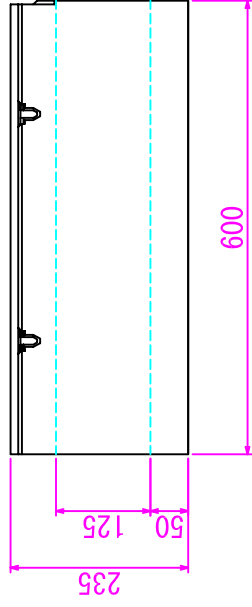


(品目C : 10298)

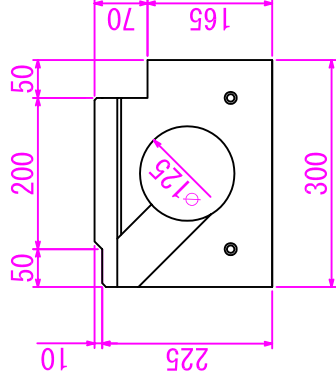
歩道切下 フラット 1cm段差 直線

参考質量 バイコン74kg
ポークラス70kg

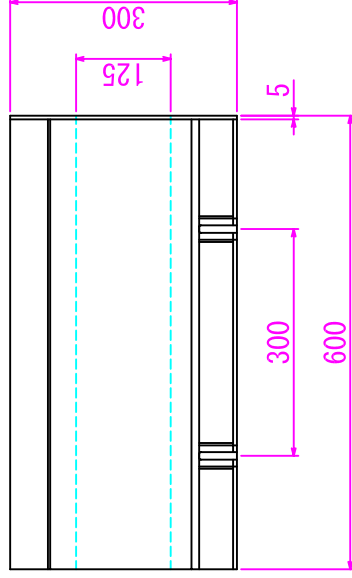
正面図



側面図



平面図

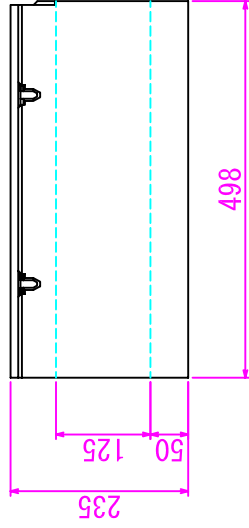


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0201
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

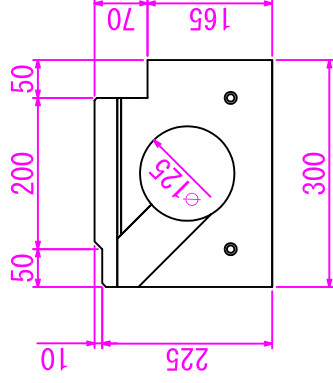
歩道切下 フラット 1cm段差 R2.5

参考質量 バイコン58kg
ポラス54kg

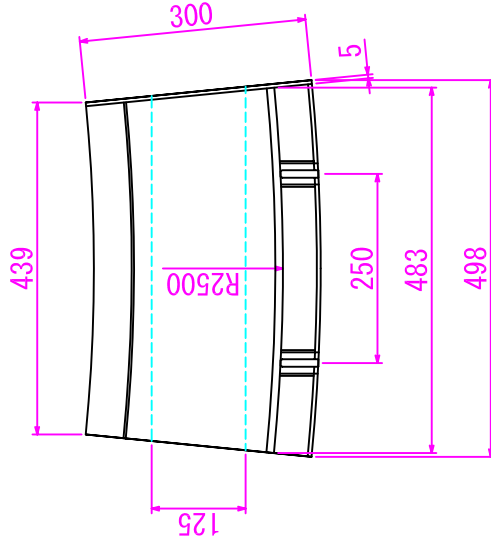
正面図



側面図



平面図

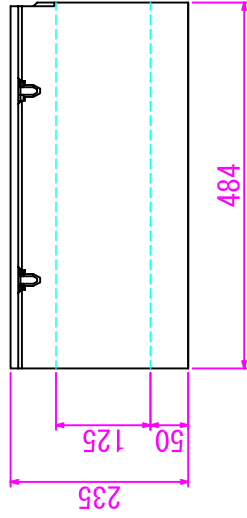


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0209
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

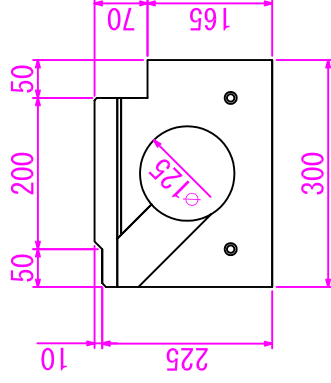
歩道切下 フラット 1cm段差 R1.5

参考質量 バイコン55kg
ポラス51kg

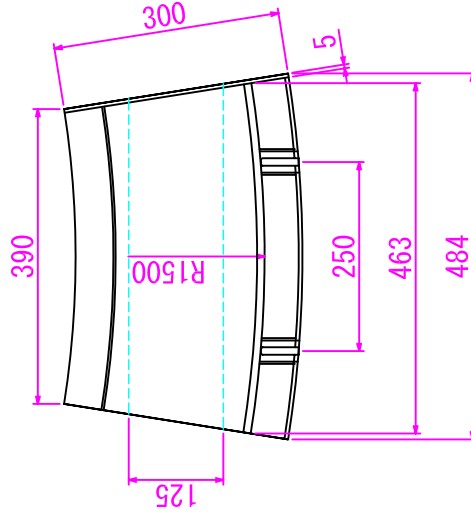
正面図



側面図



平面図

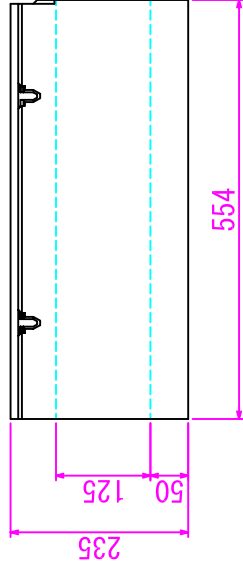


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0208
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

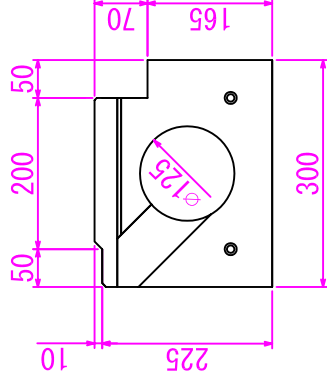
歩道切下 フラット 1cm段差 R3.5

参考質量 バイコン66kg
ポーラス62kg

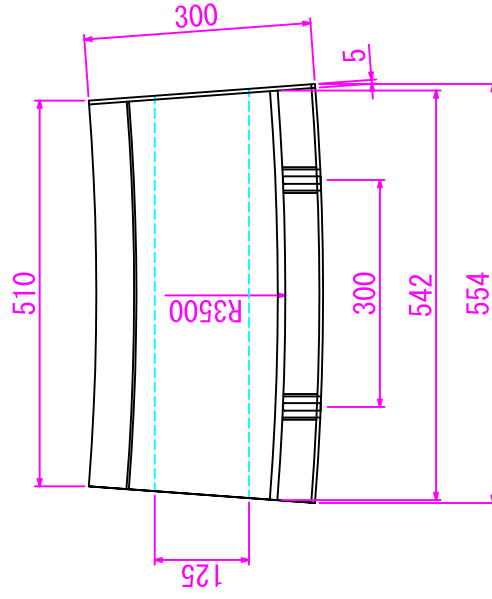
正面図



側面図



平面図

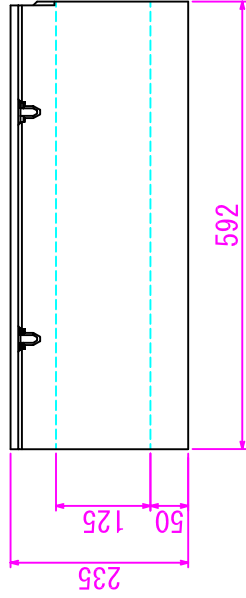


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0210
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

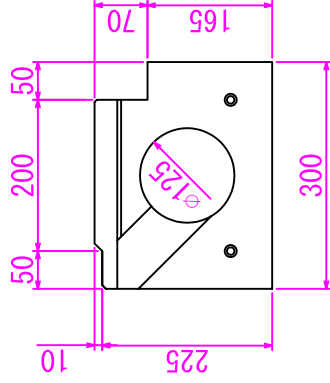
歩道切下 フラット 1cm段差 R4.5

参考質量 バイコン69kg
ポース65kg

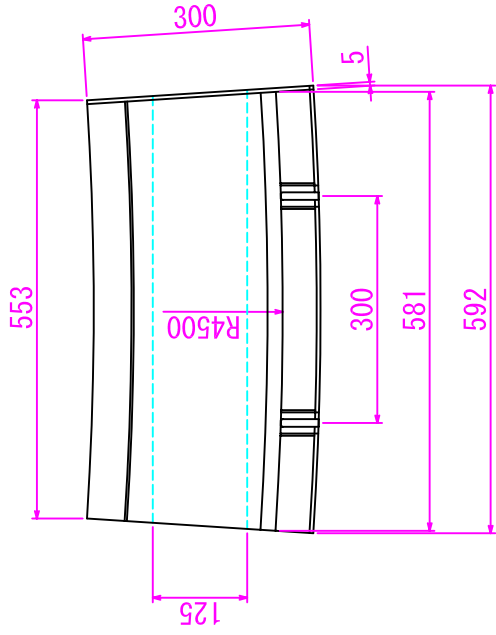
正面図



側面図



平面図

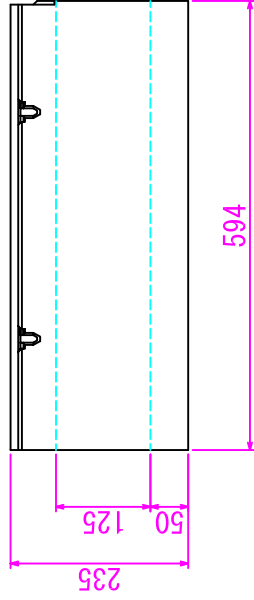


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0218
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

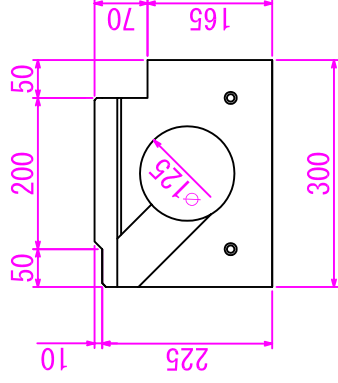
歩道切下 フラット 1cm段差 R6.0

参考質量 バイコン73kg
ポーラス69kg

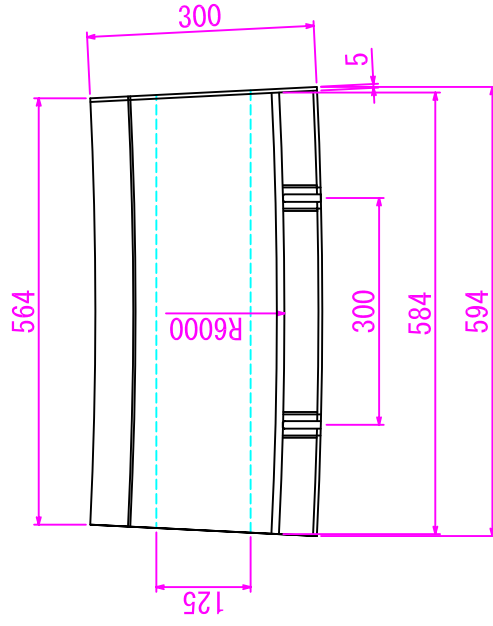
正面図



側面図



平面図

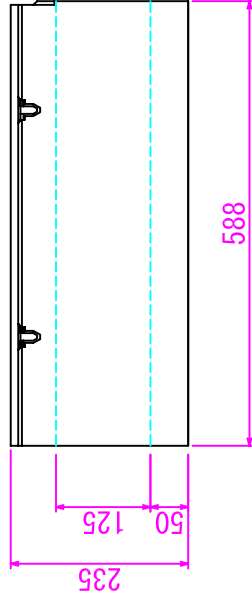


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0211
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

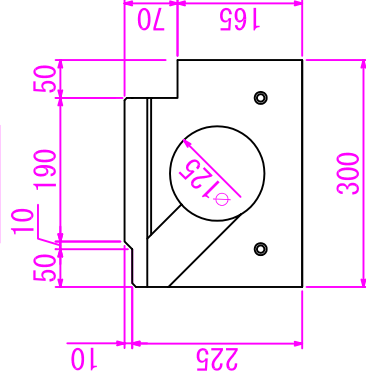
歩道切下 フラット 1cm段差 R12.0

参考質量 バイコン74kg
ポークラス70kg

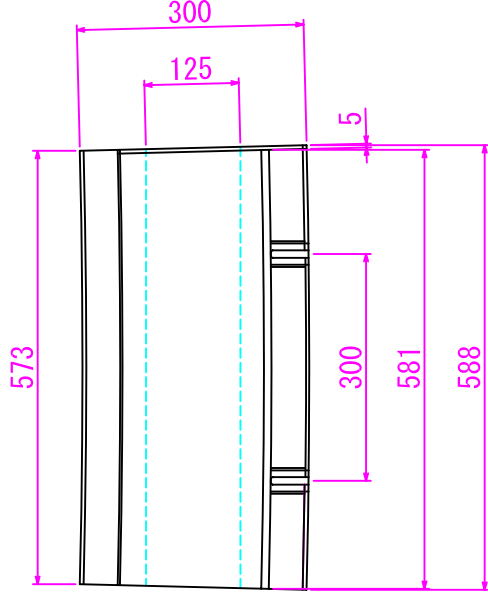
正面図



側面図



平面図



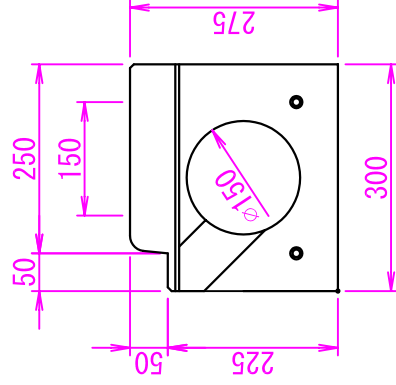
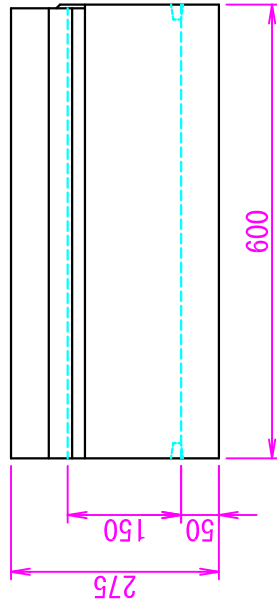
名称(title) ライン導水ブロック切下 F2	図面番号(Draw.No) LS-0230
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

車両乗入 フラット 5cm 点検口

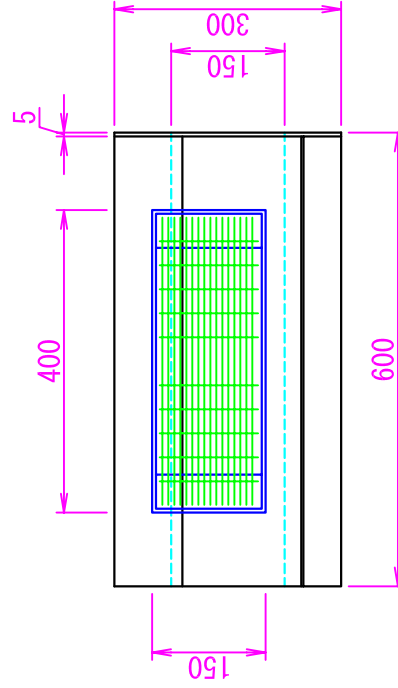
正面図

参考質量 84kg

側面図



平面図



名称 (title) ライン導水ブロックF型 車両乗入	図面番号 (Draw.No) LS-0110
平成 20年 10月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

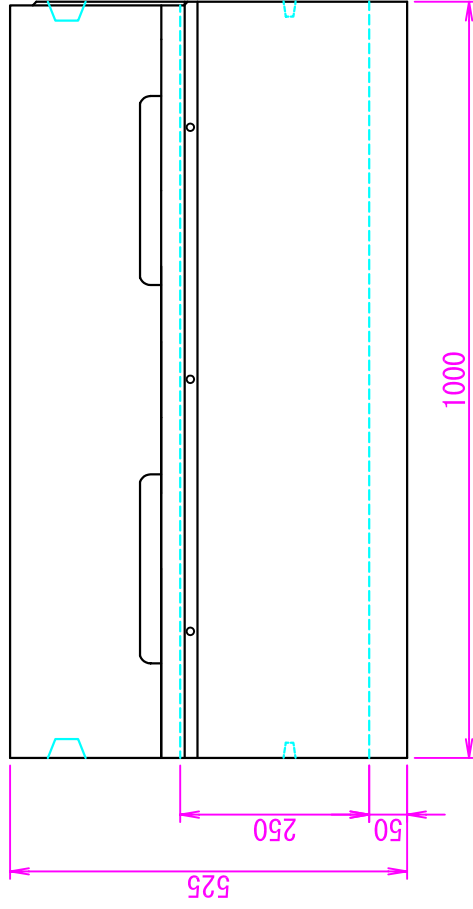
標準B 200相当

参考質量

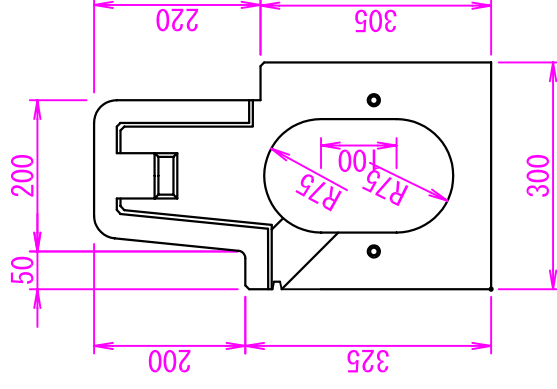
ハイコン 236kg

ポークス 203kg

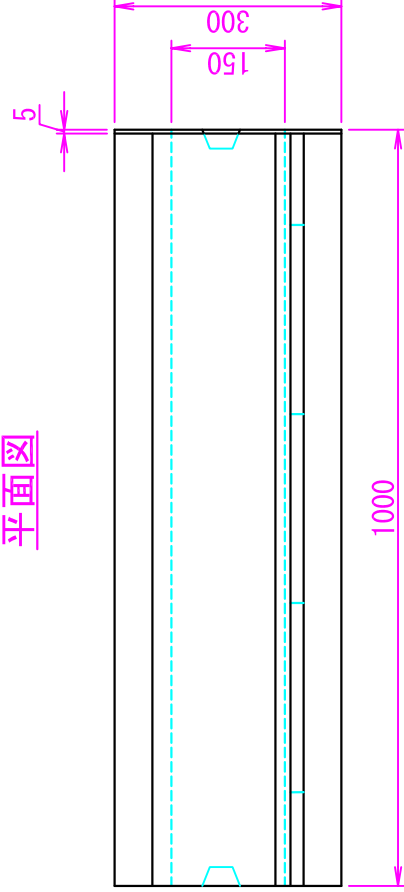
正面図



側面図



平面図

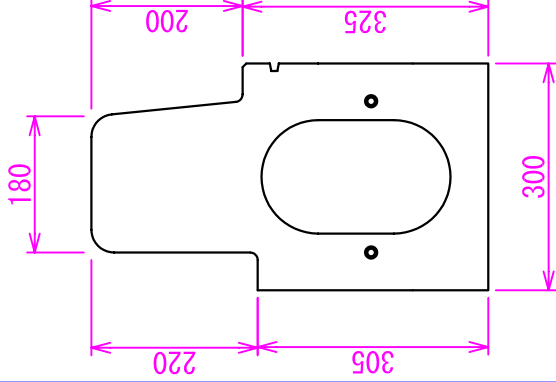


名称 (title)	図面番号 (Draw.No)
ライン導水ブロック型 標準	LS-0007
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

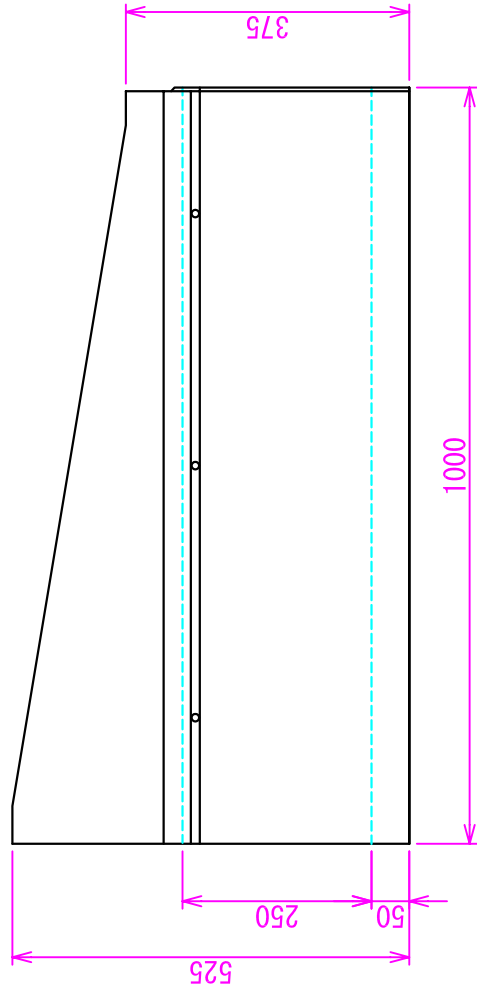
擦付B 車両乗入 フラット5cm段差 200相当 左

参考質量 210kg

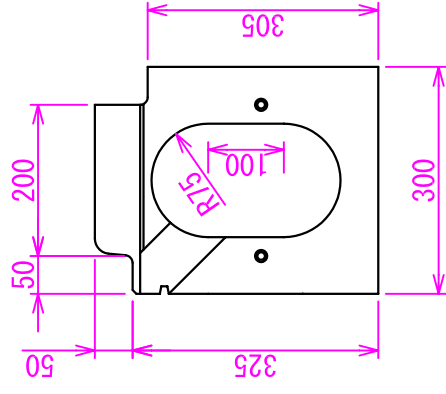
側面図



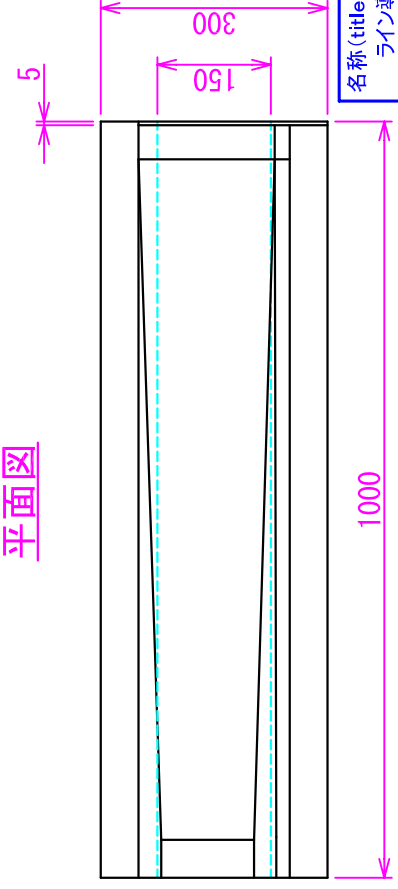
正面図



側面図



平面図

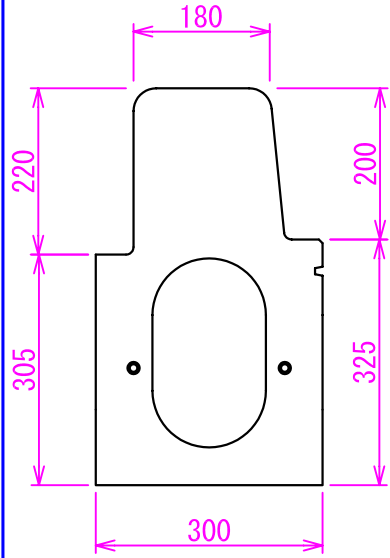


名称(title)	ライン導水ブロック型 擦付・車乗用	図面番号(Draw.No)	LS-0432
平成	18年 11月 1日	Scale	1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)			

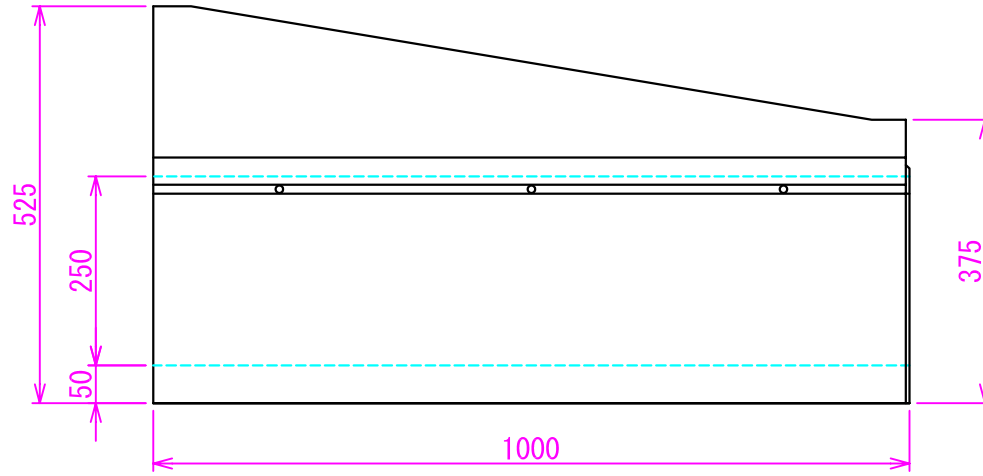
擦付B 車両乗入 フラット5 cm段差 200相当 左

参考質量 210 kg

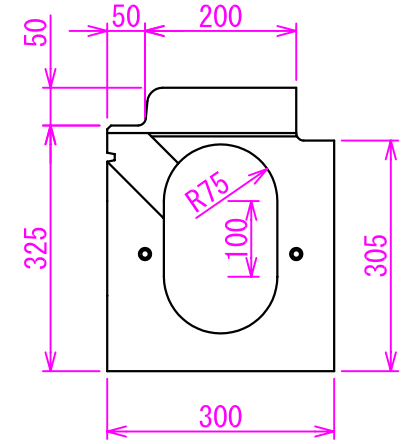
側面図



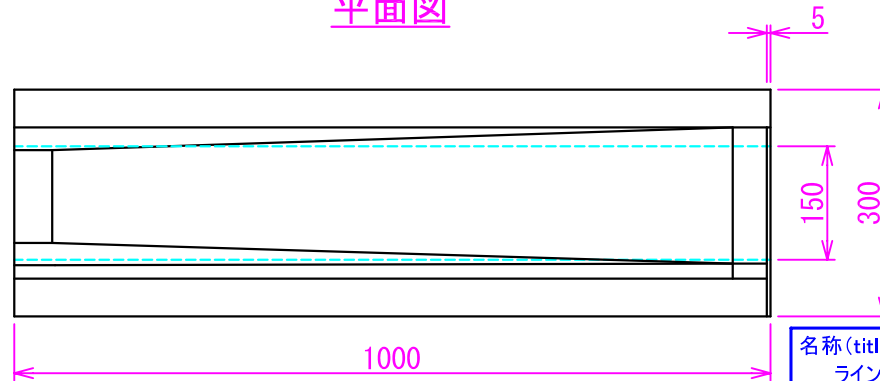
正面図



側面図



平面図

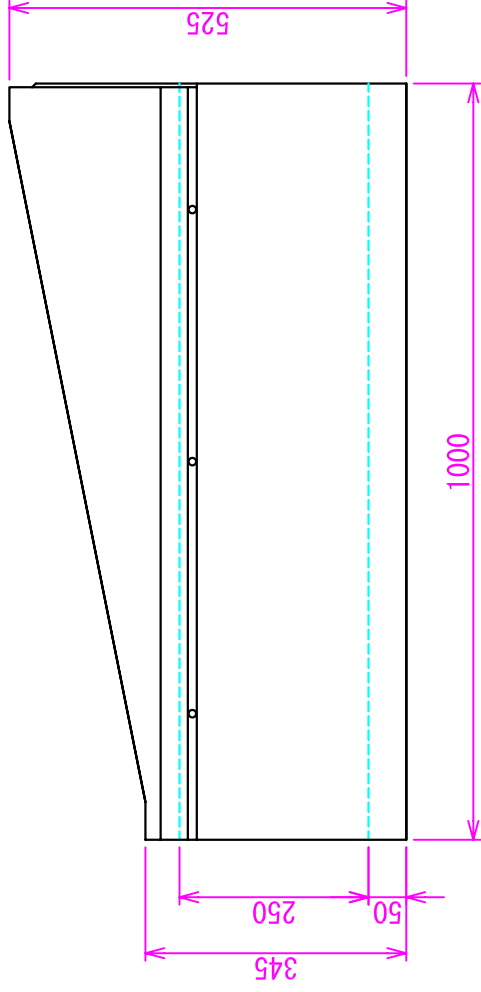


名称(title) ライン導水ブロック型 擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0432
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

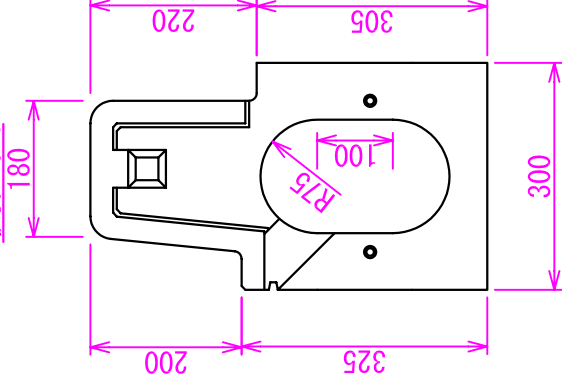
擦付B 車両乗入 フラット2cm段差 200相当 右

参考質量 198kg

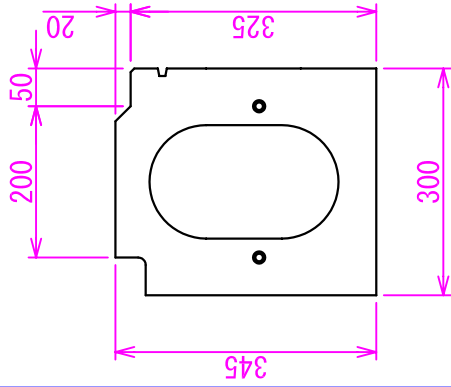
正面図



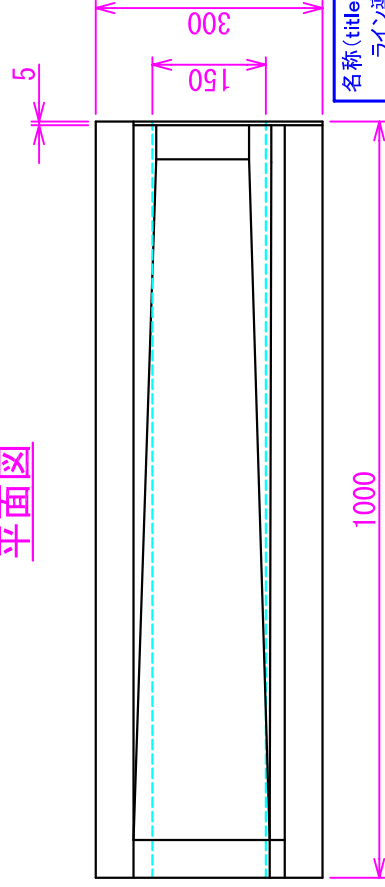
側面図



側面図



平面図



名称(title)

ライン導水ブロック型 擦付・車乗用

図面番号(Draw.No)

LS-0415

平成 18年 11月 1日

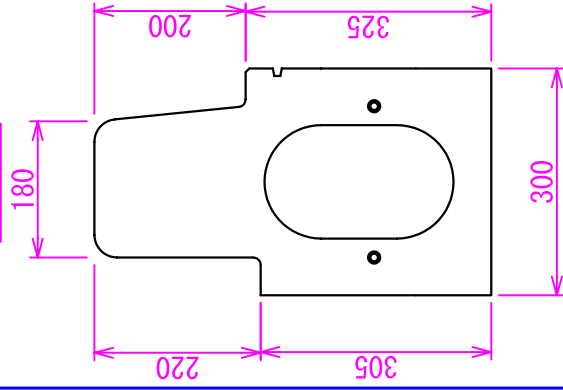
Scale 1/10

イトーヨーギョー
(ITO YOGYO CO.LTD)

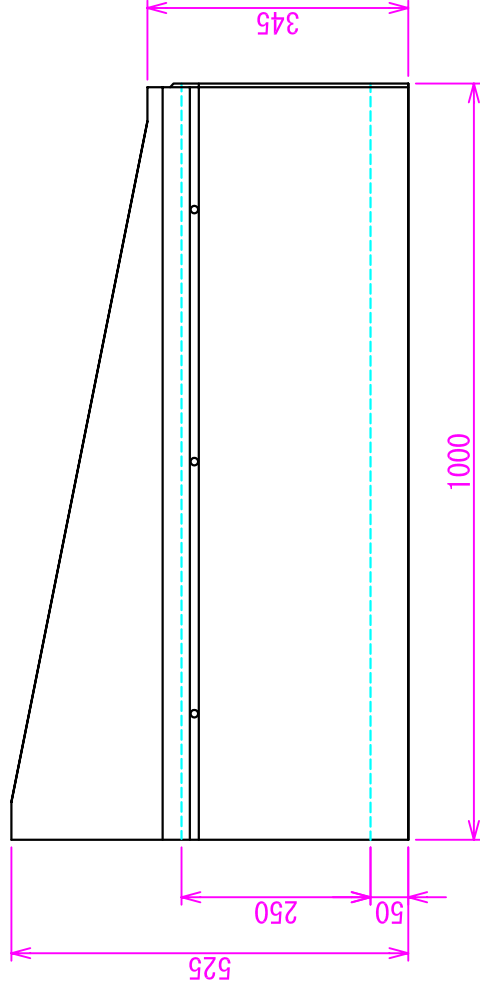
擦付B 車両乗入 フラット2cm段差 200相当 左

参考質量 198kg

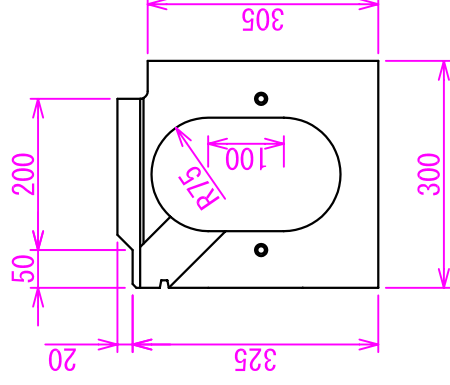
側面図



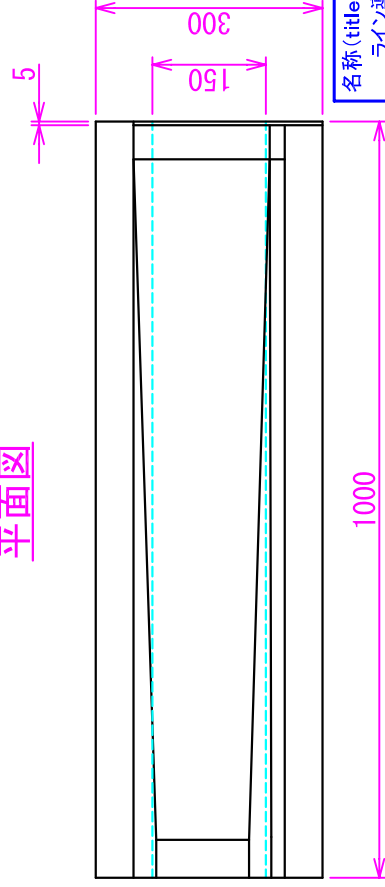
正面図



側面図



平面図



名称(title)

ライン導水ブロック型 擦付・車乗用

図面番号(Draw.No)

LS-0410

平成

18年 11月 1日

Scale

1/10

イトーヨーギョー
(ITO YOGYO CO.LTD)

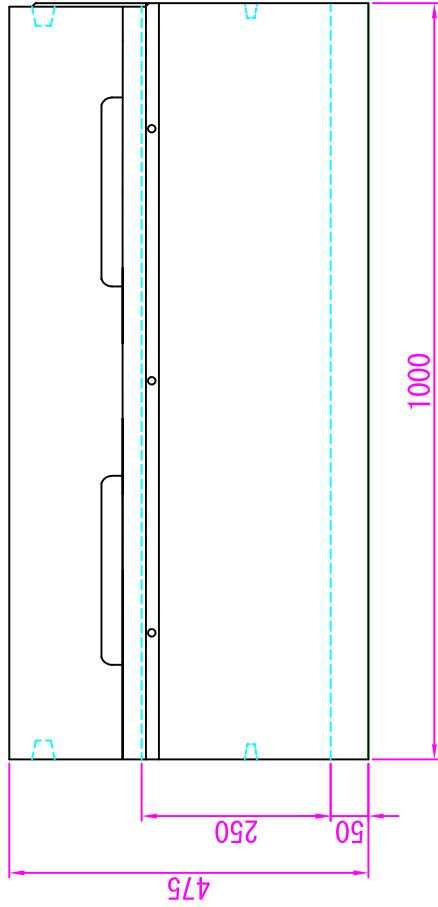
標準A 200相当

正面図

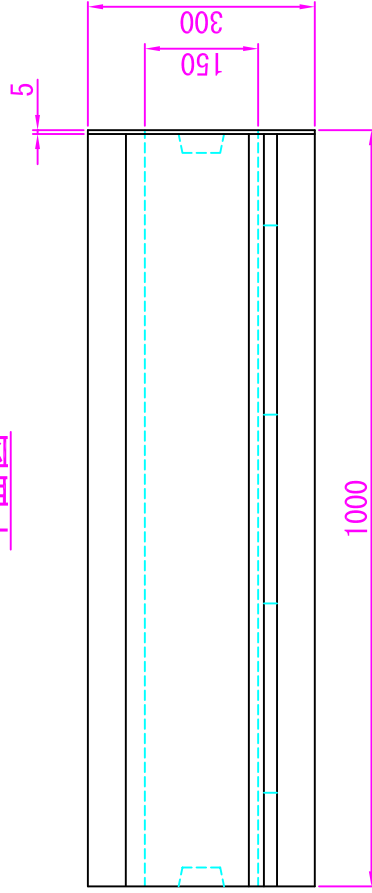
参考質量

バイコン 203kg

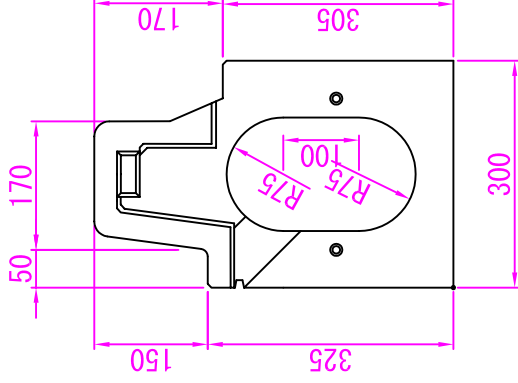
ポークラス 175kg



平面図



側面図



名称(title)

ライン導水ブロック型 標準

平成 18年 11月 1日

Scale 1/10

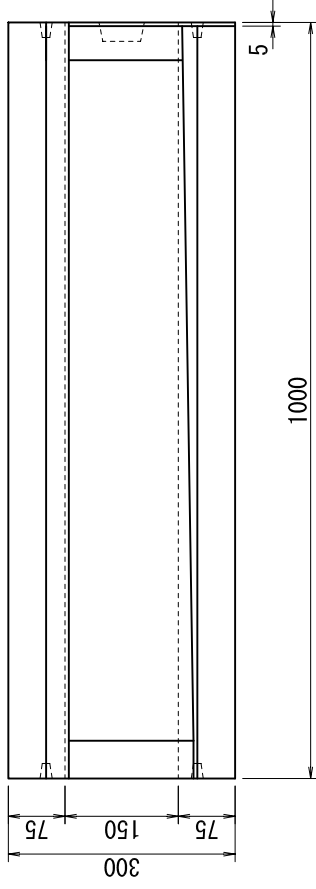
図面番号(Draw.No)

LS-0012

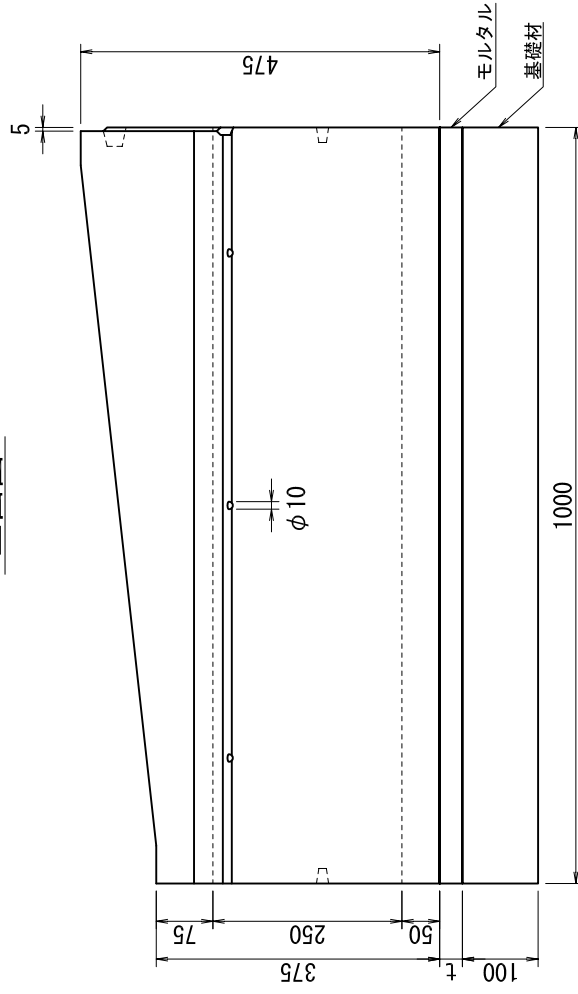
イトーヨーギョー
(ITO YOGYO CO.LTD)

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 擦付A 車乗 フラット5 200相 右

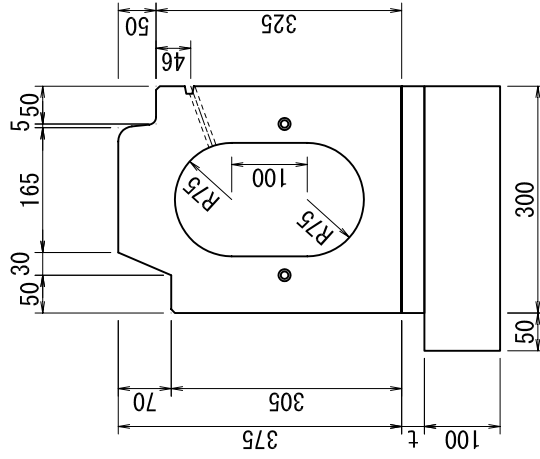
平面図



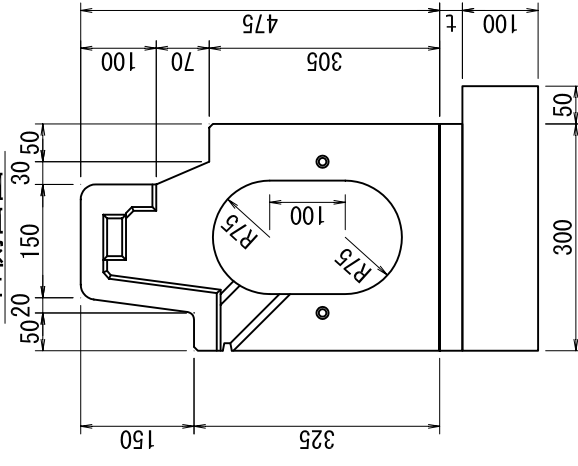
正面図



左側面図



右側面図

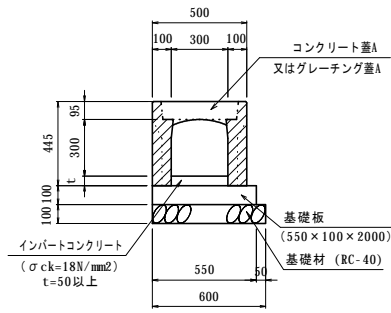


参考質量
 バイコン 193kg

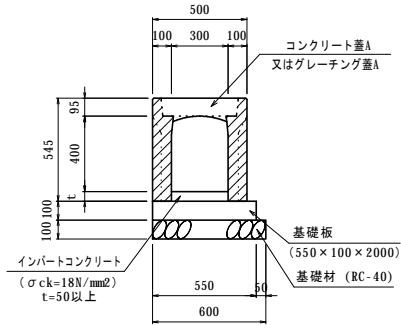
名	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図	図面番号	LK-0433
称	擦付A 車乗 フラット5 200相 右 (LF-494)		
製	年月日	2010 年 08 月 01 日	
図	検尺	縮尺	1/10
宮	関野		
			株式会社

1工区 自由勾配側溝構造図(1)

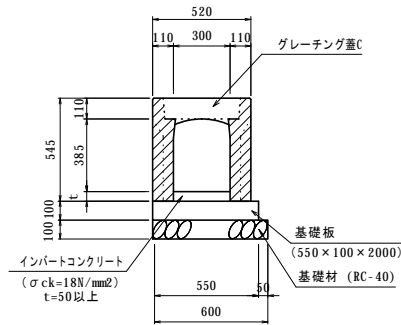
自由勾配側溝A型
(縦断用 B300×H300) S=1:20



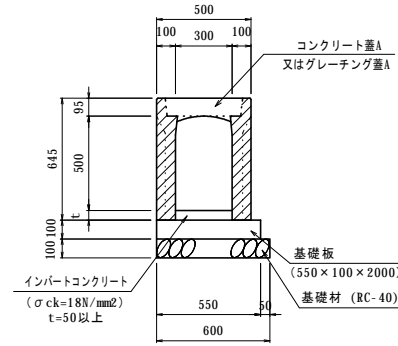
自由勾配側溝B型
(縦断用 B300×H400) S=1:20



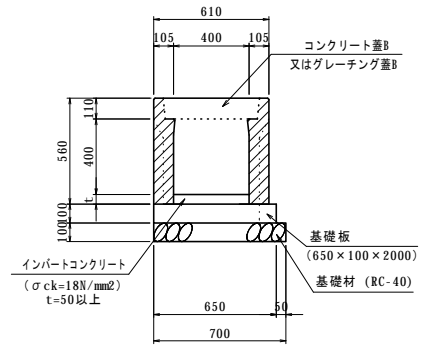
自由勾配側溝C型
(横断用 B300×H400) S=1:20



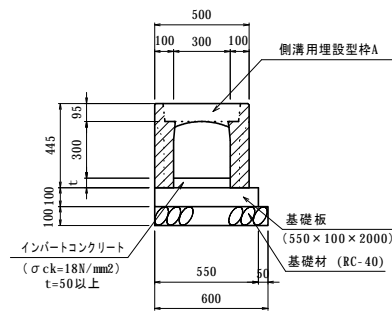
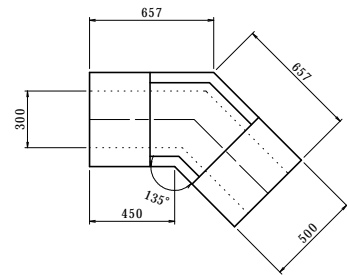
自由勾配側溝D型
(縦断用 B300×H500) S=1:20



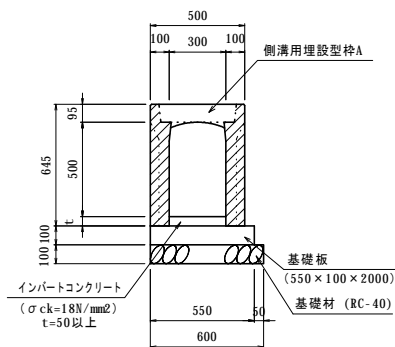
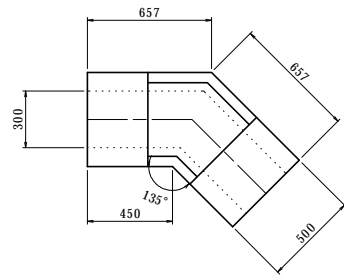
自由勾配側溝E型
(縦断用 B400×H400) S=1:20



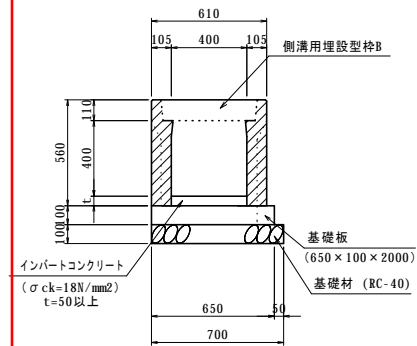
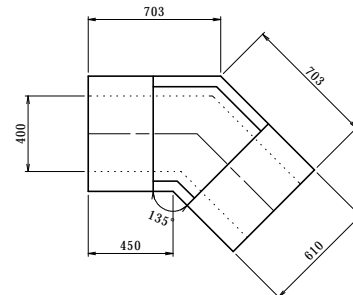
自由勾配側溝F-1型
(コーナー品 B300) S=1:20



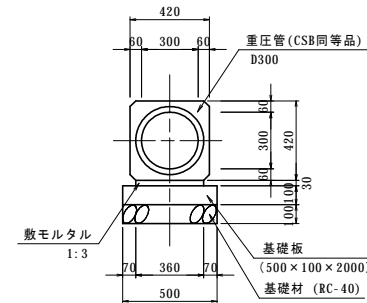
自由勾配側溝F-2型
(コーナー品 B300) S=1:20



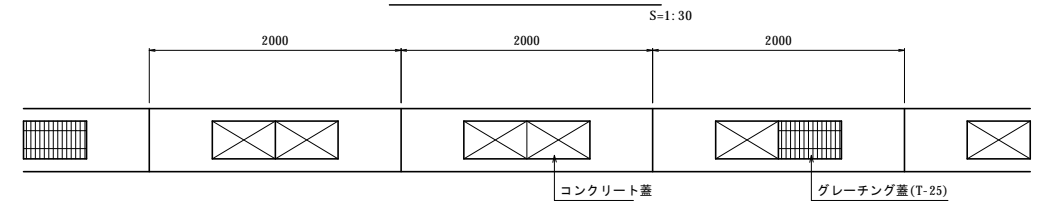
自由勾配側溝G型
(コーナー品 B400) S=1:20



道路横断管渠
(重圧管 D300) S=1:20



標準側溝蓋配置図



※上図は、標準的な配置図であり、民地からの流出管があるので現場に応じて配置すること。

年度	平成29年度	番号	15	20
路線名	父鬼和気線			
工事名				
所属地名				
図面名	1工区 自由勾配側溝構造図(1)			
縮尺	図示	作成年日	平成30年3月	
大阪府風土木事務所				

VS

自由勾配側溝

隅切製品用蓋板45度用
(水路巾250~600mmのもの)

隅切製品用蓋板90度用
(水路巾300~600mmのもの)

●45度用 鉄筋コンクリート蓋板



●90度用 鉄筋コンクリート蓋板



寸法・配筋および重量など詳細は、承認図面をご参照下さい。

呼び名	参考重量 (kg)	尺 寸 (mm) (a×b-c×d)
250用	47	350×414-223×80
300用	38	400×457-271×95
400用	32	600×660-272×110
500用	135	600×624-272×125
600用	137	710×567-271×140

呼び名	参考重量 (kg)	尺 寸 (mm) (a×b×c)
300用	54	606× 706× 55
400用	158	506× 815×120
500用	205	816× 919×125
600用	225	927×1,025×129

●45度用 グレーティング蓋板



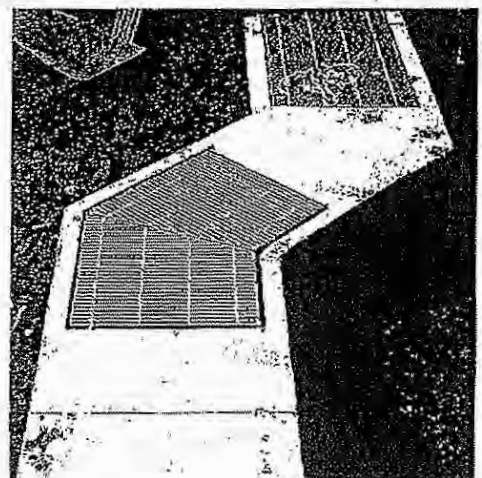
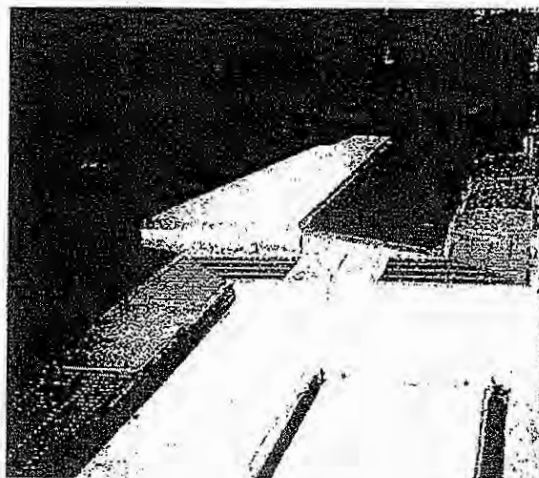
●90度用 グレーティング蓋板



寸法および重量など詳細は、承認図面をご参照下さい。
●90度用(標準)に2枚1組になります。

呼び名	参考重量 (kg)		尺 寸 (mm) (a×b-c×d)
	T-25	T-6	
250用	8.7	7.6	340×410-225×80
300用	11.7	8.6	390×421-250×95
400用	13.0	12.0	450×485-252×110
500用	23.7	16.3	590×506-254×125
600用	41.7	22.2	690×552-256×140

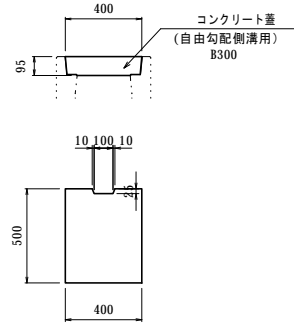
呼び名	参考重量 (kg)		尺 寸 (mm) (a×b-c×d)
	T-25	T-6	
300用	16.9	12.4	300× 525-221× 25
400用	21.1	13.1	400× 700-300×110
500用	48.6	30.0	500× 835-305×125
600用	61.8	37.1	600×1,000-310×120



1工区 自由勾配側溝構造図(2)

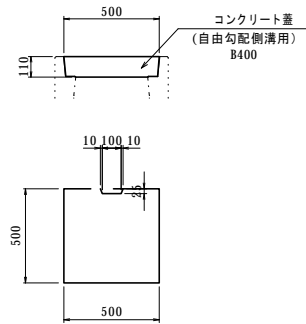
コンクリート蓋A

S=1:20



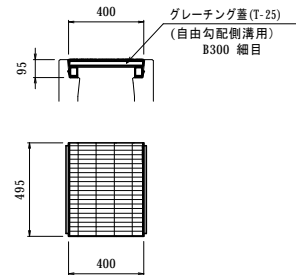
コンクリート蓋B

S=1:20



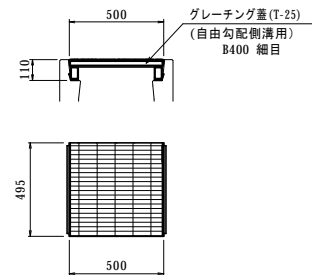
グレーチング蓋A

S=1:20



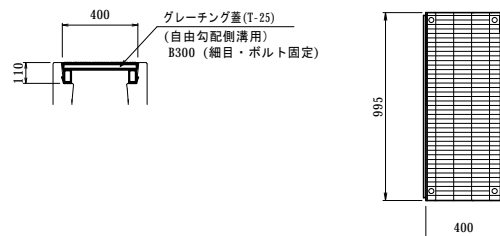
グレーチング蓋B

S=1:20



グレーチング蓋C

S=1:20

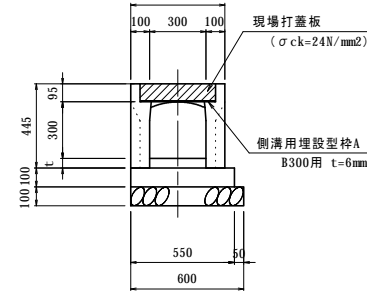


側溝用埋設型枠A

B300用

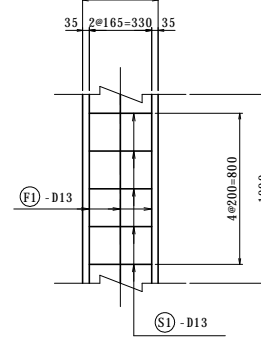
断面図

S=1:20



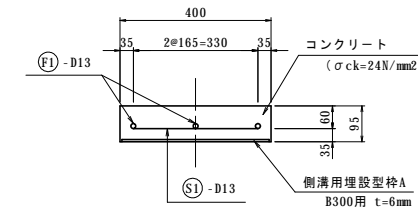
平面図

S=1:20



蓋版断面図

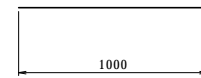
S=1:10



鉄筋加工図



Ⓢ1 5- D13×330



Ⓢ1 3- D13×1000

側溝用埋設型枠A 鉄筋数量表

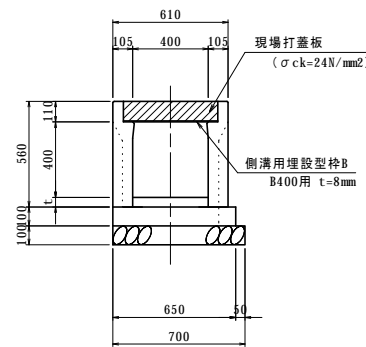
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	摘要	m当り数量
S1	D13	330	5	0.995	0.328	1.64	—		
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	—		
						計			4.63 kg
						D13			4.6 kg

側溝用埋設型枠B

B400用

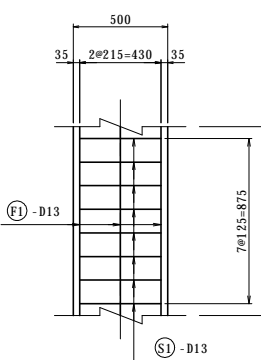
断面図

S=1:20



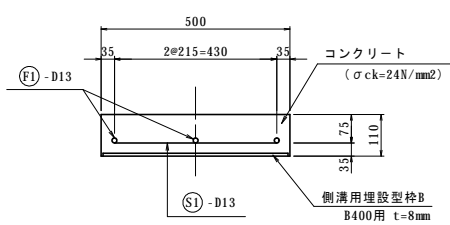
平面図

S=1:20



蓋版断面図

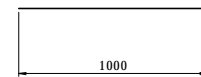
S=1:10



鉄筋加工図



Ⓢ1 8- D13×430



Ⓢ1 3- D13×1000

側溝用埋設型枠B 鉄筋数量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	摘要	m当り数量
S1	D13	430	8	0.995	0.428	3.42	—		
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	—		
						計			6.41 kg
						D13			6.4 kg

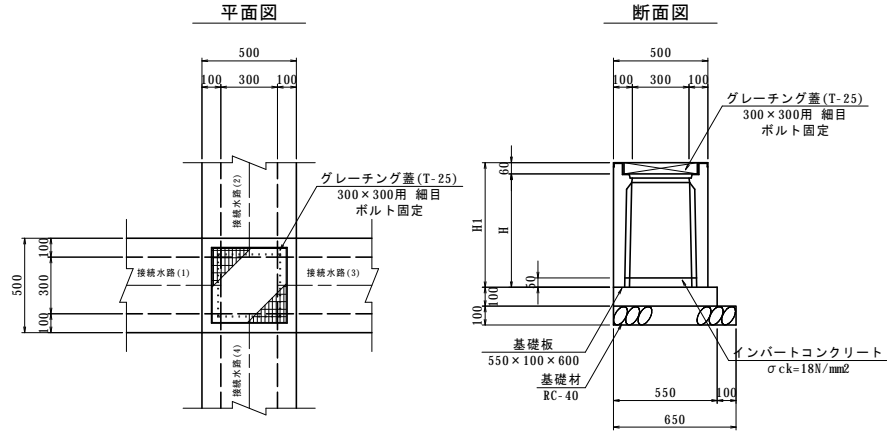
年度	平成29年度	番号	16	20
路線名	父鬼和気線			
工事名				
所属地名				
図面名	1工区 自由勾配側溝構造図(2)			
縮尺	図示	作成年日	平成30年3月	
大阪府鳳土木事務所				

1工区 集水樹構造図

集水樹工A型

S=1:20

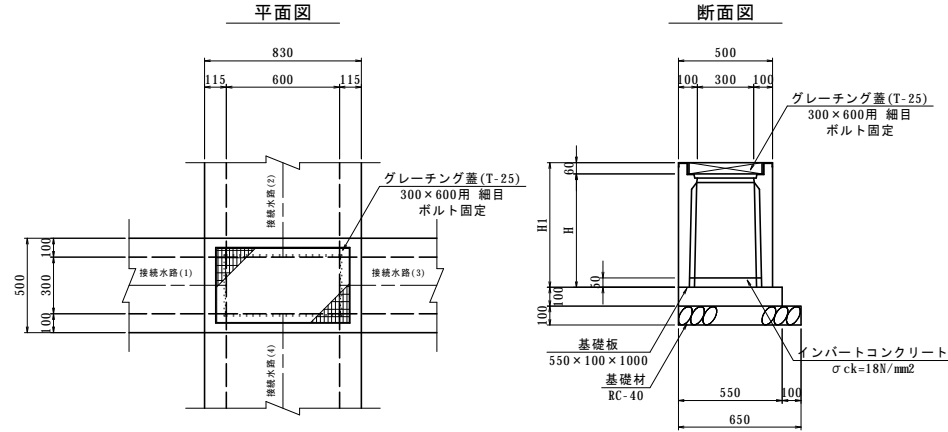
300×300



集水樹工B型

S=1:20

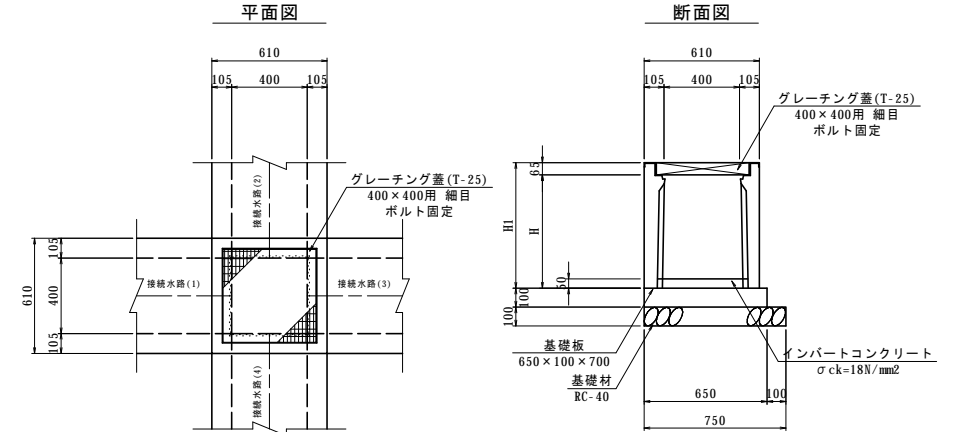
300×600



集水樹工C型

S=1:20

400×400



型番	測点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路			
						(1)	(2)	(3)	(4)
A-1型	No. 204+2.4	左	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.47 流入	既設水路 B250×H300 ▽93.39 流出	-	-
A-2型	No. 215+4.5	左	300×300×600	600	660	可変側溝 B300×H300 ▽92.80 流入	-	-	道路横断管渠 φ300 ▽92.75 流出
A-3型	No. 200+0.5	右	300×300×600	600	660	可変側溝 B300×H400 ▽92.49 流出	-	道路横断管渠 φ300 ▽92.53 流入	-
A-4型	No. 200+3.2	右	300×300×600	600	660	道路横断管渠 φ300 ▽92.58 流出	-	道路横断管渠 φ300 ▽92.58 流入	既設管渠 HP φ300 ▽92.64 流入
A-5型	No. 200+5.0	右	300×300×600	600	660	道路横断管渠 φ300 ▽92.62 流出	-	可変側溝 B300×H300 ▽93.68 流入	-
A-6型	No. 203+9.9	右	300×300×800	800	860	道路横断管渠 φ300 ▽93.40 流出	-	可変側溝 B300×H500 ▽93.40 流入	-
A-7型	No. 206+0.8	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.10 流入	-	可変側溝 B300×H500 ▽93.10 流出	既設水路 B300×H300 ▽93.22 流入
A-8型	No. 206+4.4	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.09 流入	-	可変側溝 B300×H500 ▽93.09 流出	既設水路 B240×H300 ▽93.25 流入
A-9型	No. 206+14.7	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.08 流入	-	可変側溝 B300×H500 ▽93.08 流出	既設水路 B200×H350 ▽93.18 流入
A-10型	No. 208+4.1	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽92.96 流入	-	可変側溝 B300×H500 ▽92.96 流出	既設管渠 HP φ300 ▽93.01 流入

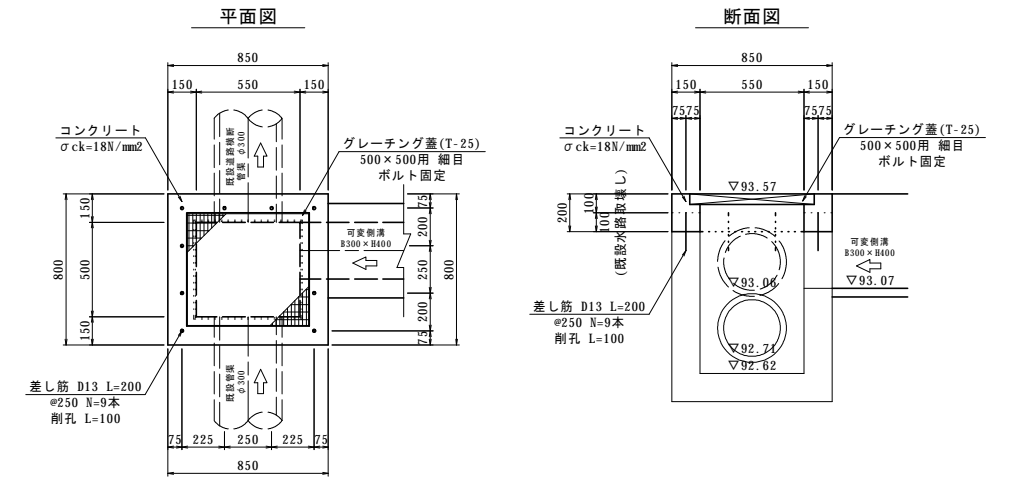
型番	測点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路			
						(1)	(2)	(3)	(4)
B-1型	No. 203+2.4	左	300×600×1200	1200	1260	-	既設水路 B400×H900 ▽92.95 流出	-	道路横断管渠 φ300 ▽93.01 流入
B-2型	No. 208+6.7	左	300×600×600	600	660	可変側溝 B300×H300 ▽93.06 流入	既設水路 B300×H400 ▽92.99 流出	-	-
B-3型	No. 208+11.2	右	300×600×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽92.93 流入	-	可変側溝 B300×H500 ▽92.93 流出	既設水路 B550×H250 ▽92.95 流入
B-4型	No. 208+17.7	右	300×600×1000	1000	1060	可変側溝 B300×H500 ▽92.89 流入	道路横断管渠 φ450 ▽92.66 流出	-	可変側溝 B300×H300 ▽93.09 流入

型番	測点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路			
						(1)	(2)	(3)	(4)
C-1型	No. 210+18.1	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B300×H400 ▽93.14 流出	-	可変側溝 B400×H400 ▽93.14 流出	-
C-2型	No. 212+5.5	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B400×H400 ▽92.99 流入	-	可変側溝 B400×H400 ▽92.99 流出	既設水路 B240×H200 ▽93.30 流入
C-3型	No. 215+4.4	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B400×H400 ▽92.69 流入	道路横断管渠 φ300 ▽92.69 流入	可変側溝 B400×H400 ▽92.69 流出	-

集水樹嵩上工

S=1:20

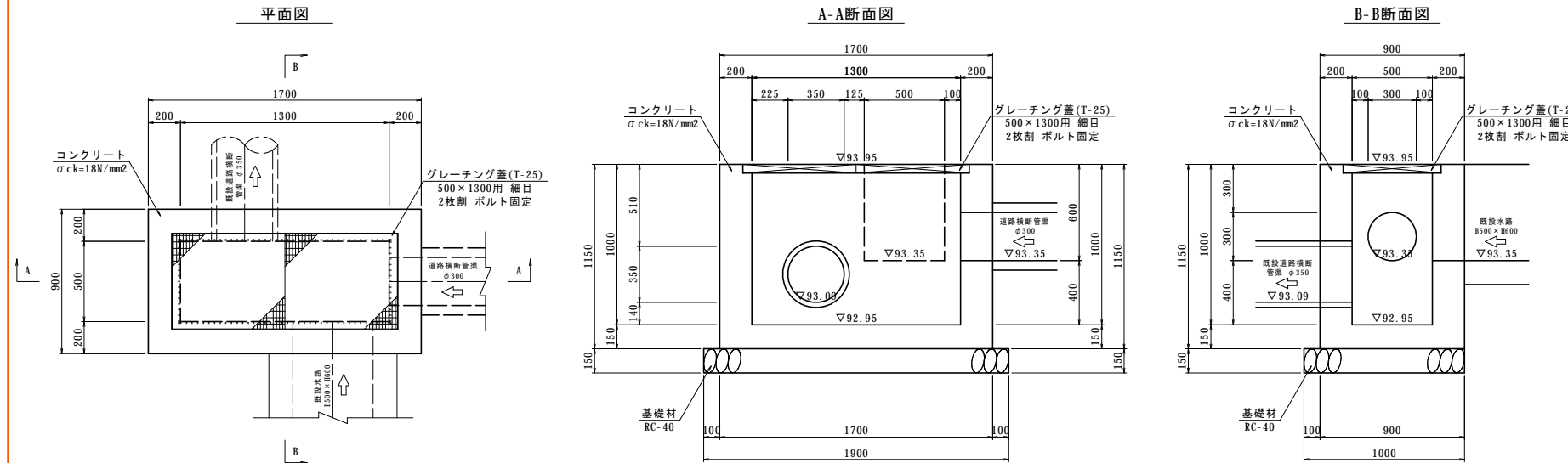
500×550 h=100



集水樹工D型

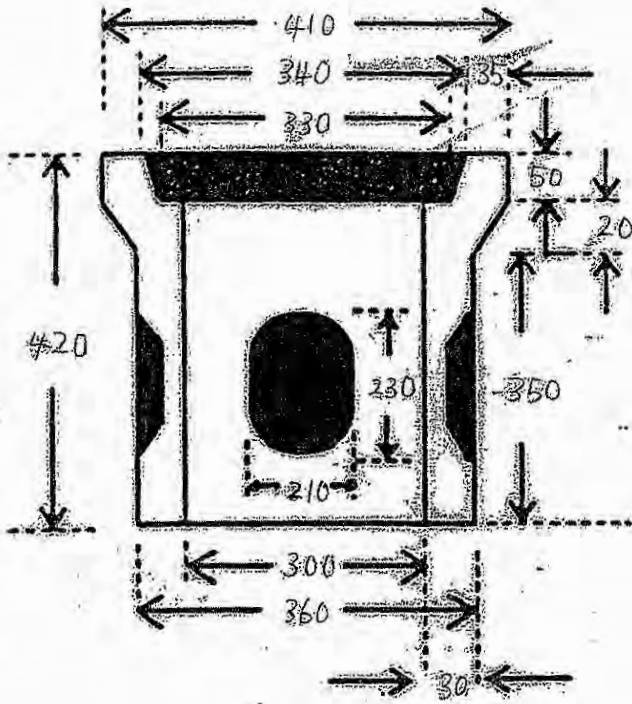
S=1:20

500×1300×1000



年度	平成29年度	番号	17	20
路線名	父鬼和気線			
工事名				
所属地名				
図面名	1工区 集水樹構造図			
縮尺	図示	作成年日	平成30年3月	
大阪府風土木事務所				

集水枘 300×300

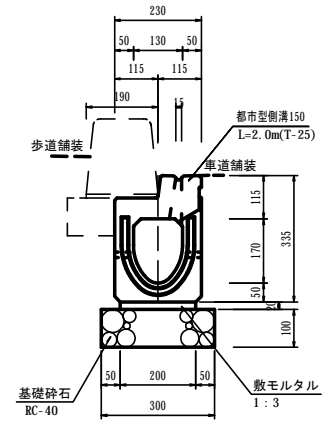


※ 同等品以上のものとする。

構造物詳細図(1)

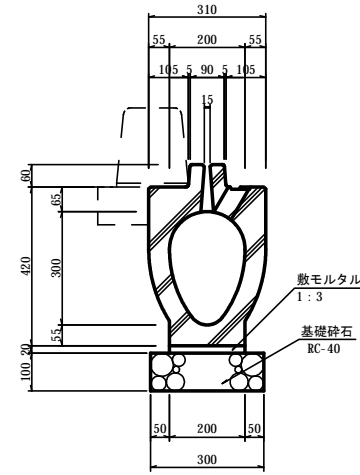
都市型側溝150

S=1:10



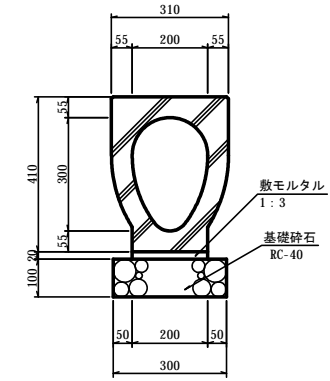
都市型側溝250

S=1:10



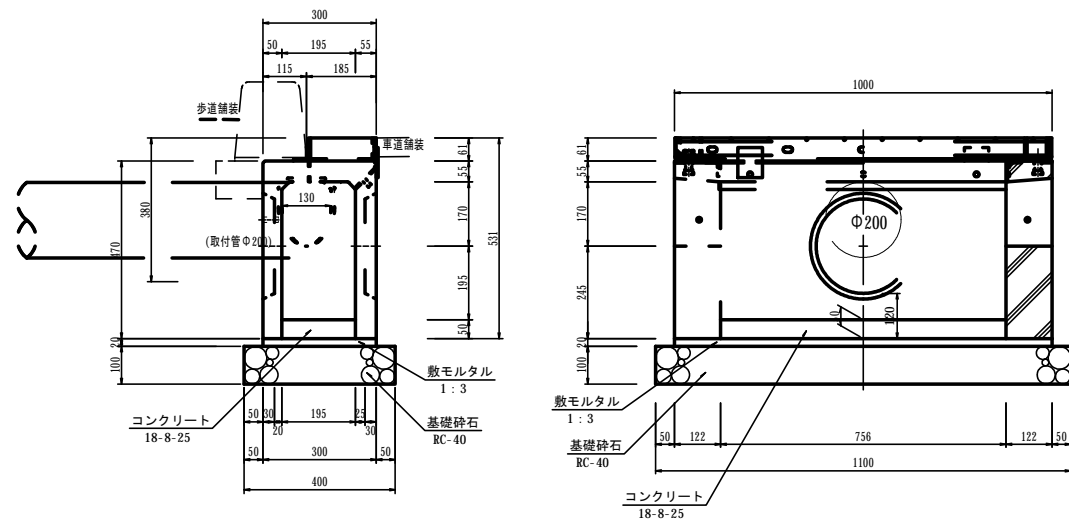
都市型側溝250(横断用)

S=1:10



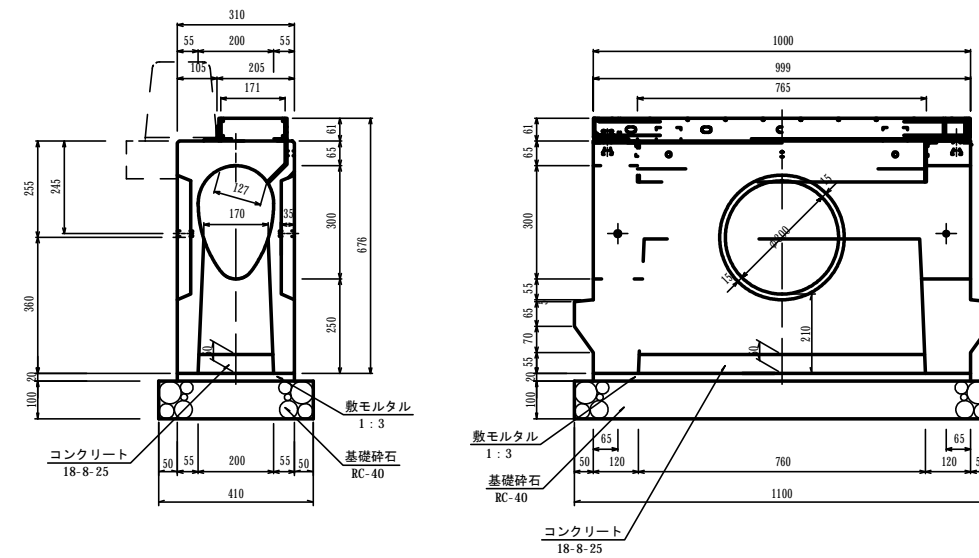
都市型側溝150用樹

S=1:10



都市型側溝250用樹

S=1:10

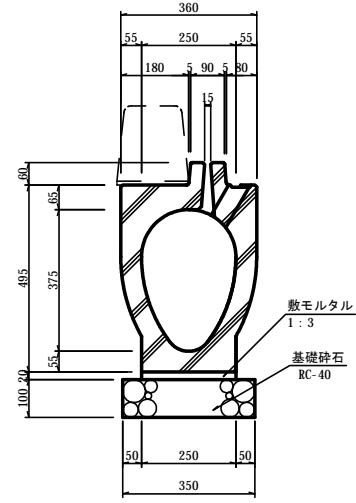


年度	平成30年度	番号	/
路線名	一般府道 堺阪南線		
工事名			
工事場所	岸和田市上野町東地内 外		
図面名	構造物詳細図(1)		
縮尺	図示	作成年月	平成30年5月
大阪府 岸和田土木事務所			

構造物詳細図(2)

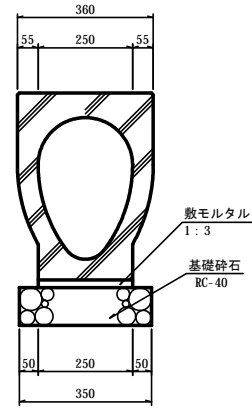
都市型側溝300

S=1:10



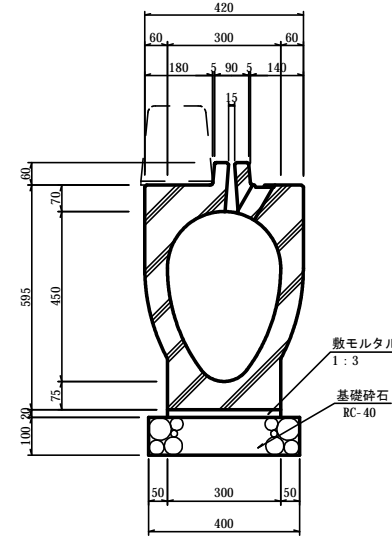
都市型側溝300(横断用)

S=1:10



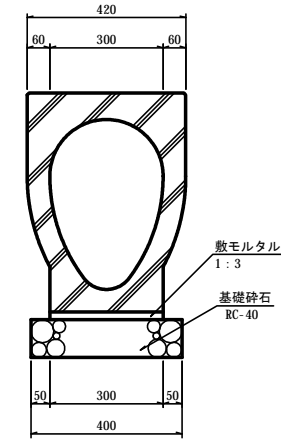
都市型側溝350

S=1:10

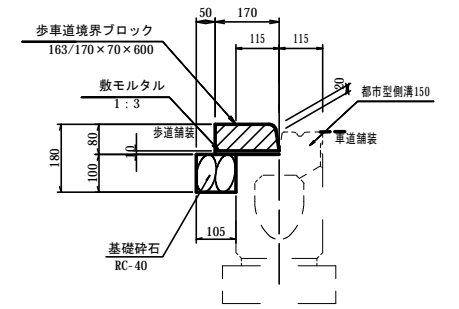


都市型側溝350(横断用)

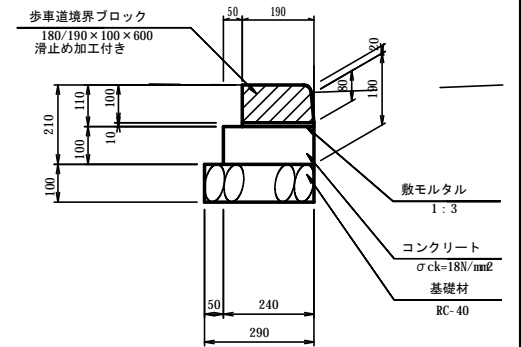
S=1:10



縁石工 E型 (150用) S=1:10
(歩道切下げ部)

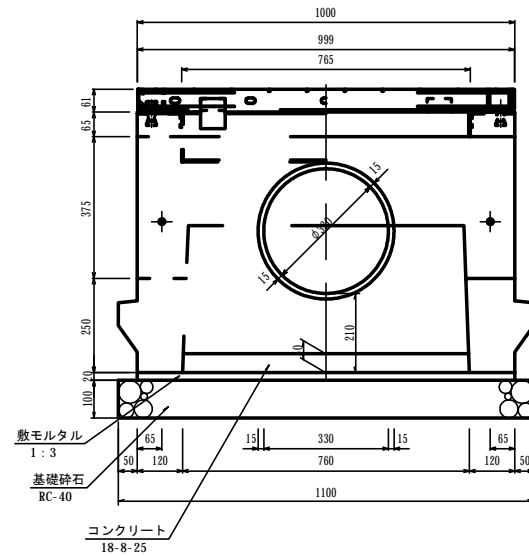
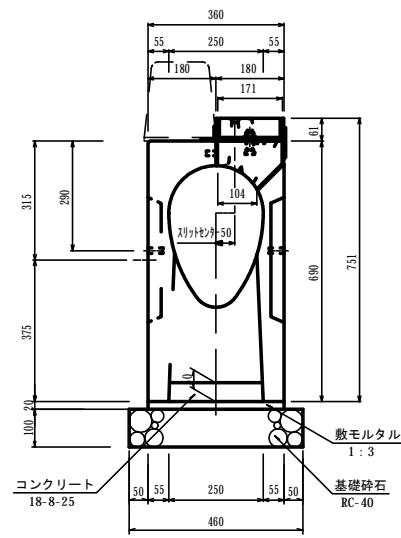


縁石工 E型 S=1:10
(歩道切下げ部)



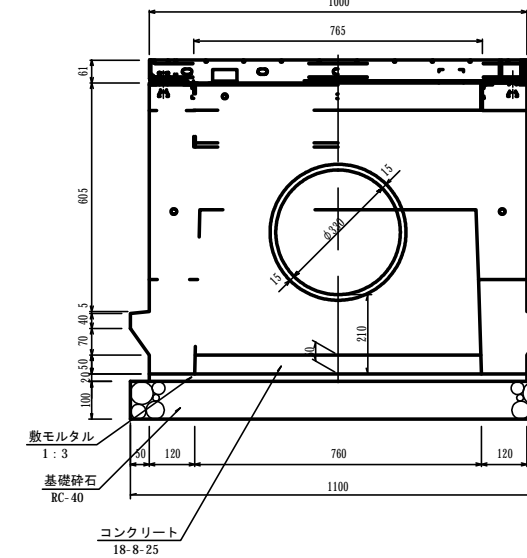
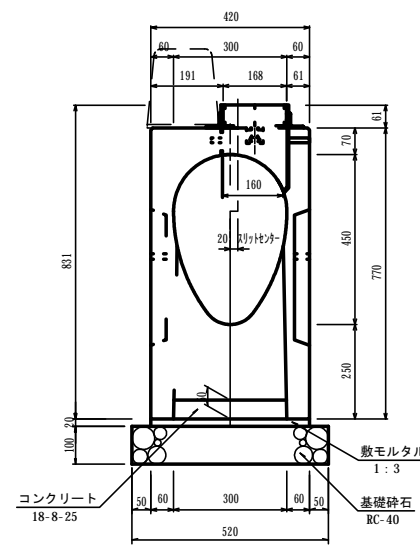
都市型側溝300用柵

S=1:10



都市型側溝350用柵

S=1:10



年度	平成30年度	番号	/
路線名	一般府道 堺阪南線		
工事名			
工事場所	岸和田市上野町東地内 外		
図面名	構造物詳細図(2)		
縮尺	図示	作成年月	平成30年5月
大阪府 岸和田土木事務所			

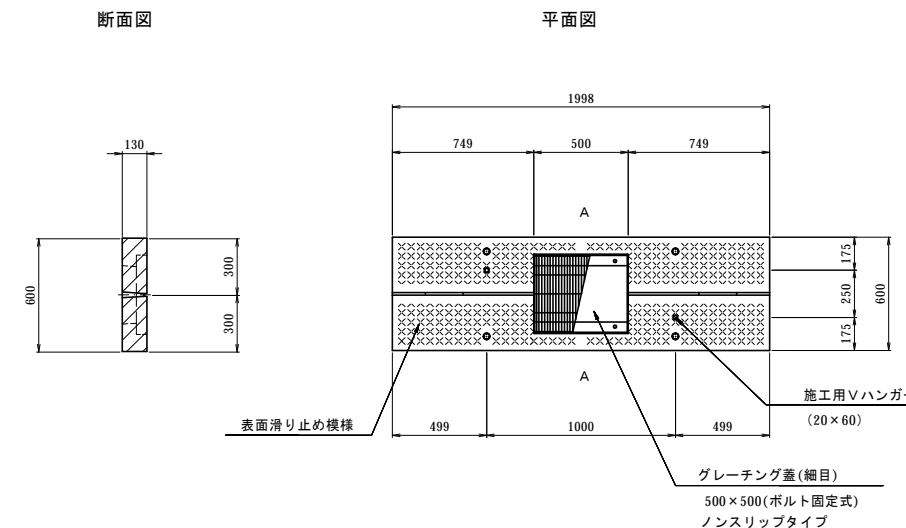
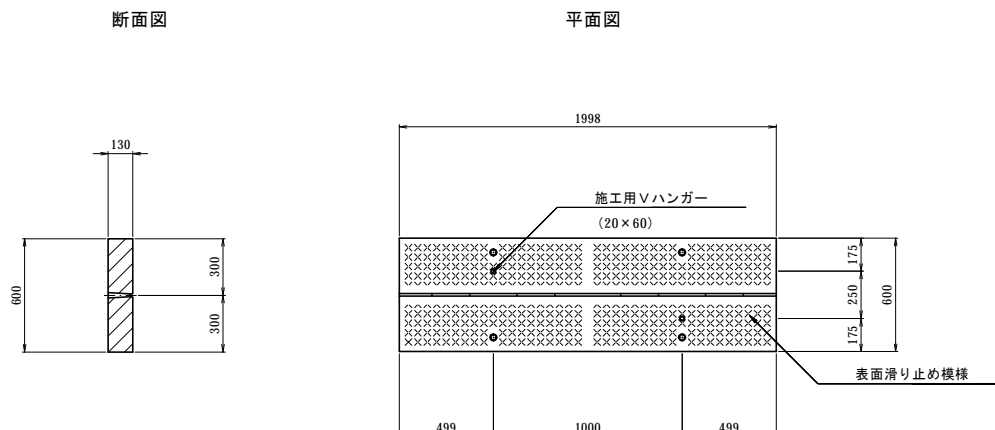
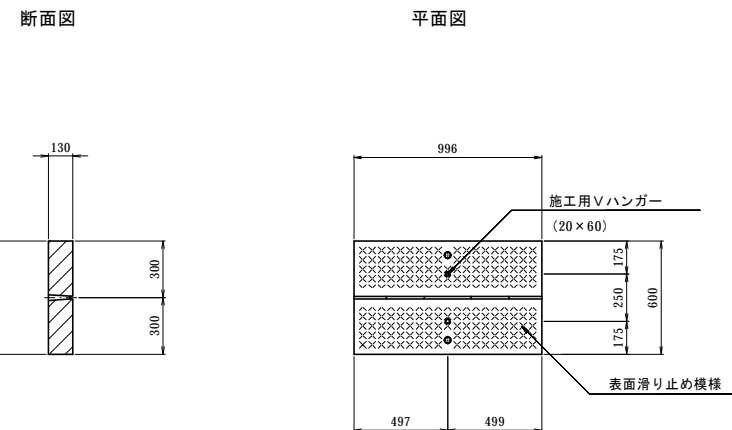
排水構造物工構造図

S-1:20

コンクリート蓋(スリット式) B300 L1000:標準

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:標準

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:管理孔付



側面図(断面図)

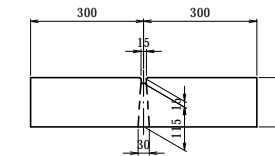
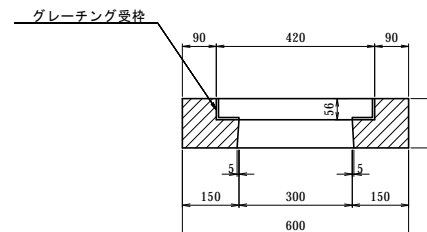
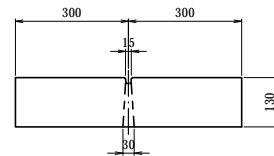
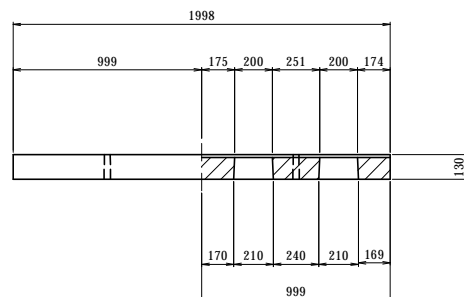
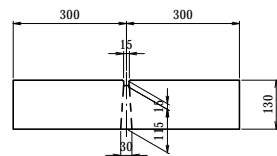
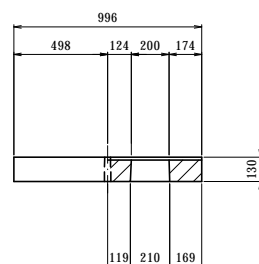
端部詳細図 S=1:10

側面図(断面図)

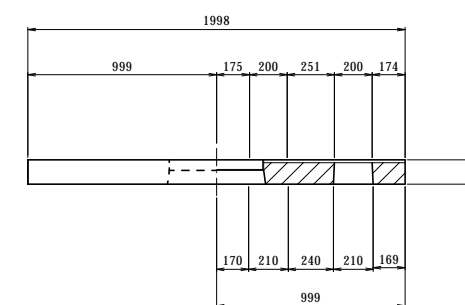
端部詳細図 S=1:10

A-A断面図 S=1:10

端部詳細図 S=1:10



側面図(断面図)



設計条件

規格		車道縦断用(乗入兼用)
形状		蓋固定式
自動車荷重	総重量	245 K N
	後輪一輪荷重	50 K N
	衝撃係数	i = 0.3
コンクリート	設計基準強度	35 N / mm ²
	設計圧縮応力度	12.5 N / mm ²
	設計せん断応力度	0.52 N / mm ²
鉄筋	材質	S D 295 A 同等以上
	許容引張応力度	176 N / mm ²
	許容せん断応力度	78 N / mm ²

1.0m² 製品参考質量 183 k g

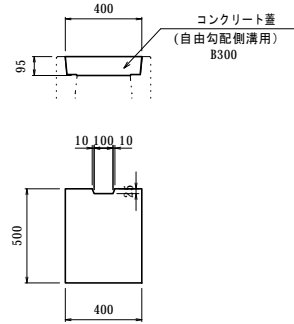
2.0m² 製品参考質量 367 k g

管理孔付: 製品参考質量 315 k g (グレーチング重量は含まず)

1工区 自由勾配側溝構造図(2)

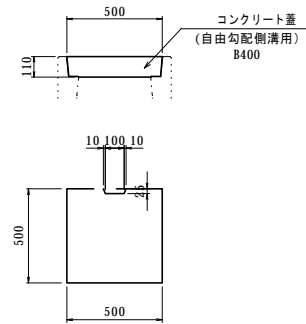
コンクリート蓋A

S=1:20



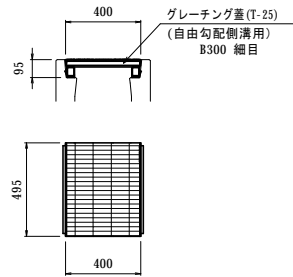
コンクリート蓋B

S=1:20



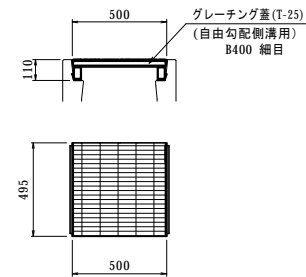
グレーチング蓋A

S=1:20



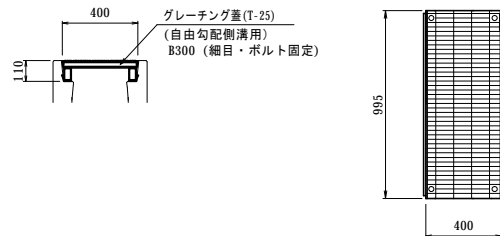
グレーチング蓋B

S=1:20



グレーチング蓋C

S=1:20

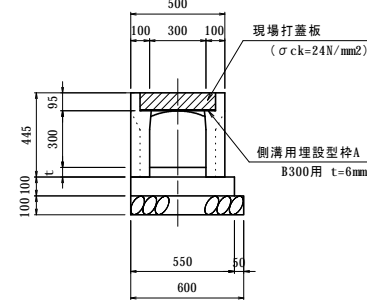


側溝用埋設型枠A

B300用

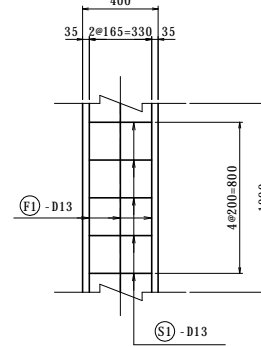
断面図

S=1:20



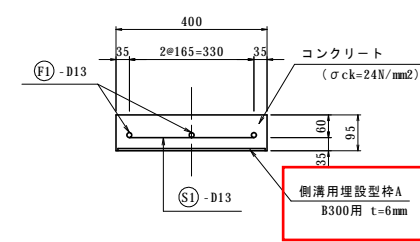
平面図

S=1:20

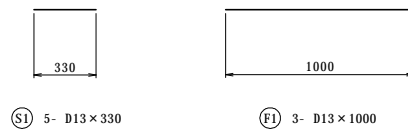


蓋版断面図

S=1:10



鉄筋加工図



側溝用埋設型枠A 鉄筋数量表

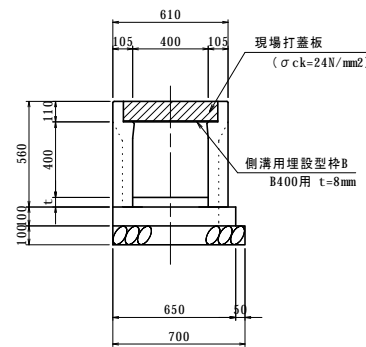
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	摘要	m当り数量
S1	D13	330	5	0.995	0.328	1.64	—		
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	—		
						計			4.63 kg
						D13			4.6 kg

側溝用埋設型枠B

B400用

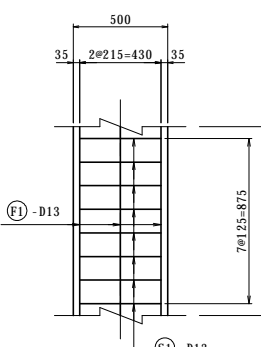
断面図

S=1:20



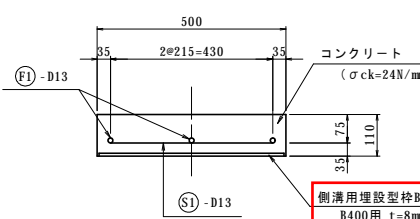
平面図

S=1:20

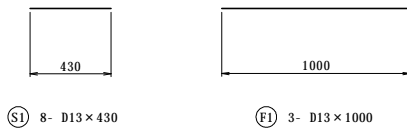


蓋版断面図

S=1:10



鉄筋加工図



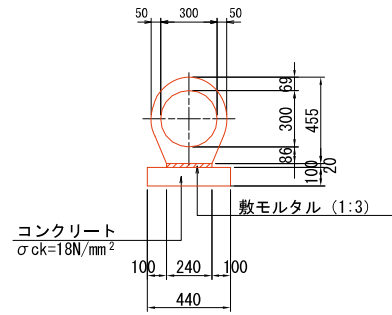
側溝用埋設型枠B 鉄筋数量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	摘要	m当り数量
S1	D13	430	8	0.995	0.428	3.42	—		
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	—		
						計			6.41 kg
						D13			6.4 kg

年度	平成29年度	番号	16	20
路線名	父鬼和気線			
工事名				
所属地名				
図面名	1工区 自由勾配側溝構造図(2)			
縮尺	図示	作成年日	平成30年3月	
大阪府風土土木事務所				

排水工構造図(3) S=1:20

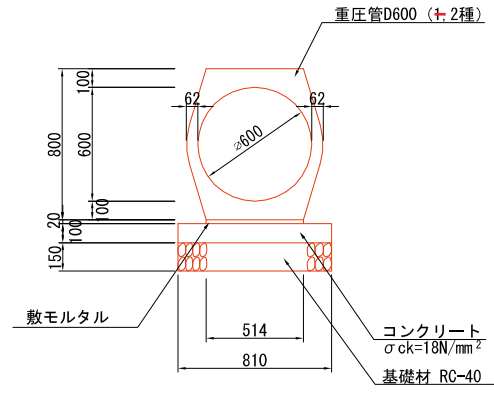
台付管 φ300



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.44	
型枠		m ²	2.00	
モルタル	1:3 t=20	m ²	2.40	
台付管	D300	本	5.0	

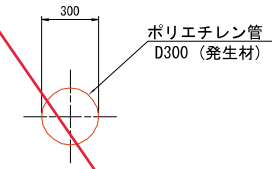
重圧管(±, 2種) D600



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m ²	8.10	
型枠		m ²	2.00	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.81	
モルタル	1:3 t=20	m ²	5.14	
重圧管	D600(±, 2種)	本	5.0	

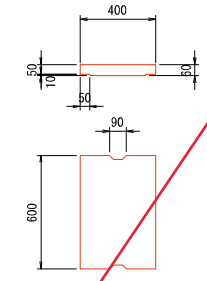
ポリエチレン管 D300



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
ポリエチレン管	D300	m	10.00	発生材

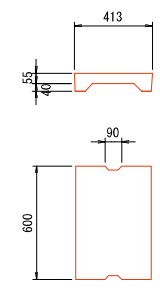
たて溝蓋



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート蓋	PC1-300	枚	16.7	

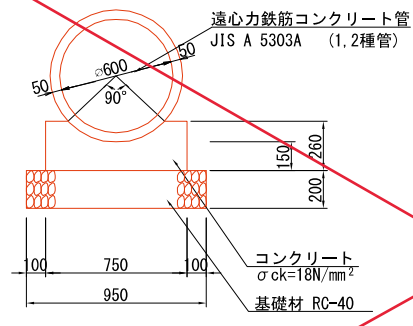
側溝蓋



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート蓋	PC3-300	枚	16.7	

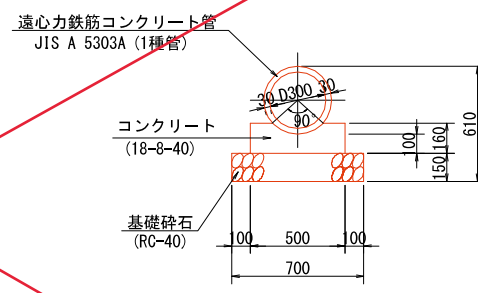
P1-RC-(1, 2)-D600



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=200	m ²	9.50	
型枠		m ²	5.20	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	1.56	
遠心力鉄筋コンクリート管	D600(1, 2種)	本	4.1	JIS A5303A

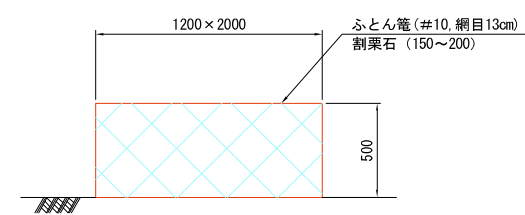
P1-RC-(1)-D300



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m ²	9.50	
型枠		m ²	5.20	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	1.56	
遠心力鉄筋コンクリート管	D300(1種)	本	4.1	JIS A5303A

ふとん籠

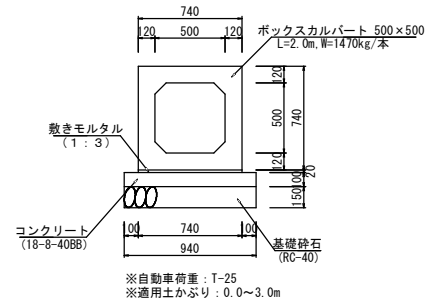


材料表 1箇所当り

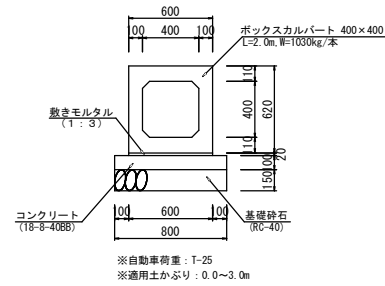
名称	規格	単位	数量	備考
ふとん籠	500×1200 #10, 網目13cm	m	2.00	
割栗石	150~200	m ³	1.20	

道路施設構造図

ボックスカルバート S=1:20
(500×500)



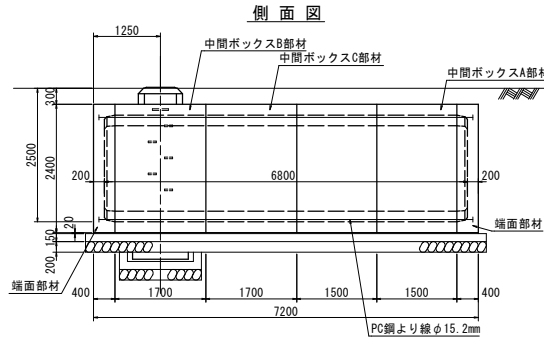
ボックスカルバート S=1:20
(400×400)



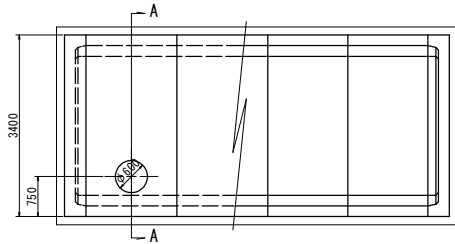
防火水槽構造図

組立図

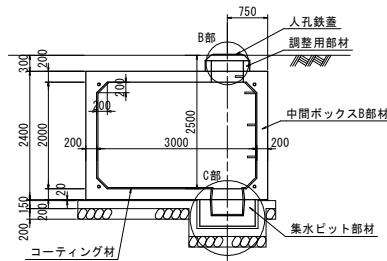
S=1:50



平面図



A-A 断面図



止水仕様 (防水工) 材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{0.20} \times (6.40 + 2 \times 0.20) + (3.00 \times 2.00 - 4 \times 0.20 \times 2/2) \times 2) \times 0.60 \times \pi \times 0.50 \times 1 + (2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{0.20} \times 2.00 \times 5 \times (0.065 + 0.015)) \times 0.60 \times \pi \times 1 \times (0.045 + 0.015)$	61.0 m ²
コーキング材 1	$(2 \times 2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{0.20} \times 2.00) \times 5 \times 0.64 \times \pi \times 1$	49.7 m
シール材	中間ボックス、 端面部材 集水ビット部材 調整用部材	51.3 m 3.6 m 4.7 m
コーキング材 1	$0.04 \times 3 \times (\pi \times 0.07 \times 2/4 + \pi \times 0.06 \times 2/4) + \sqrt{\pi \times 0.07 \times 2/4 \times \pi \times 0.06 \times 2/4} \times 4$	0.001 m ³
パッキン材	—	4 ケ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(7.50 \times 3.70 - (1.24 \times 1.14 + 2 \times 0.15) \times 0.52 \times 2) \times 0.15$	4.581 m ³	$\sigma_{ck} = 18.0 \text{ N/mm}^2$
基礎型枠	$2 \times (7.50 \times 3.70) \times 0.15 + 4 \times (1.24 \times 1.14 + 8 \times 0.15) \times 0.52$	8.934 m ²	
基礎砕石	7.50×3.70	27.750 m ²	$t = 0.20 \text{ m}$
敷モルタル	$(7.20 \times 3.40 - 1.24 \times 1.14) \times 0.02$	0.461 m ³	

防火水槽明細書

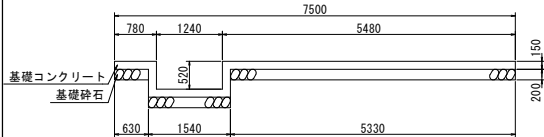
型式番号	耐-00001-1号		
型式記号	T40-1-A-0.0/1.0		
容量	40.16 m ³		
設計荷重	10.0 kN/m ²		
設置場所	I型		
土被り厚	0.300 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2個	
集水ビット部材	PH500 (1.04m x 1.04m x 0.50m)	1個	
調整用部材	φ0.83m, RH200	1個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L=7.8m	4本	SWPR7B
定着具	アンカープレート、グリップ	8組	端面部材用
グラウト	$0.12 \times 3 \times \pi \times (0.08 \times 2/4 + 0.08 \times 0.07 \times 2/4) + 0.02 \times \pi \times 0.08 \times 2 \times \pi \times 4 \times 0.035 \times 2 \times 4$	0.047 m ³	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
緊結ボルト	M16, L=0.300m (ナット、座金付)	3組	
人孔鉄蓋	φ600	1組	
六角ボルト	M20, L=200mm (ワッシャー付)	4組	
GキャップE	-	8組	

※内面防水は、コーティング仕様とする。
※日本消防設備安全センターの認定品である。

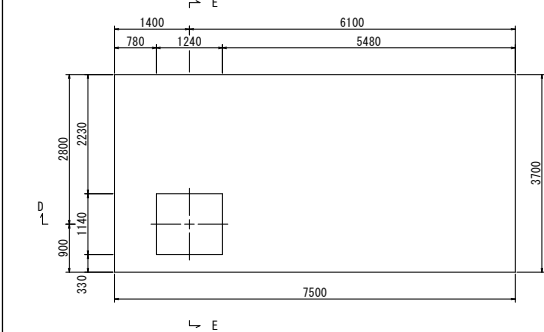
基礎図

S=1:50

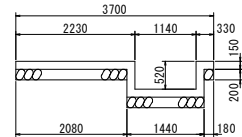
D-D 断面図



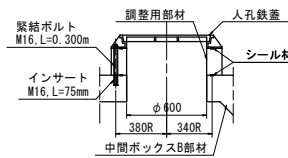
基礎平面図



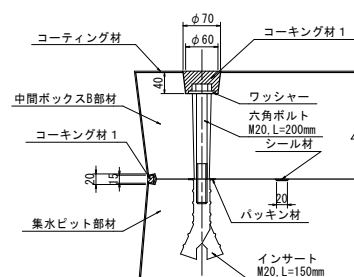
E-E 断面図



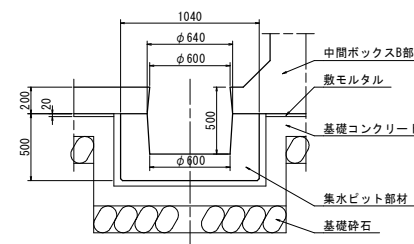
B部詳細図 S=1:20



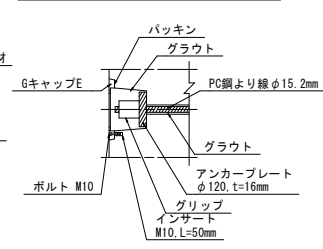
集水ビット連結部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:20

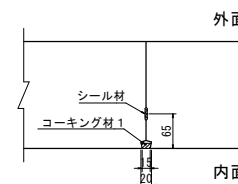


PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10

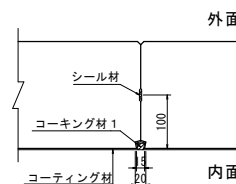


継手部詳細図 S=1:5

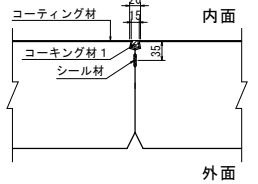
頂版

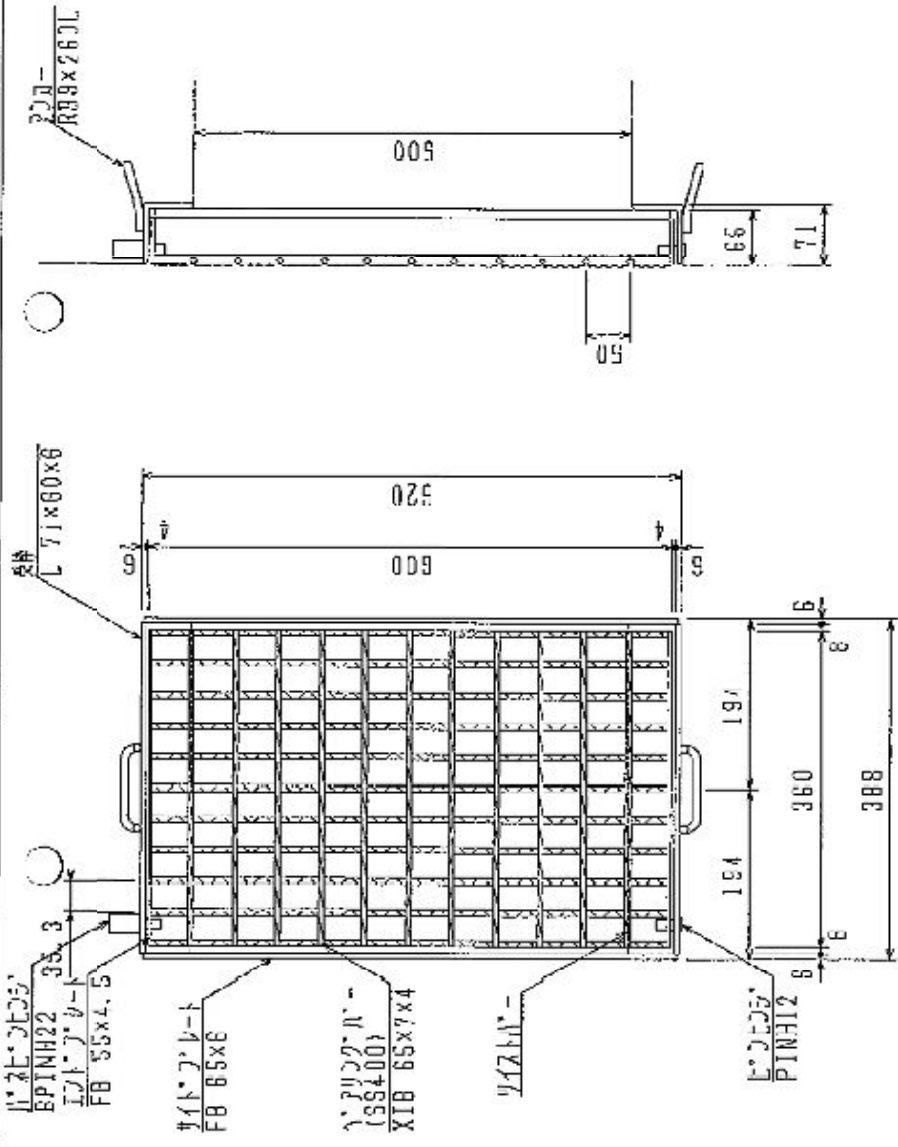


側壁



底版

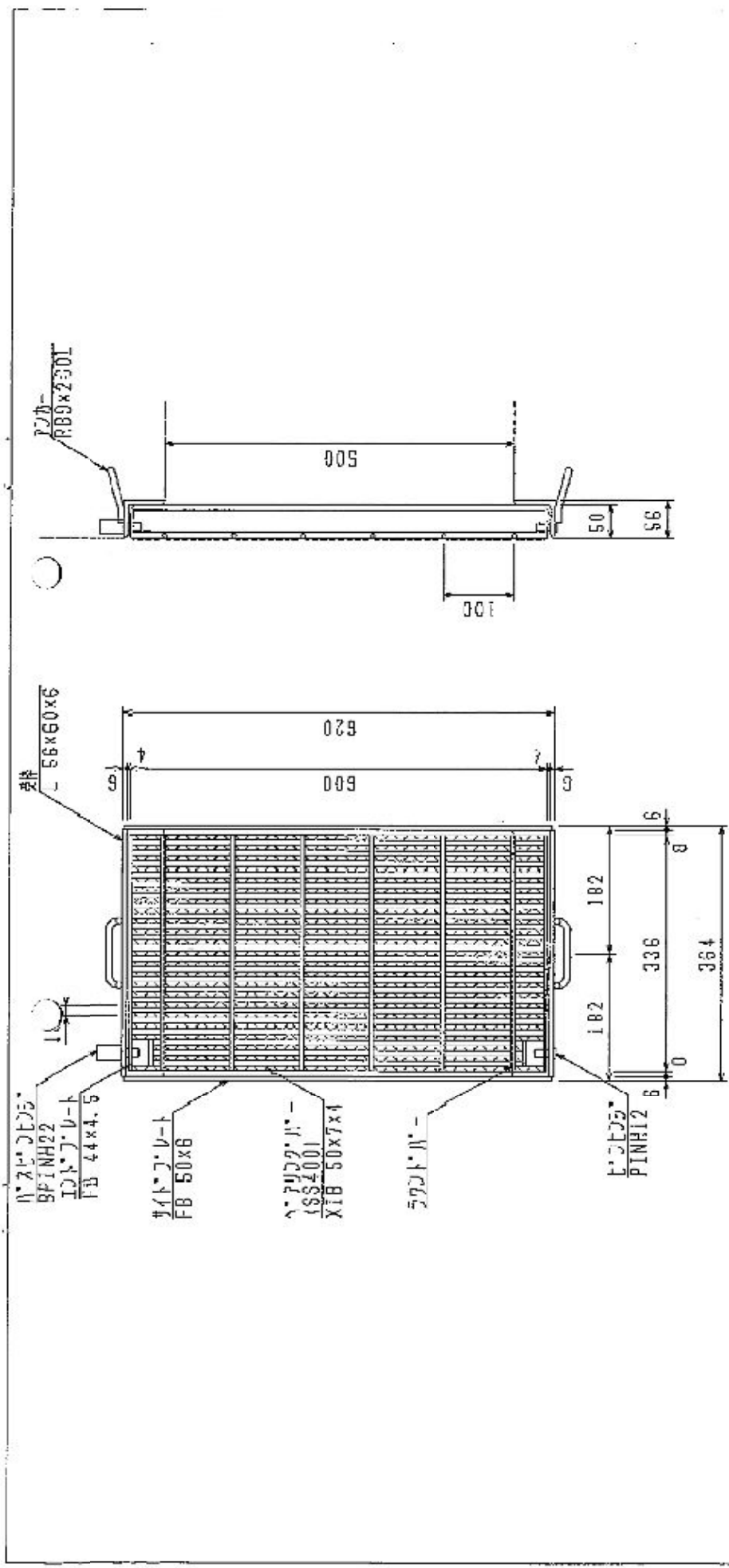




記号 XSXE65 イボイボ50
 1. 型式 XSXE65 イボイボ50
 2. 表面処理
 ブレーチング: 亜鉛メッキ
 塗料: 黒ペイント

承認者		工事番号	
検図者		図面番号	
作図者		荷重: J-25	
製図日	2013/04/02	料肉: 350x500用	
尺度	1/3	110' 閉閉式	

営業所図号
 株式会社 ダイワ



別 書

1. 型式 HMSO イボイホ 細目

2. 表面処理

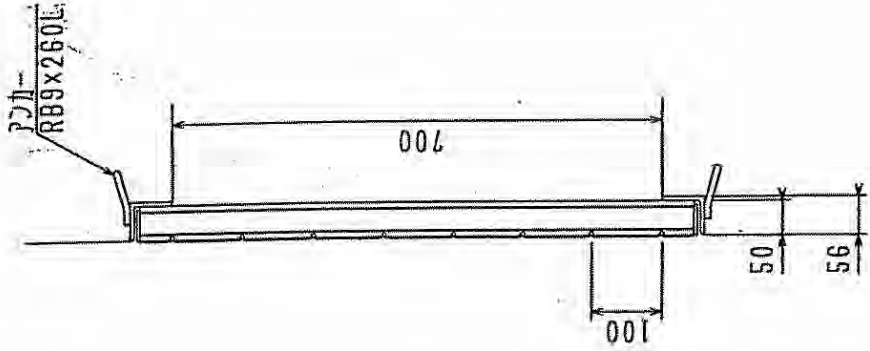
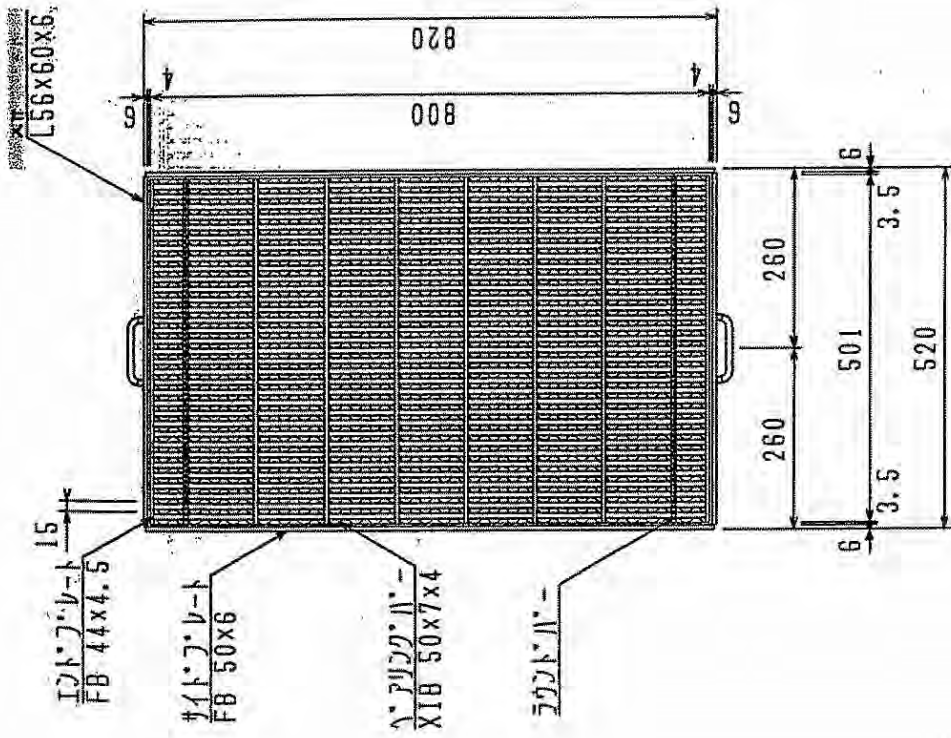
グレーチング：亜鉛メッキ

受 付：黒ペイント

承認者	工事番号
検図者	図面番号
作図者	荷重：T-25
製図日：2013/09/02	桁穴：350×500用
尺度：1/8	110° 閉閉式

営業所図番

株式会社 ダイアロ



記事

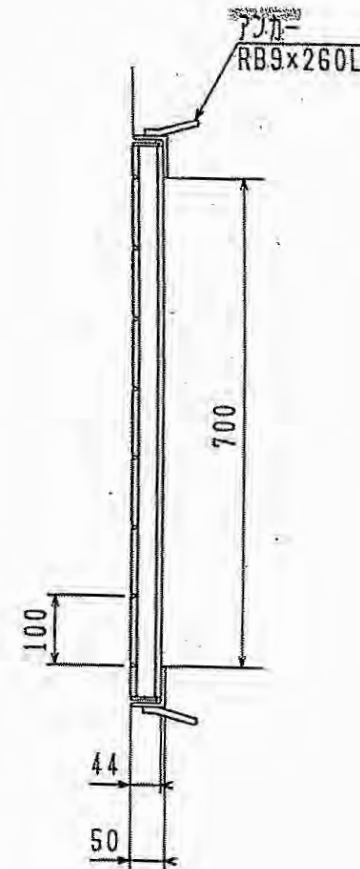
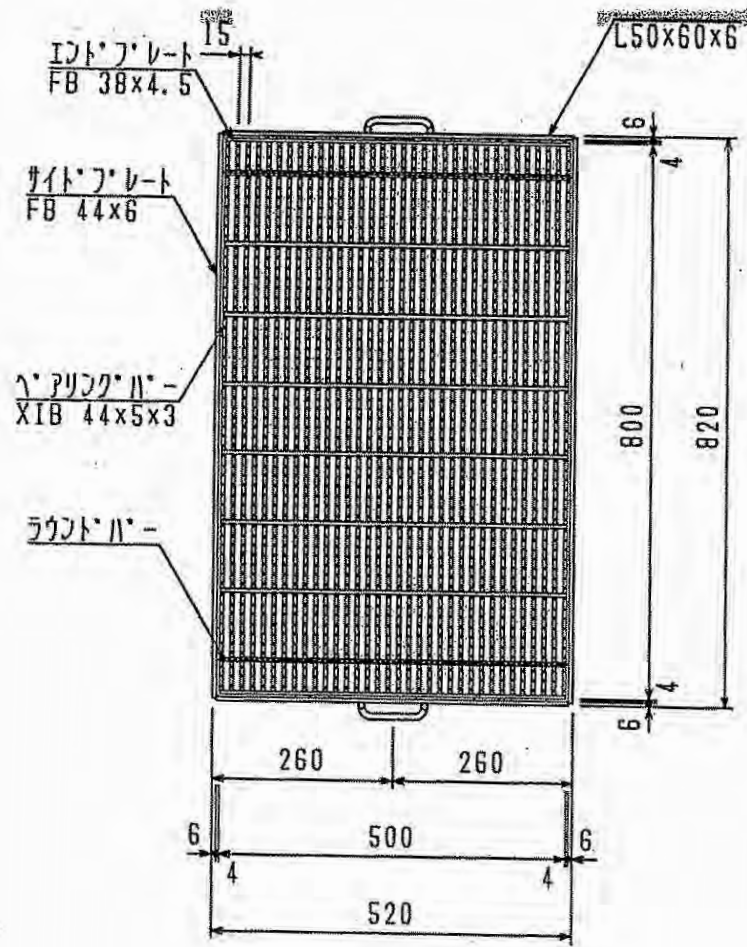
1. 型式 HD50 イボイボ細目

2. 表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受 枠：黒ペイント

承認者		工事番号	
検図者		図面番号	
作図者		枠穴 500×700 用	
製図日	2005/07/22	T-25 落とし込み	
尺度	1/11	受枠 = 2CA2FB	

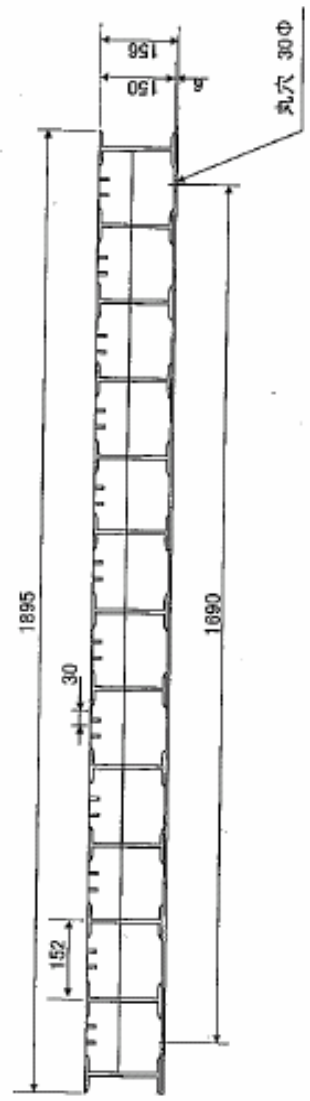
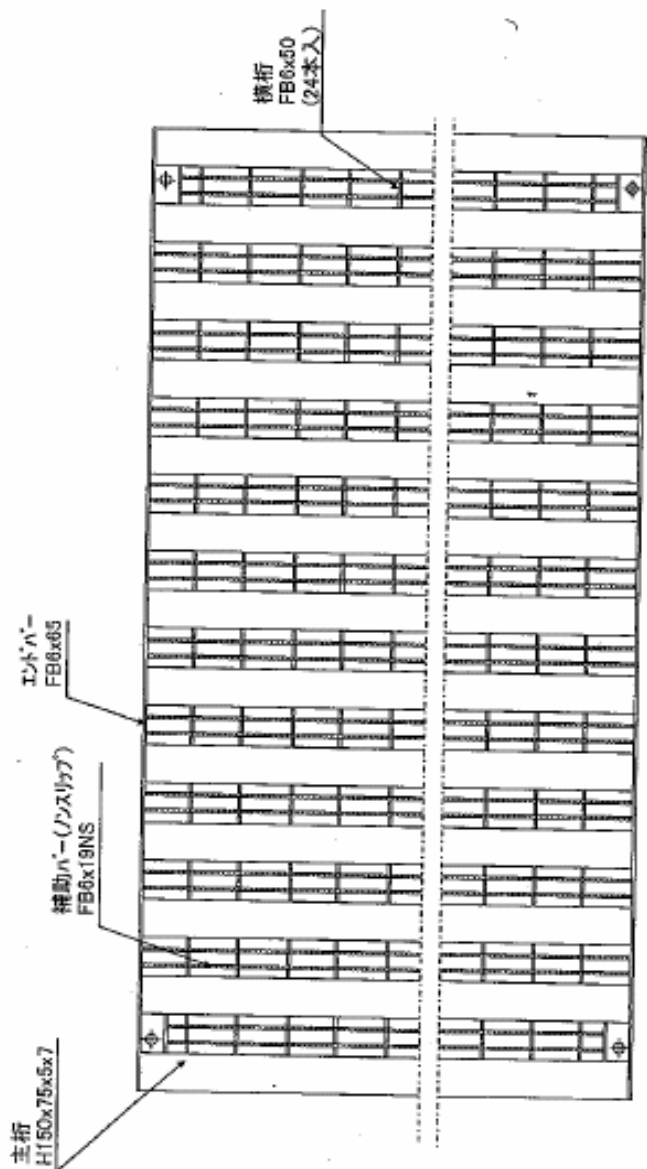
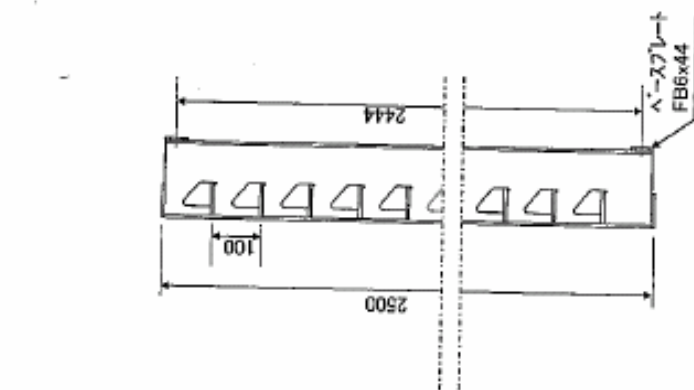


記事

- 1. 型式 HD44 イボイボ細目
- 2. 表面処理
 - グレーチング：亜鉛メッキ
 - 受 枠 ：黒ペイント

承認者		工事番号
検図者		
作図者		桁穴500×700用 T-6 落とし込み 受枠=2CA2FB
製図日	2005/07/22	
尺度	1/11	
		図面番号

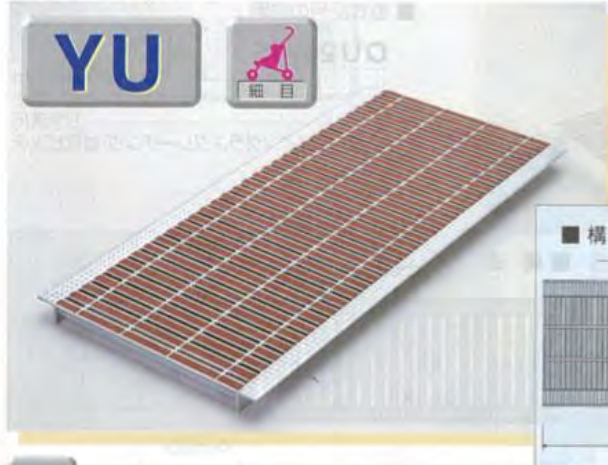
営業所図番



仕様	T-20 Hトラス補助トラスリフト
サイズ	2500x1895x150/156

U字溝 細目

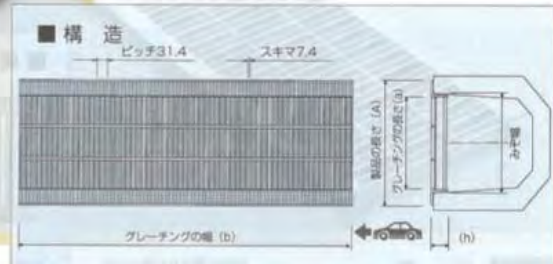
YU



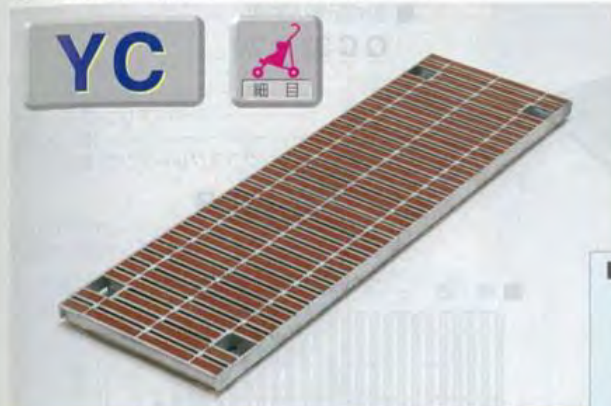
■ 型式記号の説明

YU25-15

- みぞ幅=150mm
- ベアリングバー高さ
- U字溝用
- ワイングラスグレーチング 細目ピッチ



みぞぶた 細目 ボルト式エコノミー



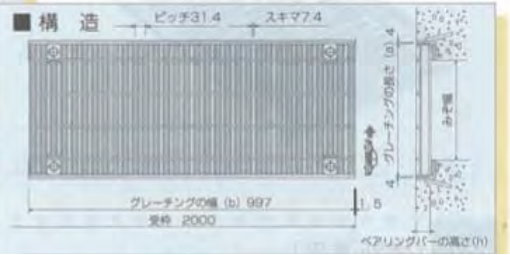
■ 型式記号の説明

YC32R20

- みぞ幅=200mm
- 騒音低減用ゴム
- ベアリングバー高さ
- ボルト固定
- ワイングラスグレーチング 細目ピッチ

WY32R

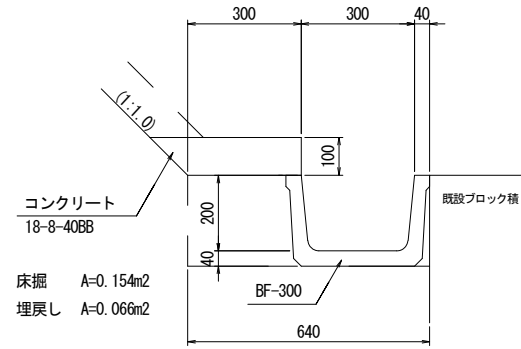
- h=32mm
- ボルト固定式受枠



【横断溝用】

排水工構造図

法尻排水工 S=1:10
BF-300

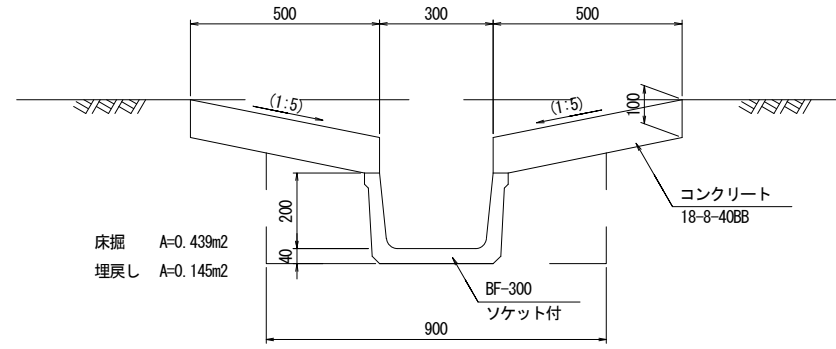


材料表

(10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
BF-300		m	10	JIS-A-5372
コンクリート	18-8-40BB t=100	m ³	0.35	
型枠		m ²	1.0	
床掘	土砂	m ³	1.5	
埋戻し	土砂	m ³	0.7	

縦排水工 S=1:10
BF-300

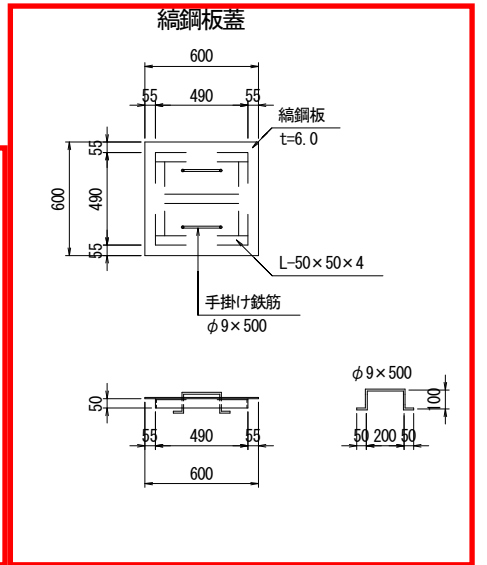
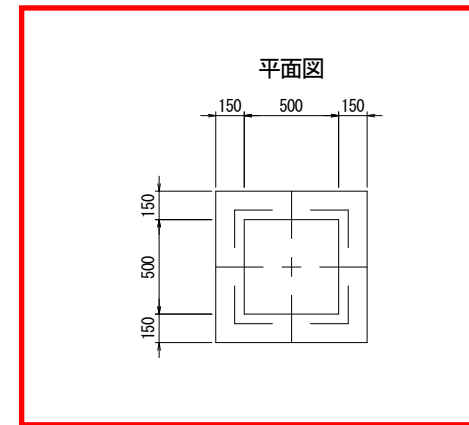
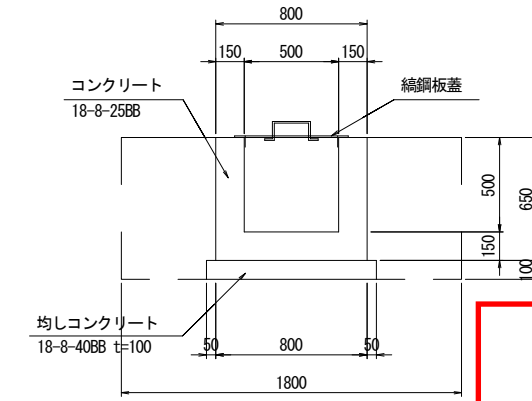


材料表

(10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
BF-300 (II型)		m	10	JIS-A-5372
コンクリート	18-8-40BB t=100	m ³	1.0	
型枠		式(m ²)	1 (2.0)	
床掘	土砂	m ³	4.4	
埋戻し	土砂	m ³	1.5	

集水桝 S=1:20
G2-B500-L500-H500

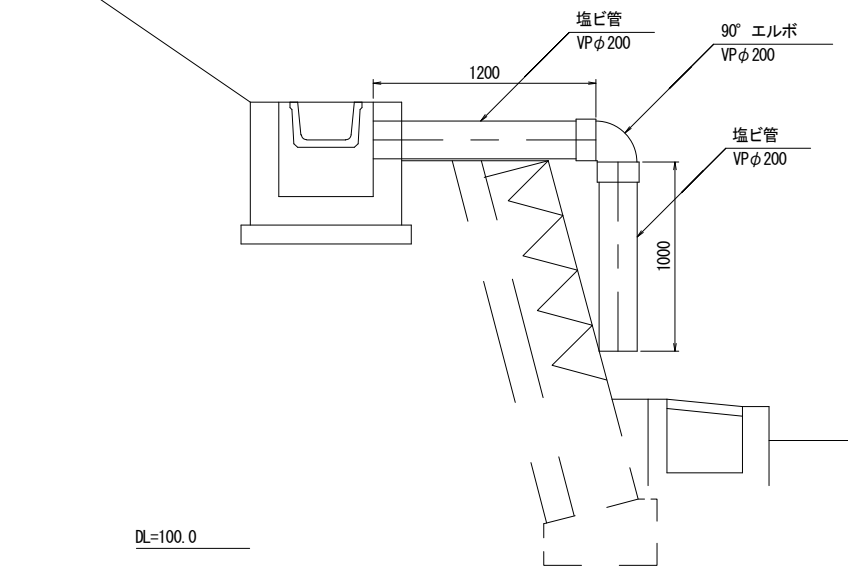


数量表

(1箇所当り)

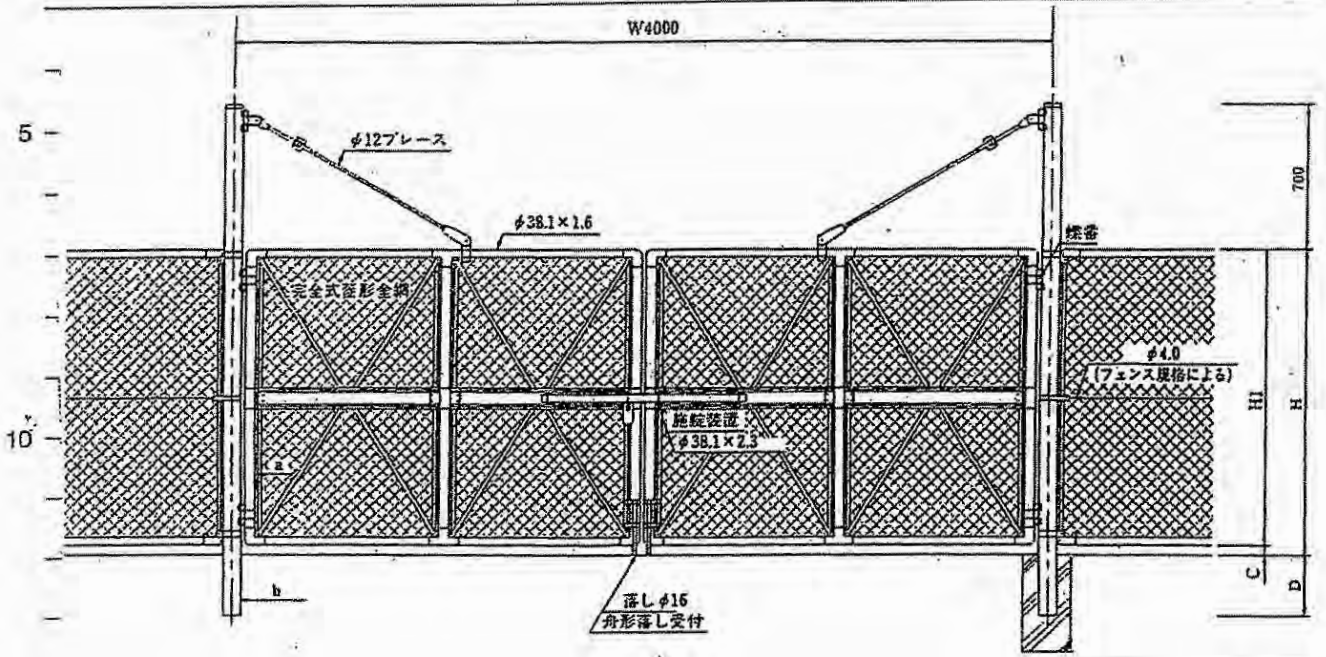
名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート	18-8-25BB	m ³	0.29	
型枠		m ²	3.1	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m ²	0.81	
均しコンクリート型枠		m ²	0.36	
鋼鋼板蓋	500×500用	枚	1	溶融亜鉛メッキ
床掘	土砂	m ³	2.4	
埋戻し	土砂	m ³	1.9	

排水管構造図 S=1:20
NO. 0+5.0付近



DL=100.0

○ 門扉部 (W=4000mm)



$H = 1800 \text{ mm}$

基礎部 1500 mm X 700 mm

$H_1 = 1750 \text{ mm}$

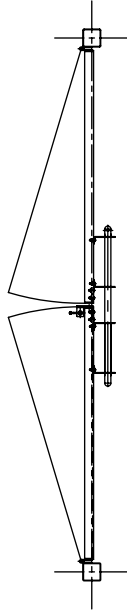
$a = \phi 50.8 \times 1.6$

$b = \phi 89.1 \times 3.2$

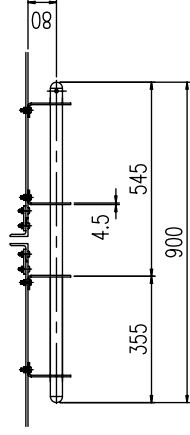
$C = 50 \text{ mm}$

$D = 500 \text{ mm}$

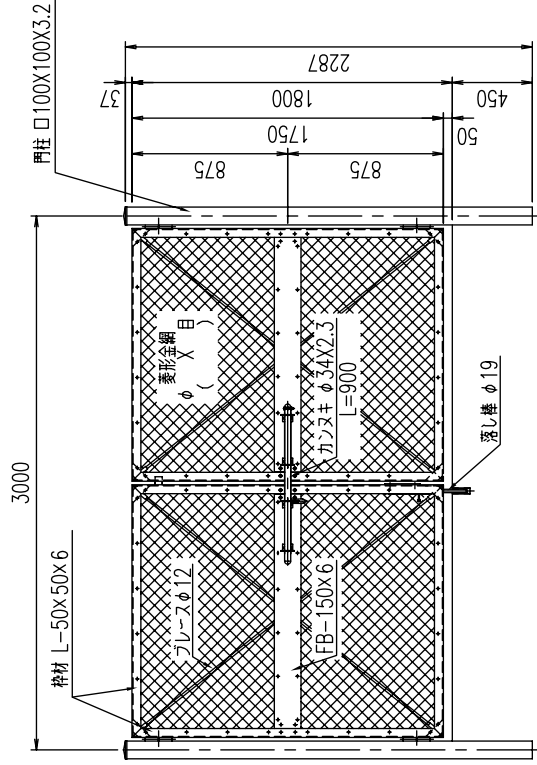
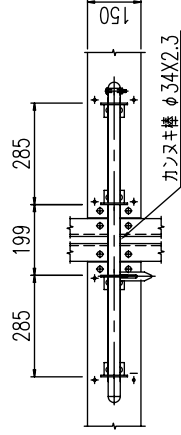
平面図 S=1/20



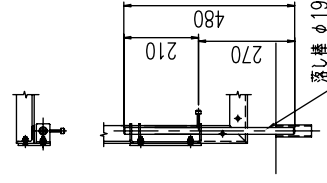
カンヌキ取付図 S=1/10



正面図 S=1/20

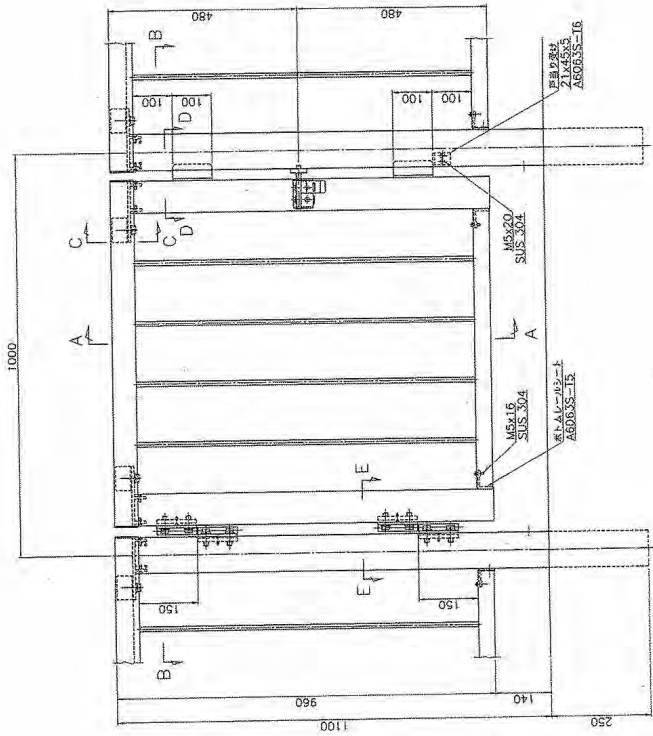
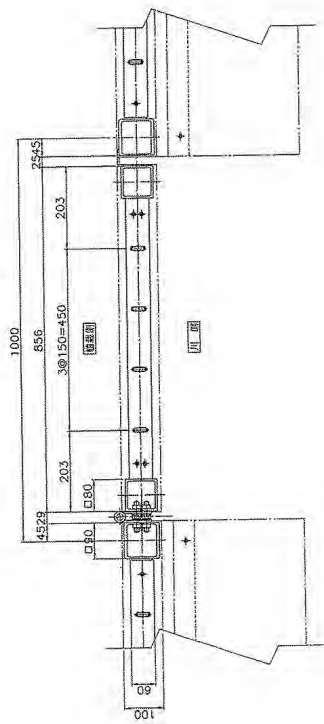


落とし棒取付図 S=1/10

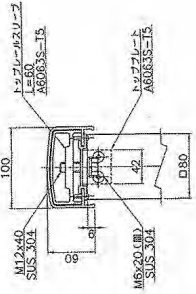


門扉詳細図 S=1/6

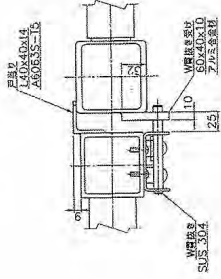
断面B-B



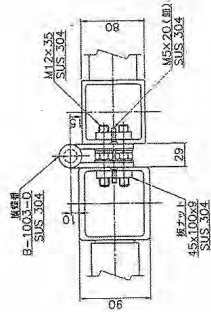
断面C-C S=1/3



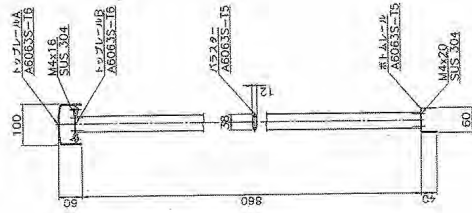
断面D-D S=1/3



断面E-E S=1/3

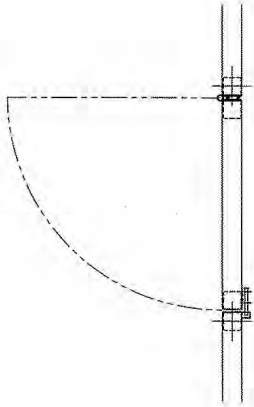


断面A-A

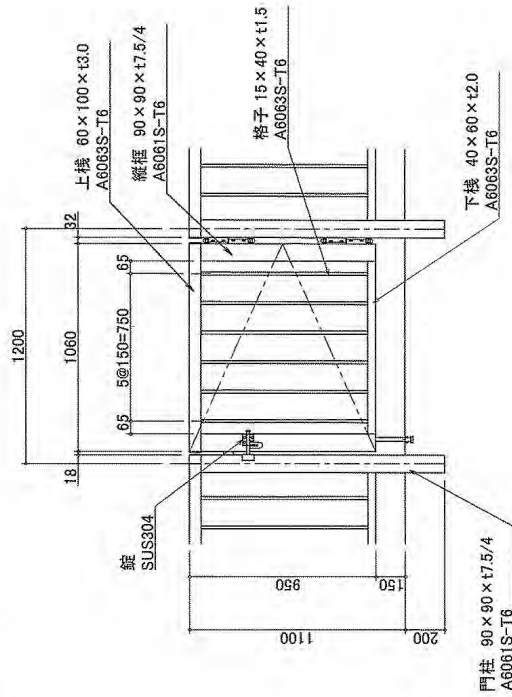


注記 1. 本図の各部材は、すべてステンレス鋼製とする。
2. 本図の各部材は、すべてステンレス鋼製とする。

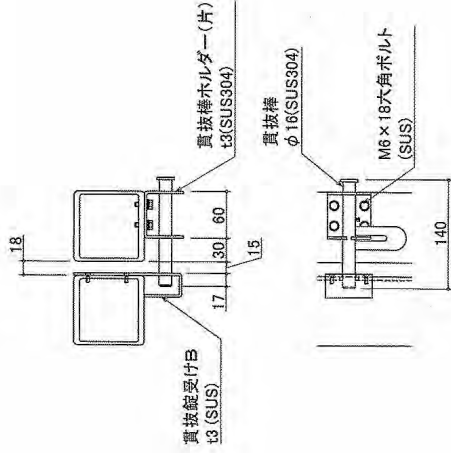
平面図



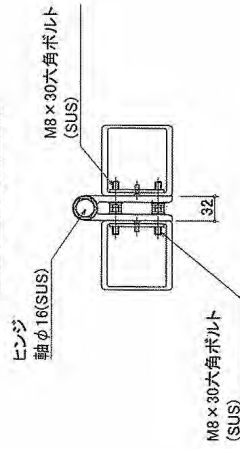
正面図



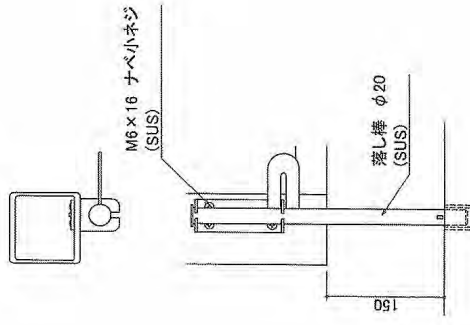
錠部詳細図



ヒンジ部詳細図



落し棒部詳細図
(内観)



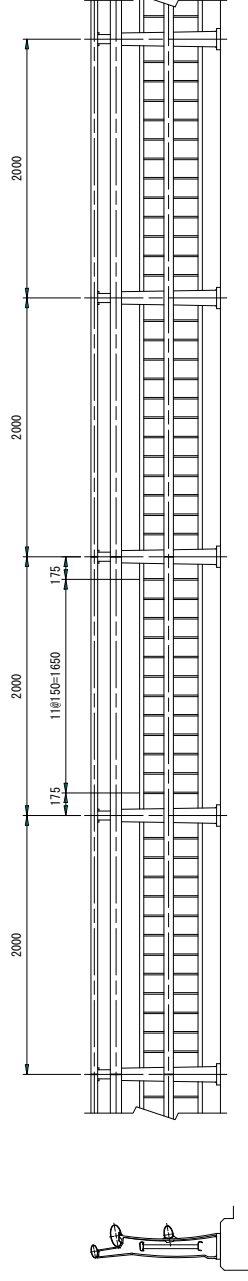
KIF 門扉

(片開き・内開き・外錠・外錠・内落し棒)

部材名	規格・材質
縦樑	JIS H 4100 A6061S-T6
上棧	JIS H 4100 A6063S-T5
下棧	JIS H 4100 A6063S-T5
格子	JIS H 4100 A6063S-T5
門柱	JIS H 4100 A6061S-T6
ボルト類	JIS B 1180

防護柵詳細図 (その2)

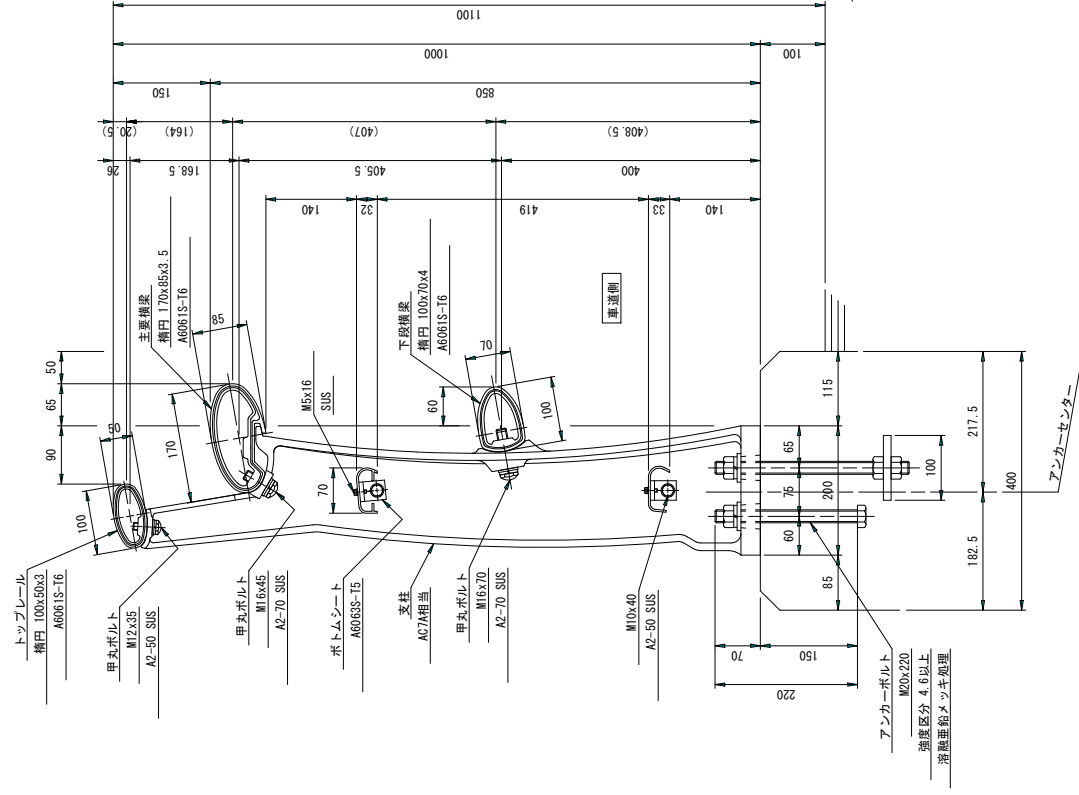
姿図 S=1/30



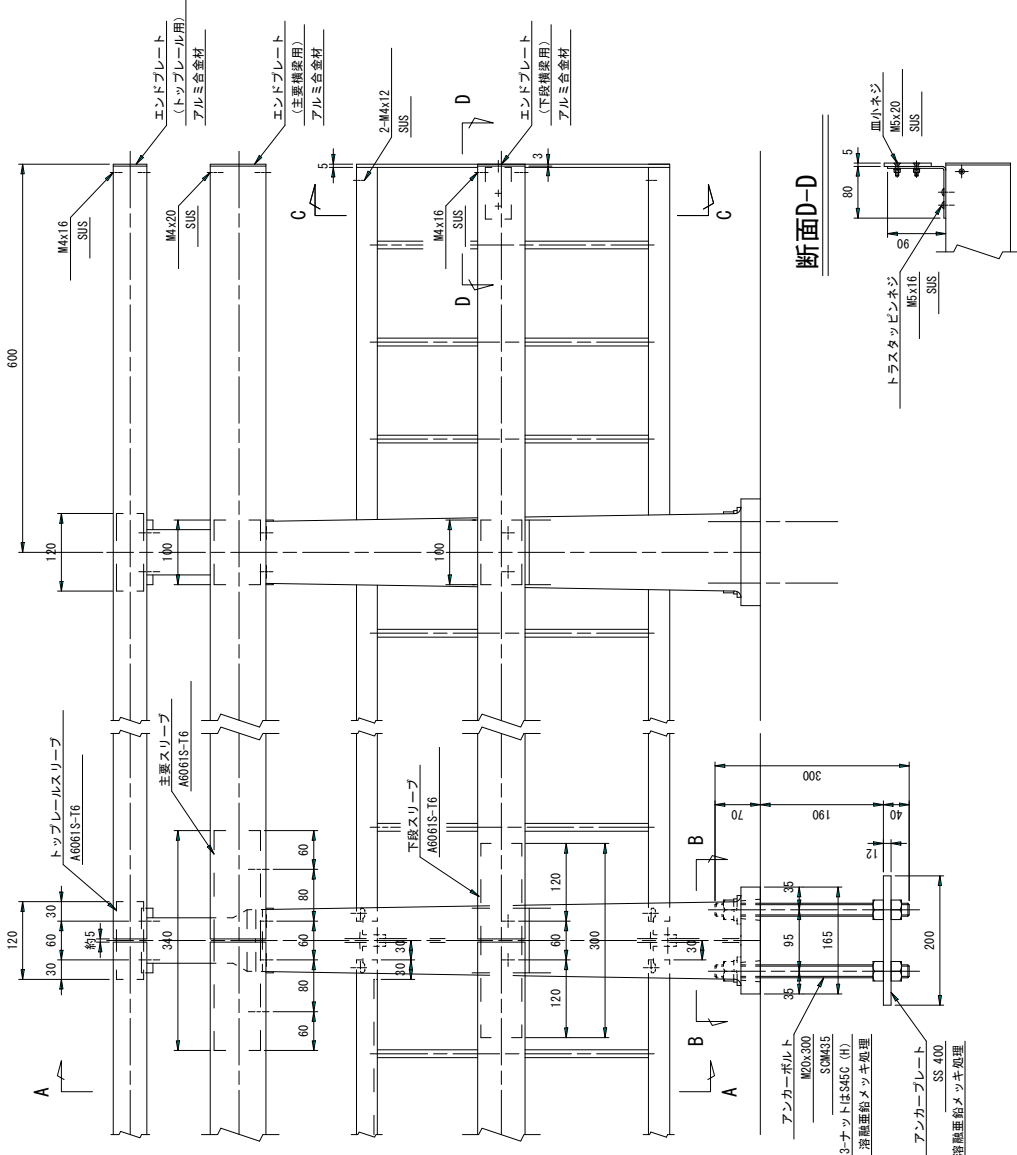
高欄兼用 車両防護柵取付詳細図

S=1/6

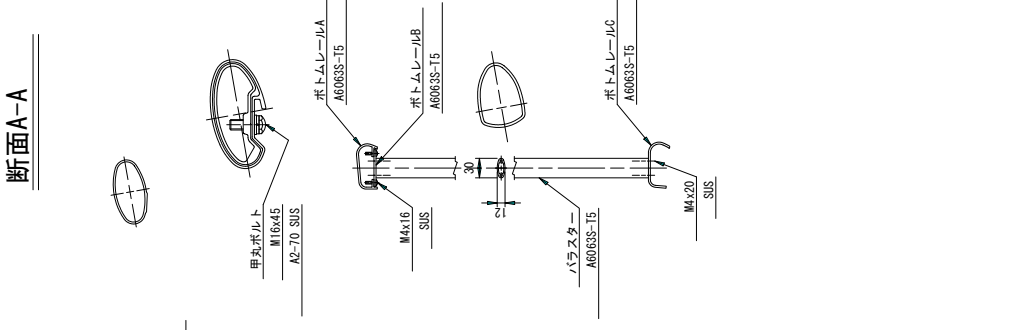
種別 C種 NC-12EB-10



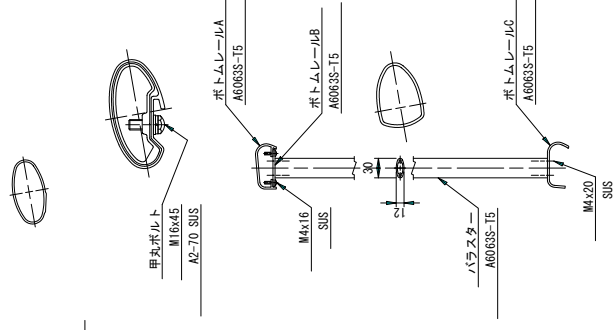
継手部



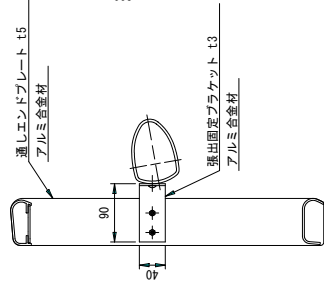
端部



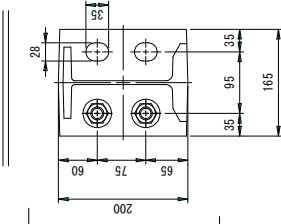
断面A-A



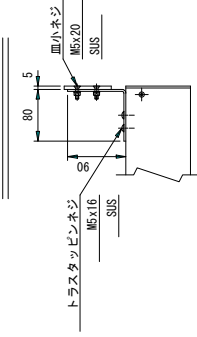
断面C-C



断面B-B



断面D-D



注記

1. 表面仕様
 主要構造、下段構造、主要スリーブ、下段スリーブ他、部材部品はアルマイト処理とし、
 支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はシルバー色の焼き防錆処理とし、色調は別途打合せとする。
 2. 本防護柵の設計仕様は、(株)日本アルミニウム協会、土木製品防錆協会
 「アルミニウム合金製防錆設計要領」（平成21年3月）による。
 3. 本防護柵はNEFIS製防錆製品（NK-G0006-A）です。
 4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
 5%用は2.5%~7.5%勾配に使用とする。

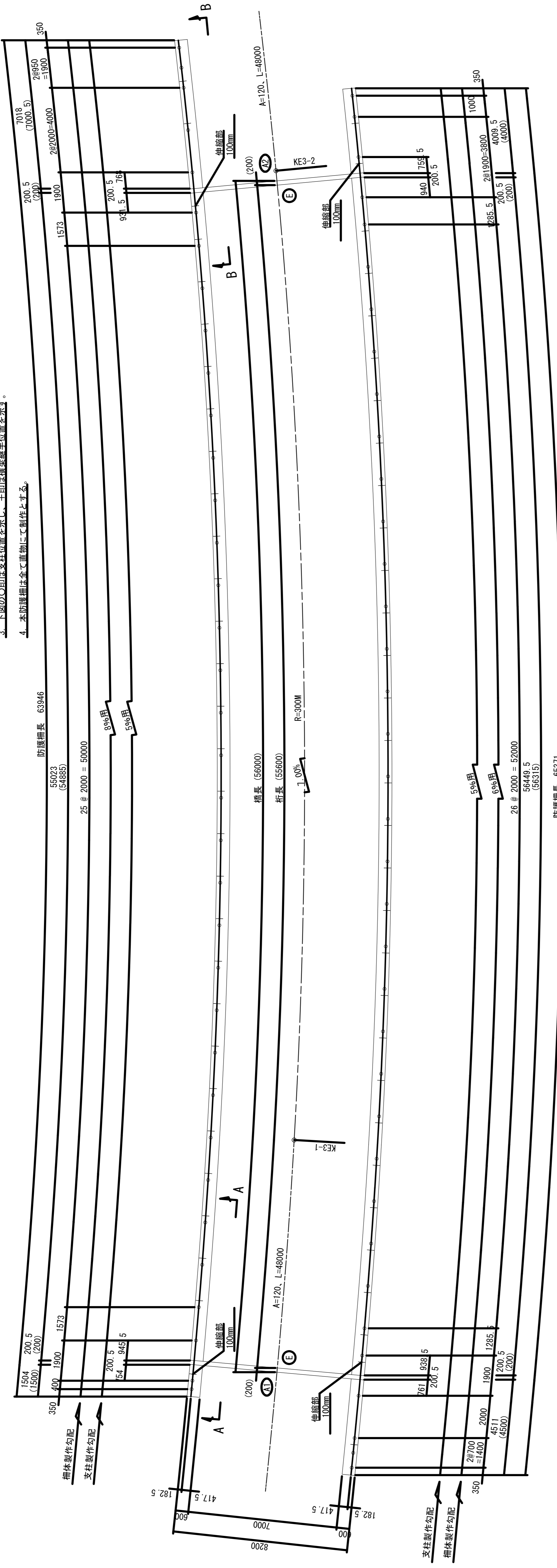
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$

防護柵詳細図(その1)

平面図 S=1/100

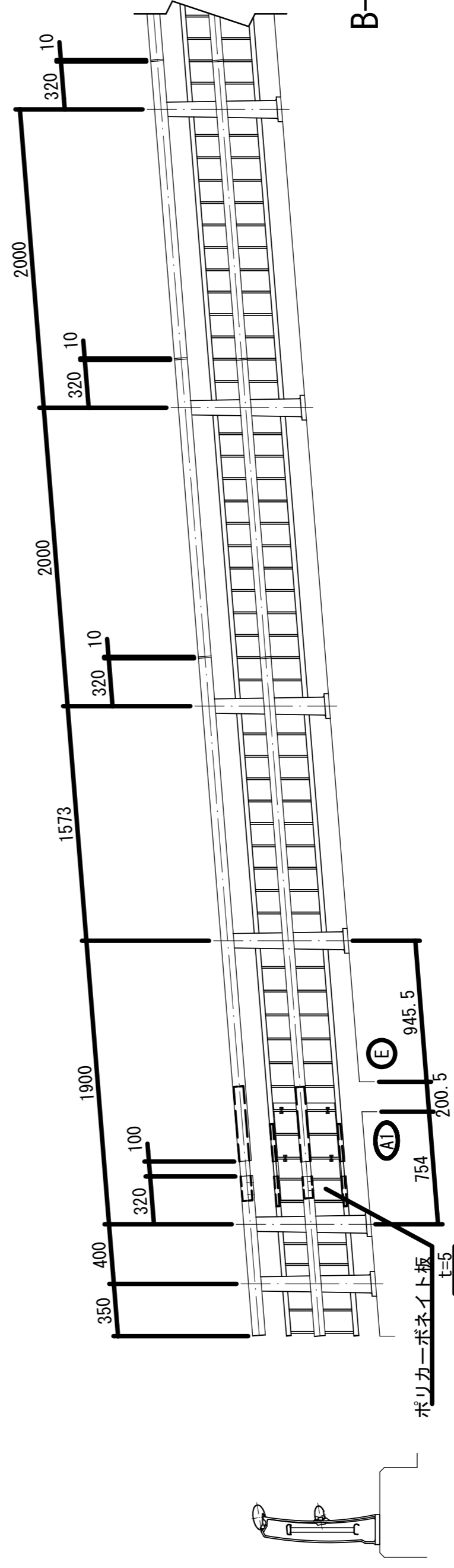
法記

- 1. 記入寸法はアンカーセンター線または、実線で示す。
- 2. () 内寸法は水平長を示す。
- 3. 下図の○印は支柱位置を示し、±印は構架継手位置を示す。
- 4. 本防護柵は全て直物にて制作とする。

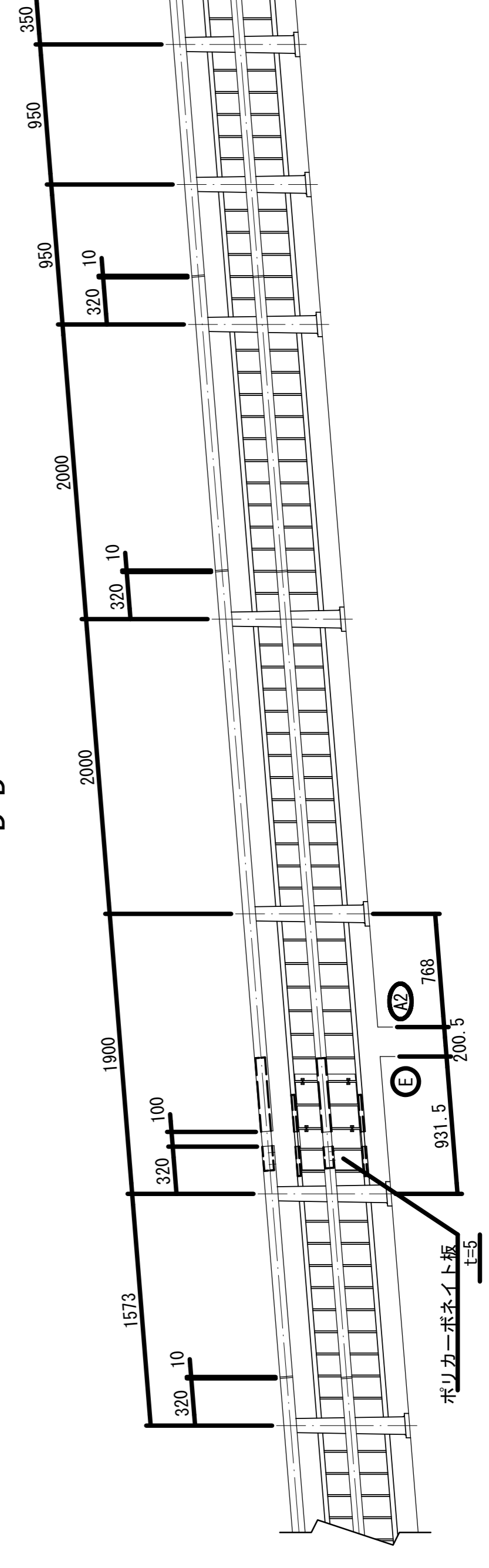


姿図 S=1/30

A-A

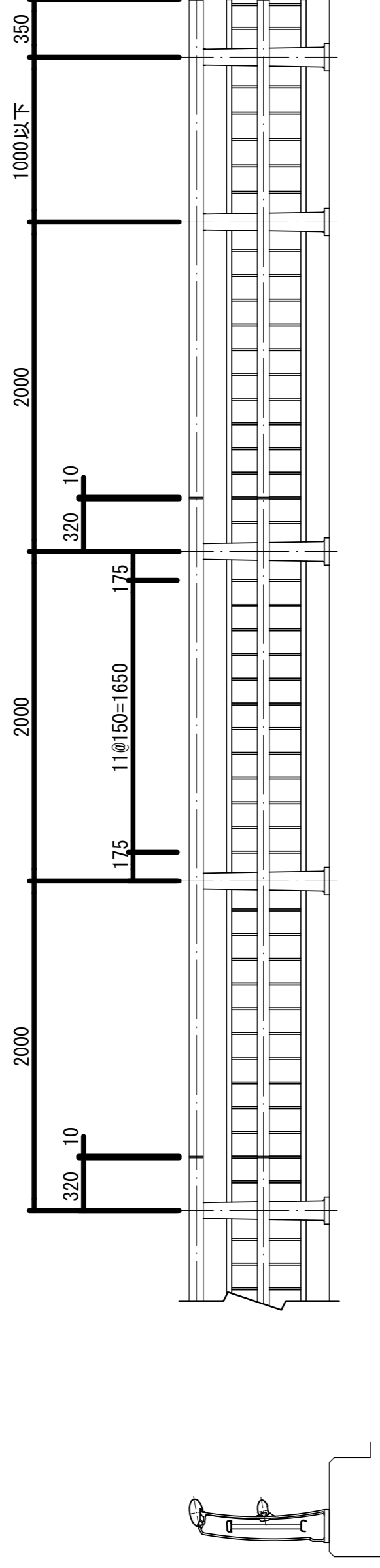


B-B



防護柵詳細図(その2)

姿図 S=1/30



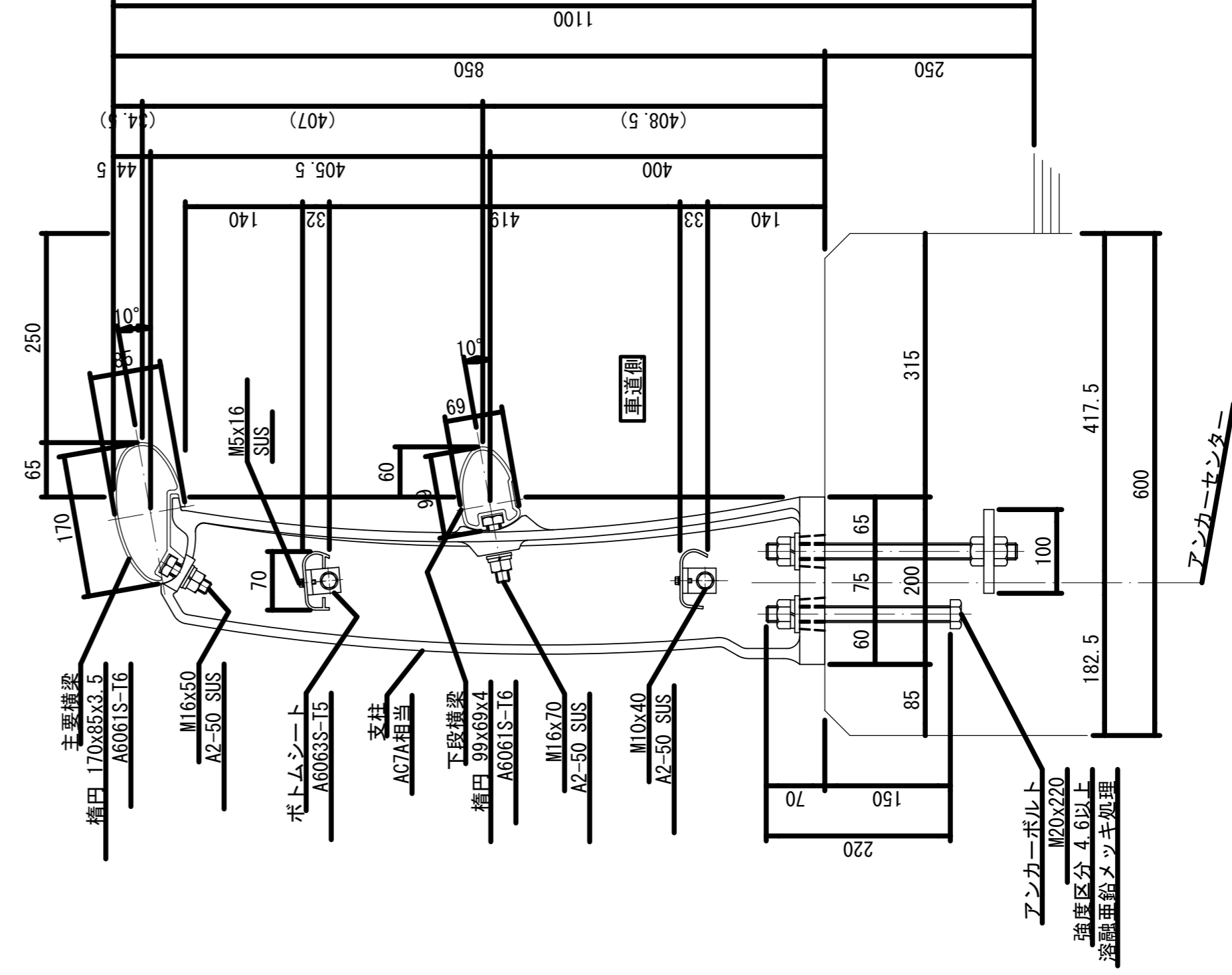
材料表

部番	名称	寸法	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	主要横梁	3900.0	3	4.891	19.52	58.6	A6061S-T6	(12M当たり) 170x85x3.5
2	下段横梁	3900.0	3	3.364	13.42	40.3	A6061S-T6	98x69x4
3	支柱	340.0	6	10.02	60.1	60.1	A7/A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
9	ハラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12	0.11	1.3	1.3	A2-70 SUS	M1.SW1
12	''	M12x30	12	0.05	0.6	0.6	A2-70 SUS	M1.SW1
13	六角ボルト	M16x50	12	0.17	2.0	2.0	A2-50 SUS	M1.W1.SW1
14	''	M16x70	12	0.20	2.4	2.4	A2-50 SUS	M1.W1.SW1
15	''	M10x40	12	0.06	0.7	0.7	A2-50 SUS	M1.WP.SW1
16	''	M5x16	24	0.004	0.1	0.1	SUS	M1.SW1
17	トラスタツピン本ジ	M4x20	288	0.002	0.6	0.6	SUS	
18	''	M4x16	48	0.002	0.1	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12	0.89	10.7	10.7	SQM435	N3.HW1.SW1
20	''	M20x220	12	0.68	8.2	8.2	強度区分4.6以上	N1.HW1.SW1
21	アンカープレート	t=12	6	1.88	11.3	11.3	SS400	100x200x12
				総重量	246.5	246.5	Kc/12M	
				1本当り	20.5	20.5	Kc/7M (端部は除く)	

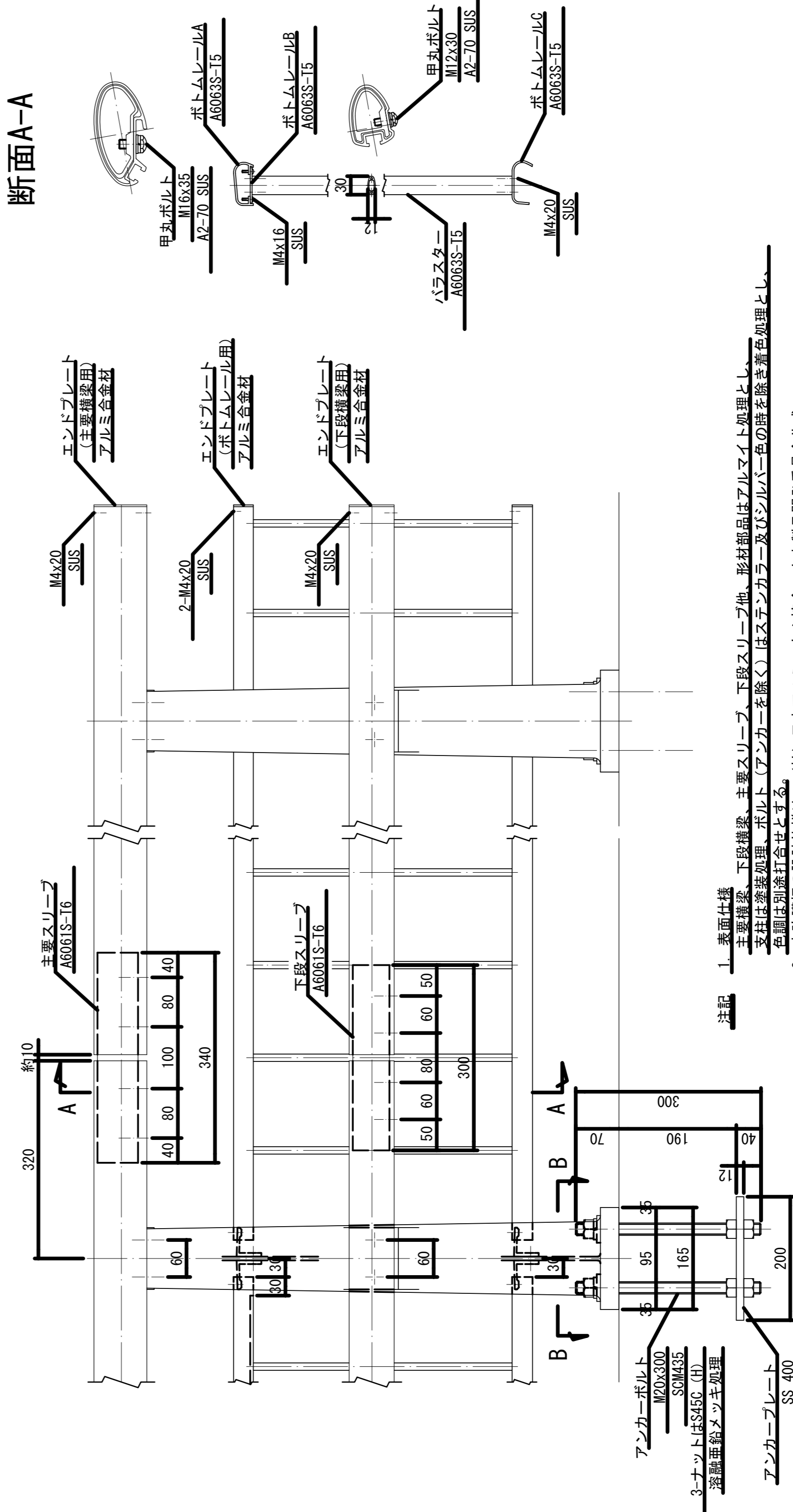
高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 C種

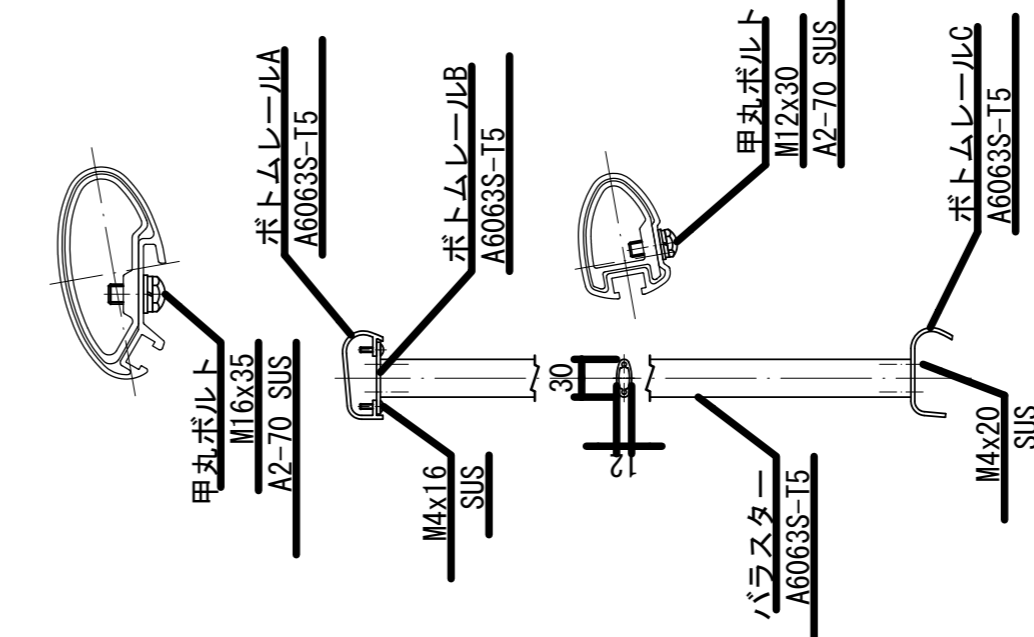
継手部



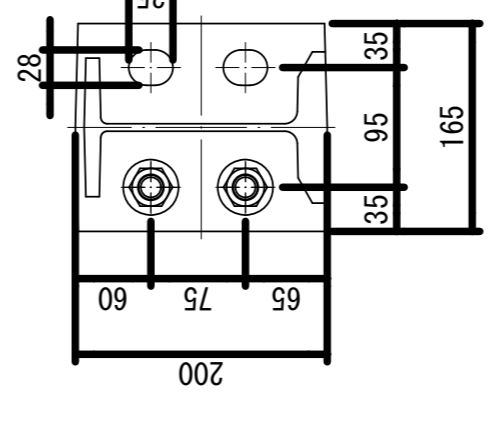
端部



断面A-A



断面B-B



- 注記
1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は溶接処理、ボルト(アンカーを除く)はステンカラー及びシルバー色の珪素亜鉛処理とし、右側は別添付図を参照する。
 2. 本図は別添付図を参照する。(社)日本アルミニウム協会、土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製建築用防護柵取付詳細図」(平成22年10月)による。
 3. 本防護柵の支柱は、レール用を示し、0~2.5%の引張率に使用とする。
取用は2.5%の引張率に使用とする。

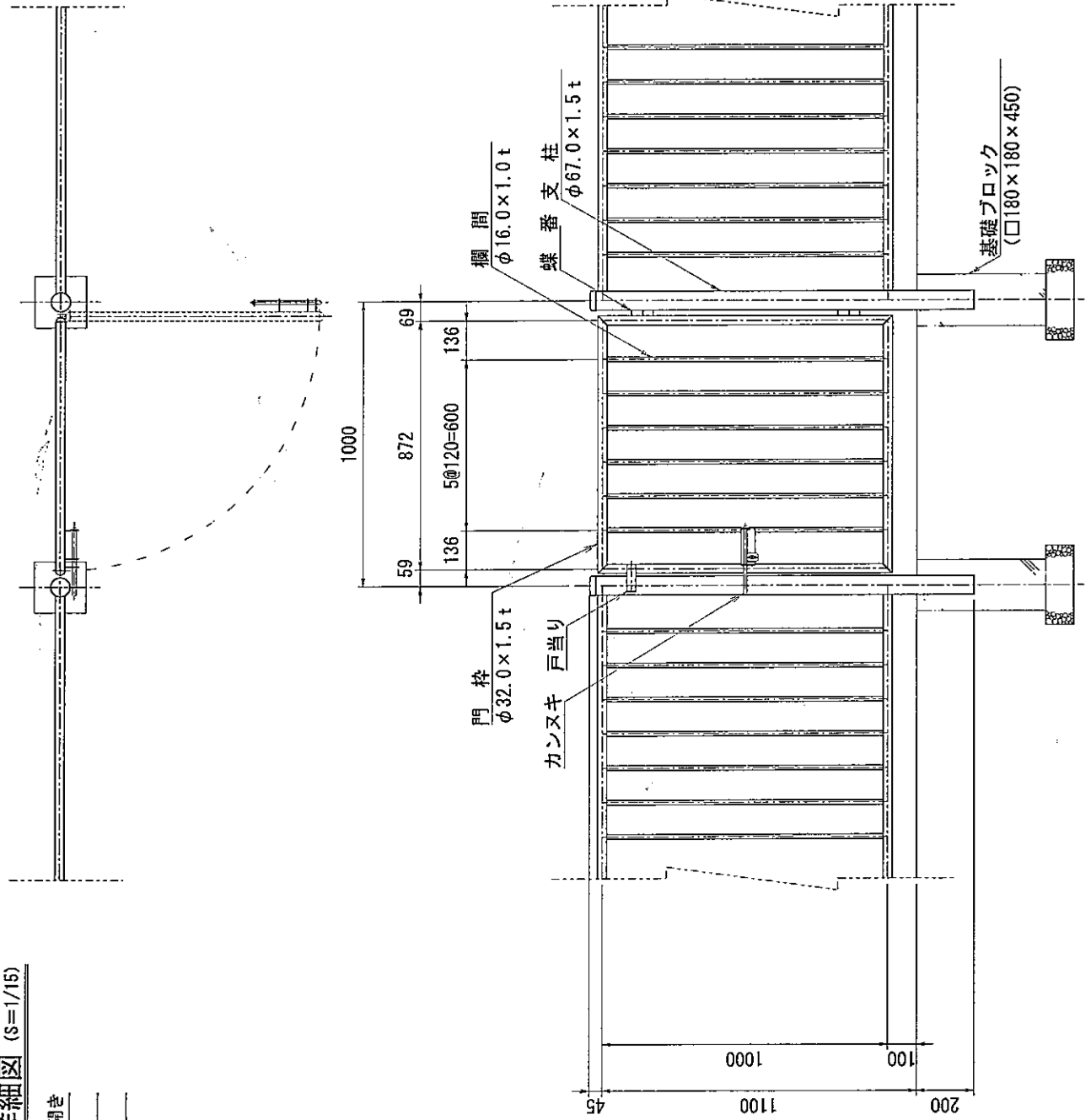
コンクリート強度 $\sigma_{ck} \geq 21 \text{ N/mm}^2$ 以上

片開き門扉 取付詳細図 (S=1/15)

型式 : MAS-SF-101 (H110) 片開き

材質 : SUS304 鋼製

仕上 : パフ研磨#400



5分速硬化型エポキシ樹脂系接着剤



ボンド クイックメンダー

[2液等量混合型]

ボンド クイックメンダーは、エポキシ樹脂を主成分とする2液等量混合型の速硬化型接着・充てん剤です。広範囲の硬質材を強力に接着する汎用型で、各種機械器具や家具、建具、各種構造物等の緊急補修、接着・充てんなどにすぐれた威力を発揮します。

JAIA-002397 F☆☆☆☆
JAIA-400968 4VOC基準適合

■用途

- 金属製機械や器具類の緊急接着補修、ひび割れの充てん補修
 - キャスティング時における大・小の穴埋め
 - 建築工事全般における緊急接着工事
モザイクタイルやガラス装飾品、照明器具類の接着・補修。ステンレスやアルミ建材の接着。大理石、テラゾー、レンガ、ブロック、木レンガ、ノンスリップ、スレート、アンカーピンなどの接着
 - 電気機器に
各種部品の絶縁接着。マグネットとフレームボビン、ダストコア、モーターコアなどの接着
 - 木工関係
ダボ・ホゾなどの接着や各種応急補修に
 - 工芸品・装飾品の接着
 - 高速道路・鉄道などの緊急補修
 - 家具・床タイル、床材、壁材などの接着・補修
 - コンクリートひび割れ注入時の目詰めシール、注入用座金の接着
- ※アクリル、ABS、硬質塩化ビニルにはボンド プライマー 80を使用してください。
 ※ポリエチレン、ポリプロピレン、軟質塩化ビニル、ナイロン、シリコーン樹脂、フッ素樹脂、ゴム、皮革には適しません。
 ※常時水がかかる箇所や、接着後水中浸せきする用途には適しません。

■特長

- 速硬化**：混合後、5分で硬化を開始し15分でほぼ硬化、60分で実用強度に達します。完全硬化は約12時間です。(20℃の場合)
- 接着性**：広範囲の硬質材に優れた接着性を発揮します。
- 充てん接着可能**：溶剤を含まないため、硬化後の体積収縮がほとんどなく、充てん接着ができます。
- 作業性**：使いやすい等量混合型で、壁面でもダレがほとんどありません。

■性状

項目	A 剤(主 剤)	B 剤(硬 化 剤)
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリチオール 三級アミン
外 観	白色ペースト状	黒色ペースト状
混 合 粘 度	約200Pa・s [23℃]	
混 合 比	主剤：硬化剤= 1：1 (質量比)	
比 重	1.50±0.05	
可 使 時 間	約4分 (20℃、20g)	

※数値は規格値ではありません。

■使用方法

- ①接着面の汚れ、サビ、油分などを取り除き、よく乾燥させてください。
- ②A剤およびB剤から必要量だけ等量(1:1)で取り出し、ヘラなどで十分に混合してください。



一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれぬ量にしてください。

- ③接着面に十分に塗布し、すぐにはり合わせてください。凹凸面やすき間の多い箇所の接着には両面に塗布します。なお、すき間の充てんには、接着剤を奥まで十分に押し込んでください。作業は可使時間内に完了してください。多量に使用する場合は、混合しやすいヘラなどを使いすばやく混合してください。
- ④はり合わせた後は、動かないように治具や圧縮具などで最低固定時間以上固定してください。

鋼板同士の引張せん断接着強さにおける目安

項目	冬(5℃)	春・秋(20℃)	夏(30℃)
可使時間	15分以内	4分以内	3分以内
最低固定時間	60分以上	15分以上	10分以上
3N/mm ² に達する時間	約3時間	約60分	約60分
10N/mm ² に達する時間	約3日	約6時間	約6時間

※一度に多量に混合すると、大量発熱して時間が短くなります。

■技術データ

各種材質に対する引張せん断接着強さ(測定値例)

被着材	表面処理	接着強さ(N/mm ²)
鋼-鋼 (SS400)	サンドブラスト(A-120)	25.4
	なし	7.1
ステンレス-ステンレス (SUS304)	サンドブラスト(A-120)	22.1
	なし	4.6
アルミニウム-アルミニウム (A1050P)	サンドブラスト(A-120)	10.5
	なし	3.2
硬質塩ビ-硬質塩ビ	プライマー 80	3.4
ABS - ABS	プライマー 80	5.1*
ポリカーボネート-ポリカーボネート	サンドペーパー(A-120)	1.5

※養生：23±1℃、7日間
 試験方法：JIS K 6850に準拠
 *は材料破壊を示す

■梱包容量

- ボンド クイックメンダー：
1kgセット(主剤：500g、硬化剤：500g)
…… 6セット/1ケース
- ボンド クイックメンダー：
500gセット(主剤：250g、硬化剤：250g)
…… 10セット/1ケース

■警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

■注意事項

本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 所定の用途以外には使用しない。
- 作業場所は十分に換気する。
- 取り扱い中は皮フにふれないように注意し、保護具を着用する。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
- 作業衣などに付着した場合は、すみやかにその汚れをよく落とす。
- 皮フに付着した場合はすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。
- 蒸気などを吸い気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じ医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じ医師の診察を受ける。
- 保管条件：2~40℃。開封後はすみやかに使いきる。
- 廃液は法令に従って処理すること。

※使用にあたっては、製品安全データシート(MSDS)をお読みください。
 ※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。
 ※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2011年2月現在のもので、不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10⁻²J、1MPa= 1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/> 大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961
 東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(262)8173 仙台営業所 TEL022(211)5031 南関東営業所 TEL045(663)3184 広島営業所 TEL082(507)1911
 福岡支店 TEL092(551)1764 北関東営業所 TEL027(324)3002 金沢営業所 TEL076(223)1565 高松営業所 TEL087(835)2020
 札幌支店 TEL011(731)0351

◎ はく落防止工法

ハイブリッドシート工法

① ハイブリッドシート工法とは

ハイブリッドシート工法は、コンクリートのはく落防止工法の1つです。はく落防止性能に優れた3軸ビニロンメッシュを織り込んだ、特殊ラミネートシート(ショーボンドHBシート)を「貼るだけ」で、耐候性に優れたはく落防止工が施工できます。

高品質で均一な施工ができ、工期短縮にもつながる、優れた工法です。



② 主な特長

ハイブリッドシート工法は以下の特長を有しています。

1. コンクリート片のはく落対策工法です。

優れたはく落防止性能を有し、現場施工日数が短縮できる工法です。

2. 劣化(塩害・中性化)対策もできます。

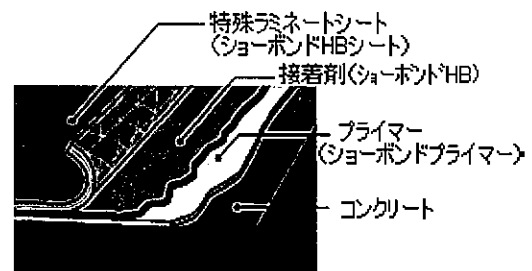
コンクリート保護塗装と同じように、塩害や中性化の抑制性能を併せ持った工法です。

3. はがさずに、そのまま重ねて補強できます。

将来、鋼板接着やCFRP接着で補強するときに、当初施工が無駄になりません。

4. 工期短縮…従来工法と比べ、交通規制日数が約半分になります。

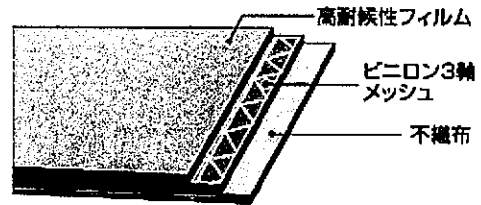
道路上で交通規制を行う跨道橋、高架橋など、迅速施工が求められる箇所で威力を発揮します。



③ HBシートの構造・特徴

コンクリート表面にHBシートを接着剤で貼る工法です。

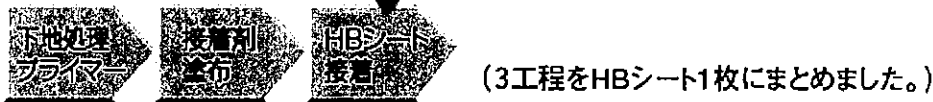
HBシートは、コンクリートのはく落防止機能を備え、耐候性に優れた特殊ラミネートシートです。従来工法の工程を凝縮したシートなので、現場での施工が早くて品質が安定します。



●従来工法

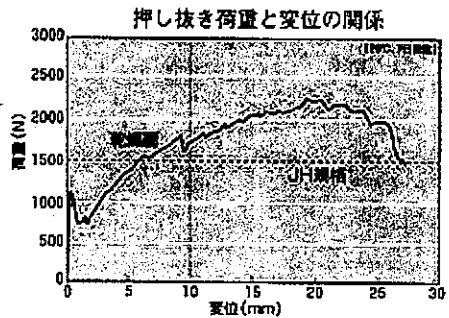
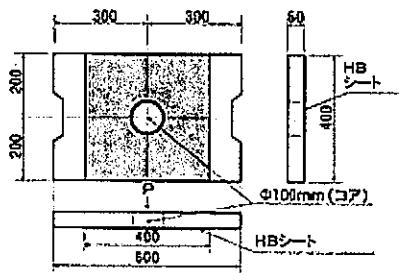


●ハイブリッドシート工法



④ 試験結果など

押し抜き試験の結果から、ハイブリッドシート工法の優れたはく落防止効果が確認されています。



また、技術審査証明(第0014号)により、以下の性能を有していることが証明されました。

1. 目標とした、コンクリート片のはく落防止性能を有している。
2. 目標とした、コンクリート構造物への劣化因子侵入抑制性能を有している。
3. 目標とした、耐久性能を有している。
4. 目標とした、再補修性能を有している。
5. 目標とした、工期の短縮が図れる。

■開発目標

(1) コンクリートのはく落防止性能

- ・荷重: 変位10mm以上で1.5kN以上(押し抜き試験)
- ・伸び: 0.6mm以上(ひび割れ追従性試験)

(2) 劣化因子侵入抑制性能

- ・塩化物イオン透過量: 0.005mg/cm²・日以下
- ・酸素透過量: 5.0 × 10⁻²mg/cm²・日以下
- ・水蒸気透過量: 5.0mg/cm²・日以下
- ・中性化深さ: 1mm以下(中性化阻止性試験)

(3) 耐久性能

- ・促進耐候性試験2000時間後の付着強さ:1.5N/mm²以上であり、3000時間後に外観変状がないこと
- ・耐アルカリ性試験後の付着強さ : 1.5N/mm²以上であり、外観変状がないこと
- ・凍結融解試験300サイクル後の相対動弾性係数 : 60%以上

(4) 再補修性能

- ・部分破損した場合、その箇所に再度ラミネートシートを重ね貼りすることにより、破損前と同等の性能に回復できること

(5) 工期短縮

- ・現場積層型と比較して、現場作業の工程数を概ね半減し、工期の短縮が図れること

⑤ 使用材料

ハイブリッドシート工法で使用する材料は以下のとおりです。

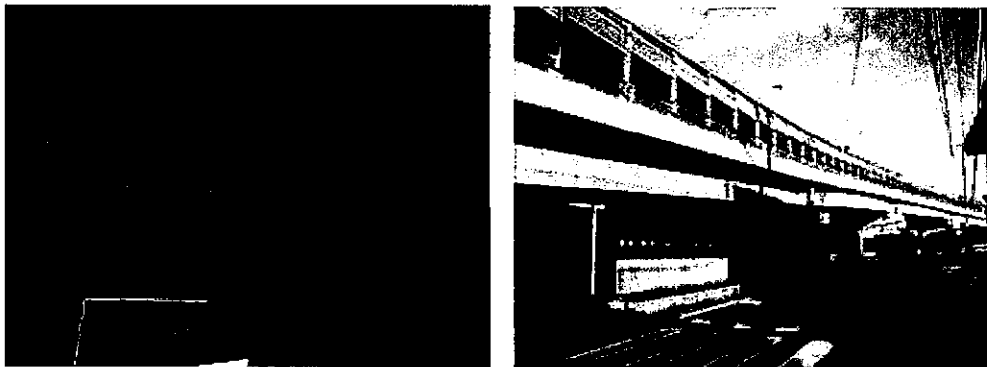
- ・ショーボンドHBシート
- ・ショーボンドHBプライマー
- ・ショーボンドHB

⑥ 施工実績

本工法は、多くの実績を持ち、信頼性の高い工法です。

10件未満 10~100件 100~1000件 1000件以上

⑦ 写真など



⑧ お問い合わせ

ハイブリッドシート工法は、国土交通省新技術情報提供システム (NETIS) に登録されています (TH-010017-V)。

ハイブリッドシート工法は、技術審査証明を取得しました。(道路保全技術センター: 第0014号)

ハイブリッドシート工法に関するお問い合わせは、弊社各営業所までお願いします。

系	統	2液溶剤型エポキシ樹脂系プライマー
特	長	1) 浸透性に優れ、コンクリート表面を強固にする。 2) 湿潤コンクリート、亜鉛めっき鋼板との付着性に優れる。 3) 耐水、耐アルカリ性に優れる。
用	途	1) コンクリート保護工法用プライマー
配	合 比	主 剤：硬化剤 = 1：1 (重量比)
荷	姿	10kgセット (主剤/5.00kg、硬化剤/5.00kg)
外	観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡褐色液状 混合物…淡褐色液状

可使時間
塗装間隔

温 度 [°C]		5	10	20	30
可使時間 [時間]		10	8	6	4
塗装間隔	最短[時間]	8	6	2	1
	最長[日]	7	7	7	7

比	重	1.00±0.10 (液比重)
標	準 塗 布 量	0.1kg/m ²
貯	蔵 保 証 期 間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第1石油類 硬化剤 危険物 第4類 第1石油類
日	本 接 着 剤 工 業 会 ソノホルムアルデヒド 製 品 登 録	J A I A - 0 0 2 9 0 5 F☆☆☆☆


使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 均一になるまで混合攪拌する。 3) 刷毛、ローラー等で塗布する。
---	-------	--

使	用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、水分の除去) 2) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 3) 可使時間内に塗装作業を終了する。 4) 換気のよい場所で取り扱い、火気厳禁とする。 5) 容器はその都度密栓する。
---	-----------	--

△ 注 意


1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

- 系 統 2液無溶剤型エポキシ樹脂系プライマー
- 特 長 1) コンクリート湿潤面や鋼材に対する接着性に優れている。
2) 極めて粘度が低く、微細なひび割れ(0.2mm以下)への含浸性に優れている。
- 用 途 1) 旧日本道路公団、構造物施工管理要領「はく落防止性能の照査基準」適合
ハイブリッドシート工法用プライマー
- 配 合 比 主 剤：硬化剤 = 2：1 (重量比)
- 荷 姿 1kgセット (主剤/0.67kg、硬化剤/0.33kg)
10kgセット (主剤/6.67kg、硬化剤/3.33kg)
- 外 観 性 状 主 剤…無色透明液状
硬化剤…淡黄色透明液状
混合物…淡黄色透明液状
- 可 使 時 間
- | タ イ プ | 通 年 用 | | | |
|-------------|-------|-----|----|----|
| 温 度 [°C] | 5 | 10 | 20 | 30 |
| 可 使 時 間 [分] | 210 | 140 | 60 | 40 |
- 比 重 1.15 (硬化物)
- 標 準 塗 布 量 0.15kg/m² (刷毛、ローラー)
- 貯 蔵 保 証 期 間 12か月 (未使用、冷暗所保存)
- 消 防 法 に よ る 区 分 主 剤 危 険 物 第 4 類 第 3 石 油 類
硬 化 剤 危 険 物 第 4 類 第 3 石 油 類
- 使 用 方 法 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
3) 刷毛、ローラーで塗布する。
- 使 用 上 の 注 意 1) 接着面の表面処理を十分に行う(レイトンス、汚れ、水分の除去)
2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。
3) 可使時間内に作業を終了する。
4) シンナーや水を混入して使用しない。

 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。 |
|---|

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系接着剤
- 特 長 1) 適度な揺変性を有し、作業性に優れる。
2) HBシート、HBテープの含浸接着性に優れる。
- 用 途 1) 旧日本道路公団、構造物施工管理要領「はく落防止性能の照査基準」適合
ハイブリッドシート工法に使用する接着剤
2) 社団法人 日本鉄道施設協会「東海道新幹線鉄筋コンクリート構造物、コンク
リート保護材」A種、C種適合 ハイブリッドシート工法に使用する接着剤
3) HBテープに使用する接着剤
- 配 合 比 主 剤：硬化剤 = 3：1 (重量比)
- 荷 姿 3kg セット (主剤/2.25kg、硬化剤/0.75kg)
10kg セット (主剤/7.50kg、硬化剤/2.50kg)
- 外 観 性 状 主 剤…白色グリース状
硬化剤…黒色グリース状
混合物…灰色グリース状
- 可 使 時 間
- | タ イ プ | 冬 用 (W) | | 夏 用 (S) | |
|-------------|---------|----|---------|----|
| 温 度 [°C] | 5 | 15 | 20 | 30 |
| 可 使 時 間 [分] | 100 | 40 | 60 | 20 |
- 比 重 1.15 (硬化物)
- 標 準 使 用 量 1.0kg/m²
- 貯 蔵 保 証 期 間 12か月 (未使用、冷暗所保存)
- 消 防 法 に よ る 区 分 主 剤 指定可燃物 合成樹脂類 (その他のもの)
硬化剤 指定可燃物 合成樹脂類 (その他のもの)
- 使 用 方 法 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
3) ハイブリッドシート工法の施工マニュアルを熟読し、施工する。
- 使 用 上 の 注 意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)
2) グリース状なので、混合むらがないように十分に混合攪拌する。
3) 可使時間内に作業を終了する。
4) シンナーや水を混入して使用しない。
5) ハイブリッドシート工法では、貼り付け1回当たりの必要量を確認すると同時に、可使時間内に、含浸・接着作業を終了する。

 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。 |
|---|

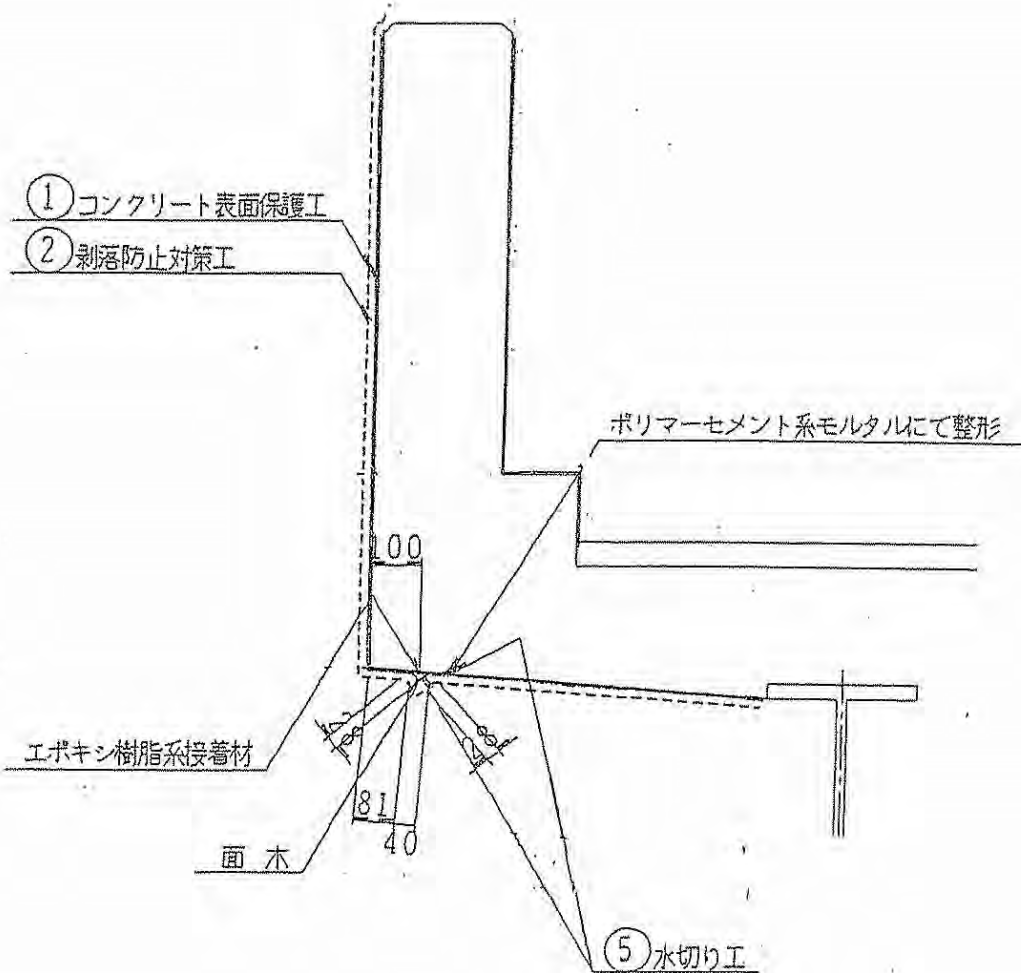
製品規格表

製品名 ショーボンド HBシート (Jタイプ)

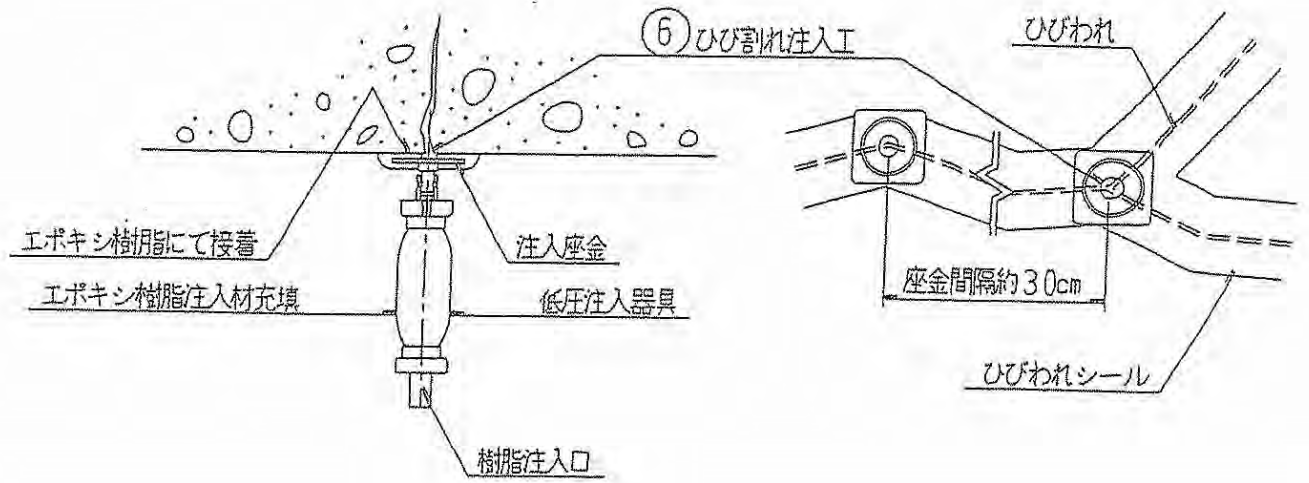
試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
外観	目視	20℃	—	きず、しわ、剥がれ、変色のないこと
質量	JIS L1096	20℃ *1	g/m ²	165 以上
引張強さ	JIS L1096	20℃ *2	N/15mm	300 以上

*1 保護フィルムを含まない
*2 試験片 15mm 幅の中央に補強繊維 2 本を含む

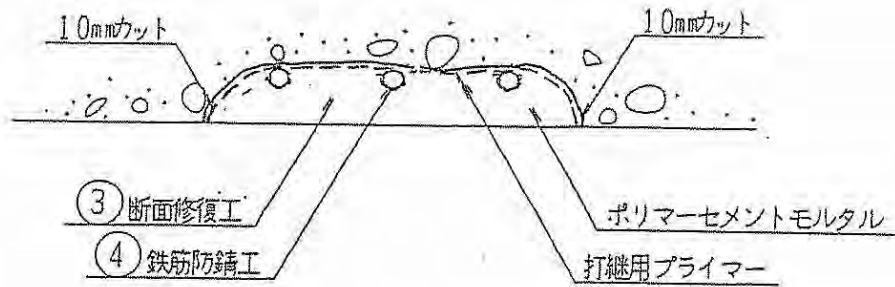
コンクリート剥落防止対策工の種別（工法概要図）



ひびわれ注入詳細図

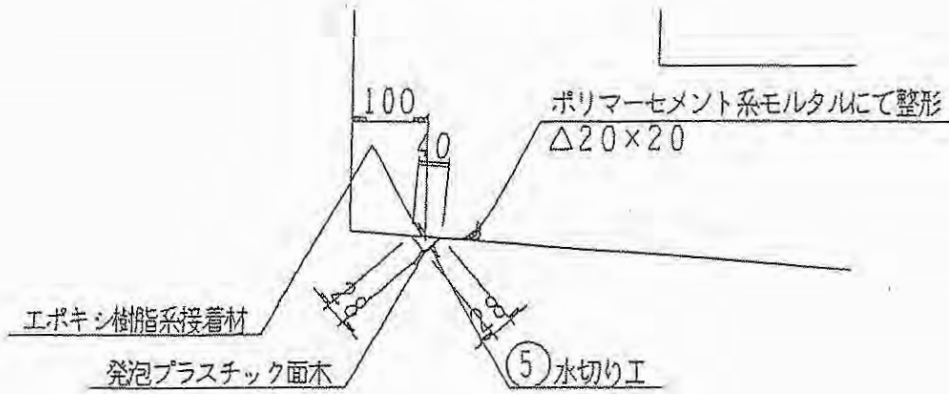


断面復旧工詳細図



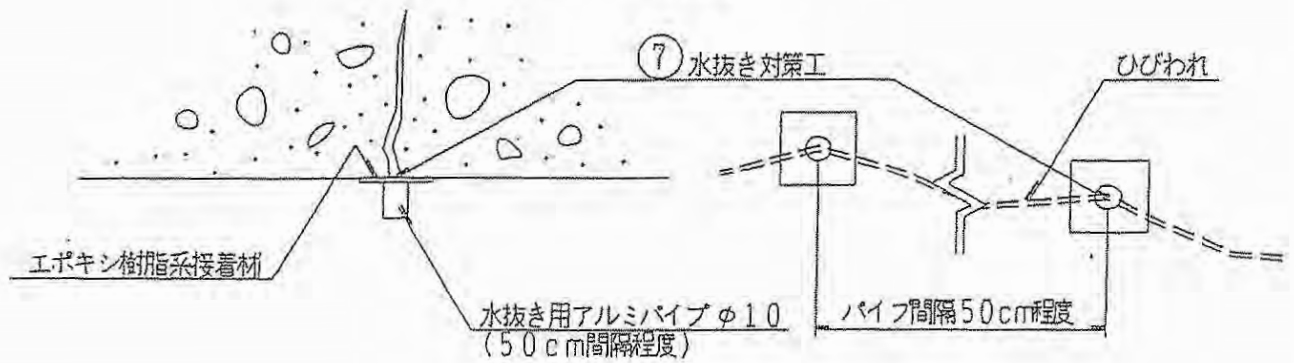
- 注) 1 既設鉄筋は下地処理後、防錆材を塗布すること。
 2 既設と補修境界部に10mm深さのカッターを入れること。

水切り工詳細図

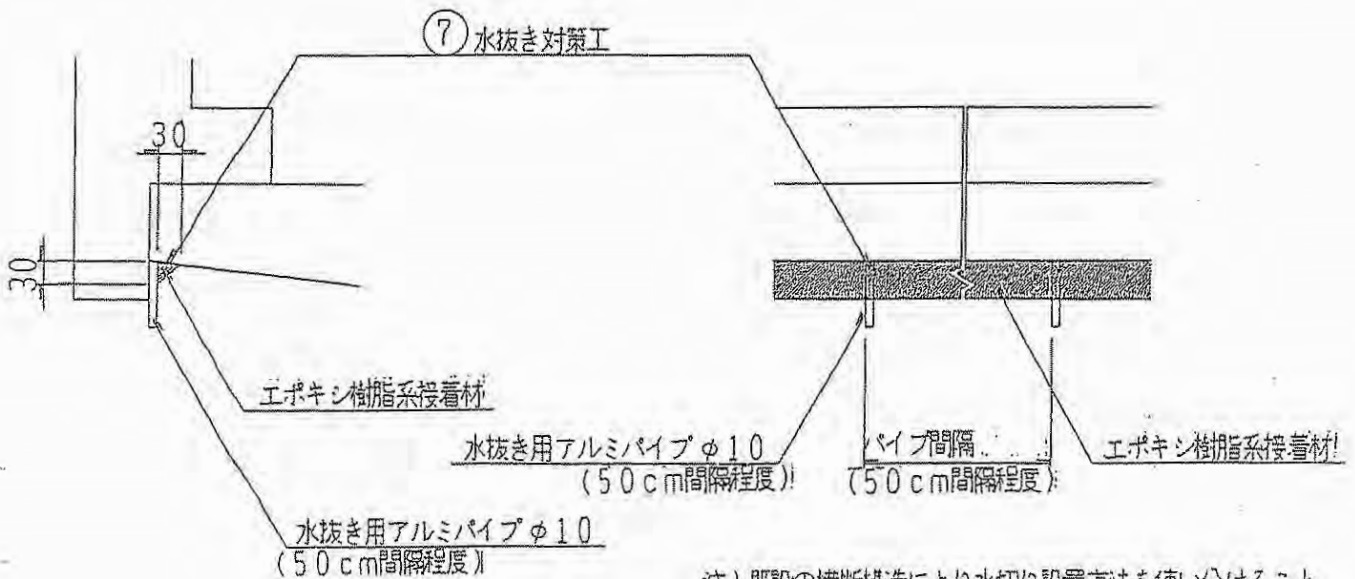


水抜きパイプ設置詳細図

(漏水を伴うひび割れや打ち継ぎ目部)



(既設の水切り部に沿って水抜きパイプを設置する場合)



注) 既設の横断構造により水切り設置方法を使い分けること

無機系はく落防止システム
「レジガードMHシステム」発売

－2004年4月5日リリース－

(レジガードMHシステム各製品の機能と特長)

(用 途)

(お問い合わせ)

コンクリート剥落防止対策工法

FF-VSE 工法

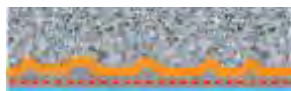
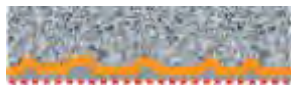
[▶ 工法概要](#)[▶ お問い合わせ](#)

■ Feature 工法概要

■ 概要

■ 施工手順





特長

応用範囲

Materials 主要使用資材

FFシート(ビニロンメッシュシート)品番/規格

FFシート (ビニロンシート)						

FFプライマー(プライマー工使用材料)

FFプライマー					

FFダイン(エポキシ系樹脂)品番/規格

FFダイン						

FFトップ(仕上工使用材料)品番/規格

FFトップ					

標準使用量

プライマーエ				
不陸調整兼シート貼付工				
仕上げ工				

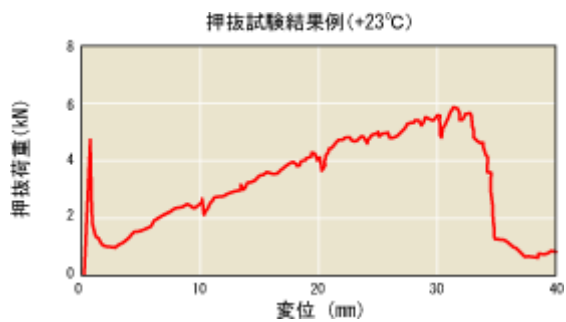
Specifications 規格・特性

FF-VSE工法性能

剥落防止性能 (押抜試験結果)	試験温度 -30℃			
	試験温度 +23℃			
	試験温度 +50℃			
プライマーひび 割れ含浸性能	試験温度 +23℃			

耐久性能	付着強度	試験温度 -30°C			
		試験温度 +23°C			
		試験温度 +50°C			
	ひび割れ 抵抗性	試験温度 -30°C			
		試験温度 +23°C			
		試験温度 +50°C			
	塩化物イオン 透過性	試験温度 +23°C			

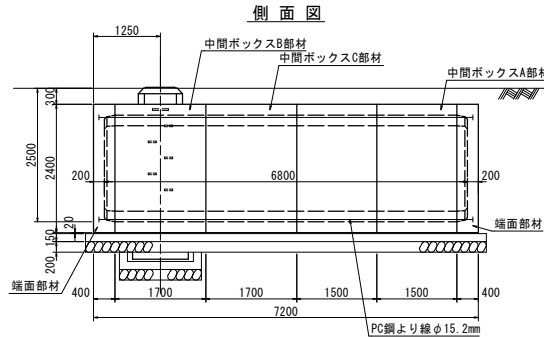
押抜試験結果



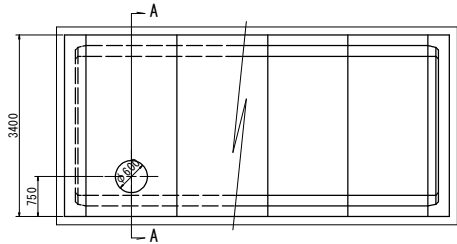
防火水槽構造図

組立図

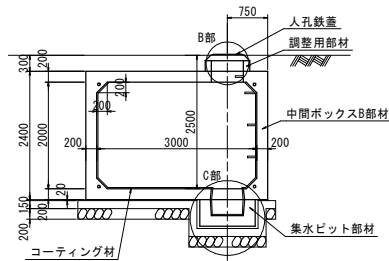
S=1:50



平面図



A-A 断面図



止水仕様 (防水工) 材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{0.20}) \times (6.40 + 2 \times 0.20) + (3.00 \times 2.00 - 4 \times 0.20^2 / 2) \times 2 + 0.60 \times \pi \times 0.50 \times 1 + (2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{0.20}) \times 5 \times (0.065 + 0.015)$	61.0 m ²
コーキング材 1	$(2 \times 2.60 \times 2 \times 1.60 + 4 \times \sqrt{0.20}) \times 5 + 0.64 \times \pi \times 1$	49.7 m
シール材	中間ボックス、 端面部材 集水ビット部材 調整用部材	51.3 m 3.6 m 4.7 m
コーキング材 1	$0.04 / 3 \times (\pi \times 0.07^2 / 4 + \pi \times 0.06^2 / 4 + \sqrt{\pi \times 0.07^2 / 4 \times \pi \times 0.06^2 / 4}) \times 4$	0.001 m ³
パッキン材	—	4 ケ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(7.50 \times 3.70 - (1.24 \times 1.14 + 2 \times 0.15) \times 0.52) \times 0.15$	4.581 m ³	$\sigma_{ck} = 18.0 \text{ N/mm}^2$
基礎型枠	$2 \times (7.50 \times 3.70) \times 0.15 + 4 \times (1.24 \times 1.14 + 0.15 \times 0.15) \times 0.52$	8.934 m ²	
基礎砕石	7.50×3.70	27.750 m ²	t=0.20m
敷モルタル	$(7.20 \times 3.40 - 1.24 \times 1.14) \times 0.02$	0.461 m ³	

防火水槽明細書

型式番号	耐-00001-1号		
型式記号	T40-1-A-0.0/1.0		
容量	40.16 m ³		
設計荷重	10.0 kN/m ²		
設置場所	I型		
土被り厚	0.300 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2 個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2 個	
集水ビット部材	PH500 (1.04m x 1.04m x 0.50m)	1 個	
調整用部材	φ0.83m, RH200	1 個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L=7.8m	4 本	SWPR7B
定着具	アンカープレート、グリップ	8 組	端面部材用
グラウト	$0.12 / 3 \times \pi \times (0.08^2 \times 0.08 + 0.07^2 \times 8 + 0.02 \times \pi \times 0.08^2 \times 8 + 0.920 \times \pi / 4 \times 0.035^2 \times 2 \times 4)$	0.047 m ³	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
緊結ボルト	M16, L=0.300m (ナット、座金付)	3 組	
人孔鉄蓋	φ600	1 組	
六角ボルト	M20, L=200mm (ワッシャー付)	4 組	
GキャップE	-	8 組	

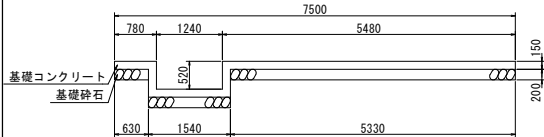
※内面防水は、コーティング仕様とする。

※日本消防設備安全センターの認定品である。

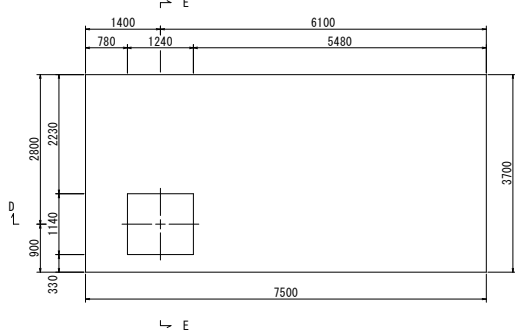
基礎図

S=1:50

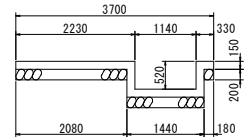
D-D 断面図



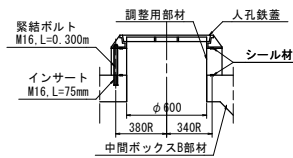
基礎平面図



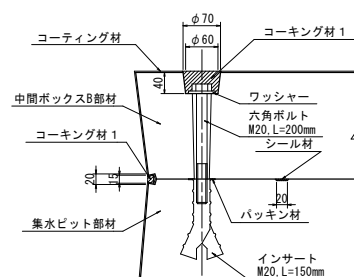
E-E 断面図



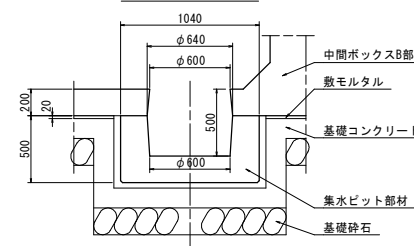
B部詳細図 S=1:20



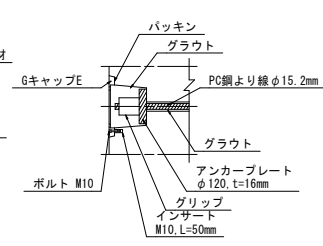
集水ビット連結部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:20

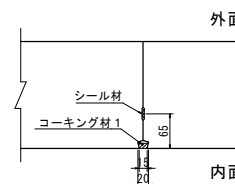


PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10

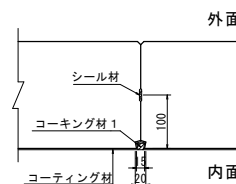


継手部詳細図 S=1:5

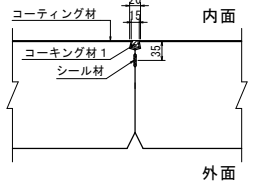
頂版



側壁



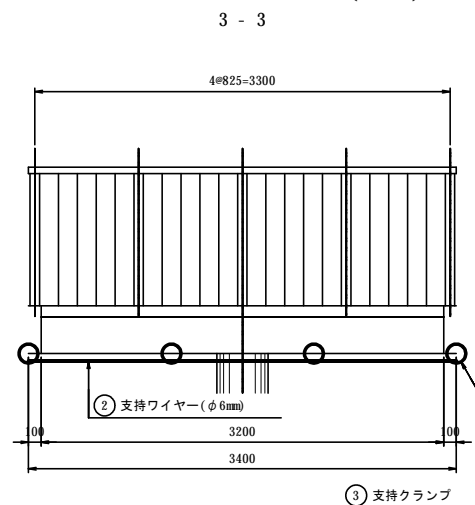
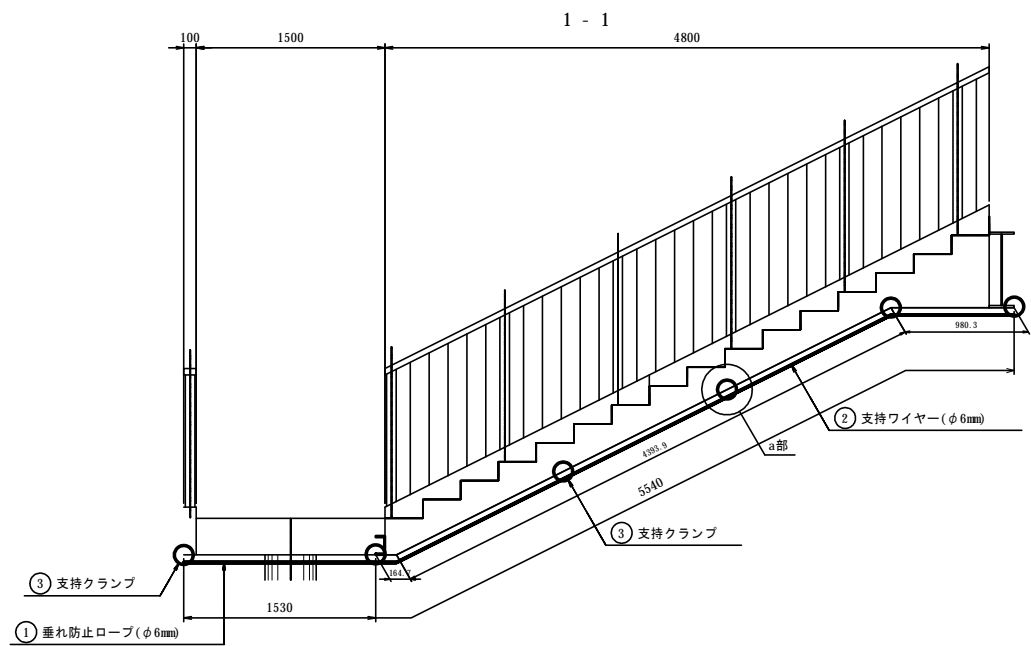
底版



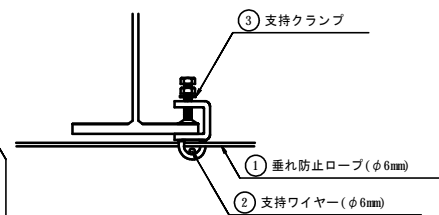
剥落防止ネット工計画図

断面図 S=1:30

(海側)



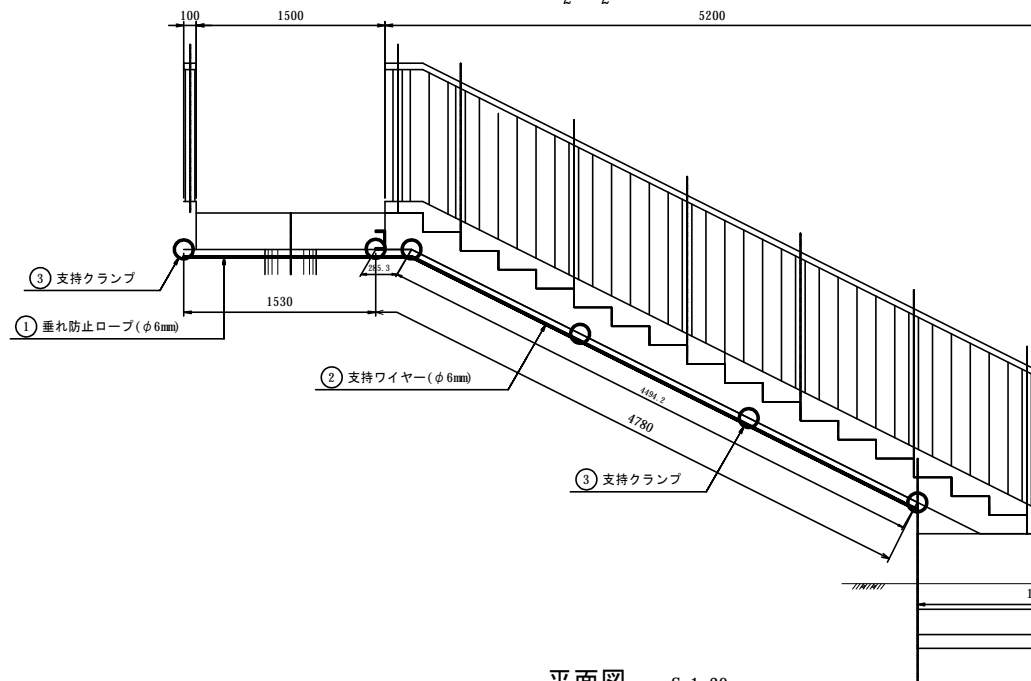
a部詳細



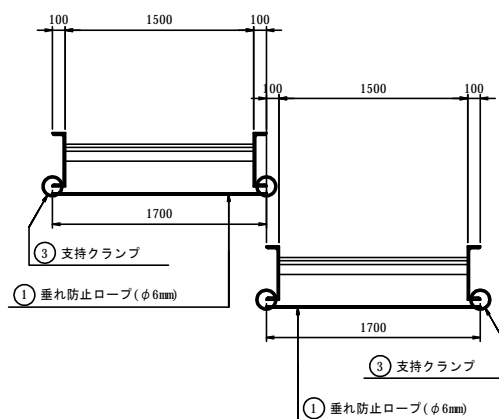
剥落防止ネット標準材料表

番号	材料名称	寸法	材質	単位	数量	摘要
①	垂れ防止ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン 6mm	m	13.6	麻生中歩道橋
②	支持ワイヤー	φ6(4号6×24)	JIS G 325 G種メッキ	m	37.3	麻生中歩道橋
③	支持クランプ			個	28	麻生中歩道橋
④	削孔式打込みアンカー	M10×70		本	—	—
⑤	支持アイボルト	M10(ネジ部18mm)		個	—	—
⑥	接続金具	φ6(内径50mm)	AK 1001	個	6	麻生中歩道橋
⑦	ワイヤークリップ	φ6(内径50mm)	JIS B 2809 メッキ	個	24	麻生中歩道橋
⑧	編み込みロープ	φ3.5(三つ打ち)		本	—	—
⑨	周囲ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン 6mm	m	37.3	麻生中歩道橋
⑩	剥落防止ネット	10mm目合い(黒)	ナイロン(防炎加工) 1590dt/8本 10mm目	m ²	22.7	麻生中歩道橋
⑪	干渉部緩和材	15R×30	発砲面木	m	—	—
⑫	発砲面木接着剤		エポキシ樹脂系接着剤	m	—	—

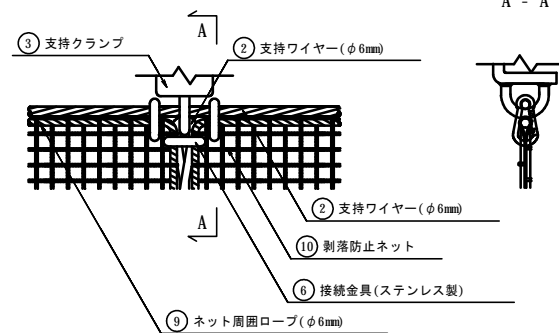
2 - 2



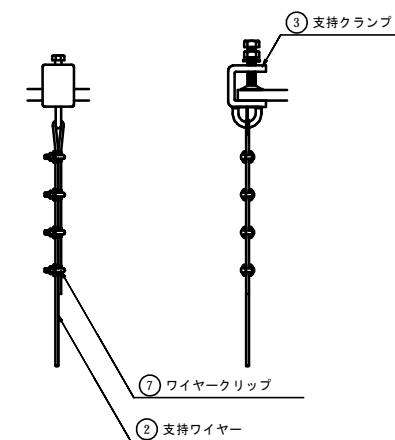
4 - 4



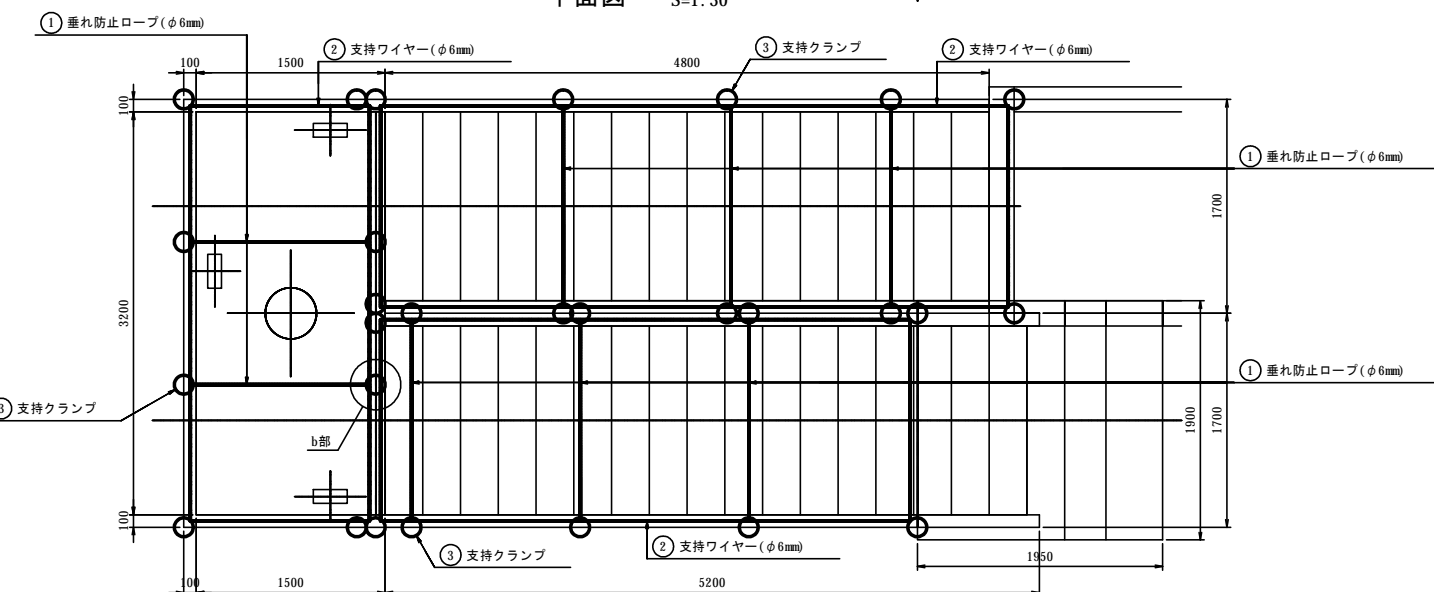
b部詳細



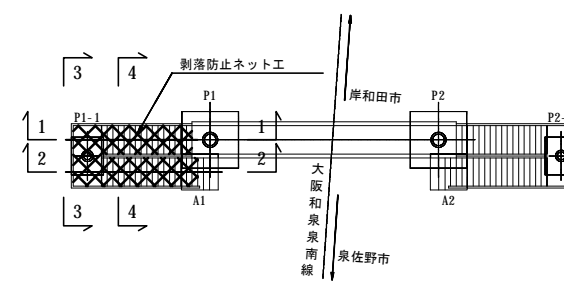
支持ワイヤー終末処理詳細



平面図 S=1:30



位置図 S=1:200



麻生中歩道橋
剥落防止ネット工数量表

階段部	単位		海側
	上段	下段	
階段部	m ²	9.4	8.1
	m ²	8.1	
踊場部	m ²	5.2	
合計	m ²	22.7	

注)この図面は、橋梁台帳および建設時一般図をもとに構造寸法を再現したものである。

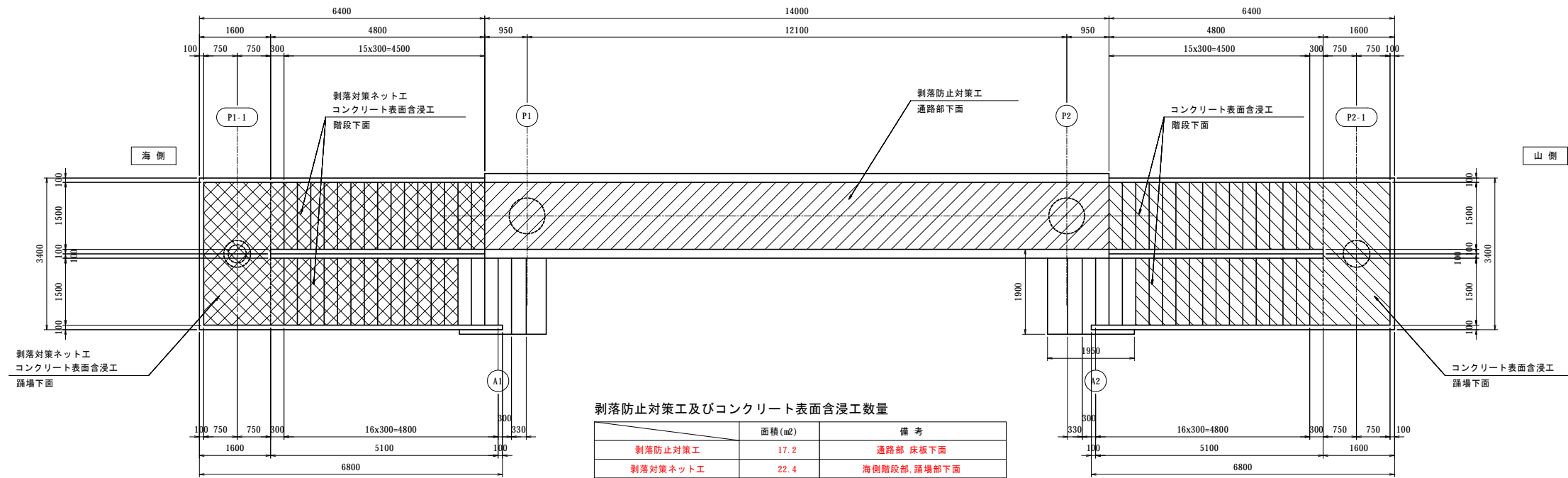
年度	平成年度	事業名
所属地名		
路線名		
委託名		
図面種別	剥落防止ネット工計画図	
設計	縮尺	番号
図示		/
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月

補修詳細図(その1)

S=1:60

剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工

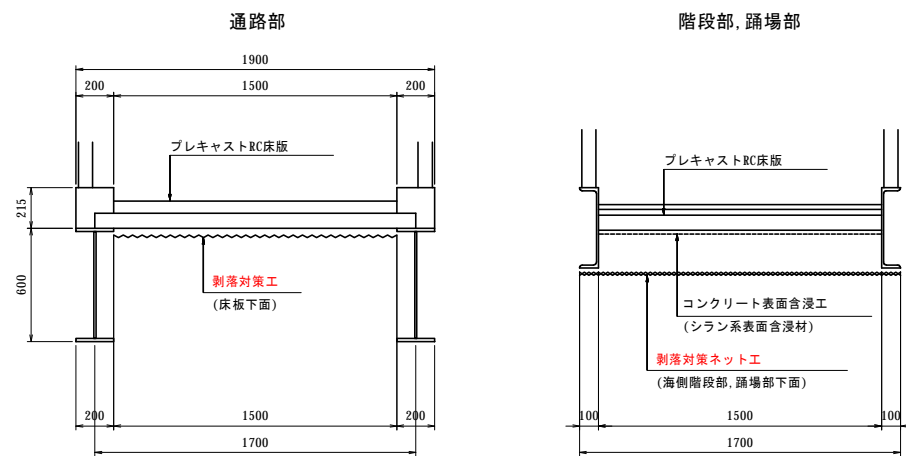
平面図



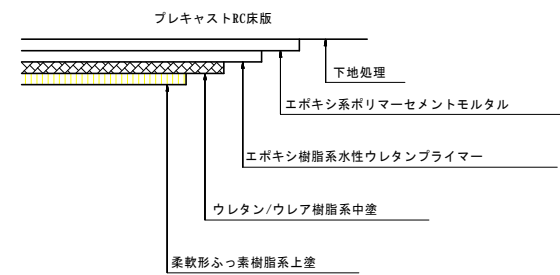
剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工数量

	面積(m ²)	備考
剥落防止対策工	17.2	通路部 床板下面
剥落対策ネット工	22.4	海側階段部、踊場部下面
コンクリート表面含浸工	35.2	シラン系表面含浸材 塗布(1層) 標準使用量 0.3リットル/m ²

断面図 S=1:20

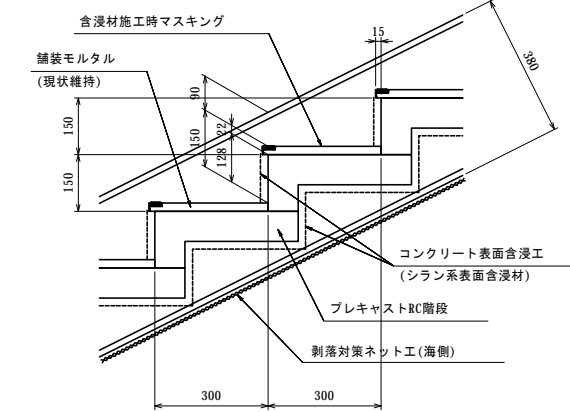


剥落対策工詳細図



コンクリート表面含浸工詳細図

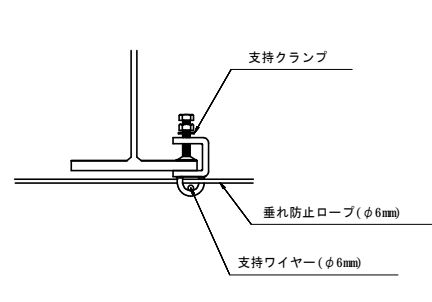
S=1:10



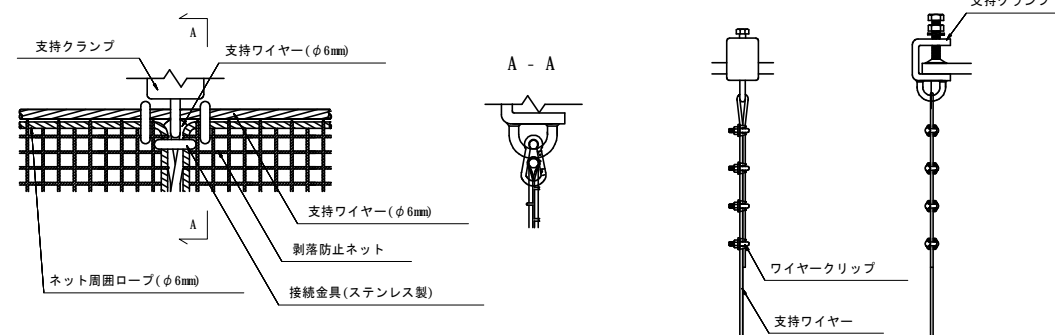
※プレキャストRC階段の断面修復後、
コンクリート表面含浸材を塗布する。

剥落防止ネット詳細図

支持クランプ取付要領



支持ワイヤー終末処理詳細



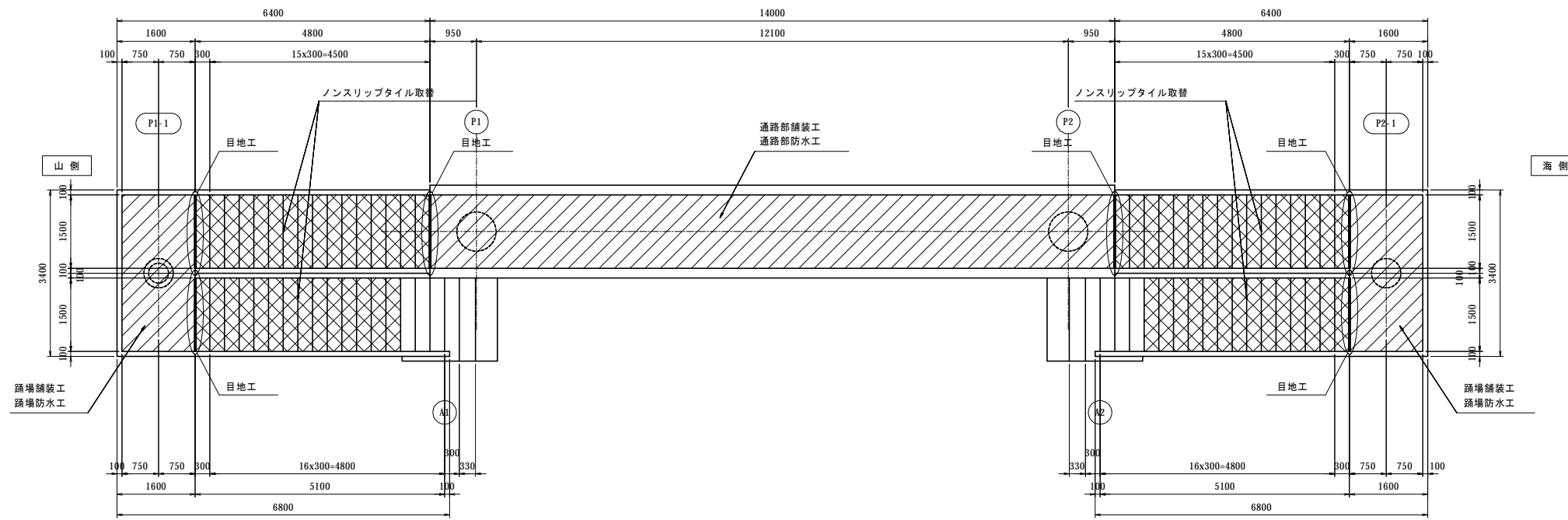
年度	平成年度	事業名	
所在地名			
路線名			
委託名			
図面種別	補修詳細図(その1)		
設計	縮尺	番号	
図示			/
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

補修詳細図(その2)

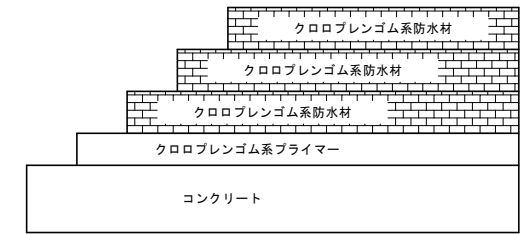
S=1: 60

橋面防水工及びノンスリップタイル取替工

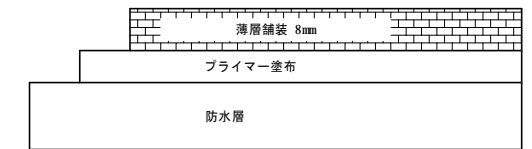
平面図



塗膜系床版防水層(ゴム溶剤型)の層構成

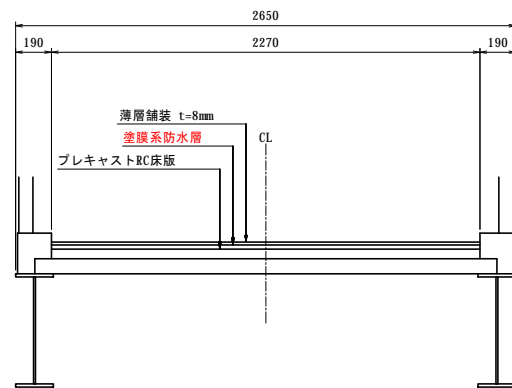


エポキシ樹脂薄層の層構成

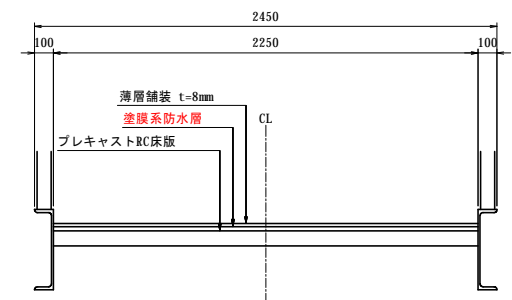


防水層範囲 S=1: 20

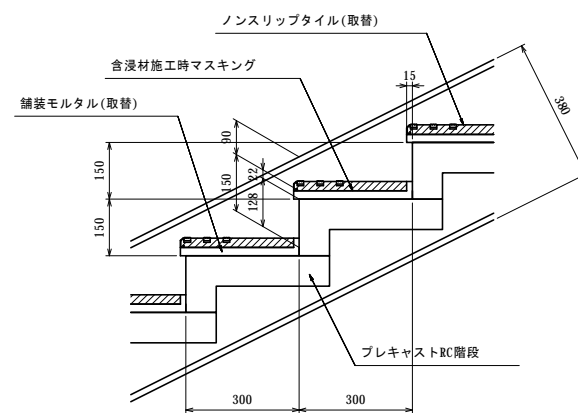
通路部



踊場部

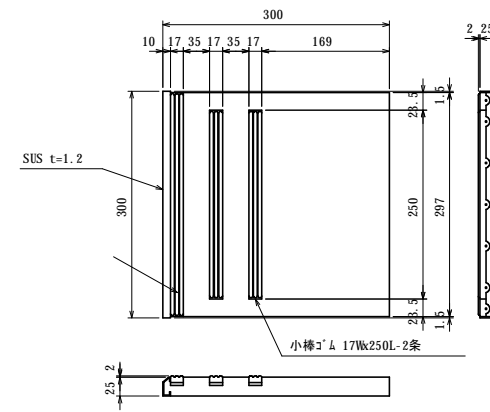


ノンスリップタイル取替工詳細図 S=1: 10

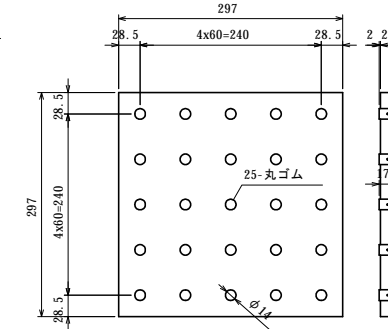


ノンスリップタイル詳細図 S=1: 5

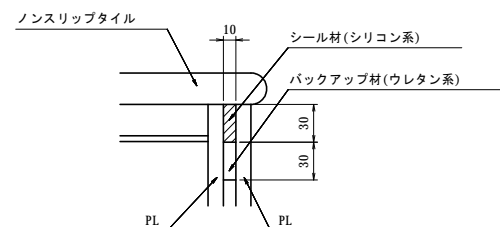
階段部



階段踊り場部



階段取付部目地工詳細 S=1: 3



※構造目地部の漏水対策が必要な為、建設時と同等の目地工を再建する

名称	単位	数量	備考
通路部舗装工面積	m ²	20.6	
通路部防水層面積	m ²	20.6	塗膜系
踊場舗装工面積	m ²	9.5	
踊場防水層面積	m ²	9.5	塗膜系
ノンスリップタイル取替	m ²	27.0	
目地工			
目地工延長	m	9.0	
シール材体積	リットル	2.7	シリコン系、t=10mm(階段取付部)
バックアップ材延長	リットル	2.7	ウレタン系、t=10mm(階段取付部)

注記

1. 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地に於いて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

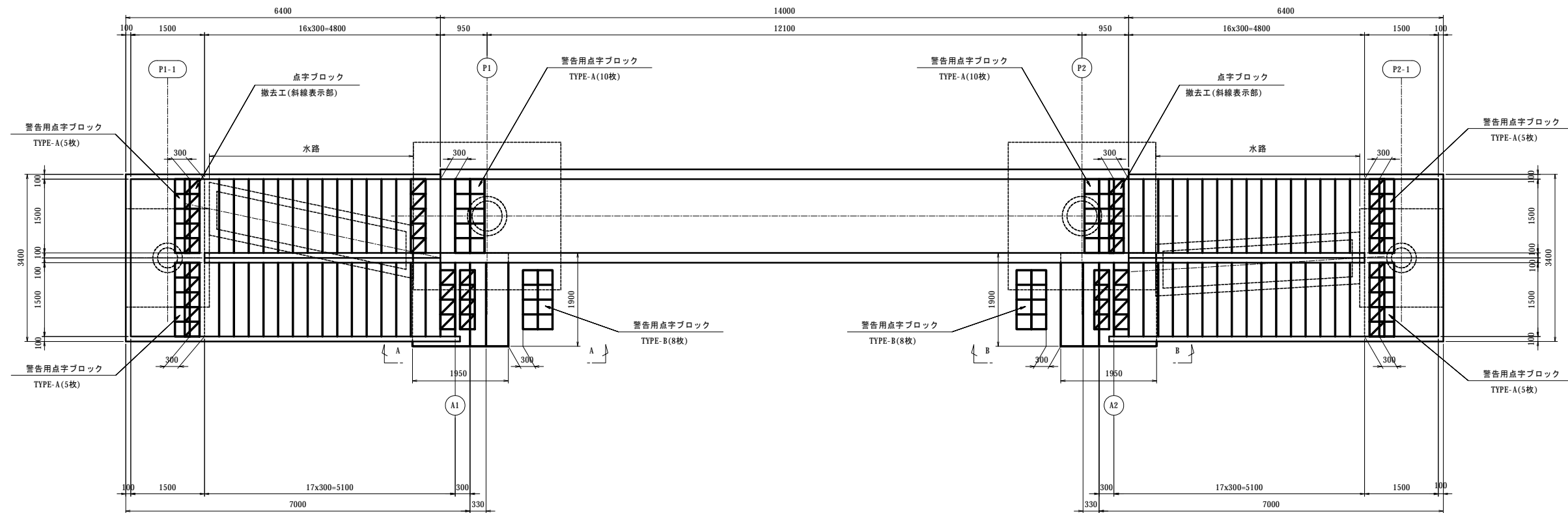
年度	平成年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	補修詳細図(その2)		
設計	縮尺	番号	
	図示	/	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

補修詳細図(その4)

S=1:50

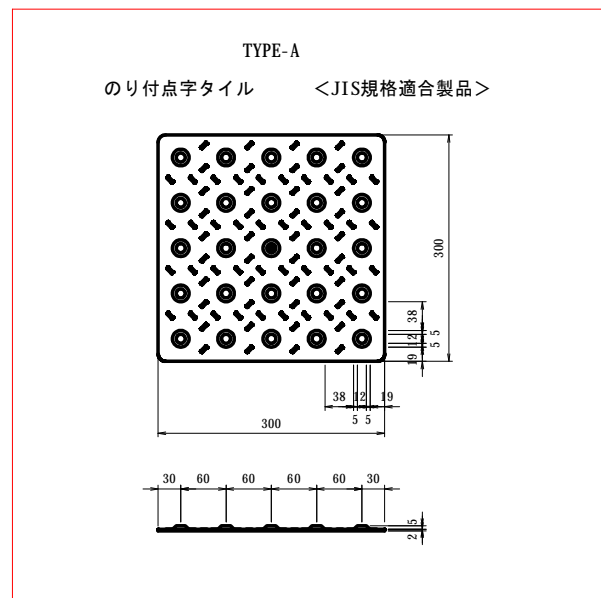
点字ブロック設置工

平面配置図

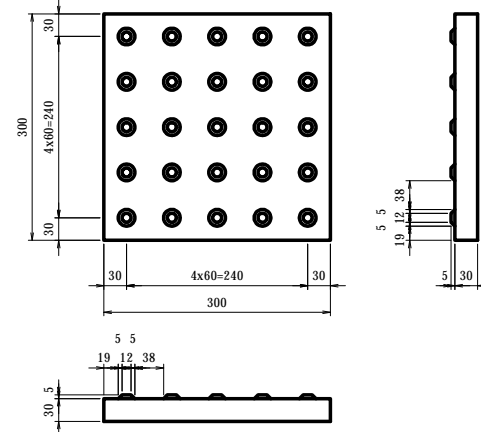


視覚障害者警告用点字ブロック

S=1:5

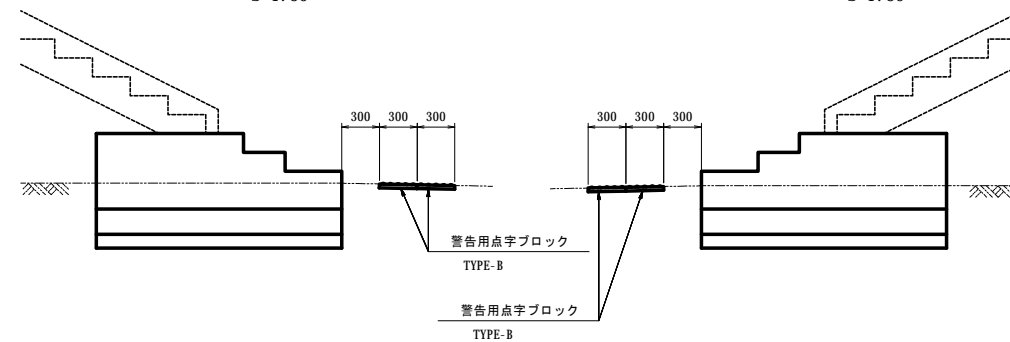


TYPE-B



A - A S=1:30

B - B S=1:30



注記

- 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

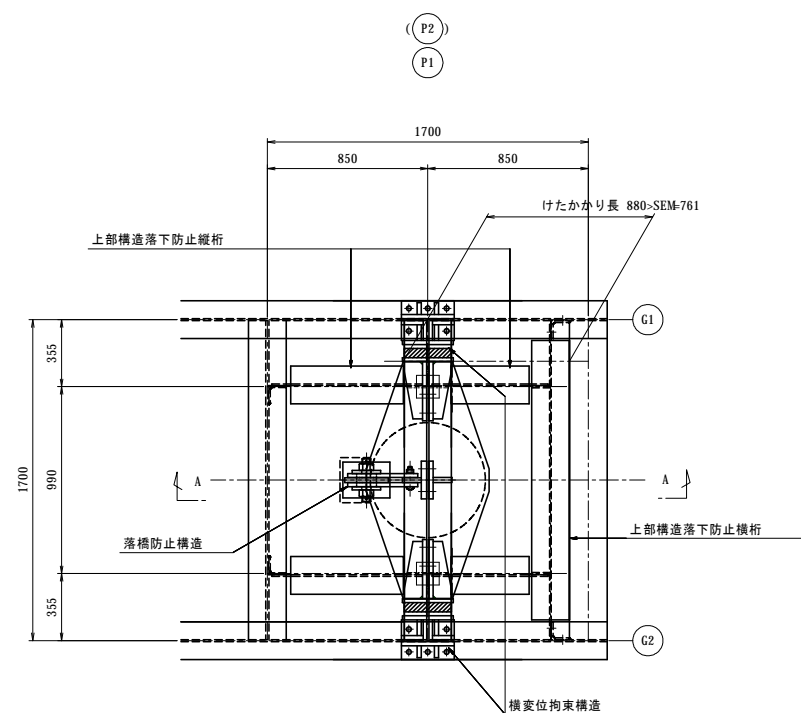
点字ブロック数量

工種	数量(枚)	備考
点字ブロック撤去工	46	既設部(平面配置図の斜線表示部)
点字ブロック設置工	TYPE-A	材質:合成ゴム(t=2mm),接着剤仕様
	TYPE-B	材質:コンクリート(t=30mm)

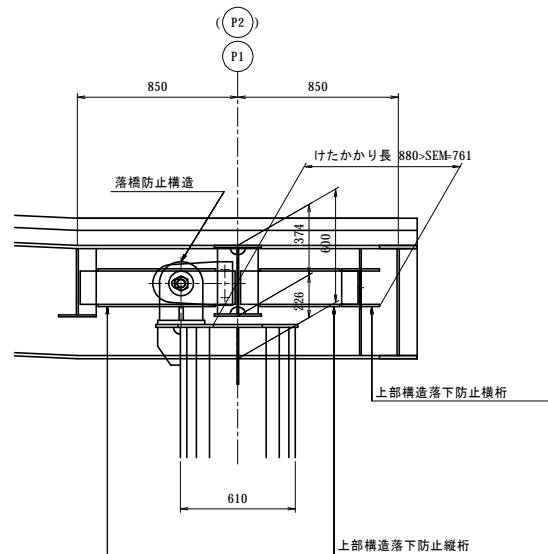
麻生中歩道橋

年度	平成年度	事業名	
所在地名			
路線名			
委託名			
図面種別	補修詳細図(その4)		
設計	縮尺	番号	
図示	/		
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

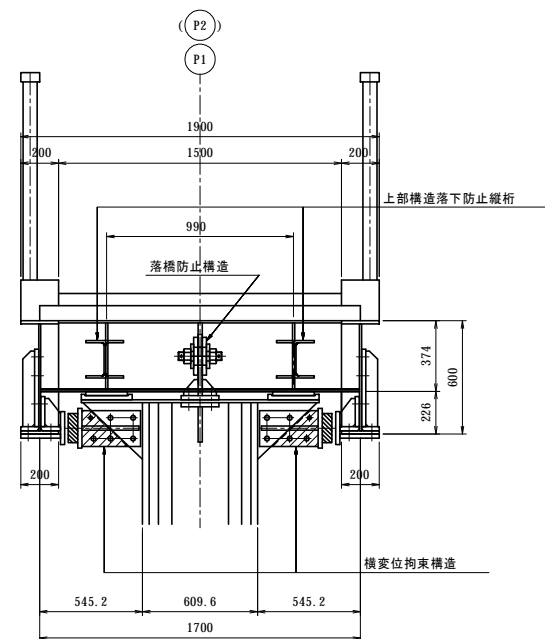
平面図



A - A



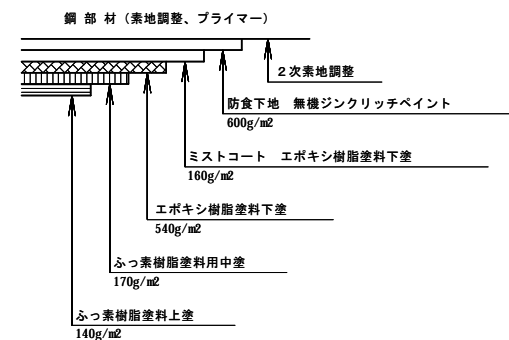
支点上断面図



塗装仕様

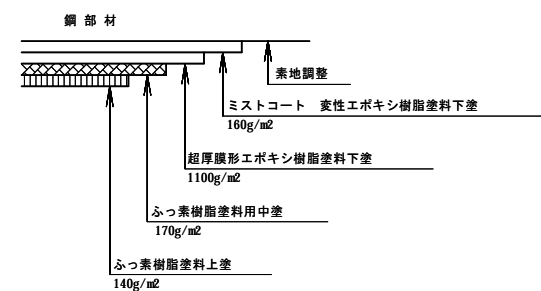
一般部外面塗装仕様

(C-5 塗装系)



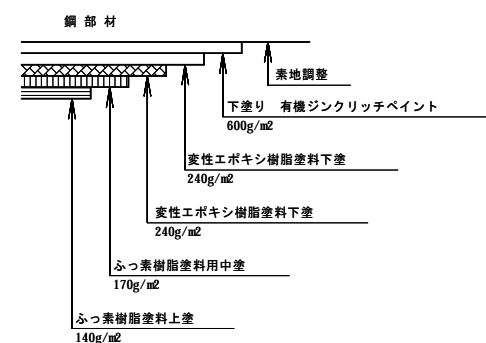
高力ボルト連結部塗装仕様

(F-11 塗装系)



溶接部塗装仕様

(F-13 塗装系)



注記

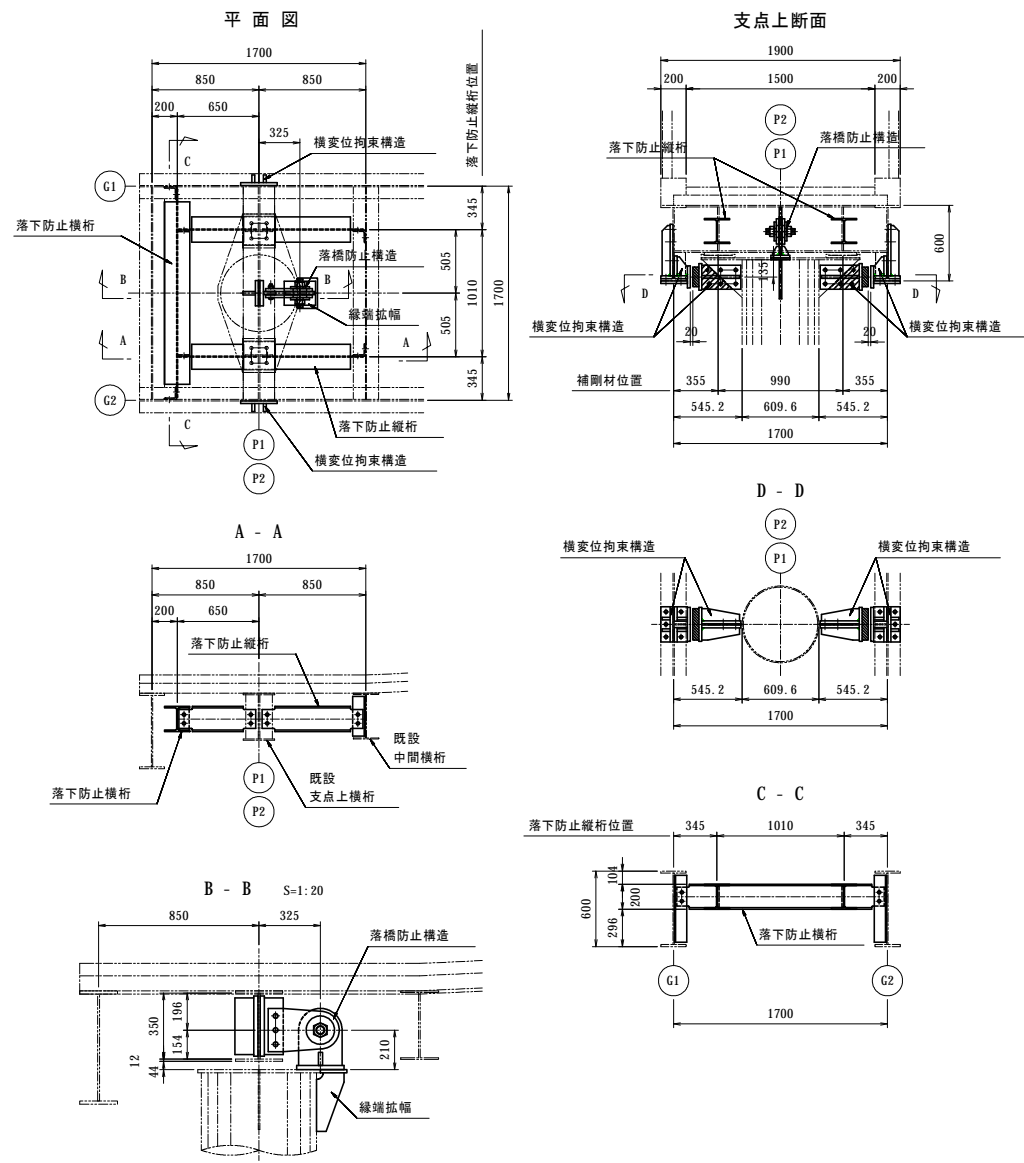
1. 落橋防止システムを設置するうえで、排水管が支障がある場合は撤去、復旧を行うこと。

麻生中歩道橋			
年度	平成年度	事業名	
所在地名	大阪府貝塚市麻生中		
路線名	主要地方道 大阪和泉泉南線		
委託名			
図面種別	落橋防止システム構造図		
設計	縮尺	番号	
	図示	/	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

落橋防止システム詳細図(その1)

S=1: 30

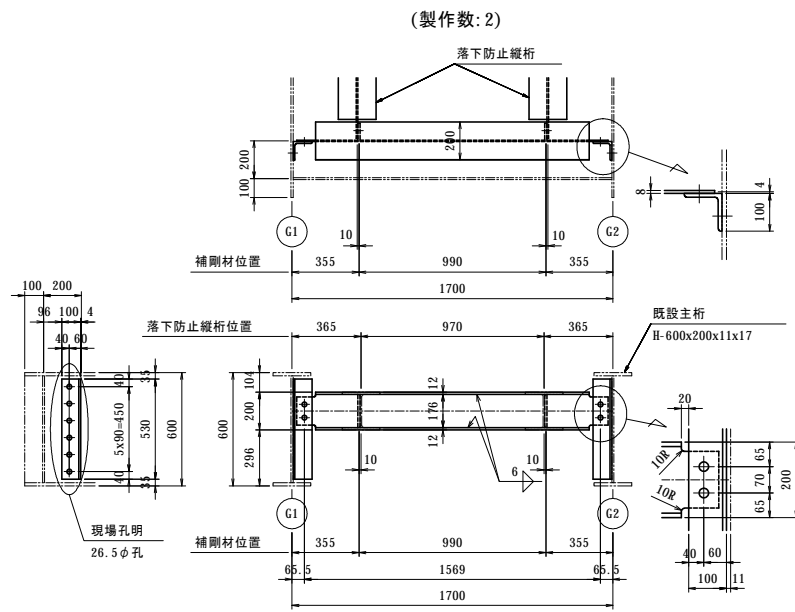
取付位置図



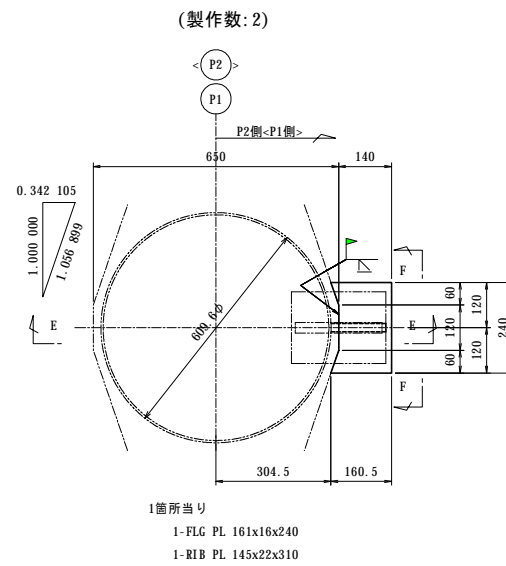
耐震補強工数量表

現場溶接延長	突長	単位	数量	備考
	換算長	m	3.334	
現場孔明工	26.5φ	箇所	124	6mmずみ肉換算

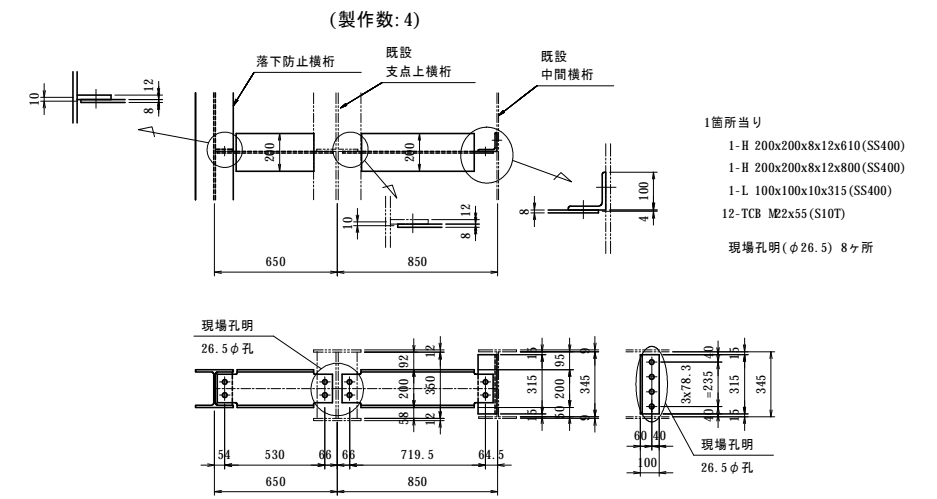
落下防止横桁 S=1: 20



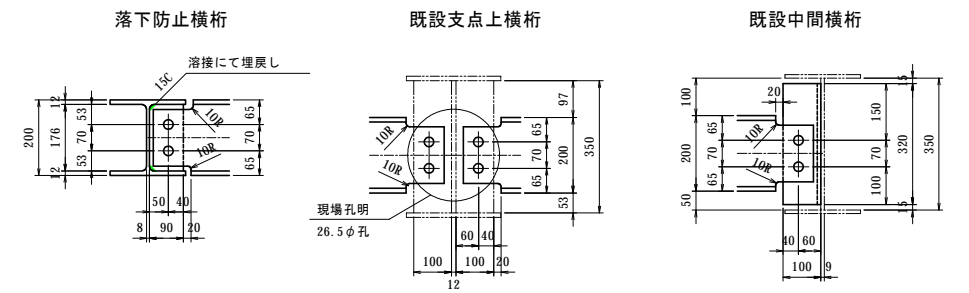
縁端拡幅 S=1: 10



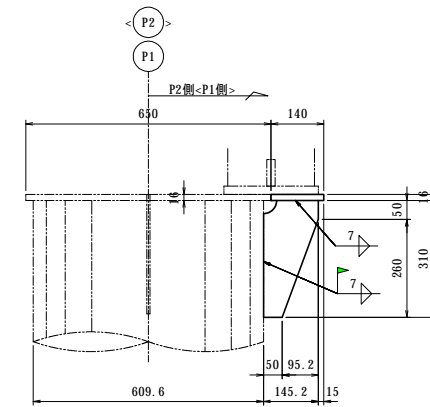
落下防止縦桁 S=1: 20



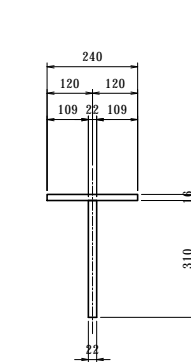
縦桁取付部詳細図 S=1: 10



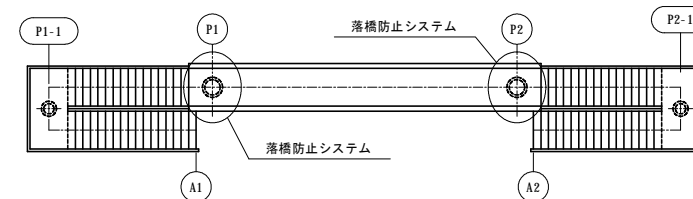
E - E S=1: 10



F - F S=1: 10



配置図

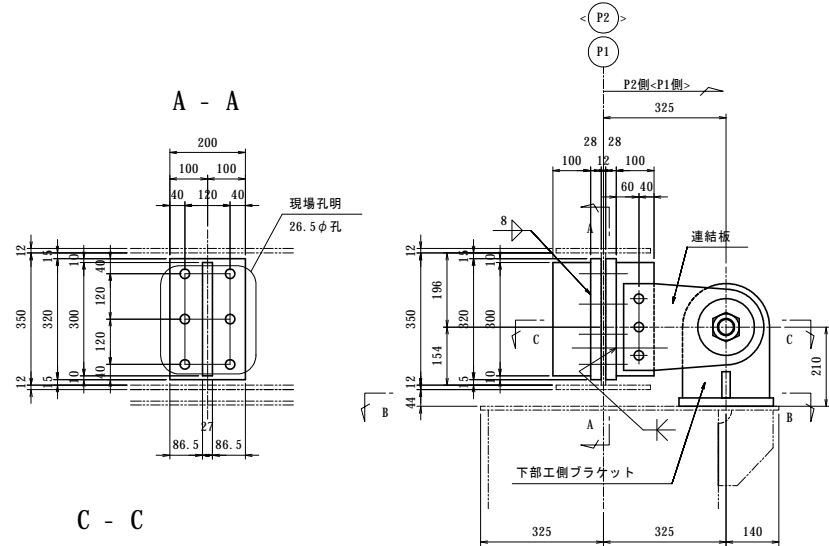


- 注記
- 補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地に於いて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
 - 特記なき材質は、全てSM00Aとする。
 - 特記なきスカーラップは、35Rとする。
 - 印は、TCB M2 (S10T) 示す。

年度	平成年度	事業名	
所在地名			
路線名			
委託名			
図面種別	落橋防止システム詳細図(その1)		
設計	縮尺	番号	
図示		/	
大阪府岸和田土木事務所			平成 年 月

落橋防止構造詳細図

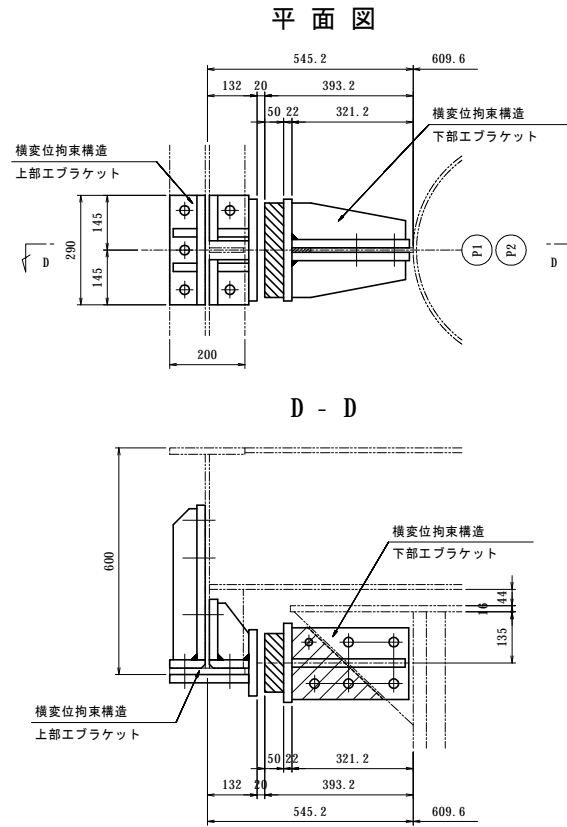
(製作数: 2)



- 1箇所当り
 2-BASE PL 200x28x320
 2-PL 100x27x300
 6-TCB M2x105 (S10T)
 現場孔明 (φ26.5) 6ヶ所
- 2-PL 230x22x371
 1-PL 303x25x230
 1-BASE PL 190x22x250
 2-RIB PL 70x22x70
 3-TCB M2x110 (S10T)
- 1-緩衝ピン φ46x230 (S45CN)
 2-WASHER PL φ150x16 (SS400)
 2-NUT M5 (1種) (SS400)
 2-割りピン φ8x80 (SUS304)

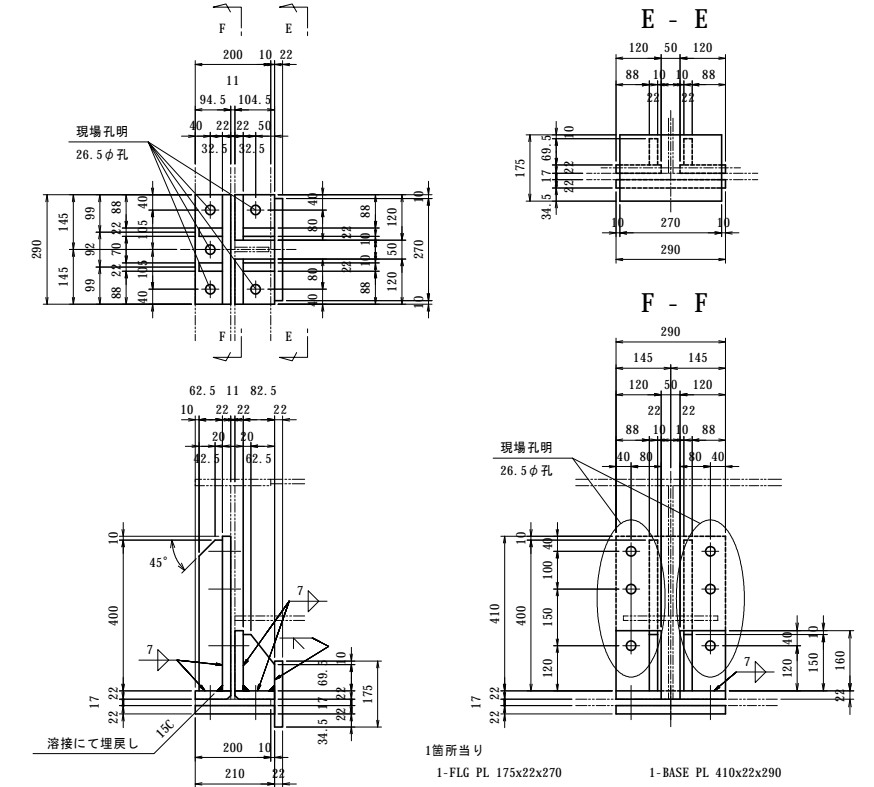
横変位拘束構造詳細図

(製作数: 4)



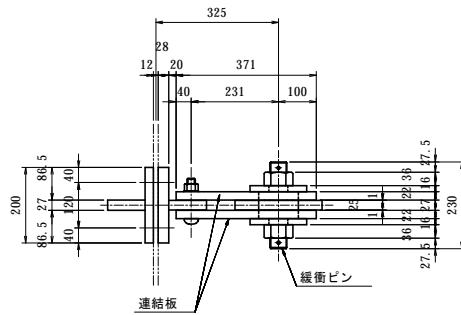
- 1箇所当り
 2-BASE PL 190x22x310
 1-FLG PL 210x22x270
 2-RIB PL 97x22x300
 1-FILL PL 190x12x240 (SS400)
 5-TCB M2x95 (S10T)
 ※ 1-BN M6x85 (2-W) (SS400)
- 1-緩衝材 155x50x250
 (クロロレンゴム 硬度55° ±5°)
 ※ 4-BN M6x80 (2-W) (SS400)
- 現場孔明 (φ26.5) 3ヶ所

上部エブラケット詳細図

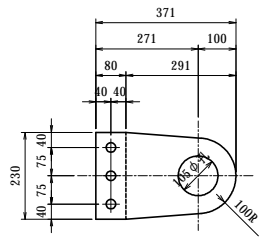


- 1箇所当り
 1-FLG PL 175x22x270
 1-BASE PL 210x22x290
 1-BASE PL 95x22x290
 2-BASE PL 105x22x120
- 1-BASE PL 410x22x290
 2-BASE PL 160x22x120
 2-RIB PL 63x22x400
 2-RIB PL 83x22x150
 4-TCB M2x70 (S10T)
 2-TCB M2x90 (S10T)
 5-TCB M2x100 (S10T)
- 現場孔明 (φ26.5) 11ヶ所

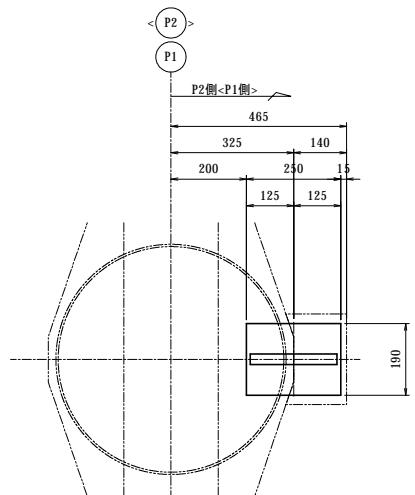
C - C



連結板

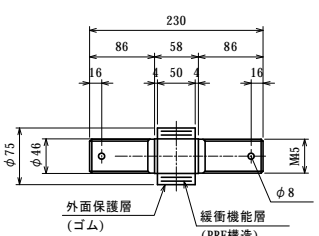


B - B

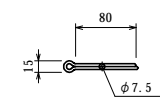


緩衝ピン詳細

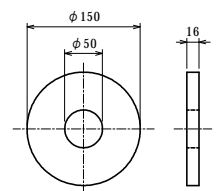
S=1:5



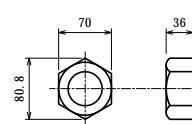
割りピン



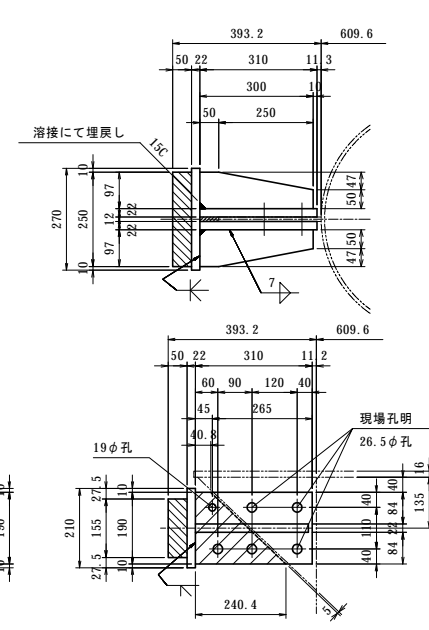
座金



ナット

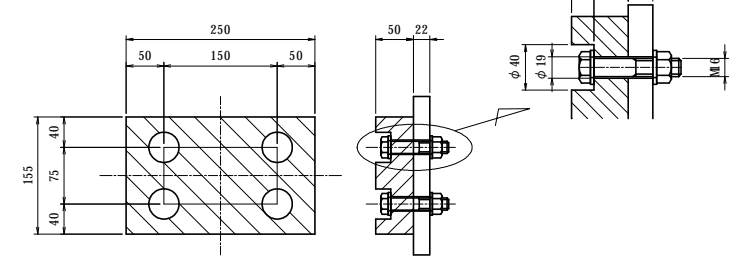


下部エブラケット詳細図



緩衝材詳細

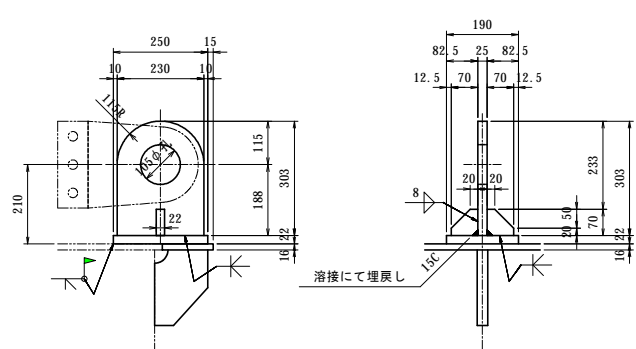
S=1:5



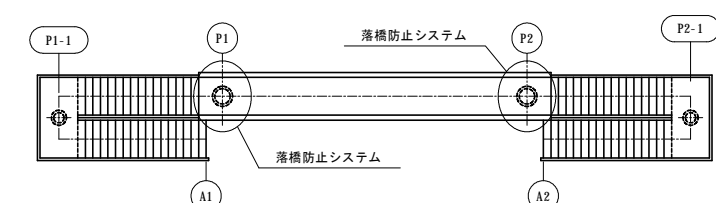
注記

- 補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地で補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
- 特記なき材質は、全てSM00Aとする。
- 特記なきスカラーは、35Rとする。
- ※印は、TCB M2 (S10T) 示す。
- ※印付部材は、溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35とする。

下部工側ブラケット詳細図

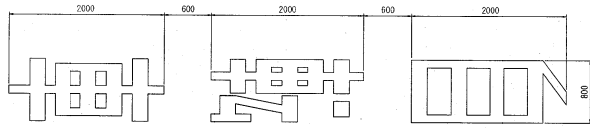


配置図

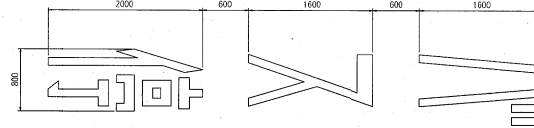


年度	平成年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	落橋防止システム詳細図(その2)		
設計	縮尺	番号	
図示			/
大阪府岸和田土木事務所			平成 年 月

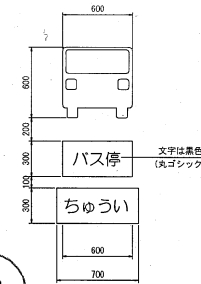
自転車文字 S=1:30
文字：白



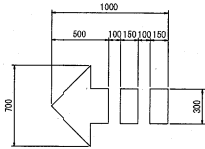
バス停文字 S=1:30
文字：白



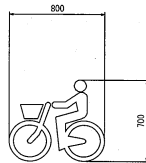
バス停注意記号 S=1:20
記号：白
文字：黒
下地：青



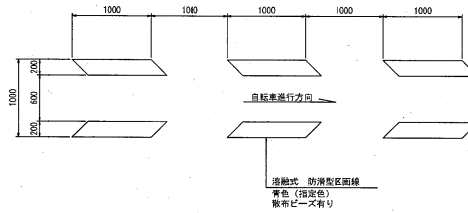
矢印 S=1:20
文字：白



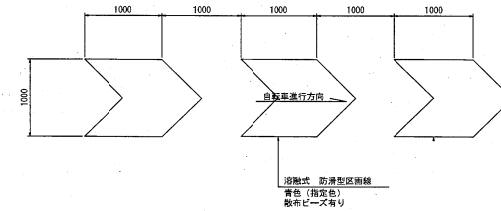
①
自転車記号 S=1:20
記号：白



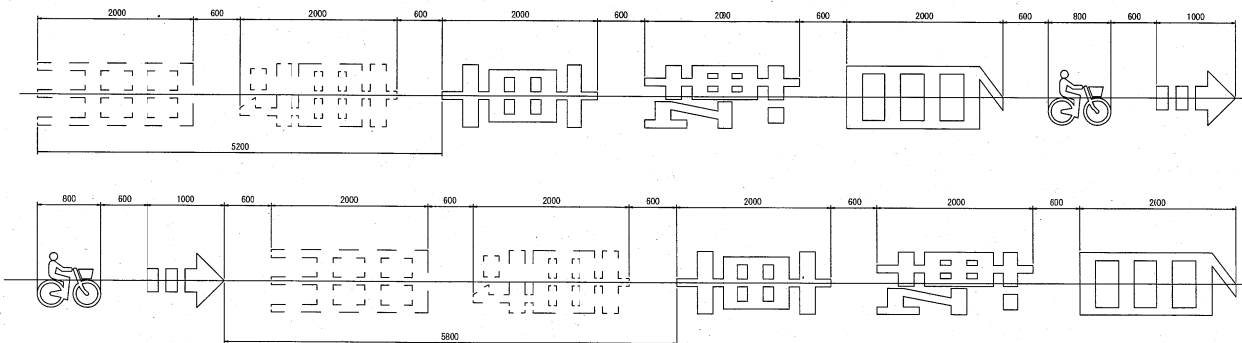
③
青矢羽マーク B S=1:30
破線：青



②
青矢羽マーク A S=1:30
破線：青



文字記号配置図 S=1:30



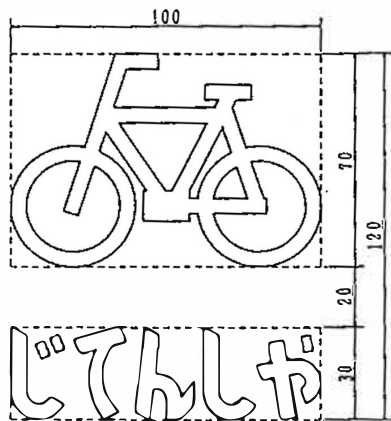
工事名			
場所			
図面名称	構造図(1)	図	/
縮尺	図示	図	/
作成			
承認			
印刷	平成25年	月	

自転車図示標示と文字標示の組合せ

(東京警視庁指定)

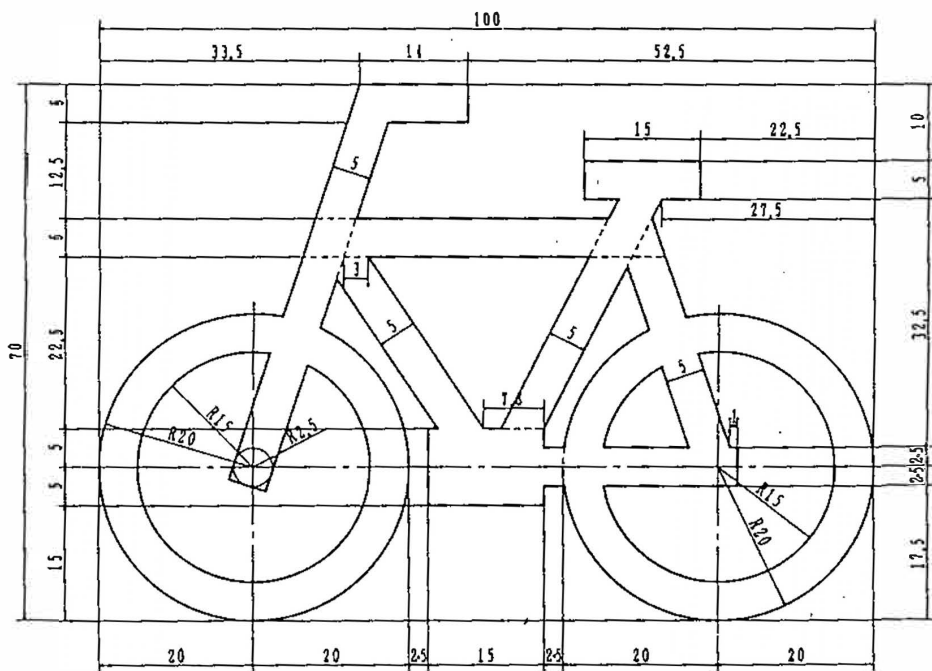
$L_s=2.27m$

$L_p=2.6m$



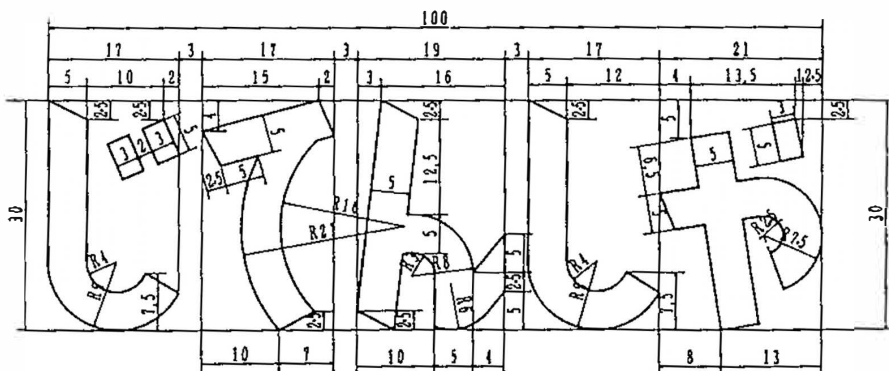
$L_s=1.53m$

$L_p=1.8m$



$L_s=0.74m$

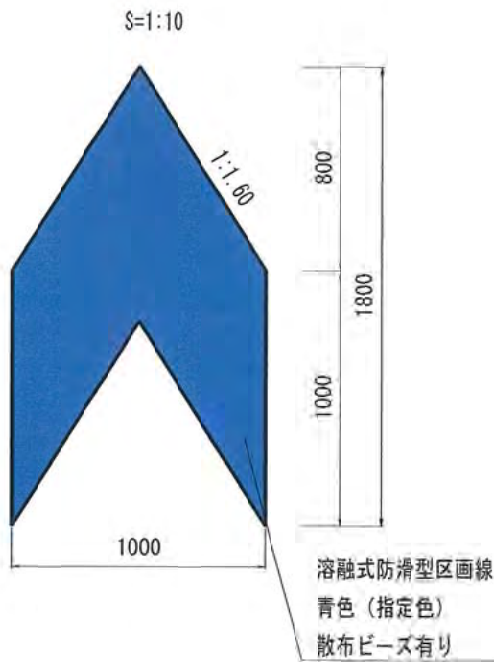
$L_p=0.8m$



矢羽根等寸法図

Aタイプ

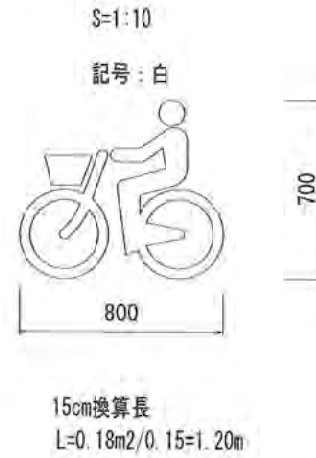
青矢羽根マーク



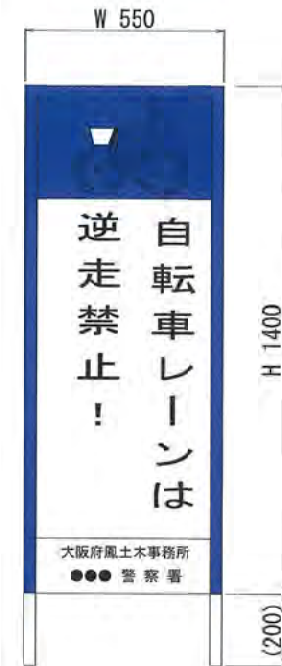
矢印



自転車マーク



逆走防止看板



備考：矢印型、矢印自転車マーク、ワケなどは、次の資料による。

○矢印標

- ・標高部：10m間隔 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(20.7)E-7
- ・交差点部：2m間隔 「自転車通行を考慮した交差点設計の手引き」p10
- ・形状：府内施工済みに整合

○自転車マーク、矢印

- ・標高部：30m間隔 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(20.7)B-5参考
- ・交差点部：交差点前後に1箇所設置 「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(20.7)B-53
- ・形状：府内施工済みに整合

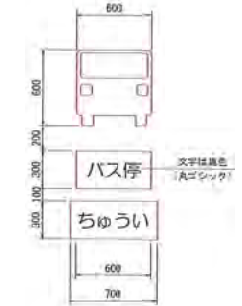
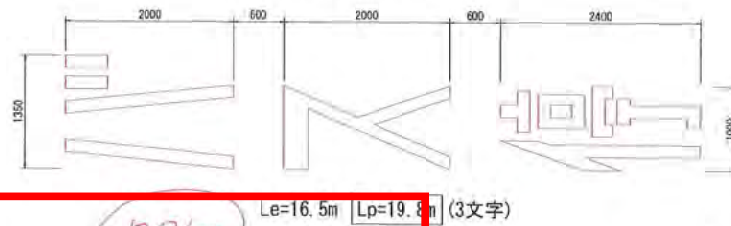
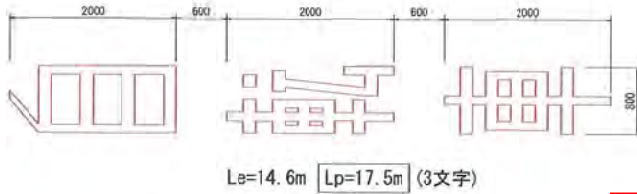
年度	平成29年度	図面番号	21	22
工事名	自転車通行空間整備工事			
施工箇所	島大津内岡松町地内 外			
図面名	矢羽根寸法図			
縮尺	1:250	作成年月日	平成29年7月	
大阪府 風土木事務所				

宮山台地区(宮山台茶山台線)
構造図(1)

バス停注意記号(標準) S=1.70
記号:白
文字:黒

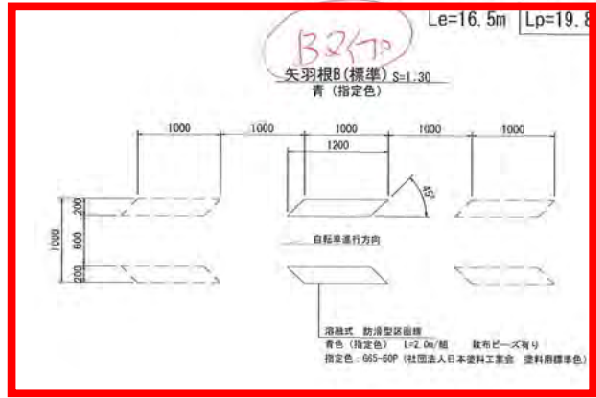
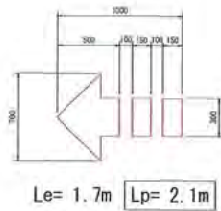
自転車文字(標準) S=1.30
文字:白

バス停文字(標準) S=1.30
文字:白



矢印 S=1.20
文字:白

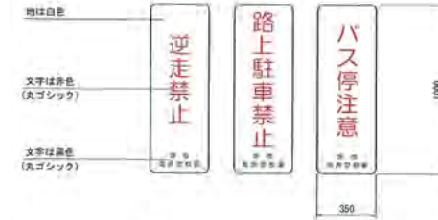
自転車記号(標準) S=1.20
記号:白



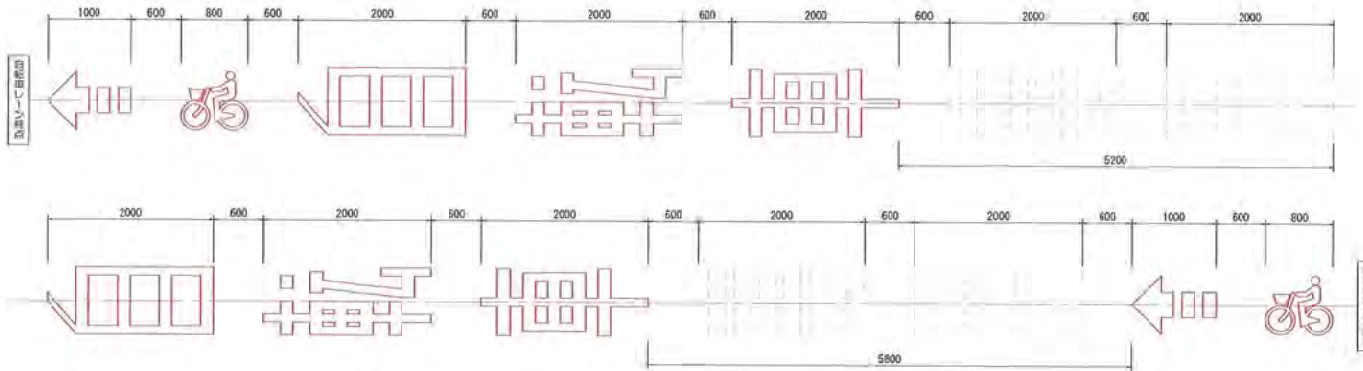
注意看板(標準) S=1.15

W350mm×H1000mm×厚み0.5mm
アルミニウム製、封入プリズム、ステンレスバンド3点締め

Aタイプ Bタイプ Cタイプ



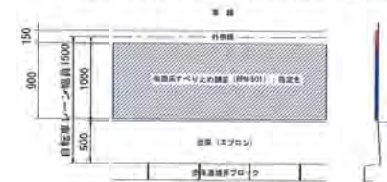
文字記号配置図(標準) S=1.30



路面青色(標準)(参考) ※自転車レーン幅員1.5mの場合

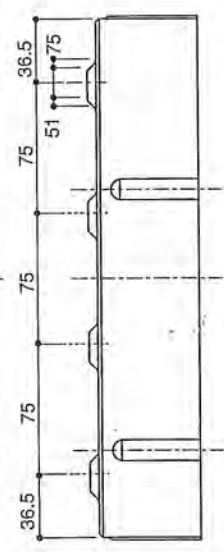
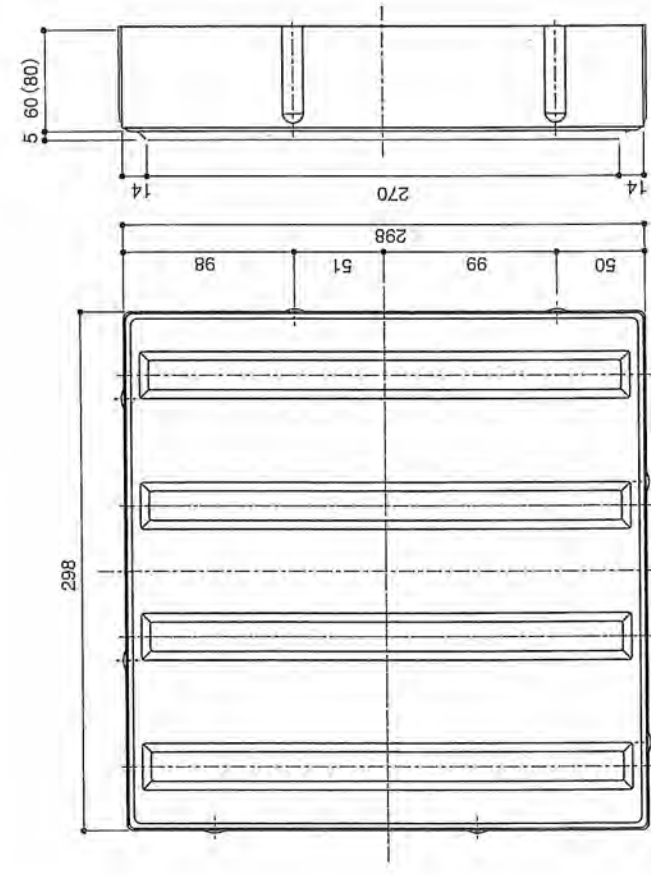
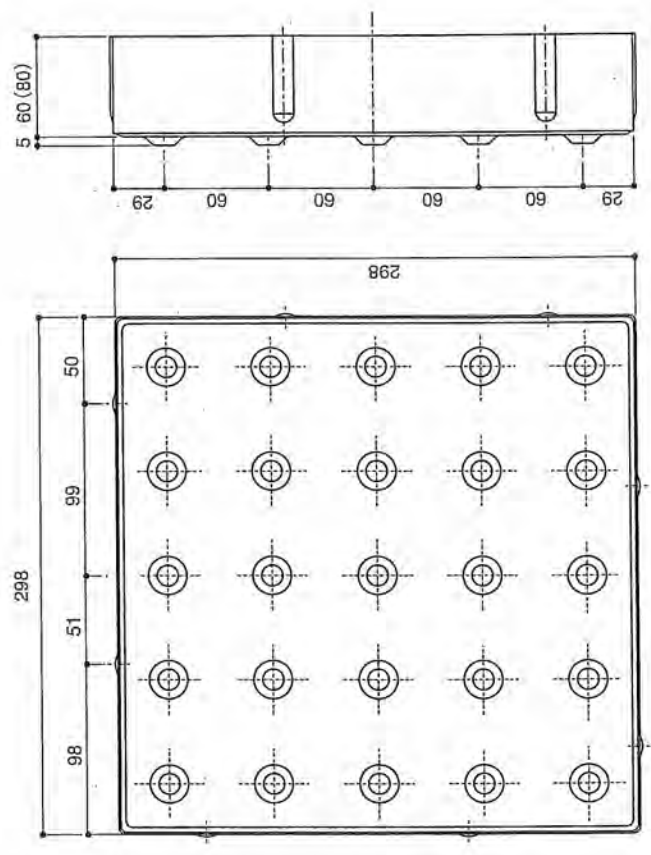
樹脂系すべり止め舗装 RPN-501

指定色: H65-60P (社団法人日本塗料工業会 塗料用標準色)



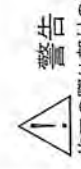
※用紙サイズがA3の場合、縮尺は表示の1/2

工事名	今池三國ヶ丘線外自転車通行環境整備工事				
場所	【宮山台地区】南区宮山台ほか				
図面名称	構造図(1)			図面番号	7/9
縮尺	図示			縮尺	
備考	図面確認	係長	提出	提出	
作成・設計	平成28年11月			自転車環境整備課	



誘導表示平板 NO. 03-1 (乾式成型不透水タイプ)
NO. 04-1 (乾式成型透水タイプ)

位置表示平板 NO. 03-2 (乾式成型不透水タイプ)
NO. 04-2 (乾式成型透水タイプ)



警告

施工の際は部材の固定を確実に行ってください。
固定が十分でない、倒壊、欠落等の危険があります。

*JIS T9251:2001 による

Dim

File name

Scale=1/5

視覚障害者用誘導ブロック
(乾式成型透水・不透水タイプ)

耐久性にすぐれた点字シートの貼付施工タイプ

ステップガイド点字シート

下地塗料（アクリダイトVH-Y）を塗布したあと、点字シートを設置する貼付タイプで、きれいに仕上がり、耐久性・強度ともにすぐれています。

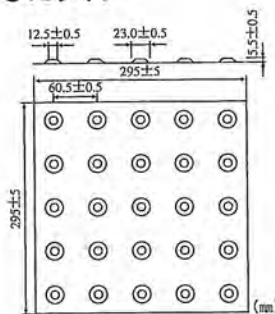
点状 ● 輪荷重による変形がなく、路面の凹凸にも追随し、美しく仕上げることができます。

線状 ● 輪荷重による変形がなく、狭い現場にも対応でき、しかもガス・水道工事などの道路復旧も容易に行えます。

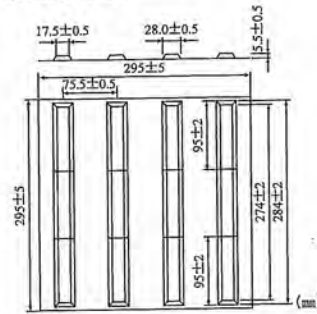
形状・寸法及びその配列

※製品寸法

●TJタイプ



●SJタイプ



製品規格

●点字シート

項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ± 0.2 g/cm ³
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm ² 以上
曲げ強度 (23℃)	4.903MPa 以上
引張強度 (23℃)	2.942MPa 以上
耐摩耗性	200mg 以下
すべり抵抗値	50 (BPN) 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0 以内

●アクリダイトVH-Y

項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ± 0.2 g/cm ³
可使時間 (23℃)	5~15分
硬化時間 (23℃)	45分以内
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm ² 以上
粘度 (23℃)	3,000~7,000Pa·s
引張接着強さ	0.049kN/cm ² 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0 以内

●色 黄色を標準色とする。

[日塗工No.22-80V (No.308) マンセル値 (参考) 2.5Y8/12]

設置方法

下地施工

マスキング後、下地塗料をコテ等で塗布します。



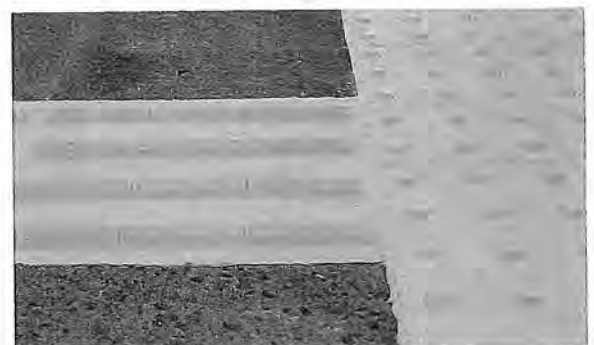
点字シート貼付

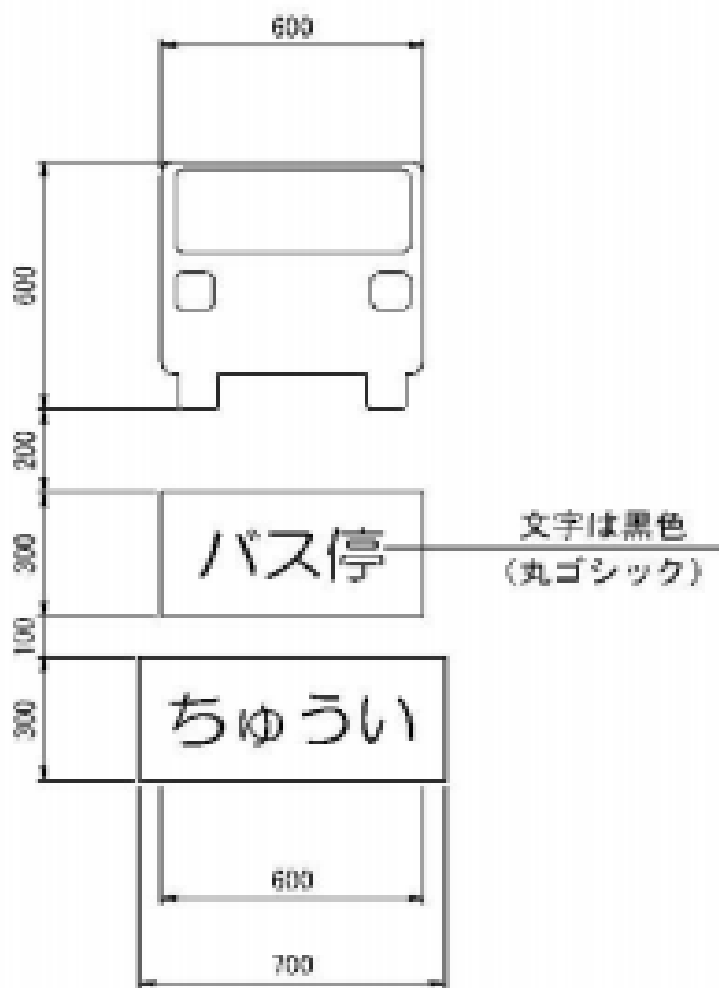
点字シートを貼付した後、刷毛等でなじませます。



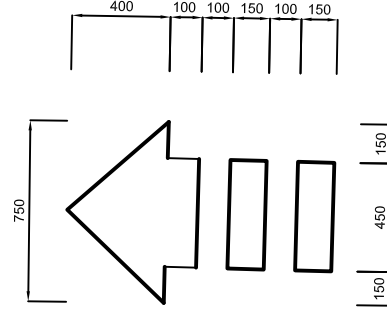
完成

すみやかにテープを除去し、下地塗料の硬化を確認し、トップコートを上塗りして完成です。

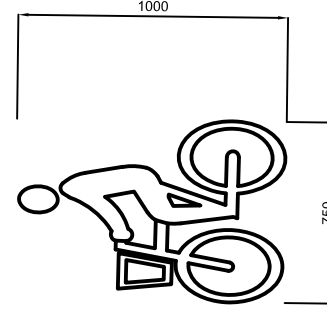




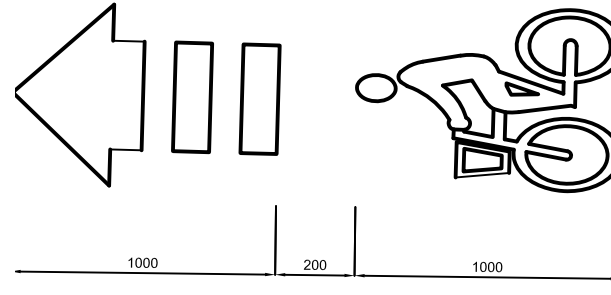
矢印



ピクト



15cm換算延長
 $L=0.33/0.15 \times 1.2$
 $=2.64\text{m/箇所}$

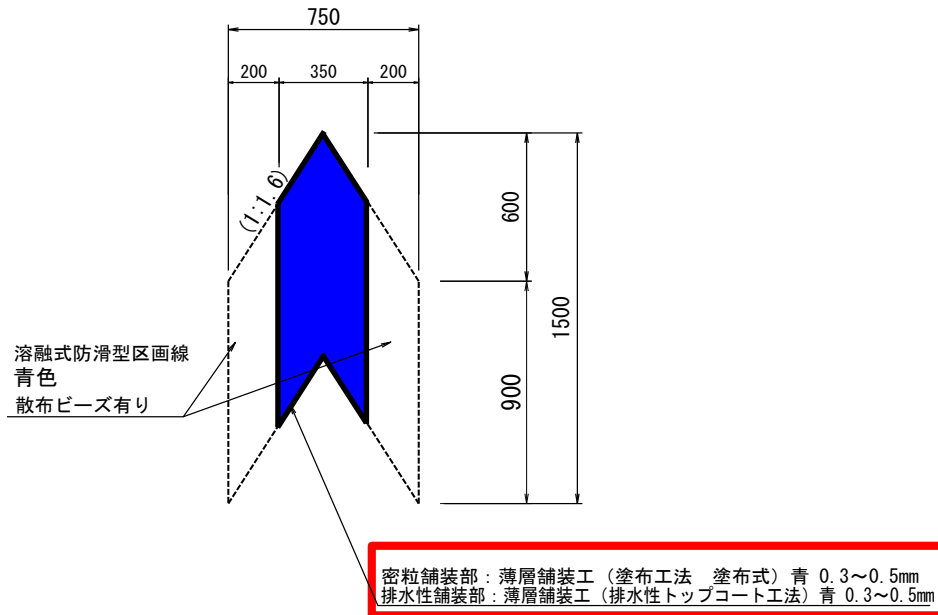


自転車マーク（矢印およびピクト）
（大阪府自転車通行空間法外表示実施要領（改定版）H29.3版）

【青矢羽マーク概要】

・「排水性舗装の場合」と「排水性舗装でない場合」2種類の材工含む見積りを願います。
 (別添「薄層カラー舗装の工法比較表」の囲い箇所を参考願います。工法は、1.塗布工法 塗布式と2.排水性トップコート工法 ※1をとします。)

・幅0.35mの青矢羽とする。



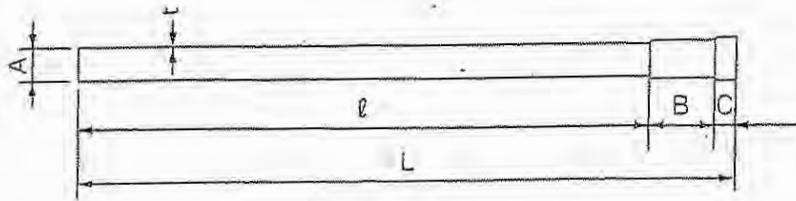
※実線で囲った箇所が、今回の見積依頼内容です

施工規模について

	施工延長 (km)	個数	
		密粒 (個)	排水性 (個)
①	3	260	470
②	3	360	340

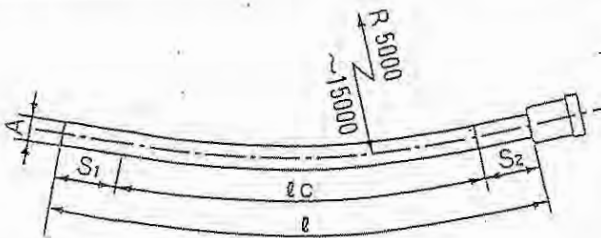
1 軽量ケーブル保護鋼管 (KGP) 直管

寸法単位: mm



管の 呼び径	寸法		接 合 部		有効長	全 長	重 量
	管の外径 A	管の肉厚 t	B	C	l	L	kg/本
80	89.1	3.0	150	75	3,500	3,725	25.3
100	114.3	3.0	150	75	3,500	3,700	32.3
125	139.8	3.0	175	75	3,500	3,750	40.5
150	165.2	3.3	250	60	3,500	3,810	53.0

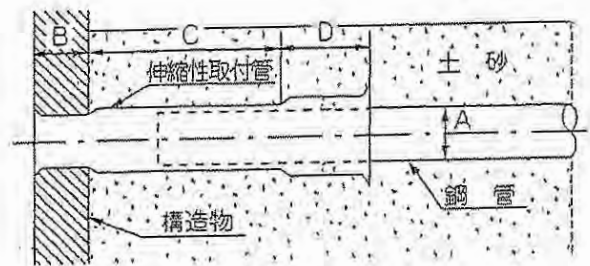
2 軽量ケーブル保護鋼管 (KGP) 曲管



管の 呼び径	寸法		直 線 部		曲線部	有効長
	管の外径 A	S1	S2	lc	l	
80	89.1	325	175	1,000	1,500	
100	114.3	325	175	1,000	1,500	
125	139.8	325	175	1,000	1,500	
150	165.2	600	600	800	2,000	

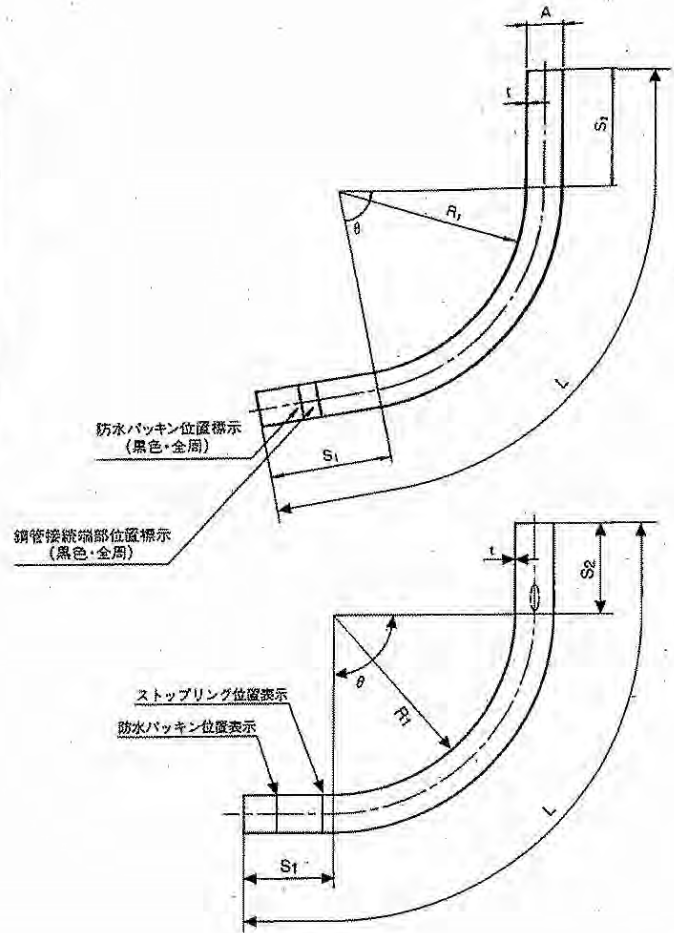
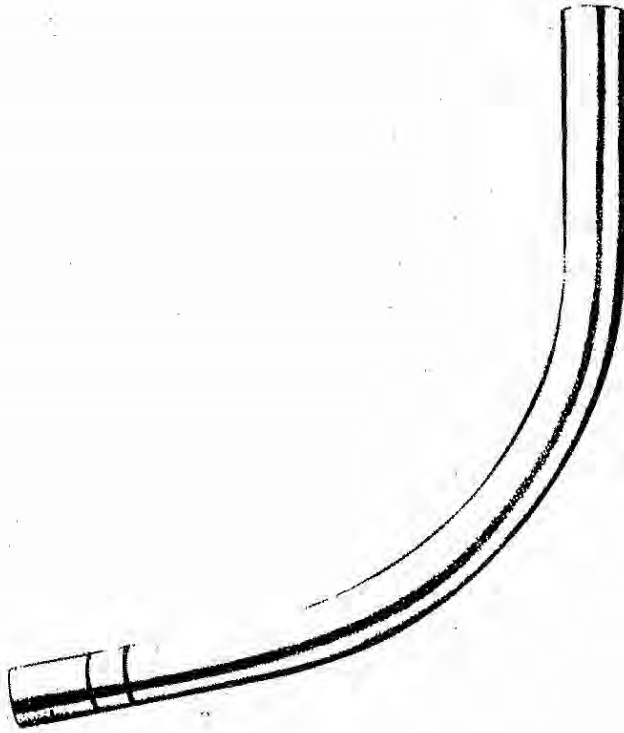
ケーブル保護伸縮性取付管 (GPI)

単位mm



管の 呼び径	接続鋼管 の外径	構造物 取付部	伸縮部	防水パッキン 移動部
	A	B	C	D
80	89.1	140	450	225
100	114.3	140	450	225
125	139.8	140	475	225

ケーブル保護ベント管



寸法表

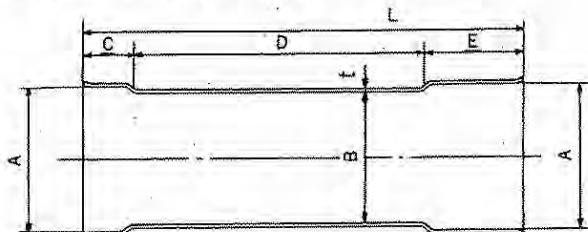
単位: mm

商品コード	寸法 管の 呼び径	管の外径 A	直線部		曲げ半径 R ₁	曲げ角度 θ°	管の厚さ t	有効長 L	メッキ 付着量 g/m ²	概算重量 (メッキ含み) kg/m	規格仕様 関係電力	
			S ₁	S ₂								
No.7 50730		89.1	300	300	600	90	2.3	1,612	600	5.2	関西 CCBOX	
50737									550			
No.6		114.3	300	300	600	90	2.6	1,632	600	7.5	関西 CCBOX	
			300	300	600	90	3.3	2,346	600			8.6
			53380	500	500	800	90	3.3	2,346	600	8.6	受注生産扱い
50056	125	139.8	500	500	800	80	3.0	2,215	600	10.8	関西 CCBOX	
50057			500	500	800	80		2,215	550			10.8
50058			300	500	500	90	1,695	600	600		10.8	受注生産扱い
50066			530	230	1,200	90	2,754	600	600		10.8	受注生産扱い
56050	125	131.4	500	300	800	88	3.2	2,130	600	10.7	中部	
特注	80	89.1	300	300	1,300	90	3.3	2,642	600	7.4	中国 受注生産扱い	
53490	100	114.3	500	500				3,042		9.5		
53690	150	165.2	800	800				3,642		13.9		
55030	100	114.3	250	250	1,200	90	3.3	1,385	600	7.4	四国 受注生産扱い	
55040					1,300			2,542				
55050					1,500			2,856				
55080	150	165.2	310	310	1,200	90	3	2,505	600	13.9	四国 受注生産扱い	
55090					1,300			2,662				
55100					1,500			2,976				
53570	80	89.1	500	500	1,200	90	3	2,885	550	7.4	北陸 受注生産扱い	
53560	100	114.3								8.6		
53550	125	139.8								10.8		

(注) ベント部については、ご要望に応じた半径(500R以上)、角度(θ)に加工いたします。

鋼管用継手

ケーブル保護鋼管用継手A



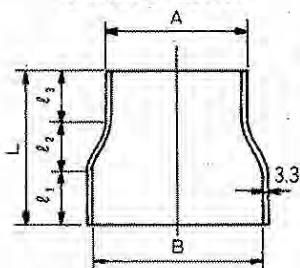
寸法表

単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	L	規格仕様 関係電力
No. 9 50740	80		96.0	91.2	40	200	80	2.3	320	関西 CCBOX
No. 8 50640	100		123.4	116.4	50	250	100	2.6	400	関西 CCBOX
50082	125		152.0	142.0	50	300	100	3.3	450	関西 CCBOX

(注) 継手には、各サイズに応じた防水パッキン、ストップリングが2組宛付属しています。(P30・31)
配管用炭素鋼管 (SGP) とケーブル保護鋼管 (KGP) の外径が同じですのでSGPとの接続も可能です。

ケーブル保護鋼管用継手B (立上り管用)



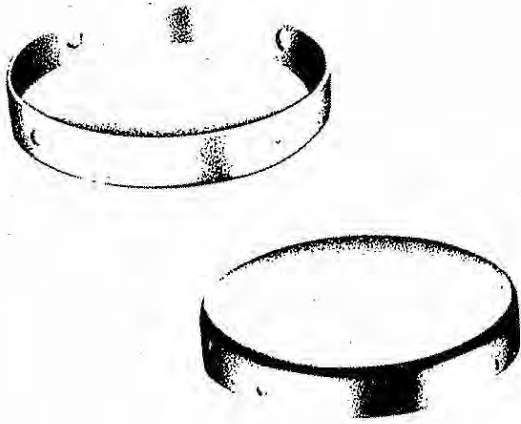
寸法表

単位: mm

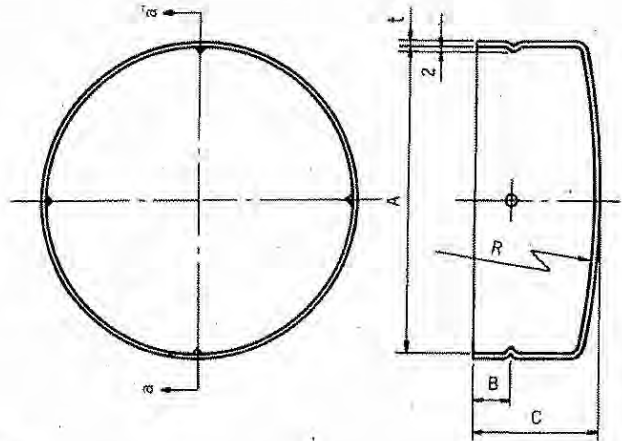
商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	φ ₁	φ ₂	φ ₃	L	規格仕様 関係電力
50090	125-100		114.3	142	40	40	40	120	関西

鋼管用キャップ

鉄製キャップ



a-a' 断面



寸法表

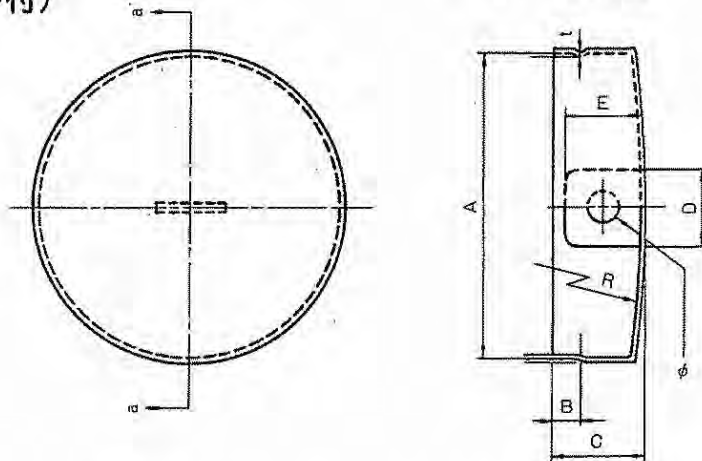
単位: mm

No. 15
No. 14

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	t	R	規格仕様 関係電力
56500	80		92	10	30	1.6	300	関 西
56520	100		118	15	50	1.6	300	
50120	125		142	10	30	1.6	300	関 西
53330	150		168	15	50	1.6	600	

鉄製キャップ(フック付)
(ケーブル引込用呼び線引留フック付)

a-a' 断面



寸法表

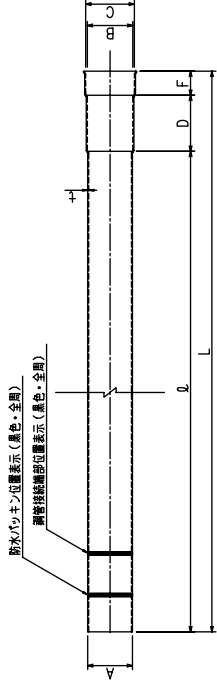
単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80		92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100		118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125		142	10	30	40	40	1.6	300	18
53331	150		168	15	50	40	40	1.6	600	18

管路材構造図(1)

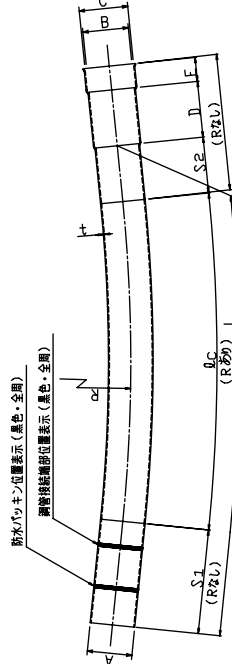
(電力用亜鉛メッキ鋼管)

直管



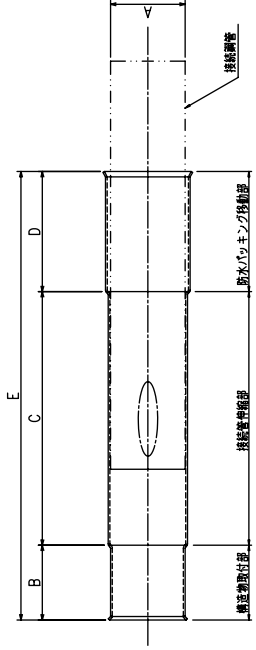
寸法 呼び径	接合部					管の長さ t	管の厚さ t	有効長さ L	めっき材料量 g/m ²
	A	B	C	D	E				
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3.0	3500	3725	600
100	114.3	116.4	123.4	150	75			3700	550
125	139.8	142.0	152.0	175	75			3750	600

曲管

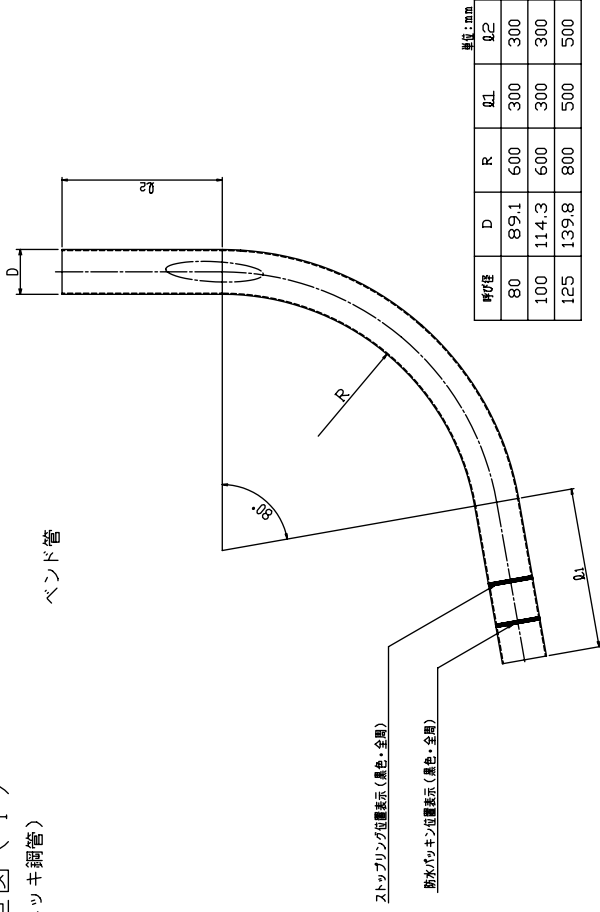


寸法 呼び径	接合部					直線部 S1 S2	管の厚さ t	曲げ半径 R	有効長さ L
	A	B	C	D	E				
80	89.1	91.2	96.0	150	75	325 175	3.0	5000	1500
100	114.3	116.4	123.4	150	75				
125	139.8	142.0	152.0	175	75				

伸縮性取付管(ダクトスリーブ)

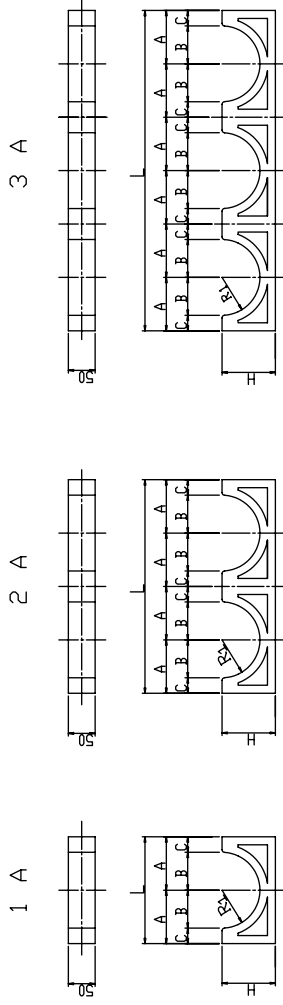


バンド管



呼び径	D	R	R ₂	R ₁	単位:mm
80	89.1	600	300	300	
100	114.3	600	300	300	
125	139.8	800	500	500	

管枕



呼び径・取付 寸法	単位:mm						
	A	B	C	H	L	R ₁	
1 A	95	71	24	85	190	71	
2 A	95	71	24	85	380	71	
3 A	95	71	24	85	570	71	

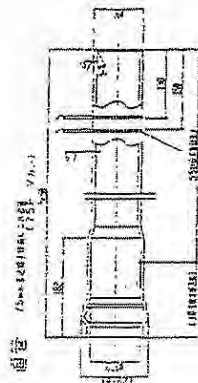
※ 管枕の設置間隔は、管路1本当り2ヶ所設置を標準とする。

寸法 呼び径	接合部					伸縮性取付管 長さ
	A	B	C	D	E	
80	89.1	140	450	225	815	
100	114.3	140	450	225	815	
125	139.8	140	475	225	840	

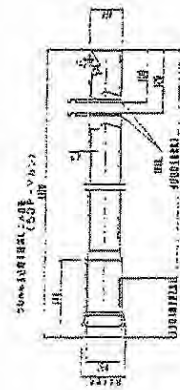
年度	平成	年度	番号	30/53
路線名	新市計画道路 枚方大和東田線 外			
工事名	枚方市 茄子作東町 外			
所屬地名	管路材料株式会社			
図面番号	1:20	作 年	月	平成18年3月
編 尺	大阪府枚方土木事務所			

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

PV管 構造図-2

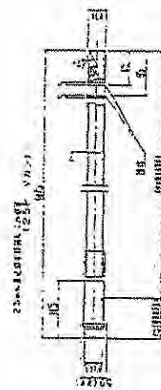
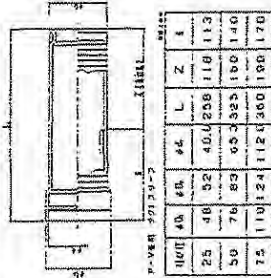


直管 (5mm・10mm・15mm・20mm・25mm)
 構造図 (P-VV-1)

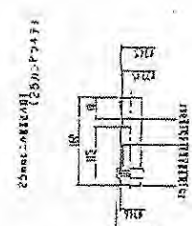
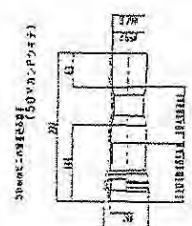
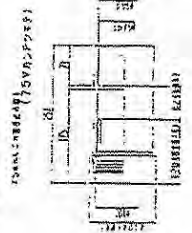


曲管 (5mm・10mm・15mm・20mm・25mm)
 構造図 (P-VV-2)

マクトスリーブ
 構造図 (P-VV-3)
 (P-VV-301~P-VV-305 475・500・525)

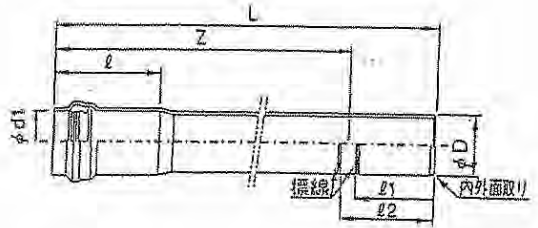
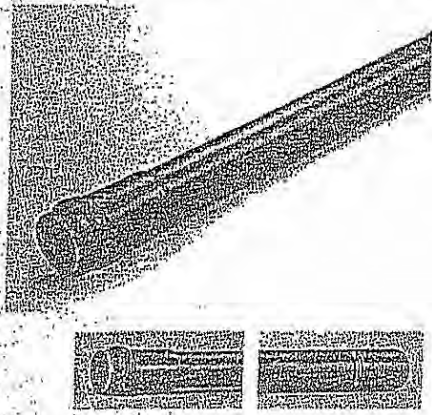


V管 P継手



作成	11月	図面番号	18/24
承認		製図者	18/24
検定		検査者	18/24
工程		工程名	18/24
材料		材料名	18/24
数量		数量	18/24
単位		単位	18/24
備考		備考	18/24

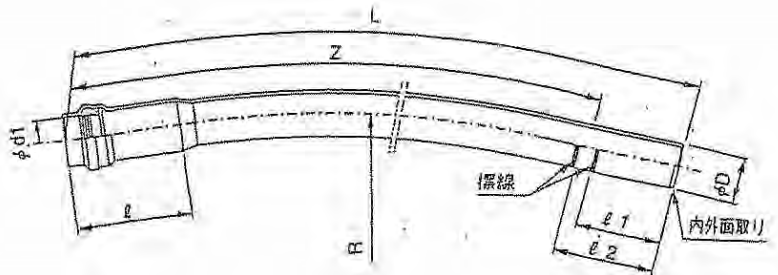
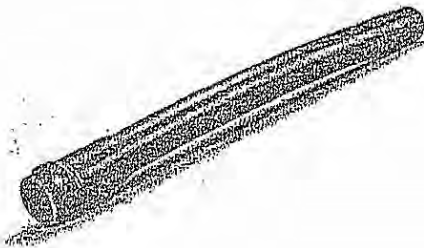
直管 PV-RR



単位: mm

呼び径	受口内径	受口長さ	外径	標線までの長さ		有効長	全長		許容差
	d1	ℓ		ℓ1	ℓ2		Z	L	
50	61.0	144	60.0	90	110	1000	1100	±30	
							2100		
							5100		
75	97.3	182	96.0	130	150	5000	1140	-10	
							2140		
							5140		

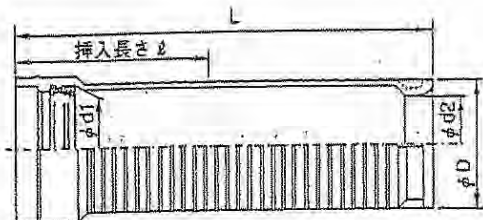
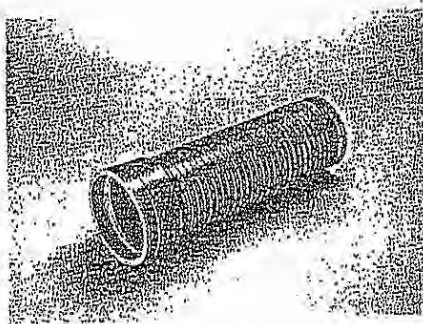
曲管 PV-BR



単位: mm

呼び径	受口内径	受口長さ	外径	曲率半径	標線までの長さ		有効長	全長		許容差
	d1	ℓ	D	R(m) (#*)	ℓ1	ℓ2		Z	L	
50	61.0	144	60.0	3, 5, 10	90	110	1000	1100	±15	
75	97.3	182	96.0		130	150		1140		

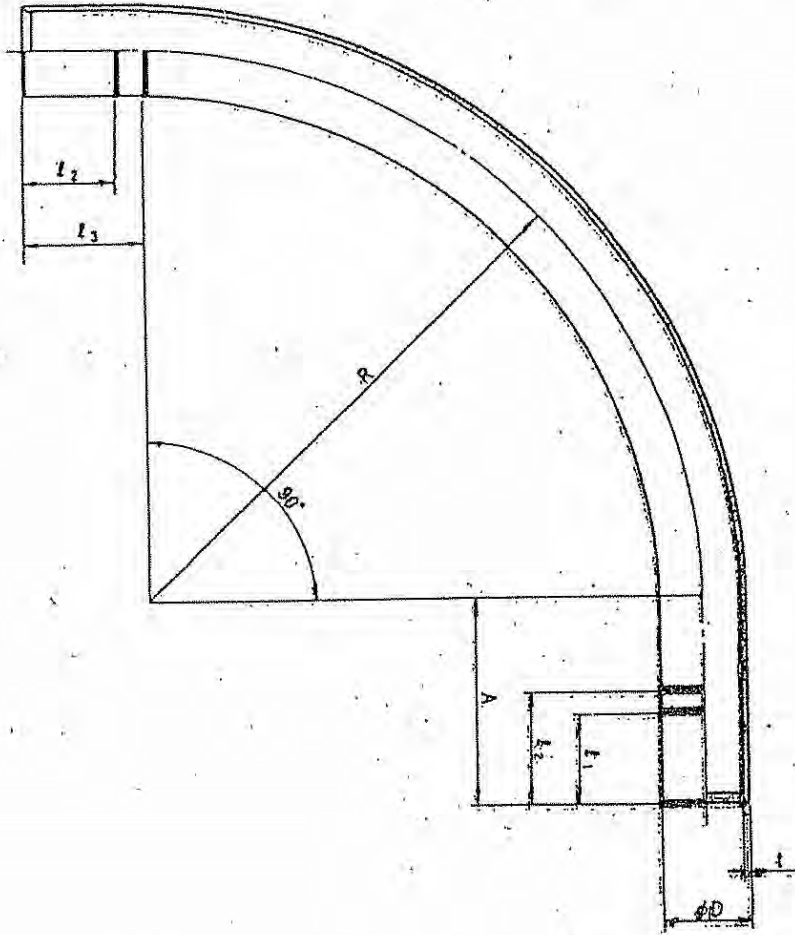
ダクトスリーブ



単位: mm

呼び径	全長	挿入長さ	外径	内径	
	L	ℓ		d1	d2
60	325	140	78	65	52.9
75	360	170	110	99	83.0

電共 PV管



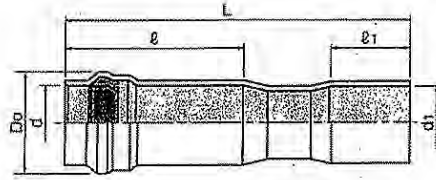
単位：mm

対象品	呼び径	D	t	A	L ₁	L ₂	L ₃	R
	25	34.0±0.3	3.0±0.30	400	65	85	115	500
	50	60.0±0.5	4.5±0.40	400	100	120	150	500
	75	96.0±0.6	6.5±0.55	400	130	150	190	1000

備考：クボク規格品。

Vカンツギテ (ビニル管差込み継手)

品番8082



単位:mm

呼び径	ゴム輪受口部			接着受口部		全長 L (参考)
	D ₀ (参考)	d (基本寸法)	ℓ (標準)	d ₁ (基本寸法)	ℓ ₁ (標準)	
25	50	34.6	115	34.55	40	163
	84	61.0	144	60.8	63	277
	129	97.3	175	96.8	75	257

No. 13

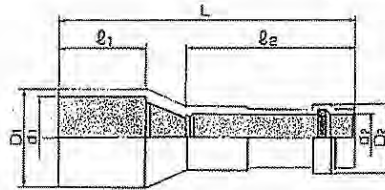
No. 12

備考: 1. 呼び径75は、日本通信電材(株)製で、上図と形状が異なります。
2. 呼び径25は、上図と形状が異なります。

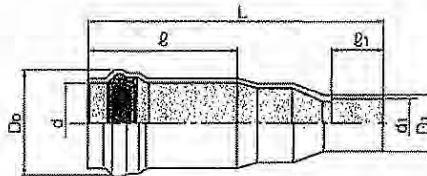
異径管差込み継手

品番8711

(25mm-50mm)



(75mm-50mm)



(25mm-50mm)

単位:mm

接着受口部			ゴム輪受口部			全長 L (参考)
D ₁ (参考)	d ₁ (基本寸法)	ℓ ₁ (標準)	D ₂ (参考)	d ₂ (基本寸法)	ℓ ₂ (標準)	
70	60.8	63	50	34.6	122.5	214.5

(75mm-50mm)

単位:mm

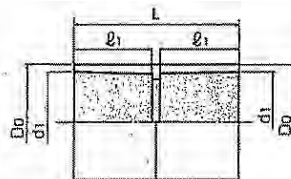
ゴム輪受口部			接着受口部			全長 L (参考)
D ₀ (参考)	d (基本寸法)	ℓ (標準)	D ₁ (参考)	d ₁ (基本寸法)	ℓ ₁ (標準)	
129	97.3	182	70	60.8	63	360

備考: ゴム輪は75mm差込み継手硬質塩化ビニル管(P-Vカン)のゴム輪と同じです。

75mmビニル管ソケット

品番8080

日本通信電材(株)製



単位:mm

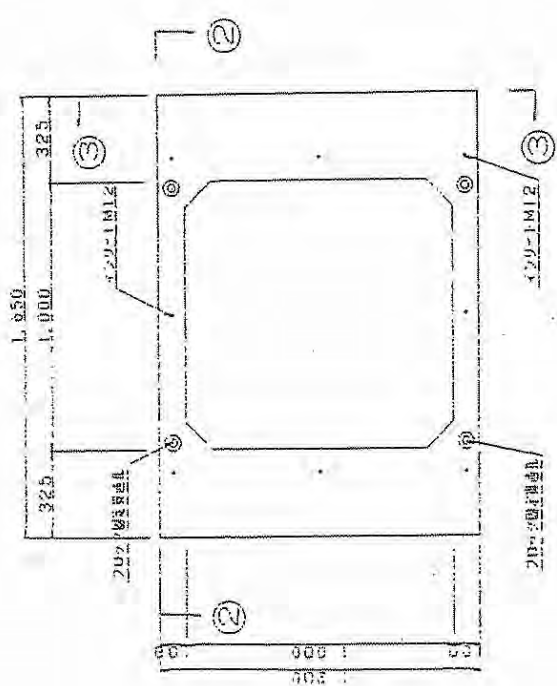
呼び径	D ₀ (参考)	d ₁ (基本寸法)	ℓ ₁ (標準)	全長 L (参考)
75	110	96.8	75	157

※管枕などの関連部材はP.33以降に掲載しています。

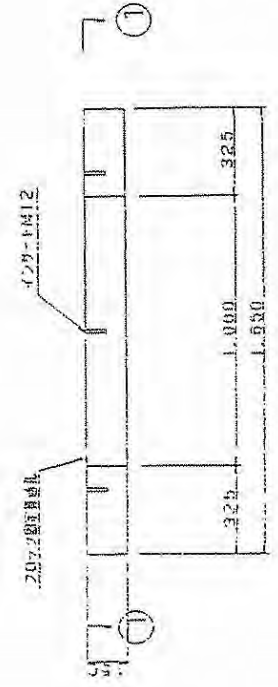
機器据付用ブロック (I-100) 構造図 S=1/10

平面図

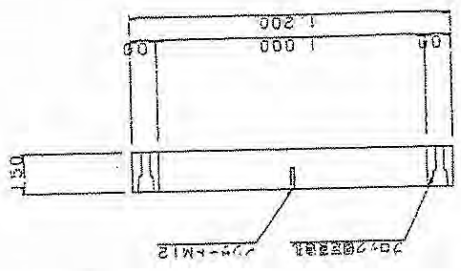
① - ①



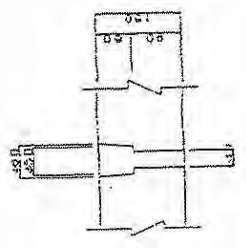
② - ②



③ - ③



ブロック固定貫通孔詳細図 S=1/5

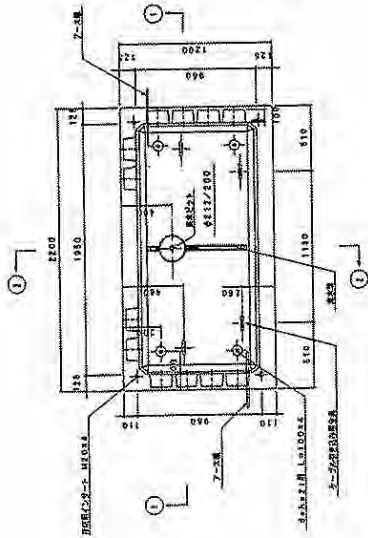


平成 14 年度	図面番号	10/24
事業名	図面名	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
図用名	図用名	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
工事名	工事名	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
施工場所	施工場所	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
製図者	製図者	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
承認者	承認者	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
製図日	製図日	機器据付用ブロック (I-100) 構造図
承認日	承認日	機器据付用ブロック (I-100) 構造図

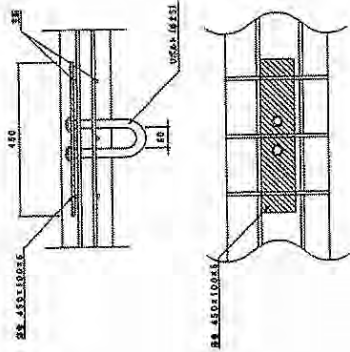
電力用樹構造図(1) S=1:20
(プレハブ基礎2型 950×1950×1100)

全面付ブロック (SG-88型)

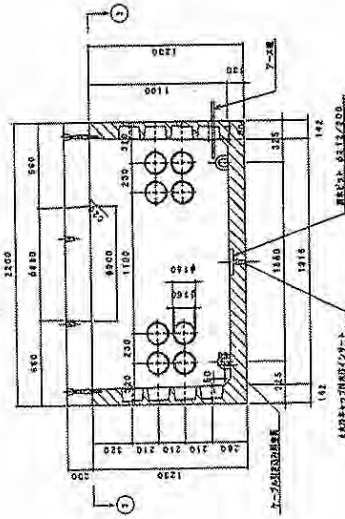
3-3断面図



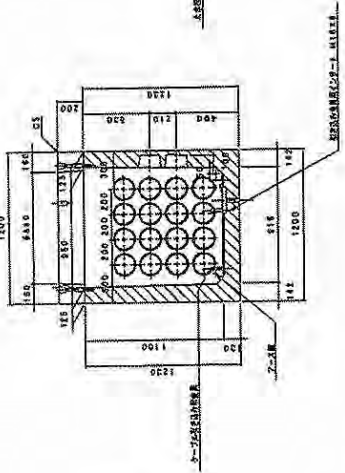
ケーブル引入金具取付詳細図 S=1:5



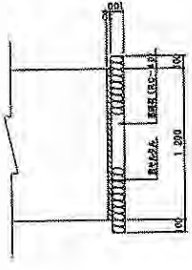
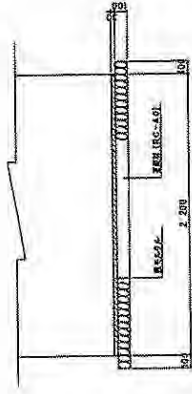
1-1断面図



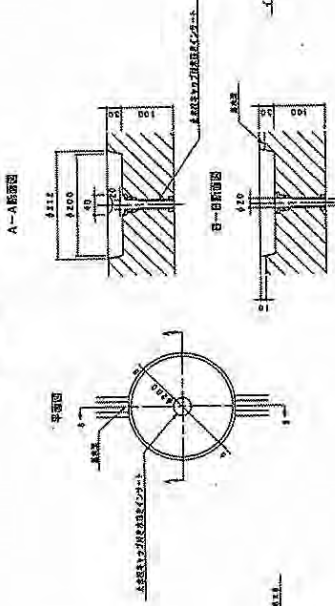
2-2断面図



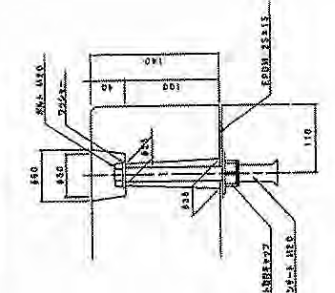
基礎工



基本ピット部詳細図 S=1:5



接続部詳細図 S=1:3



88型プレハブブロック (樹形) の寸法は本図に準じます。基礎工は、基礎電力 (樹) と同様の施工を要します。

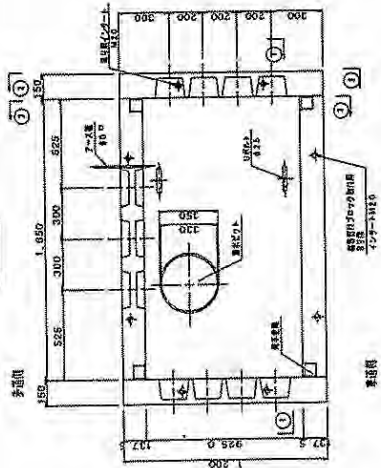
項目	内容
材料名	鉄筋
規格	JIS S55-D
寸法	φ10
数量	10.5
単位	m
合計	10.5

項目	内容
材料名	コンクリート
規格	標準
寸法	950×1950×1100
数量	1.0
単位	m ³
合計	1.0

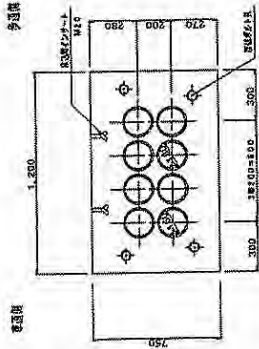
項目	内容
材料名	電力用樹構造図(1)
規格	標準
寸法	950×1950×1100
数量	1.0
単位	m ³
合計	1.0

電力用機構造図 (1) S=1:15 (プレハブ基礎1型 900×1650×550)

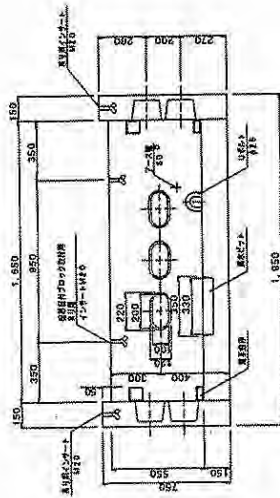
平面図



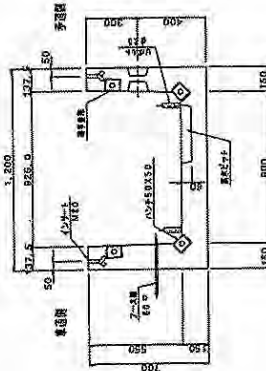
①-② 断面図



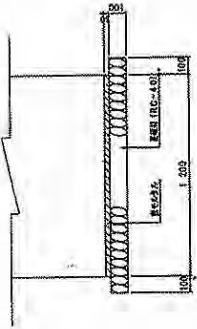
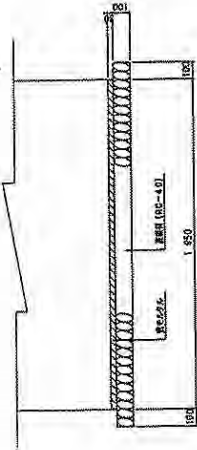
①-① 断面図



③-③ 断面図



基礎工



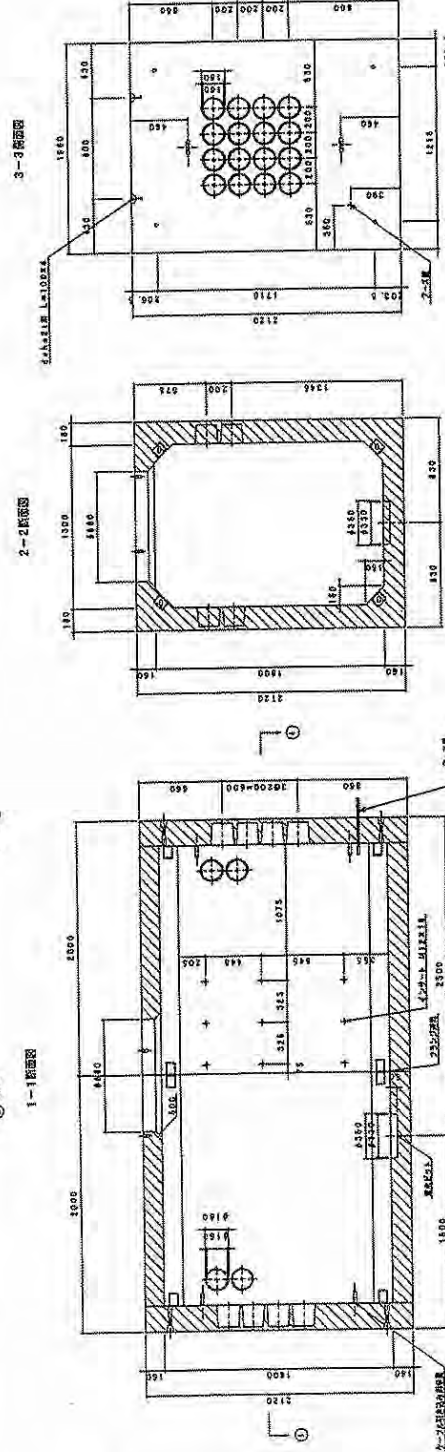
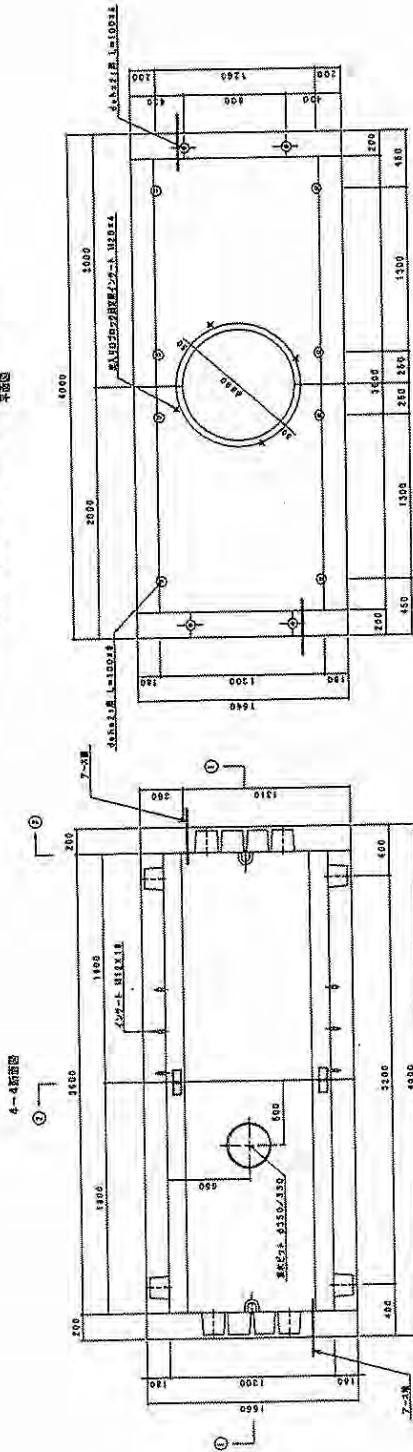
設計条件	
活荷重	245 kN (P=50 kN)
面荷重係数	$l=0.1$
土圧係数	$k=0.308$
土沈下	0.25 m
構造	鉄筋コンクリートU形構造
供養能力値	
設計活荷重係数	$\sigma_{ok}=30 \text{ N/mm}^2$
自己重荷重係数	$\sigma_{os}=11 \text{ N/mm}^2$
許容応力係数	$f_a=0.6 \text{ N/mm}^2$
引張力係数	$\sigma_{sa}=160 \text{ N/mm}^2$

印 図はメーカー提供の図面を縮小したものである
図中寸法はmmと記載されている場合はmmとする。

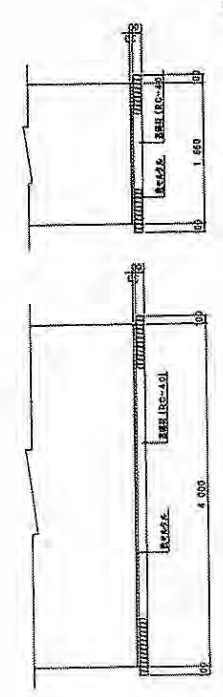
年度	番号	11 / 41
図面番号	1/1	
工事名		
発注者		
図面名	電力用機構造図 (1)	
縮尺	標準	1/15

電力用機構造図(3) S=1:20

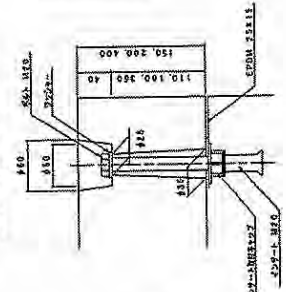
(プレート孔 1300×3600×1800) 平面図



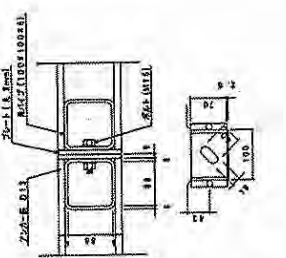
基礎工 S=1:30



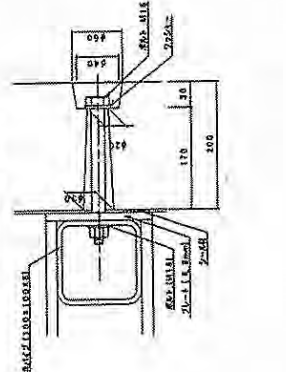
出入口プレート部別構造図 S=1:3



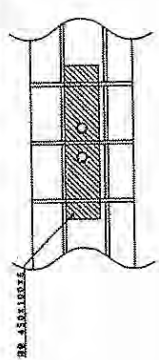
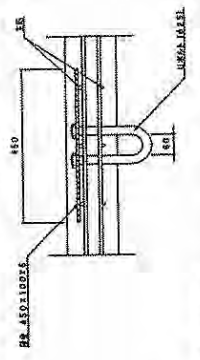
フランジ部別構造図 S=1:5



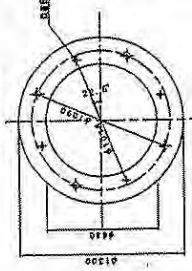
前面板部別構造図 S=1:3



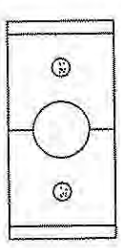
ケーブル引出金具取付構造図 S=1:5



出入口プレート部別構造図



プレート部別構造図



材料	数量	単位
ステンレス板	1	枚
ステンレス棒	8	本
ステンレスナット	8	個
ステンレスワッシャー	8	個
合計	17	

材料	数量	単位
ステンレス板	1	枚
ステンレス棒	8	本
ステンレスナット	8	個
ステンレスワッシャー	8	個
合計	17	

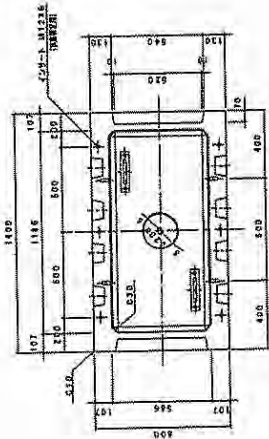
規格	JIS B 7701
材質	ステンレス
寸法	φ100×100
重量	約 0.5kg
色	ステンレス色
表面処理	鏡面仕上げ
製造国	日本
納入期	約 2週間
価格	約 5000円

図4

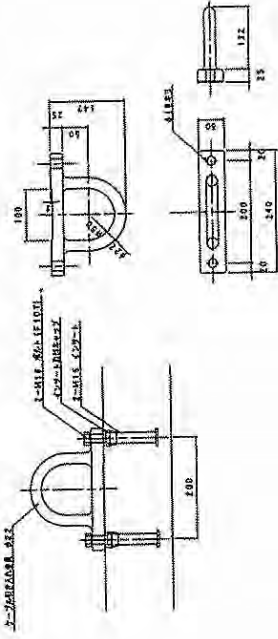
項目	内容
図名	電力用機構造図(3)
図番	
製図者	
承認者	
スケール	1/30

電力用柵構造図 (2) S=1:15
(分岐柵 600×1200×550)

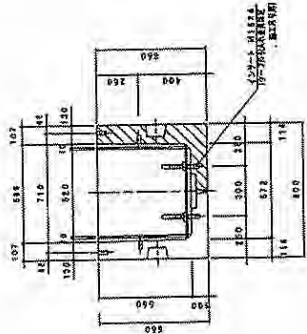
平面図



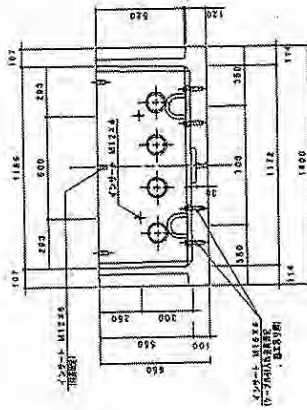
ケーブル引入れ金具取付詳細図 S=1:5



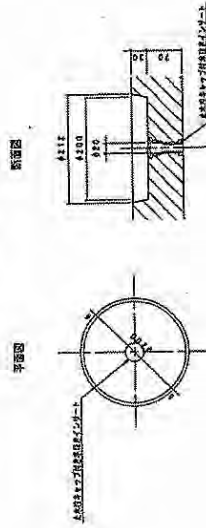
正面図



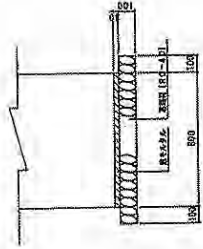
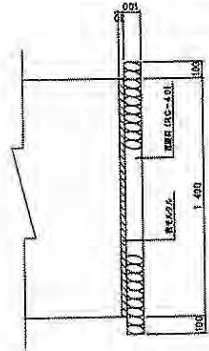
側面図



集水ビット部詳細図 S=1:5



基礎工



図注条件

材料	上下管: T-25 P=50kN/根
規格	管径: T-25 P=50kN/根
寸法	上下径: I=0.1
寸法	厚: I=0.1
構造形式	段組コンクリート基礎構造
管径	0.50m x 1.20m x 0.50m
基礎構造	コンクリート基礎構造
基礎寸法	1.20m x 1.20m x 0.50m
基礎材料	コンクリート
基礎強度	σ _{ak} =3.0N/mm ²
基礎工事	50295A

材料	50295A
寸法	750
工事	基礎工

図注条件 (2) 図中の集水ビット部取付金具は、図中の集水ビット部取付金具の寸法と同一の寸法とする。

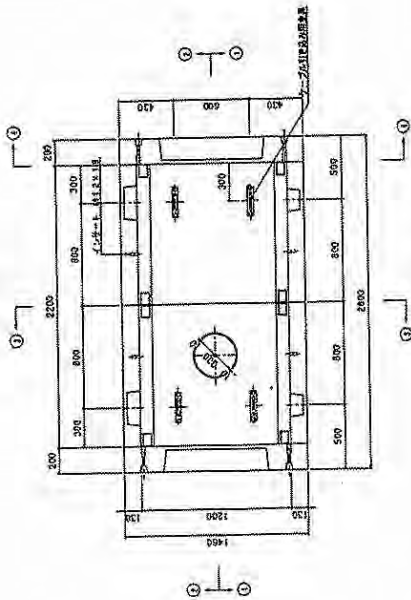
炭友 (5)

図番	15/30
図名	電力用柵構造図 (2)
図尺	1:5
図式	電力用柵
図号	電力用柵
図名	電力用柵
図式	電力用柵
図号	電力用柵

大阪府炭友土木事務所

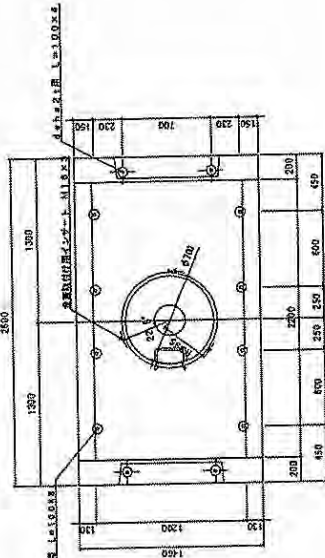
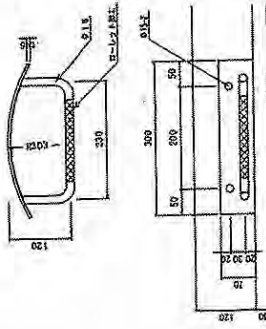
道路及び通信用合同架構造図 S=1:2.0
(車道・歩道橋用 1200×2200×1500)

平面図



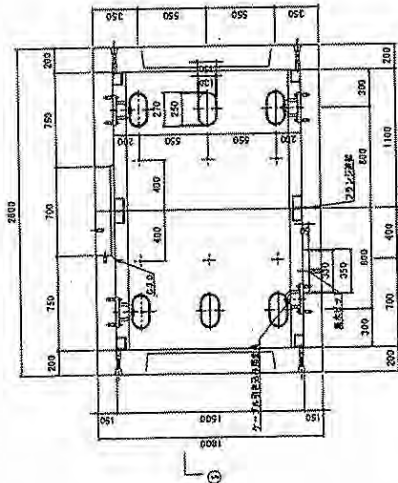
5-5 断面図

梯子用ステップ S=1:5

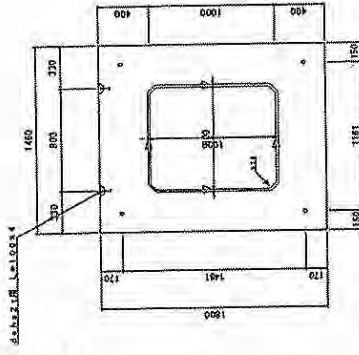


2-2 断面図

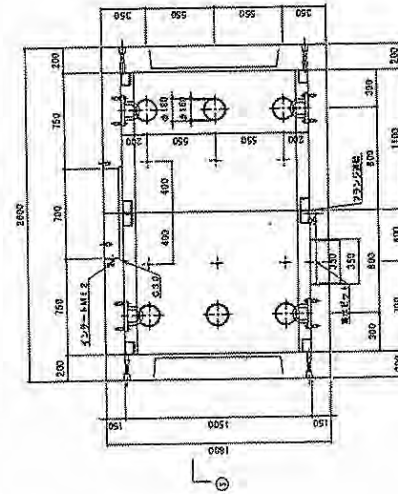
3-3 断面図



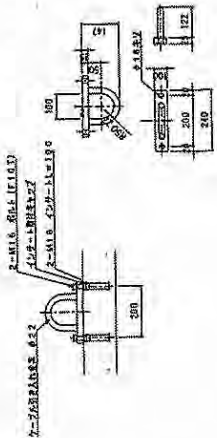
4-4 側面図



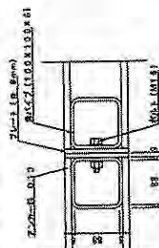
1-1 断面図



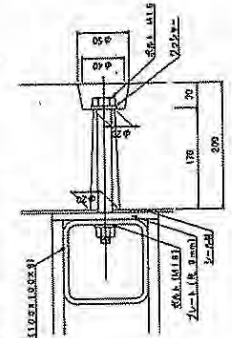
ケーブル引込箱取付詳細図 S=1:1.0



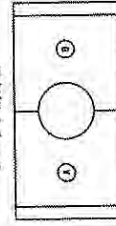
フランジ詳細図 S=1:5



端面接続部詳細図 S=1:3



ブロック割付図



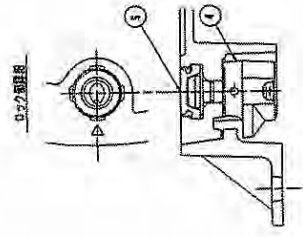
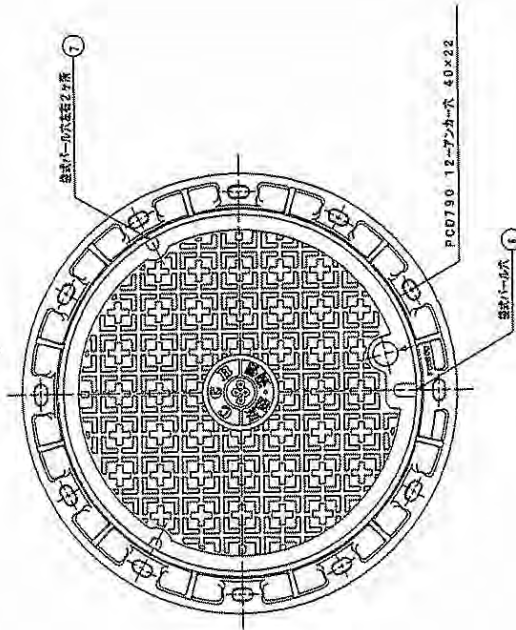
材料	数量	単位
A7577	2200	1
B7577	2210	1
鋼板	965	2
合計	6340	

設計条件	
規格	JIS S100
材料	鉄筋
断面	44mm x 2.0mm
長さ	1000mm
重量	50kg/巻
巻数	10
巻径	100mm
巻厚	0.4mm
巻径公差	±0.1mm
巻厚公差	±0.05mm
巻径公差	±0.1mm
巻厚公差	±0.05mm
巻径公差	±0.1mm
巻厚公差	±0.05mm
巻径公差	±0.1mm
巻厚公差	±0.05mm

茨交 6

図名	図番	図尺	図寸	図紙	図用
橋脚の構造	1	1/20			
橋脚の基礎	2	1/20			
橋脚の上部構造	3	1/20			
橋脚の下部構造	4	1/20			
橋脚の附属施設	5	1/20			
橋脚の補修	6	1/20			

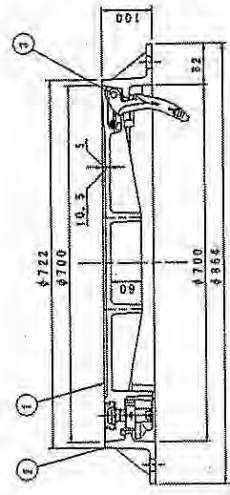
道路及び通信用樹蓋構造図 S=1:5
(車道部)



型名 用: 用途用 T-25
 仕様表: 986H (10A1)
 取付径: 0.4
 取付高さ: 700R取止

7	ゴムキャップ	C R	Z	DP2
6	ゴムキャップ	C R	1	DP1
5	ゴムキャップ	C R	1	R-1
4	ロック金具	FCD600	1	O-86
3	蝶番金物	FCD600	1	97
2	変付	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	

部品名 材料 数量 単位



発行 年月 20/200

発行所 株式会社

発行部 営業部

発行員 佐藤 誠

発行日 2020/08/08

発行枚数 100

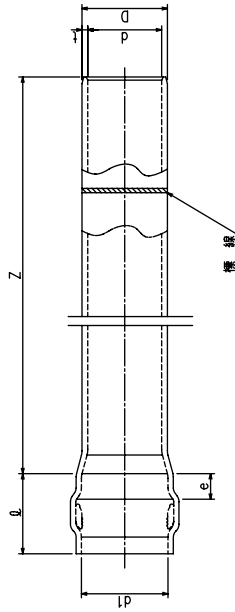
発行場所 東京都中央区

発行内容 道路及び通信用樹蓋構造図

管路材構造図(2)

(電力用合成樹脂管)

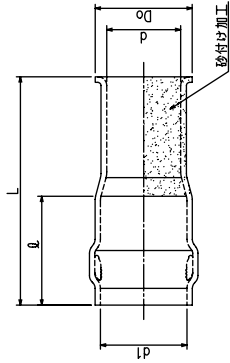
直管



単位: mm

呼び径	D	d	d1	t	e	Z
75	89.0	77	90.2	5.9	61	5000
100	114.0	100	115.5	7.1	64	
125	142.5	125	144.2	8.5	67	

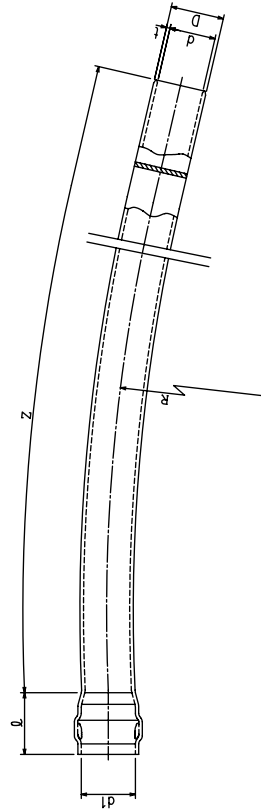
ダクトスリーブ



単位: mm

呼び径	d1	d	Do	L	Z
75	90.2	77	100	260	450
100	115.5	100	130	280	
125	142.5	125	165	295	

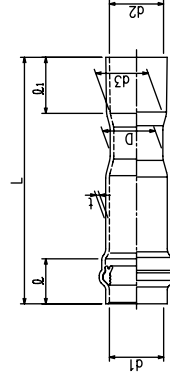
曲管



単位: mm

呼び径	D	d	d1	t	e	Z	R
75	89.0	77	90.2	5.9	61	1000	5000
100	114.0	100	115.5	7.1	64		
125	142.5	125	144.2	8.5	67		

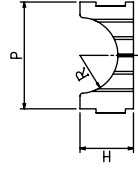
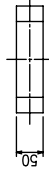
異種管継手



単位: mm

呼び径	L	d	d1	D	d2	d3	t
75	400	120	150	89.0	90.2	91.3	5.9
100	655	130	210	114.0	115.5	117.7	7.1
125	655	135	210	142.5	144.2	142.4	8.5

管枕



単位: mm

呼び径	R	P	H
100	1A	71.5	185
125	1A	71.5	185

※ 管枕の設置間隔は、管径1本当り2ヶ所設置を標準とする。

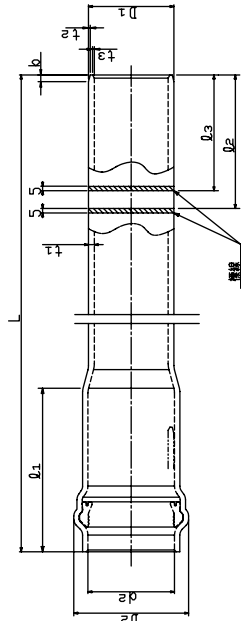
※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年度	平成	年度	番号	番号	31/53
路線名	新市計画道路 枚方大和田高田線 外				
工事名					
所屬地名	枚方市 茄子作東町 外				
四面番別	管路材構造図(2)				
欄尺	1:20	作	月	平成18年3月	
		差			大阪府枚方土木事務所

管路材構造図(3)

(通信、道路用PV管)

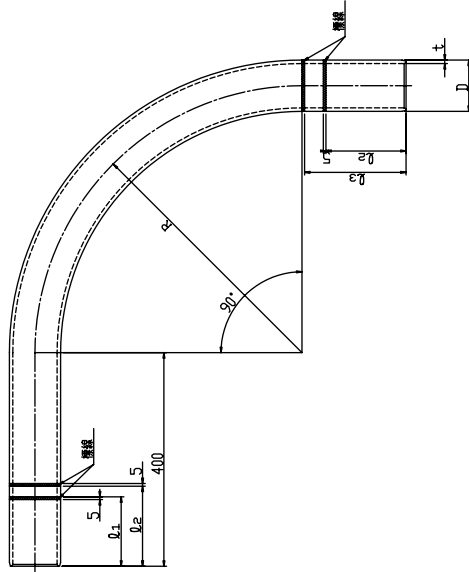
直管



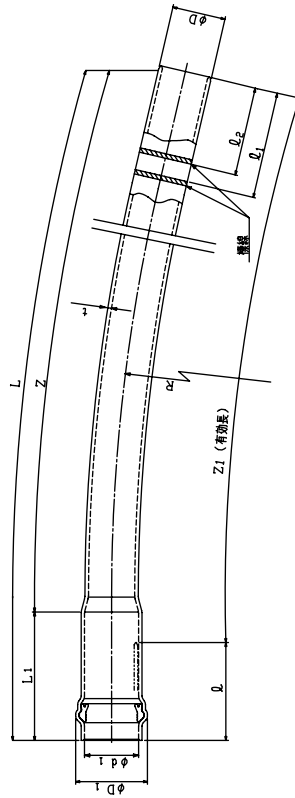
単位：mm

呼び径	管体部		受口部		差口部			参考質量			
	L	D1	t1	D2	d	d1	b	t2	t3		
25	4075	34	3.0	50	34.6	115	6	85	1.5	1.0	1.8
50	4110	60	4.5	84	61.0	144	6	120	1.5	1.5	4.7
75	5690	96	6.5	129	97.3	182	8	150	2.0	2.0	15.0

90P-V曲管



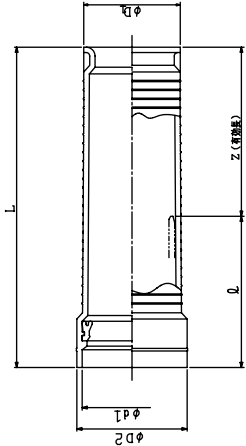
曲管



単位：mm

呼び径	D	D1	d1	L	L1	Z	Z1	t	R			
									d2	d3	d4	
50	60	84	61.0	1110	144	966	1000	4.5	110	120	100	5000
75	96	129	97.3	1140	182	958	1300	6.5	140	150	130	10000

ダクトスリーブ

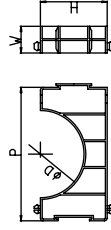


単位：mm

呼び径	φD1	φD2	φd1	L	Z	R
25	28	36.5	37.0	258	140	110
50	78	83	65.3	325	160	140
75	110	124	112.0	360	190	170

管枕

P-V管φ75用

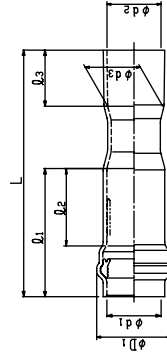


単位：mm

呼び径	D	P	V	W	H
75×130P	97	130	30	30	65
50×95P	61	95	30	30	47.5

※ 管枕の設置間隔は、管路1本当たり2ヶ所設置を標準とする。

V管P継手



単位：mm

呼び径	D	t	d1	d2	d3	R
25	34	3.0	65	85	115	500
50	60	4.5	100	120	150	500
75	96	6.5	130	150	190	1000

単位：mm

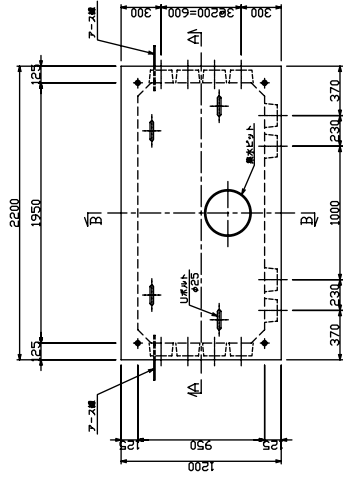
呼び径	L	D1	d1	d2	d3	d4	d5	d6	d7
50	277	84	61.0	60.3	59.2	144	63	63	63
75	257	129	97.3	96.8	94.9	175	75	75	75

年度	平成	年度	番号	32/53
路線名	新市計画道路 枚方大和田線 外			
工事名				
所屬地名	枚方市 南子作東町 外			
四角種別	管路材構造図(3)			
欄尺	1:20	作	月	平成18年3月
		者		大阪府枚方土木事務所

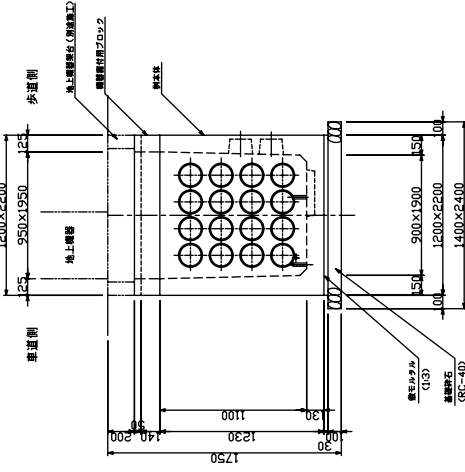
※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

E 2 樹 構 造 図 S=1:20
(950×1950×1100 機器樹)

平面図

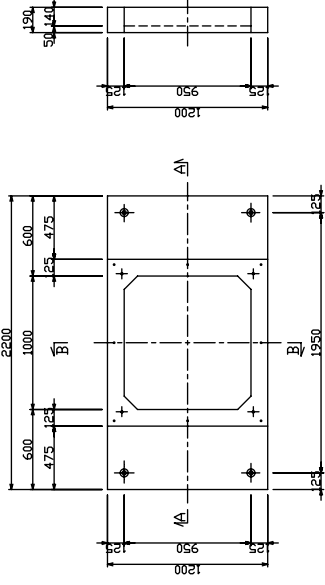


設置断面図

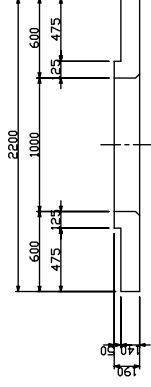


機器据付用ブロック

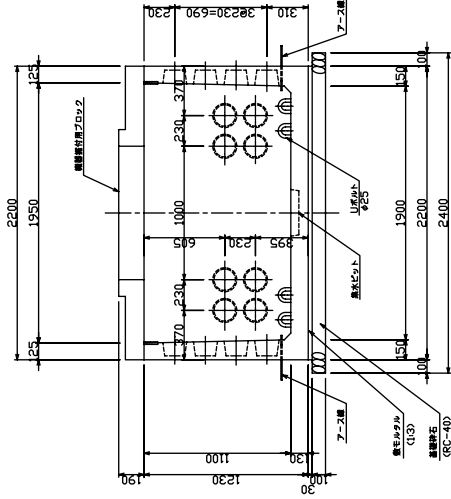
平面図 B-B断面図



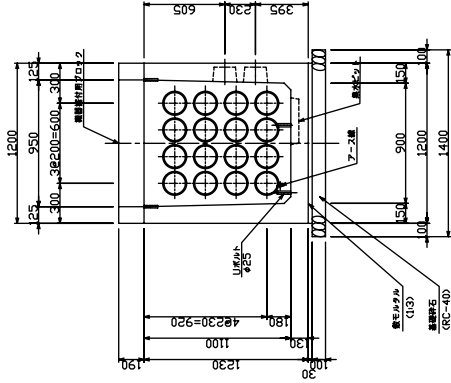
A-A断面図



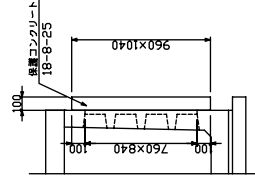
A-A断面図



B-B断面図



保護コンクリート



設計条件

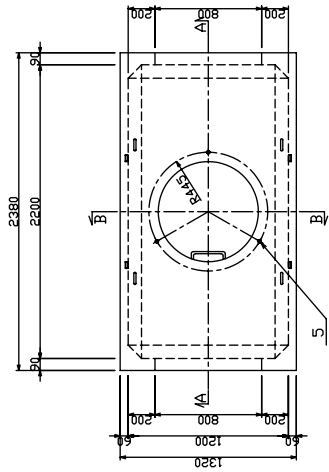
活荷重	2.45kN (P=50kN)
風速係数	歩道側 = 0.1
構造形式	埋設コンクリート埋設機樹
内径寸法	950 × 1950 × 1100
土圧係数	k = 0.5
(新管応力係数)	
設計軸線距離	c/c = 300/mm
カバー(埋設機樹側)	c/c = 100/mm
埋設機樹側	c/c = 100/mm
埋設機樹側	c/c = 100/mm
埋設機樹側	c/c = 100/mm

※ 特記事項
1. 樹本体のフェース線2ヶ所は、A層及びB層埋設地に対応する埋設機をGL-75cmの高さに設置すること。
(100以下)

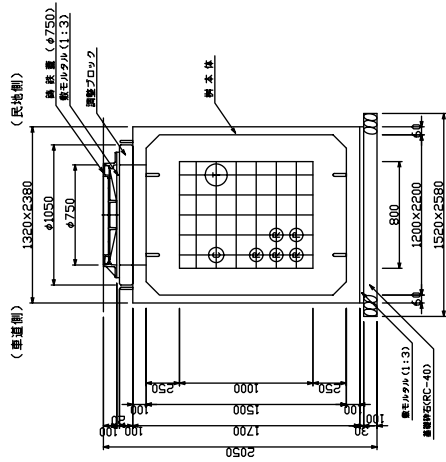
年度	平成	年度	番号	35/53
路線名	新市計画道路 枚方大和田線 外			
工事名	枚方市 街子作業町 外			
所在地	E2幹線道路			
図面番号	1:20	作	葉	平成18年3月
編	大阪府枚方土木事務所			

RT 柵構造図 S=1:20
(1200×2200×1500 歩道用)

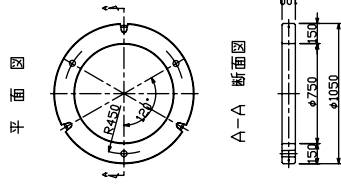
平面図



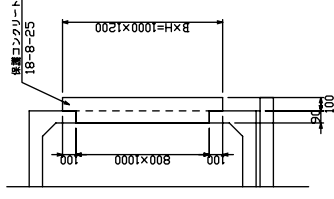
設置断面図



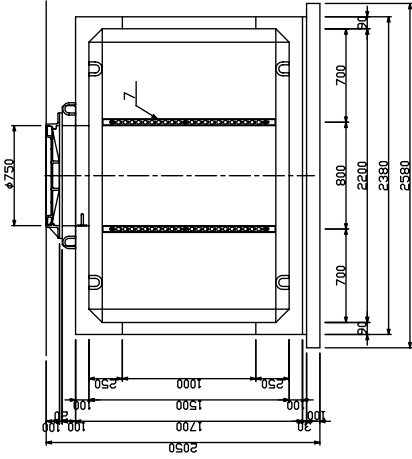
調整ブロック



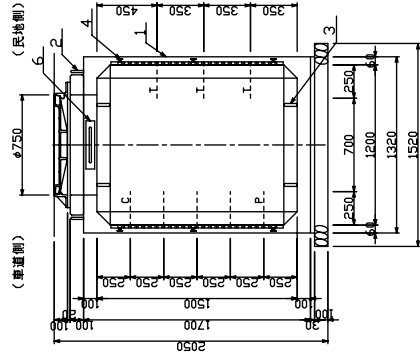
保護コンクリート



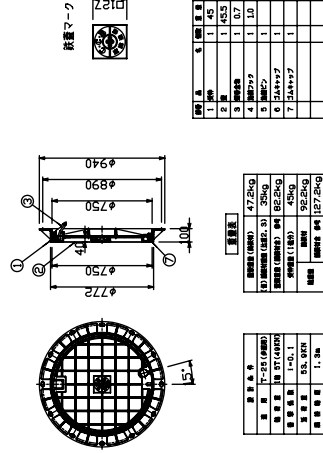
A - A 断面図



B - B 断面図



化粧鉄蓋構造図
(φ750 歩道用)



設計条件

設計活荷重	1輪 50kN
衝撃係数	i = 0.1
構造形式	工構製品 レジンコンクリート据型構造
内空寸法	1200 ^t × 2200 ^t × 1500 ⁿ
土の単位重	γs = 19kN/m ³
土圧係数	Ka ≤ 0.5
使用材料	レジンコンクリート 設計基準値で強度σbk = 18.0MPa

符号	名称	数量	規格	備考
①	本体	1	レジンコンクリート	φ16
②	用下げフック	4	レジンコンクリート	φ22
③	アウリングホルド	8	SS400亜鉛メッキ	
④	新金物取付用インサート	12	SUS304	M12
⑤	設置用インサート	3	SUS304	M16
⑥	設置式ナット	1	SS400亜鉛メッキ	φ16
⑦	新金物 (L=1290)	4	SS400亜鉛メッキ	

品名	数量	規格	備考
1 鋼筋	1.45	φ750	
2 鋼筋	1.45	φ750	
3 鋼筋	1.02	φ750	
4 鋼筋	1.02	φ750	
5 鋼筋	1.02	φ750	
6 鋼筋	1.02	φ750	
7 鋼筋	1.02	φ750	

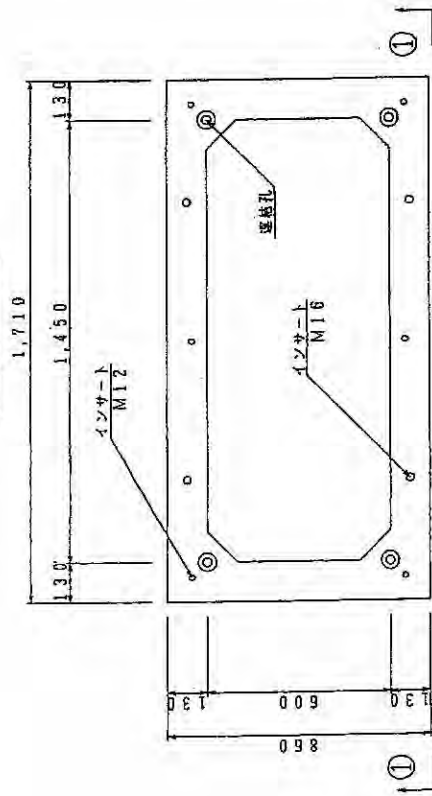
品名	数量	規格	備考
1 鋼筋	1.45	φ750	
2 鋼筋	1.45	φ750	
3 鋼筋	1.02	φ750	
4 鋼筋	1.02	φ750	
5 鋼筋	1.02	φ750	
6 鋼筋	1.02	φ750	
7 鋼筋	1.02	φ750	

品名	数量	規格	備考
1 鋼筋	1.45	φ750	
2 鋼筋	1.45	φ750	
3 鋼筋	1.02	φ750	
4 鋼筋	1.02	φ750	
5 鋼筋	1.02	φ750	
6 鋼筋	1.02	φ750	
7 鋼筋	1.02	φ750	

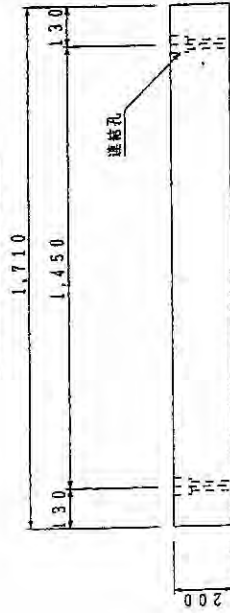
年度	平成	年度	番号	36/53
路線名	都市計画道路 枚方大和東田線 外			
工事名	枚方市 街子作業町 外			
所在地名	RT柵構造図			
図面種別	R1:20			
欄尺	1:20	作	日	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				

5 - 16
機器据付けブロックS-145
(H=200)

平面図

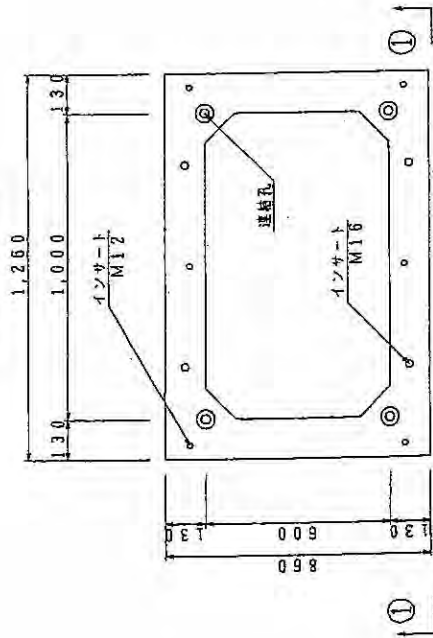


正面図 ①-①

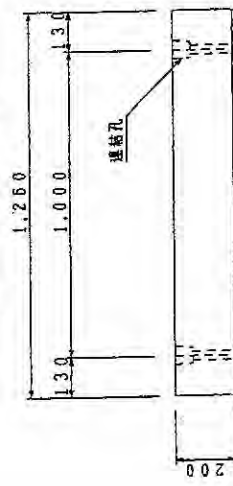


3
5 - 15
機器据付けブロックS-100
(H=200)

平面図



正面図 ①-①



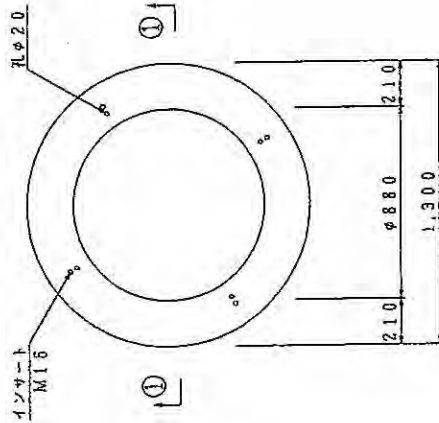
④

首座ブロック (配電用)

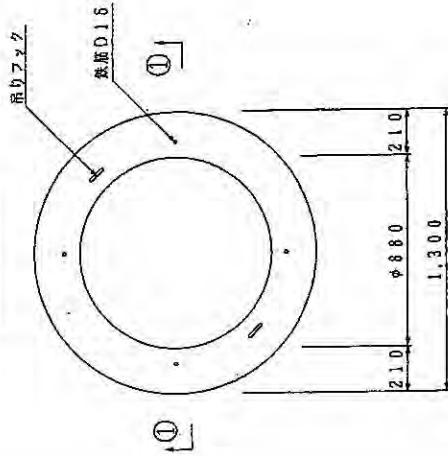
8 - 17, 8 - 18, 8 - 19
(H=400, 600, 800用)

8 - 16
(H=200用)

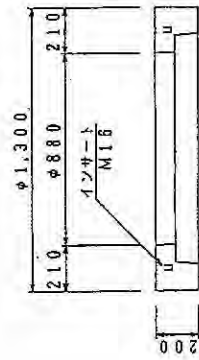
平面図



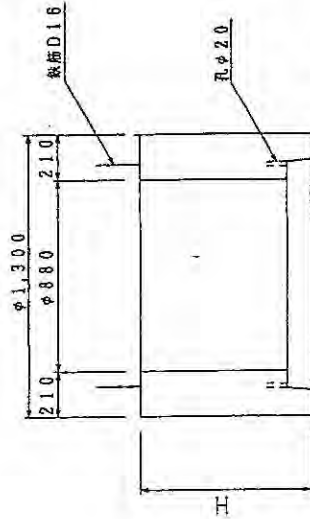
平面図



断面図 ①-①



断面図 ①-①

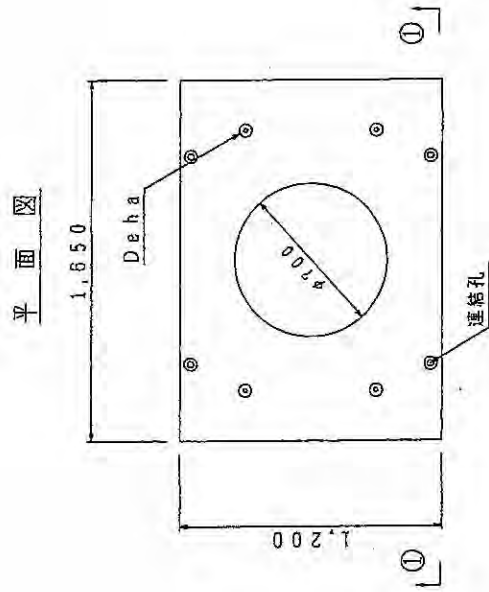


*但し、H=400, 600, 800

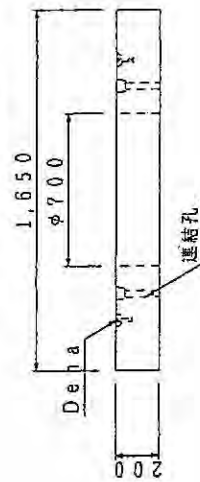
5

金蓋取付用ブロックI-100(φ700)構造図

1 - 23

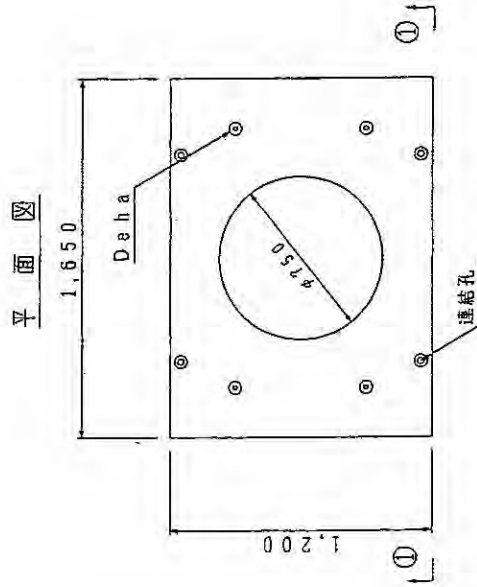


正面図 ①-①

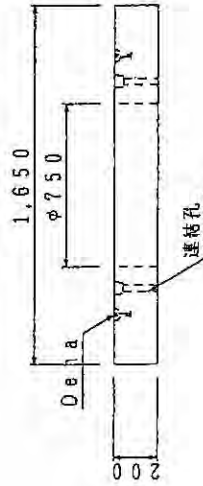


金蓋取付用ブロックI-100(φ750)構造図

1 - 24



正面図 ①-①

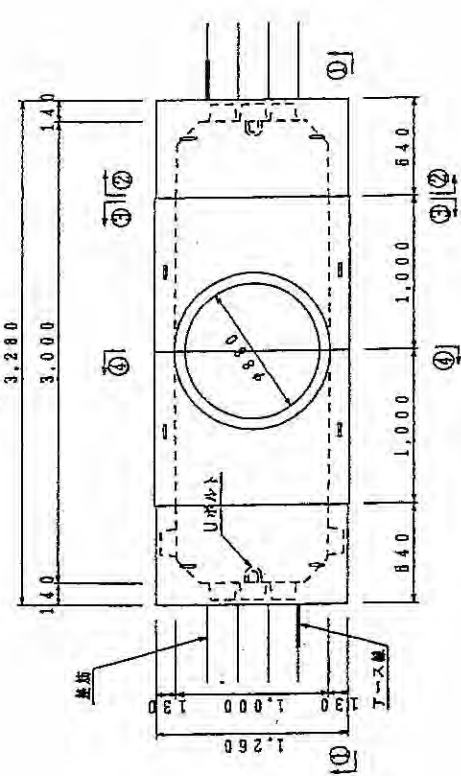


6

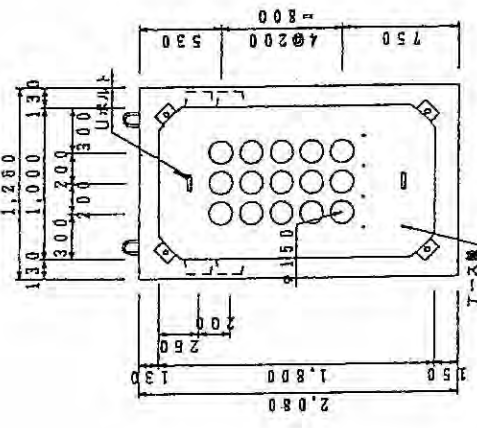
プレハブ人孔A5型構造図
1.0X1.8X3.0m

設計条件	
活荷重	24.5kN (P=50kN)
質量係数	単連1.1, 歩道1.1, 1
土圧係数	k=0.5
土表り	0.4m~2.0m
構造	鉄筋コンクリート部造構造 (許容応力度)
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{tk}=30\text{N/mm}^2$ 曲げ圧縮応力度 $\sigma_{tl}=11\text{N/mm}^2$
鉄筋	質量応力度 $\sigma_{sl}=0.5\text{N/mm}^2$ 引張応力度 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$

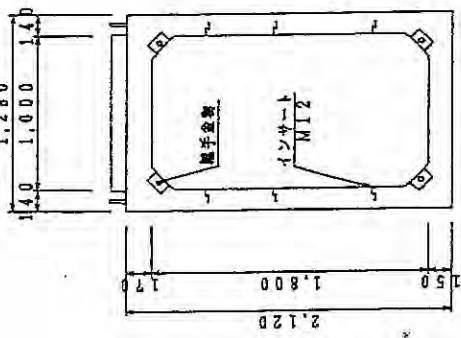
平面図



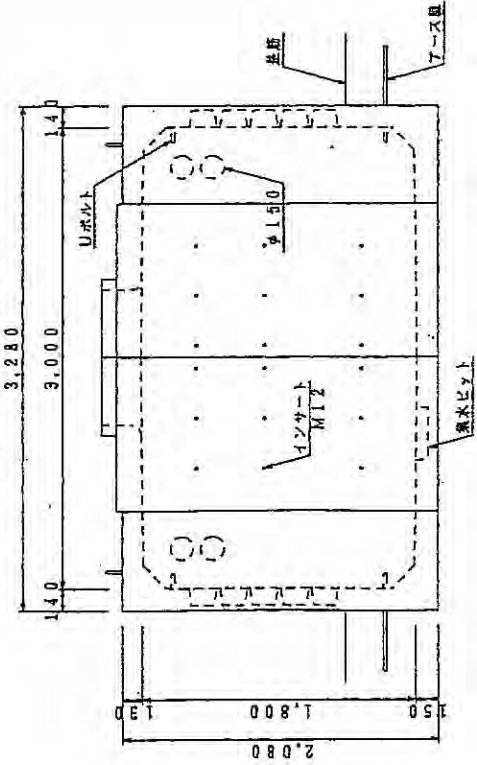
断面②-②



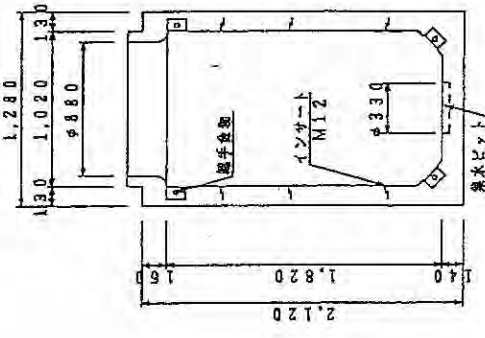
断面③-③



側面図 ①-①



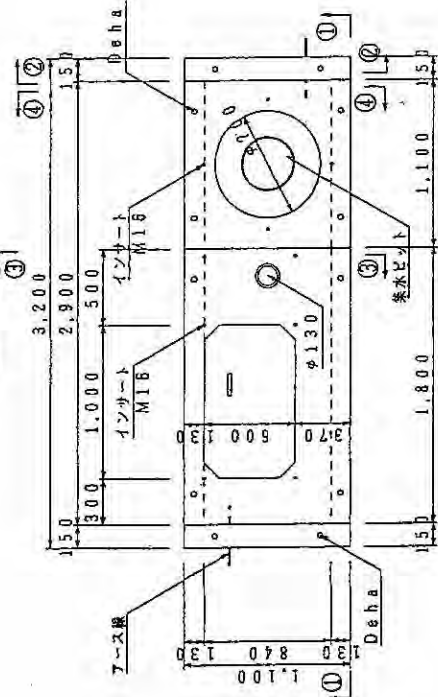
断面④-④



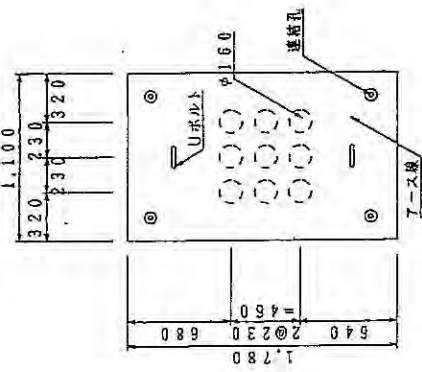
プレハブ基礎 S1 型

設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
衝撃係数	歩道 $\alpha = 0.1$
土圧係数	$k = 0.5$
土盛り	0.30m
構造	鉄筋コンクリート箱形構造 (許容応力度)
設計基準強度	$\sigma_{cl} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリート面圧相対強度	$\sigma_{cl} = 11 \text{ N/mm}^2$
引張強度	$\sigma_{tl} = 0.5 \text{ N/mm}^2$
圧縮強度	$\sigma_{cl} = 180 \text{ N/mm}^2$

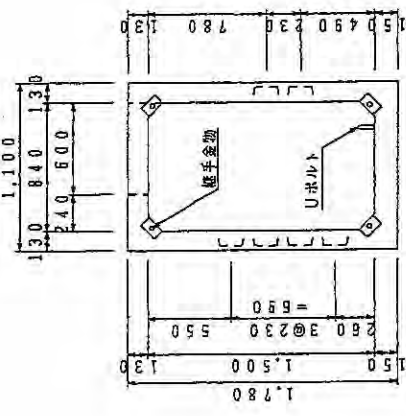
平面図



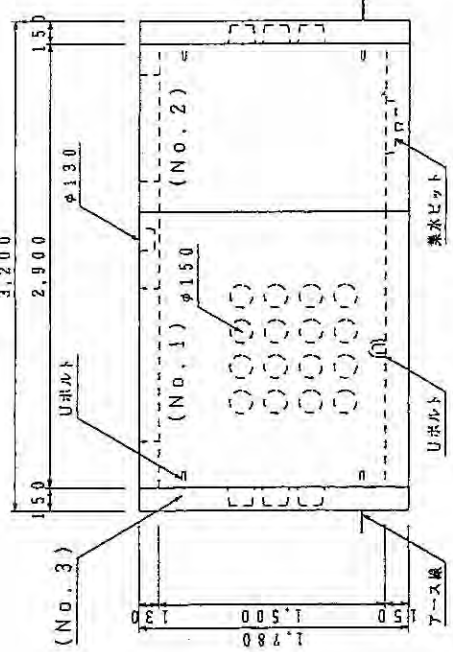
断面②-②



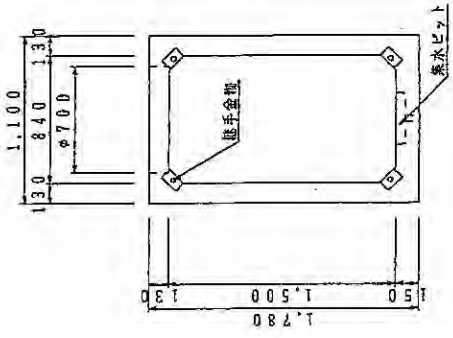
断面③-③



正面図①-①

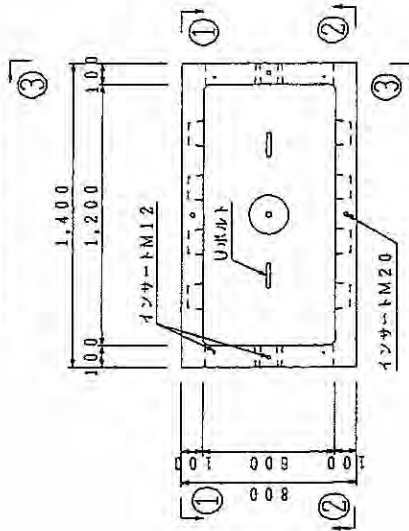


断面④-④

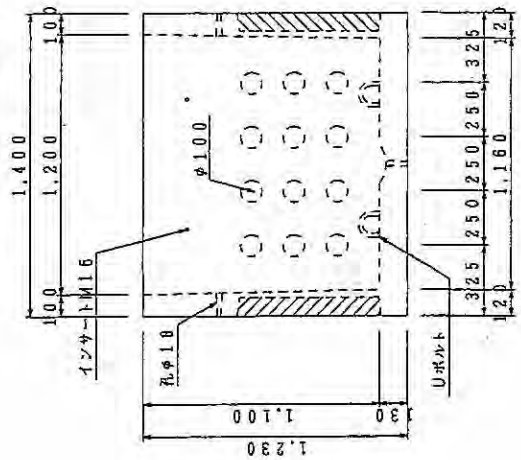


⑧ 通信用ハンドホール (Type 14) 構造図

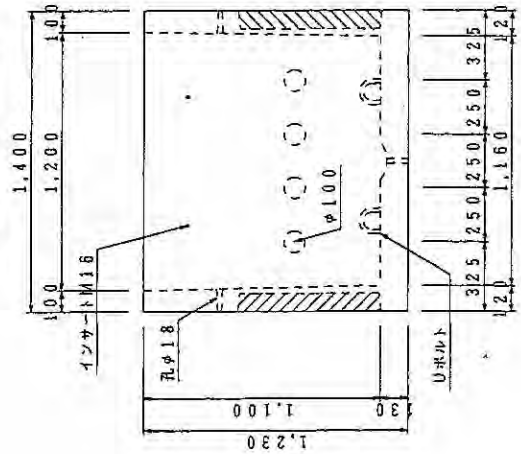
平面図



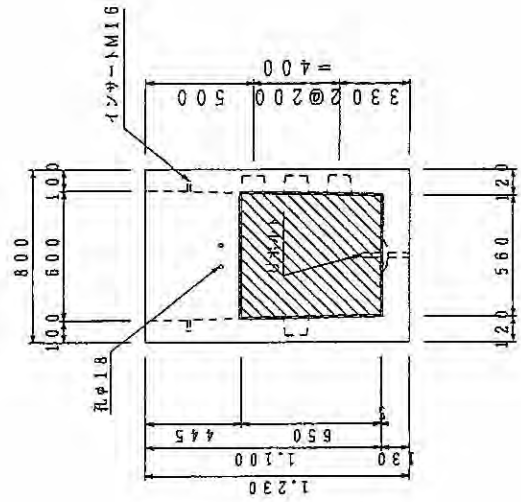
正面図 ①-①



正面図 ②-②



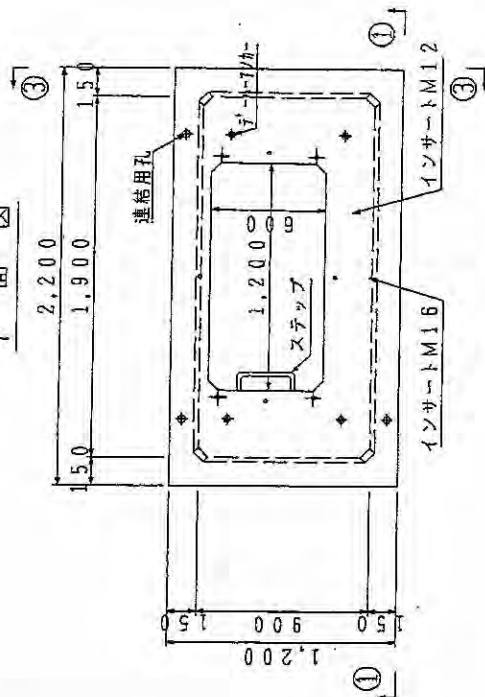
側面図 ③-③



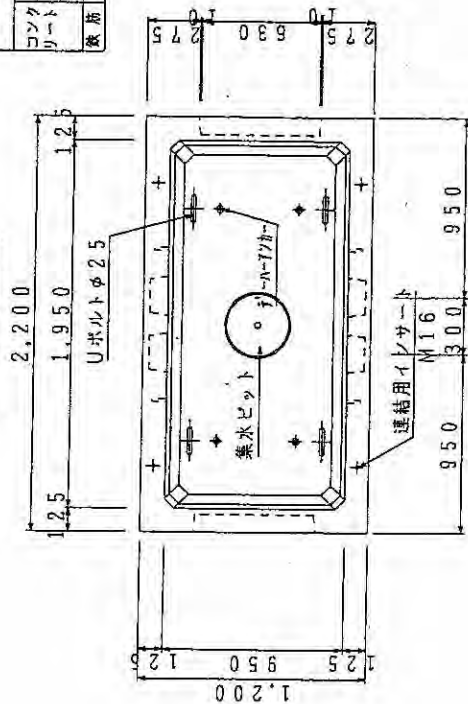
設計条件	
定荷重	245N (P=50kg)
衝撃係数	乗置: $\lambda=0.4$
工圧係数	$k=0.308$
土盛り	0.15m
構造	鉄筋コンクリート型構造
(許容応力度)	
コンクリート	設計圧縮強度 $\sigma_{cc}=30\text{N/mm}^2$
鉄筋	設計引張応力度 $\sigma_{st}=11\text{N/mm}^2$
	計算引張応力度 $\sigma_{st}=0.5\text{N/mm}^2$
	計算引張圧力面 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$

⑨ I 桁 (Type-4) 構造図

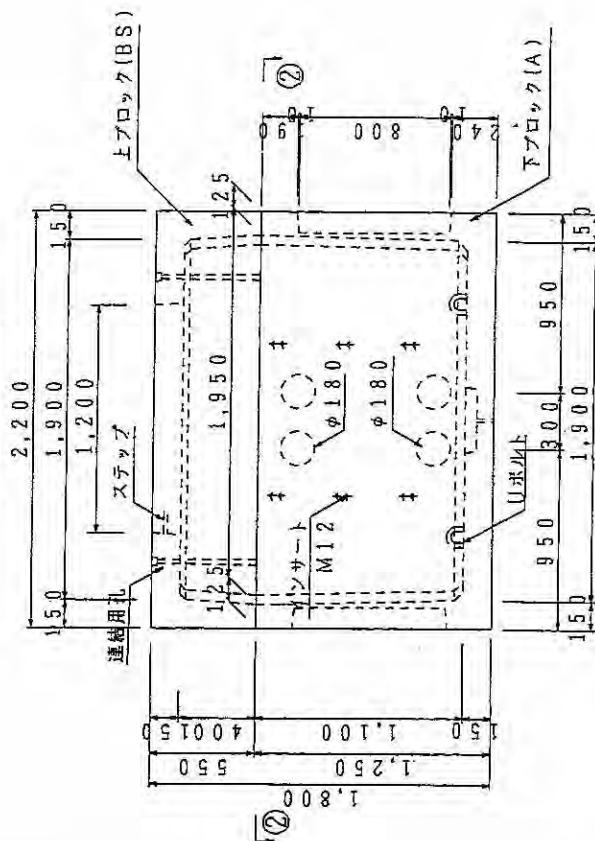
平面図



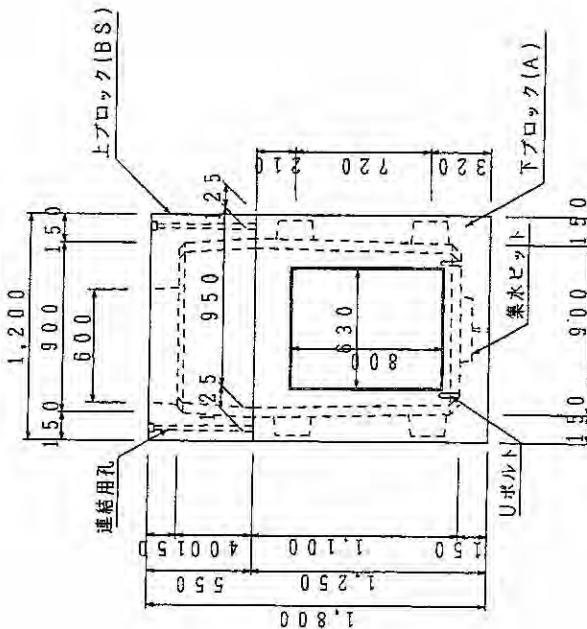
側面 ②-②



側面 ①-①



側面 ③-③



設計条件	
活荷重	24.5kN (P=50kN)
衝撃係数	α=1.0, 1.0 (α=1.0, 1.0)
土圧係数	k=0.50
土質	
構造	(許容応力度)
コンクリート	設計圧縮強度 σ _{ck} =30N/mm ² 曲げ圧縮応力度 σ _{ct} =11N/mm ² 剪断応力度 τ _t =0.5N/mm ²
鉄筋	許容応力度 σ _{sk} =180N/mm ²

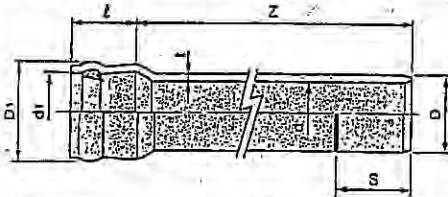
電カケーブル用

電共 MCCP SVP管

SVP
Super Impact Vinyl Pipe

耐熱・耐衝撃性硬質塩化ビニル管 SVP

RR直管

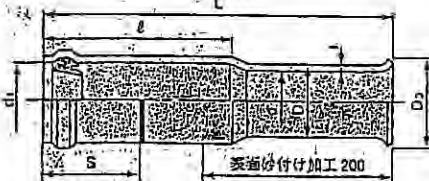


RR曲管



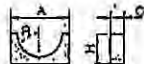
規格	外径	内径	重量	長さ	重量	重量	重量	重量	重量
75	77	60.5	98.0	7.50	1.20	7.00	6.8	7.00	6.8
100	100	71.5	120.0	10.00	1.20	9.20	9.1	9.20	9.1
125	125	94.2	142.0	12.50	1.20	11.30	11.2	11.30	11.2
150	150	117.0	170.0	15.00	1.20	13.80	13.7	13.80	13.7

ダクトスリーブ



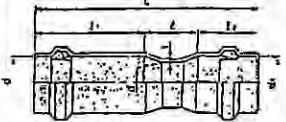
規格	外径	内径	重量	長さ	重量	重量	重量	重量	重量
75	77	60.5	98.0	7.50	1.20	7.00	6.8	7.00	6.8
100	100	71.5	120.0	10.00	1.20	9.20	9.1	9.20	9.1
125	125	94.2	142.0	12.50	1.20	11.30	11.2	11.30	11.2
150	150	117.0	170.0	15.00	1.20	13.80	13.7	13.80	13.7

管台



規格	長さ	A	H	C	H
75	160	100	70	100	70
100	200	130	100	130	100
125	250	160	130	160	130
150	300	190	160	190	160

ヤリトリ継手



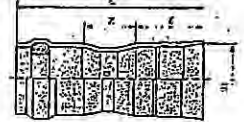
規格	外径	内径	重量	長さ	重量	重量	重量	重量	重量
75	77	60.5	98.0	7.50	1.20	7.00	6.8	7.00	6.8
100	100	71.5	120.0	10.00	1.20	9.20	9.1	9.20	9.1
125	125	94.2	142.0	12.50	1.20	11.30	11.2	11.30	11.2
150	150	117.0	170.0	15.00	1.20	13.80	13.7	13.80	13.7

伸縮吸収継手



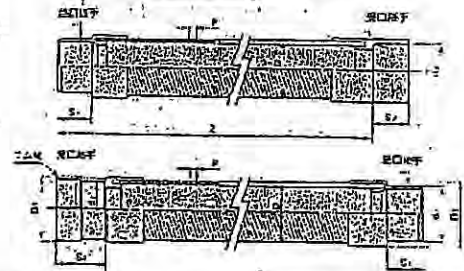
規格	外径	内径	重量	長さ	重量	重量	重量	重量	重量
75	77	60.5	98.0	7.50	1.20	7.00	6.8	7.00	6.8
100	100	71.5	120.0	10.00	1.20	9.20	9.1	9.20	9.1
125	125	94.2	142.0	12.50	1.20	11.30	11.2	11.30	11.2
150	150	117.0	170.0	15.00	1.20	13.80	13.7	13.80	13.7

鋼管用異種継手



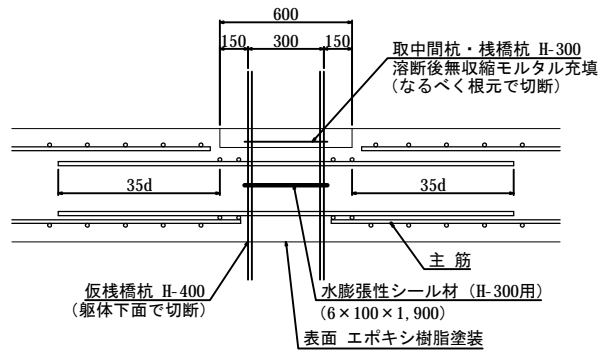
規格	外径	内径	重量	長さ	重量	重量	重量	重量	重量
75	77	60.5	98.0	7.50	1.20	7.00	6.8	7.00	6.8
100	100	71.5	120.0	10.00	1.20	9.20	9.1	9.20	9.1
125	125	94.2	142.0	12.50	1.20	11.30	11.2	11.30	11.2
150	150	117.0	170.0	15.00	1.20	13.80	13.7	13.80	13.7

EFVP

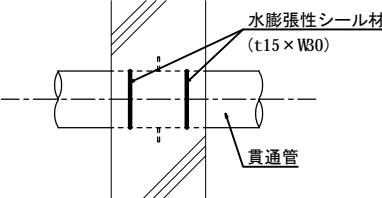


規格	外径	内径	重量	長さ	重量	重量	重量	重量	重量
75	77	60.5	98.0	7.50	1.20	7.00	6.8	7.00	6.8
100	100	71.5	120.0	10.00	1.20	9.20	9.1	9.20	9.1
125	125	94.2	142.0	12.50	1.20	11.30	11.2	11.30	11.2
150	150	117.0	170.0	15.00	1.20	13.80	13.7	13.80	13.7

H鋼躯体貫通部処理



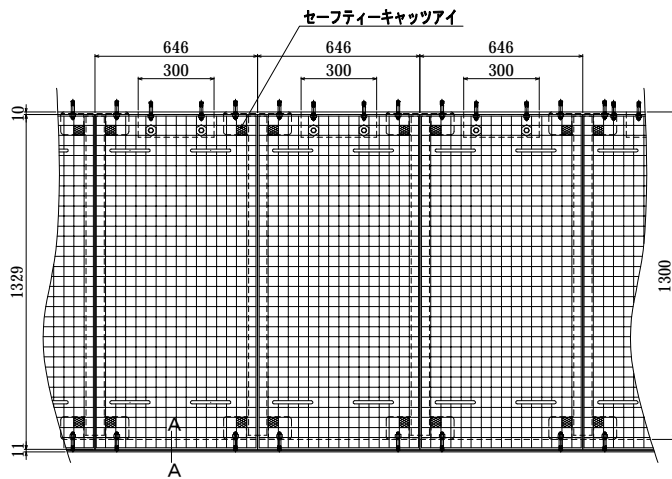
貫通管廻り止水工法



FRP グレーチング

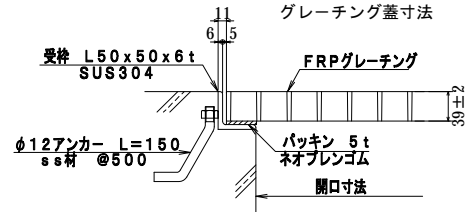
FRP グレーチング詳細図

S=1:15



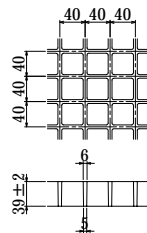
A-A 断面詳細図

S=1:5



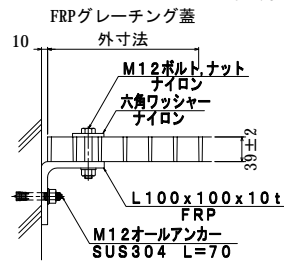
FRP グレーチング詳細図

S=1:6



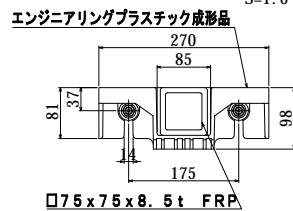
本体固定部断面詳細図

S=1:6



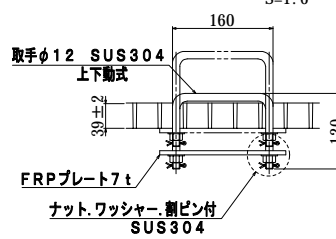
補強材受詳細図

S=1:6



取手詳細図

S=1:6

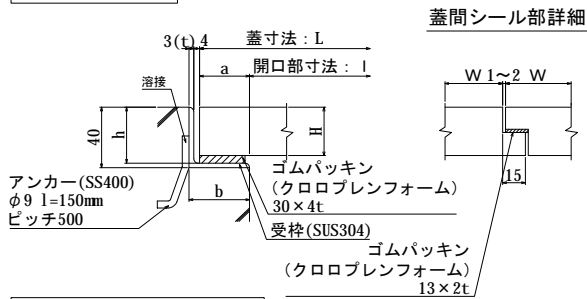


※指示なき公差は以下とする。

0 ~ 50	±1
51 ~ 100	±2
101 ~	±3

合成木材蓋：単板蓋タイプ

蓋型式：タイプI

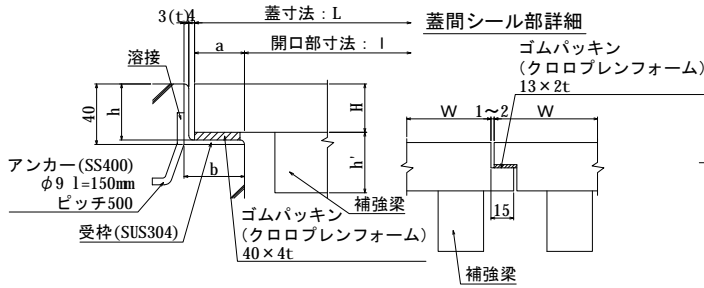


合成木製蓋（単板蓋タイプ）形式選定表

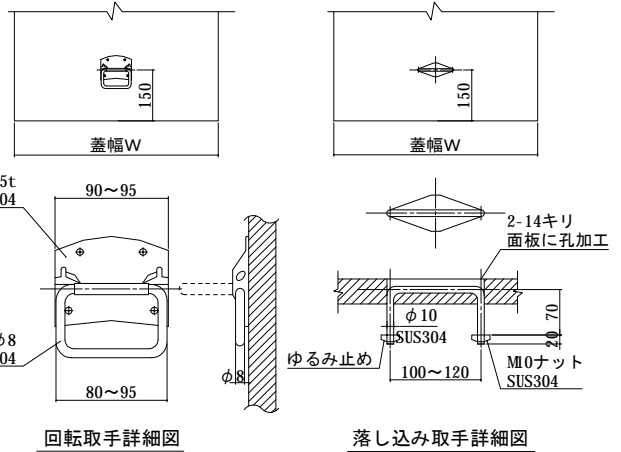
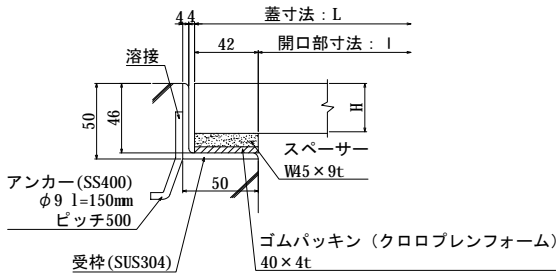
タイプ区分	蓋形式 (L×W×H)	開口部寸法 l (mm)	受枠寸法					参考蓋重量 (kg/m ²)	
			a	h	h'	b	t		
I	①	(~1066) × 600 × 33.5	~1000	33	37	-	40	3	20
	②	(1067~1266) × 600 × 33.5	1001~1200	33	37	-	40	3	22
II 補強梁付	③	(1267~1666) × 600 × 33.5	1201~1600	33	37	40	40	3	23
	④	(1667~2066) × 600 × 33.5	1601~2000	33	37	60	40	3	24

- 注 1) 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。
 2) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300~600mmとする。
 3) 受枠がφ150×50×4tの場合、蓋表面にスペーサー(W45×9t)を接着して対応する。(参考図-1参照)
 4) タイプ②については、補強梁付きも可能とする。(タイプII参照)

蓋型式：タイプII
単板蓋（補強梁付きの場合）



参考図-1
単板蓋（受枠50mmの場合）

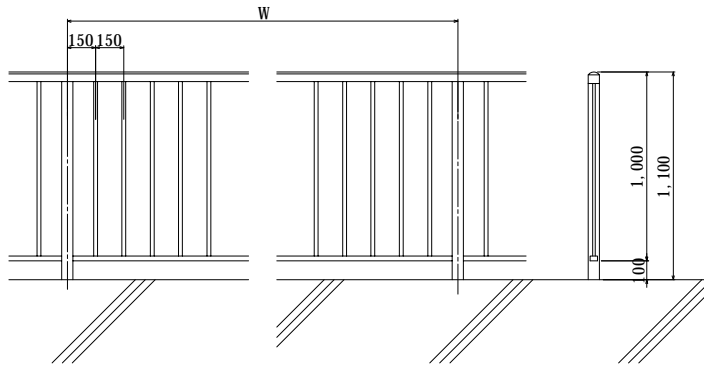


合成木材蓋 リスト

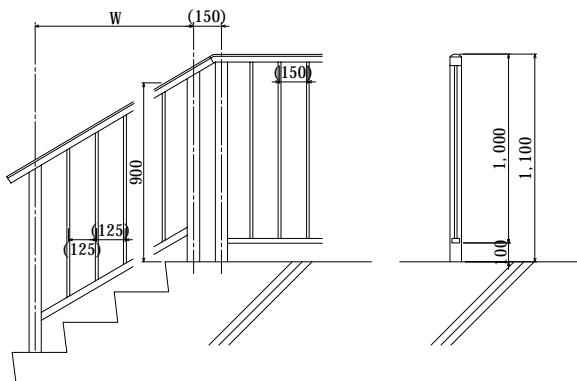
	F-1 , F-3	F-2	F-4
開口寸法	1500 × 1500	2000 × 2500	1450 × 2550
蓋割付			

手すり：アルミニウム製（取合い）

アルミニウム製手摺り（一般部）

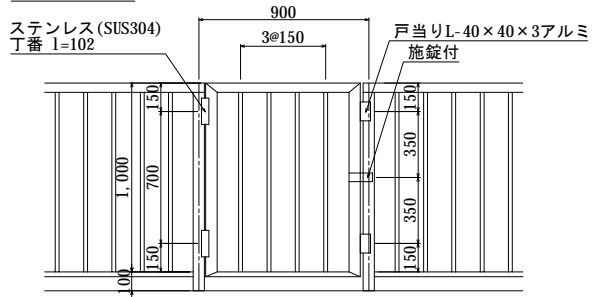


アルミニウム製手摺り（階段部）



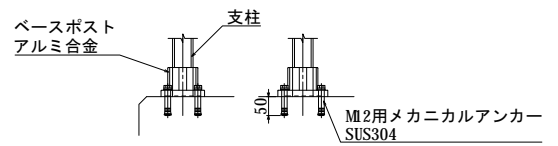
傾斜部と水平取合いは参考とする。

手摺り用扉



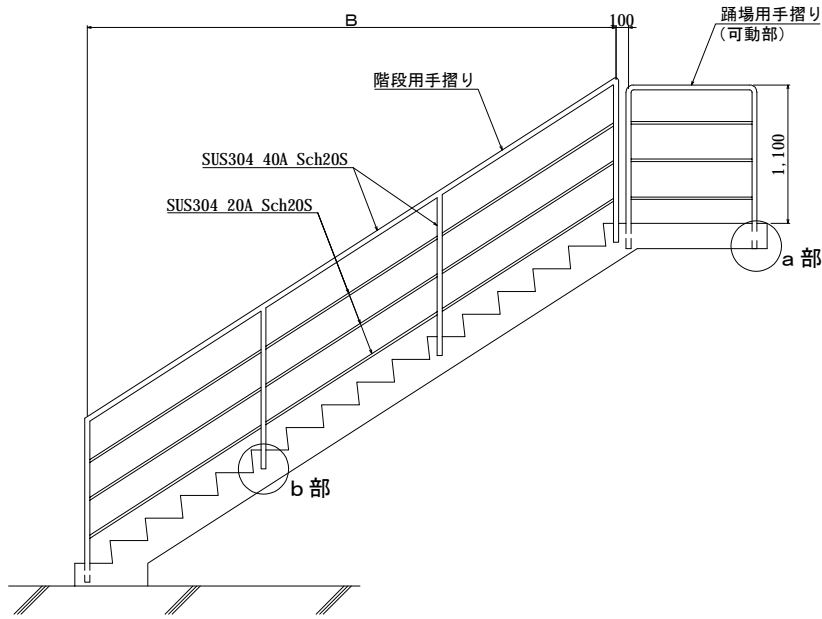
柱脚の定着方法

ベースポストタイプ

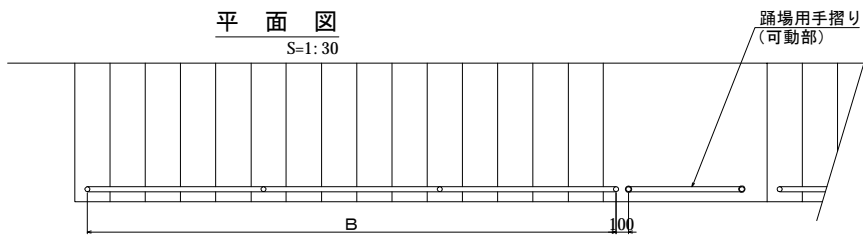


池内階段手摺り (SUS304)

断面図
S=1:30

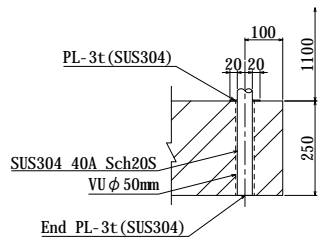


平面図
S=1:30



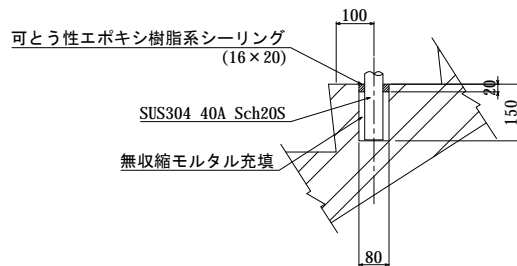
a 部詳細図 (可動部)

S=1:10



b 部詳細図 (固定部)

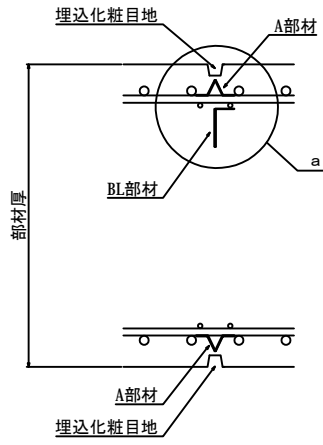
S=1:10



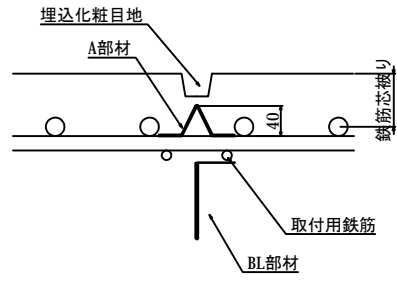
- ・手摺りのスパンは2m未満とする。
- ・手摺りの支柱は $B < 4$ mのとき1本, $B \geq 4$ mのときは2本とし、支柱間隔は均等割とする。

誘発目地

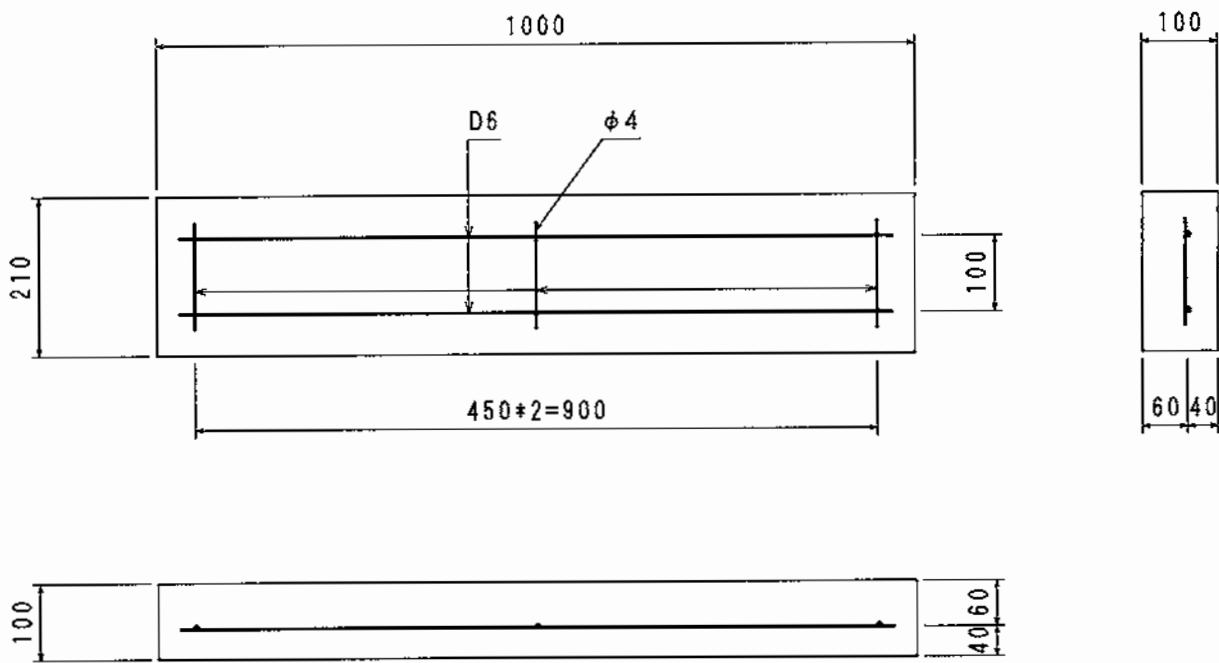
壁部断面図



a部詳細図



基礎ブロック 210*1000*100

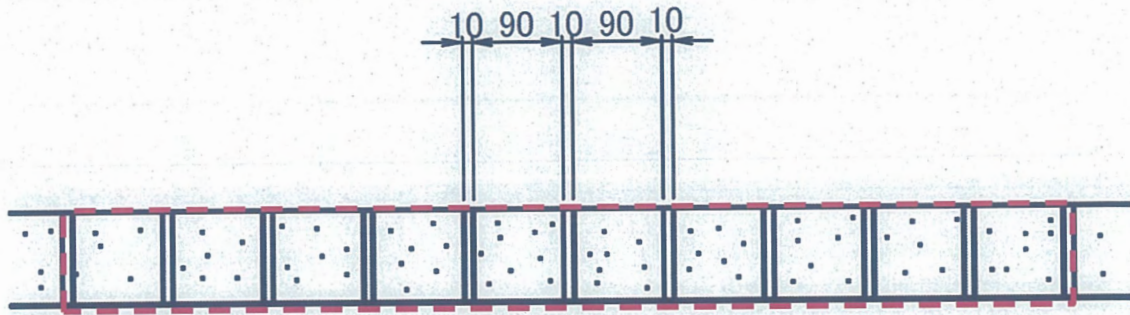


参考重量	51	kg
------	----	----

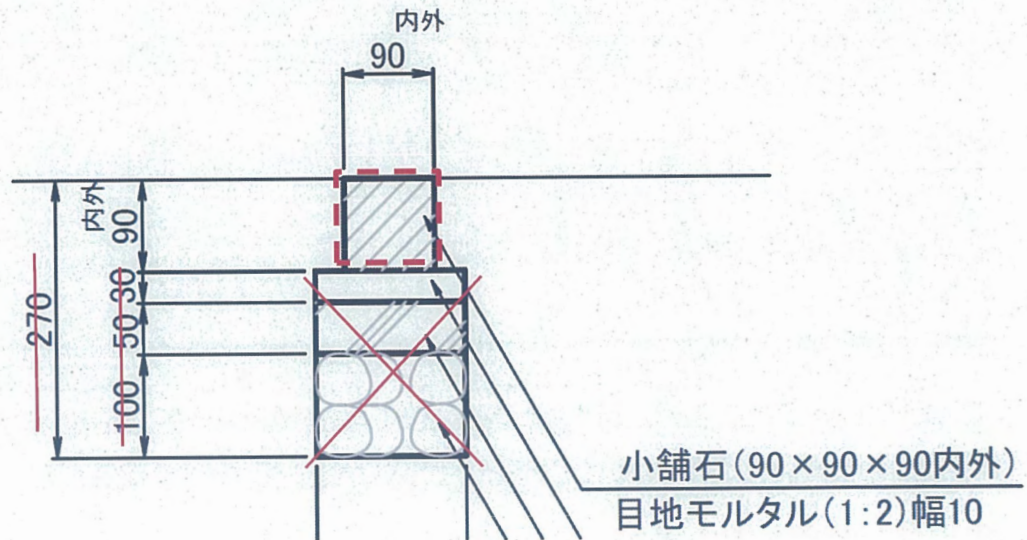
縮尺	S=1/10
----	--------

名称	基礎ブロック 210*1000*100
----	---------------------

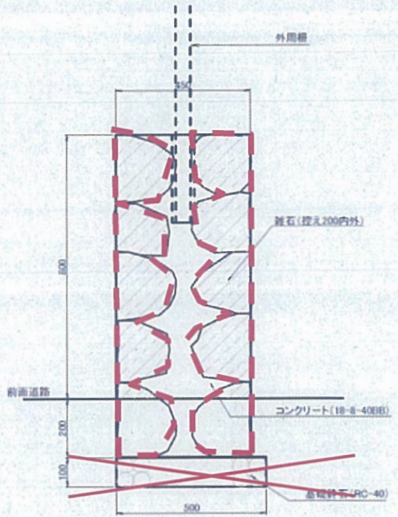
小舗石



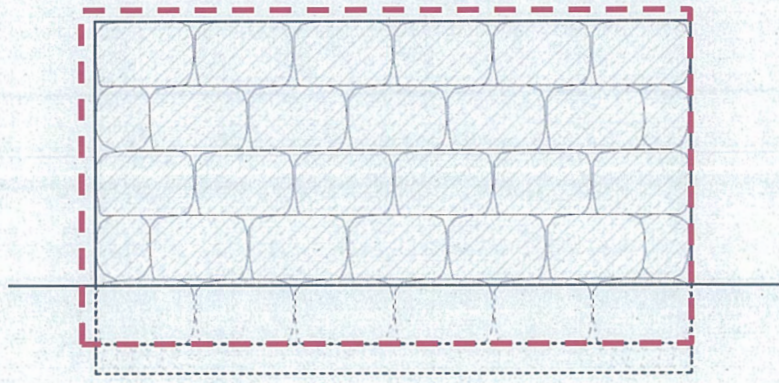
平面図 1:10



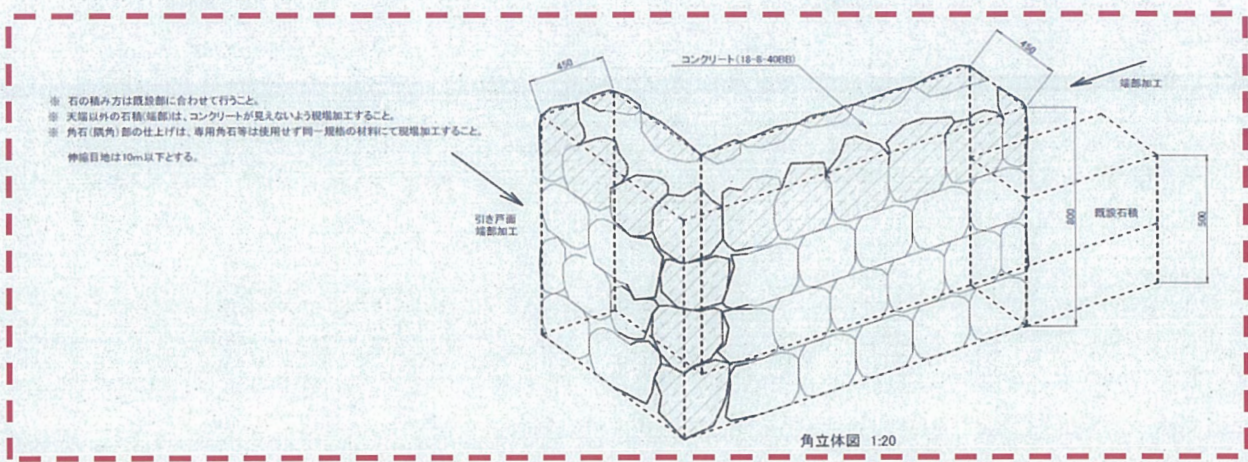
雑石



断面図 1:10



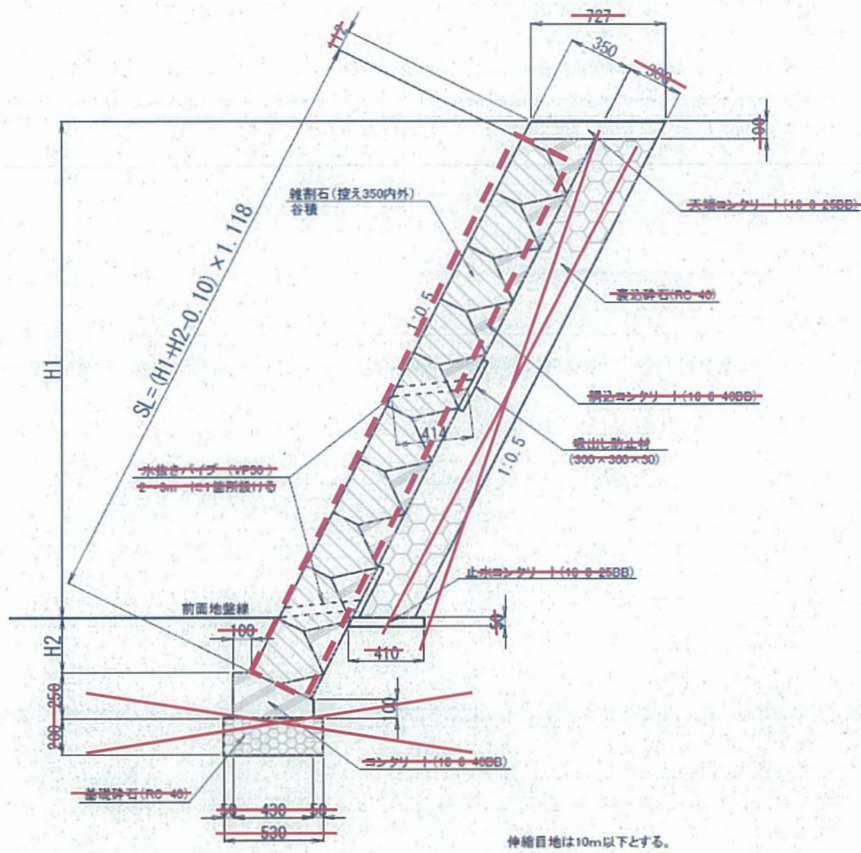
正面図 1:10



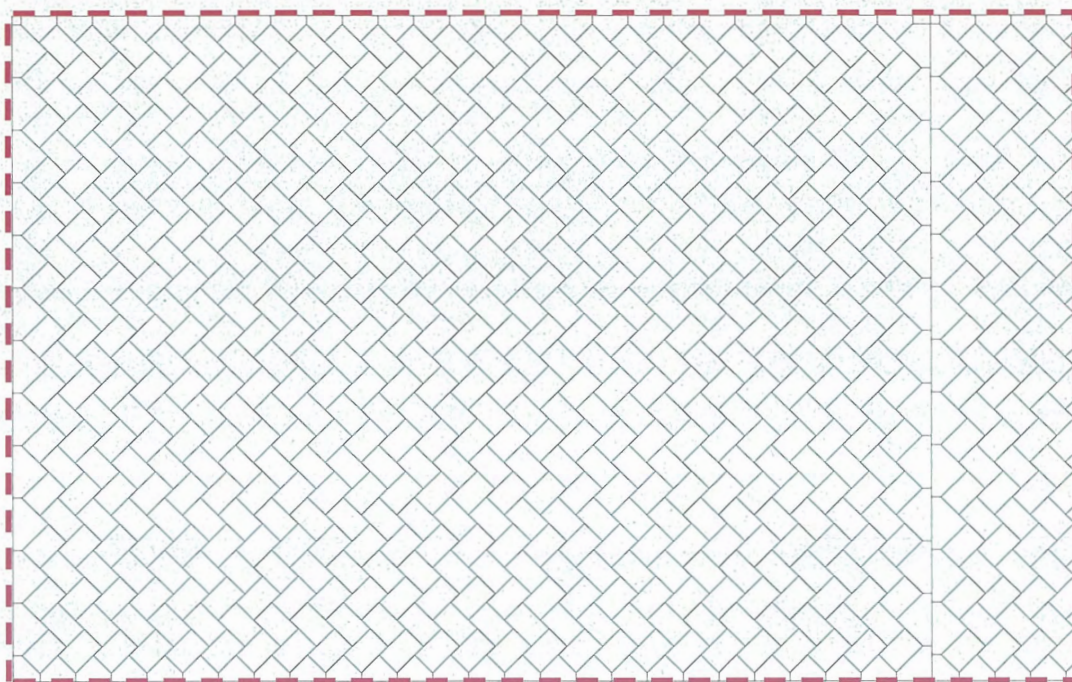
角立体図 1:20

- ※ 石の積み方は既設部に合わせて行うこと。
- ※ 天端以外の石積(延部)は、コンクリートが見えないよう雑部加工すること。
- ※ 角石(鉄角)部の仕上げは、専用角石等は使用せず同一規格の材料にて雑部加工すること。
- 伸縮目地は10m以下とする。

雑割石

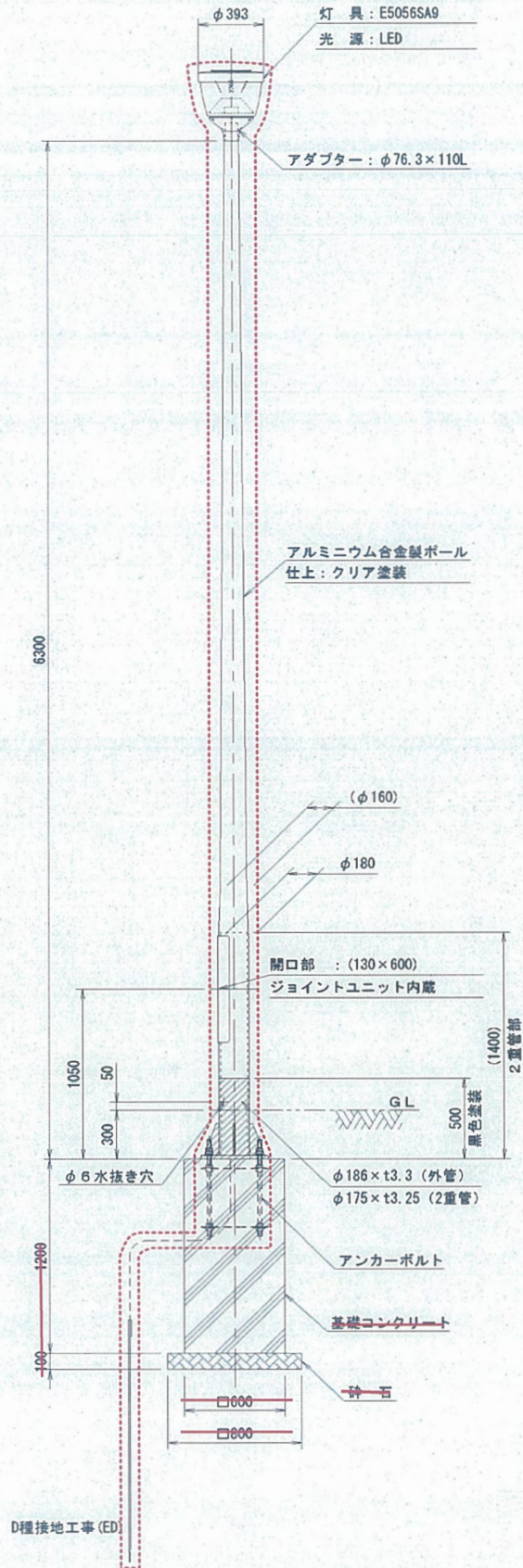


標準断面



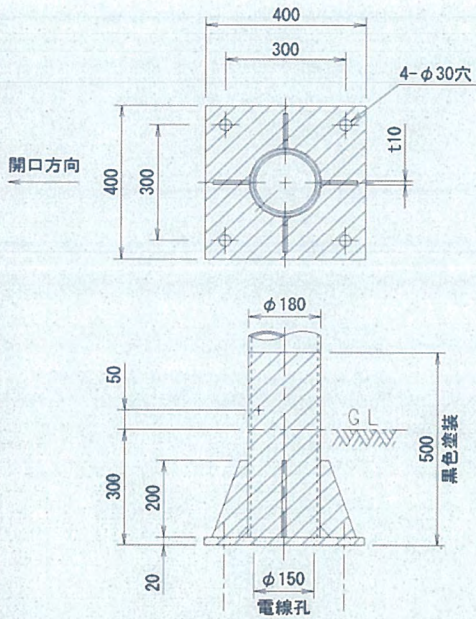
割付けイメージ

照明灯

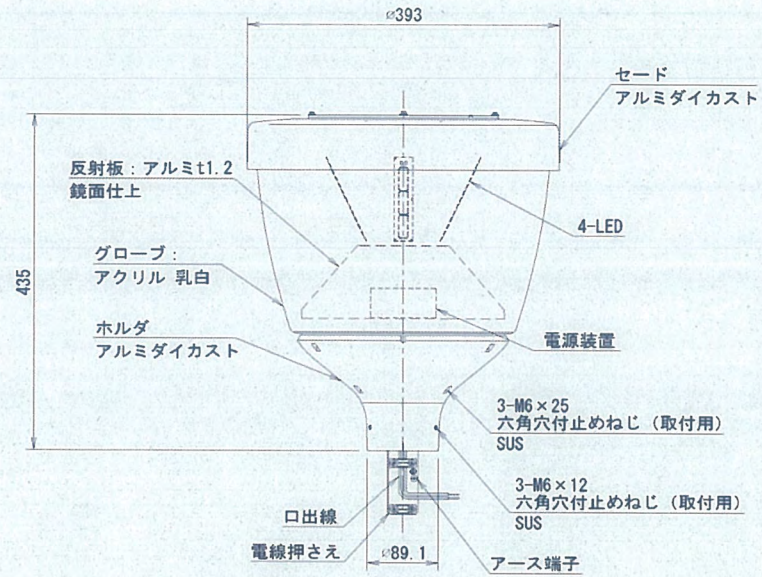


照明灯

ベースプレート詳細図



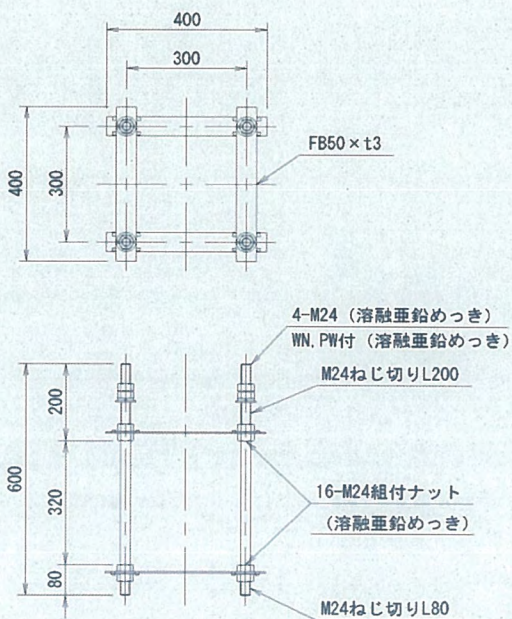
照明器具詳細図 (E5056SA9)



仕様

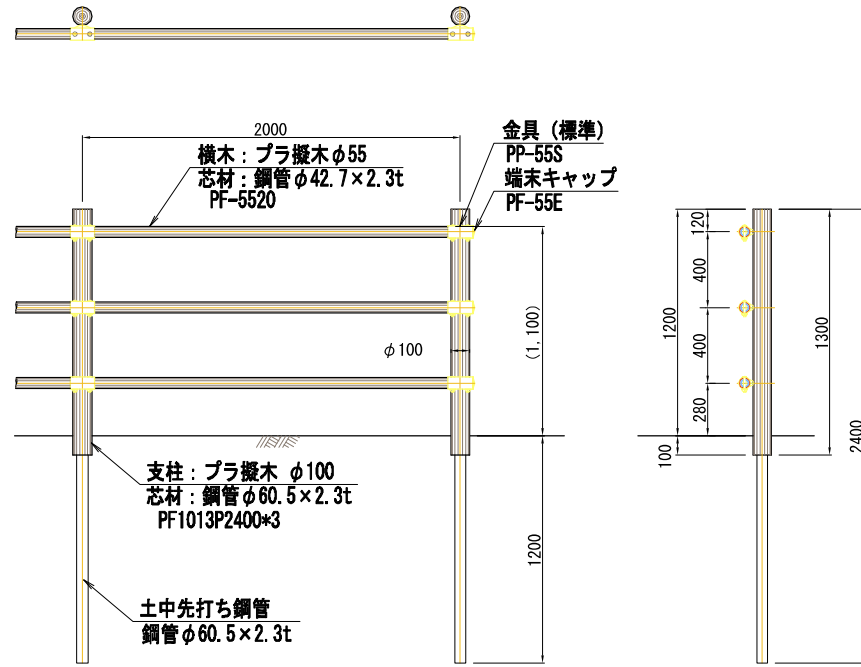
1. 防水性: 防沫形
2. 仕上 色: メタリックシルバー
3. 適合アダプタ: φ76.3×L110

電気特性	入力電圧 (V)	100	200	242
	入力電力 (W)	116	115	115
入力電流 (A)	1.17	0.59	0.50	
入力容量 (VA)	117	117	121	
周波数 (Hz)		50/60		



取付里道 構造図

転落防止柵 S=1:20

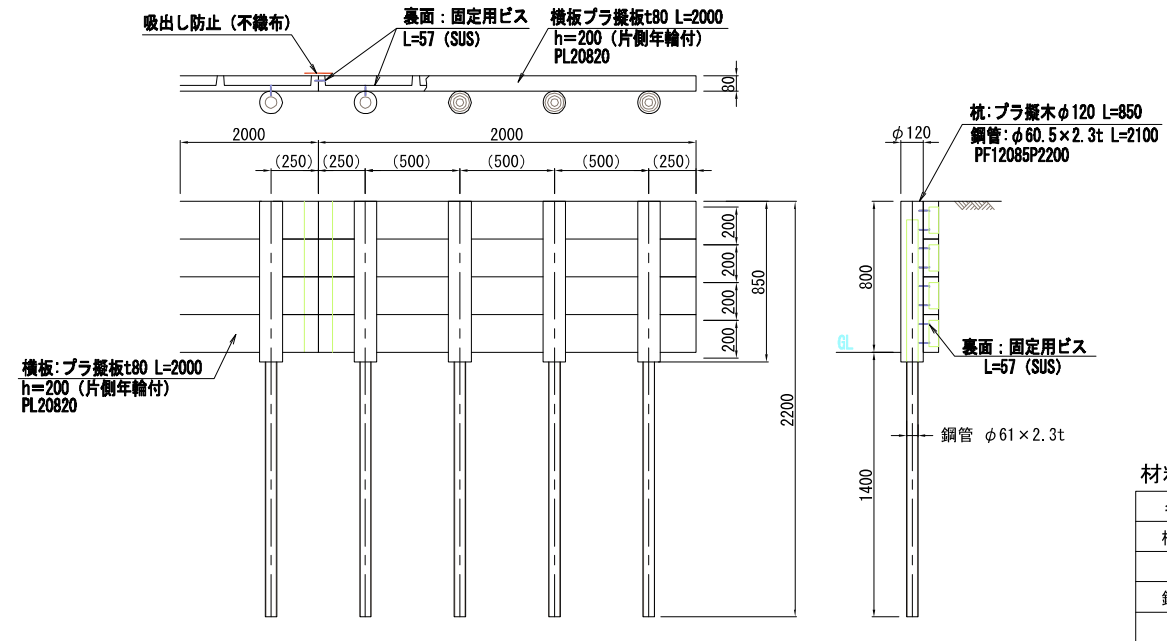


材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵	ブラ製 H=1200	m	10.00	土中用

土留め工 S=1:20

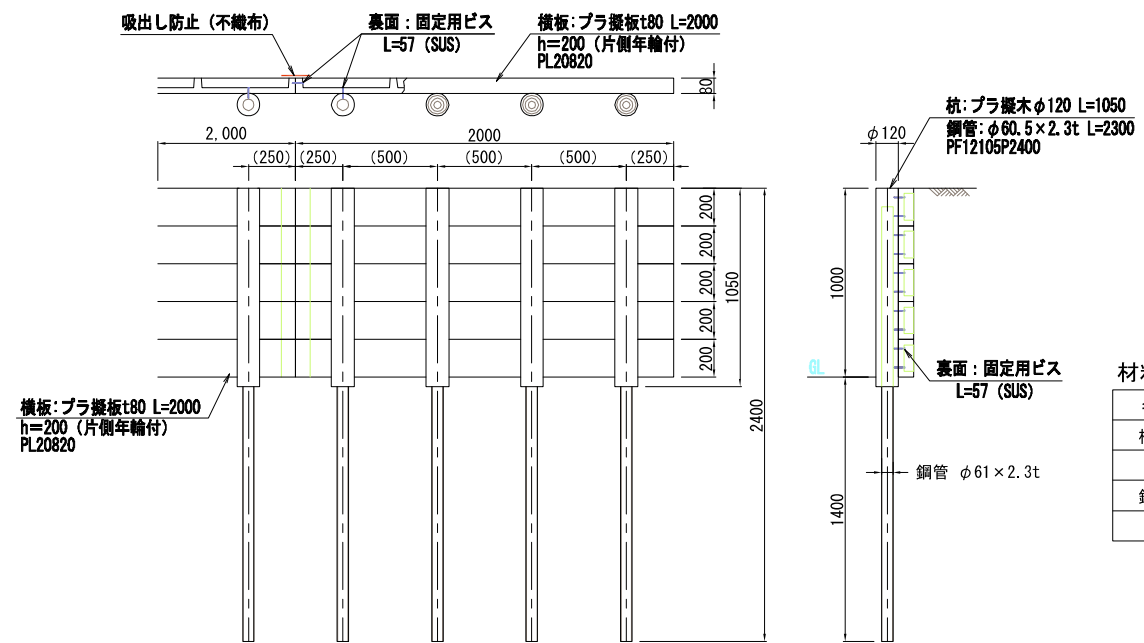
土留め工(A)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	ブラ製 t80 L=2000	枚	20.00	
杭	ブラ製 φ120 L=850	本	20.00	
鋼管	φ60.5 x 2.3t L=2100	本	20.00	

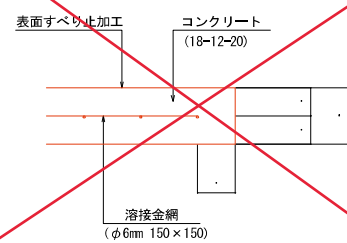
土留め工(B)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	ブラ製 t80 L=2000	枚	25.00	
杭	ブラ製 φ120 L=1050	本	20.00	
鋼管	φ60.5 x 2.3t L=2300	本	20.00	

コンクリート舗装構成図 S=1:10



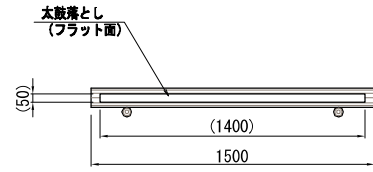
階段工構造図(6)

階段工(R)

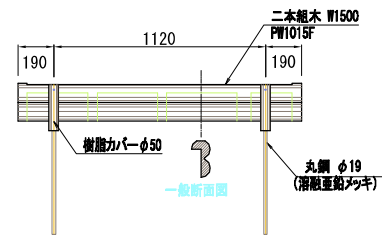
S=1:20

標準図

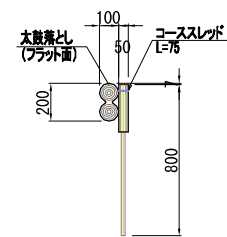
平面図



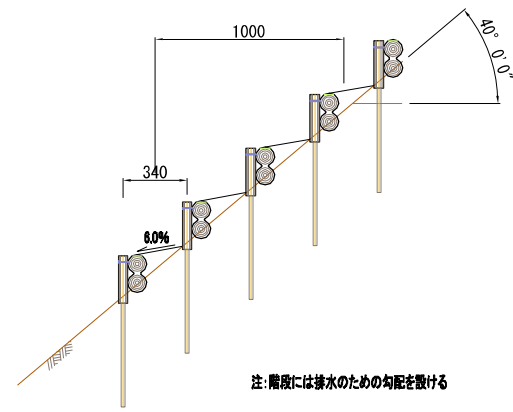
正面図



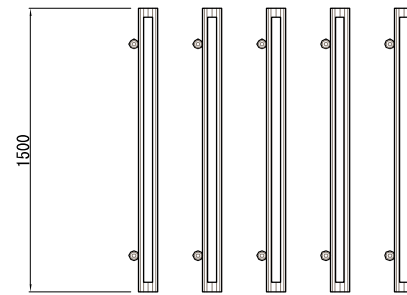
断面図



側面図



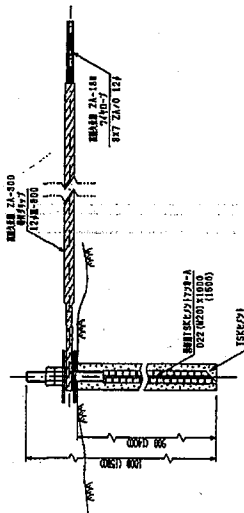
平面図



ロープ伏工構造図

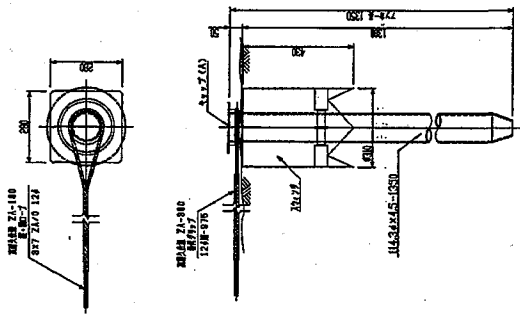
岩部用 TSK セメントアソカー A

S=1/5 (A縮)



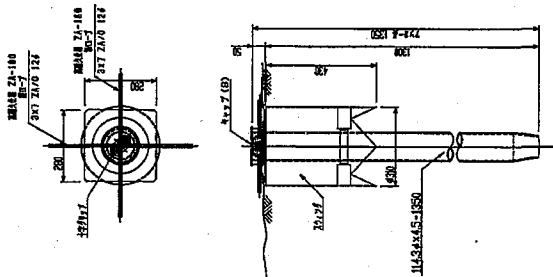
土砂部用
スウィングアソカー-25A

S=1/10 (B縮)



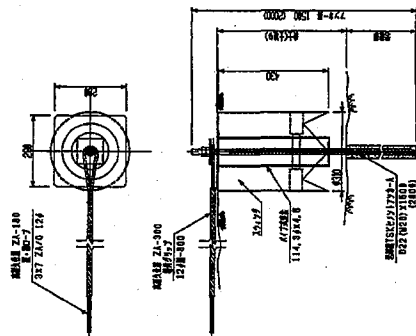
土砂部用
スウィングアソカー-25B

S=1/10 (E縮)



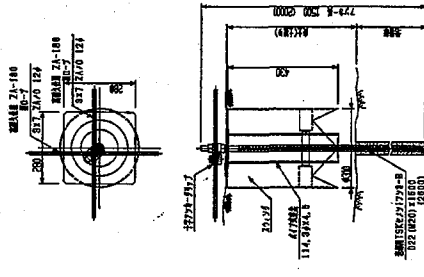
土盛り部用
TSK セメントアソカー A

S=1/10 (I縮)



土盛り部用
TSK セメントアソカー B

S=1/10 (J縮)



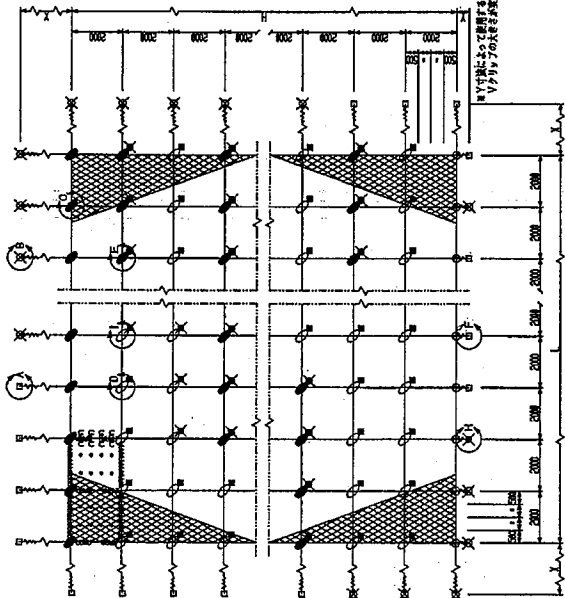
* 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

高耐久仕様「亜鉛-10%アルミ合金めっき(ジノカーメッキ)」
ロープ、帯付クリップは、高耐久仕様として、亜鉛-10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アソカー、クリップ類(めっき付重量55.0g/m²)は、高耐久めっきしていません。

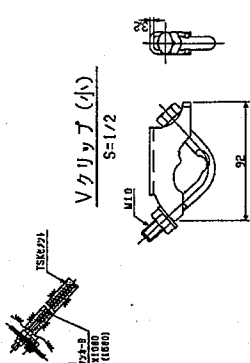
年度	21	発表名	
図名			
工事名			
図面名			ロープ伏工構造図(B)
縮尺			図示
作成月日		平成	年 月 日
			16 / 23

ロープ伏工構造図

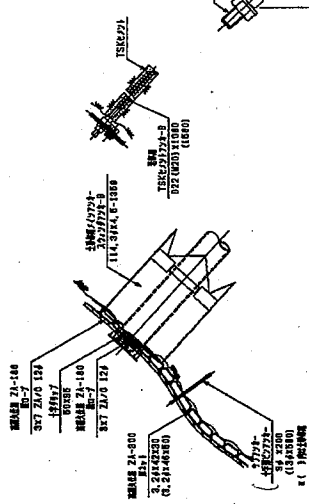
標準構造展開図
S=1/100



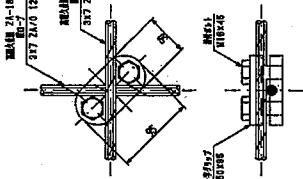
D部詳細図
S=1/10



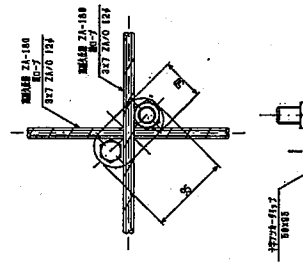
E部詳細図
S=1/10



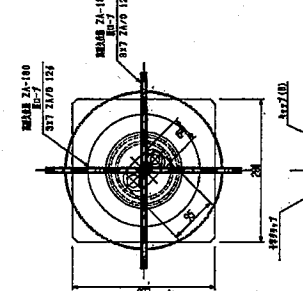
十字グリッ
S=1/3 (0倍)



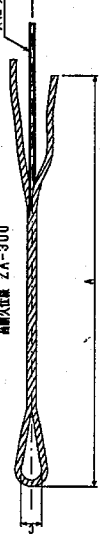
十字アンカーグリッ
S=1/3 (0倍)



スウィングアンカー詳細図
S=1/5 (2倍)



巻付グリッ
S=1/5



寸法表

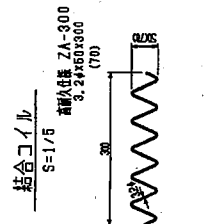
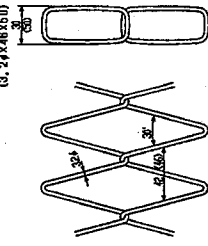
区画	巻付	巻付長さ	A	0
巻付1077 (E型)	(TSKセリソリソリ)	124根	(24根-100)	800 40
巻付1077 (E型)	(TSKセリソリソリ)	124根	(24根-100)	800 40
巻付1077 (E型)	(TSKセリソリソリ)	124根	(24根-100)	800 40

高耐久仕様 (高耐久合金めっき (ソリソリめっき))
ロープ、巻付グリッは、高耐久仕様として、巻付-1077のみを合金めっきとしております。
ただし、アンカー、グリッ7層 (めっき仕様350μm) は、高耐久仕様としております。

年度	21	事業名	
階層名			
工事名			
図面名		ロープ伏工構造図	
階尺		図示	
作成月日	平成	年	月
番号			18

部品明細表

品名	仕様	数量	単位
主鋼索	3.24x42x30 (ZA-300)	200	m
主鋼索	3.24x46x50 (ZA-300)	200	m
主鋼索	3x7 ZA/0 12# (ZA-180)	1	個
鋼索	D22 (U20) x1000		個
鋼索	D22 (U20) x1500		個
鋼索	D22 (U20) x1000		個
鋼索	D22 (U20) x1500		個
鋼索	114.8x44.6-1300		個
鋼索	110.8x40.0		個
鋼索	111.8x44.6-1350		個
鋼索	310.4x43.0		個
鋼索	310.4x43.0		個
鋼索	124根-800 (ZA-300)		個
鋼索	124根-875 (ZA-300)		個
鋼索	84x200		個
鋼索	134x300		個
鋼索	134x500		個
鋼索	61x18x500		個
鋼索	4.0x109		個
鋼索	3.24x50x300 (ZA-300)		個
鋼索	3.24x70x300 (ZA-300)		個
鋼索	124根 50x95		個
鋼索	124根 50x95		個
鋼索	D22 (M20) x1500		個
鋼索	310.4x43.0		個
鋼索	D22 (M20) x2000		個
鋼索	310.4x43.0		個
鋼索	D22 (M20) x1500		個
鋼索	310.4x43.0		個
鋼索	D22 (M20) x2000		個
鋼索	310.4x43.0		個



結合コイル
S=1/5

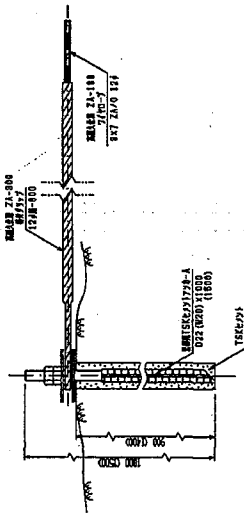
鋼索	高耐久仕様 ZA-300	3.24x46x50 (70)
鋼索	高耐久仕様 ZA-300	3.24x46x50 (70)
鋼索	高耐久仕様 ZA-300	3.24x46x50 (70)

* 表記なき部材は全て高耐久仕様とする。

ロープ伏工構造図

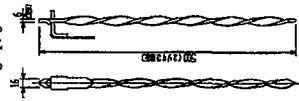
岩盤用TSKセメントアンカー-A

S=1/5 (A部)



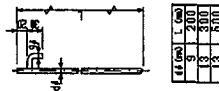
サブアンカー
TSKネジアンカー

S=1/5



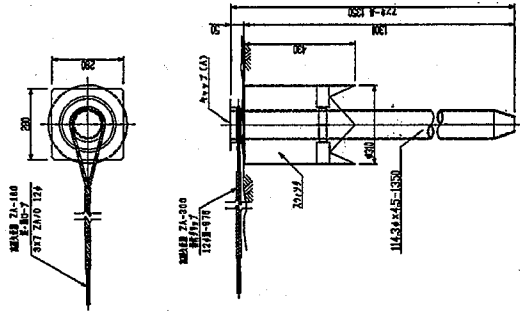
サブアンカー
十字形ピンアンカー

S=1/5



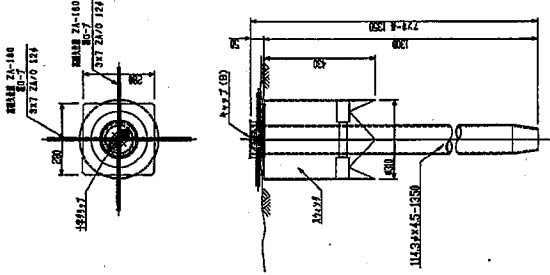
土砂部用
スライダアンカー-25A

S=1/10 (B部)



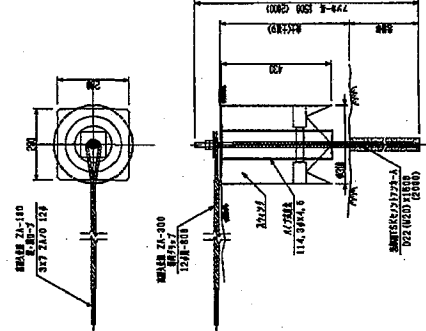
土砂部用
スライダアンカー-25B

S=1/10 (E部)



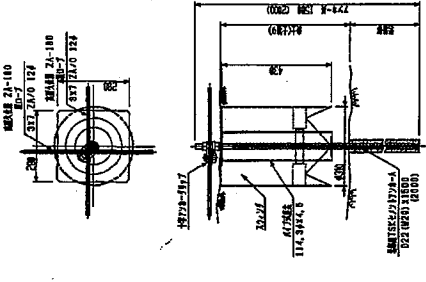
土締め部用
TSKセメントアンカー-A

S=1/10 (H部)



土締め部用
TSKセメントアンカー-B

S=1/10 (I部)



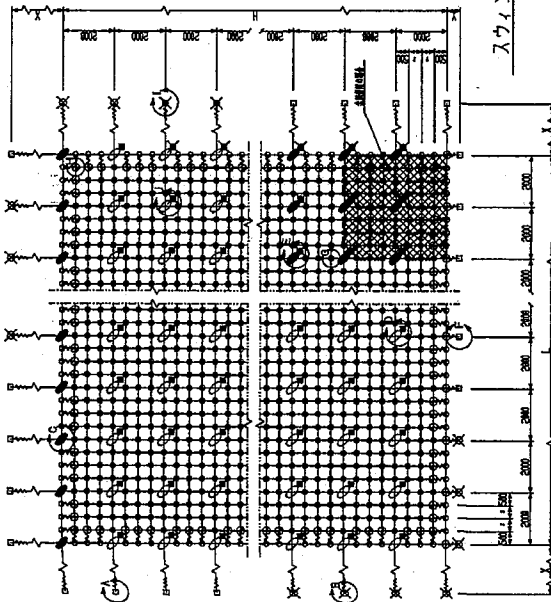
※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

高耐久仕様「亜鉛-10%アルミ合金めっき（ジノカーめっき）」
 ロープ、鋼ワイヤロープは、亜鉛めっき仕様として、亜鉛-10%アルミ合金めっきとしております。
 なお、アンカー、クリップ類（ゆるみ調整装置35.0mmφ）は、亜鉛めっきとしております。

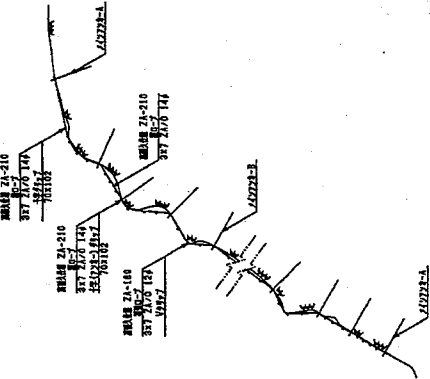
年度	21	事業名	
西暦名		工事名	
図面名		ロープ伏工構造図	
縮尺		図示	番号
作成日	平成	年	月
			19
			23

ロープ伏工構造図

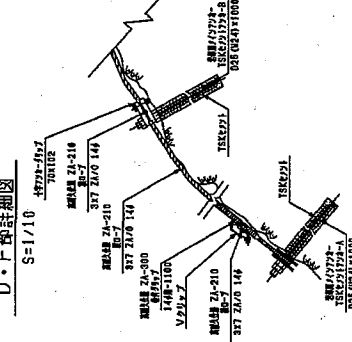
標準構造展開図 S=1/100



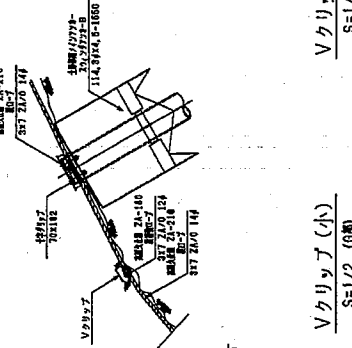
横断面 S=1/100



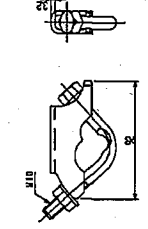
D・F橋詳細図 S=1/10



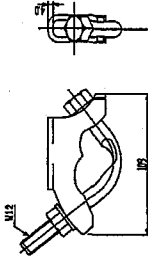
E・G橋詳細図 S=1/10



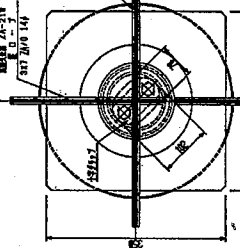
Vクリップ(小) S=1/2 (H橋)



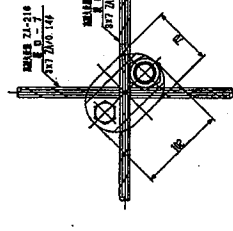
Vクリップ(大) S=1/2 (H橋)



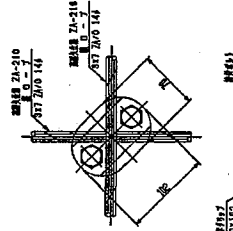
スワンアンカー詳細図 S=1/5 (E橋)



十字アンカーグリッ S=1/3 (O橋)



十字グリッ S=1/3 (O橋)



部品明細表

品名	数量	単位	寸法	規格
スワンアンカー	144	個	φ100	TSK
十字アンカーグリッ	144	個	φ100	TSK
十字グリッ	144	個	φ100	TSK
Vクリップ(小)	144	個	φ100	TSK
Vクリップ(大)	144	個	φ100	TSK
標準構造展開図	1	枚		

※ 表記なき部分は全て図紙の仕様とする。

結合コイル 3.2φ

高耐久仕様 ZA-300



寸法表

項目	寸法	単位
全長	144	m
幅	100	m
厚さ	10	mm
重量	14.4	t

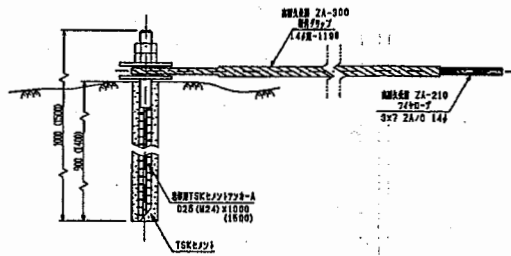
高耐久仕様「亜鉛-10%アルミニウム合金めっき(シンカーめっき)」
ロープ、巻付グリッは、高耐久仕様として、亜鉛-10%アルミニウム合金めっき(約50μm)は、図紙に示されています。
ただし、スワン、クリップ類(めっき仕様品)は、図紙に示されています。

年度	21	課名	
図名	ロープ伏工構造図		
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示	年月	21
作成日	平成	年	月
番号	23		

ロープ伏工構造図

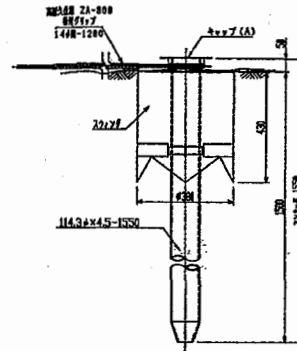
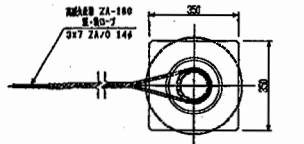
岩部用TSKセメントアンカー-A

S=1/5 (A部)



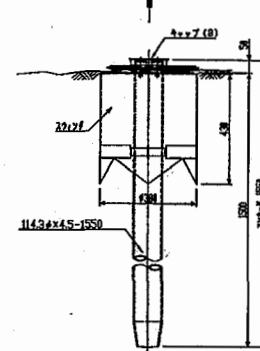
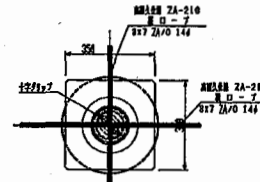
土砂部用
スウィングアンカー-35A

S=1/10 (B部)



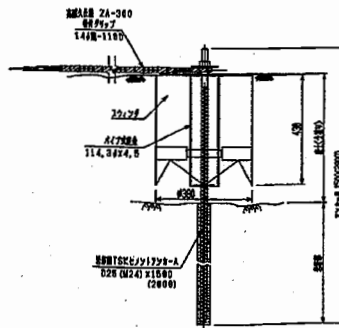
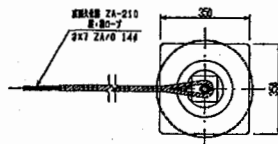
土砂部用
スウィングアンカー-35B

S=1/10 (E部)



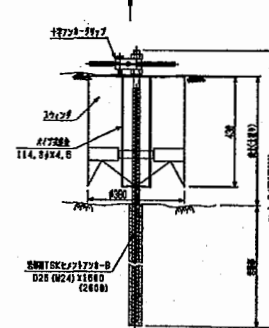
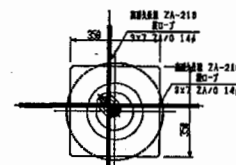
土被り部用
TSKセメントアンカー-A

S=1/10 (I部)



土被り部用
TSKセメントアンカー-B

S=1/10 (J部)



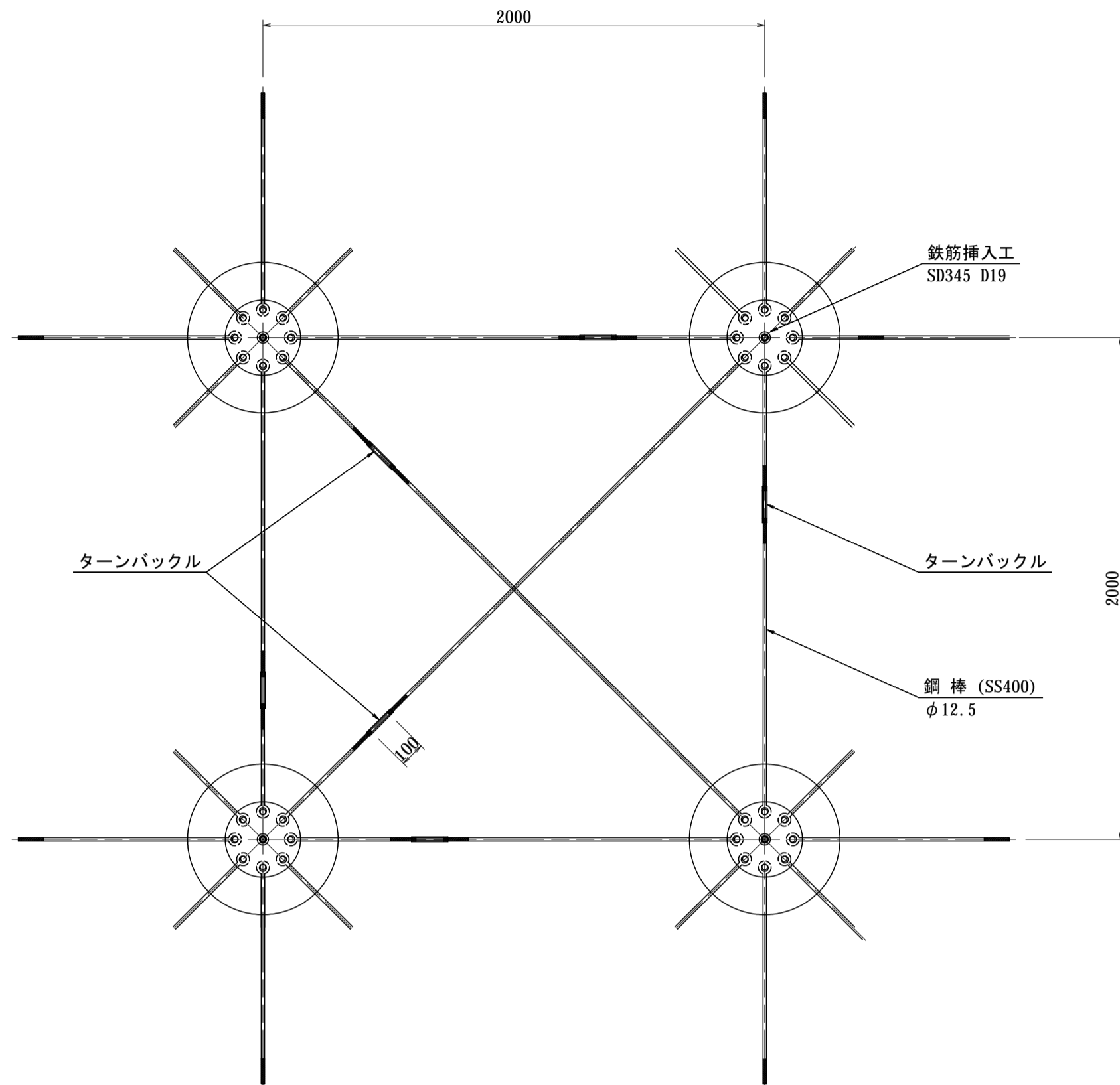
* 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

高耐久仕様「亜鉛-10%アルミ合金めっき(ジンカルめっき)」
ロープ、巻付クリップは、高耐久仕様として、亜鉛-10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類(めっき付重量360g/m²)は、亜鉛亜鉛めっきとしています。

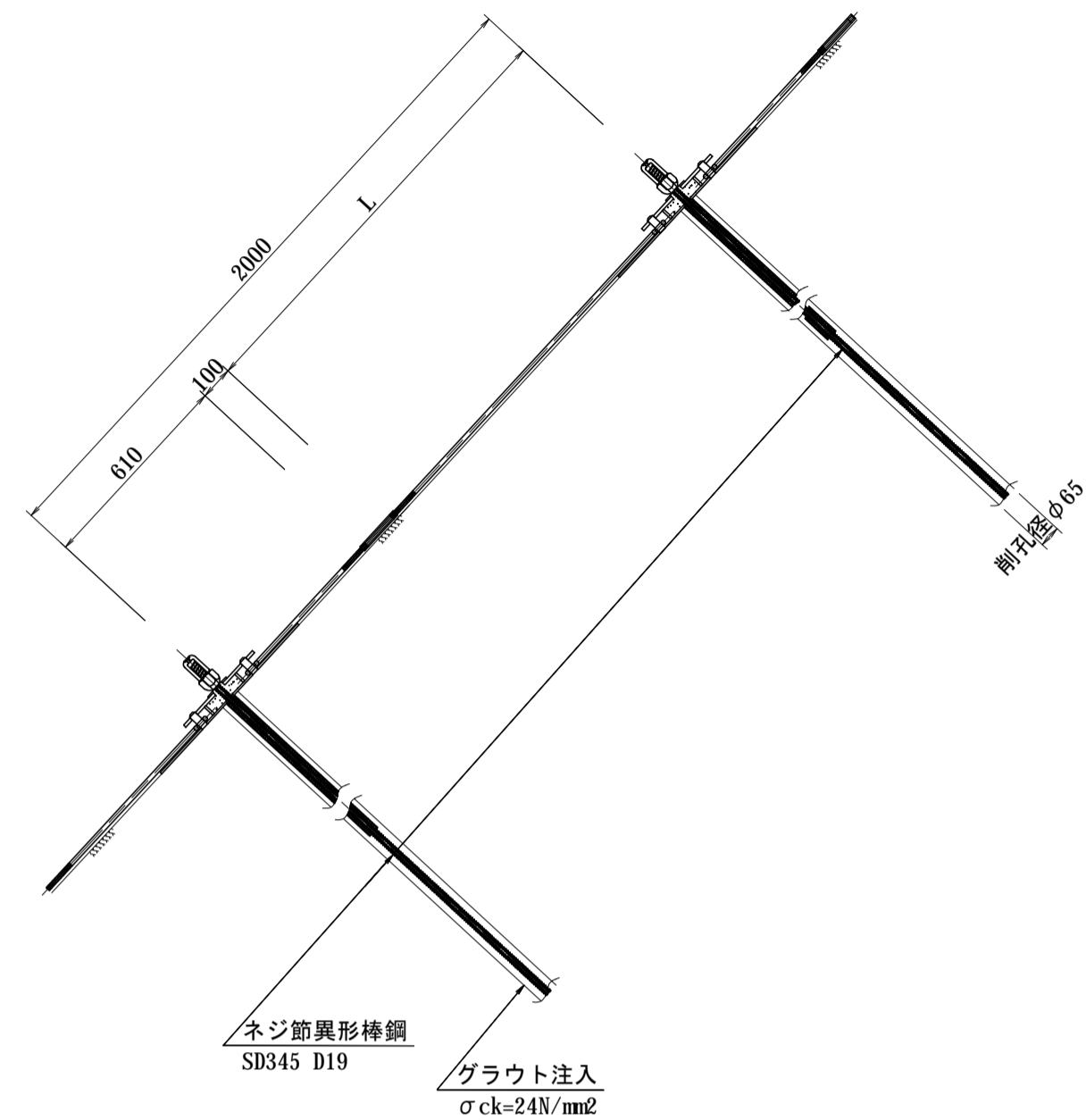
年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示	番号	
作成月日	平成 年 月	22	23

地山補強土工詳細図(その3)
(RB-D19タイプ) PN-φ600-φ12.5 SS400

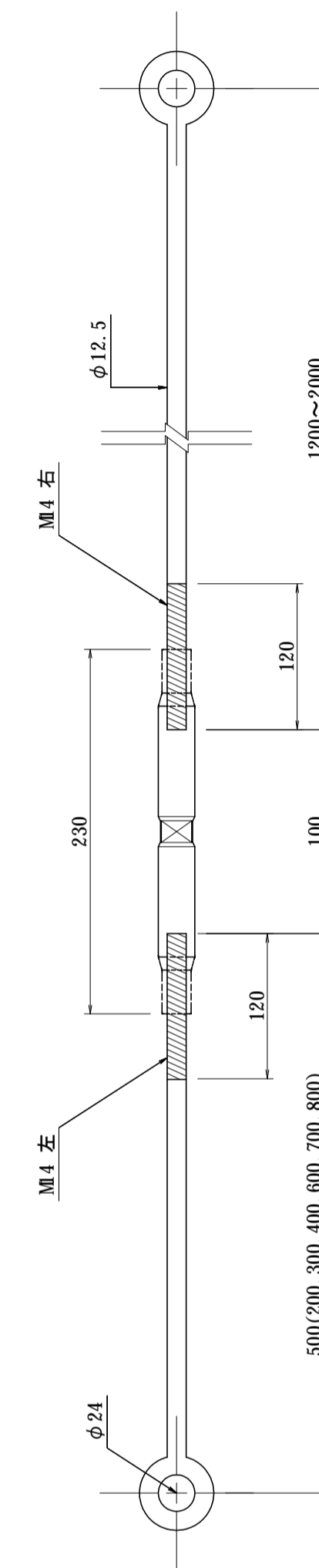
正面図 S=1:20



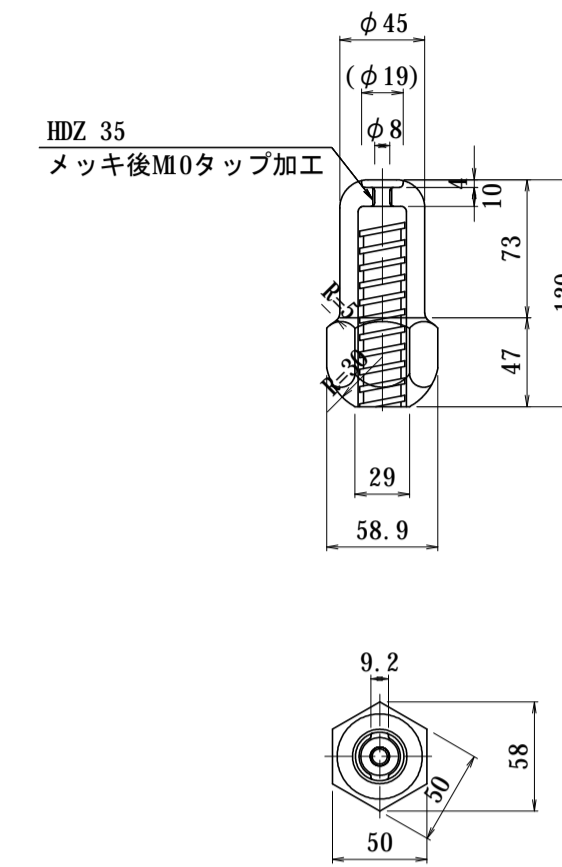
横断面図 S=1:20



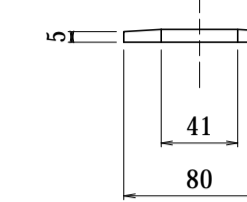
鋼棒 (SS400) S=1:4
垂鉛メッキ HDZ 55



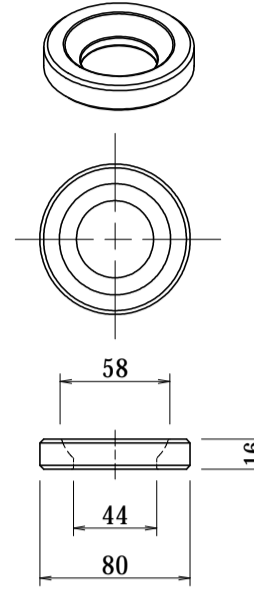
キャップナット (D19用) S=1:4



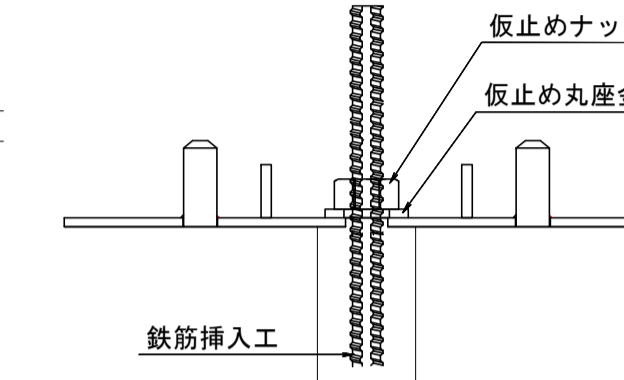
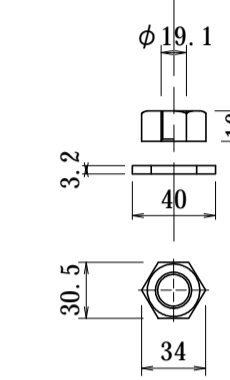
皿パネ 1枚使用 (30kN対応) S=1:4
(80*41*5.0)



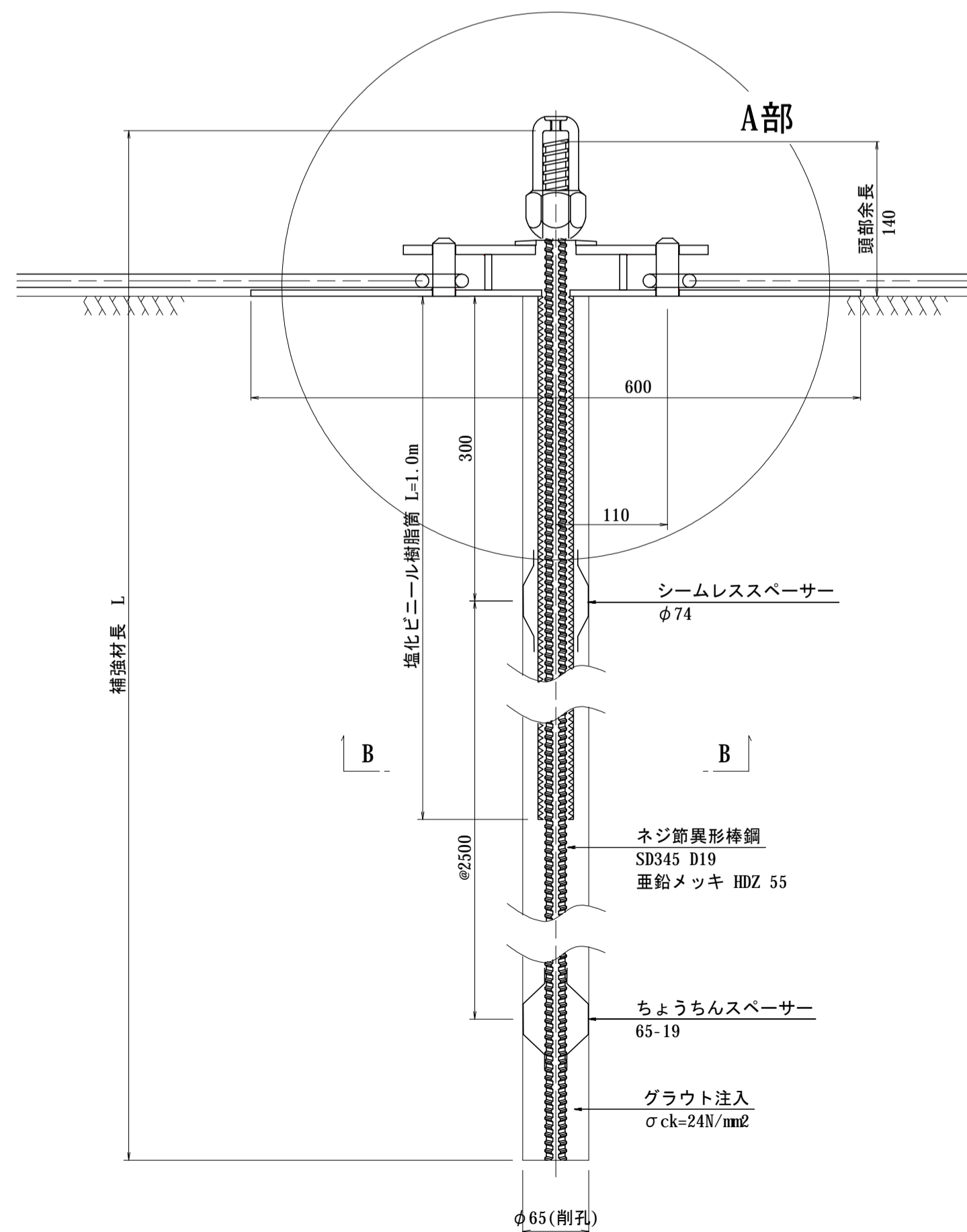
球面リング S=1:4
80×58×16
垂鉛メッキ HDZ55



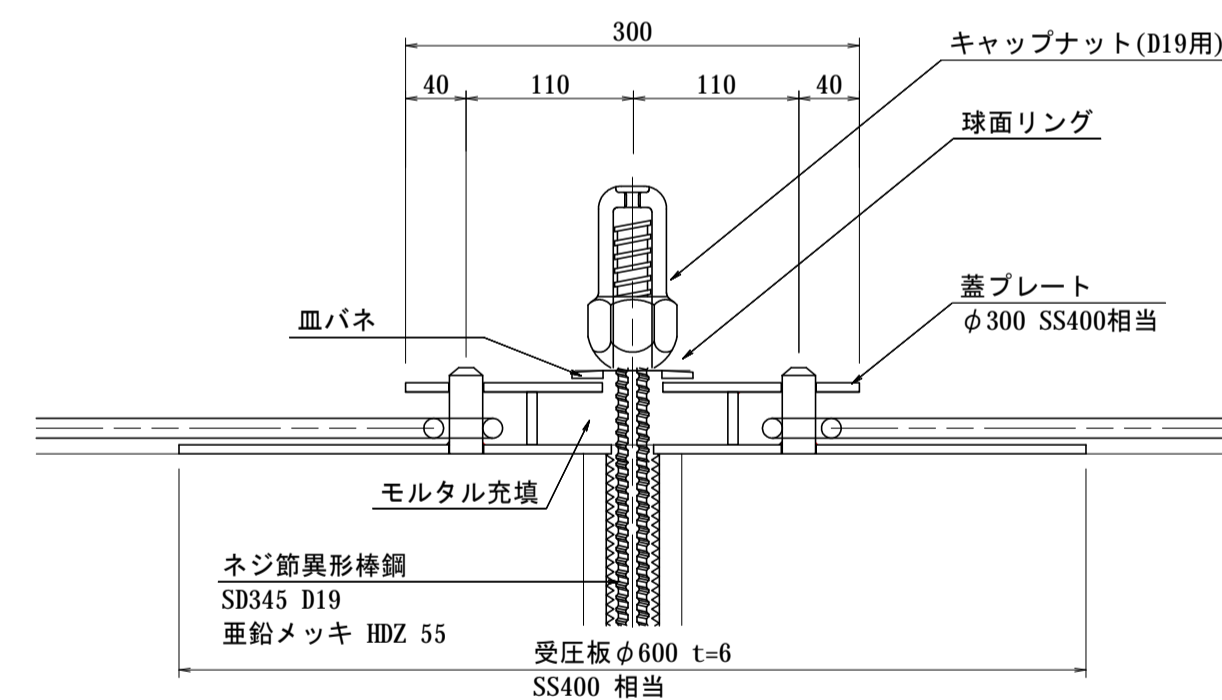
仮止めナット (D19用) S=1:4
(仮止めナット、仮止め丸座金)



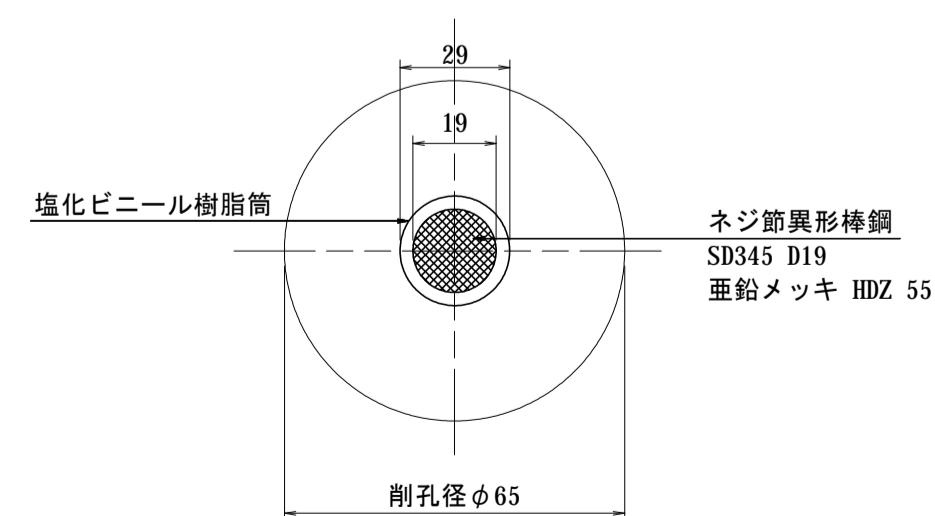
断面図 S=1:5



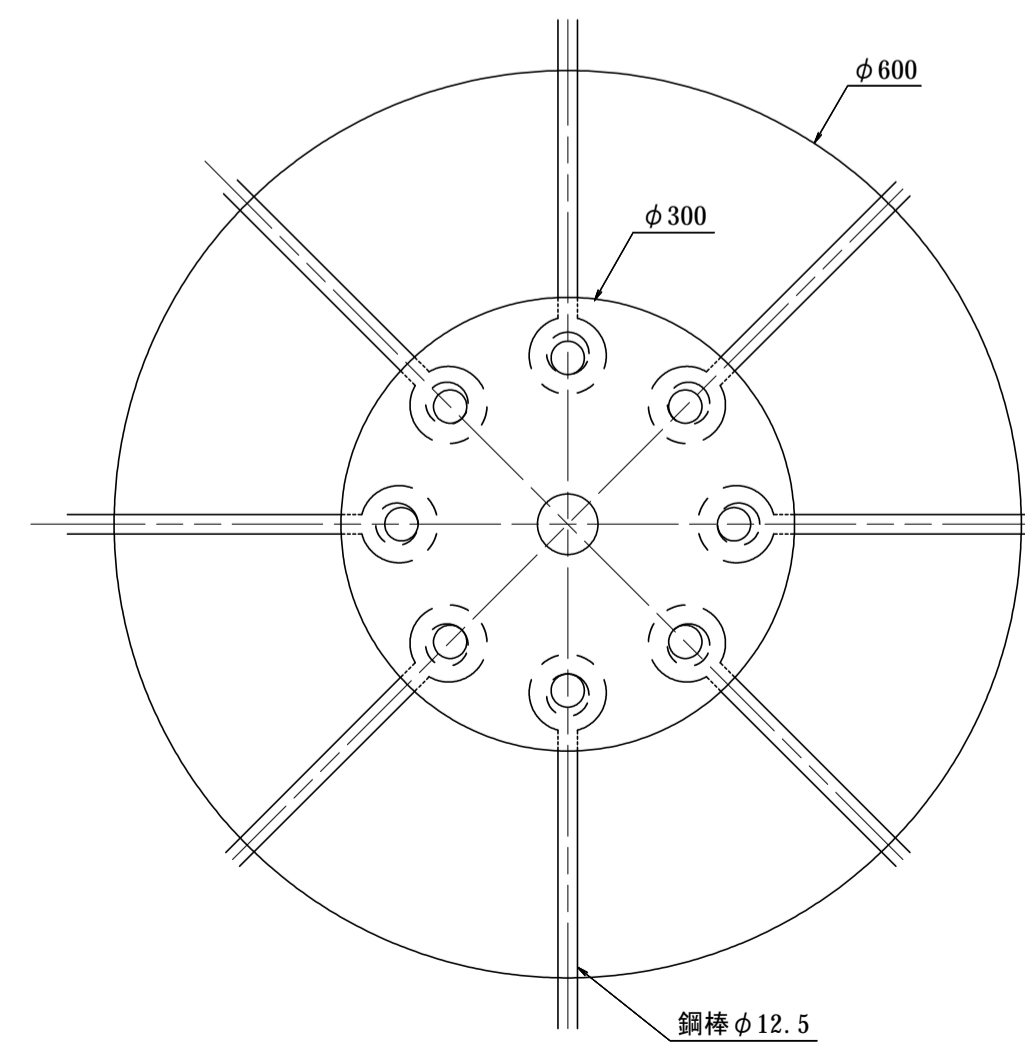
A部詳細図 S=1:5



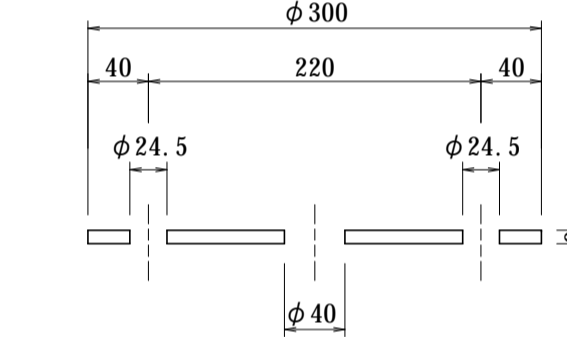
B部詳細図 S=1:2



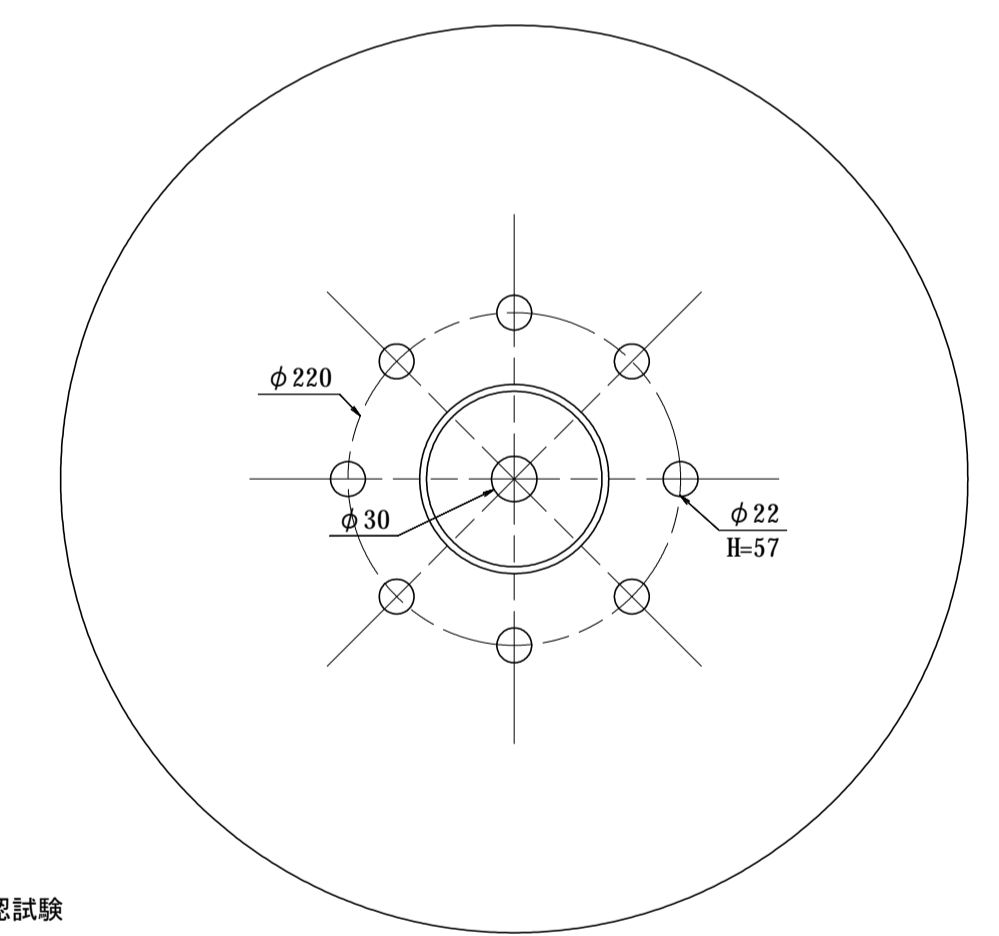
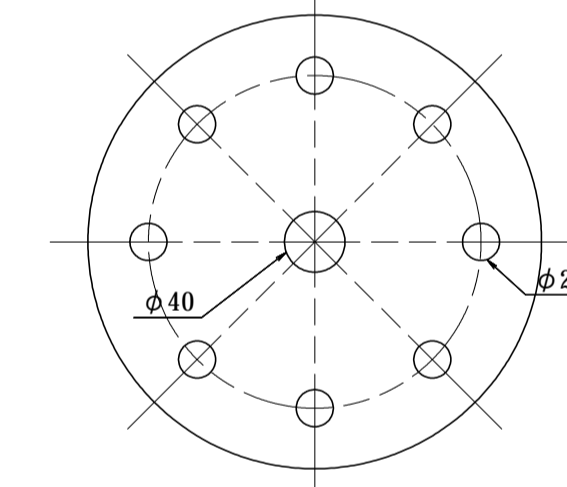
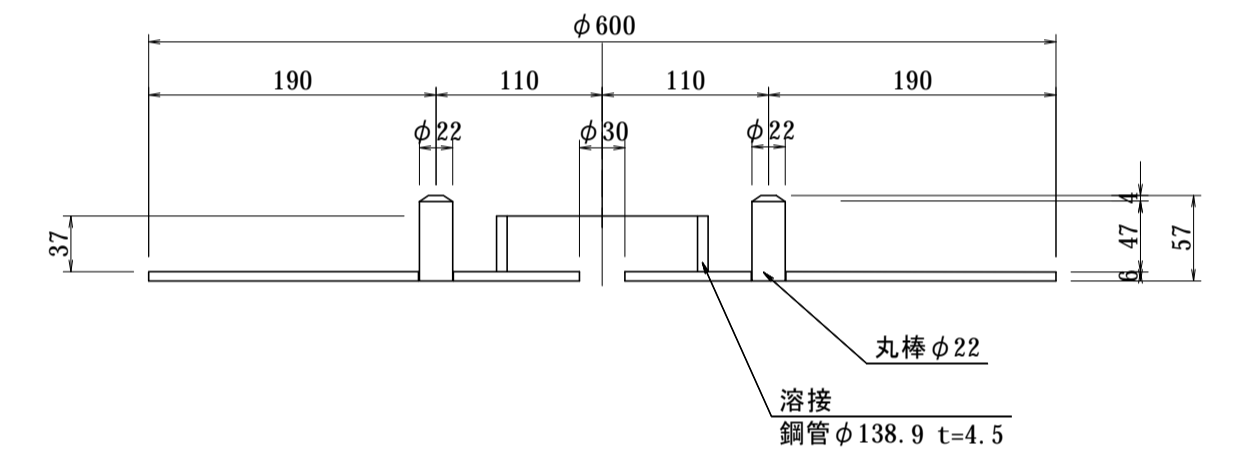
鋼棒取付詳細図 S=1:5



蓋プレート φ300 t=9 S=1:5
(SS400相当) 垂鉛メッキ HDZ55



受圧板 φ600 t=6 S=1:5
(SS400相当) 垂鉛メッキ HDZ55



施工上の留意点

- 注1: 鉄筋挿入工の安全性は、引抜き試験、確認試験によって確認することを原則とする。
- 注2: 鉄筋挿入工の施工に際しては、ボーリング調査等により背面地山の状況を事前に確認し、鉄筋挿入工の補強対策に対する安全性を照査する必要がある。
- 注3: スペーサーは最大ピッチ2.5mで最低2箇所以上設置する。
- 注4: グラウト注入は注入ホースを孔底付近まで十分挿入して注入すること。
- 注5: グラウトの標準配合は、NEXCO「切土補強土工法設計-施工要領」H19.1を参考とする。
- 注6: 受圧版の許容地耐力は、150kN/m²としているが、現地で載荷確認し不足するときはモルタルにて下地補強すること。

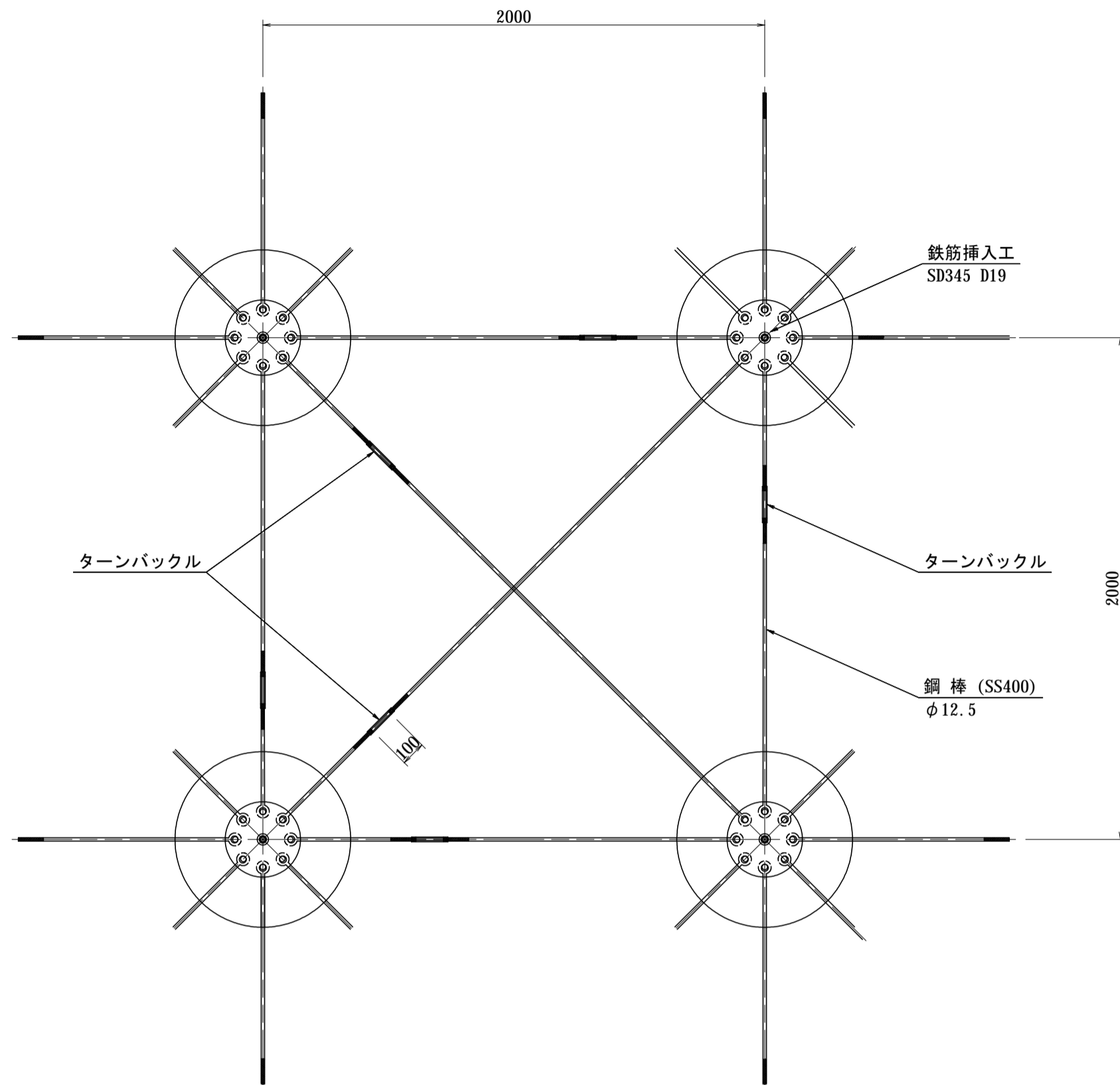
注入材の配合例

重量比	セメント	水(W/C)	砂
セメントミルク	1	0.40~0.50	
モルタル	1	0.42~0.45	1

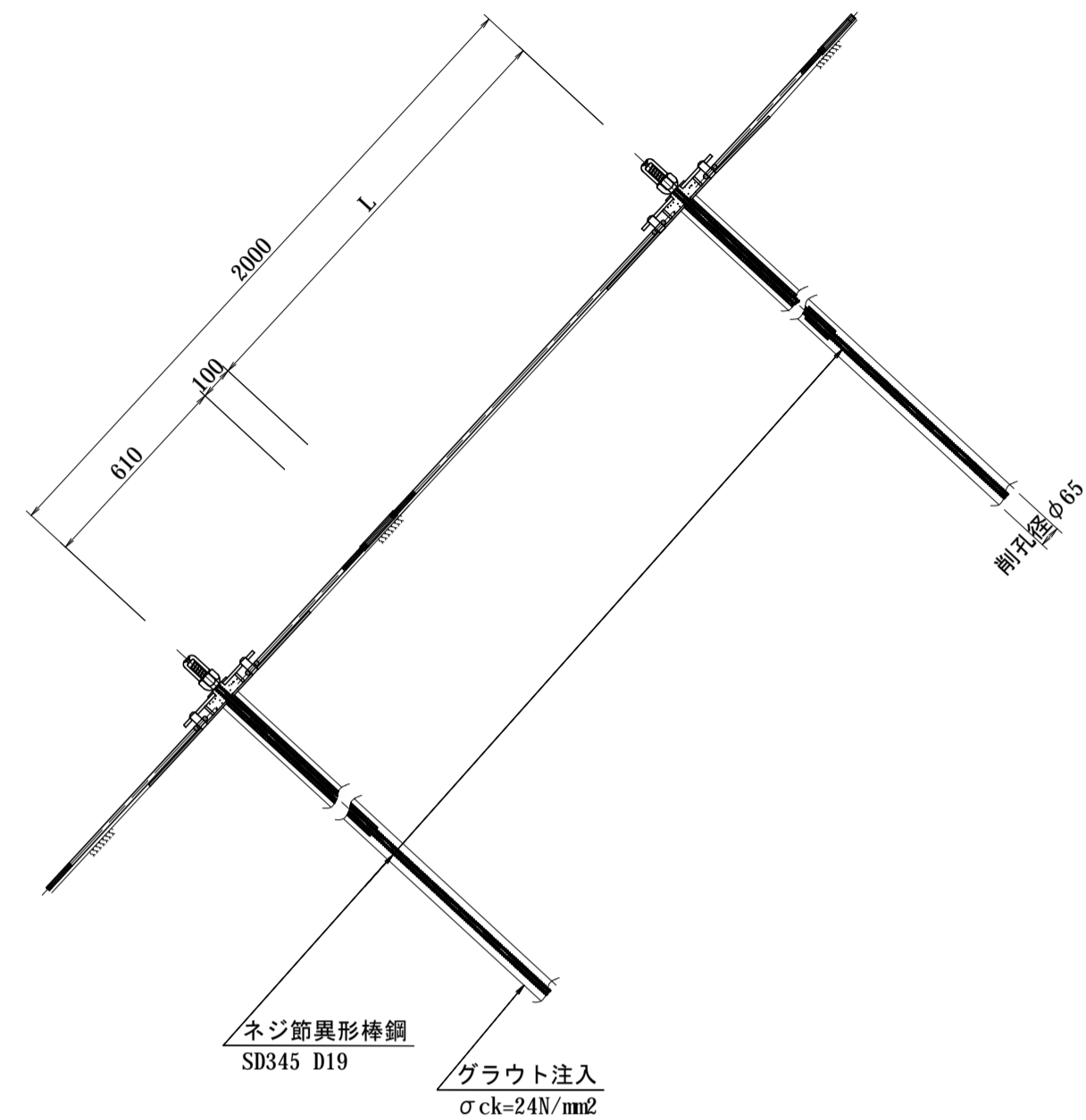
σ₂₈≧24N/mm²
 流下時間22秒以下 (Pポート: JIS A313-1992準用)
 (1N/mm²=10.2kgf/cm²)

地山補強土工詳細図(その4)
(RB-D19タイプ) PN-φ700-φ12.5 SS400

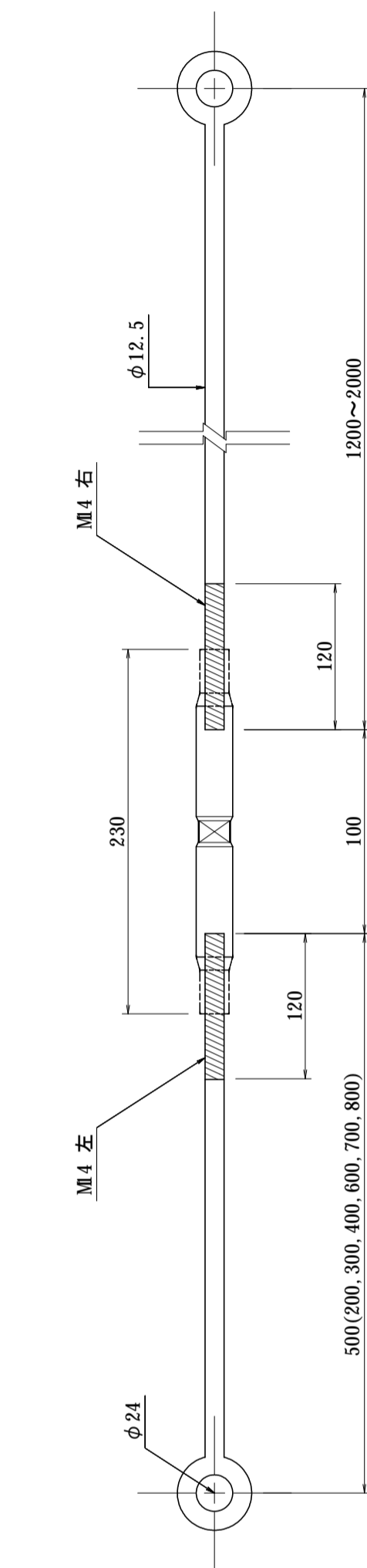
正面図 S=1:20



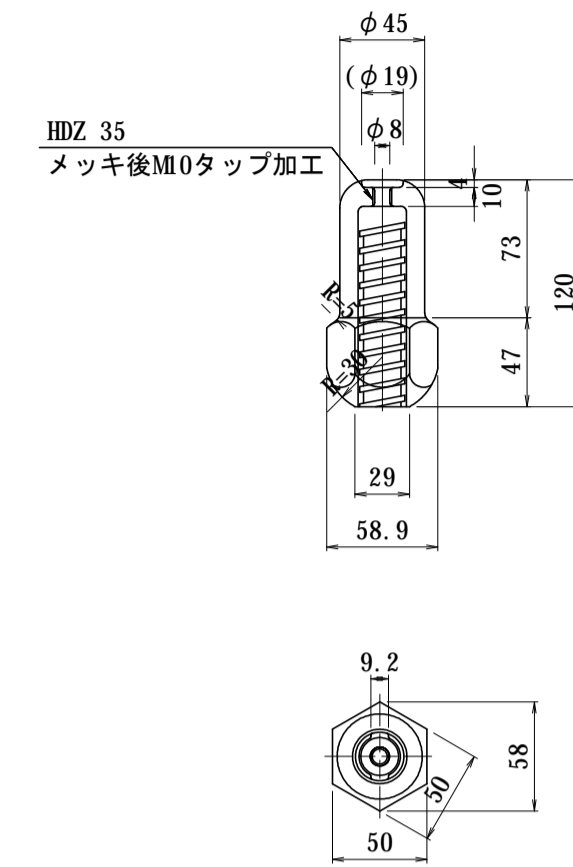
横断図 S=1:20



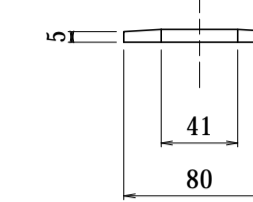
鋼棒 (SS400) S=1:4
垂鉛メッキ HDZ 55



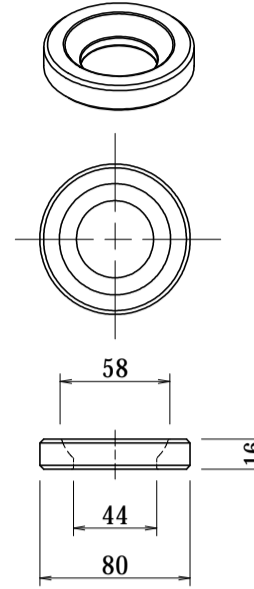
キャップナット (D19用) S=1:4



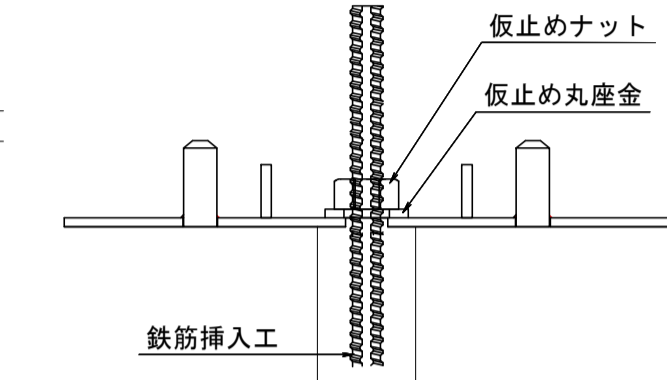
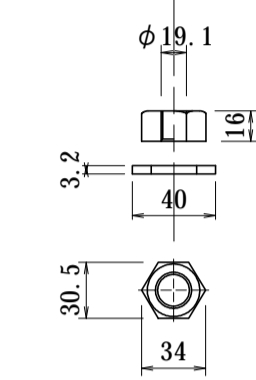
皿パネ 1枚使用 (30kN対応) S=1:4
(80*41*5.0)



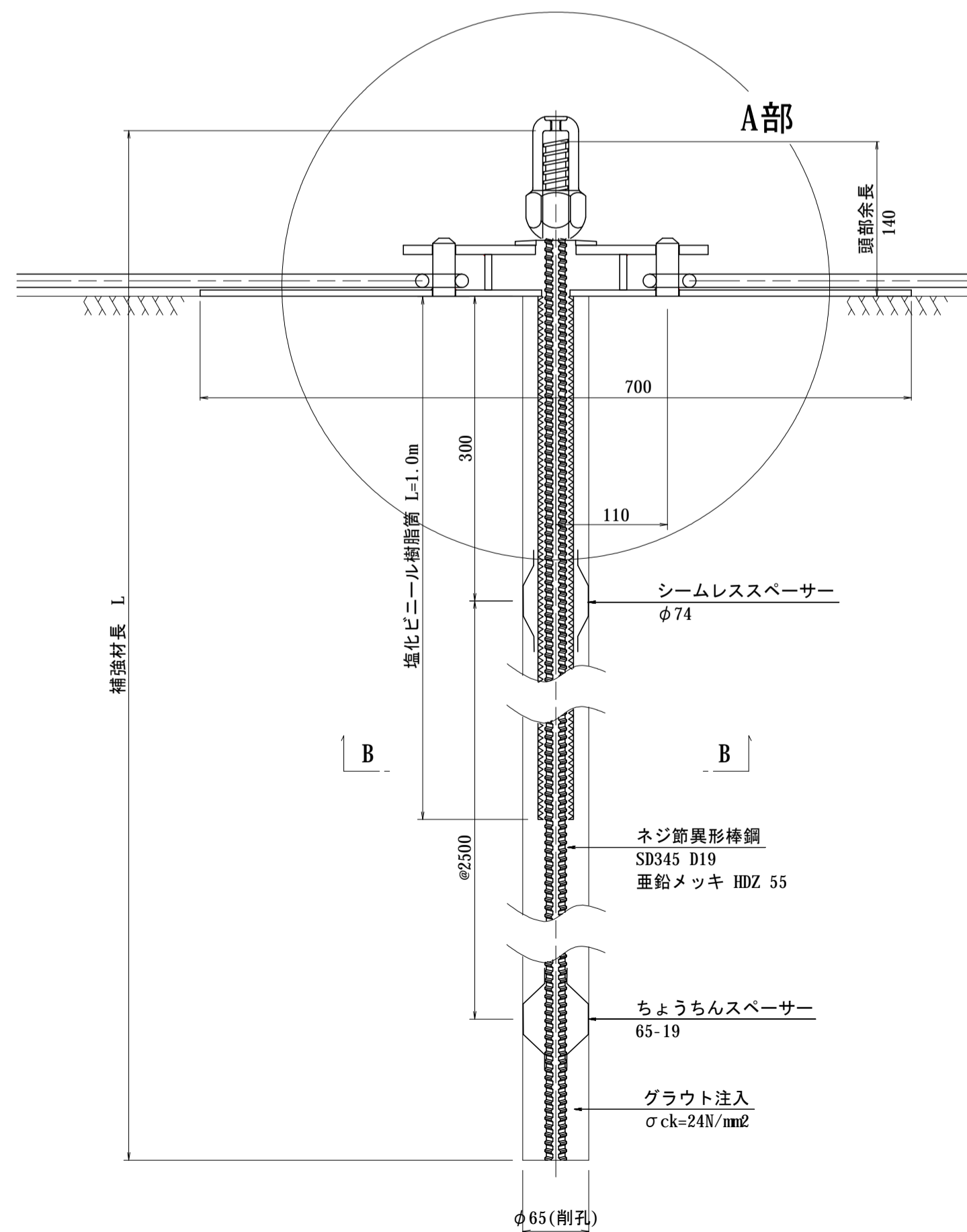
球面リング S=1:4
80×58×16
垂鉛メッキ HDZ55



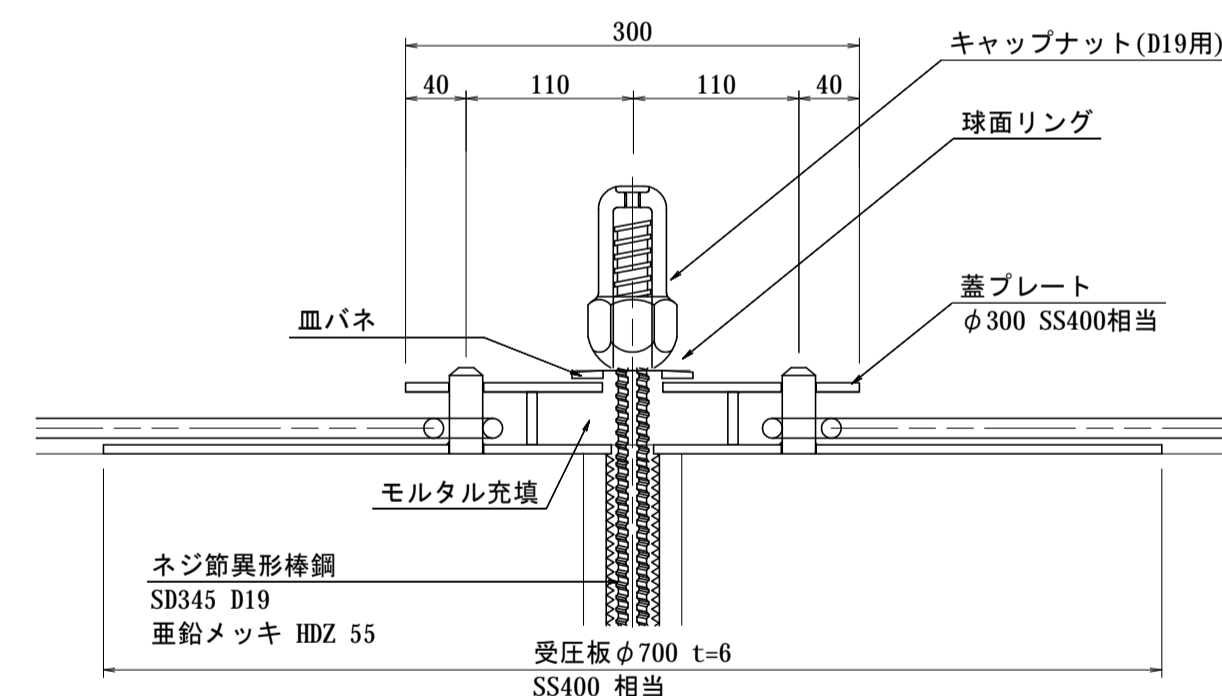
仮止めナット (D19用)
(仮止めナット、仮止め丸座金) S=1:4



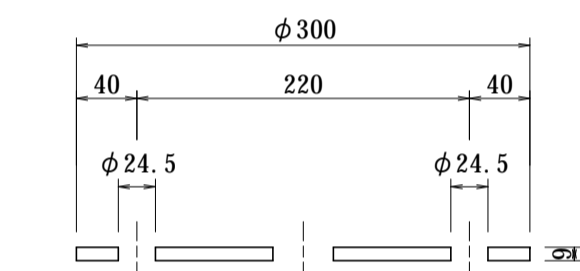
断面図 S=1:5



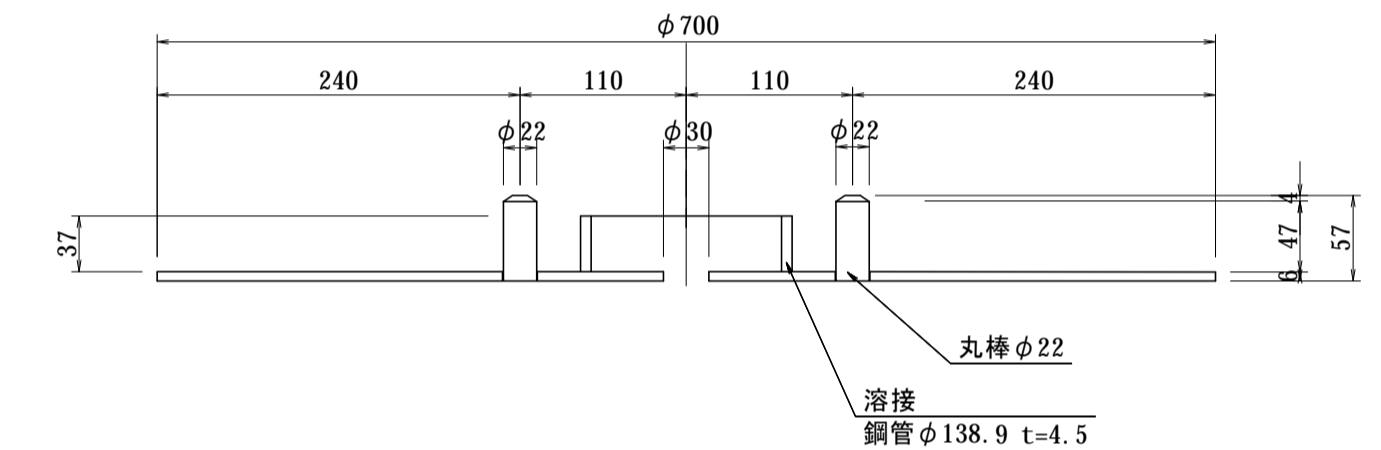
A部詳細図 S=1:5



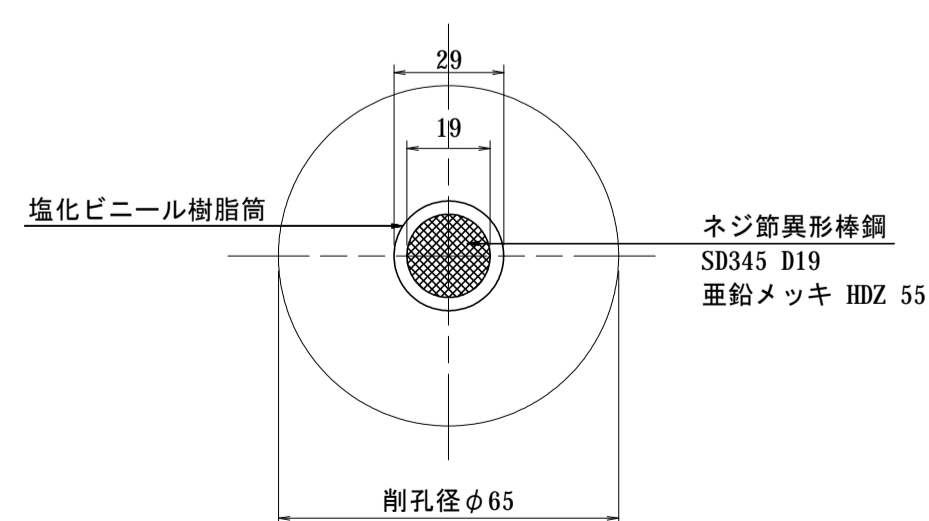
蓋プレート φ300 t=9 S=1:5
(SS400相当) 垂鉛メッキ HDZ55



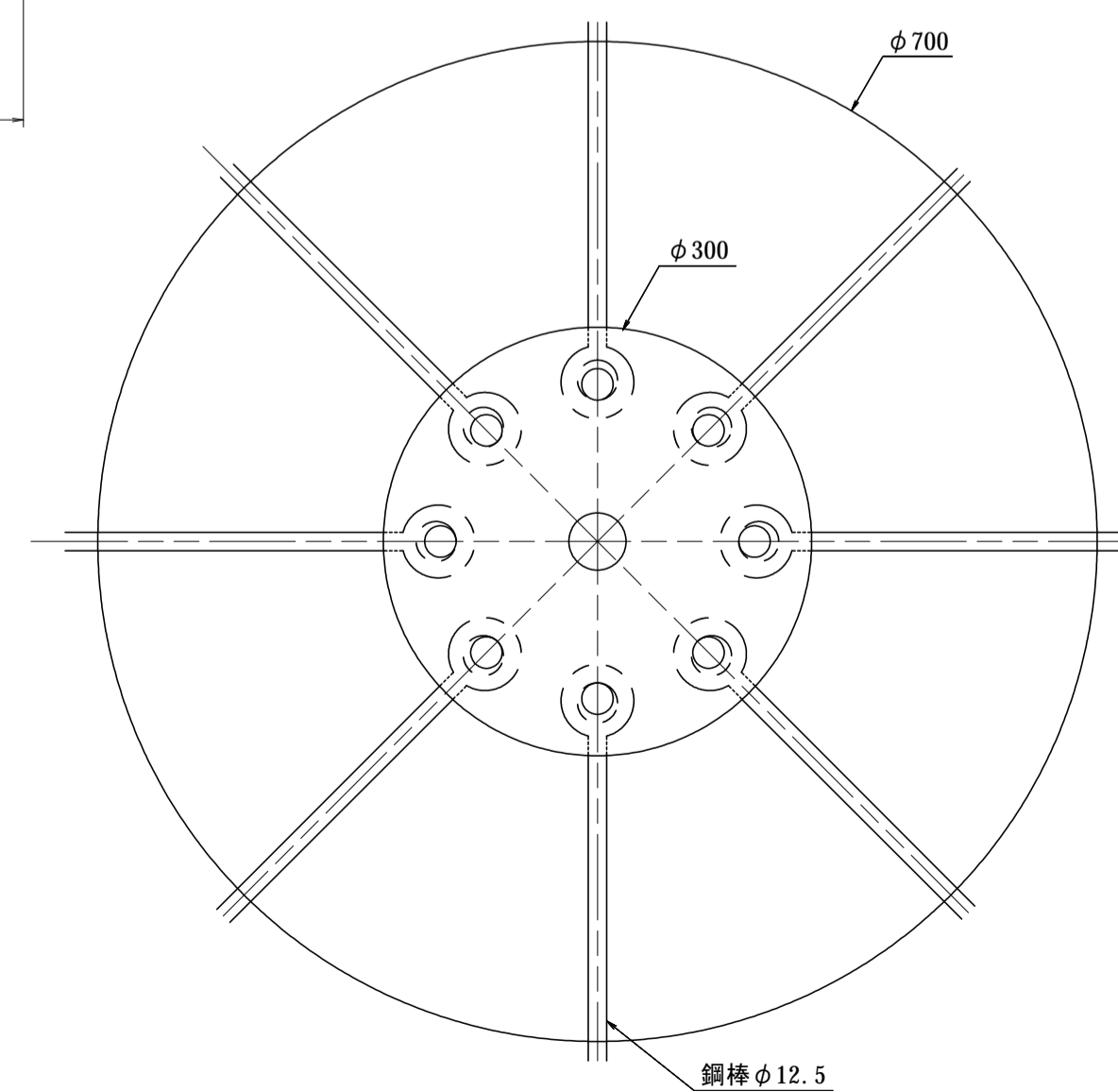
受圧板 φ700 t=6 S=1:5
(SS400相当) 垂鉛メッキ HDZ55



B部詳細図 S=1:2



鋼棒取付詳細図 S=1:5



施工上の留意点

- 注1: 鉄筋挿入工の安全性は、引抜き試験、確認試験によって確認することを原則とする。
- 注2: 鉄筋挿入工の施工に際しては、ボーリング調査等により背面地山の状況を事前に確認し、鉄筋挿入工の補強対策に対する安全性を照査する必要がある。
- 注3: スペーサーは最大ピッチ2.5mで最低2箇所以上設置する。
- 注4: グラウト注入は注入ホースを孔底付近まで十分挿入して注入すること。
- 注5: グラウトの標準配合は、NEXCO「切土補強土工法設計-施工要領」H19.1を参考とする。
- 注6: 受圧版の許容耐力は、150kN/m²としているが、現地で載荷確認し不足するときはモルタルにて下地補強すること。

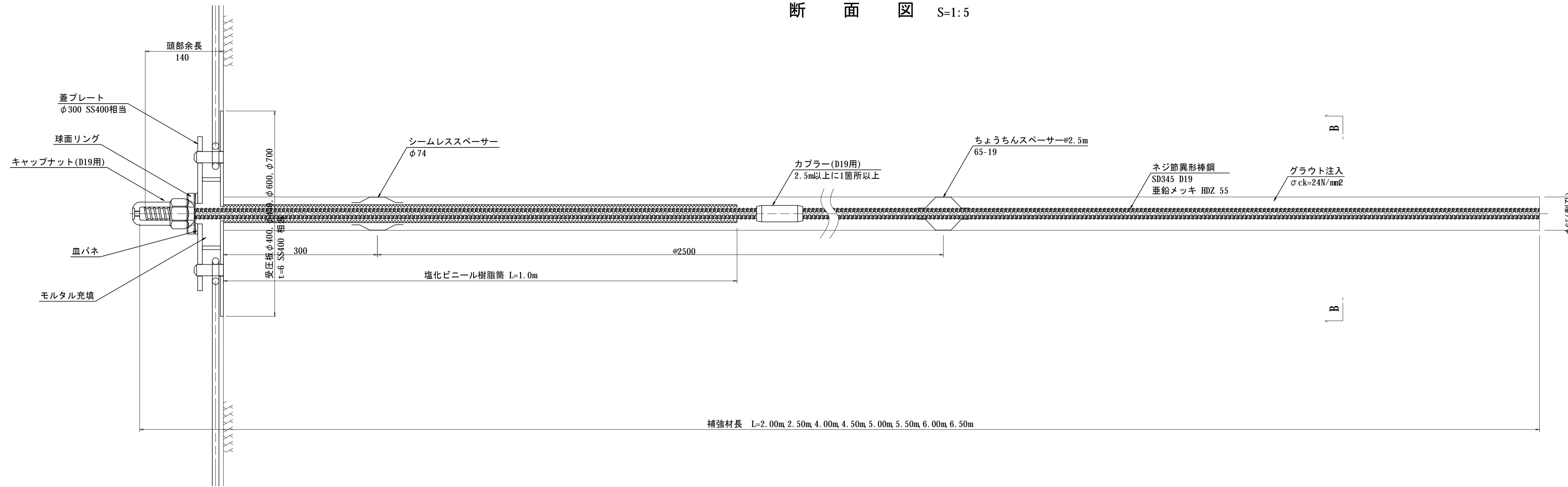
注入材の配合例

重量比	セメント	水(W/C)	砂
セメントミルク	1	0.40~0.50	
モルタル	1	0.42~0.45	1

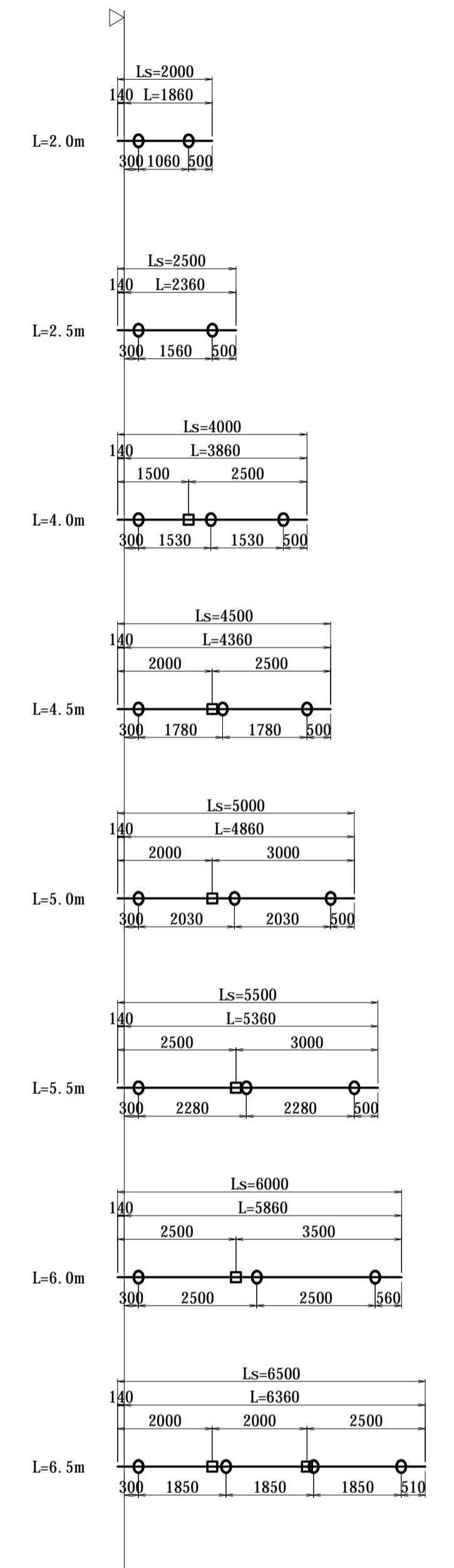
σ₂₈≧24N/mm²
 流下時間22秒以下 (P-ポート: JIS A313-1992準用)
 (1N/mm²=10.2kgf/cm²)

地山補強土工詳細図(その5)(参考図)

断面図 S=1:5



芯材組立図 S=1:100



鉄筋挿入工材料表

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
ネジ節異形棒鋼	SD345 D19 L=2.0m 2.5m	本	1	亜鉛メッキ HDZ55
球面リング	80×58×16	個	1	亜鉛メッキ HDZ55
キャップナット	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ35
シームレススペーサー	φ74	個	1	
ちょうちんスペーサー	65-19	個	1	φ2.5m
カプラー	D19用	個	0	亜鉛メッキ HDZ55

(1本当たり)

鉄筋挿入工材料表

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
ネジ節異形棒鋼	SD345 D19 L=4.0m 4.5m 5.0m 5.5m 6.0m	本	1	亜鉛メッキ HDZ55
球面リング	80×58×16	個	1	亜鉛メッキ HDZ55
キャップナット	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ35
シームレススペーサー	φ74	個	1	
ちょうちんスペーサー	65-19	個	2	φ2.5m
カプラー	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ55

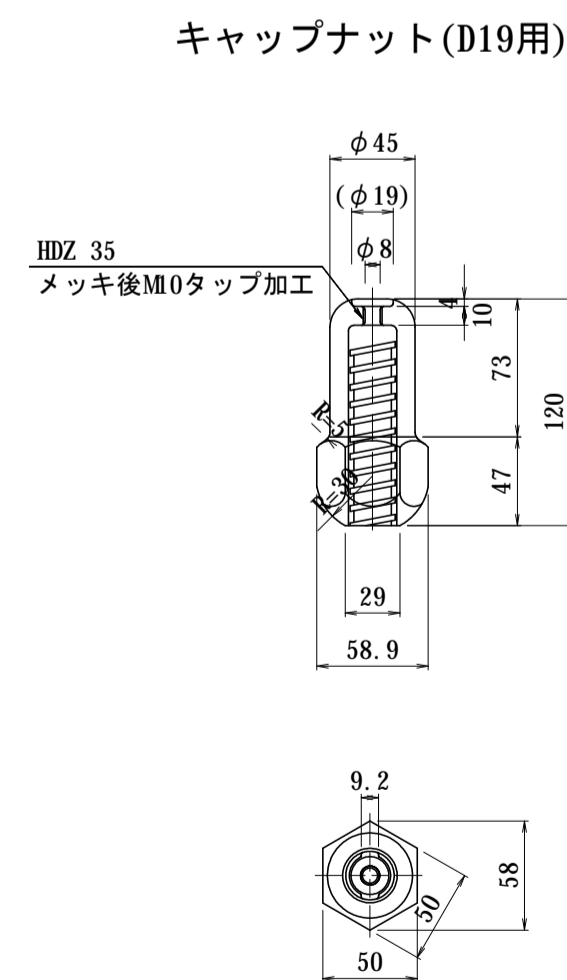
(1本当たり)

鉄筋挿入工材料表

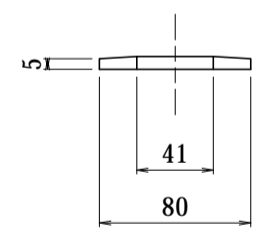
項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
ネジ節異形棒鋼	SD345 D19 L=6.5m	本	1	亜鉛メッキ HDZ55
球面リング	80×58×16	個	1	亜鉛メッキ HDZ55
キャップナット	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ35
シームレススペーサー	φ74	個	1	
ちょうちんスペーサー	65-19	個	3	φ2.5m
カプラー	D19用	個	2	亜鉛メッキ HDZ55

(1本当たり)

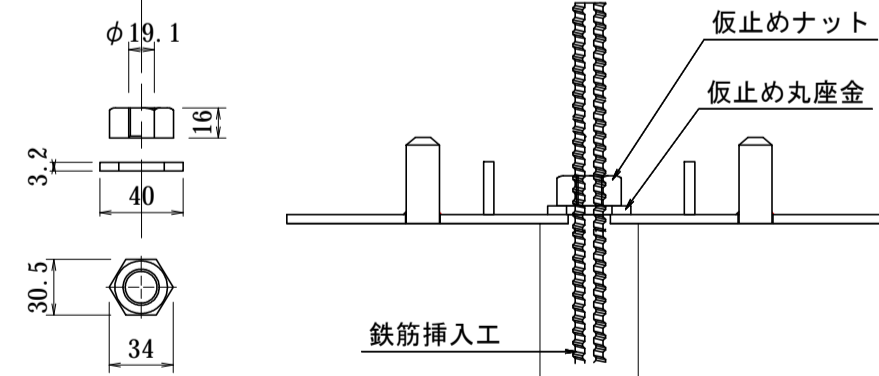
部材詳細図 S=1:4



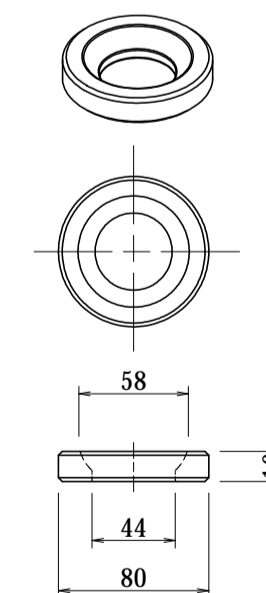
皿パネ 1枚使用 (30kN対応) (80*41*5.0)



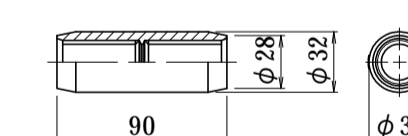
仮止めナット(D19用) (仮止めナット、仮止め丸座金)



球面リング 80×58×16 亜鉛メッキ HDZ55



カプラー(D19用) 亜鉛メッキ HDZ55



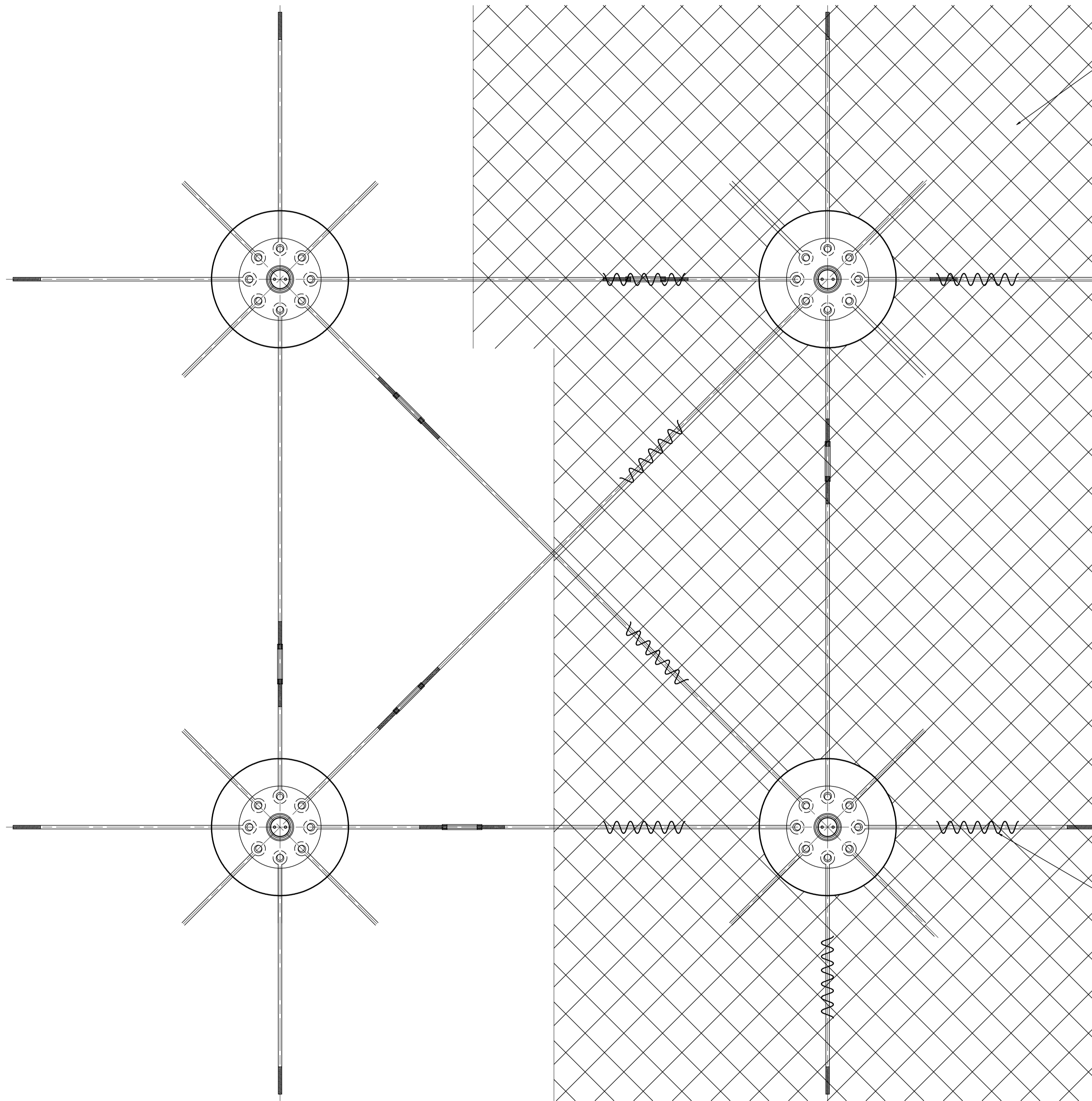
凡例

Ls	芯材長
L	削孔長
○	スペーサー
□	カプラー
▷	削孔面

【特記事項】
 ※補強材の防食として亜鉛メッキ処理を以下の使用により行うこと。
 ナット : JIS H 8641.2種HDZ35
 カプラー、鉄筋 : JIS H 8641.2種HDZ55
 ※スペーサー設置間隔は2.5mピッチとし、最低2箇所以上配置すること。
 ※補強材はネジ節異形棒鋼もしくは異形棒鋼と同等以上のものを使用すること。
 ※本体製品は(株)相建エンジニアリングの製品により積算しているが、契約上の製品を指定するものではない。

地山補強土工詳細図(その6)(参考図)

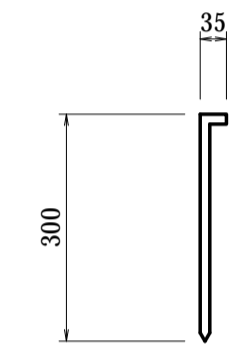
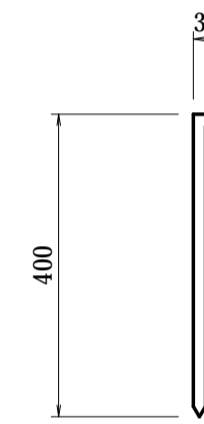
正面図 S=1:10



プレステック落石防止網
大目合 (50*50*2)

アンカーピン S=1:10
D16 L=400
30本/100㎡

補助アンカーピン S=1:10
D13 L=300
150本/100㎡



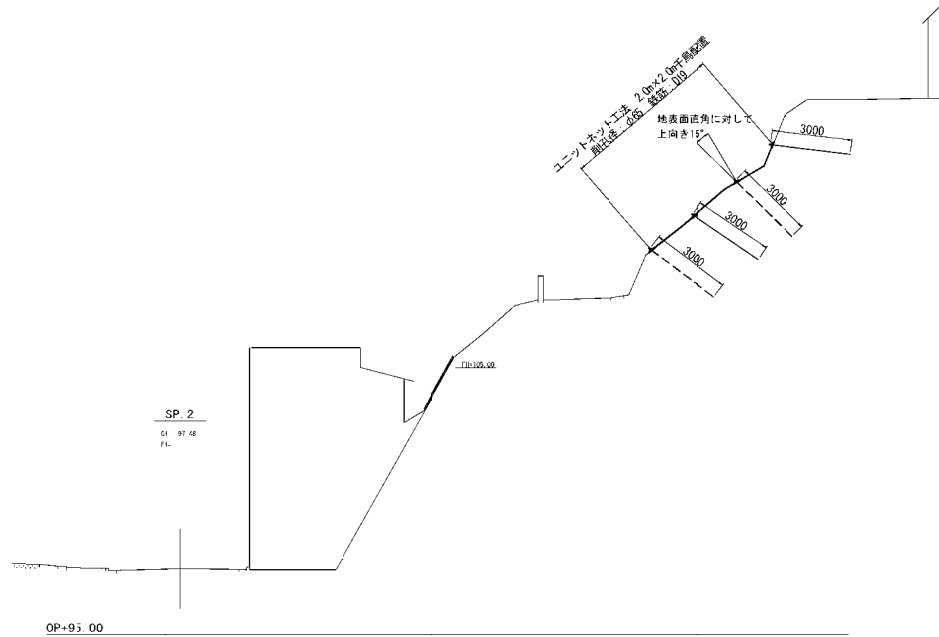
結合コイル S=1:10
φ3.2*50*300
2個/連結鋼棒1本



結合コイル
(φ3.2*50*300)

※ 立木等がある場合は、立木部分の網を切り取り、立木周辺の網はアンカーピンで止めること。

ユニットネット横断図(2ブロック) (1/6)



※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
 ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

	図面番号	08/50
委託名	箕面(2)急傾斜地詳細設計委託	
委託箇所	箕面市箕面一丁目地内 外	
工事名		
図面名	ユニットネット横断図(2ブロック)(1/6)	
作成年月	平成30年3月	期 1:100
大阪府池田土木事務所		

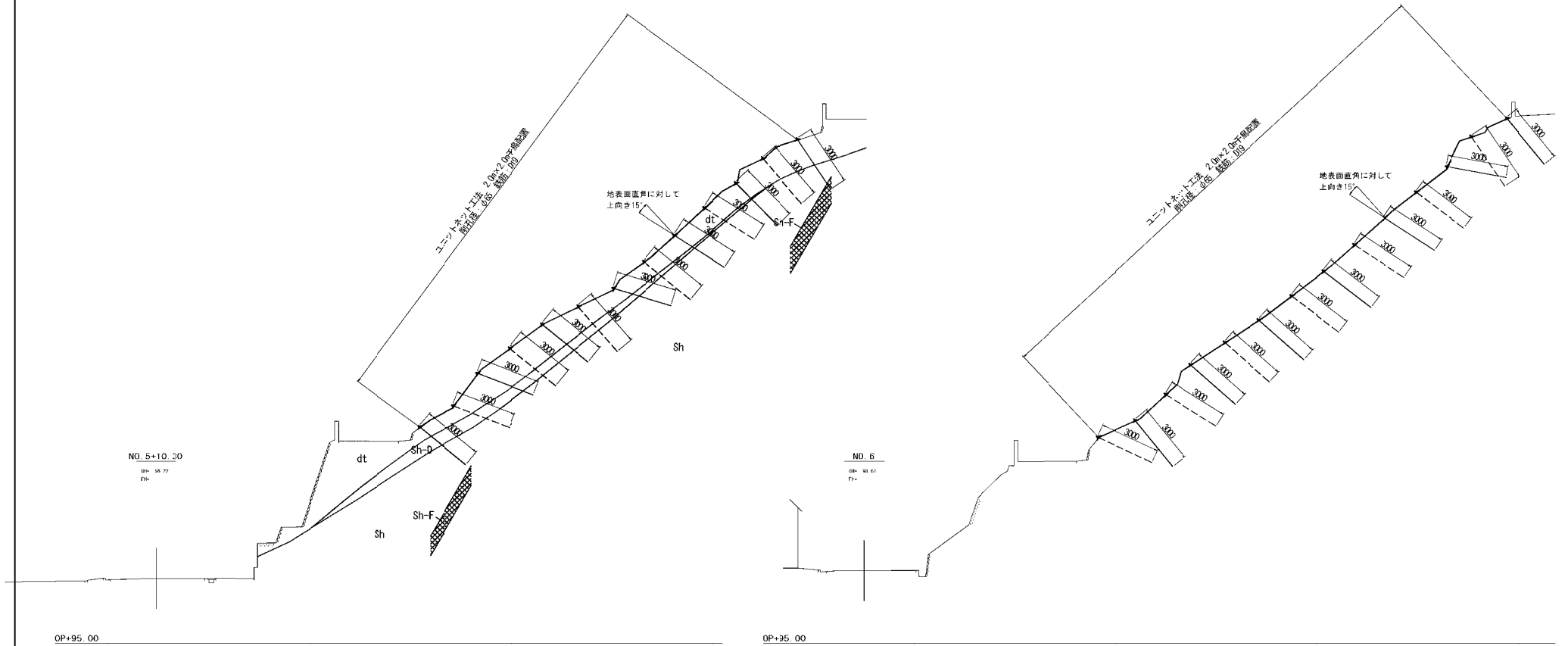
ユニットネット横断図(2ブロック) (2/6)



※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
 ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

図面番号		09/50
委託名	箕面(2)急傾斜地詳細設計委託	
委託箇所	箕面市箕面一丁目地内 外	
工事名		
図面名	ユニットネット横断図(2ブロック) (2/6)	
作成年月	平成30年3月	編入
大阪府池田土木事務所		

ユニットネット横断図(2ブロック) (3/6)

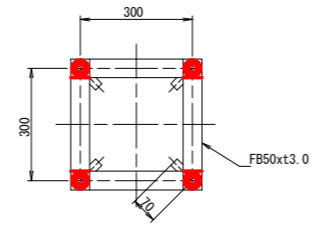


※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

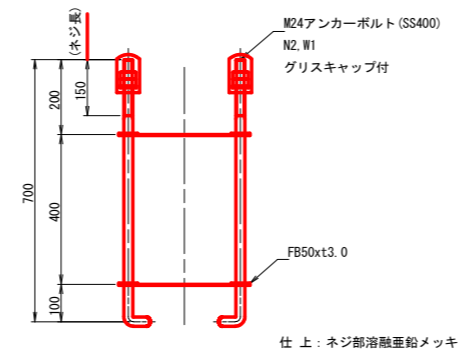
図面番号		19/50
委託名	箕面(2)急傾斜地詳細設計委託	
委託箇所	箕面市箕面一丁目地内 外	
工事名		
図面名	ユニットネット横断図(2ブロック)(3/6)	
作成年月	平成30年3月	第 1/100 刷
大阪府 池田土木事務所		

M24アンカーボルト 参考図

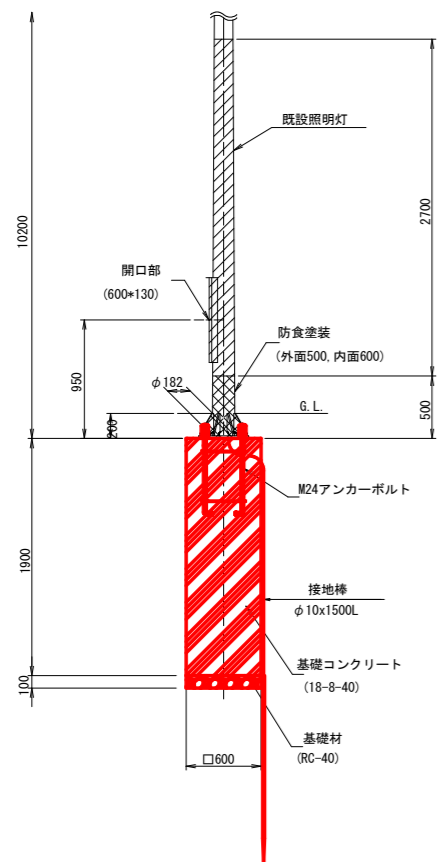
アンカーフレーム詳細 S=1:10



アンカーボルト詳細図 S=1:10



(参考) 照明灯基礎部 S=1:30



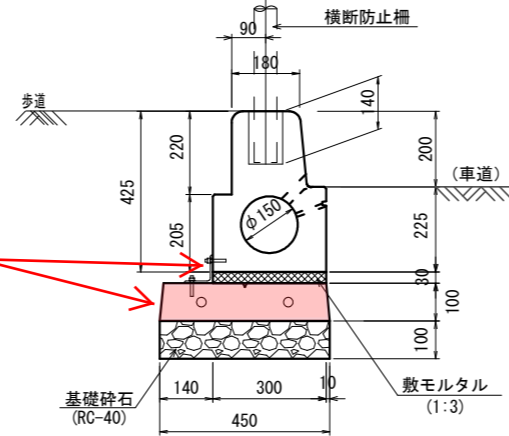
小構造物図(1/2)

ベース板A (取付金具込み)

φ 150

(注：バスストップ区間に使用)

ベース板A + 取付金具



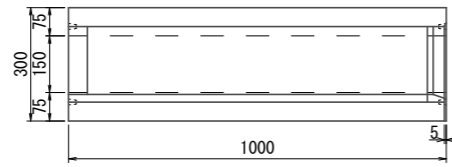
材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ²	4.50	
敷モルタル	1:3	m ²	3.00	
側溝	縁石側溝φ150	個	10.0	L=1.00 F型
ベース板	A型	個	10.0	L=1.00
連結金具	A型	個	10.0	L=75×75×6×140

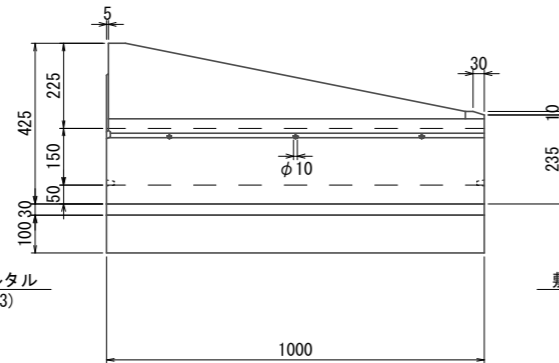
ライン導水ブロック擦付B (左)

φ 150

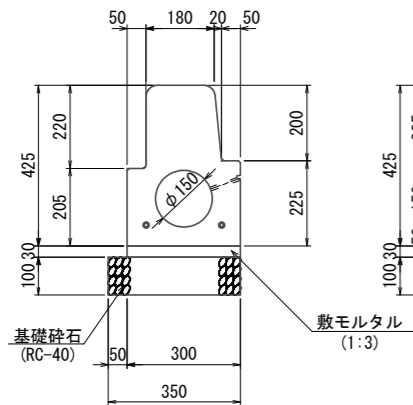
平面図



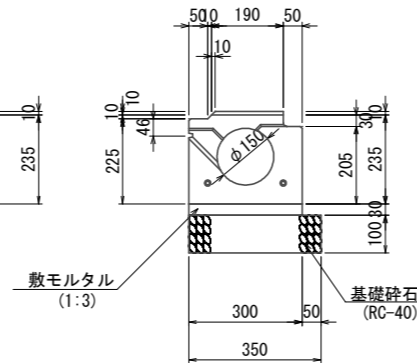
正面図



左側面図



右側面図



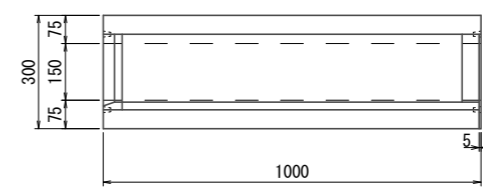
材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ²	3.50	
敷モルタル	1:3	m ²	3.00	
側溝	歩道擦り付けφ150	個	10.0	

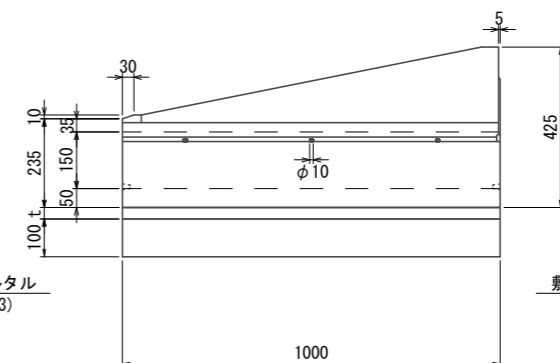
ライン導水ブロック擦付B (右)

φ 150

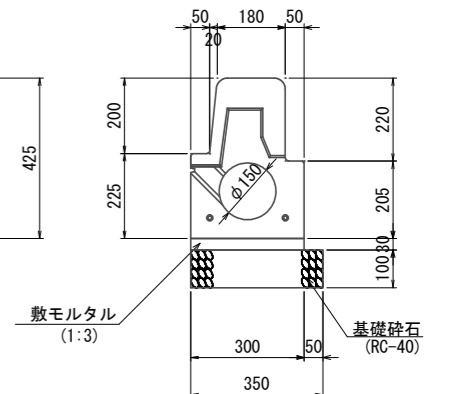
平面図



正面図



右側面図

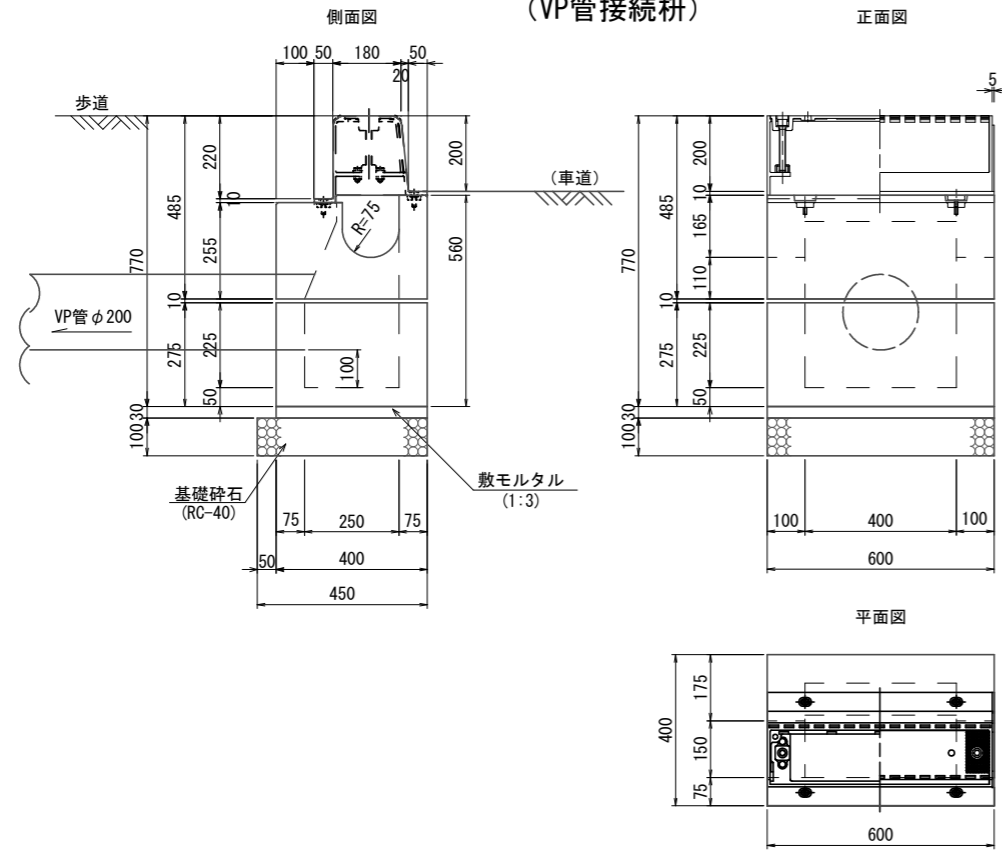


材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m	3.50	
敷モルタル	1:3	m	3.00	
側溝	歩道擦り付けφ150	個	10.0	

小構造物図(2/2)

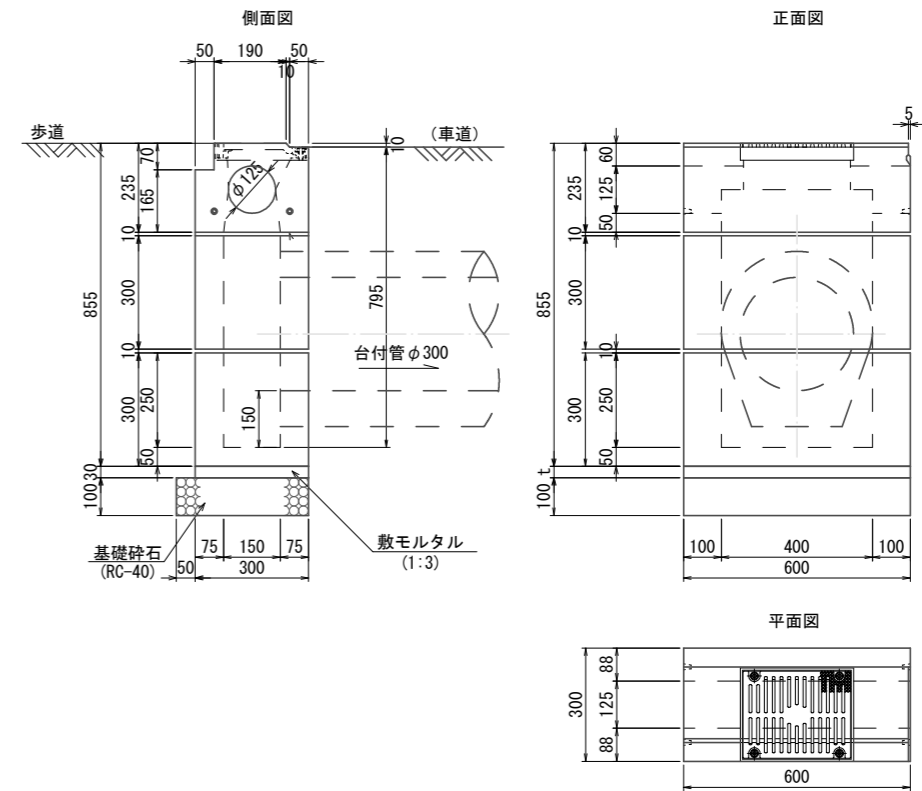
縁石樹B
(VP管接続柵)



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ²	2.70	
敷モルタル	1:3	m ²	2.40	
上部ブロック	150用	個	10.0	
上部ブロック	150蓋用	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

歩道切下柵・調整ブロック
(台付管接続柵)



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ²	2.10	
敷モルタル	1:3	m ²	1.80	
上部ブロック	125用	個	10.0	
上部ブロック	歩道切下げ蓋用	個	10.0	
中間ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

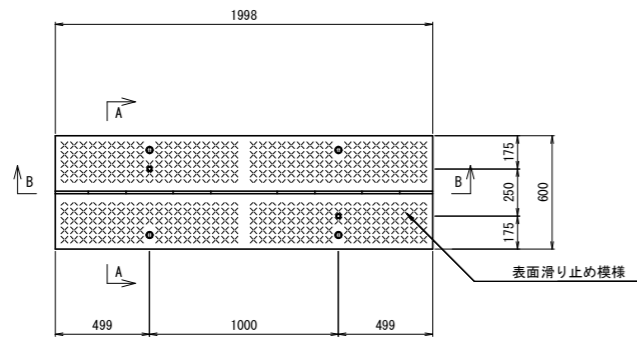
排水構造物工構造図 (参考図)

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:標準

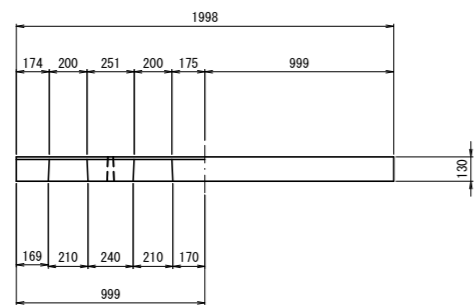
コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:管理孔付

平面図 S=1:20

A-A断面図(スリット部) S=1:10

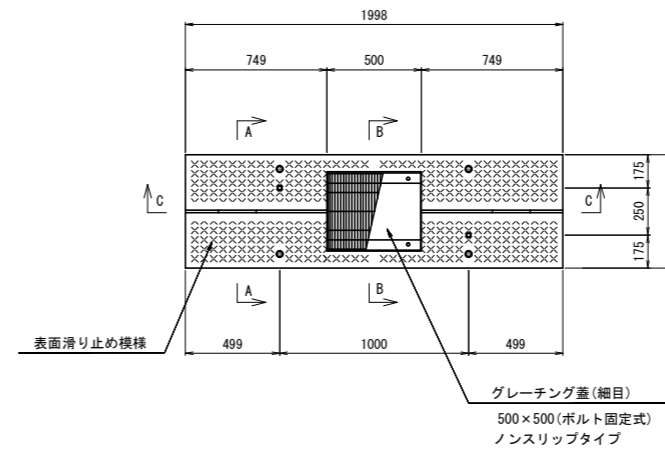


B-B断面図 S=1:20

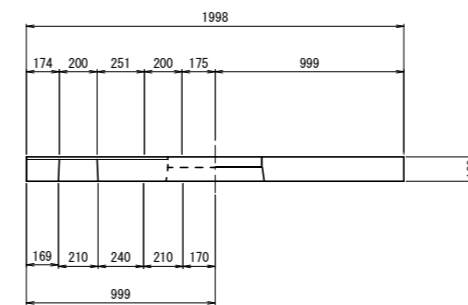


平面図 S=1:20

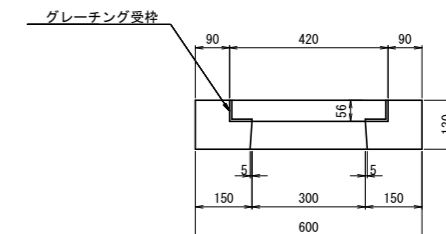
A-A断面図(スリット部) S=1:10



C-C断面図 S=1:20



B-B断面図(グレーチング部) S=1:10



設計条件

規格		車道縦断用(乗入兼用)
形状		蓋固定式
自動車荷重	総重量	245kN
	後輪一輪荷重	50kN
	衝撃係数	i=0.3
コンクリート	設計基準強度	35N/mm ²
	設計圧縮応力度	12.5N/mm ²
	設計せん断応力度	0.52N/mm ²
鉄筋	材質	SD295A同等以上
	許容引張応力度	176N/mm ²
	許容せん断応力度	78N/mm ²

2.0m: 製品参考質量 367kg

設計条件

規格		車道縦断用(乗入兼用)
形状		蓋固定式
自動車荷重	総重量	245kN
	後輪一輪荷重	50kN
	衝撃係数	i=0.3
コンクリート	設計基準強度	35N/mm ²
	設計圧縮応力度	12.5N/mm ²
	設計せん断応力度	0.52N/mm ²
鉄筋	材質	SD295A同等以上
	許容引張応力度	176N/mm ²
	許容せん断応力度	78N/mm ²

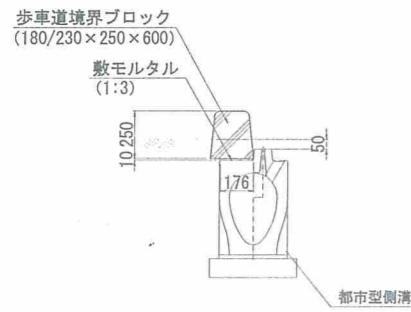
管理孔付: 製品参考質量 315kg (グレーチング重量は含まず)

年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	排水構造物工構造図(参考図)		
縮尺	図示	作成	年月

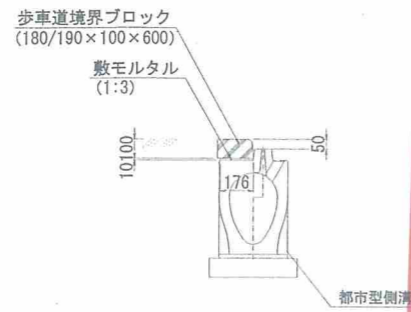
道路施設詳細図(3)

S=1:20

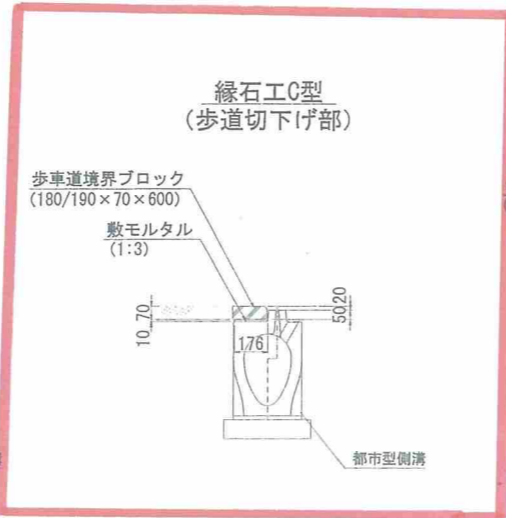
縁石工A型
(標準部(セミフラット))



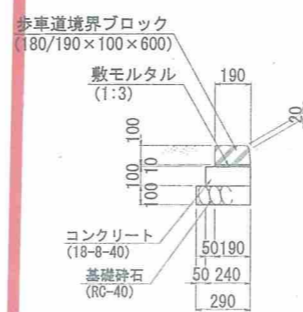
縁石工B型
(車両乗入部)



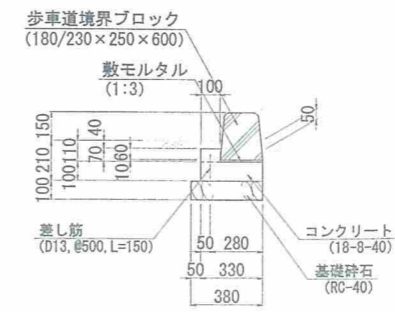
縁石工C型
(歩道切下げ部)



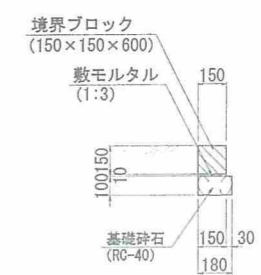
縁石工D型
(歩道切下げ部)



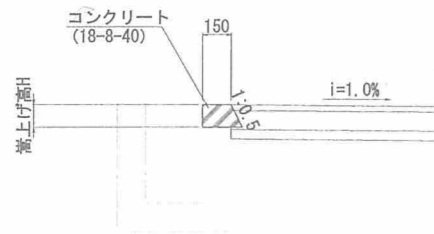
縁石工E型
(セミフラット)



地先境界工



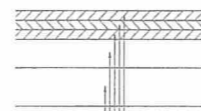
嵩上げコンクリート



測点	H	L
No. 7~No. 7+10.7付近(左)	0.118	10.7
No. 9+8.8~No. 10+10.5付近(左)	0.071	21.6
No. 15~No. 16+7.3付近(左)	0.064~0.140	27.3
No. 2+16.5~No. 3+12.5付近(右)	0.032	15.9
No. 5+19.2~No. 6+7.2付近(右)	0.069	8.0

舗装構成図

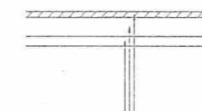
<車道舗装工>



【車道舗装】

表層	開粒度アスファルトコンクリート	t=5cm
中間層	密粒度アスファルトコンクリート	t=5cm
基層	粗粒度アスファルトコンクリート	t=5cm
上層路盤	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ(HMS-25)	t=15cm
下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40)	t=20cm

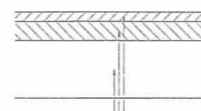
<歩道舗装工>



【歩道舗装：透水性舗装】

表層	開粒度アスファルトコンクリート	t=3cm
路盤工	再生クラッシャーラン(RC-30)	t=10cm
フィルター層	砂	t=5cm

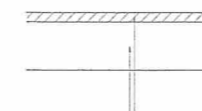
<大型車車両乗入れ舗装工>



【大型車車両乗入れ舗装】

表層	密粒度アスファルトコンクリート	t=5cm
基層	粗粒度アスファルトコンクリート	t=10cm
路盤工	再生クラッシャーラン(RC-30)	t=30cm

<車両乗入れ舗装工>



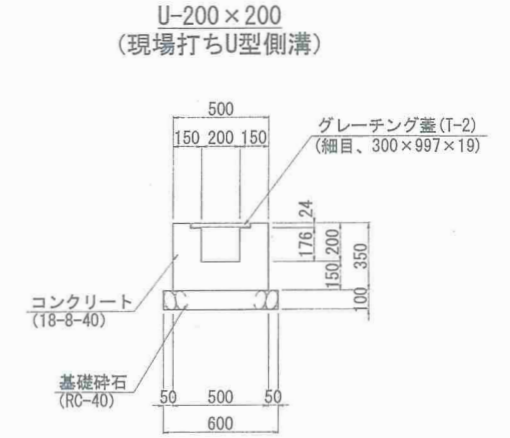
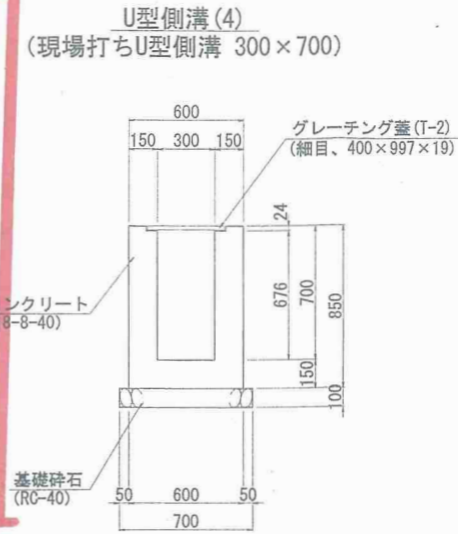
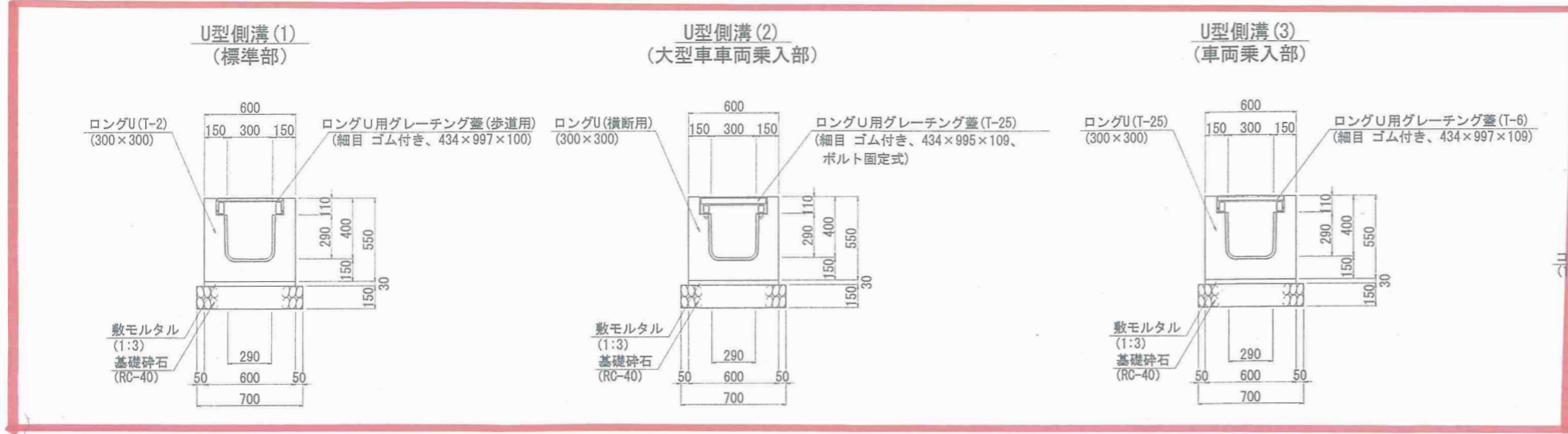
【車両乗入れ舗装】

表層	密粒度アスファルトコンクリート	t=5cm
路盤工	再生クラッシャーラン(RC-30)	t=25cm

年度	平成28年度	事業名	
路線名	主要地方道 岸和田港塔原線		
工事名			
地名	岸和田市土生町地内		
図面名	道路施設詳細図(3)	縮尺	1:20
作成年	平成29年3月	巻数	全巻 21
大阪府岸和田土木事務所			の内 12号

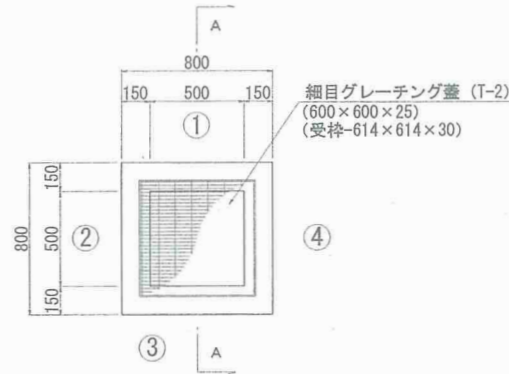
道路施設詳細図(2)

S=1:20

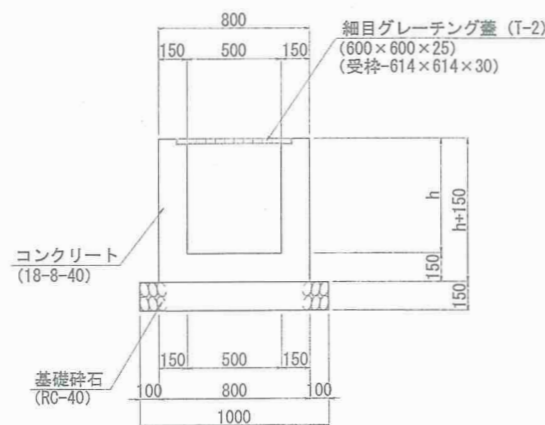


集水樹(1)

平面図

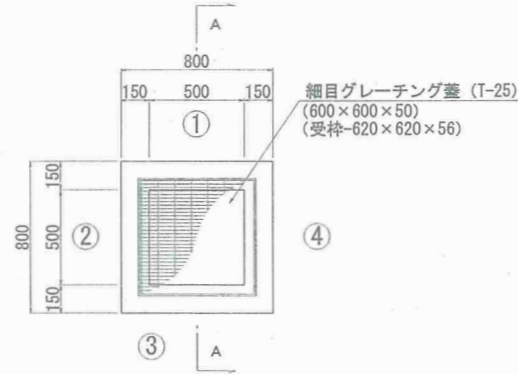


A-A

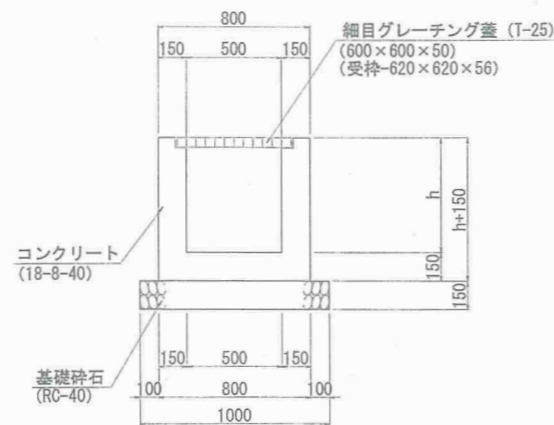


集水樹(2)

平面図



A-A



集水樹(1)

樹測点	呼び寸法	樹天端高 (m)	h (m)	開口部				摘要
				① 種類 (底高)	② 種類 (底高)	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	
No. 6+7.65 (右側)	500×500×600	25.070	0.600	管渠工 HPφ300 (24.670) 下流			U型側溝(1) 300×300 (24.670)	
No. 8+8.93 (右側)	500×500×900	25.652	0.900	管渠工 HPφ300 (25.034)			U型側溝(4) 300×700 (24.952) 下流	
No. 15+5.92 (右側)	500×500×500	27.562	0.500		既設側溝 U-200×200 (27.362) 下流		現場打ち側溝 U-200×200 (27.362)	
No. 20+17.84 (右側)	500×500×600	29.623	0.600				U型側溝(1) 300×300 (29.223) 下流	

集水樹(2)

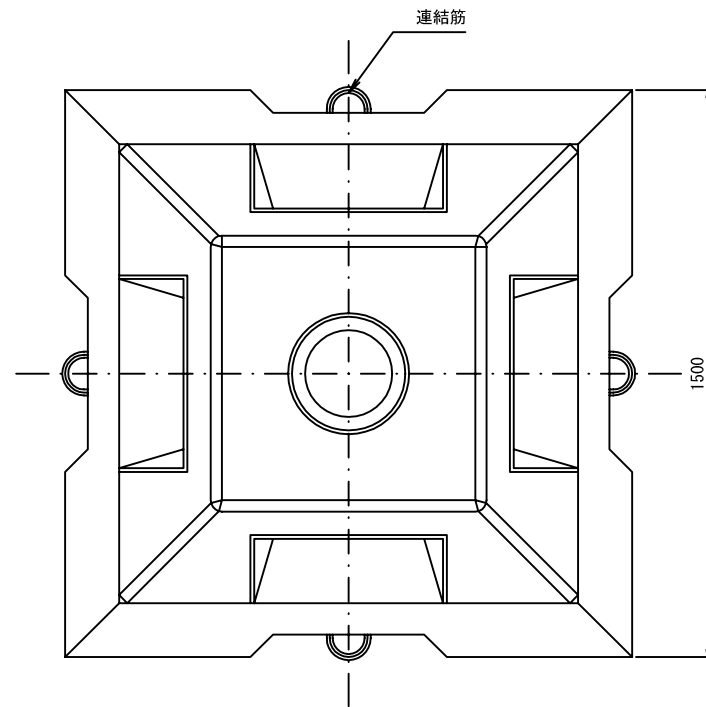
樹測点	呼び寸法	樹天端高 (m)	h (m)	開口部				摘要
				① 種類 (底高)	② 種類 (底高)	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	
No. 8+5.09 (右側)	500×500×900	25.599	0.900	管渠工 HPφ300 (24.899) 下流			U型側溝(4) 300×700 (24.899)	
No. 15+12.83 (右側)	500×500×500	27.682	0.500		現場打ち側溝 U-200×200 (27.482) 下流		既設側溝 U-200×200 (27.482)	
No. 15+17.14 (右側)	500×500×600	27.758	0.600			既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	U型側溝(1) 300×300 (27.358)	

年度	平成28年度	事業名	
路線名	主要地方道 岸和田港塔原線		
工事名			
地名	岸和田市土生町地内		
図面名	道路施設詳細図(2)	縮尺	1:20
作成	平成29年3月	全業	21
作成	大阪府岸和田土木事務所		

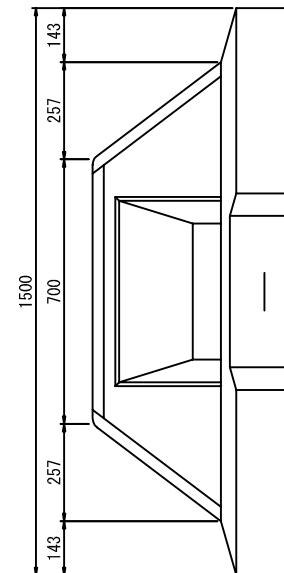
スクエア 製品図

1T型 1010kg

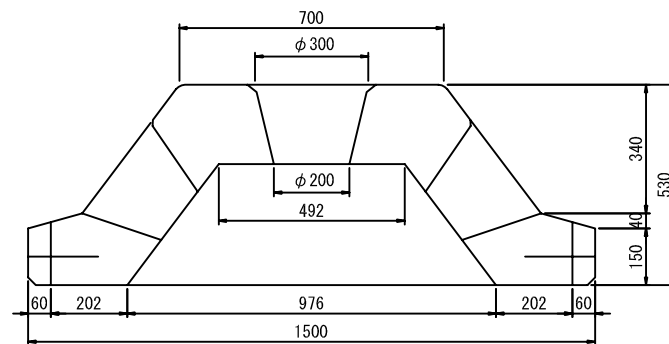
平面図



側面図

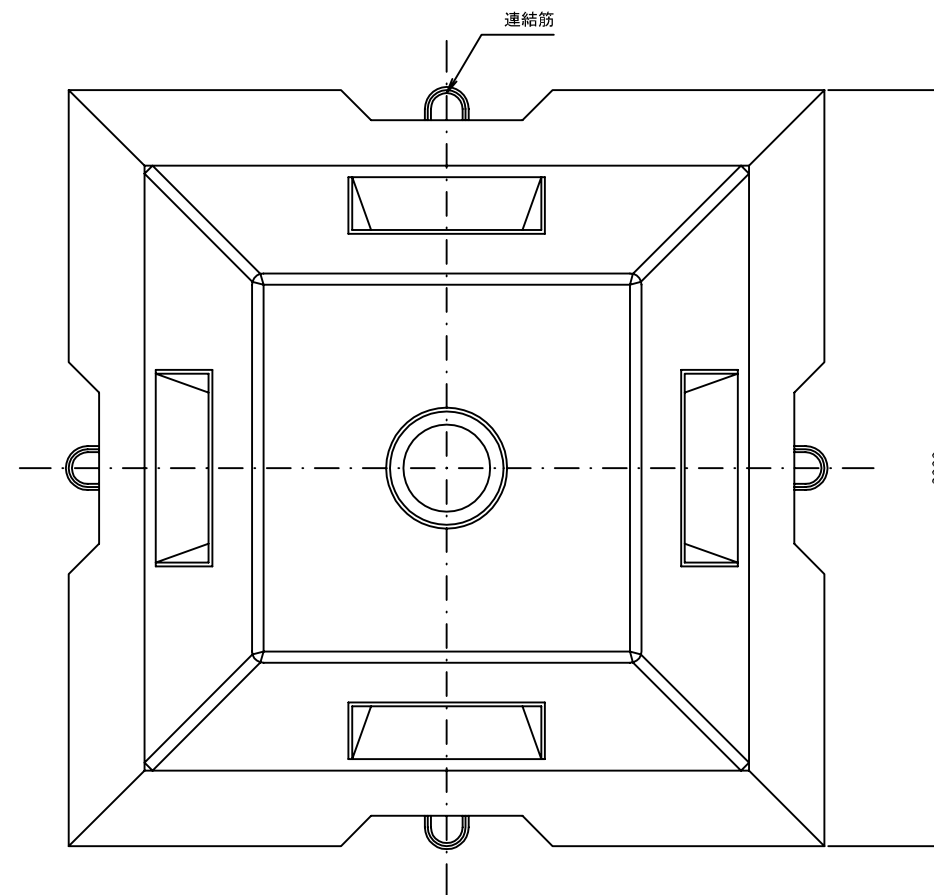


断面図

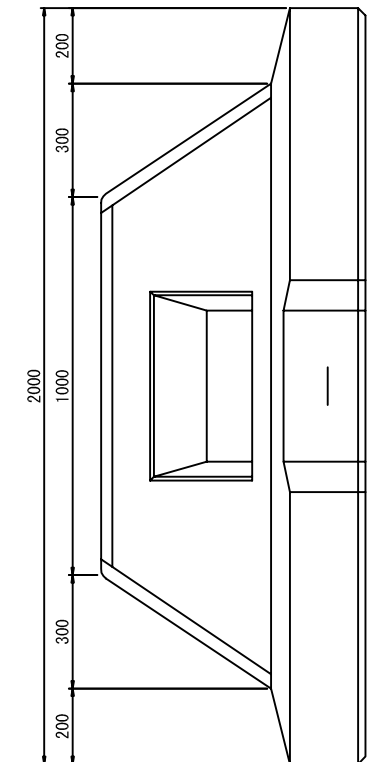


2T型 2010kg

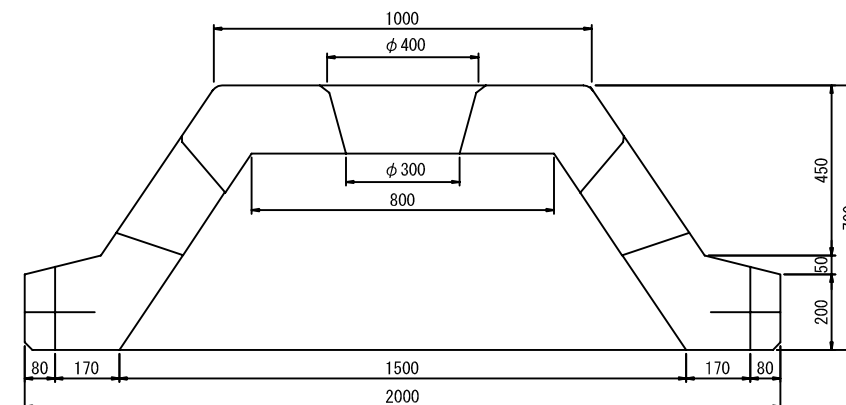
平面図



側面図



断面図



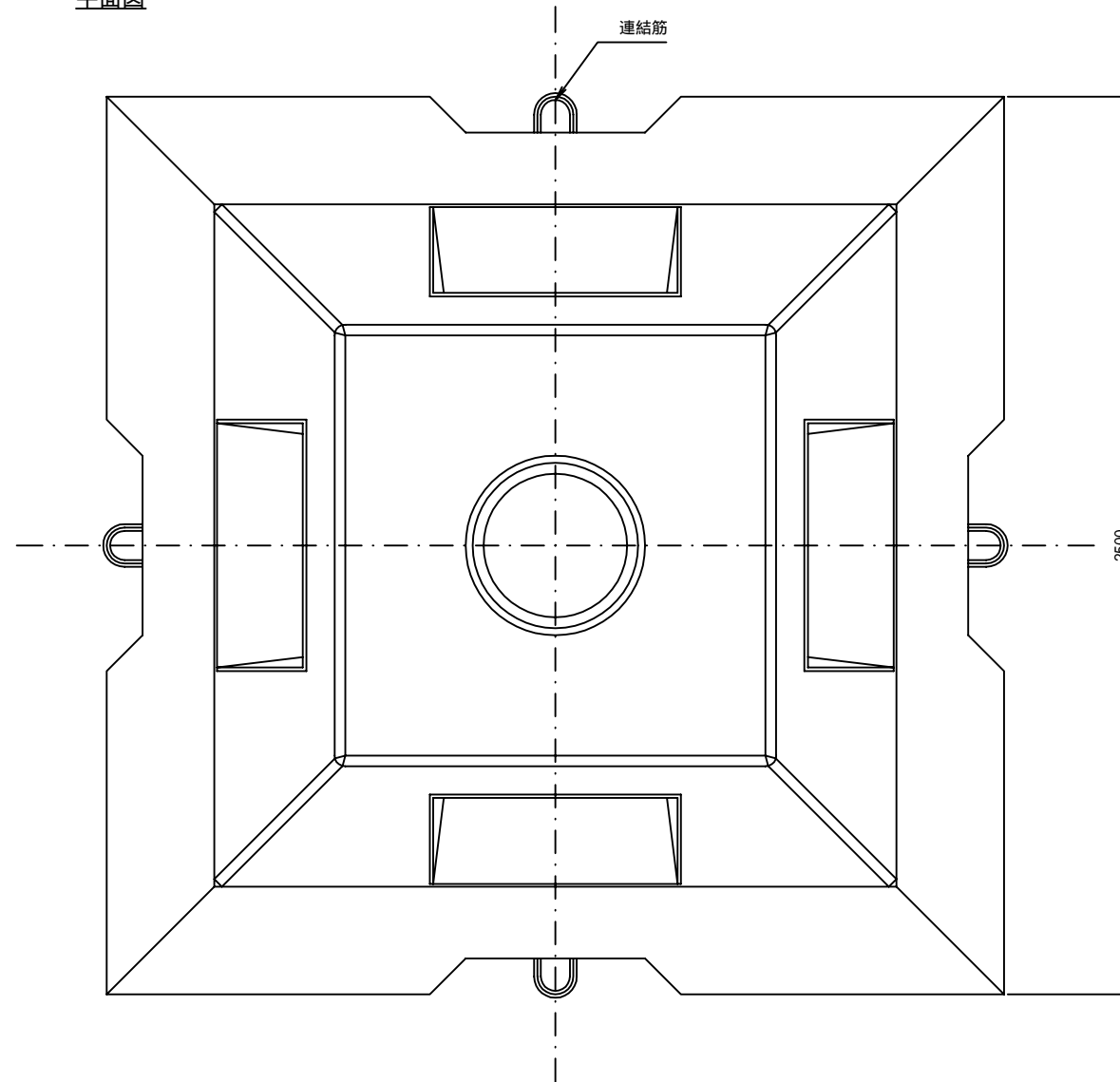
製品名	スクエア 1T型・2T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランドス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

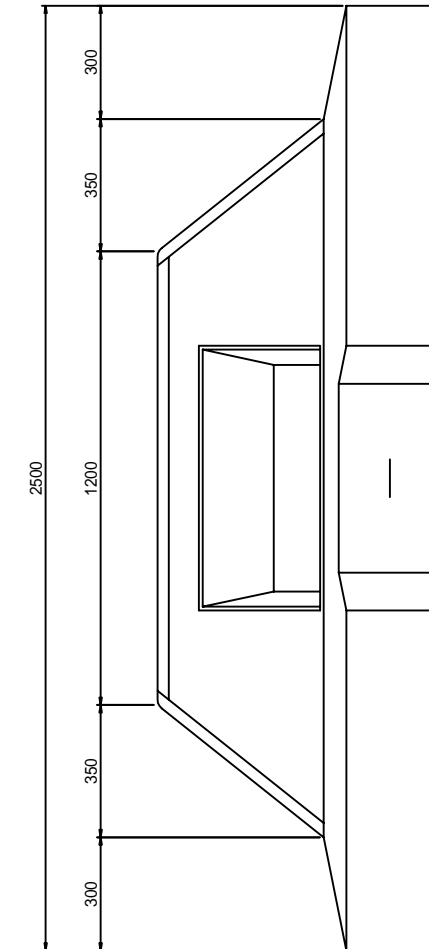
スクエア 製品図

3 T型 3260kg

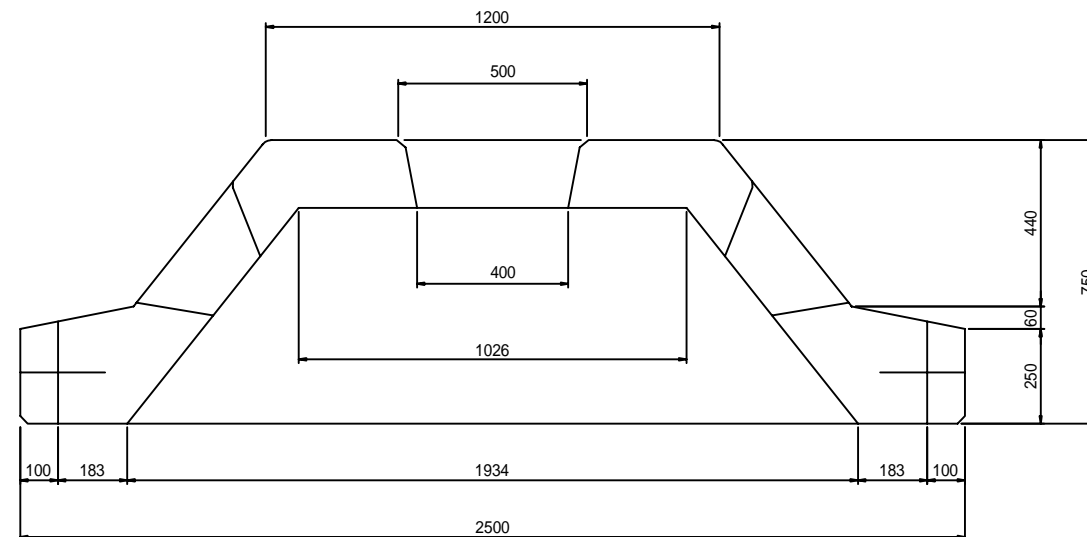
平面図



側面図



断面図



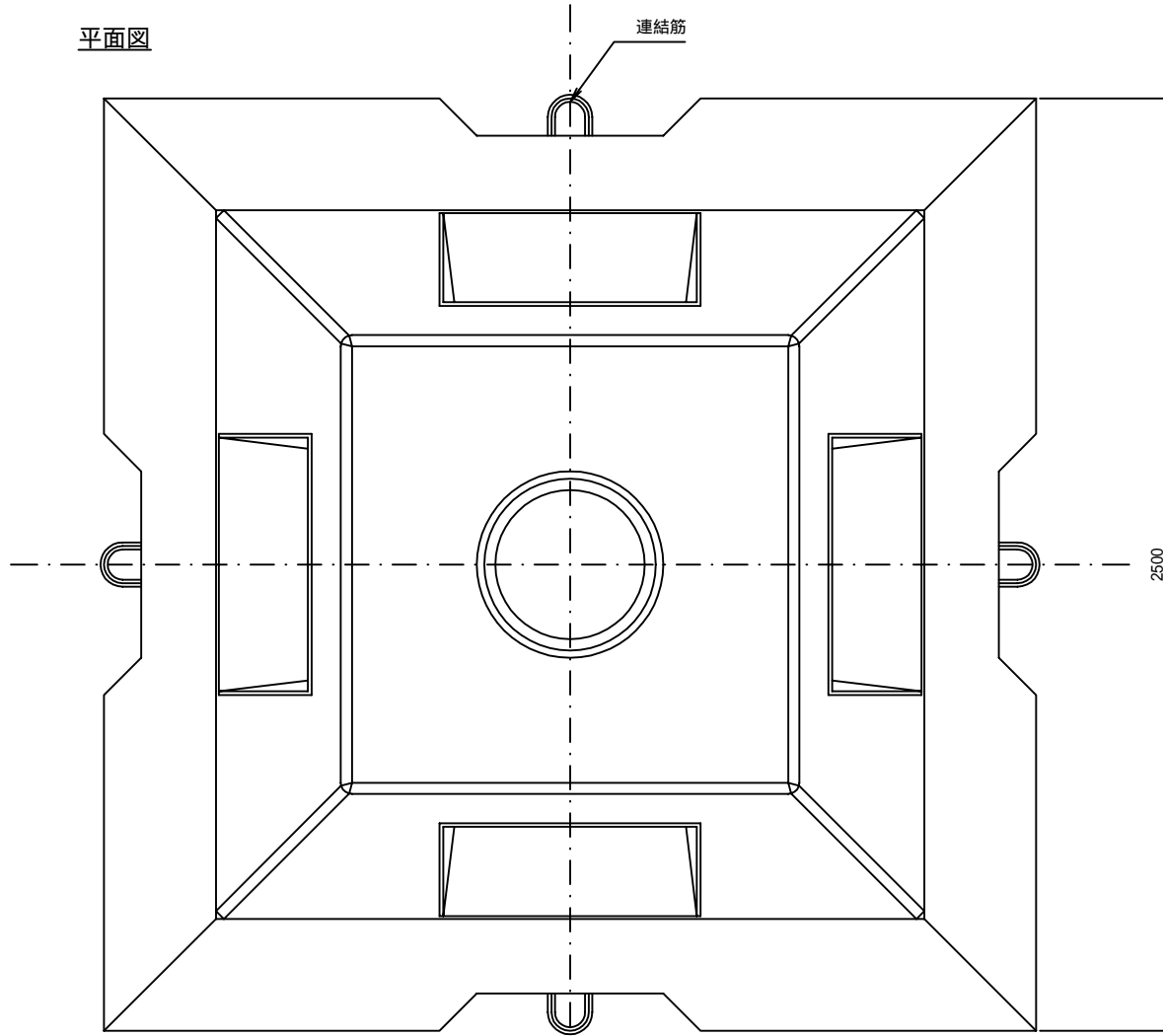
予告なく形状変更する場合があります。

製品名	スクエア 3 T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

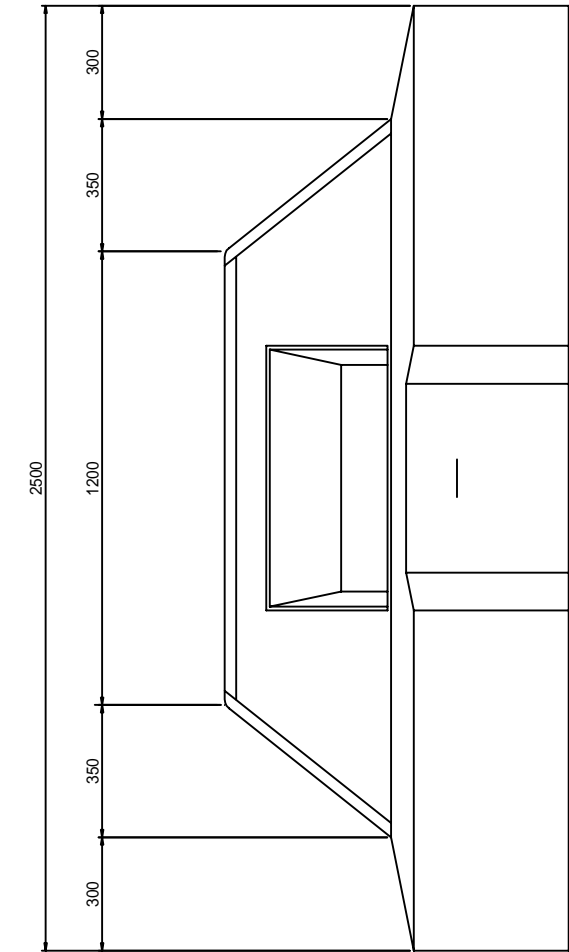
スクエア 製品図

4T型 4120kg

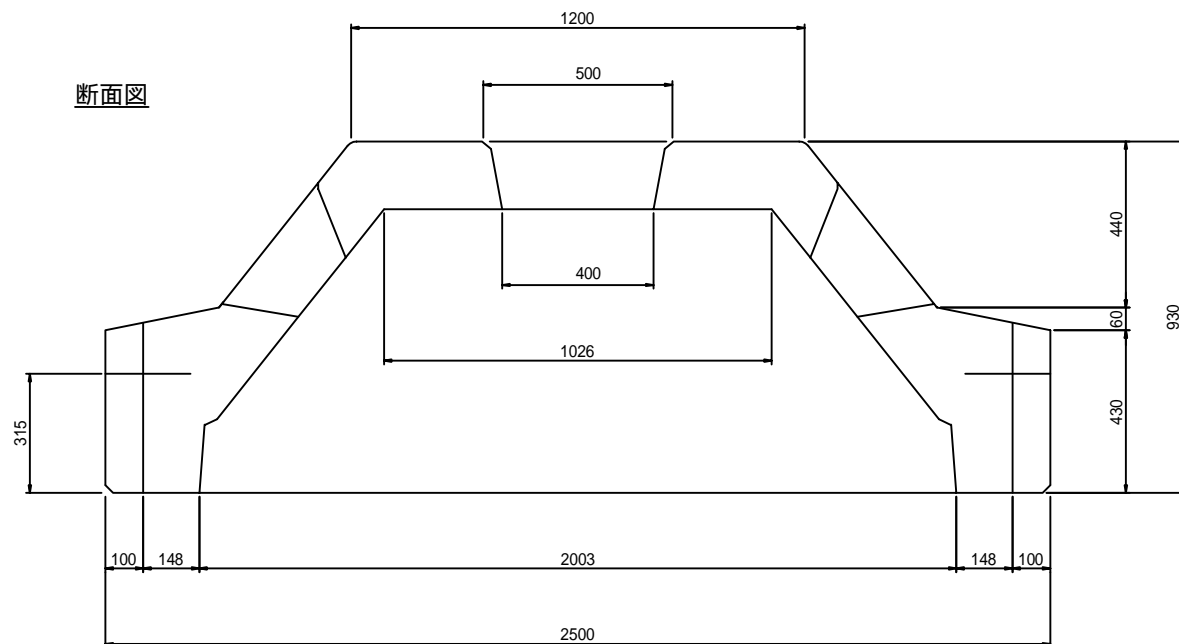
平面図



側面図



断面図



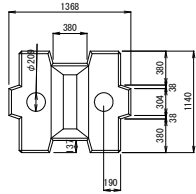
予告なく形状変更する場合があります。

製品名	スクエア 4T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

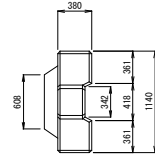
ストーンブロック1t突型 単体図 S=1:30

標準型

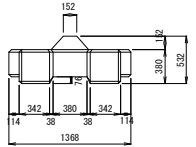
平面図



側面図

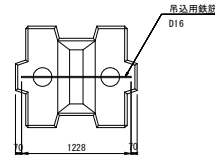


正面図

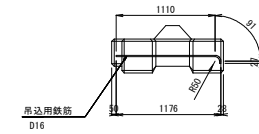
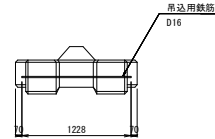
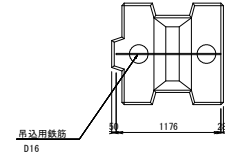


吊込用鉄筋詳細図

標準型



端部型

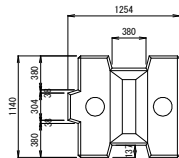


■吊鉄筋数量表

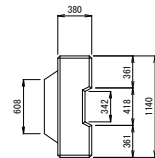
鉄筋の種類	径 (mm)	鉄筋長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
異形	16	1.228	1.56	1.92

端部型

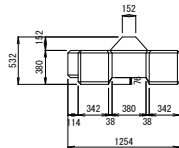
平面図



側面図



正面図



■数量表

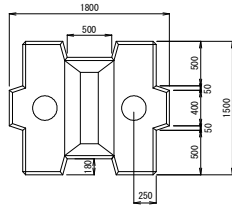
規格	種類	質量 (t)	コンクリート体積 (m ³)	張砂面積 (m ²)	吊筋質量 (kg)
1t突型	標準型	0.99	0.434	3.90	1.92
	端部型	0.97	0.423	3.82	1.92

年度	図面番号	/
河川名		
工事名		
所属地名		
図面名	ストーンブロック1t突型 単体図	
縮尺		作成年月
大阪府富田林土木事務所		

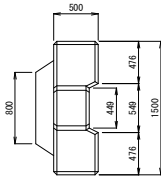
ストーンブロック2t突型 単体図 S=1:30

標準型

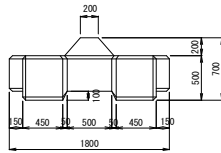
平面図



側面図

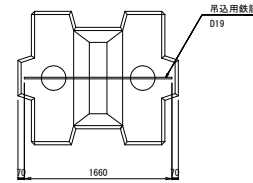


正面図

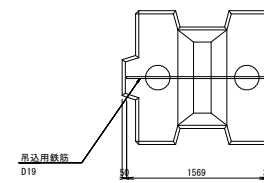


吊込用鉄筋詳細図

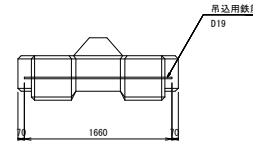
標準型



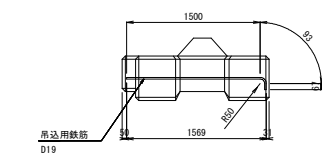
端部型



標準型



端部型

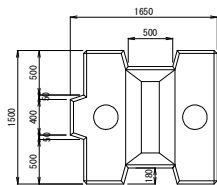


■吊込用鉄筋数量表

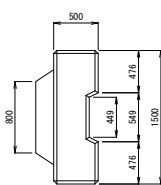
鉄筋の種類	径 (mm)	鉄筋長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
異形	19	1.660	2.25	3.74

端部型

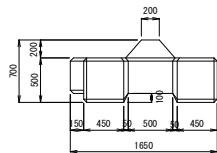
平面図



側面図



正面図



■数量表

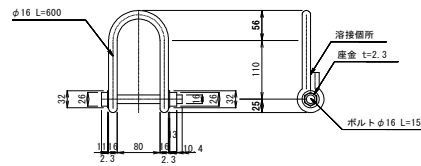
規格	種類	質量 (t)	コンクリート体積 (m3)	型枠面積 (m2)	吊路質量 (kg)
2t突型	標準型	2.24	0.977	7.01	3.74
	端部型	2.18	0.950	6.86	3.74

年度	図面番号	/
河川名		
工事名		
所属地名		
図面名	ストーンブロック2t突型 単体図	
縮尺	S=1:30	作成年月
大阪府富田林土木事務所		

ストーンブロック用連結金具詳細図 φ16

※突型・平型とも連結方法は同じです
 ※端部型は挿入鉄筋の本数は3本となります

●連結金具詳細図 S=1:5

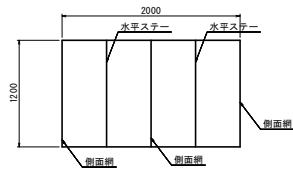


工事名			
図面名	ストーンブロック 用連結金具詳細図φ16		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	/
会社名			
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

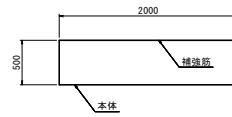
ハーパーマットKM型 単体図

S=1:30

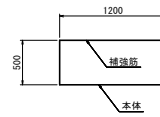
平面図



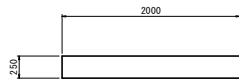
正面図



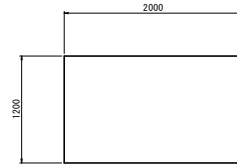
側面図



中下段用蓋平面図



上段用蓋平面図



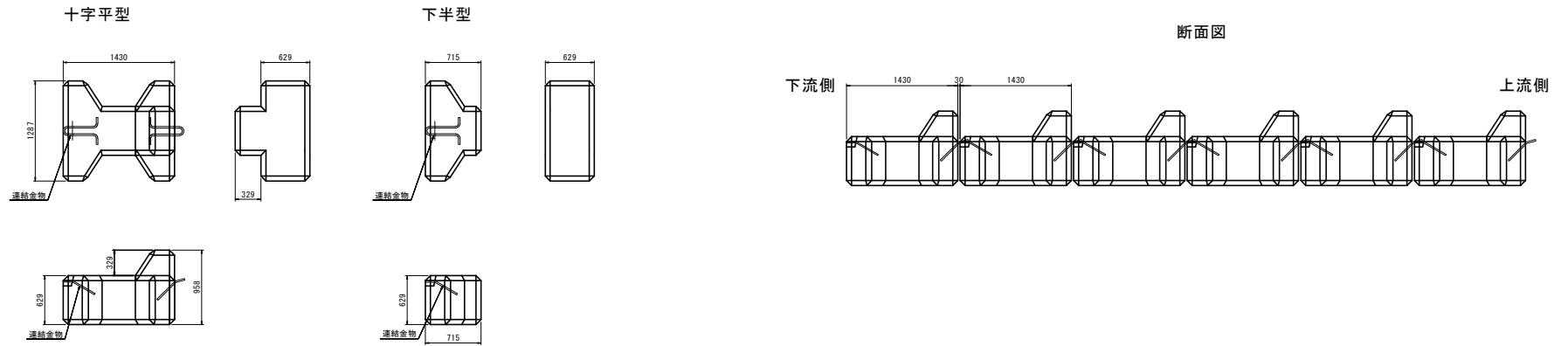
部材規格 単位mm

部材名	線径(網目)	仕様
本体・側面網	φ5×100×150	亜鉛アルミ合金先めつき溶接金網
上蓋	φ5×100×150	付着量300g/m ² 以上 アルミ含有量10%以上
補強筋	φ6	
ステー	φ6	亜鉛アルミ合金先めつき鉄線
	φ5	付着量300g/m ² 以上
コイル	L=500mm	アルミ含有量10%以上

※本体と側面網および蓋の連結はコイルで行う
※ステーでゆがみを防止する

アクモン (十字平型・下半型)

S=1:30

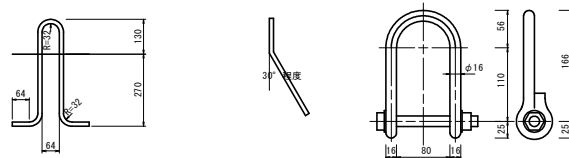


アクモン (連結金具)

U2金具
Φ16、L=990mm、W=1.565kg

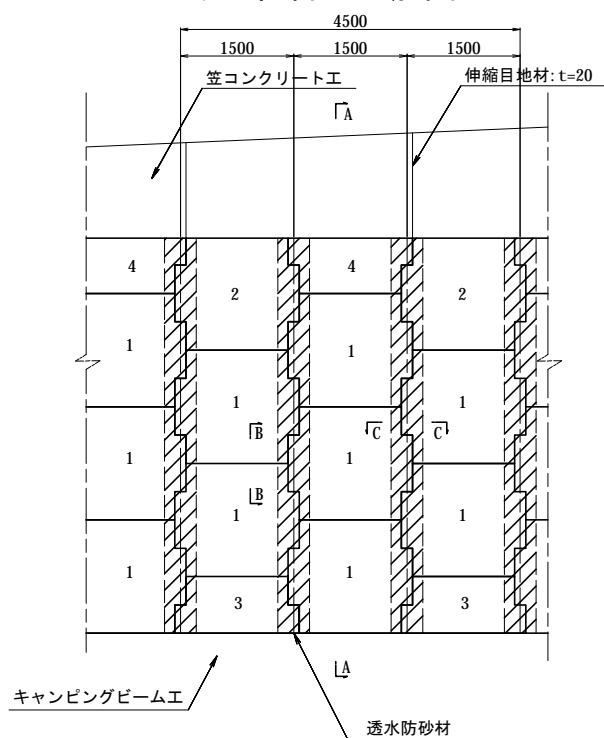
S=1:10

シャックル
Φ16 S=1:4

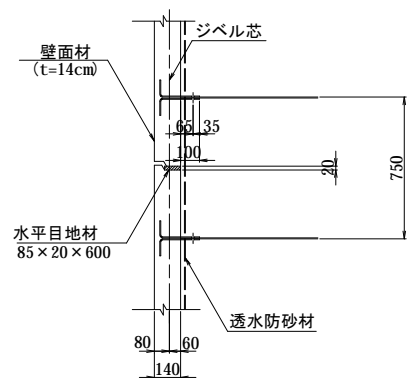


2号帯鋼補強土壁工構造図 (1)

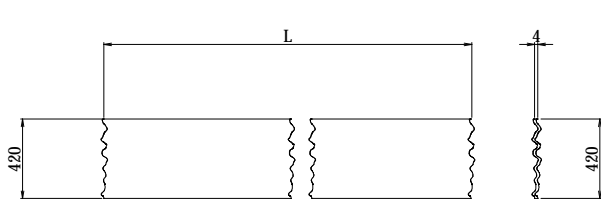
スキン組合せ一般図 S=1:50



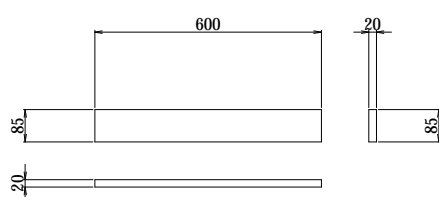
B-B断面図 S=1:20



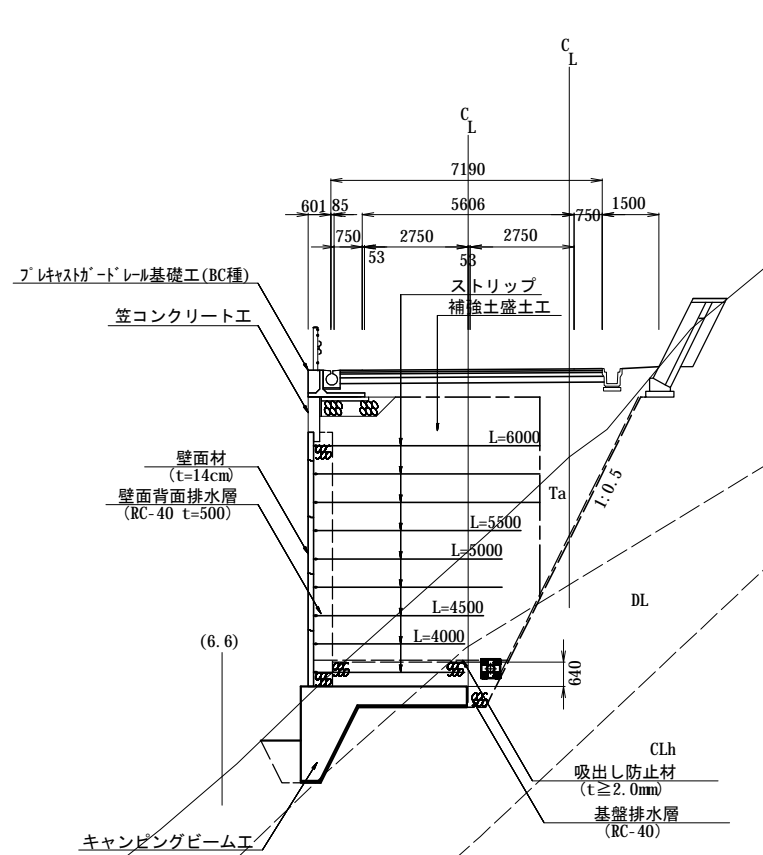
透水防砂材 S=1:20



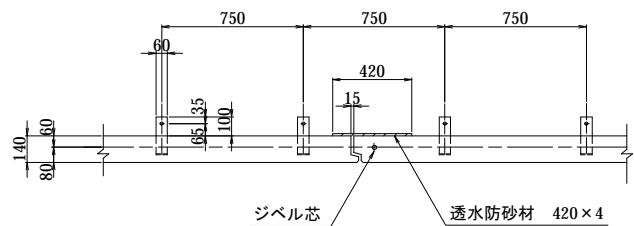
水平目地材 S=1:10



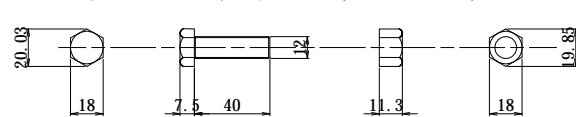
A-A断面図 S=1:100



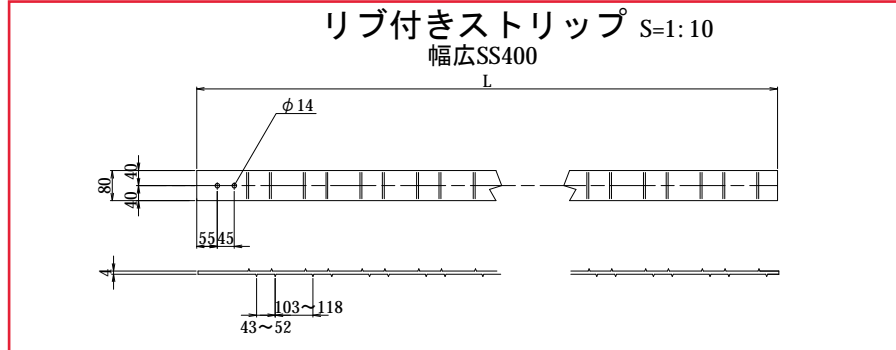
C-C断面図 S=1:20



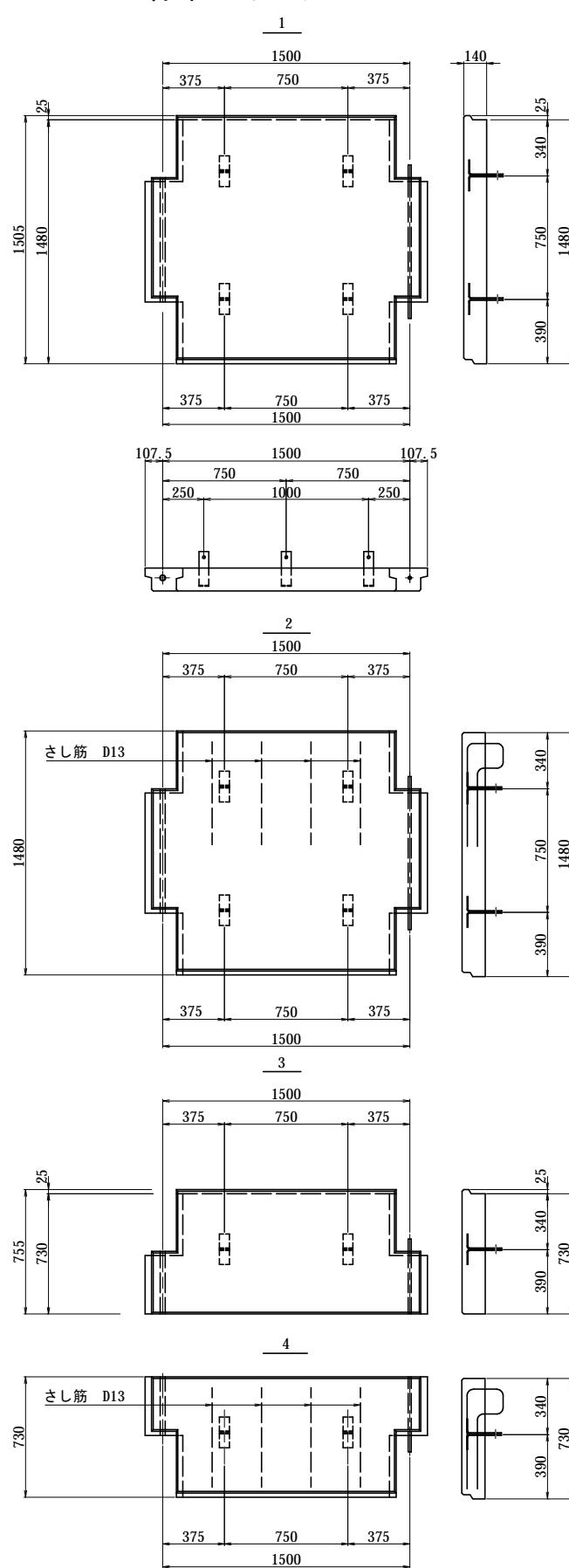
ボルト・ナット (M12×40) S=1:2



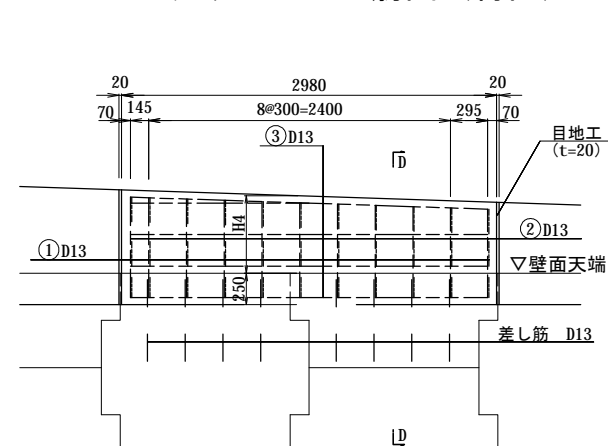
リブ付きストリップ S=1:10



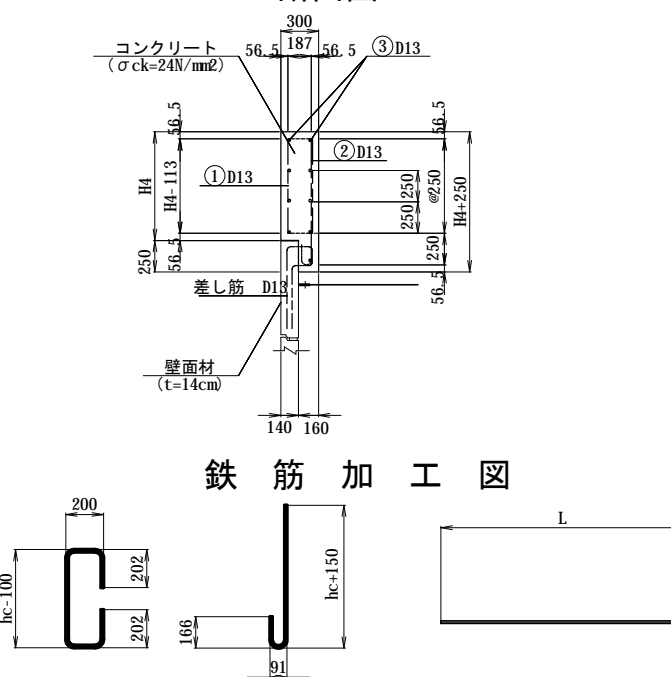
標準スキンタイプ S=1:20



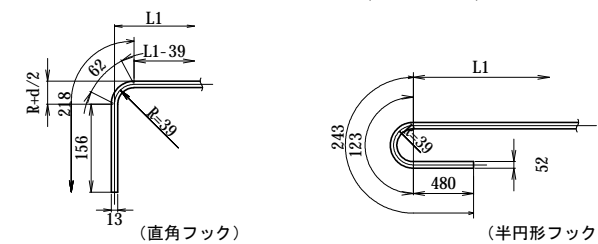
笠コンクリート工配筋図 (背面) S=1:30



D-D断面図



鉄筋加工図 (参考図)

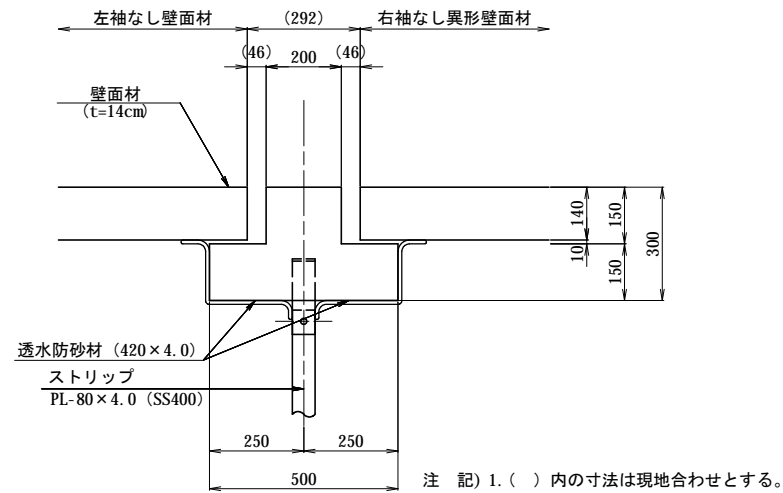


- ① D13 × (hc+587)
- ② D13 × (hc+348)
- ③ D13 × L

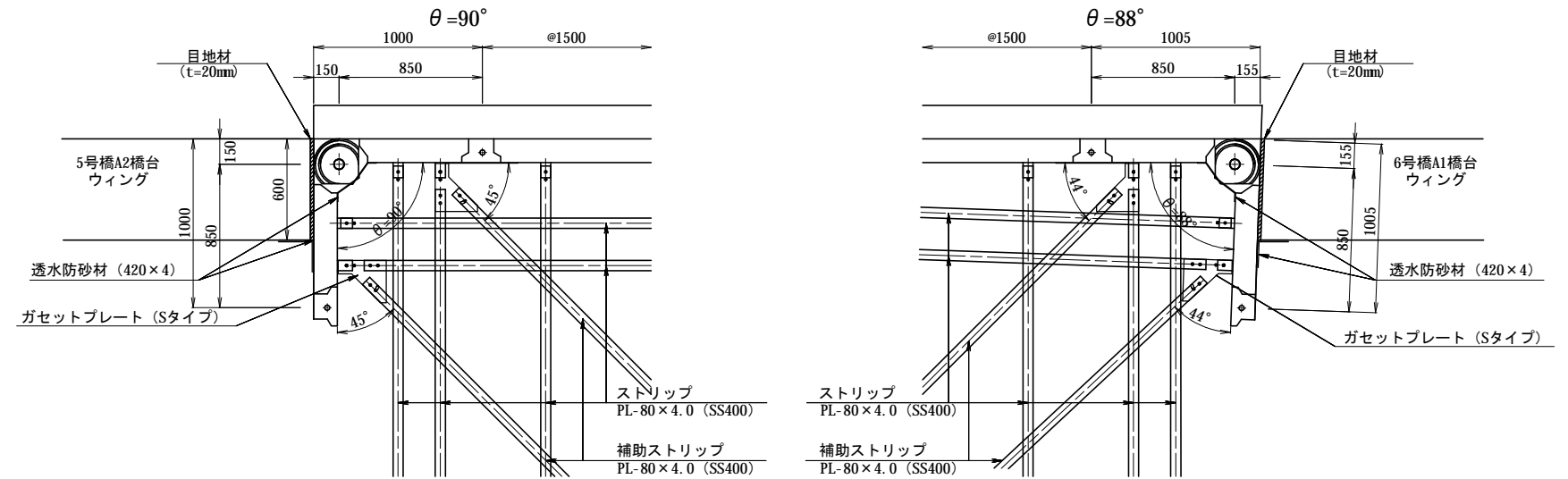
補強土壁詳細設計			
平成 28 年度	図面番号	16 / 27	
河川名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託		
施工地名	茨木市大字生保地内 外		
図面名	2号帯鋼補強土壁工構造図 (1)	縮尺	図示
大阪府安威川ダム建設事務所			

2号帯鋼補強土壁工構造図 (2)

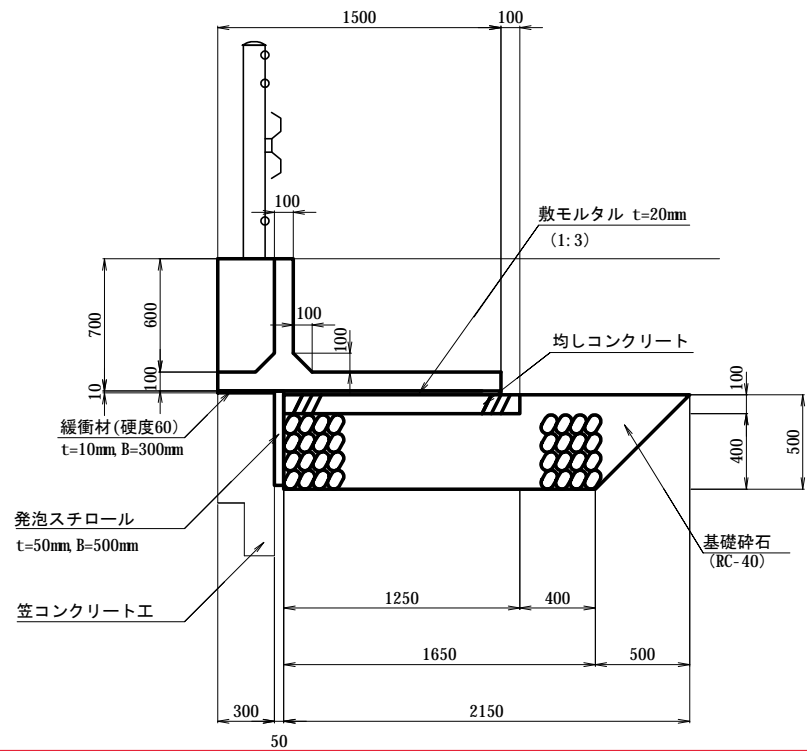
鉛直目地材用壁面材詳細図 S=1:10



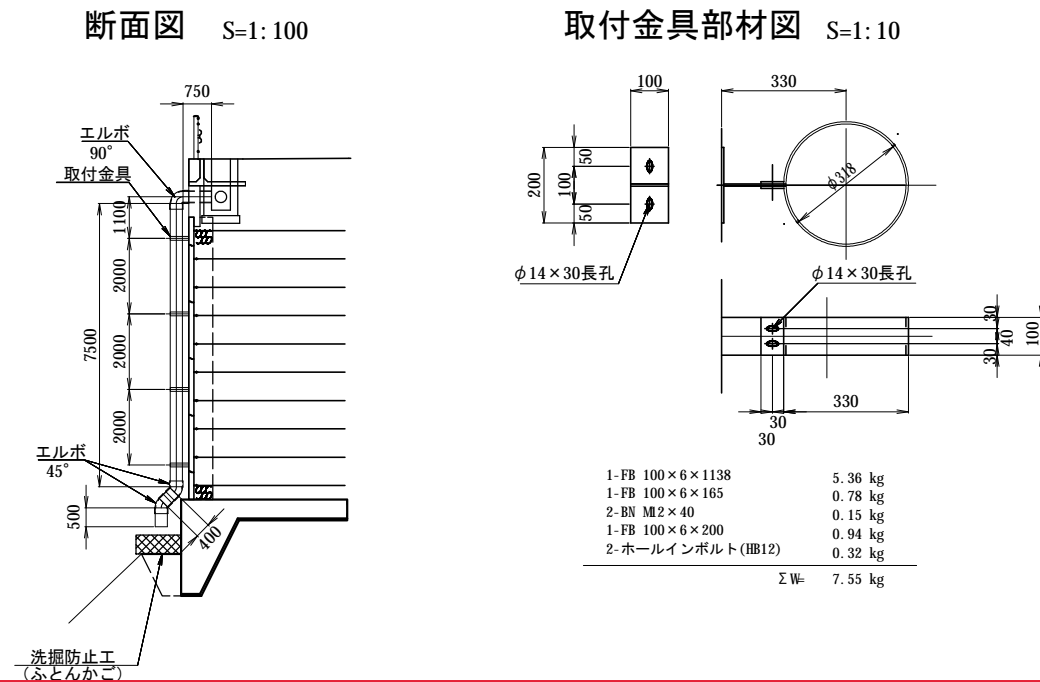
コーナー壁面材詳細図 S=1:20



プレキャストガードレール基礎工詳細図 S=1:20



縦排水工詳細図



寸法・材料表		材料表 (10m当り)						防護柵種別 B, C種
ブロック長	基礎ブロック (本)	均しコンクリート (m3)	均しコンクリート 型枠 (m2)	基礎砕石 (m3)	緩衝材 (m2)	発泡スチロール (m3)	レキ青繊維質板 (m2)	
		σ _{ck} =18N/mm ²		RC-40	t=10mm, B=300mm	t=50mm, B=500mm	t=10mm	
2000	5.0	1.25	1.00	8.25	3.00	0.25	0.22	

数量表		1式当り		
名称	規格	単位	縦排水管	摘要
直管	VP φ300	m	9.2	0.75+7.50+0.40+0.50
90° エルボ	VP φ300用	個	1	
45° エルボ	"	個	2	
取付金具	"	kg	30.2	4箇所
ふとんかご	高50cm×幅120cm	m	2.0	

*鋼材には全て垂鉛メッキHDZ55を施す

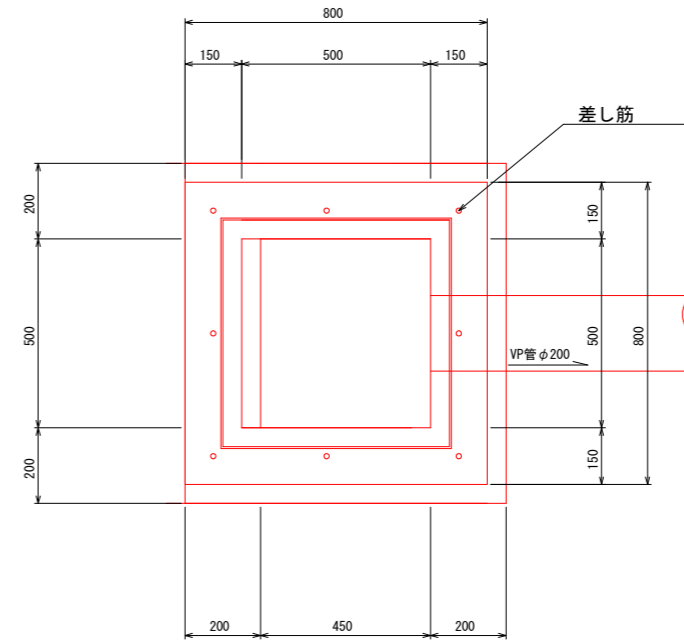
補強土壁詳細設計			
平成 28 年度	図面番号	17 / 27	
河川名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託		
施工地名	茨木市大字生保地内 外		
図面名	2号帯鋼補強土壁工 構造図 (2)	縮尺	図示
大阪府安威川ダム建設事務所			

グレーチング蓋 参考図

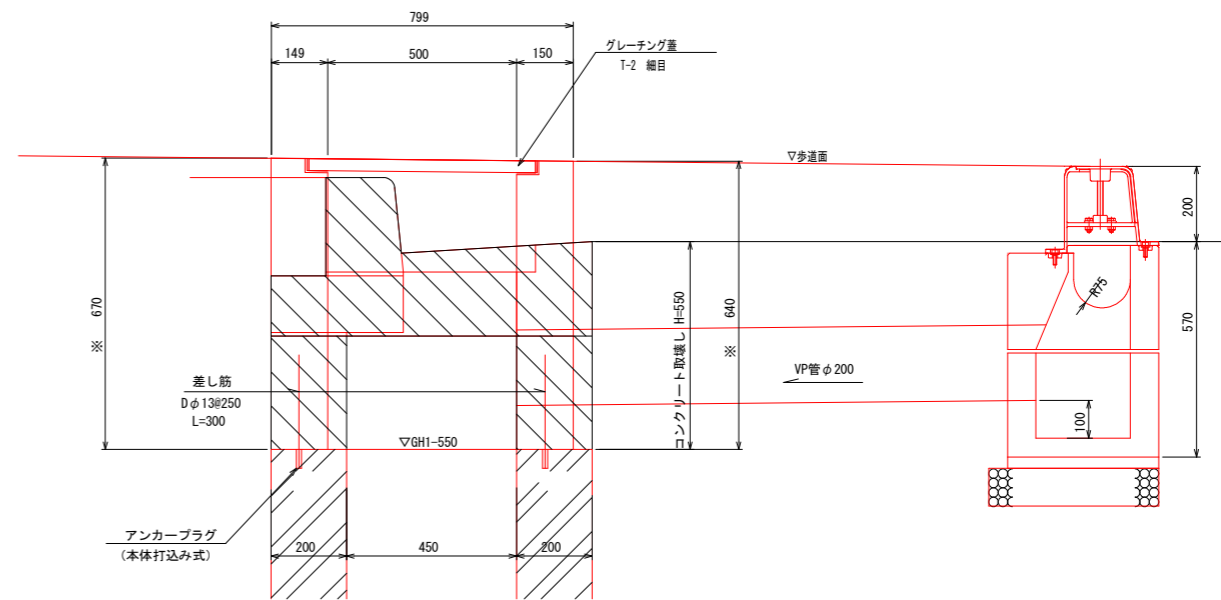
高上げ柵用グレーチング蓋

500×500(T-2) 柵目

平面図



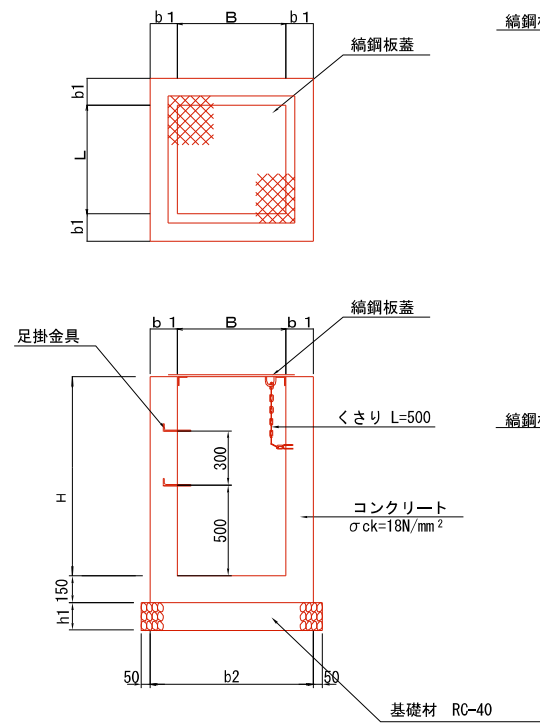
側面図 (参考)



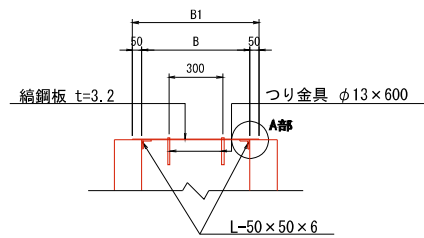
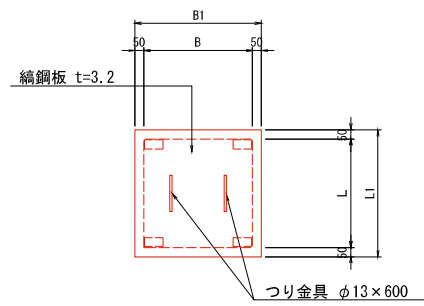
※は参考値(現況及び計画より確認)

排水工構造図(8) S=1:20

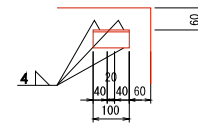
集水桝 G2型



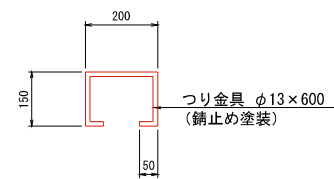
鋼鋼板



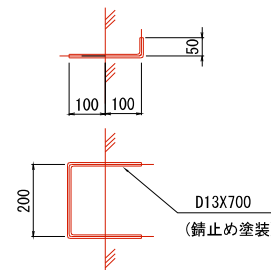
A部詳細図 S=1:10



つり金具 S=1:10



足掛金具 S=1:10

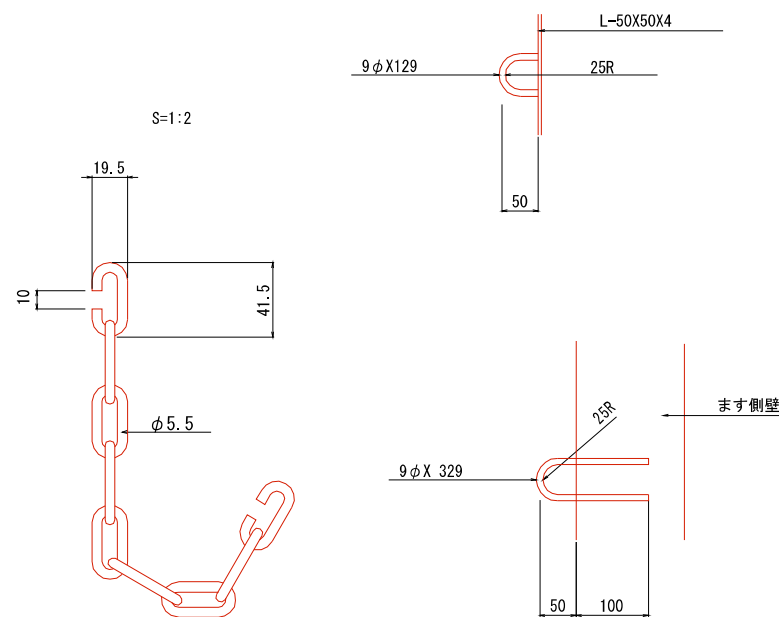


H=1.0m以上に使用

鋼鋼板蓋寸法表

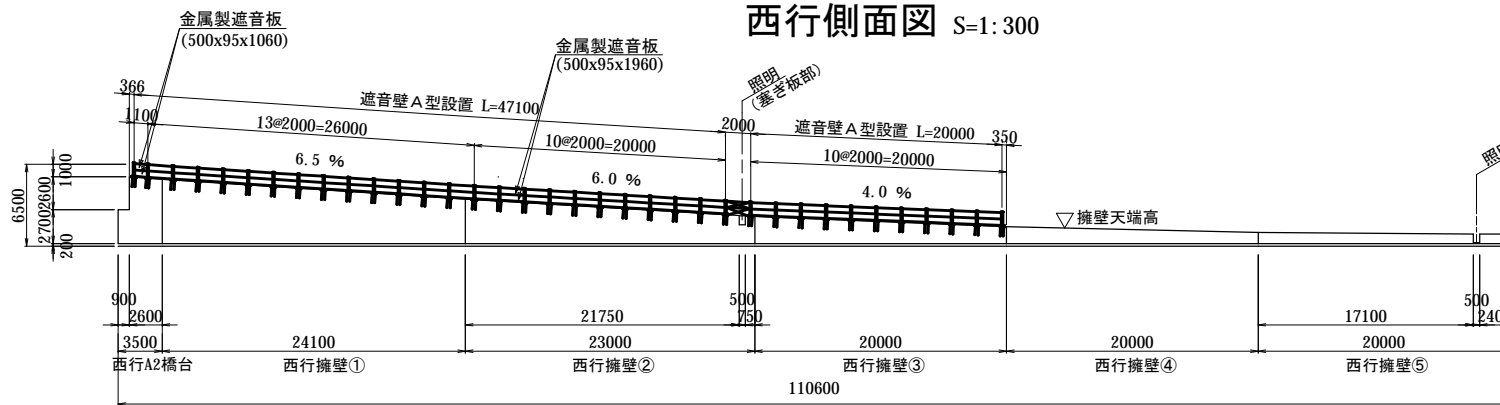
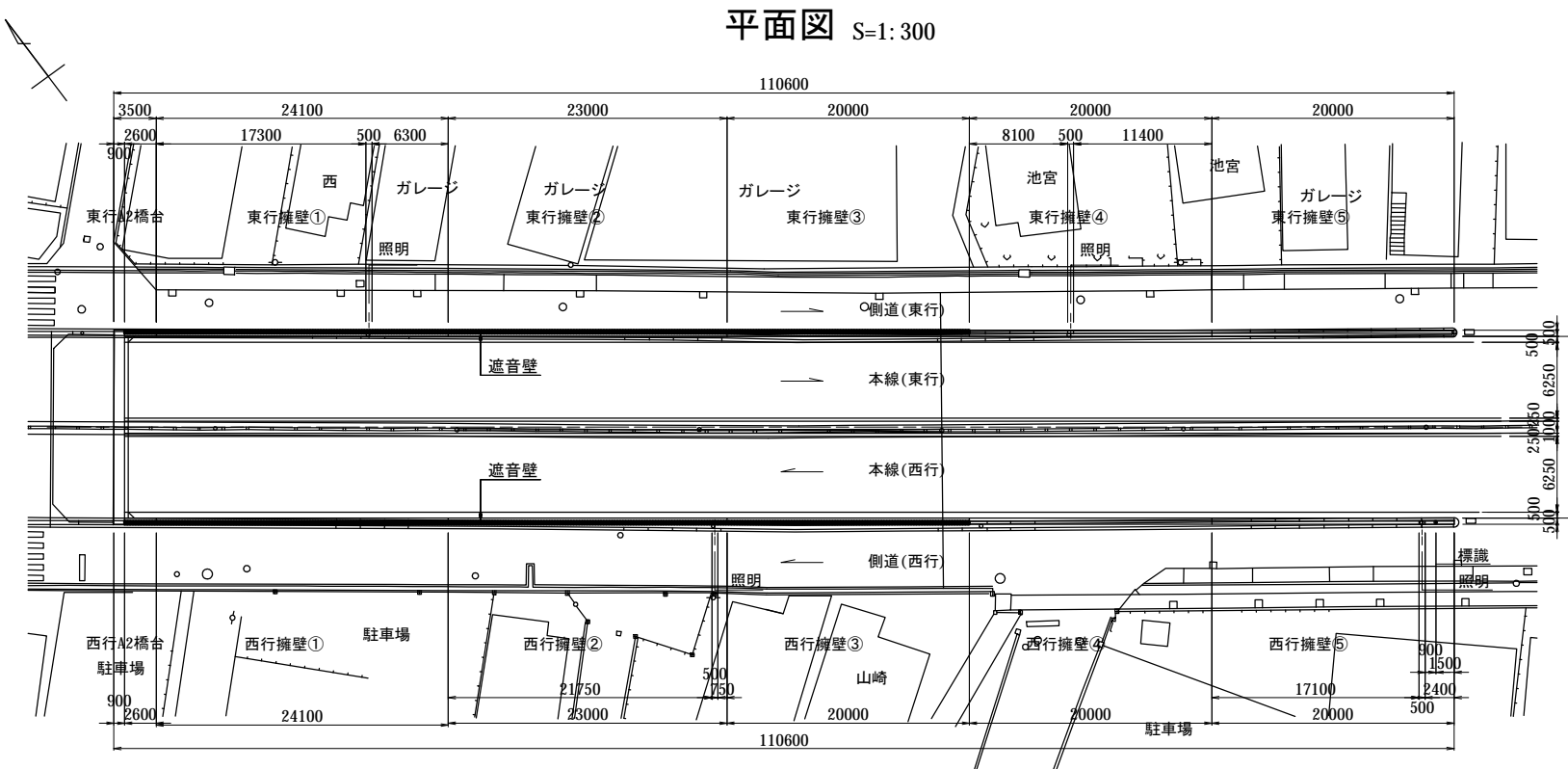
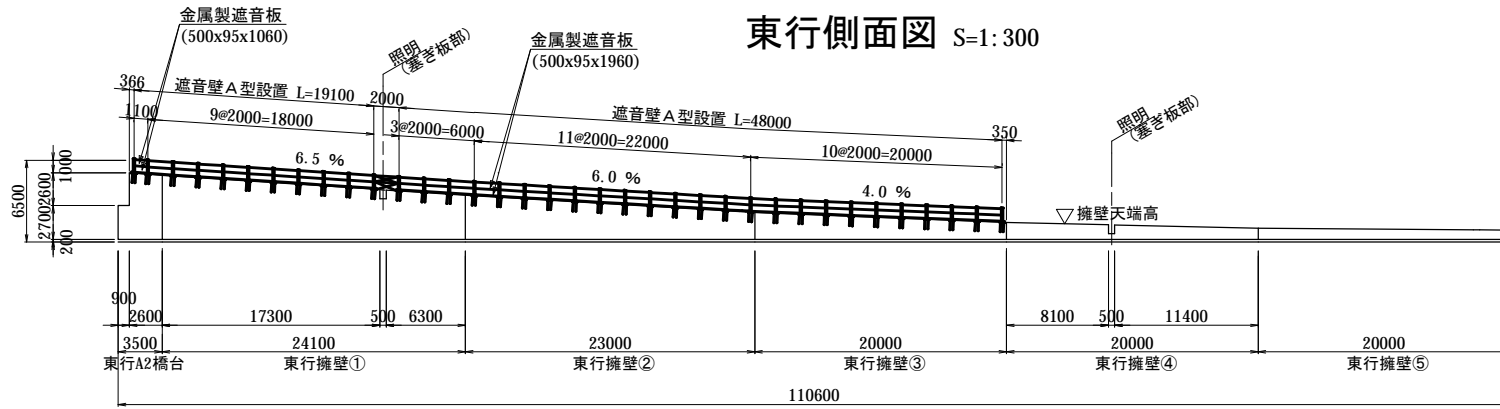
記号 (L-B)	B	L	B1	L1
G2-B500-L500-H	500	500	600	600
G2-B800-L800-H	800	800	900	900

くさりの詳細図 S=1:5



年度	平成29年度	番号	79 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム 左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内 外		
図面名	排水工構造図(8)		
縮尺	1:20	作成年月	平成30年3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

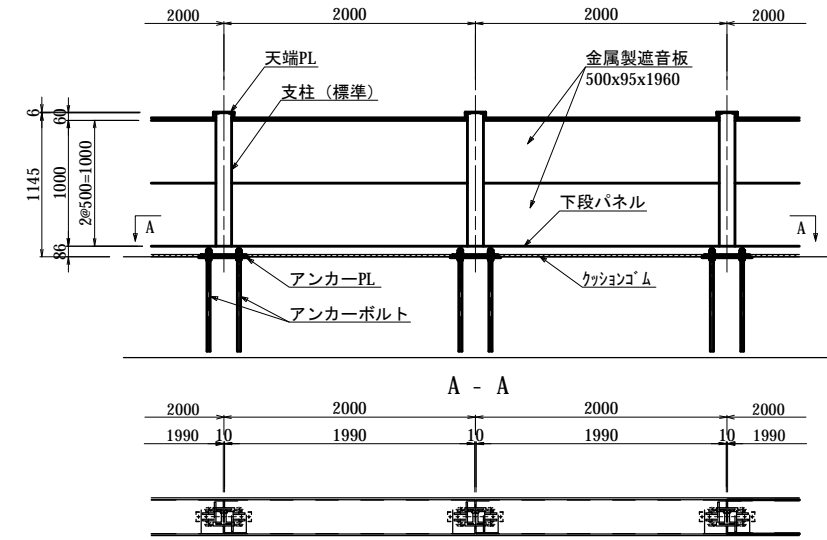
補修図【遮音壁設置工】



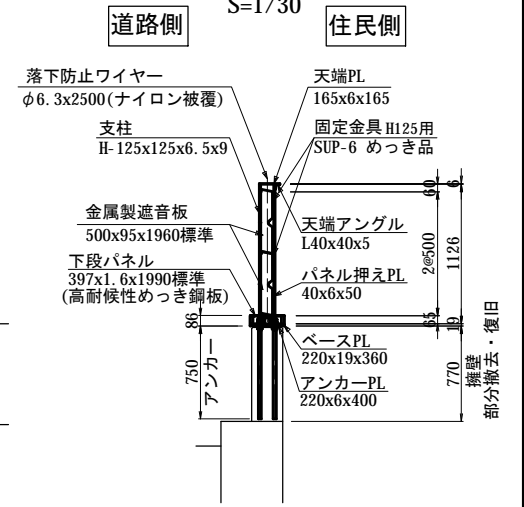
遮音壁設置工 (1橋当り)

名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
設置延長		m	134.2	
遮音板設置工	2-500x95x1960 (標準)	枚	132	
	2-500x95x1060 (端尺)	枚	4	
		m ²	129.4	
		m ²	2.1	

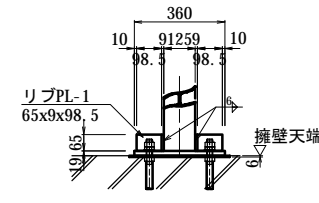
正面図 S=1/30



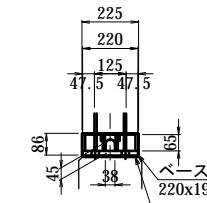
遮音壁 A型(H=1.0m)構造図 断面図 S=1/30



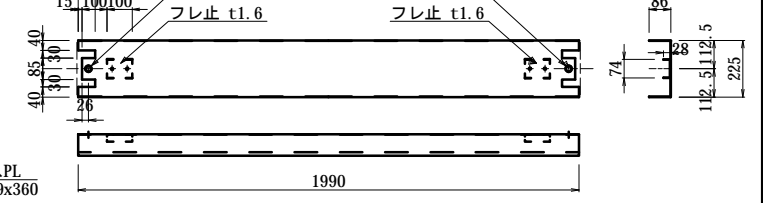
ベースPL(標準支柱) S=1/15



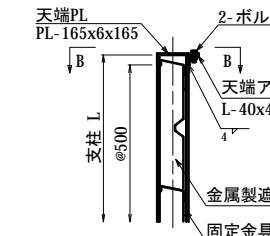
下段取付詳細図 S=1/15



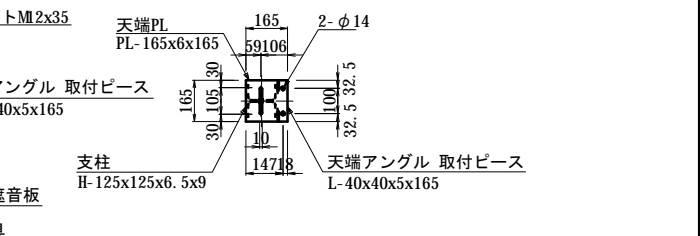
下段パネル詳細図 S=1/15



支柱頭部詳細図 S=1/15



B-B



国土交通省 遮音壁 A型(H=1.0m) (1橋当り)

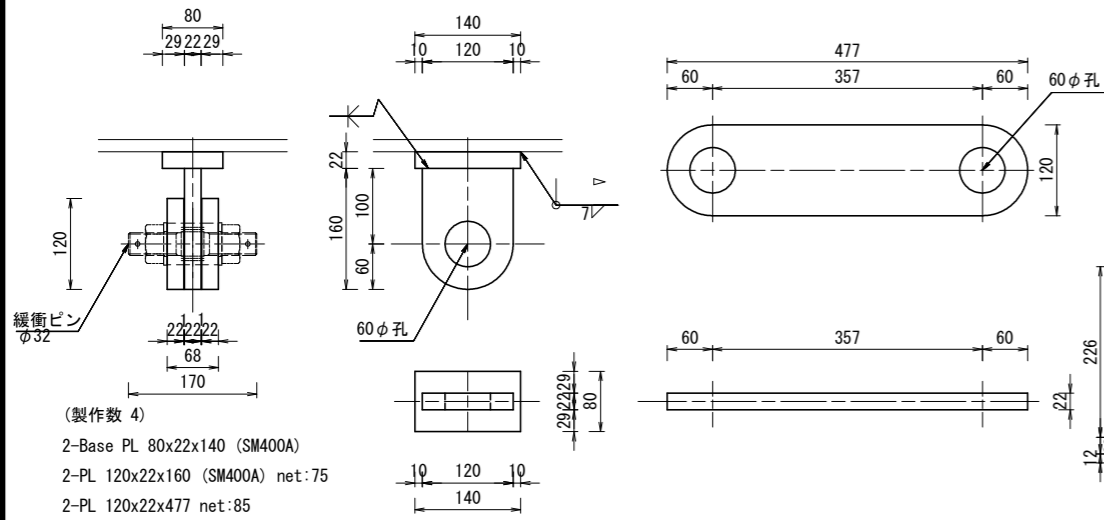
部材名称	種類	規格寸法	長さ	数量	単位質量	質量	材質・表面処理
支柱	H	125×125×6.5×9	1126	72	23.6 kg/m	1913.3	SS400 HDZ-55
						1913.3	kg
支柱取付部	PL	220×19	360	72	149.2 kg/m ²	850.8	SS400 HDZ-55
	"	220×6	400	72	47.1 kg/m ²	298.4	"
	"	65×9	98.5	288	70.65 kg/m ²	130.3	"
	"	65×9	200	144	70.65 kg/m ²	132.3	"
	アンカーボルト	D25 (ネジ部M2)	810	288	3.98 kg/m	928.5	SD345 HDZ-35
ナット	M22 トリアナット	-	288	0.256 kg/組	73.7	SS400 HDZ-35	
						2414.0	kg
下段パネル	PL	397×1.6(標準)	1990	66	12.56 kg/m ²	654.9	高耐候性めっき鋼板
	"	397×1.6(端尺)	1090	2	12.56 kg/m ²	10.9	"
	"	397×1.6	100	136	12.56 kg/m ²	22.2	"
						688.0	kg
支柱頭部	PL	165×6	165	72	47.1 kg/m ²	92.3	SS400 HDZ-55
	L	40×40×5	165	72	2.95 kg/m	35.0	"
	BN	M2	35	144	0.073 kg/組	10.5	SS400 HDZ-35
						137.8	kg
遮音板	金属板	500×95(標準)	1960	132	30 kg/m ²	3880.8	アイボルト付き、勾配用
	"	500×95(端尺)	1060	4	30 kg/m ²	63.6	"
						3944.4	kg
落下防止ワイヤ		φ6.3 6x19G/0	2500	72			黒ナイロン被覆
クッションゴム	ゴム板	150×20(標準)	1675	66			
		150×20(端尺)	775	2			

- 注) 1. 施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。
 2. 土木工事標準設計図集(A型)をベースに作成。アンカー筋の長さ等は遮音壁タイプに合わせて変更のこと。
 3. 遮音壁アンカー筋と壁高欄主筋が重ならないように支柱位置を決定すること。
 4. 鋼材の表面仕上げは溶融亜鉛メッキとし、JIS H8641 HDZ55とする。
 5. ボルト・ナット及び座金の表面仕上げは溶融亜鉛メッキとし、JIS H8641 HDZ55とする。

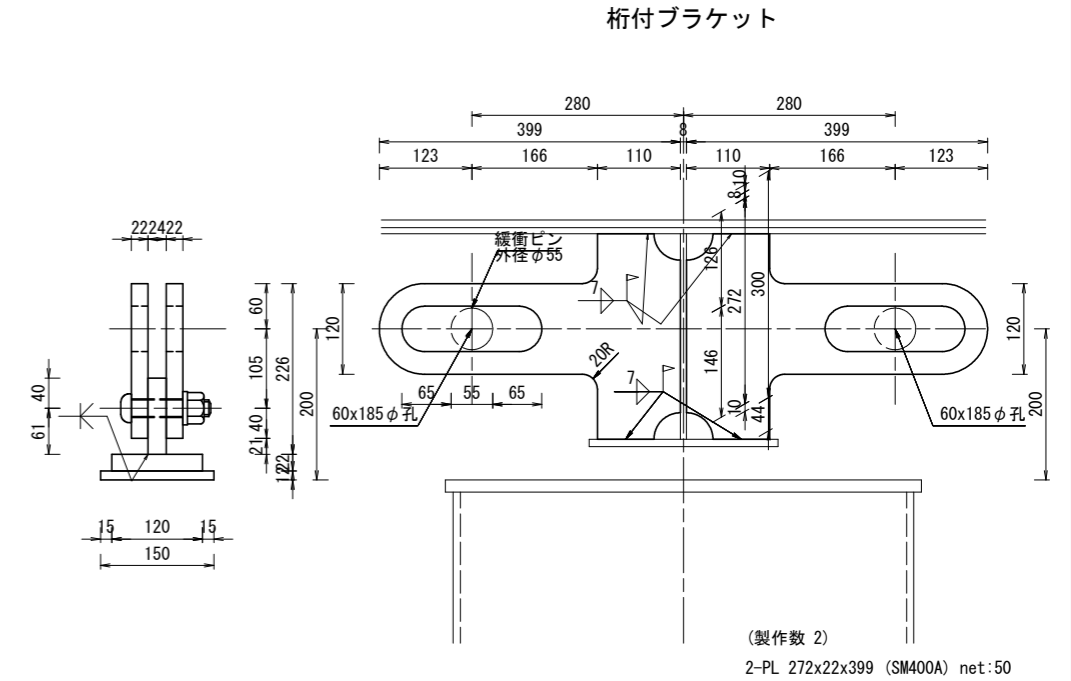
年度	図面番号
路線名	
工事名	
所属地名	
図面名	補修図【遮音壁設置工】
縮尺	図示 作成年月日 R1.5
事務所名	大阪府 岸和田土木事務所

江の木歩道橋 落橋防止構造 (その2) S=1:5

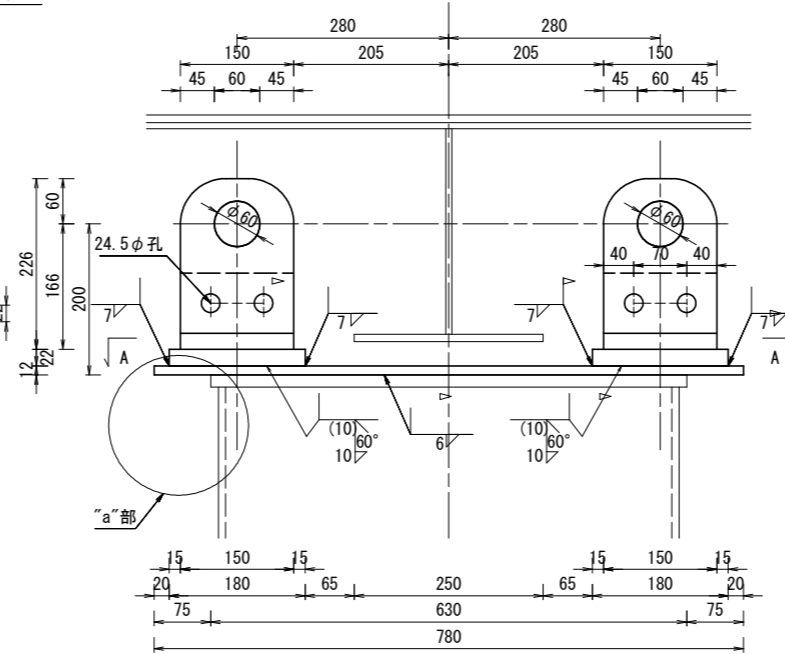
落橋防止装置 type-A



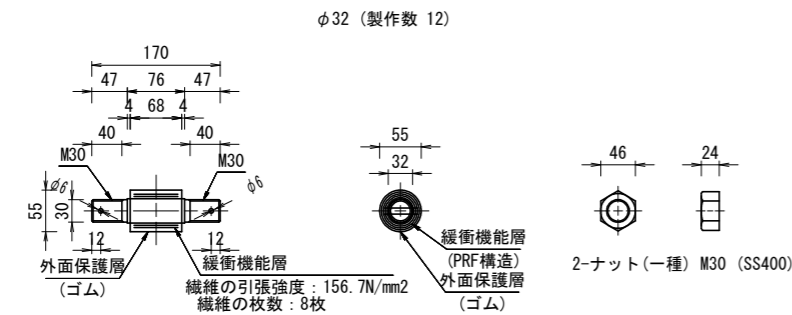
落橋防止装置 type-B



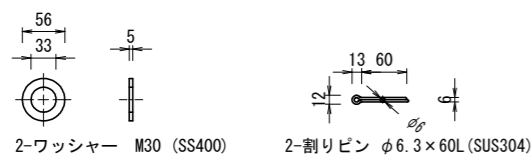
脚付ブラケット



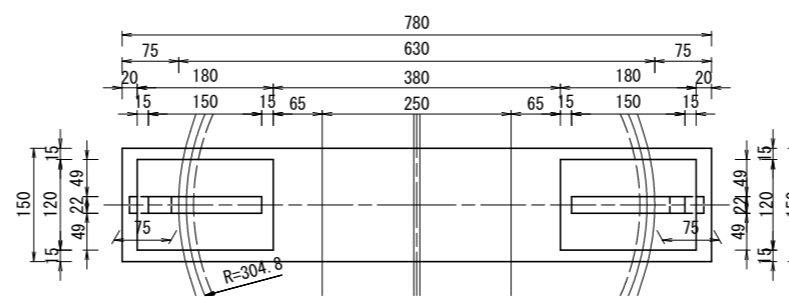
緩衝ピン詳細



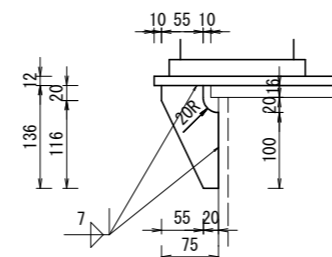
1-緩衝ピン φ32×170L (S45CN)



A - A



"a"部詳細



(製作数 2)

- 1-PL 150x12x780 (SM400A)
- 2-Base PL 120x22x180 (SM400A)
- 4-PL 150x22x205 (SM400A) net:85
- 2-PL 150x24x101 (SM400A) net:95
- 2-PL 75x22x136 (SM400A) net:65
- 4-TCB M22x105 (S10T)

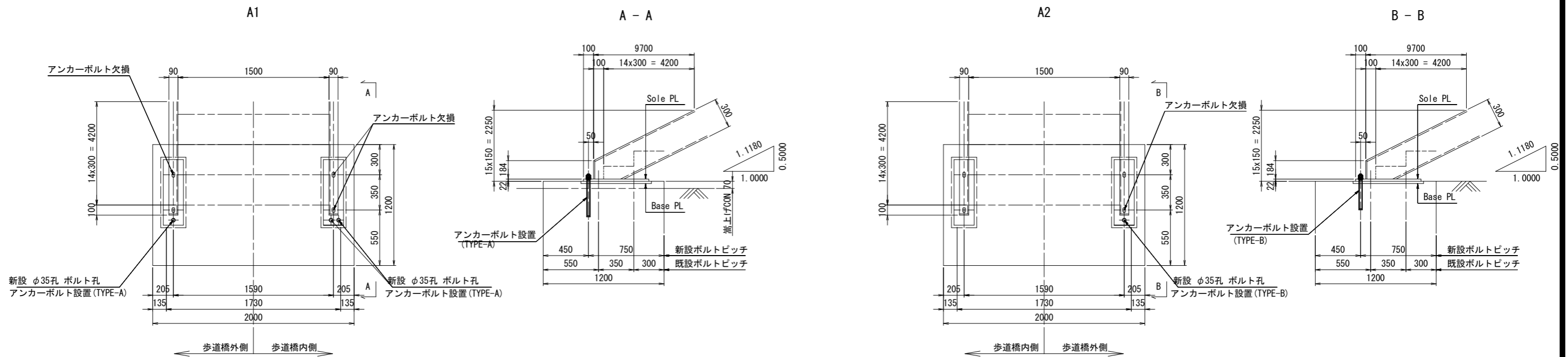
注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 寸法のない開先溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接 (FP) を用いること。部分溶込み溶接 (PP) のルート間隔は全て0mmとする。
4. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は、必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
5. 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。なお、ピン本体と緩衝部は加硫接着したものを使用すること。
6. 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。

平成 29 年度	図面番号	5 / 13
事業名	一般国道423号 江の木歩道橋耐震補強設計委託	
路線名	一般国道423号	
工事名		
施工地名	吹田市江の木町地内	
図面名	落橋防止構造 (その2) 縮尺	1:5
大阪府茨木土木事務所		

江の木歩道橋 階段部支承補強工 S=1:20

A1, A2 階段部



A1 左側

A1 右側

A2 右側

Sole PL 詳細

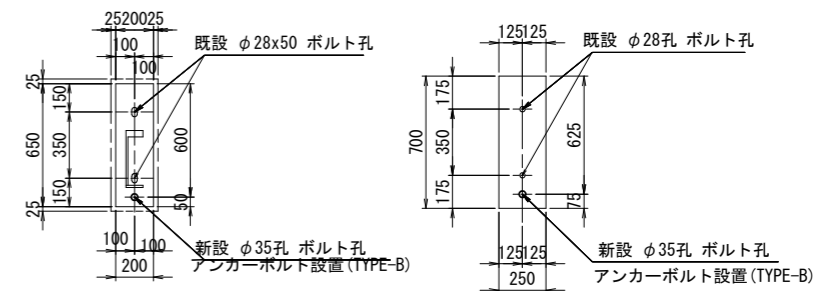
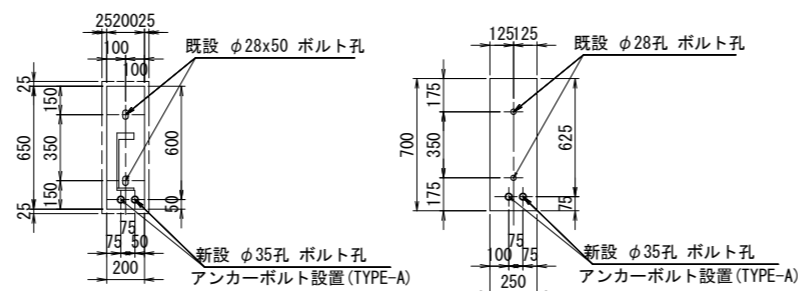
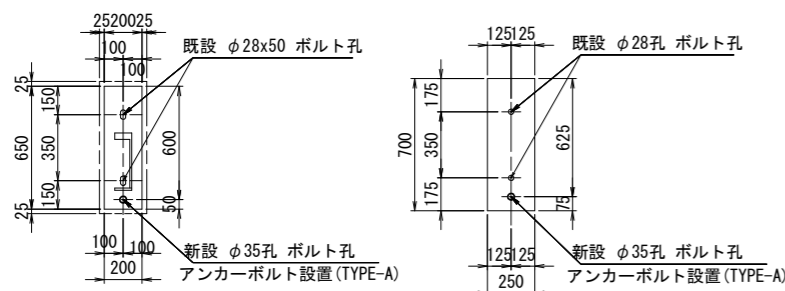
Base PL 詳細

Sole PL 詳細

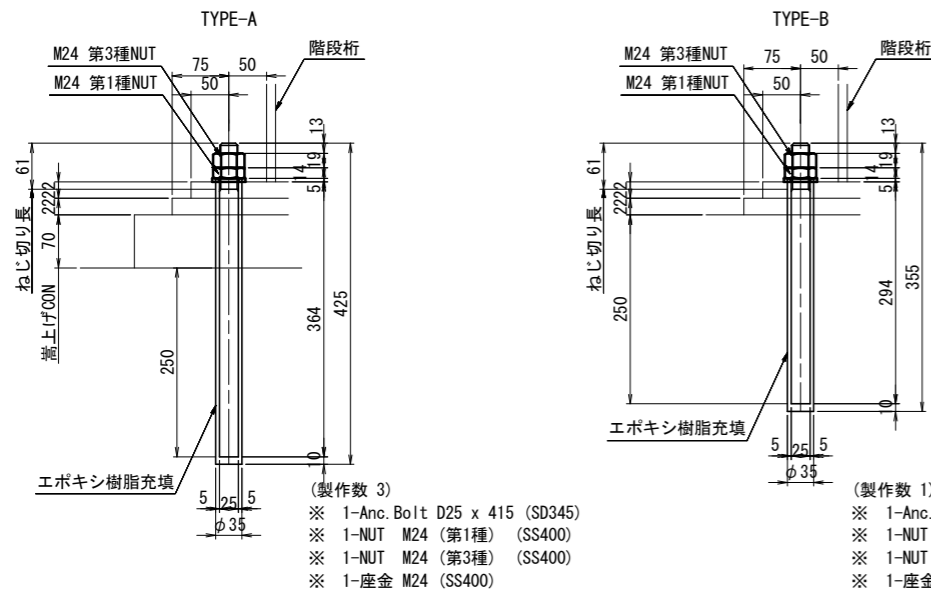
Base PL 詳細

Sole PL 詳細

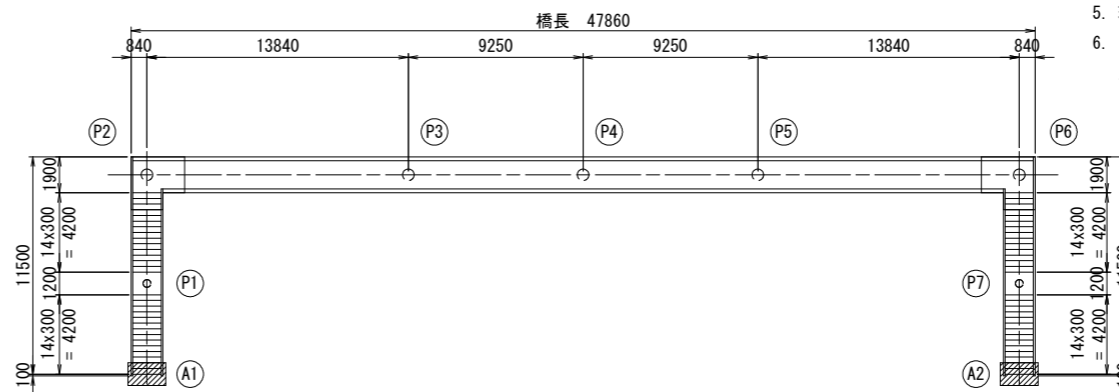
Base PL 詳細



アンカーボルト詳細 S=1:5



配置図 S=1:200



注記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
- 寸法のない開先溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接 (FP) を用いること。部分溶込み溶接 (PP) のルート間隔は全て0mmとする。
- ※印付の鋼材は全て溶融亜鉛メッキ処理を施す。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55 とする。但し、ボルト、ナットの付着量は JIS H8641 HDZ35 とする。
- 現地実測を行い、図面に反映すること。
- アンカーボルトは、嵩上げコンクリート高さを確認の上、主構造であるフーチングから10D以上を確保すること。

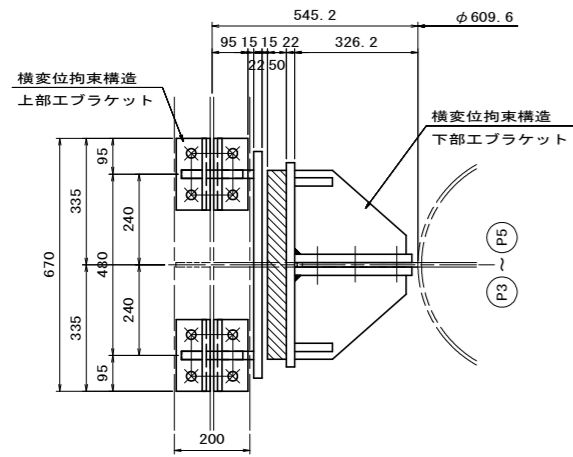
平成 29 年度	図面番号	6	13
事業名	一般国道423号 江の木歩道橋耐震補強設計委託		
路線名	一般国道423号		
工事名			
施工地名	吹田市江の木町地内		
図面名	階段部支承補強工 縮尺 1:20		
大阪府茨木土木事務所			

落橋防止システム詳細図(その2) S=1:10

P3~P5橋脚部

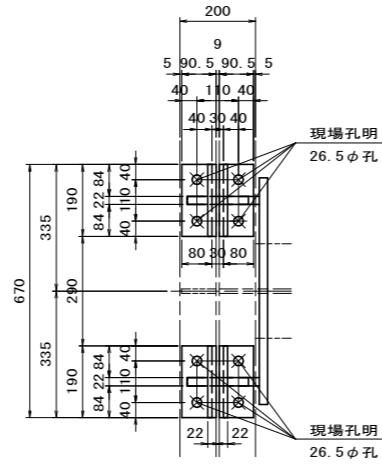
横変位拘束構造

平面図



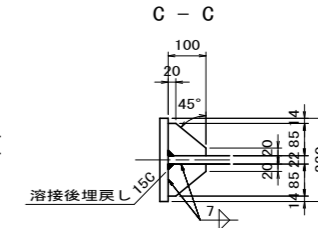
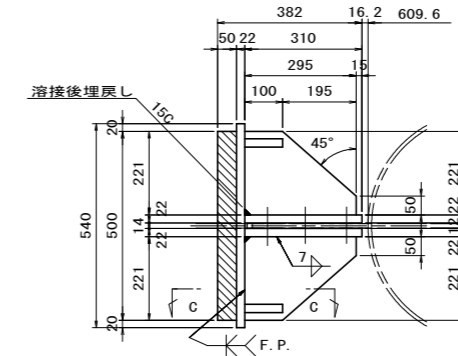
上部エブラケット詳細図

(製作数:各2)

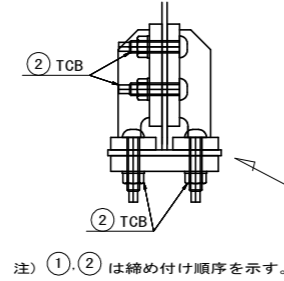
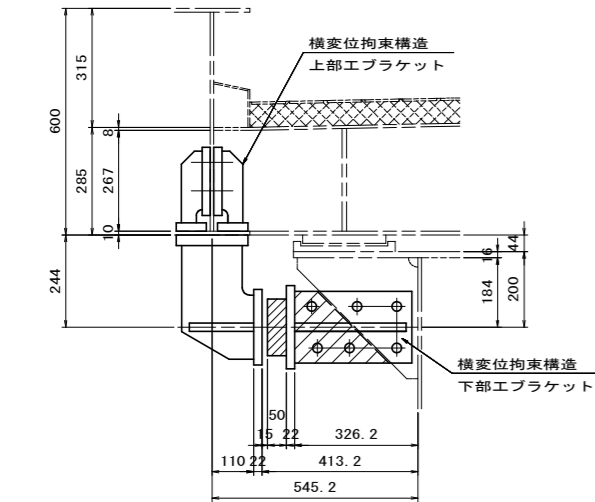


下部エブラケット詳細図

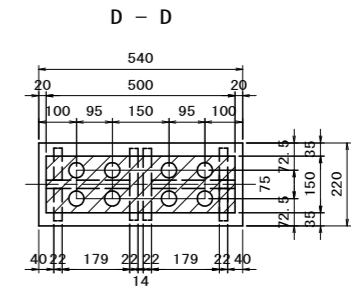
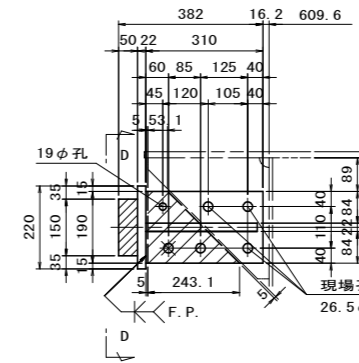
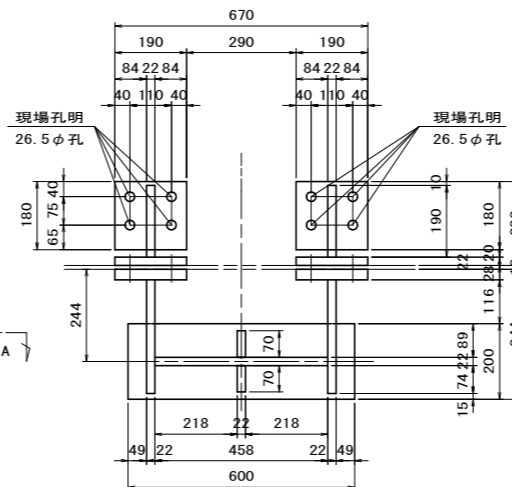
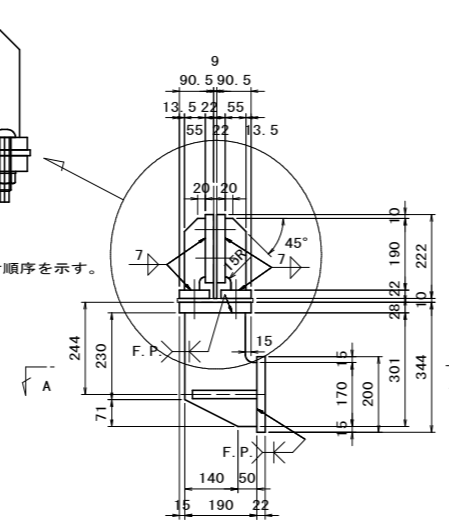
(製作数:各2)



- 1箇所当り
- 1-FLG PL 220x22x540
 - 2-BASE PL 190x22x310
 - 2-R1B PL 221x22x295
 - 2-R1B PL 85x22x100
 - 1-FILL PL 190x14x243 (SS400)
 - 4-TCB M22x 95 (S10T)
 - 1-HTB M22x100 (F10T)
 - 1-BN M16x85 (2-W) (SS400)
 - 1-緩衝材 150x50x500
(ネオプレンゴム 硬度55° ±5°)
 - ※ 8-BN M16x80 (2-W) (SS400)
- 現場孔明(φ26.5) 3ヶ所

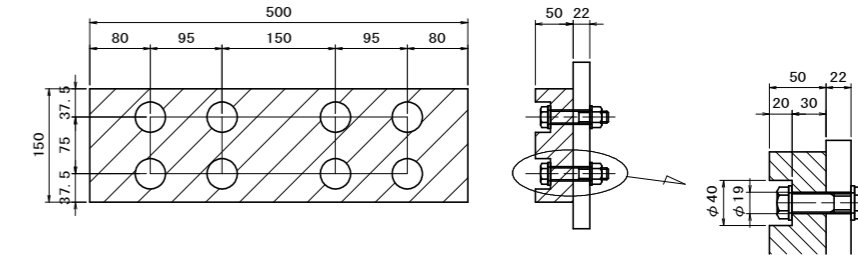


注) ① ② は締め付け順序を示す。



- 1箇所当り
- 1-FLG PL 200x22x600
 - 2-WEB PL 301x22x190
 - 4-BASE PL 80x22x190
 - 4-BASE PL 190x22x180
 - 2-BASE PL 190x28x190
 - 4-R1B PL 55x22x190
 - 2-R1B PL 70x22x150
 - 1-R1B PL 170x22x458
 - 8-TCB M22x 95 (S10T)
 - 8-TCB M22x 90 (S10T)
- 現場孔明(φ26.5) 16ヶ所

緩衝材詳細 S=1:5

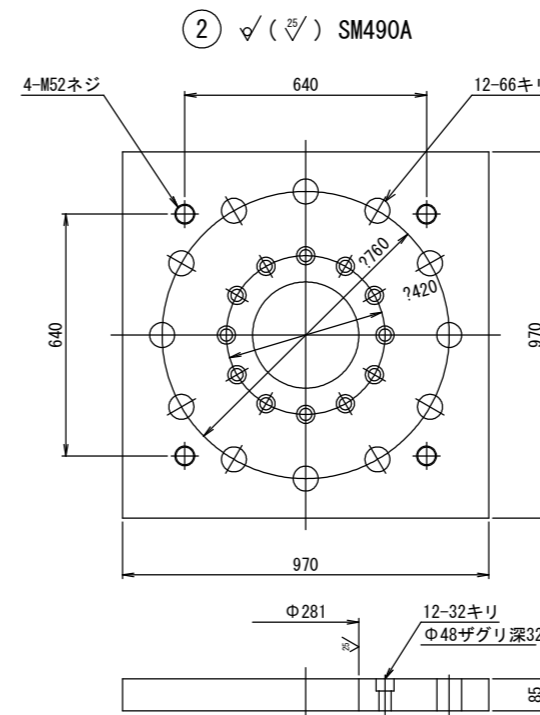
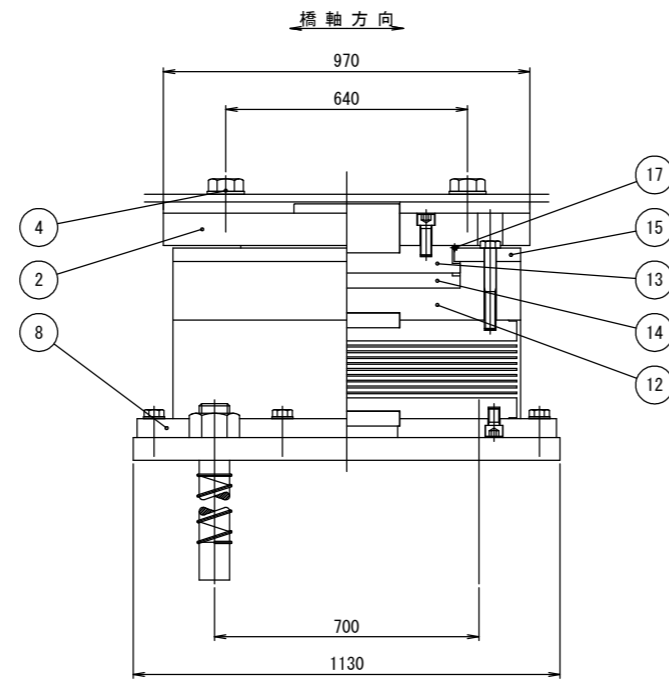
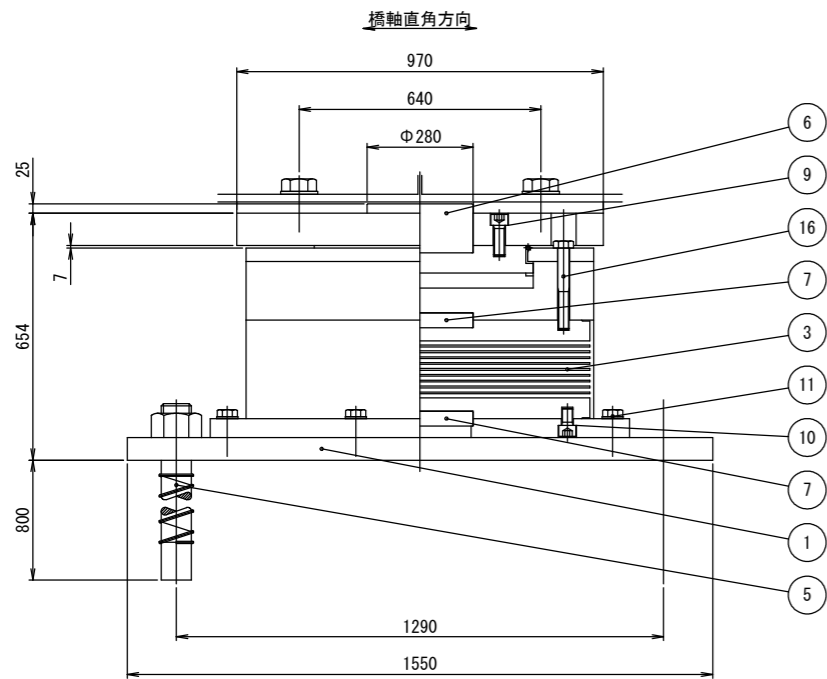


注記

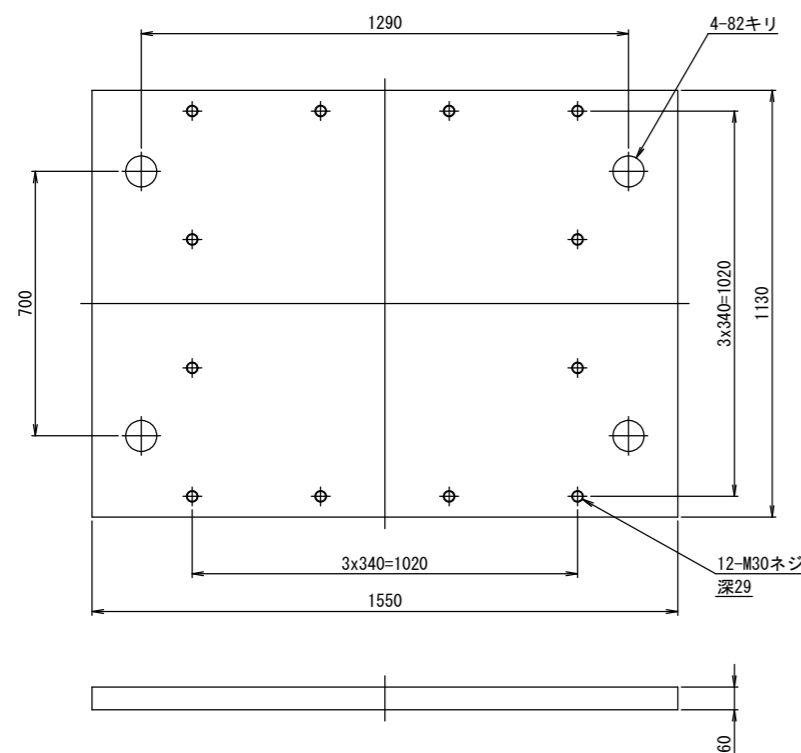
1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. ※印は、TCB M22 (S10T) を示す。
5. *印は、HTB M22 (F10T) を示す。
6. ※印部材は、全て溶融亜鉛メッキを施す。亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35とする。

平成 30 年度	図面番号
事業名	一般国道423号 豊津歩道橋耐震補強設計委託
路線名	一般国道423号
工事名	
施工地名	吹田市豊津町地内
図面名	落橋防止システム詳細図(その2) 縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所	

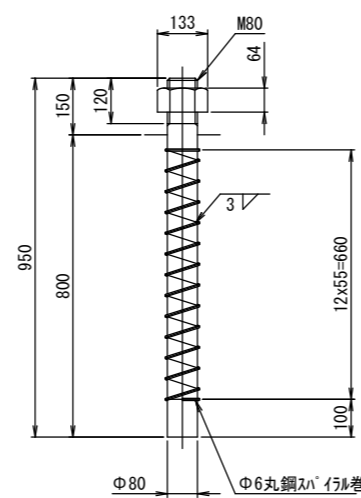
A1・A2 支承詳細図 (その1) S=1:10



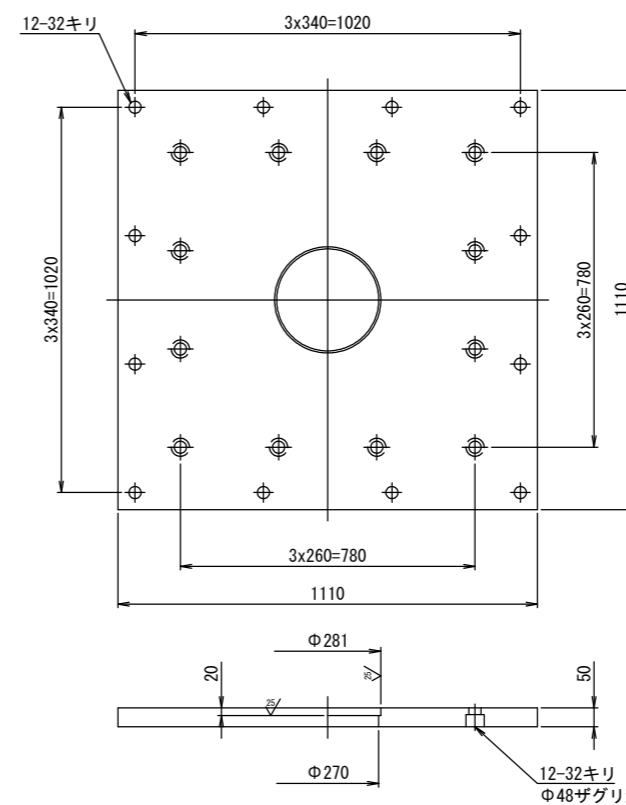
① ✓ SM490A



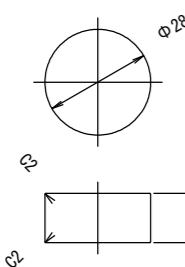
⑤ ✓ SS400



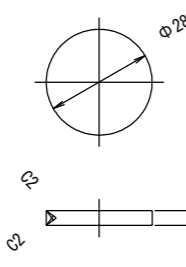
⑧ ✓ (25) SM490A



⑥ 25 SM490A



⑦ 25 SM490A



④ 六角ボルト 中 M52x 8.8 (平座金付き)

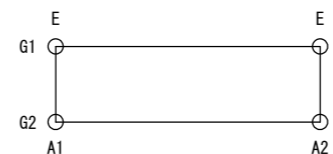
⑨ 六角穴付ボルト M30x80 10.9

⑩ 六角穴付ボルト M30x45 10.9

⑪ 六角ボルト 中 M30x80 8.8 (平座金付き)

⑬ 六角ボルト 中 M30x215 8.8

配置図



免震支承設計条件

反力		
全反力	R	2600 kN
死荷重反力	Rd	1700 kN
橋軸方向水平力 (地震時)	Rh1e	2050 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)	Rh2e	1800 kN
上揚力 (地震時)	V	510 kN
移動量		
最大変位量 (地震時)	UB	± 227 mm
ゴム		
せん断弾性係数	Ge	1.2 N/mm ²
破断ひずみ	γu	550 %
試験変位量	ΔL	± 193 mm
等価剛性	KB	8.884 kN/mm
等価減衰定数	hB	16.9 %
許容せん断ひずみ	γs	250 %
2次形状係数	S2	8.18
照査荷重	RIL	500 kN
照査荷重時圧縮変位量	δcL	0.061 mm
支承部支持条件		
橋軸方向	免震	
橋軸直角方向	免震	

注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	ベースプレート	SM490A	1	813.1	
②	上 沓	SM490A	1	543.9	
③	ゴム沓	HDR-S+SM490A+SS400	1	1047.5	
④	六角ボルト・座金	—	4	14.8	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト・ナット	SS400	4	163.4	
⑥	せん断キー	SM490A	1	62.8	
⑦	せん断キー	SM490A	2	37.7	
⑧	下 沓	SM490A	1	449.8	
⑨	六角穴付ボルト	—	12	8.4	JIS B 1176
⑩	六角穴付ボルト	—	12	6.3	JIS B 1176
⑪	六角ボルト・座金	—	12	8.6	JIS B 1180
⑫	ボット	SM490A	1	852.9	
⑬	中間プレート	S45CN	1	136.6	
⑭	ゴムプレート	クロロブレンゴム	1	14.7	圧縮リング付
⑮	ピンチプレート	SM490A	1	163.7	
⑯	六角ボルト	—	12	16.9	JIS B 1180
⑰	シールリング	クロロブレンゴム	1	0.1	
全重量				4341.2	(kg)
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。 付着量550g/m ² 以上、350g/m ² 以上(ボルト類)				

注1) 製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。

注2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

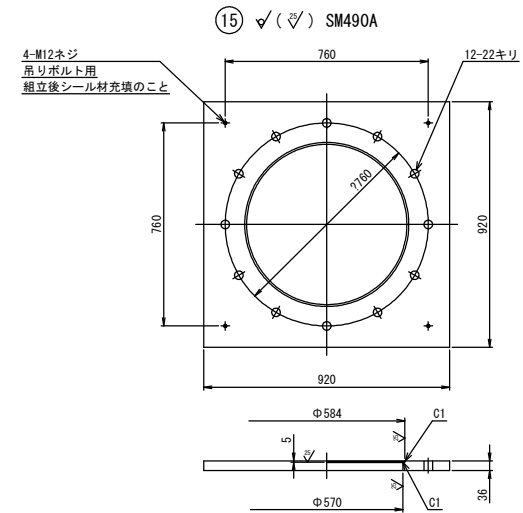
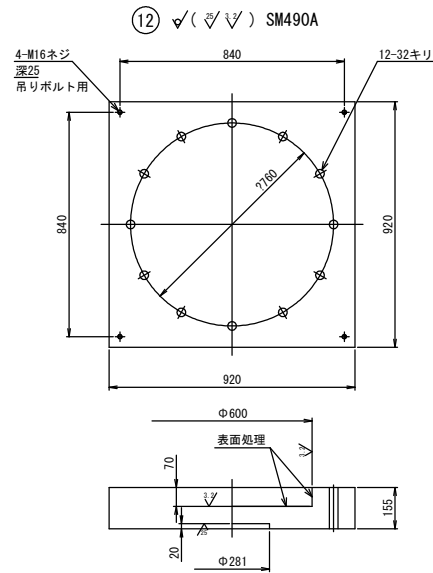
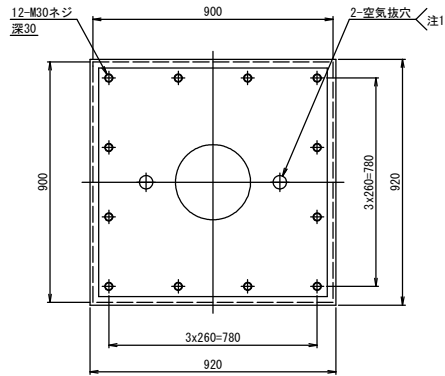
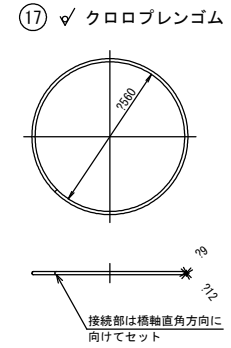
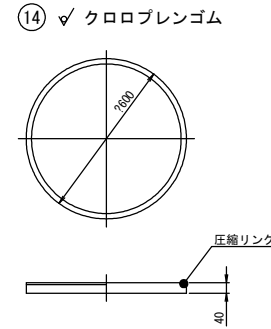
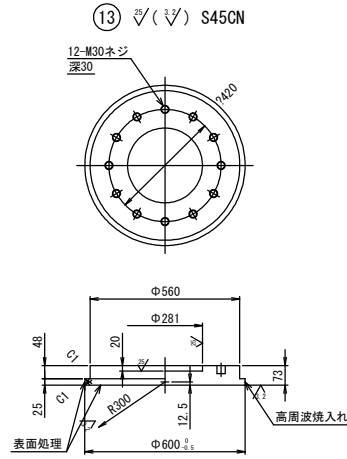
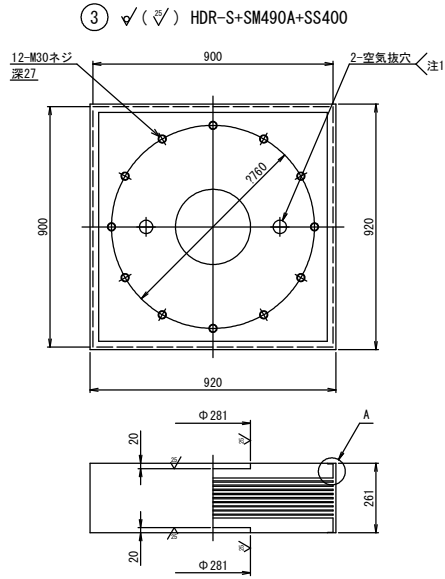
注3) ゴム支承の上下鋼板露出部は、有機ジンクリッチペイント処理とする。

注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

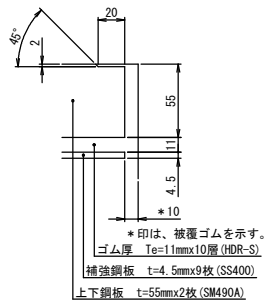
注5) 部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

注6) ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料 (K-Coat-R) を塗布のこと。

A1・A2 支承詳細図 (その2) S=1:10



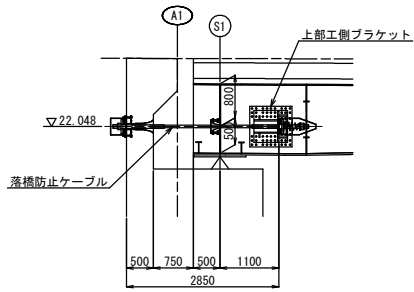
A部詳細図 S=1:2



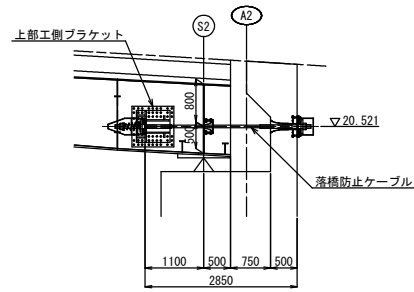
工事名	主要地方道茨木電回線外構架詳細設計委託		
図面名	A1・A2 支承詳細図 (その2)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	23 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

落橋防止構造(その1) S=1:50

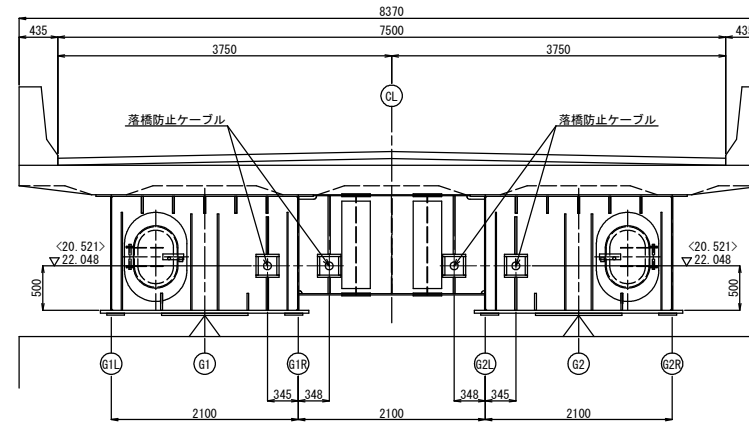
A1 (S1) 側
側面図



A2 (S2) 側
側面図

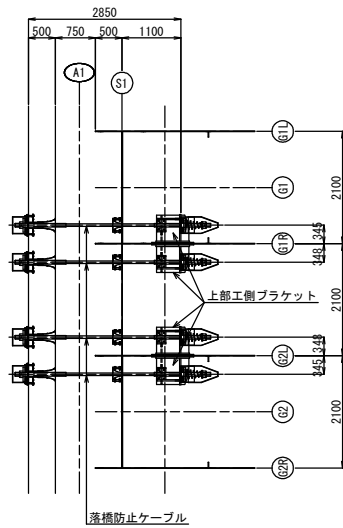


S1, S2上 断面図 S=1:30

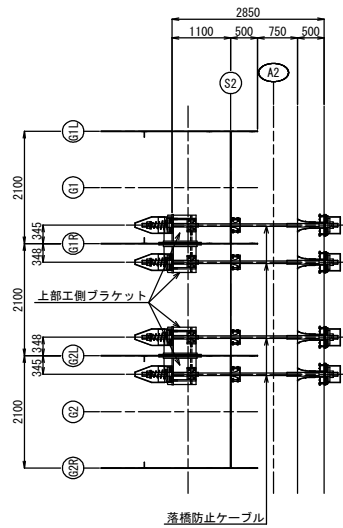


注) < >は、A2側を示す。

平面図



平面図



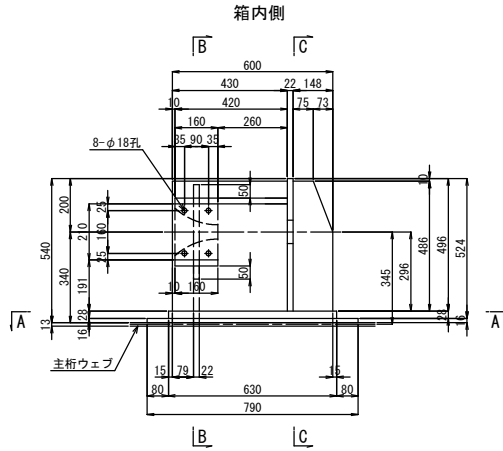
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

工事名	主要地方道茨木電回線外構架設設計委託		
図面名	落橋防止構造(その1)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	24 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

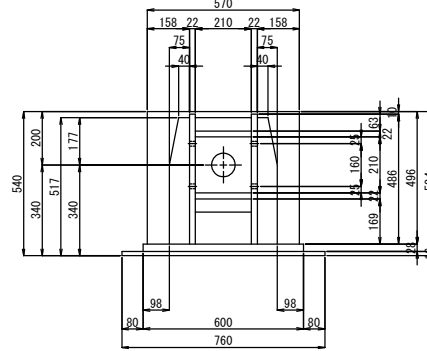
落橋防止構造(その2) S=1:10

ブラケット詳細図

側面図



B - B



箱内 ブラケット1基当り (製作数: 4基)

- 2-PL 148x22x486
- 2-PL 430x22x486 (SMA490BW)
- 2-PL 75x22x517
- 2-PL 50x22x210
- 1-PL 210x22x420
- 1-PL 160x22x210
- 1-PL 496x22x570
- 1-PL 600x28x630
- 1-PL 790x16x760 (SM490YA)

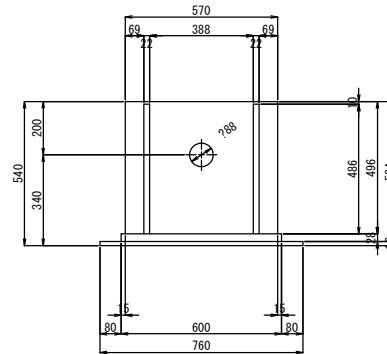
箱外 ブラケット1基当り (製作数: 4基)

- 2-PL 148x22x486 (SMA490BW)
- 2-PL 430x22x486 (SMA490BW)
- 2-PL 75x22x517 (SMA490BW)
- 2-PL 50x22x210 (SMA490BW)
- 1-PL 210x22x420 (SMA490BW)
- 1-PL 160x22x210 (SMA490BW)
- 1-PL 496x22x570 (SMA490BW)
- 1-PL 600x28x630 (SMA490BW)
- 1-PL 790x16x760 (SMA490AW)

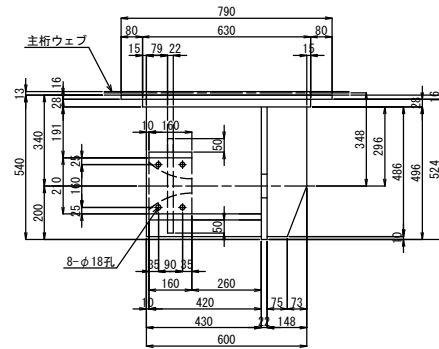
ブラケット2基当り (製作数: 4基)

- 12-TCB M22x145 (S10TW)
- 16-TCB M22x140 (S10TW)
- 28-TCB M22x 80 (S10TW)

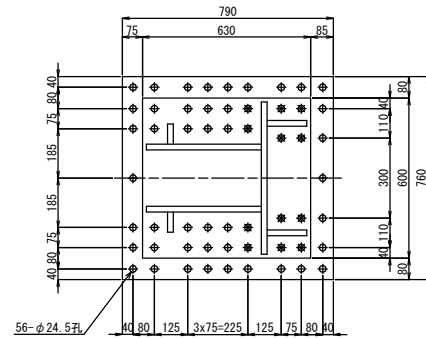
C - C



箱外側



A - A



注記

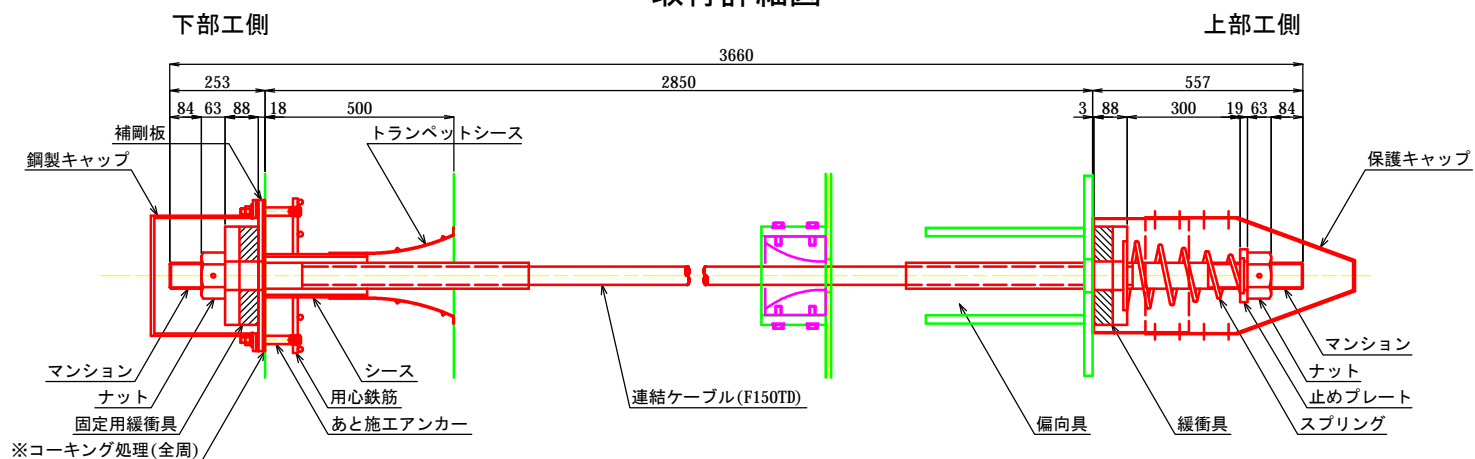
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 溶接交点部は全て溶接後埋戻しとする。
3. * の高力ボルトは2-W付きとする。

工事名	主要地方道茨木電回線外構架設詳細設計委託		
図面名	落橋防止構造(その2)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	25 / 26
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

落橋防止構造(その3) S=1:10

ケーブル詳細図

取付詳細図

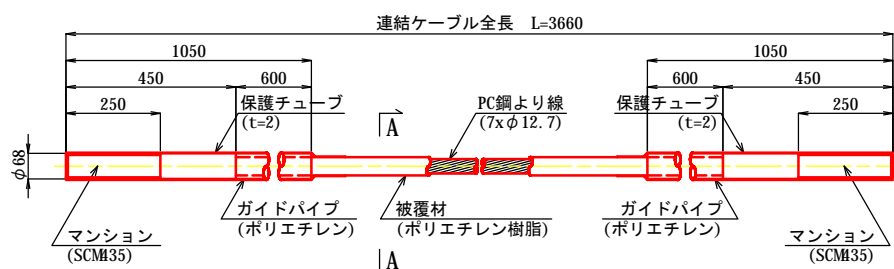


材料表 (落橋防止構造1組当たり)

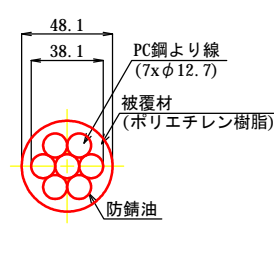
全8組

名称	規格	単位	数量	摘要	
連結ケーブル	F150TD L=3660mm	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆	
(マンション)	F150TD用 標準	個	2	SCM35, ネジきり標準 <ケーブルに組込>	
(ガイドパイプ)	F150TD用 600mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>	
ナット	F150TD用	個	2	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)	
止めプレート	F150TD用	個	1	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ55)	
スプリング	F150TD用 L=450	個	1	SW-C; 亜鉛めっき, クロメート処理	
緩衝具	F150TD用	個	1	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム	
固定用緩衝具	F150TD用	個	1	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム	
偏向具	F150TD用	個	1	ポリエチレン	
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付	
保護キャップ	F150TD用	組	1	ポリエチレン; 8-止めビス付	
鋼製キャップ	F150TD用 L=270	個	1	SS400, STK400; 亜鉛めっき (HDZ55) ゴムパッキン付	
補剛板	F150TD用	枚	1	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ55) ゴムパッキン付	
あと施工アンカー	M16x160 1W 1SW付	本	4	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ35)	
下部工	トランペットシース	TR116	個	1	ポリエチレン
	シース	VP100 L=370	本	1	
	用心鉄筋	SD345 D13x410	本	8	

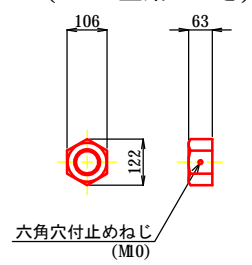
連結ケーブル



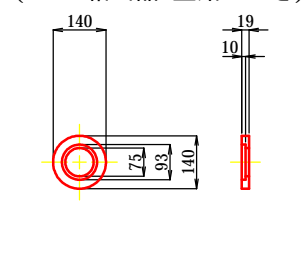
A-A断面図 S=1:2



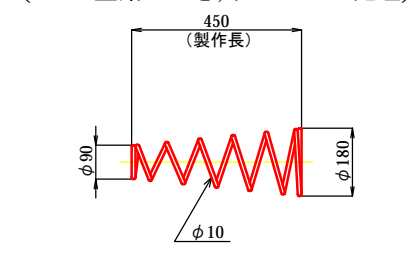
ナット (S45C: 亜鉛めっき)



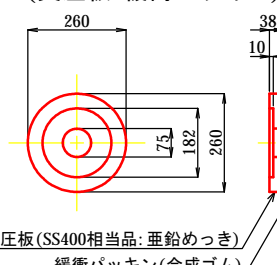
止めプレート (SS400相当品: 亜鉛めっき)



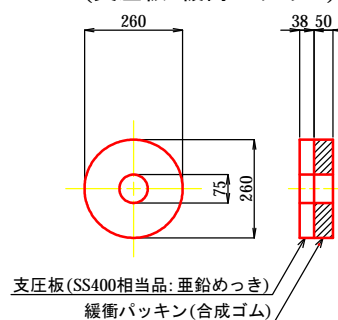
スプリング (SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理)



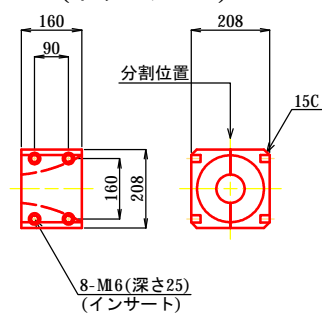
緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



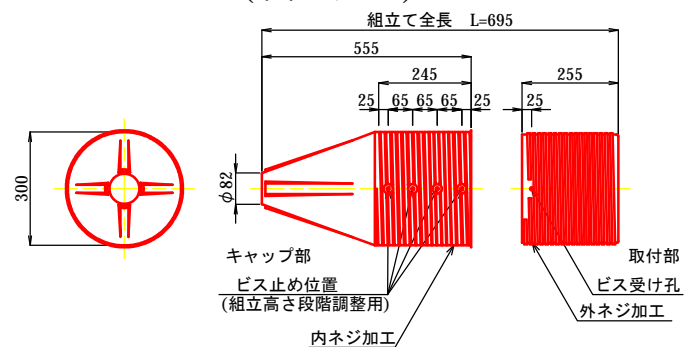
固定用緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



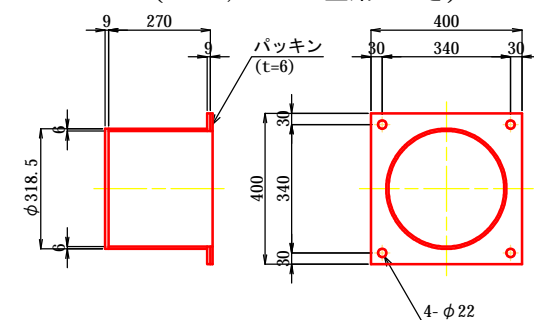
偏向具 (ポリエチレン)



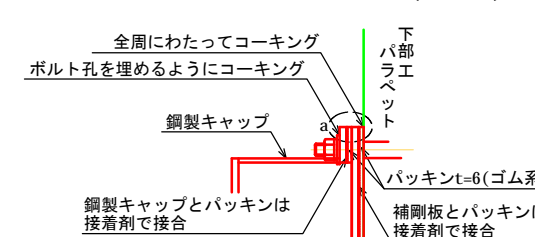
保護キャップ (ポリエチレン)



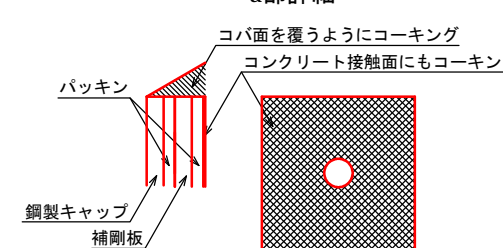
鋼製キャップ (SS400, STK400: 亜鉛めっき)



落橋防止構造の止水処理 (橋台側)

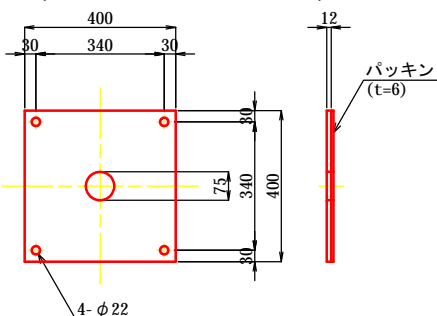


a部詳細

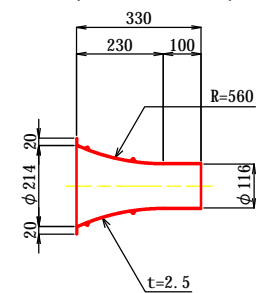


注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

補剛板 (SS400相当品: 亜鉛めっき)

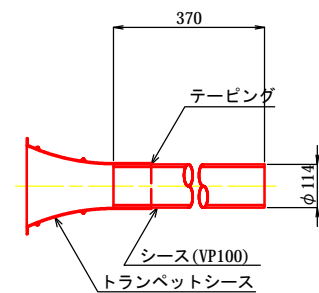


トランペットシース (ポリエチレン)



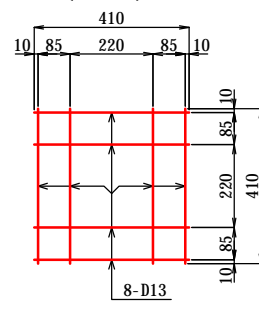
※トランペットシースはコンクリート打設前にセットする。
※端部の処理は箱抜き詳細図を参照のこと。

箱抜き詳細図



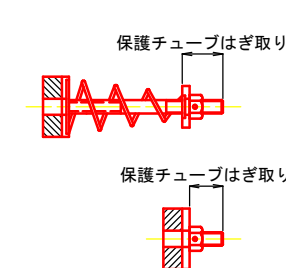
※シースはコンクリート打設前にセットする。
※端部はコンクリート端にあわせて、現場で切断する。

用心鉄筋 (SD345)



※用心鉄筋はコンクリート打設前にセットする。

マンション端部処理

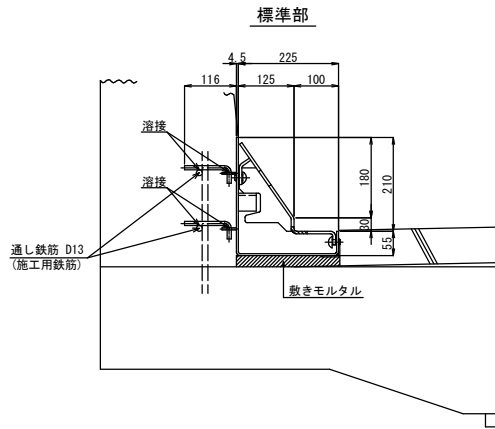


※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に防錆処理をおこなうこと。

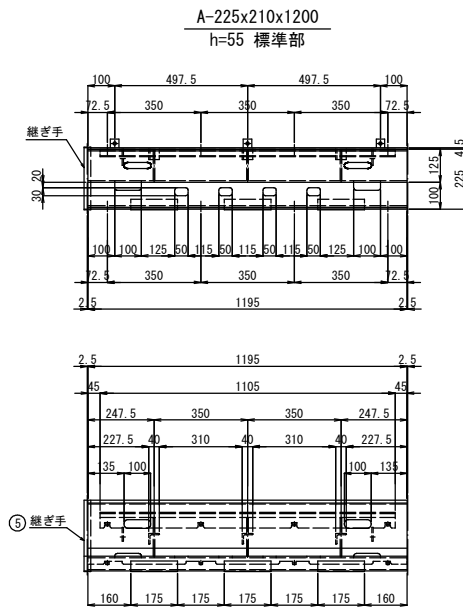
工事名	主要地方道茨木電岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	落橋防止構造(その3)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	26 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

鋼製排水溝(その2)

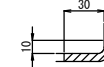
鋼製排水溝断面図 S=1:6



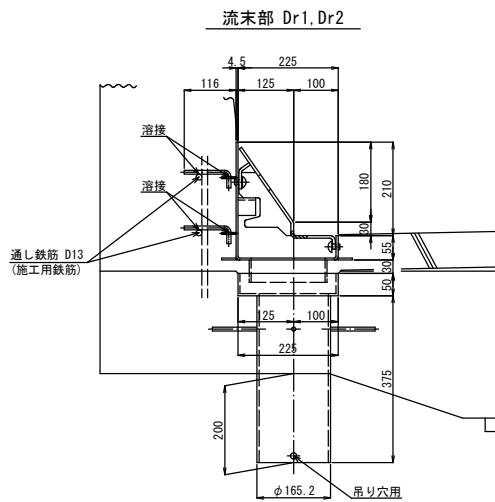
鋼製排水溝詳細図 S=1:10



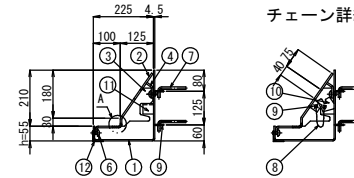
A部詳細図



鋼製排水溝断面図 S=1:6



チェーン詳細



材料表 A-225x210x1200 h=55

符号	寸法	重量 (Kg)
1	1-PL 549.5x4.5x1195	23.2
2	1-PL 358.5x6.0x1195	20.2
3	3-PL 142x6.0x117	1.02
4	1-PL 71x6.0x1105	3.48
5	1-PL 25x3.0x549.5	0.32
6	8-Bolt M12x18(角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
7	6-RB φ9x135	0.40
8	1-Chain φ4x200 シャックル付(SUS)	0.11
9	7-PL 32x4.5x32	0.28
10	2-PL 50x4.5x56	0.13
11	3-L 40x40x5x40	0.35
12	3-L 40x40x3x175	0.96
総重量		50.7
m重量		42.3

※ A1-225x210x1200 h=55・・・50.7kg(42.3kg/m)
A1は、A1に対して線対称とする。

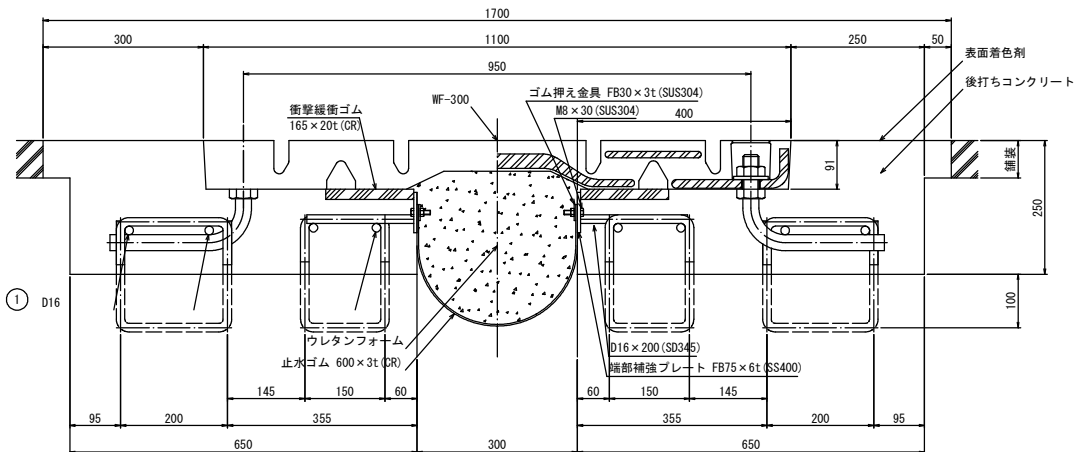
注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 寸法表記のPLは、FBを含む。
3. アンカーバーは黒皮とする。

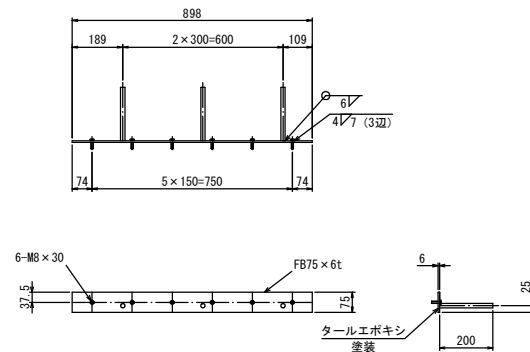
工事名	主要地方道茨木竜岡線外構築詳細設計委託		
図面名	鋼製排水溝(その2)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	29 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

伸縮装置詳細図

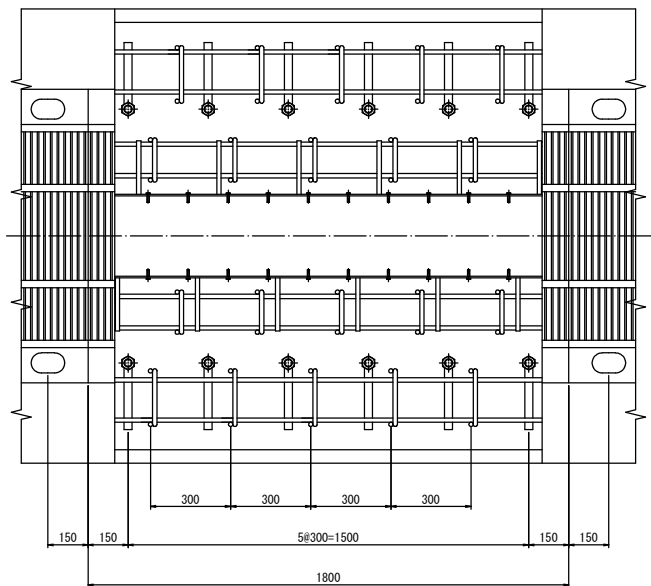
断面図 S=1:5



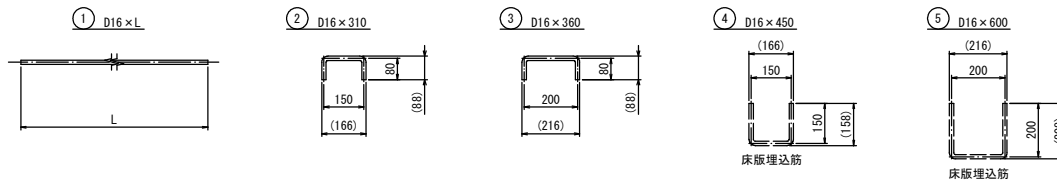
端部補強板 S=1:10



平面図 S=1:10



補強鉄筋加工図 S=1:10



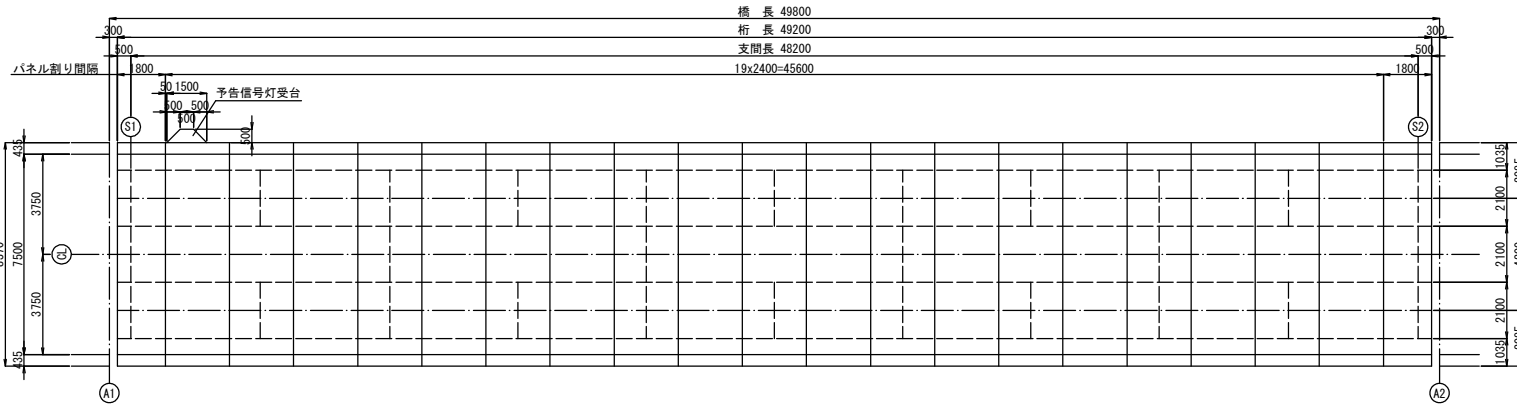
材料表

品名	仕様、規格	単位	10m当り	備考
ワンダーフレックス	WF-300 (重量 452.6kg/1.8m)	m	10.0	
アンカーボルト	φ30	Set	66	
シーラント	ジョイント用	kg	87.3	2液シーラント 8.73kg/m
補強鉄筋	① 8-D16x10000	kg	124.8	1.56kg/m
	② 67-D16x310	kg	32.4	"
	③ 67-D16x360	kg	37.6	"
	④ 67-D16x450	kg	47.0	1.56kg/m(伸縮施工範囲外)
	⑤ 67-D16x600	kg	62.7	1.56kg/m(伸縮施工範囲外)
後打ちコンクリート	生コンクリート (早強)	m ³	2.5	σc k=35N/mm ² (推奨)
端部補強板	FB75 x 6t	m	20.0	D16アンカー付(ゴム押え金具含む)
衝撃緩衝ゴム	165 x 20t	m	20.0	
止水ゴム	600 x 3t	m	10.0	補強材入り
ウレタンフォーム	400 x 300	m	10.0	

工事名	主要地方道茨木電回線外構架詳細設計委託		
図面名	伸縮装置詳細図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	21 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

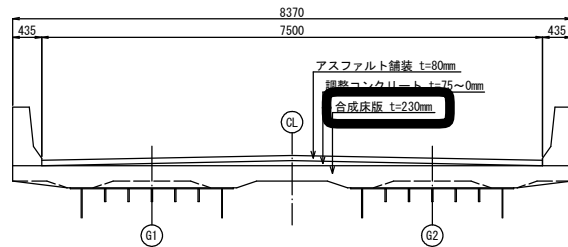
合成床版パネル割付図 S=1:100

平面図

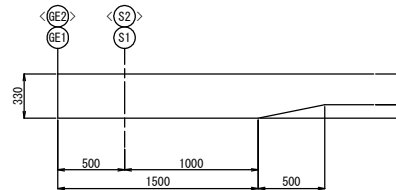


断面図 S=1:40

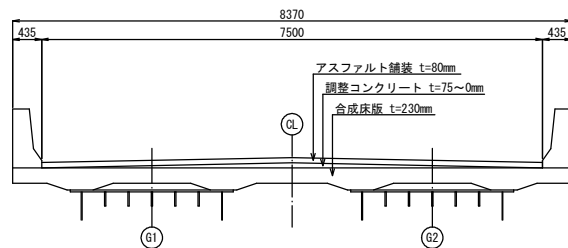
端支点部 S1, S2



端部打ち下ろし部側面図 S=1:20



一般部



非鋼材数量総括表

部材名	単位	数量	備考
橋面積	m ²	411.8	
アスファルト舗装面積	m ²	369.0	t=80mm
防水層面積	m ²	369.0	シート系
床版部 コンクリート体積	m ³	106.1	σ _{ck} =30N/mm ²
パネル数	パネル	20	(2.4m幅)
シール材延長	m	394	主桁上シール材
	m	184	合成床版接合部シール材
高欄部 側鋼板延長	m	49	L側 (H= 1.130 m) 鋼製型枠兼用
	m	49	R側 (H= 1.130 m) "
シール材延長	m	197	合成床版と側鋼板取合部シール材

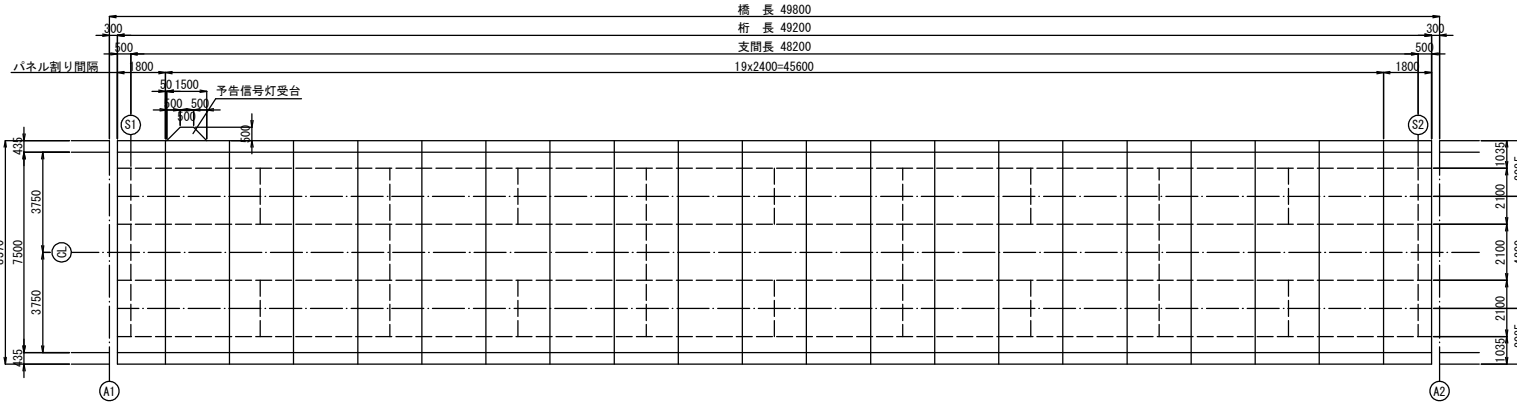
注記

- 排水装置やその他橋面工の取り合いを考慮してパネル割付をすること。
- 床版コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。(膨張コンクリート)
- 床版設置方法は、架設方法を確認のうえ決定すること。
- 床版パネルの防錆は「塗装仕様」とする。
- 鉄筋の材質は全てSD345とし、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する。

工事名	主要地方道茨木電回線外橋梁詳細設計委託		
図面名	合成床版パネル割付図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	19 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

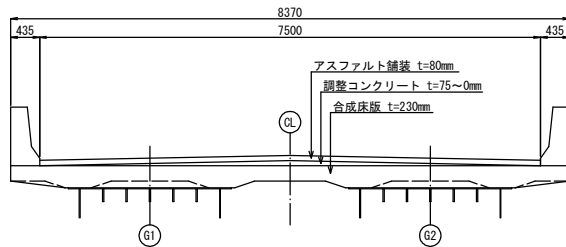
合成床版パネル割付図 S=1:100

平面図

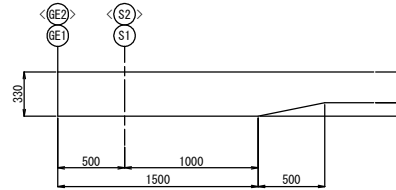


断面図 S=1:40

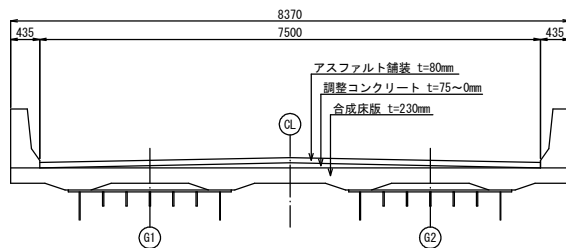
端支点部 S1, S2



端部打ち下ろし部側面図 S=1:20



一般部



非鋼材数量総括表

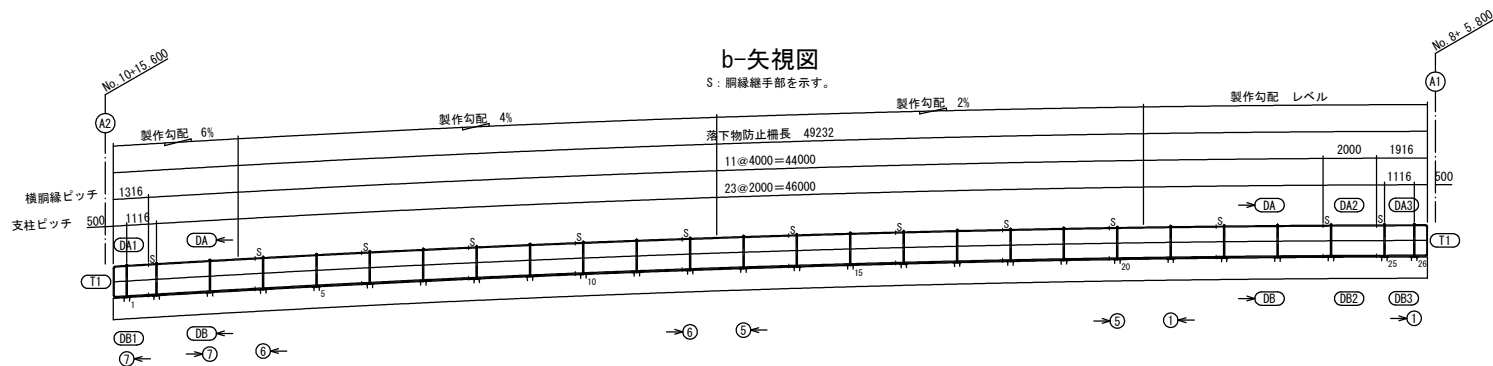
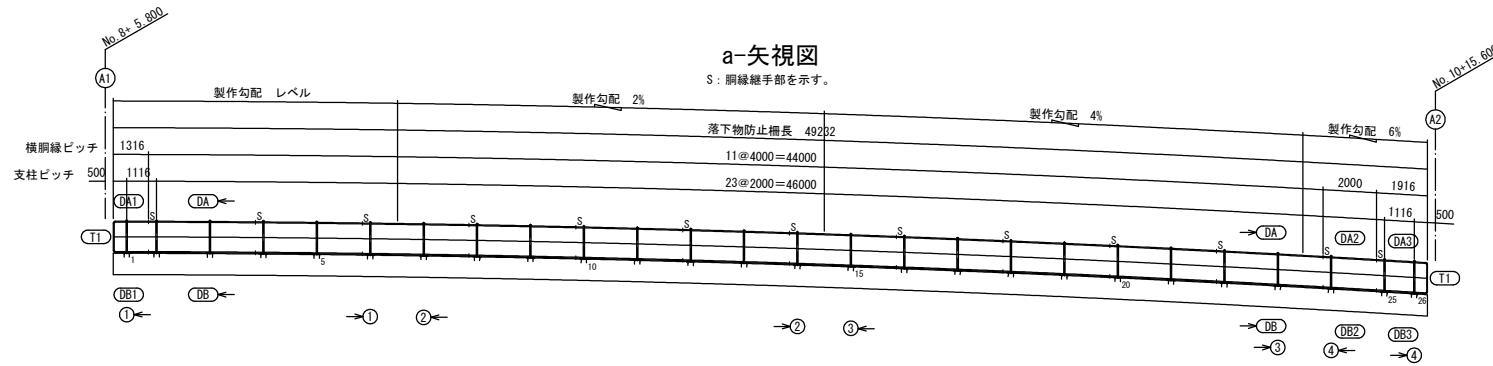
項目		単位	数量	備考
橋面積		m ²	411.8	
アスファルト舗装面積		m ²	369.0	t=80mm
防水層面積		m ²	369.0	シート系
床版部	コンクリート体積	m ³	106.1	σ _{ck} =30N/mm ²
	パネル数	パネル	20	(2.4m幅)
シール材延長		m	394	主桁上シール材
高欄部	側鋼板延長	m	49	鋼製型枠兼用
	シール材延長	m	49	"
シール材延長		m	197	合成床版と側鋼板取合部シール材

注記

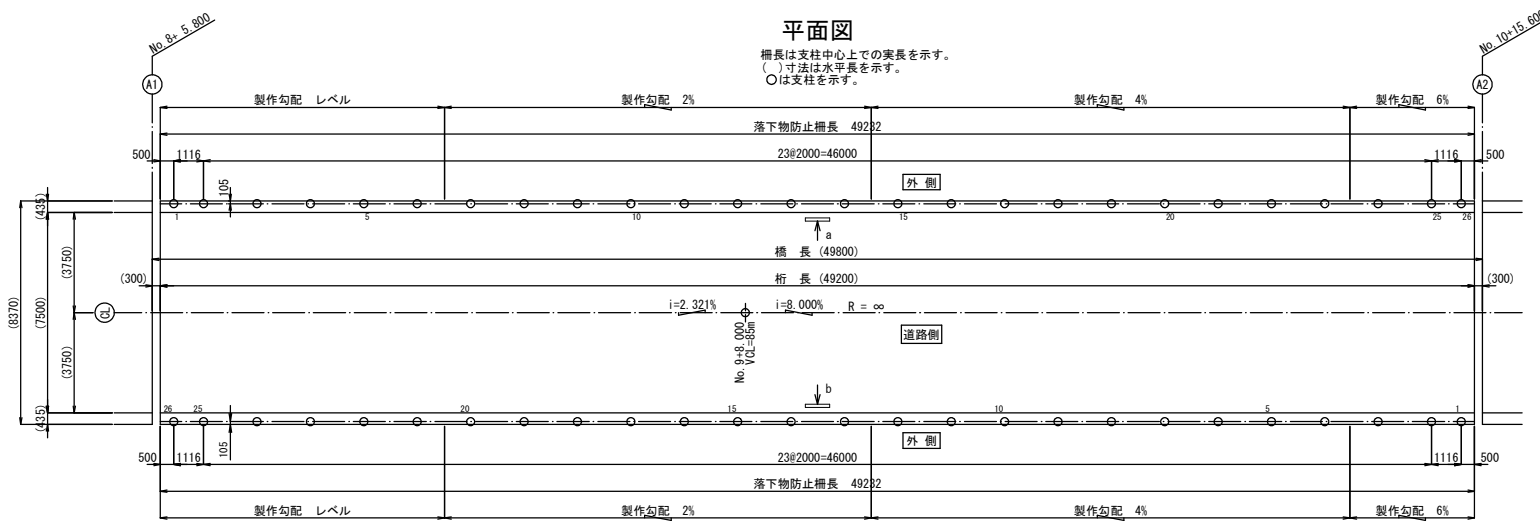
- 排水装置やその他橋面工との取り合いを考慮してパネル割付をすること。
- 床版コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とする。(膨張コンクリート)
- 床版設置方法は、架設方法を確認のうえ決定すること。
- 床版パネルの防錆は「塗装仕様」とする。
- 鉄筋の材質は全てSD345とし、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する。

工事名	主要地方道茨木電回線外構架設詳細設計委託		
図面名	合成床版パネル割付図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	19 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

落下物防止柵(その1) S=1:100



- =マーキング=
- : 支柱
 - (↑): 上段横胴線
 - (↓): 下段横胴線
 - (↑↓): 笠胴線
 - (↑↓): 縮隔し板
 - (↑↓): 伸縮プレート

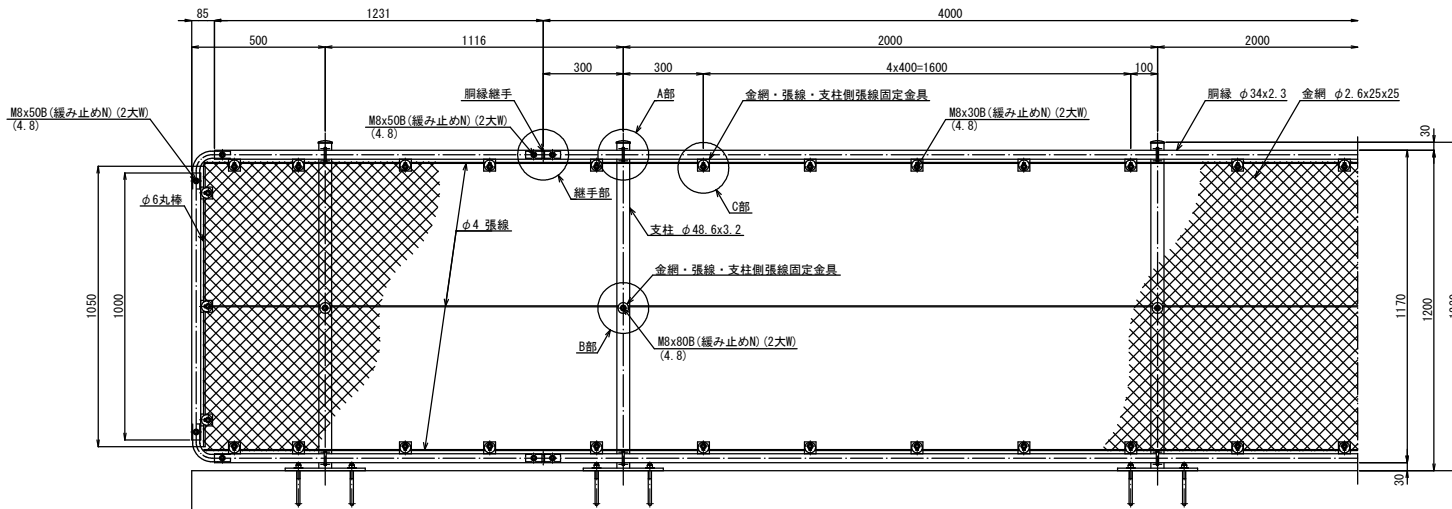


注記)
1. a-矢视图、b-矢视图は、道路側から見た図とする。

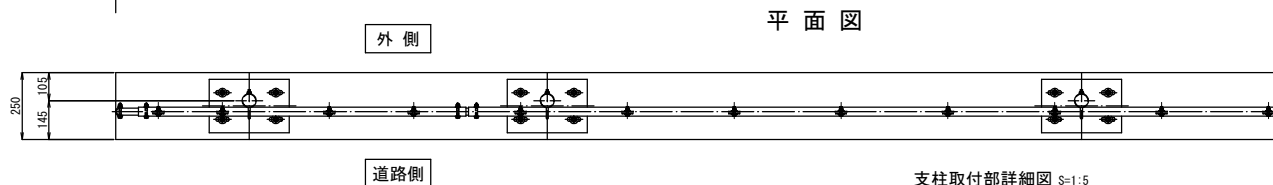
工事名	主要地方道茨木電回線外構架設詳細設計委託		
図面名	落下物防止柵(その1)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	34 / 66
会社名	株式会社 CPC		
事業者名	茨木土木事務所		

落下物防止柵(その2) S=1:10

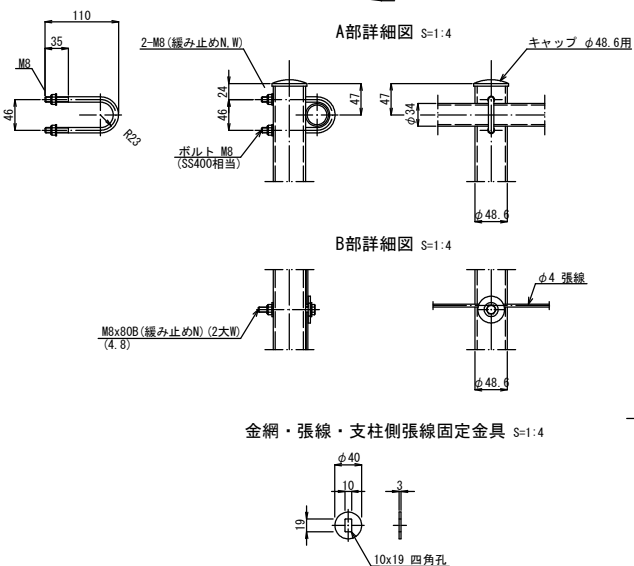
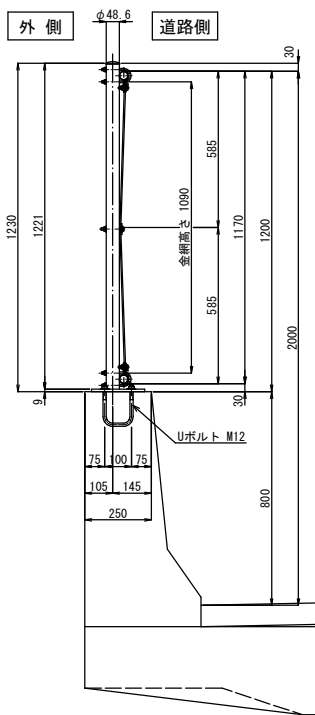
正面図



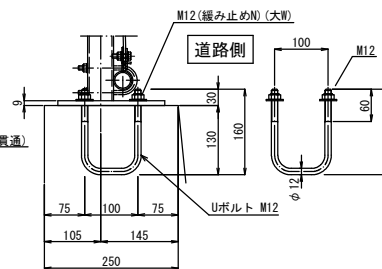
平面図



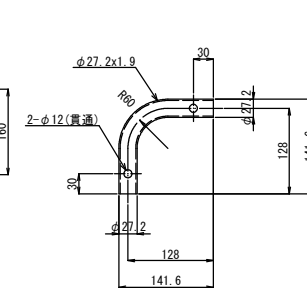
断面図



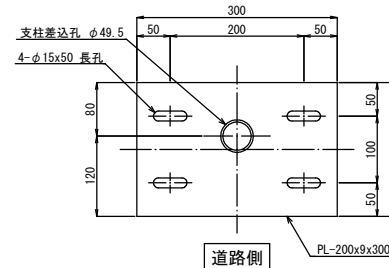
支柱取付部詳細図 S=1:5



端部胴縁継手 S=1:4



ベースプレート詳細図 S=1:4



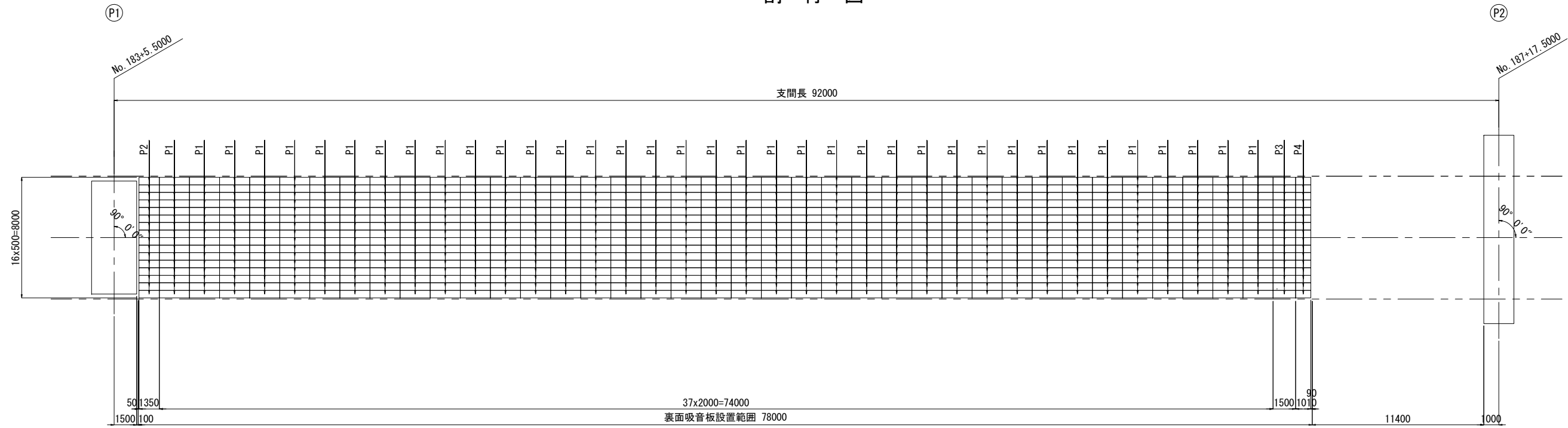
注記
1. 正面図は道路側から見た図とする。

工事名	主要地方道茨木電回線外構架設詳細設計委託
図面名	落下物防止柵(その2)
作成年月日	平成31年1月
縮尺	図示 図面番号 35 / 66
会社名	株式会社 CPC
事業者名	茨木土木事務所

裏面吸音板詳細図

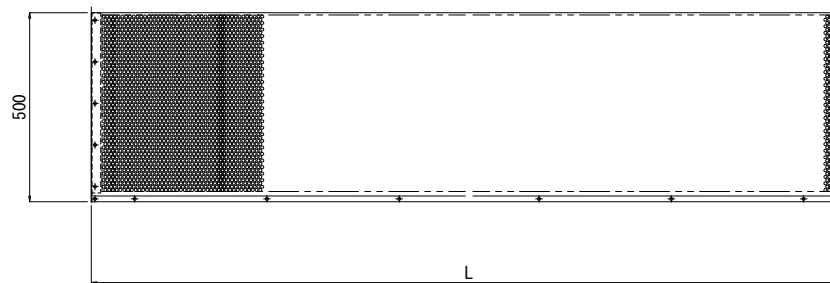
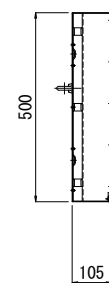
S=1:150

割付図



裏面吸音板外形詳細図 S=1:10

(製作数 n組)



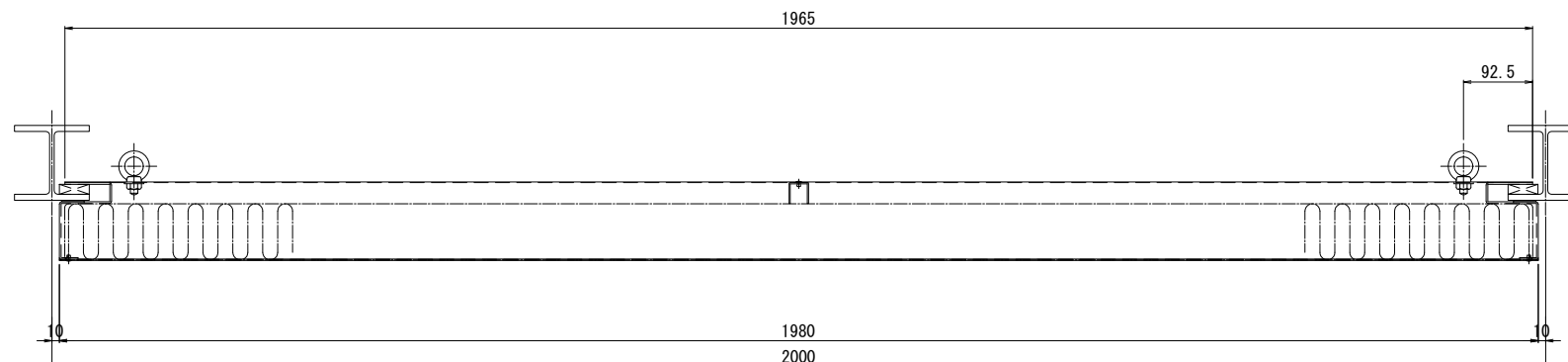
	L	n
P1	1980	592
P2	1330	16
P3	1480	16
P4	990	16

※裏面吸音板は、横梁差し込み方式（ボルトレス）とする。

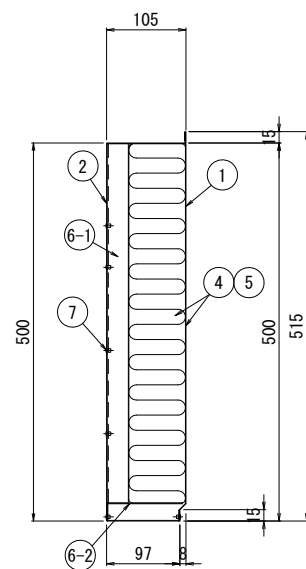
平成27年度	図面番号	108 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	裏面吸音板詳細図 縮尺 S=1:150	
大阪府茨木土木事務所		

裏面吸音板標準構造図（その1） S=1:5

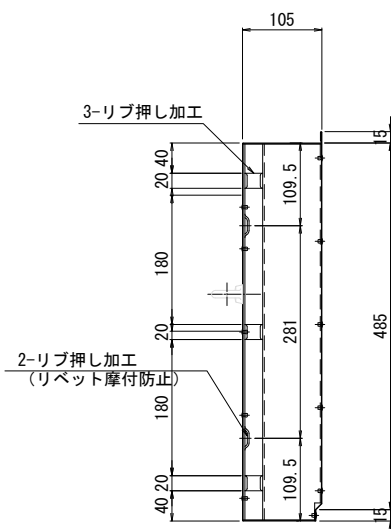
平面図



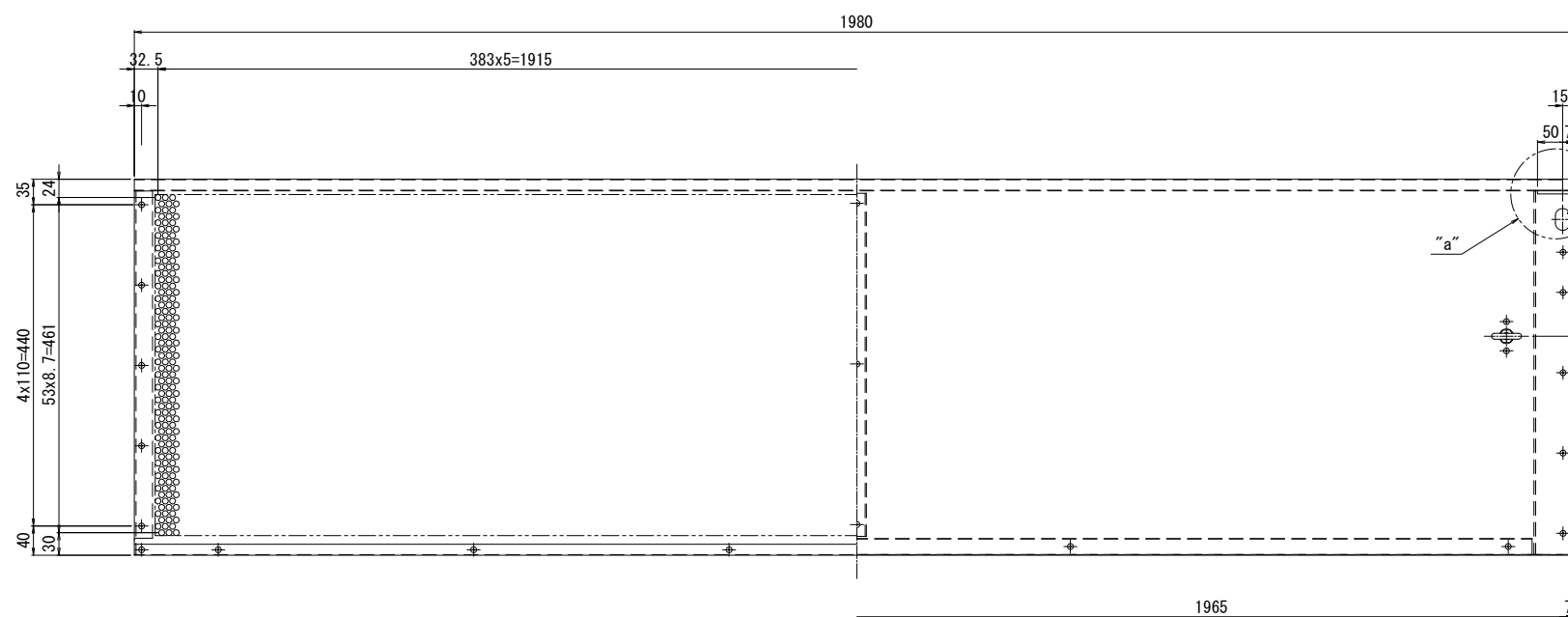
断面詳細図



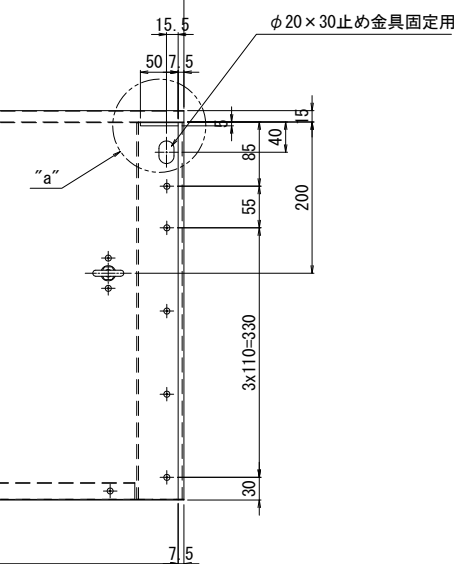
側面図



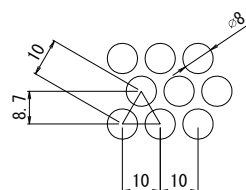
正面図



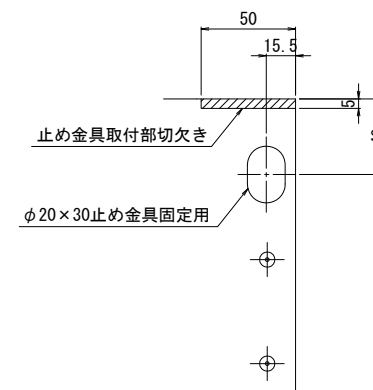
背面図



パンチング詳細 S=1:1



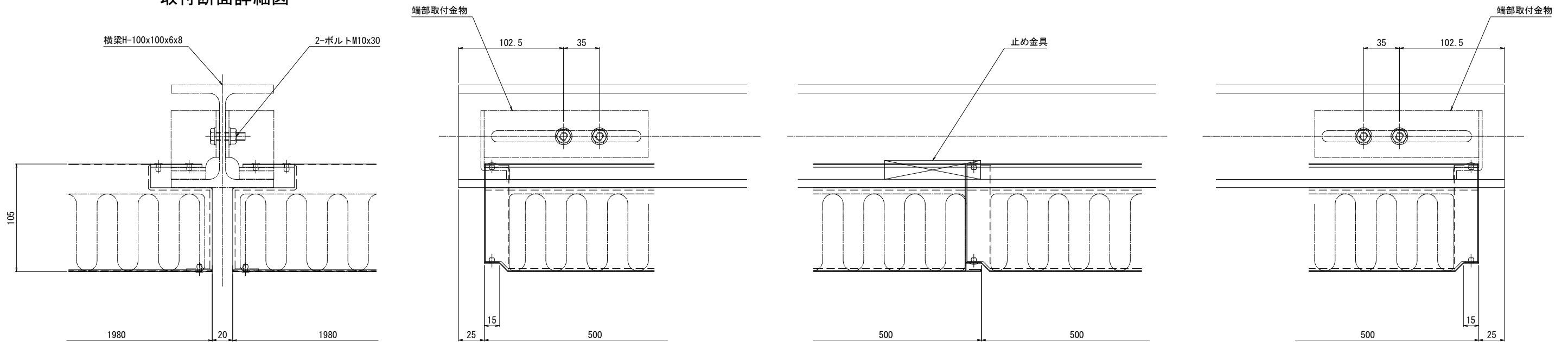
"a"部詳細図 S=1:2



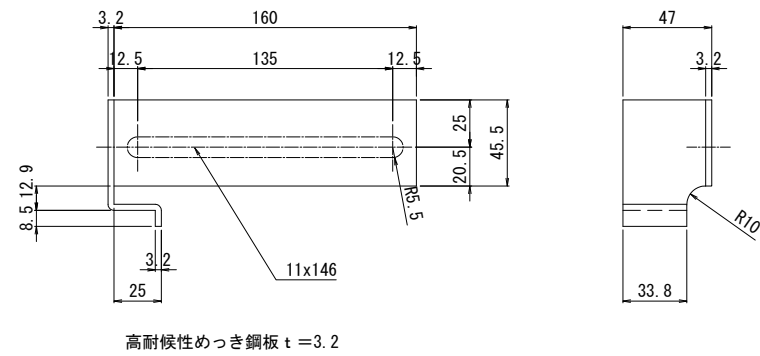
平成27年度	図面番号	109 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	裏面吸音板標準構造図(その1) 縮尺	S=1:5
大阪府茨木土木事務所		

裏面吸音板端部取付金物詳細図 S=1:2

取付断面詳細図



端部取付金物詳細図 (+100m/m対応型)

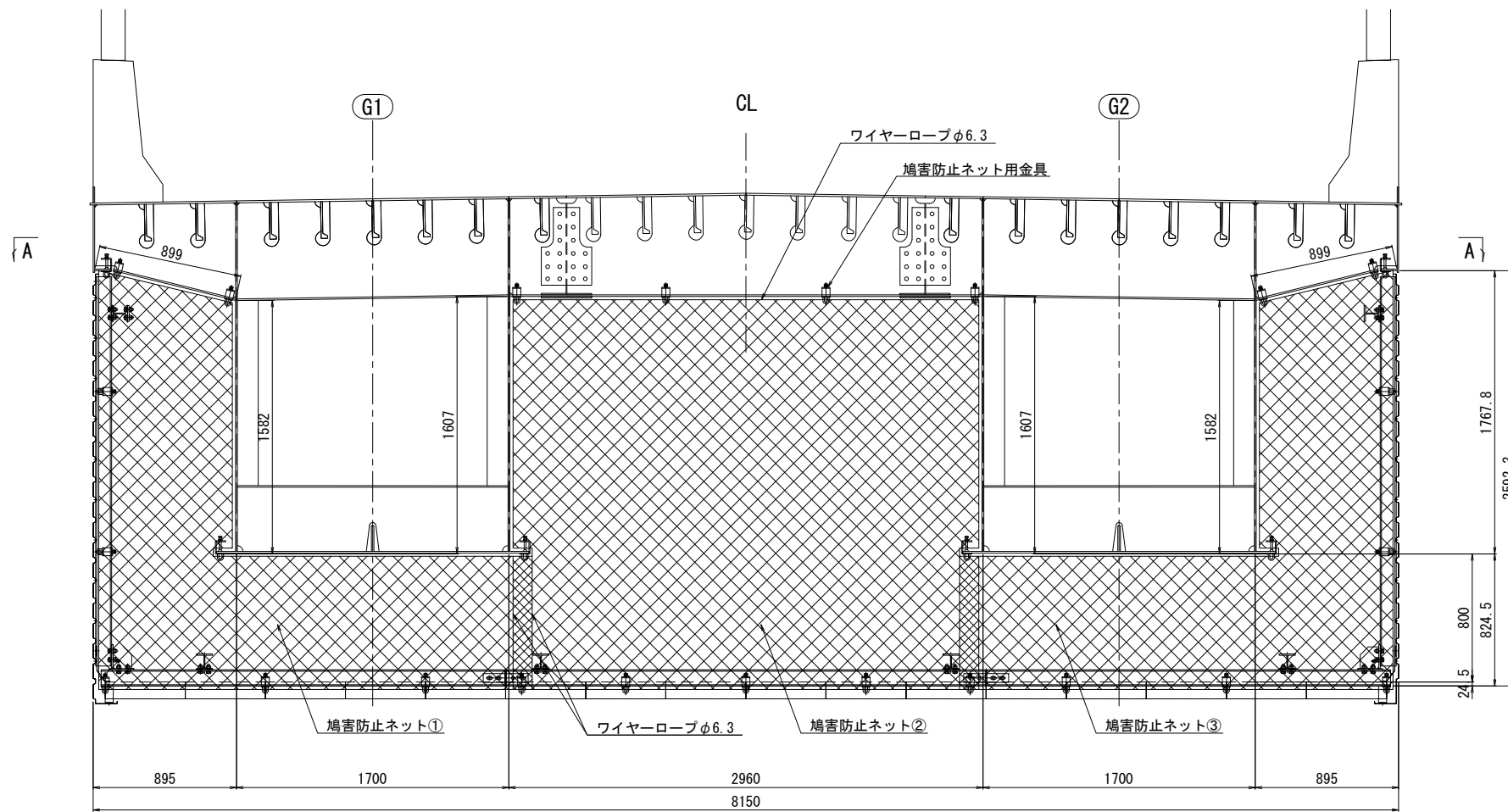


数量表 (1箇所あたり)

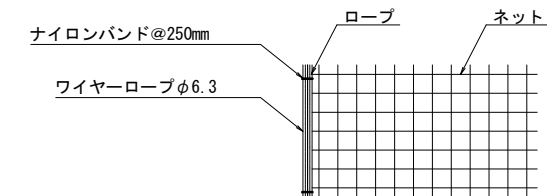
番号	種別	寸法	単位	数量	単位重量	重量	材質	摘要
1	端部取付金物	t=3.2	ヶ	2	-	-	SGH400相当 高耐候性メッキ鋼板	
2	ボルト・ナット	M10x45, 1ヶ止めN, 2W	組	2	-	-	SUS304	

平成27年度	図面番号	111 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	裏面吸音板端部取付金物詳細図	縮尺 S=1:2
大阪府茨木土木事務所		

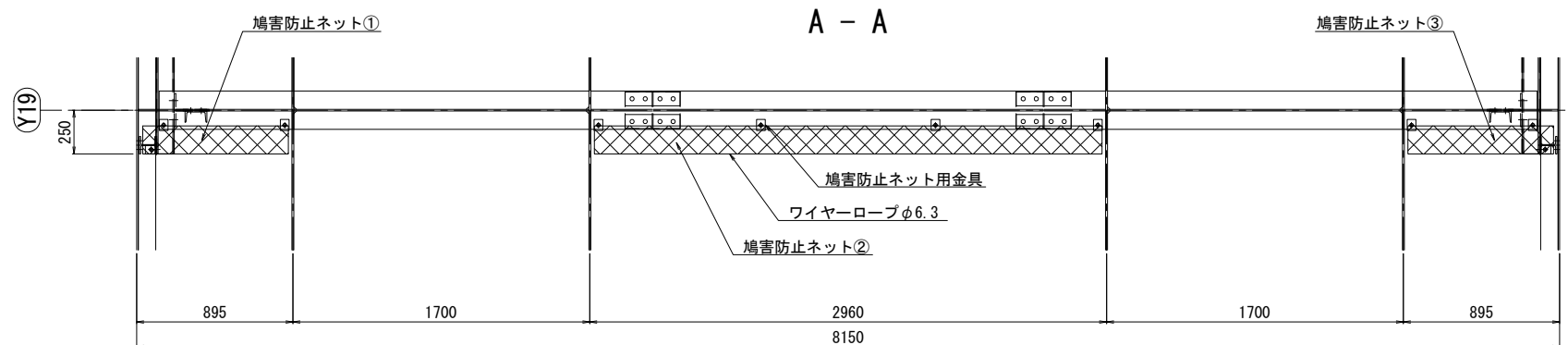
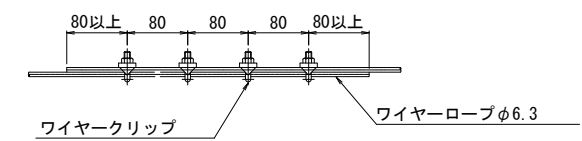
裏面吸音板起点側端部鳩害防止ネット詳細図 S=1:20



ネット取付詳細 S=1:5



ワイヤーロープ固定詳細 S=1:5

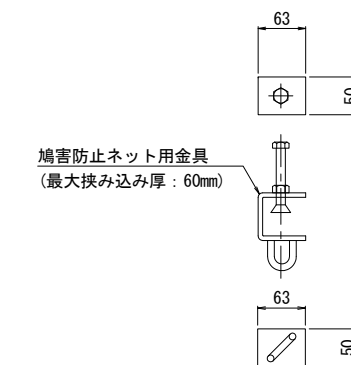


数量集計表

項目	単位	数量	備考
ネット <small>(再生ポリエステル製 網目25mm 250デニール 46本より線 無結節タイプ)</small>	m ²	14.1	
ワイヤーロープφ6.3 (6x19 G/O) (ナイロン被覆)	m	25.9	JIS G 3525
鳩害防止ネット用金具	個	29	溶融亜鉛メッキ

1箇所当り

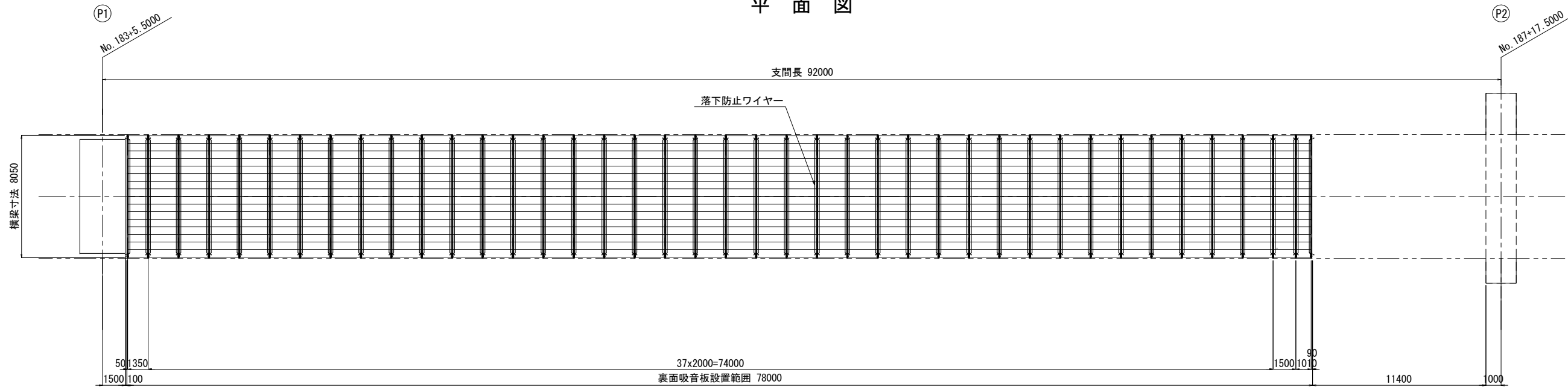
鳩害防止ネット用金具詳細 S=1:5



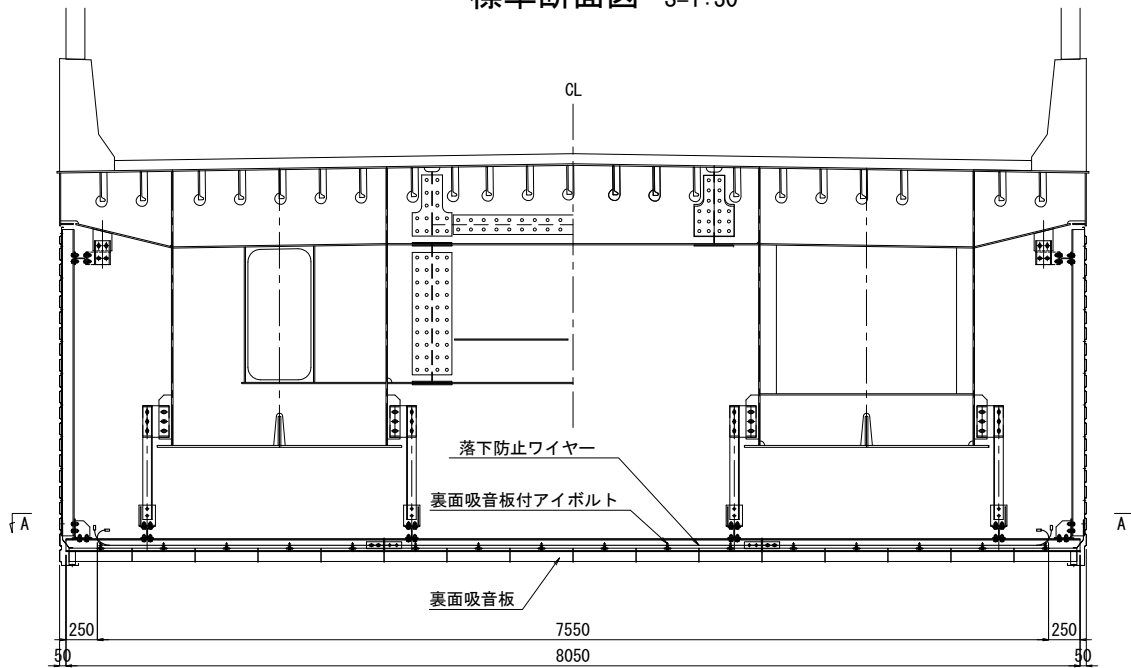
平成27年度	図面番号	116 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	裏面吸音板起点側端部鳩害防止ネット詳細 縮尺 S=1:20	
大阪府茨木土木事務所		

裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図 S=1:150

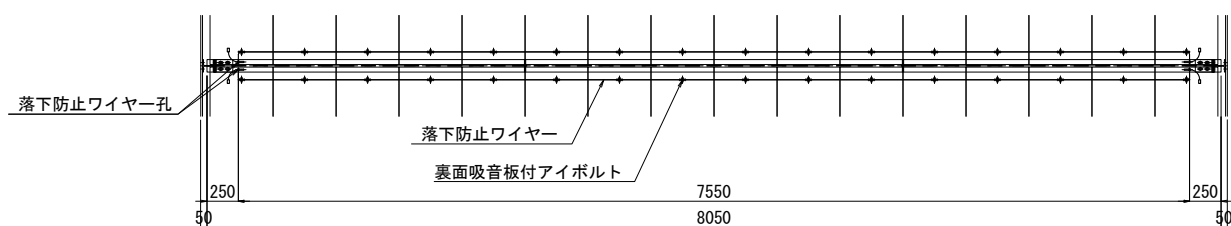
平面図



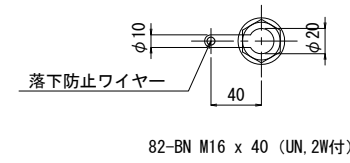
標準断面図 S=1:30



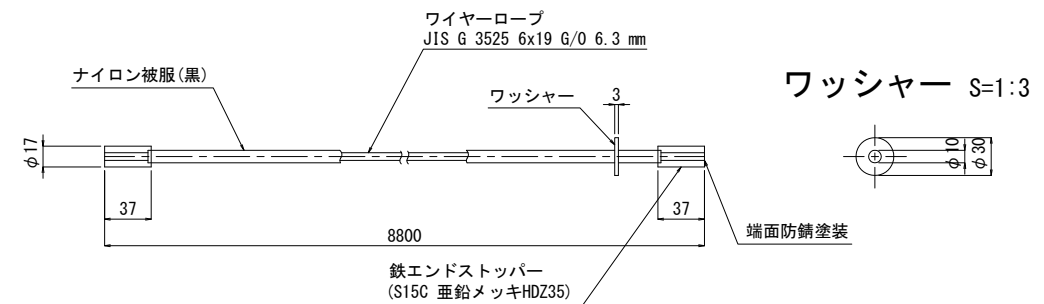
A - A S=1:30



落下防止ワイヤー取付詳細 S=1:3



落下防止ワイヤー S=1:3
(製作数 80本)



注記)

1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
2. 特記なき材料は、熔融亜鉛めっきを施す。
付着量は、以下の通りとする。
ボルト・ナット：JIS H8641 HDZ35
鋼 材：JIS H8641 HDZ55
3. 普通ボルトは全て緩み止めナットを使用する。

平成27年度	図面番号	112 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図 縮尺 S=1:150	
大阪府茨木土木事務所		

壁高欄 (その3) S=1:30

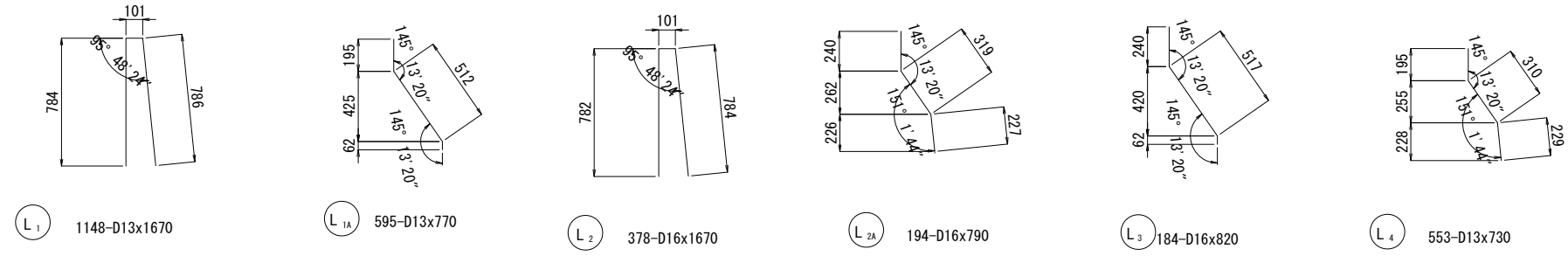
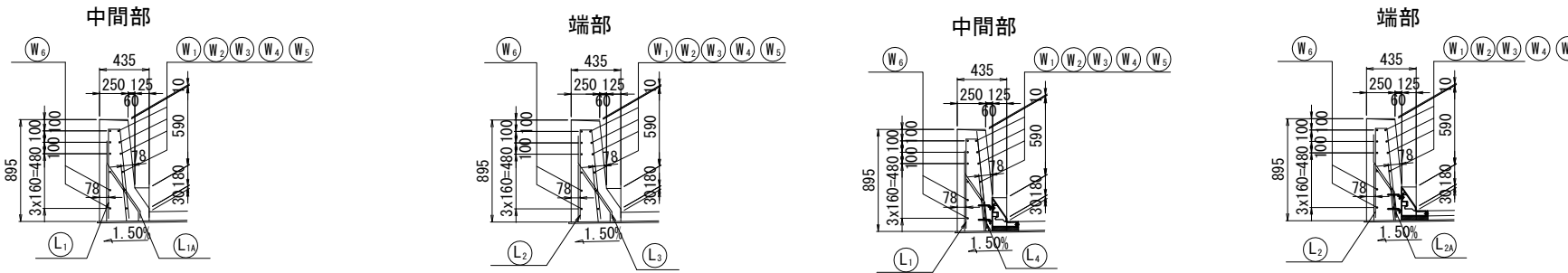
断面図

一般部

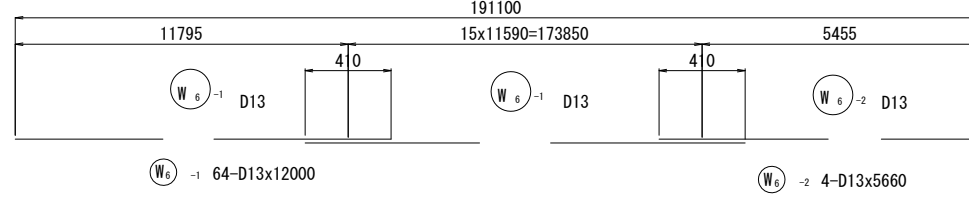
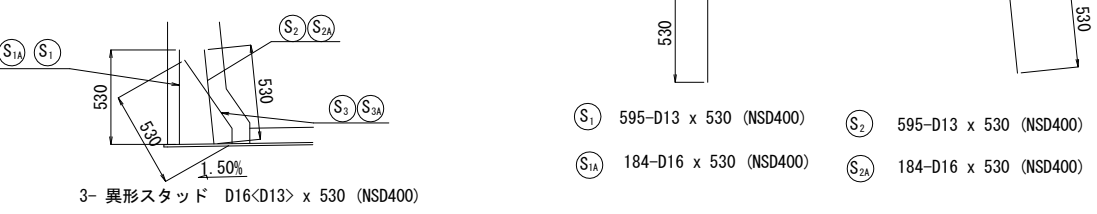
鋼製排水溝部

鉄筋表 (L1側, R1側各1箇所)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kgf/m)	1本当り重量 (kgf)	重量 (kgf)	摘要
L1	D13	1650	1148	0.995	1.64	1883	∥
L1A	D13	810	595	0.995	0.81	482	∖
L2	D16	1650	378	1.56	2.57	971	∥
L2A	D16	780	194	1.56	1.22	237	∖
L3	D16	760	184	1.56	1.19	219	∖
L4	D13	730	553	0.995	0.73	404	∖
W1	D13	4625	16	0.995	4.60	74	—
W2	D13	9800	128	0.995	9.75	1248	—
W3	D13	4800	8	0.995	4.78	38	—
W4	D13	6800	8	0.995	6.77	54	—
W5	D13	9450	8	0.995	9.40	75	—
W6-1	D13	12000	64	0.995	11.94	764	—
W6-2	D13	5660	4	0.995	5.63	23	—
鉄筋重量合計							
				D16	1427	kgf	
				D13	5045	kgf	
合計					6472	kgf	



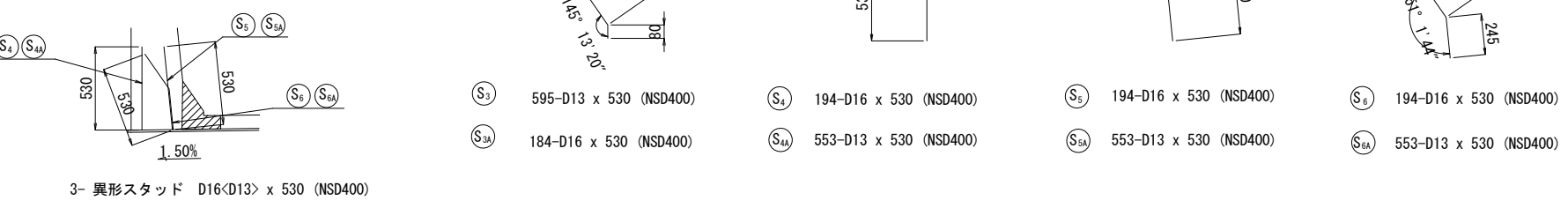
異形スタッド



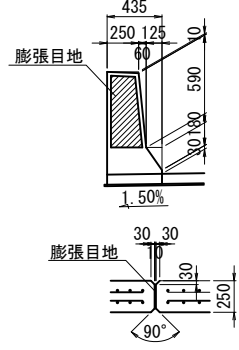
異形スタッド 鉄筋表 (L1側, R1側各1箇所)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kgf/m)	1本当り重量 (kgf)	重量 (kgf)	摘要
S1	D13	530	595	0.995	0.53	315	∥
S1A	D16	530	184	1.56	0.83	153	∥
S2	D13	530	595	0.995	0.53	315	∥
S2A	D16	530	184	1.56	0.83	153	∥
S3	D13	530	595	0.995	0.53	315	∖
S3A	D16	530	184	1.56	0.83	153	∖
S4	D16	530	194	1.56	0.83	161	∥
S4A	D13	530	553	0.995	0.53	293	∥
S5	D16	530	194	1.56	0.83	161	∥
S5A	D13	530	553	0.995	0.53	293	∥
S6	D16	530	194	1.56	0.83	161	∖
S6A	D13	530	553	0.995	0.53	293	∖
鉄筋重量合計							
				D16	942	kgf	
				D13	1824	kgf	
合計					2766	kgf	

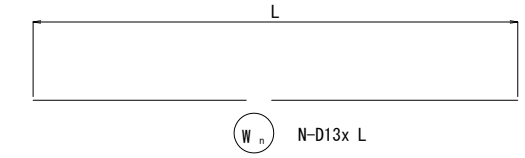
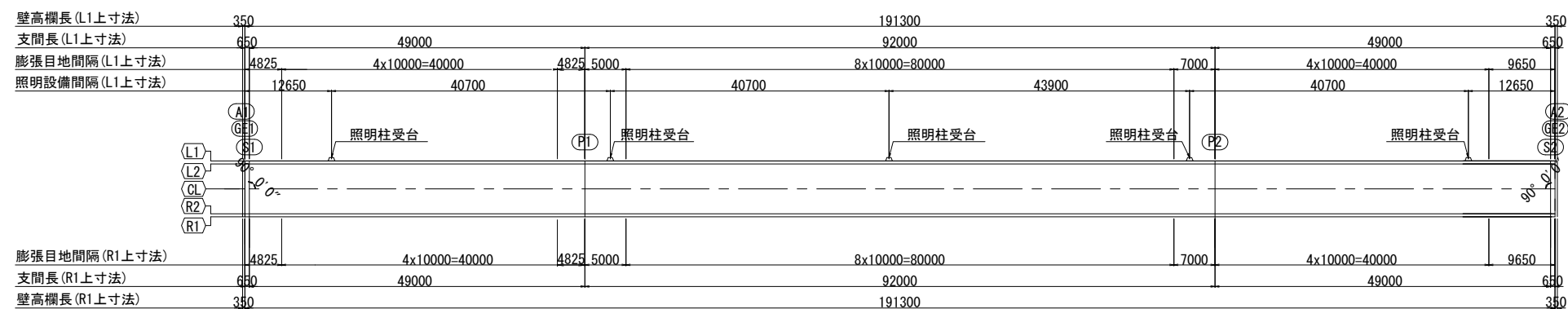
鋼製排水溝部



目地詳細図



配置図



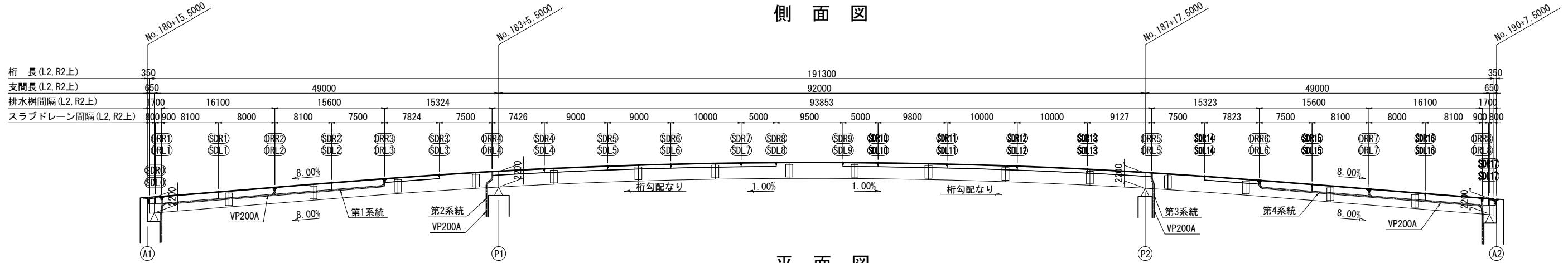
	L	N
W 1	4625	16
W 2	9800	128
W 3	4800	8
W 4	6800	8
W 5	9450	8

注記
 1. 特記なき材質は全て以下の通りとする。
 鉄筋: SD345
 異形スタッド鉄筋: NSD400
 コンクリート強度: $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
 2. 鋼床版現場継手附近の異形スタッドピッチは、添接板ボルトの取合いを考慮し、適宜に調整すること。異形スタッドは現場溶接とする。

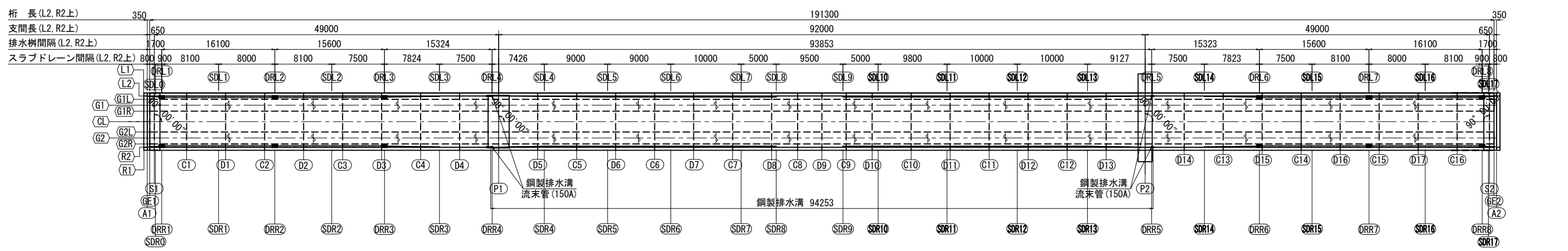
平成27年度	図面番号	59 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町内~吹田市南正雀3丁目内	
図面名	壁高欄 (その3)	縮尺 S=1:30
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置 (その1) S=1:300

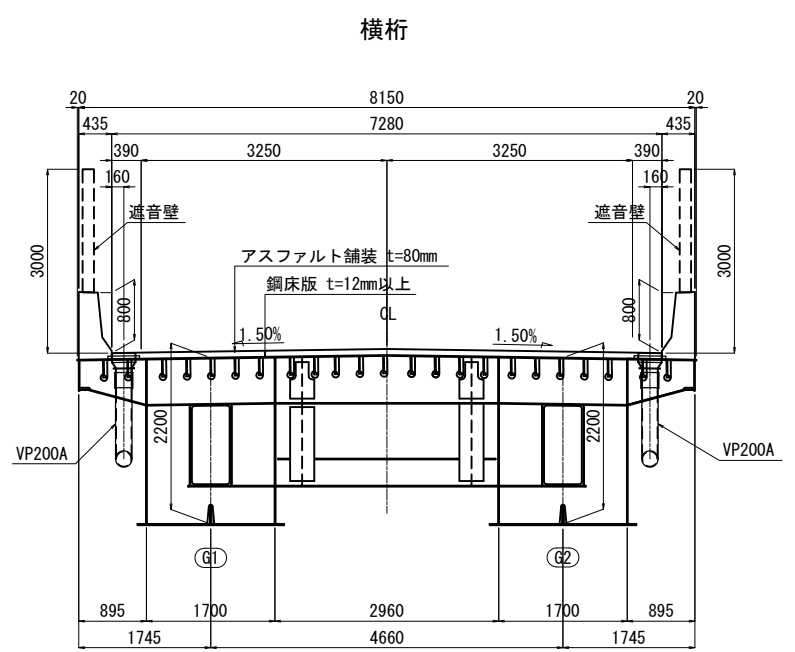
側面図



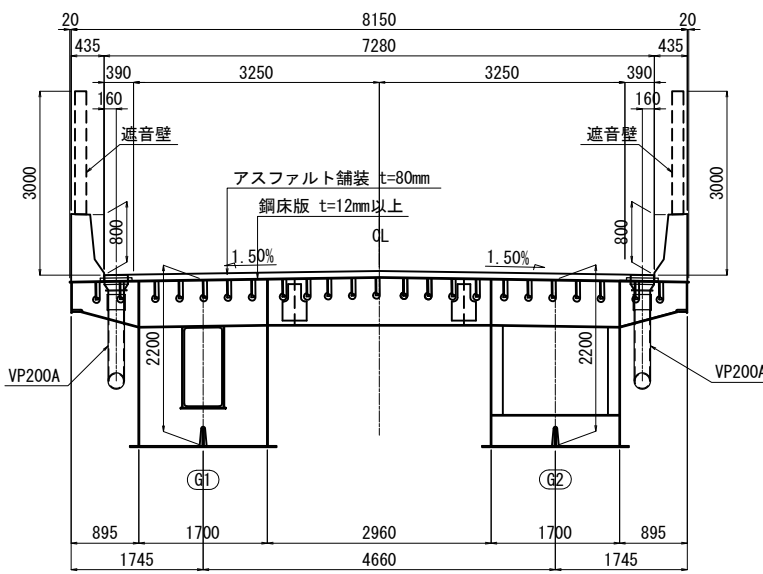
平面図



断面図 S=1:50

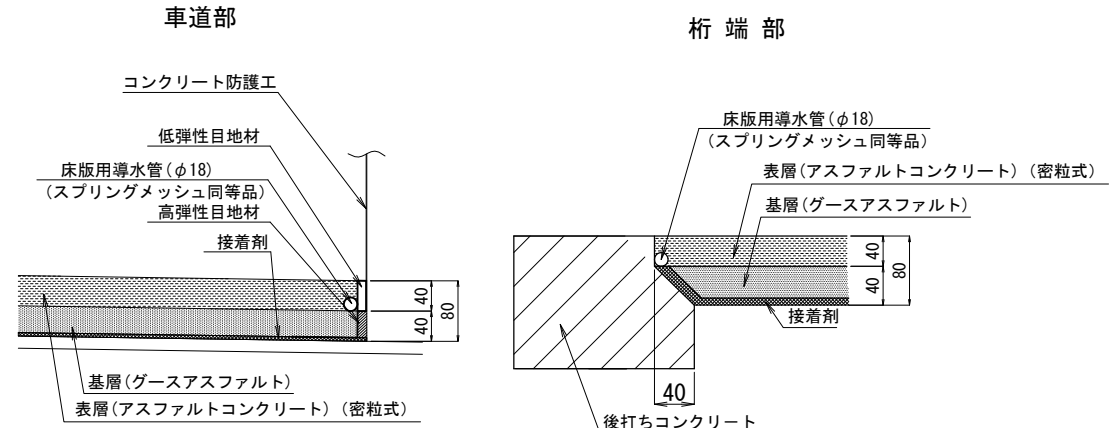


ダイヤフラム

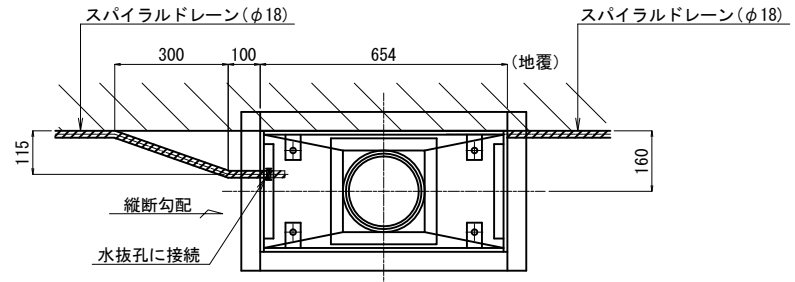


横リブ

防水層詳細 S=1:5



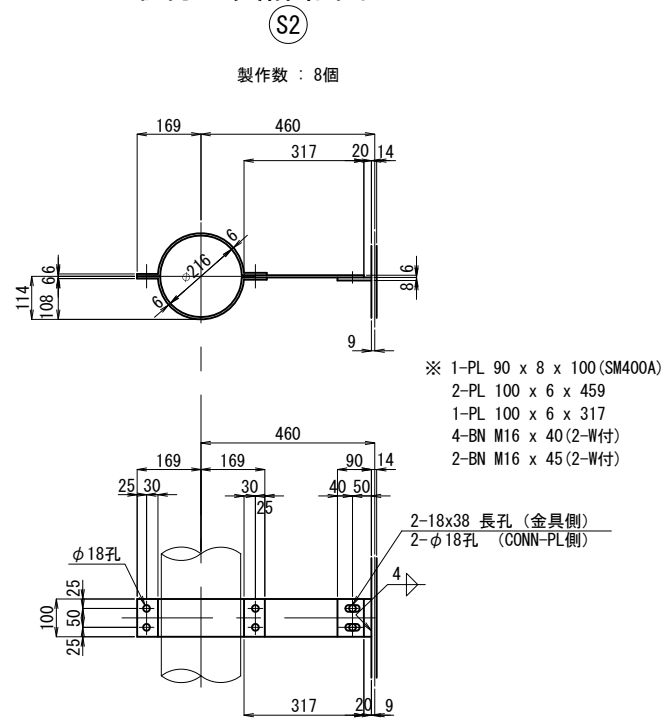
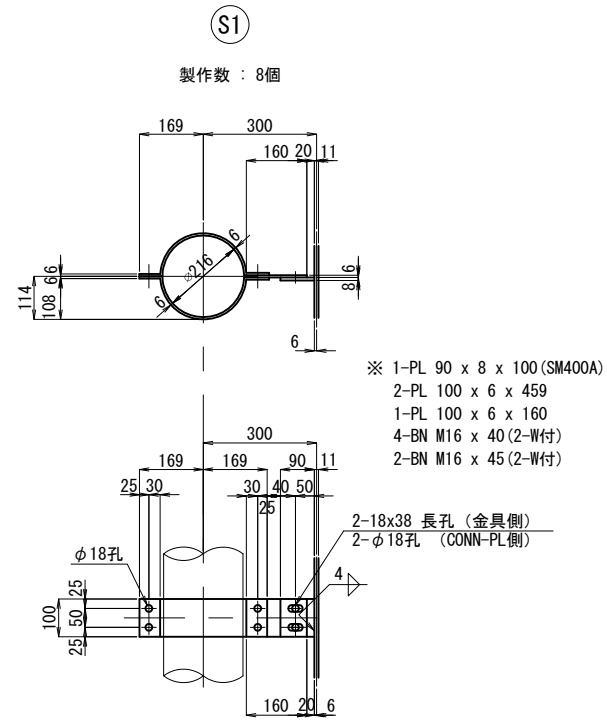
排水柵部詳細図 S=1:10



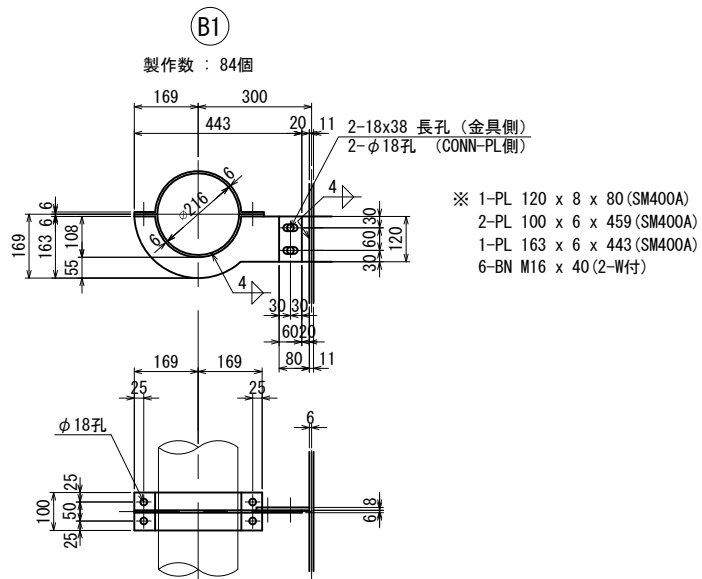
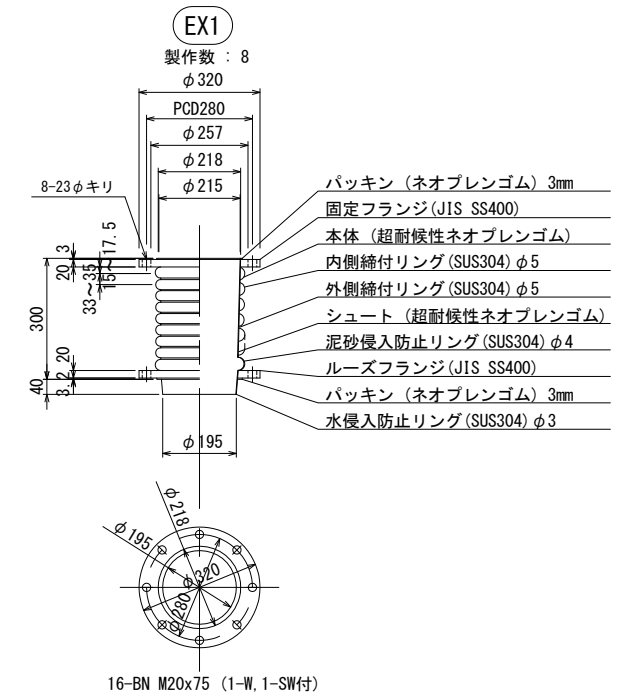
平成27年度	図面番号	68 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その1) 縮尺 S=1:300	
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置 (その8) S=1:10

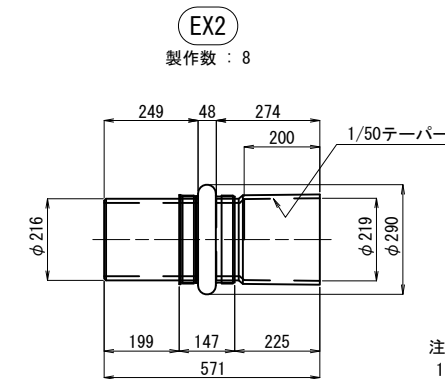
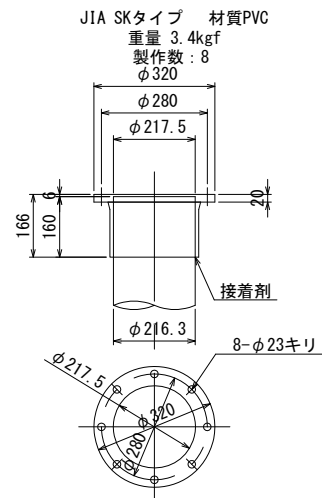
取付金具詳細図



伸縮管詳細



VP用継手フランジ



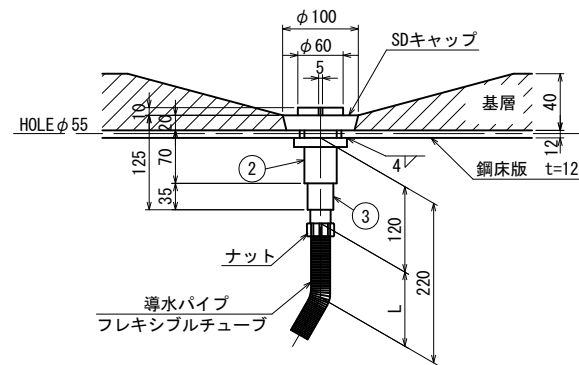
- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。
 - ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。

平成27年度	図面番号	75 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その8) 縮尺 S=1:10	
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置 (その12) S=1:5

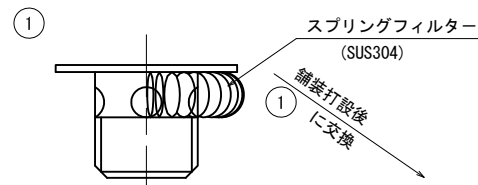
スラブドレーン詳細

製作数:36組



注記

- 施工時は、SDキャップを舗装打設後①に交換する。
- ②は工場溶接とし、③を現場で接続とする。
- 路肩部については、直接①を接続する。



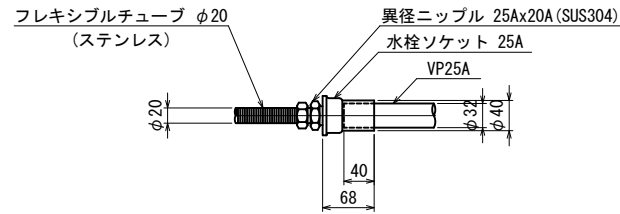
スラブドレーン部材表

部材名	寸法	備考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)キャップ付(2.3txφ60)
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)つば付(12txφ70)
本体構成部品 ③	φ40.0 x 80	樹脂性
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)
SDキャップ (耐熱用)	φ100 x 45	66ナイロン 34グラスファイバー

ソケット詳細図

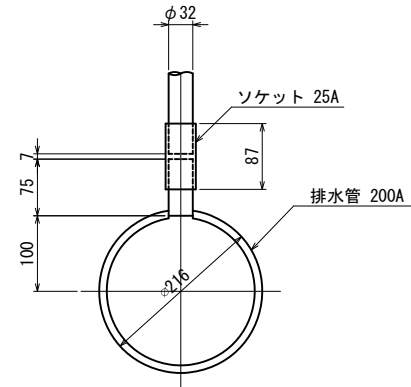
異径ニップル+水栓ソケット 25A

製作数:8組



排水管接続部

製作数:12組

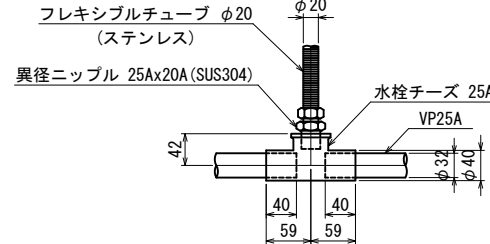


橋面排水管接続部詳細

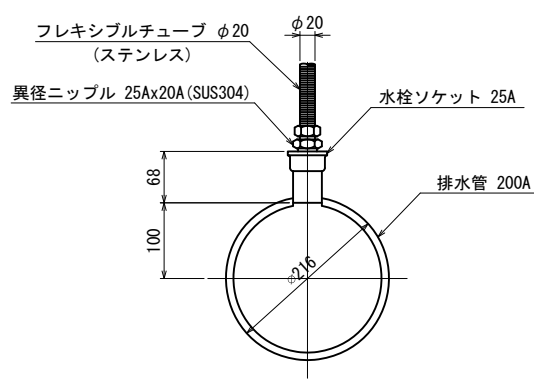
Tチーズ詳細図

異径ニップル+水栓チーズ 25A

製作数:20組

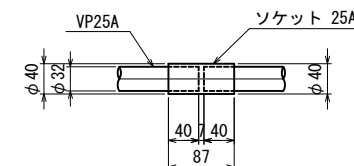


製作数:8組



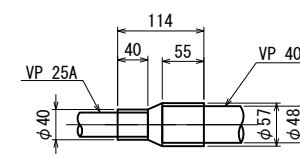
ソケット 25A

製作数:50組



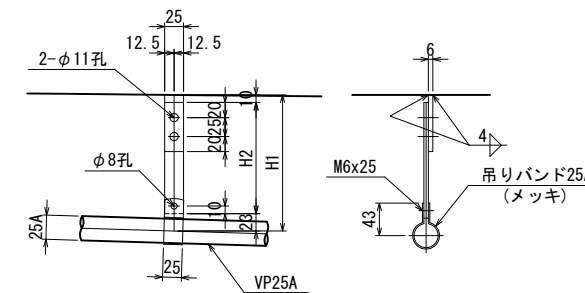
径違いソケット VP 40x25

製作数:4個



取付金具詳細図 (VP25A)

製作数:n個



1組当り

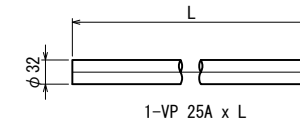
- 1-PL 25x6x 75 (SM400A)
- 1-PL 25x6x H2
- 2-BN M8x25 (1-W付)
- 1-吊バンド25A (A10157同等品) (メッキ) (M6x25付き)

注)

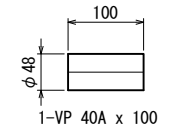
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。
- ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。

直管詳細図

製作数:n本



製作数:4本

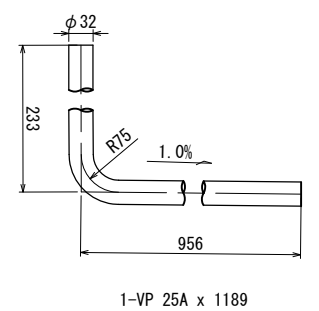


	L	n
①	4000	34
②	3477	2
③	3228	2
④	956	2
⑤	952	2
⑥	1969	2
⑦	1796	4
⑧	3000	2
⑨	3028	2
⑩	1750	2
⑪	1953	2
⑫	1957	2
⑬	926	2
⑭	699	4

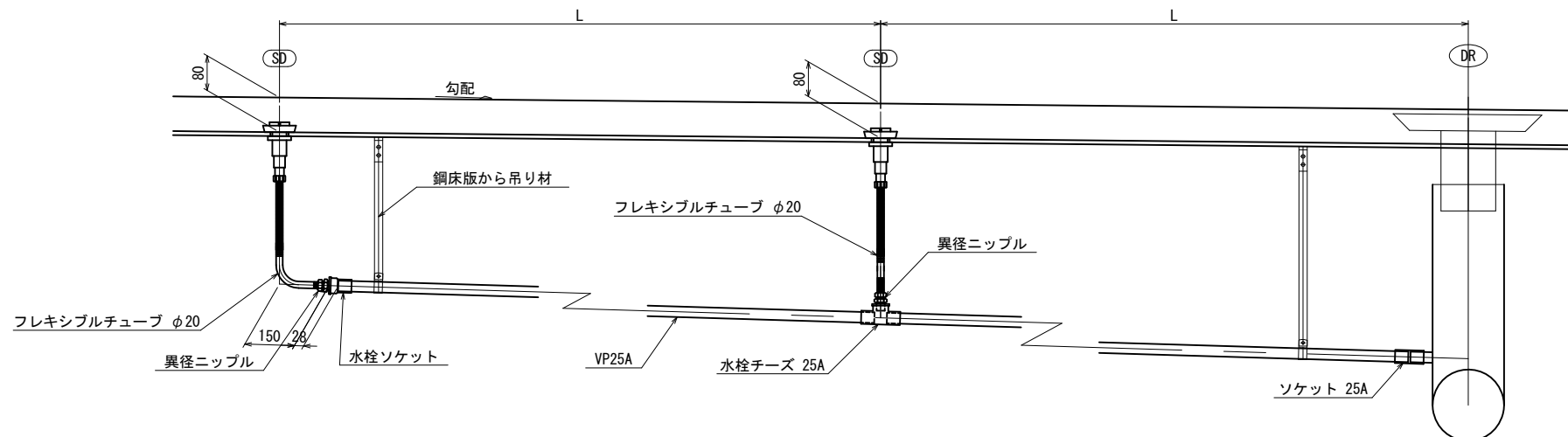
加工管詳細

R8

製作数:4本



水抜き管接続詳細(標準部) S=1:10

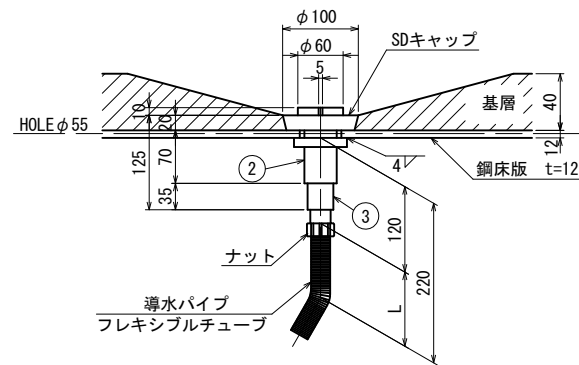


平成27年度	図面番号	79 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その12) 縮尺	S=1:5
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置 (その12) S=1:5

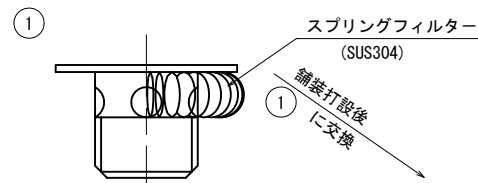
スラブドレーン詳細

製作数:36組



注記

- 施工時は、SDキャップを舗装打設後①に交換する。
- ②は工場溶接とし、③を現場で接続とする。
- 路肩部については、直接①を接続する。



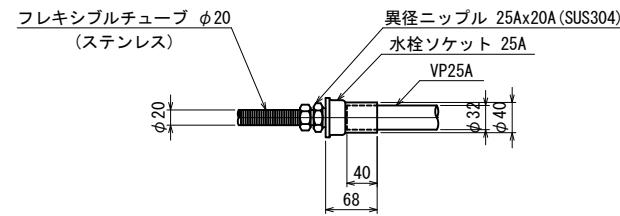
スラブドレーン部材表

部材名	寸法	備考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)キャップ付(2.3txφ60)
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)つば付(12txφ70)
本体構成部品 ③	φ40.0 x 80	樹脂性
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)
SDキャップ (耐熱用)	φ100 x 45	66ナイロン 34グラスファイバー

ソケット詳細図

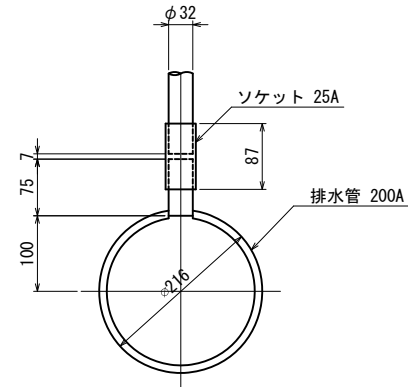
異径ニップル+水栓ソケット 25A

製作数:8組



排水管接続部

製作数:12組

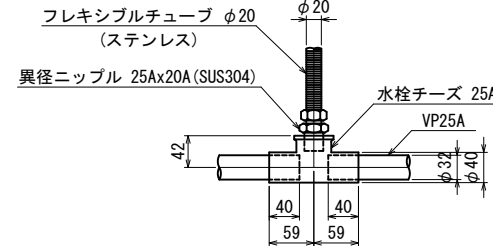


橋面排水管接続部詳細

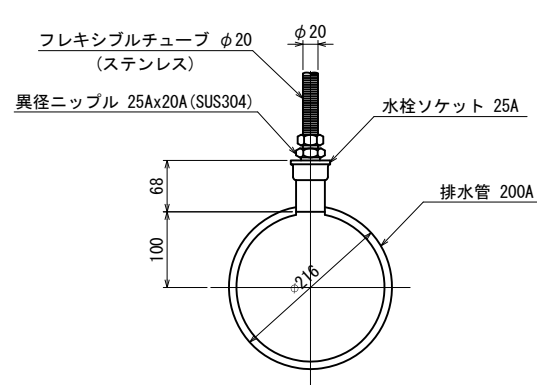
Tチーズ詳細図

異径ニップル+水栓チーズ 25A

製作数:20組

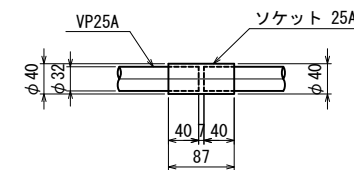


製作数:8組



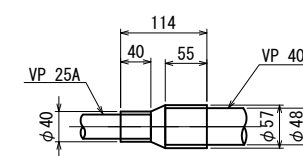
ソケット 25A

製作数:50組



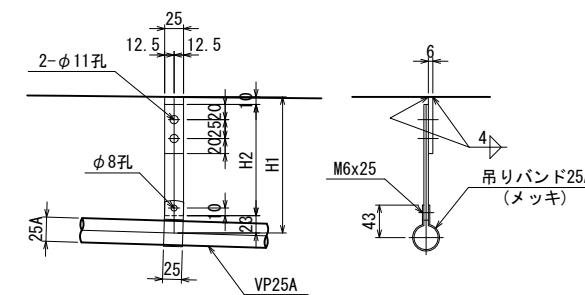
径違いソケット VP 40x25

製作数:4個



取付金具詳細図 (VP25A)

製作数:n個



1組当り

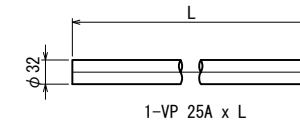
- 1-PL 25x6x 75 (SM400A)
- 1-PL 25x6x H2
- 2-BN M8x25 (1-W付)
- 1-吊バンド25A (A10157同等品) (メッキ) (M6x25付き)

注)

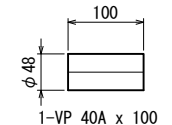
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。
- ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。

直管詳細図

製作数:n本



製作数:4本

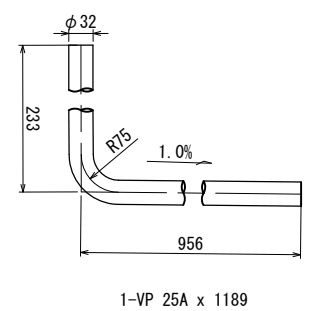


	L	n
①	4000	34
②	3477	2
③	3228	2
④	956	2
⑤	952	2
⑥	1969	2
⑦	1796	4
⑧	3000	2
⑨	3028	2
⑩	1750	2
⑪	1953	2
⑫	1957	2
⑬	926	2
⑭	699	4

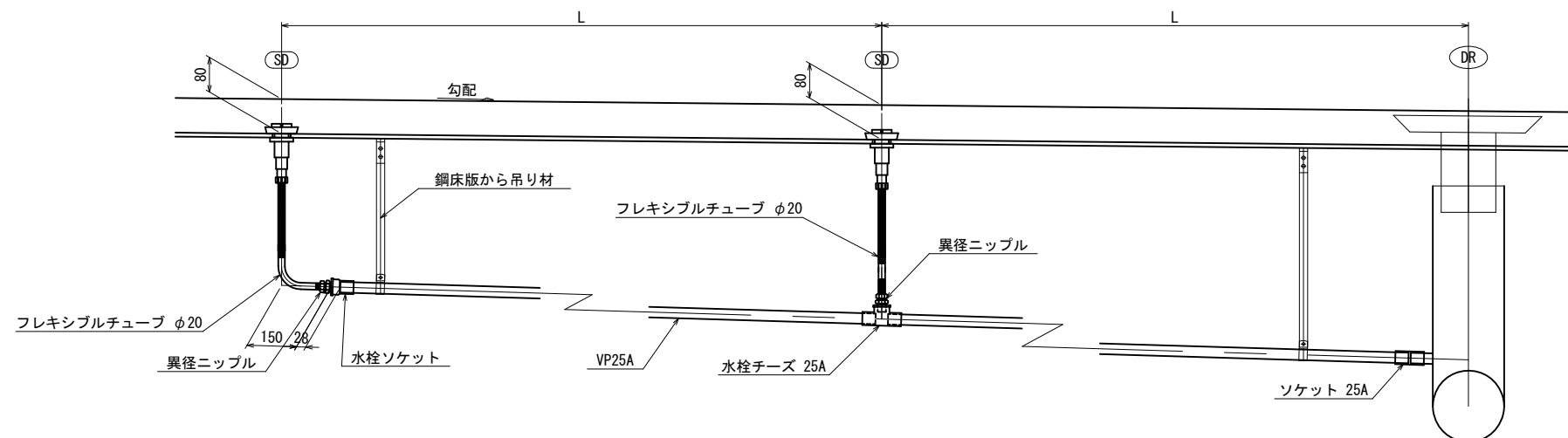
加工管詳細

R8

製作数:4本



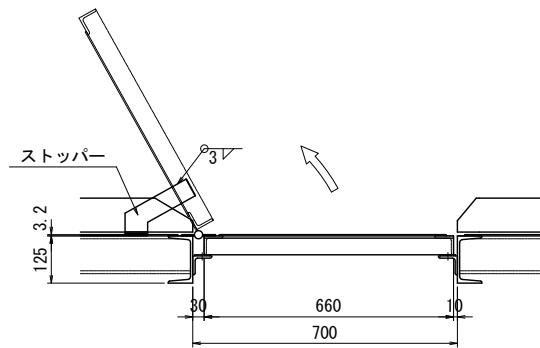
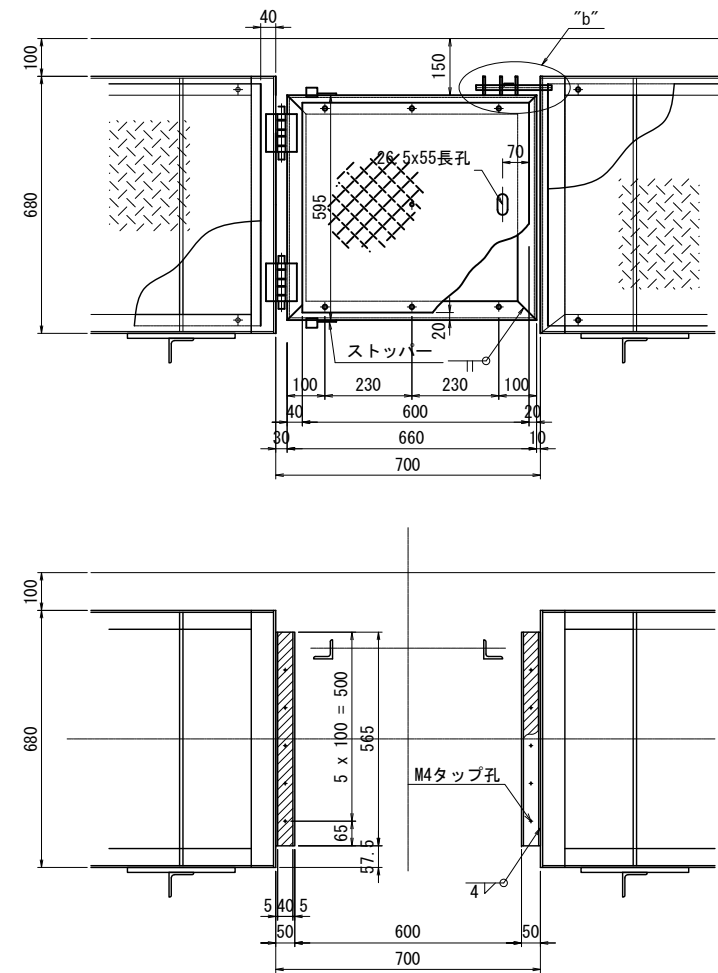
水抜き管接続詳細(標準部) S=1:10



平成27年度	図面番号	79 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その12) 縮尺	S=1:5
大阪府茨木土木事務所		

下部工検査路(その6) S=1:10

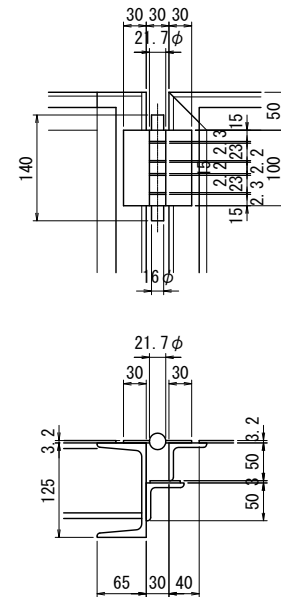
マンホール詳細
製作数：3



- 2 - L 50 x 50 x 6 x 660
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 595
- 1 - Ch.PI 555 x 3.2 x 600 (SS400相当品)
- 6 - B.N M10 x 30 (2-W)

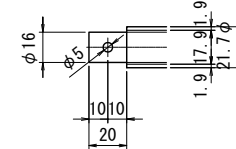
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 565
- 1 - ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
- 5 - 皿ネジ M4 x 8
- 1 - L 50 x 50 x 6 x 565
- 1 - ゴム 40 x 3 x 565 (エチレンプロピレンゴム)
- 5 - 皿ネジ M4 x 8
- 2 - F.B 50 x 6 x 50
- 1 - F.B 50 x 6 x 50

蝶番詳細 S=1:5

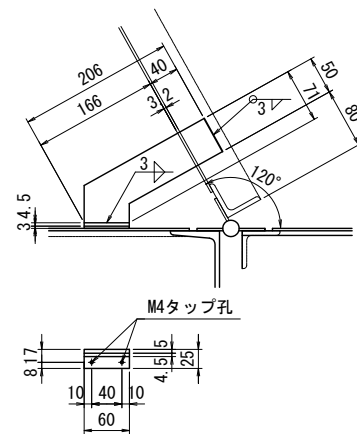


- 1箇所当り部材 (設置数：2箇所)
- 2 - PI 30 x 3.2 x 100 (SM400A)
 - 3 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 15 (STK400)
 - 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 23 (STK400)
 - 1 - RB φ16 x 140 (SS400)
 - 2 - 割リピン φ5 x 36 (SWRM8)

ピン端部詳細 S=1:2

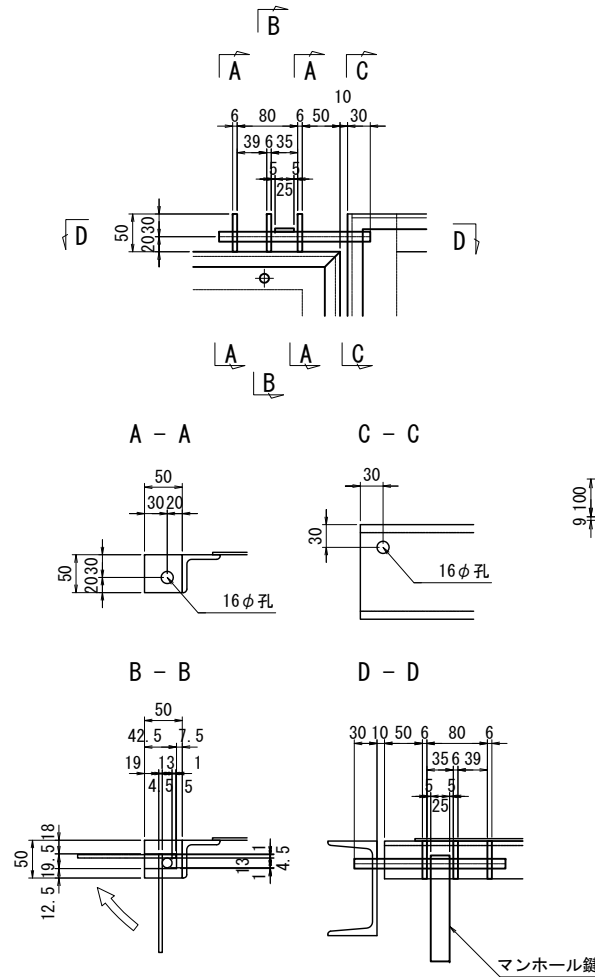


ストッパー部詳細 S=1:5

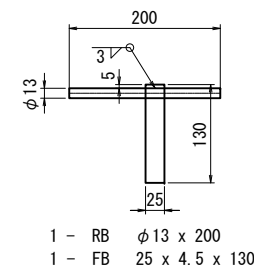


- 1箇所当り部材 (設置数：2箇所)
- 1 - PI 25 x 4.5 x 60 (SM400A)
 - 1 - PI 206 x 4.5 x 71 (SM400A)
 - 1 - ゴム 25 x 3 x 60 (エチレンプロピレンゴム)
 - 2 - 皿ネジ M4 x 8

"b"部詳細 S=1:5

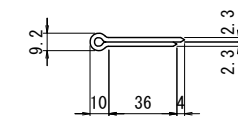


マンホール鍵詳細 S=1:5



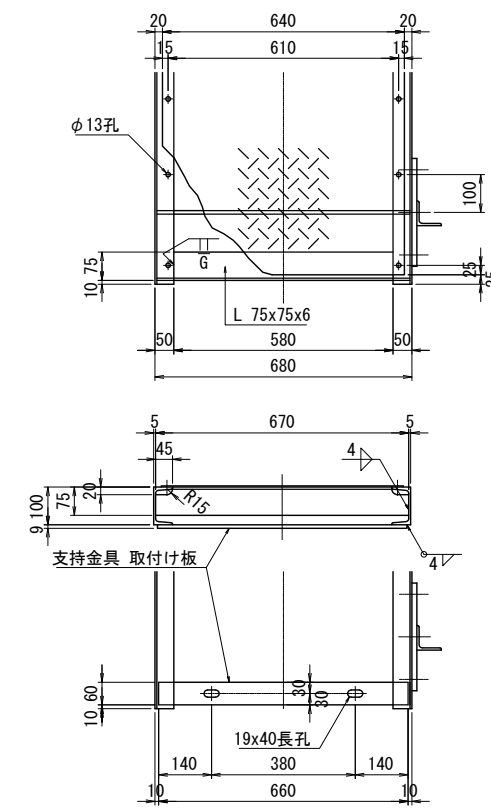
- 1 - RB φ13 x 200
- 1 - FB 25 x 4.5 x 130

割リピン詳細 S=1:2

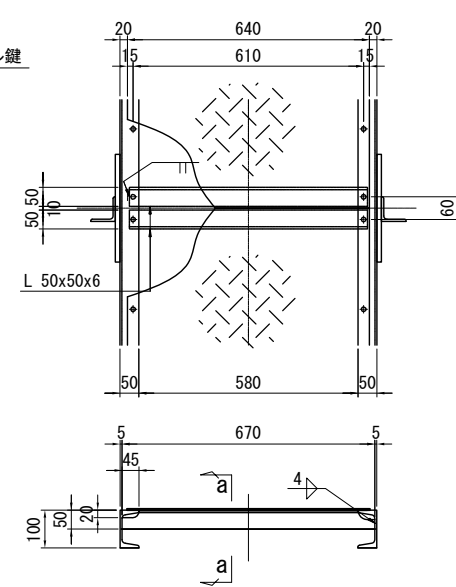


歩廊端部詳細

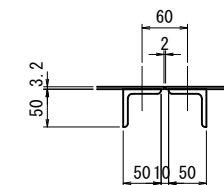
架け違い部



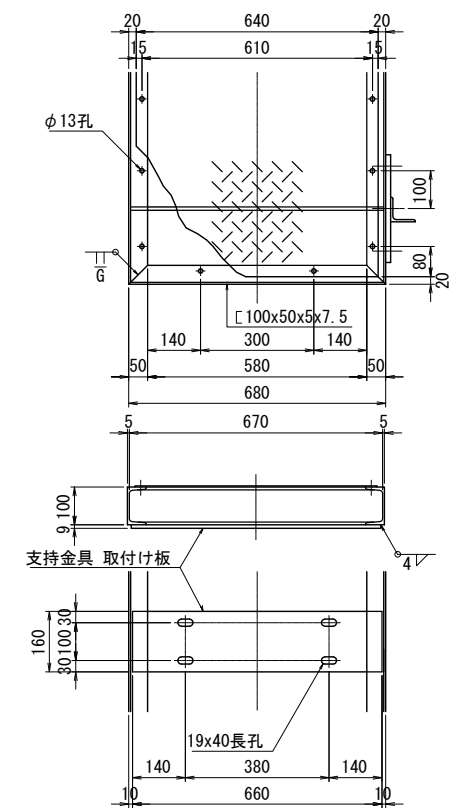
"a"部詳細



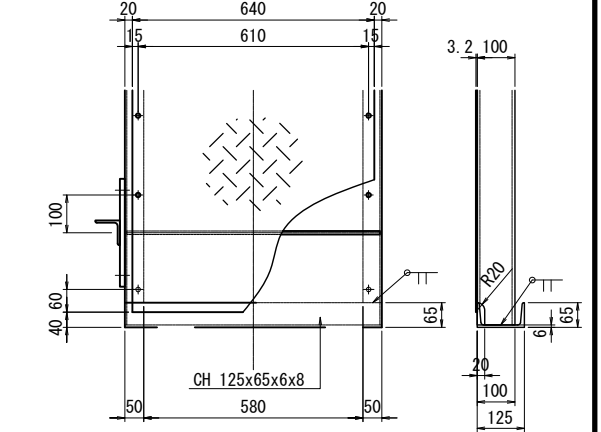
a - a S=1:5



端部



マンホール部

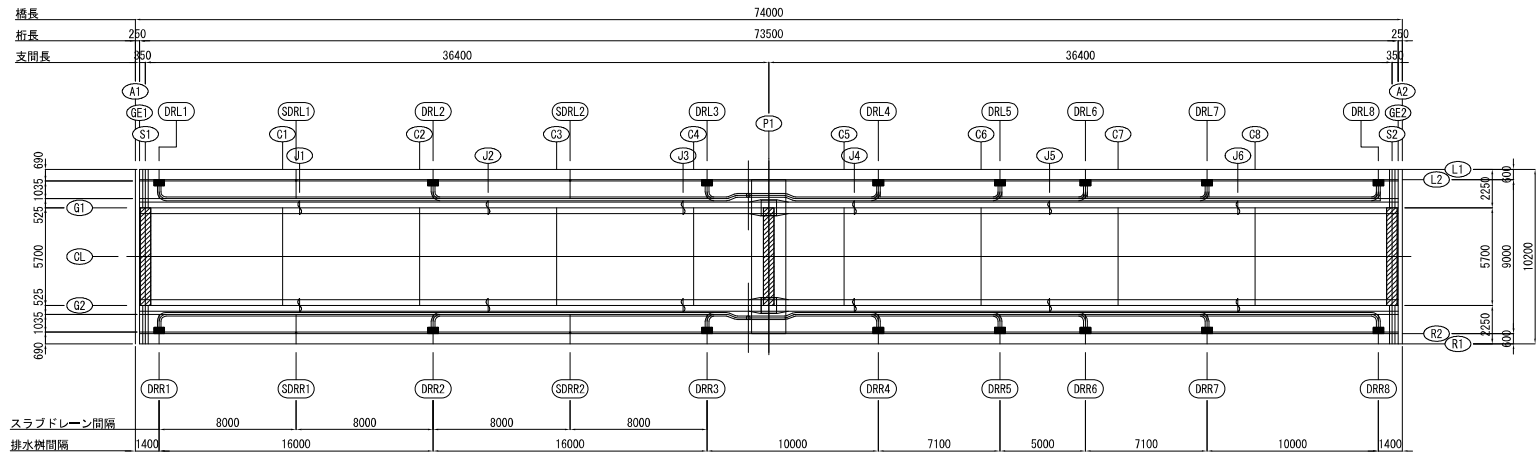
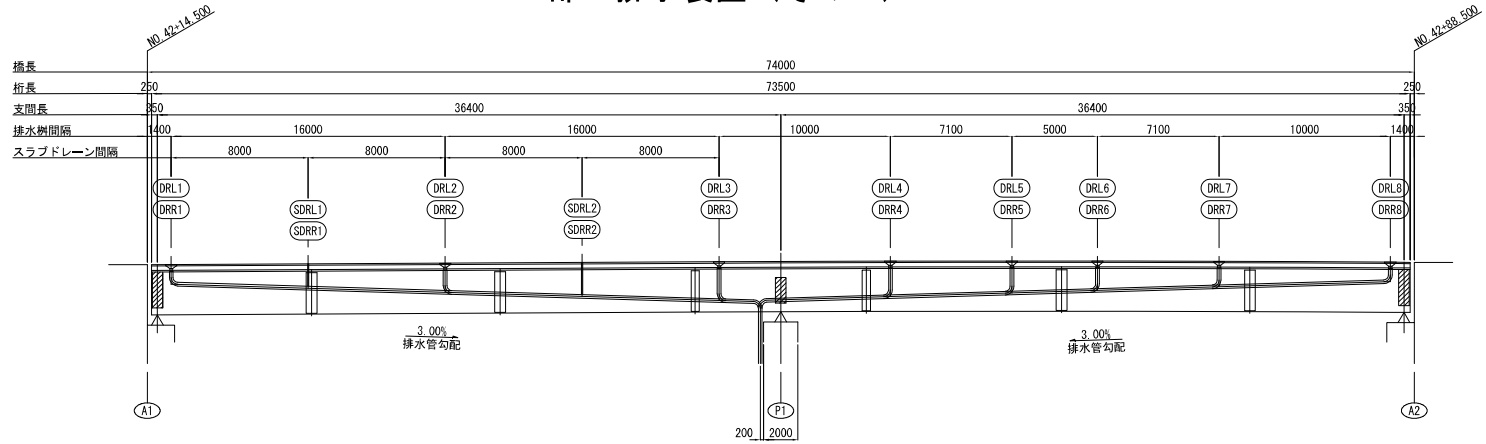


- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。垂鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HDZ55とする。但し、鋼材については、板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等はHDZ55、板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45、板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類はHDZ35とする。

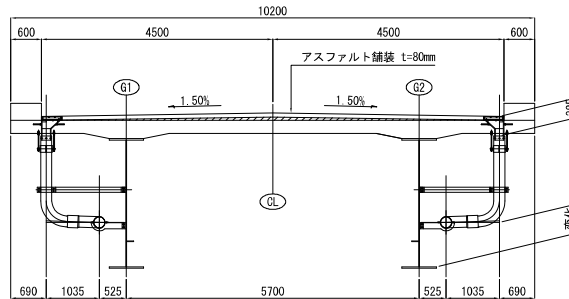
平成27年度	図面番号
路線名	都市計画道路十三高槻線
業務名	
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内
図面名	下部工検査路(その6) 縮尺 S=1:10
大阪府茨木土木事務所	

上部工排水装置 (その1)

S = 1:150



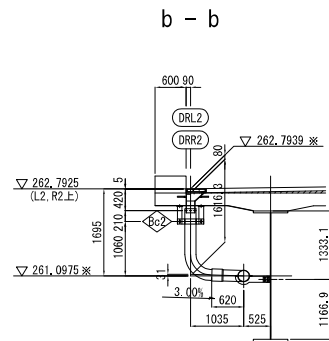
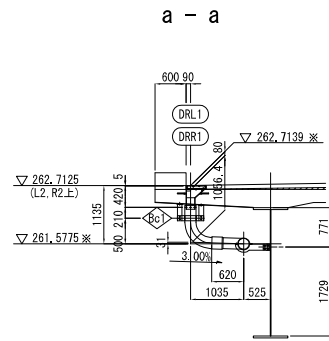
断面図 S=1:50



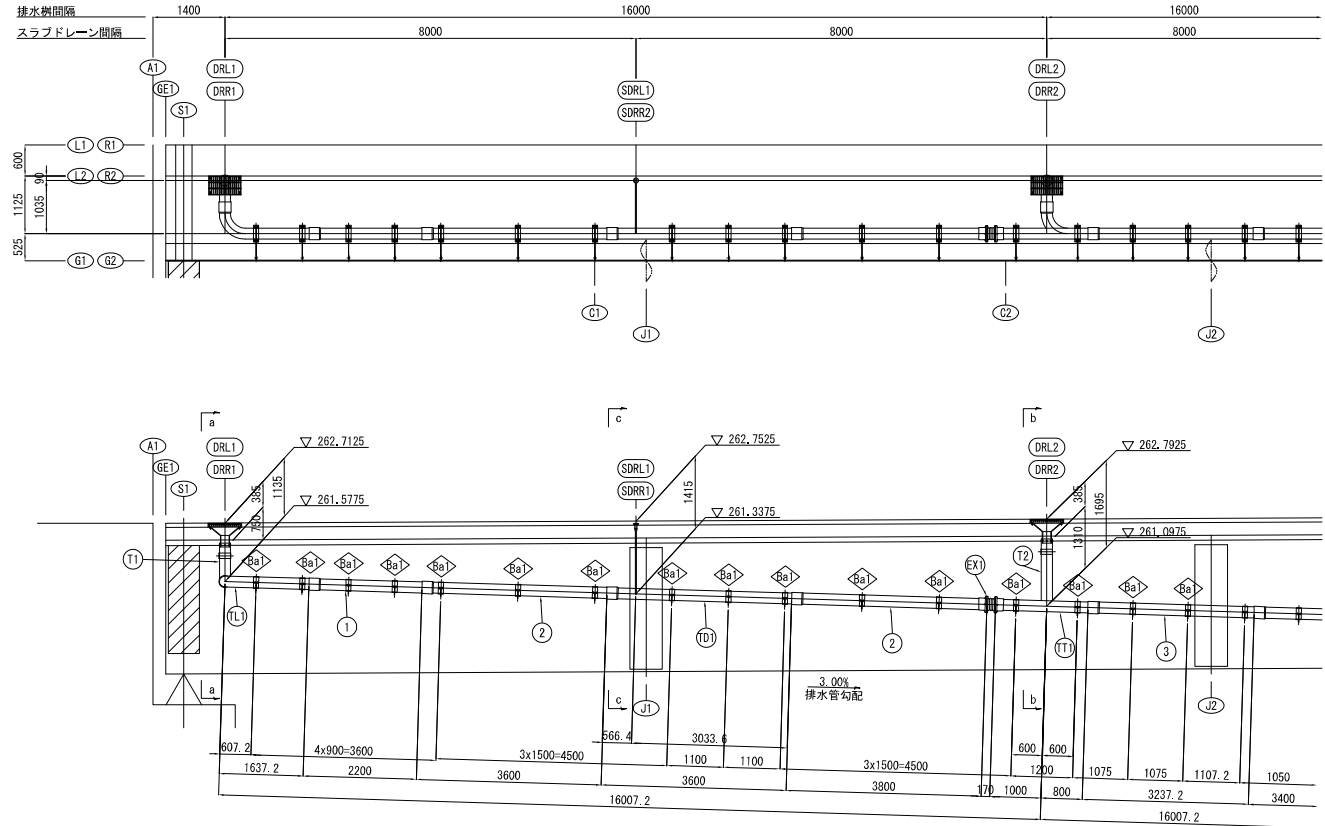
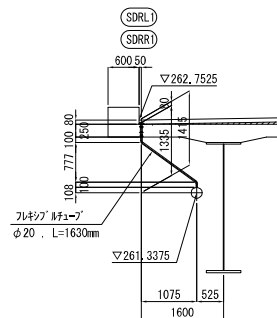
注 記
1. G2桁は、CLに線対称とする。

年 度	平成27年	番 号	38/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工排水装置 (その1)		
縮 尺	図 示	作 成 年 月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工排水装置 (その2) S = 1:50



c - c



<排水数量 L側, R側>

- 面管
 ① 2 - VP 200A x 2400 (スリーブ付)
 ② 4 - VP 200A x 3800 (スリーブ付)
 ③ 2 - VP 200A x 3437 (スリーブ付)

- 加工管
 (T1) : 2 個
 (T2) : 2 個
 (TL) : 2 個
 (TI) : 2 個
 (TD) : 2 個

- 伸縮管
 (EX1) : 2 個
 VP用TSフランジ : 4 個

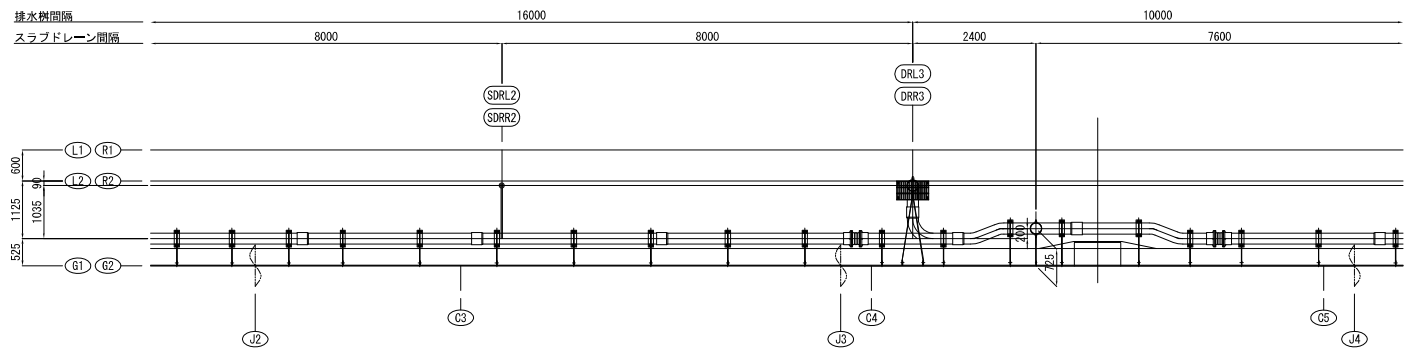
- 取付金具
 (Ba) : 32 個
 (Bb) : 2 個
 (Bc) : 2 個

注 記

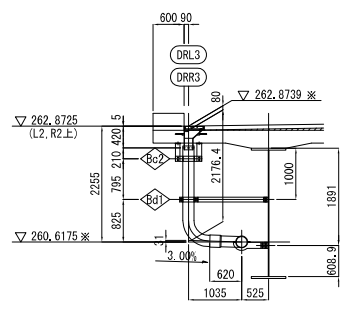
1. ※印付標高は、排水管中心の標高を示す。

年 度	平成27年	番 号	39/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工排水装置 (その2)		
縮 尺	1:50	作 成 年 月	平成29年2月
大阪府富田土木事務所			

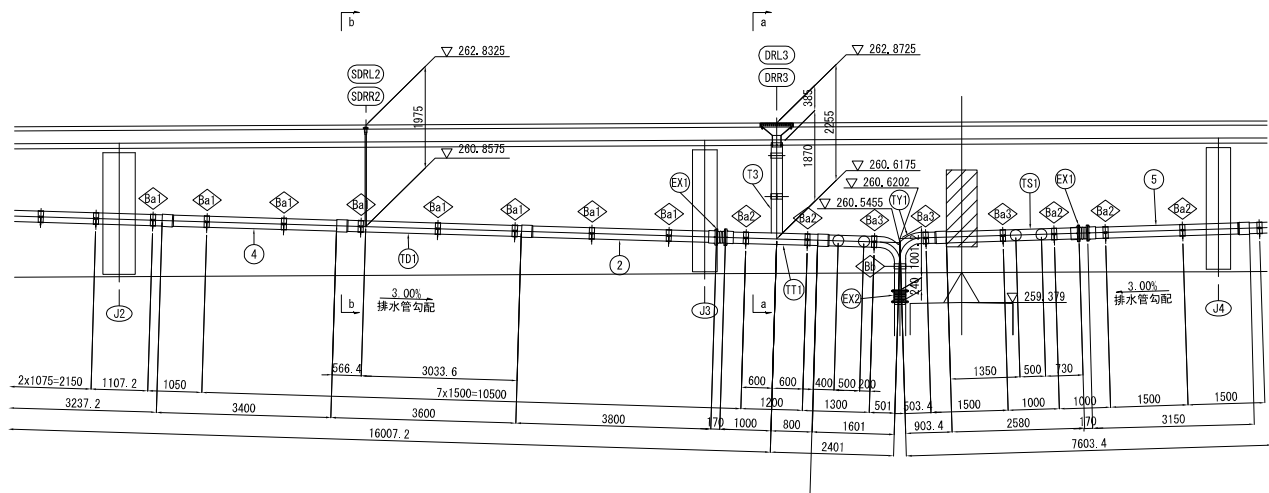
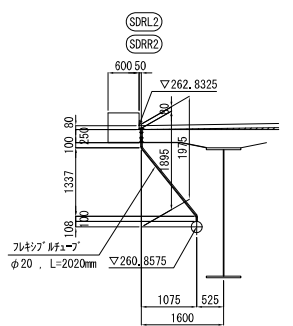
上部工排水装置 (その3) S = 1:50



a - a



b - b



◀排水数量 L側, R側▶

- | | | | |
|----------------------------|----------|----------------|-----------|
| 直管 | 加工管 | 伸縮管 | 取付金具 |
| ② 2-VP 200A x 3800 (スリーブ付) | T3 : 2個 | EX1 : 4個 | Ba1 : 16個 |
| ④ 2-VP 200A x 3600 (スリーブ付) | TT1 : 2個 | VP用TSフランジ : 8個 | Ba2 : 10個 |
| ⑤ 2-VP 200A x 3150 (スリーブ付) | TT1 : 2個 | | Ba3 : 6個 |
| | TD1 : 2個 | | Ba4 : 2個 |
| | TS1 : 2個 | | Ba5 : 2個 |
| | | | Ba6 : 2個 |

注記
 1. ※印付標高は、排水管中心の標高を示す。

年度	平成27年	番号	40/153
路線 河川名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	上部工排水装置 (その3)		
縮尺	1:50	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

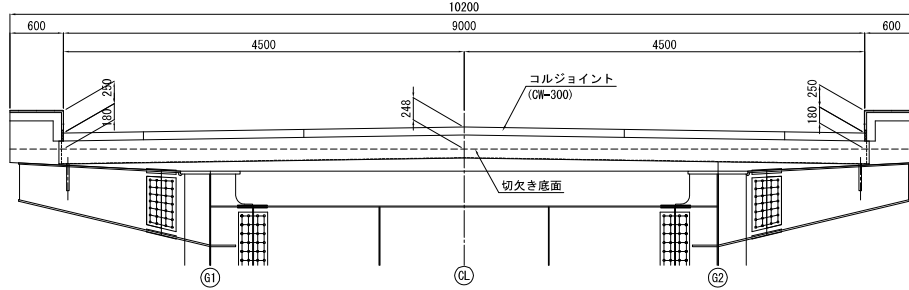
伸縮継手装置 (その1)

S = 1:30

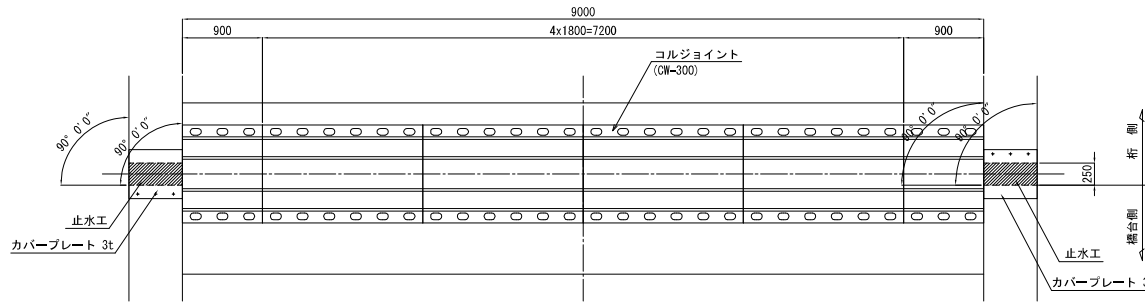
A1 A2

(二次止水対策済)

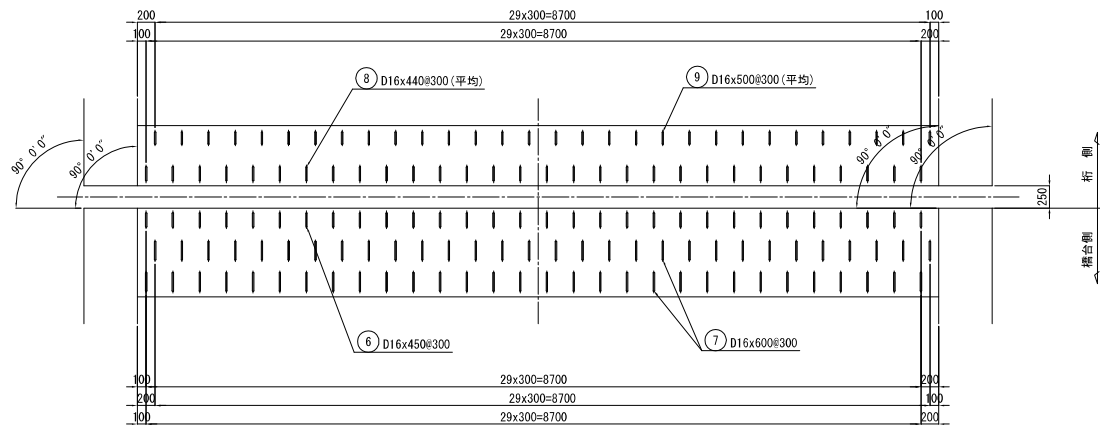
横断面図



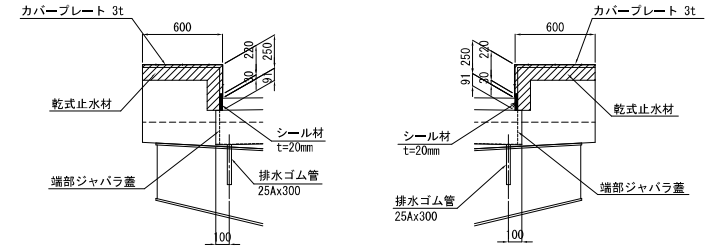
伸縮装置平面割付図



補強鉄筋⑥⑦⑧⑨平面割付図

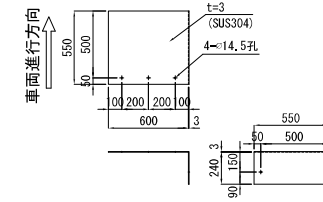


地覆部止水工 S=1:20

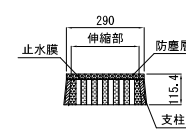


カバープレート詳細図 S=1:20

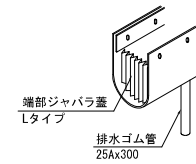
(製作数: 2)



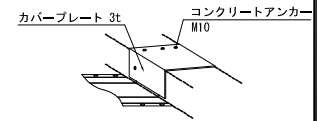
乾式止水材 S=1:10 No. 28



端部ジャバラ蓋詳細図

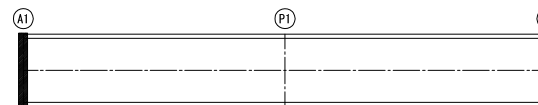


地覆部姿図



注記
1. 各部詳細図及び材料表は、「伸縮装置詳細図(その2)参照。」

配置図

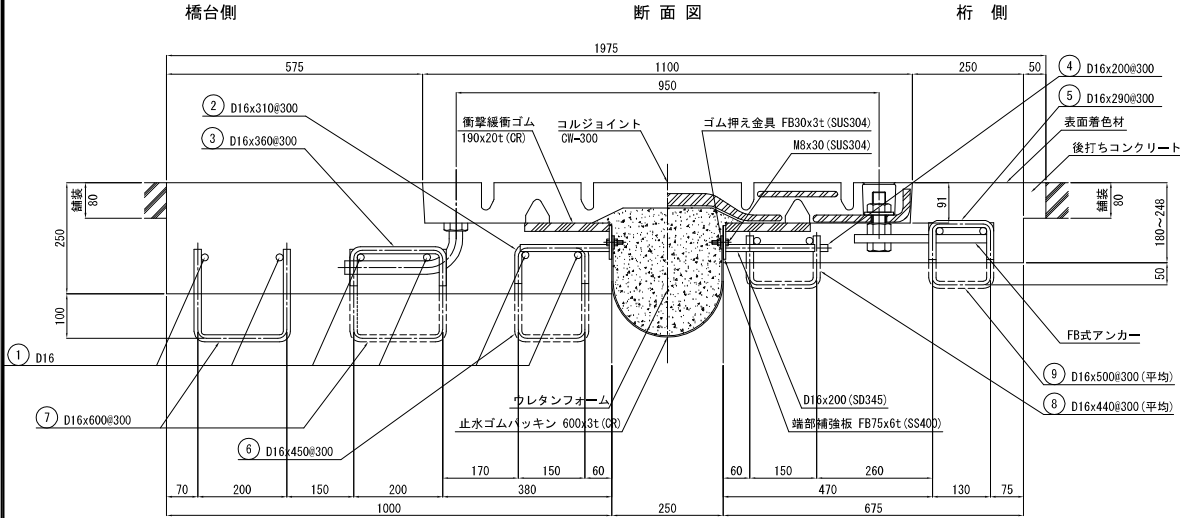


年度	平成27年	番号	53/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所屬地名	河内長野市天見地内		
図面名	伸縮継手装置(その1)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

伸縮継手装置（その2）

S = 1:6

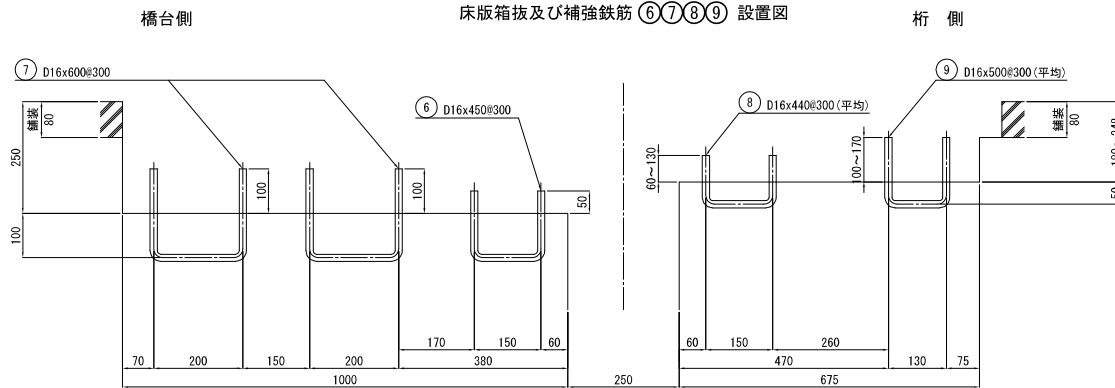
(A1) (A2)



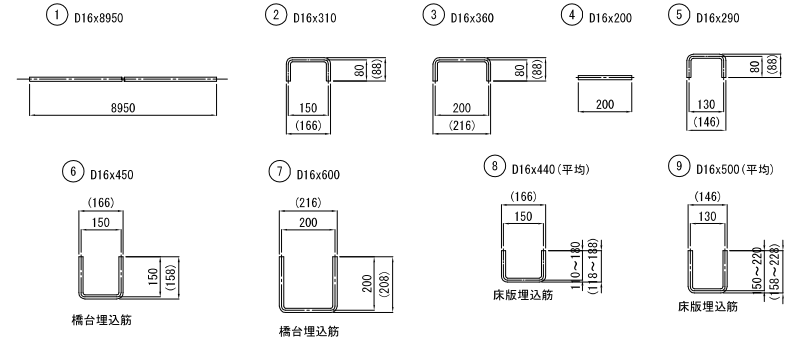
材料表

品名	仕様、規格	単位	A1	A2	備考
コルジョイント	CW-300 (重量 452.6kg/1.8m)	m	9,000	9,000	本体
アンカーボルト	φ30	Set	30	30	
FB式アンカー	M30	Set	30	30	
2液シーラント	ジョイント用	kg	78.6	78.6	2液シーラント 8.73kg/m
補強鉄筋	① 10-D16x8950	kg	140	140	
	② 30-D16x 310	kg	15	15	
	③ 30-D16x 360	kg	17	17	
	④ 30-D16x 200	kg	9	9	
	⑤ 30-D16x 290	kg	14	14	
	⑥ 30-D16x 450	kg	21	21	下部工施工
	⑦ 60-D16x 600	kg	56	56	下部工施工
	⑧ 30-D16x 440 (平均)	kg	21	21	上部工施工
	⑨ 30-D16x 500 (平均)	kg	23	23	上部工施工
後打ちコンクリート	生コンクリート (早強)	m ³	2.9	2.9	σ _{ck} = 36/mm ² (推奨)
表面着色剤	3.0kg/m ²	kg	23.6	23.6	
端部補強板	F.B 75 x 6t	m	18,000	18,000	D16アンカー付 (ゴム押え金具含む)
衝撃緩衝ゴム	190 x 20t	m	18,000	18,000	
止水ゴムパッキン	600 x 3t	m	9,100	9,100	補強材入り
ウレタンフォーム	400 x 300	m	9,100	9,100	
端部ジャバラ蓋	Lタイプ	枚	2	2	
排水ゴム管	25A x 300	本	2	2	
地覆部シール工	乾式止水材	m	1.9	1.9	No. 28
	シール材	L	1.2	1.2	t=20mm
カバープレート	550 x 840 x 3t	枚	2	2	SUS304
コンクリートアンカー	M10	本	8	8	ホールインアンカー

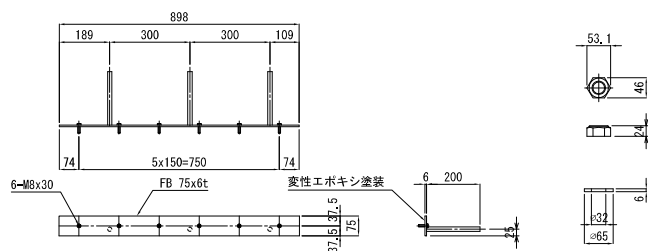
床版箱抜及び補強鉄筋 ⑥⑦⑧⑨ 設置図



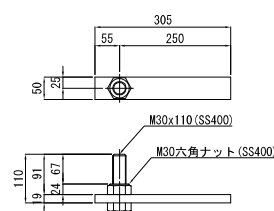
補強鉄筋加工図 S=1:10



端部補強板 S=1:10



FB式アンカー



注記

- 配置図は、「伸縮装置詳細図(その1)」参照。
- 橋の変形の経時変化による影響を考慮して必要な初圧縮量を確保した状態で伸縮継手装置を設定する必要がある。
(予備剪断可能な伸縮継手装置を選定すること。)
- 雨水等の浸水に対して水密性を有するものとする。
(2次止水対策を施した伸縮継手装置とする)
- 施工、維持管理及び補修の容易さに配慮した構造とす。
(伸縮継手本体のみ取替え可能なアンカーボルト、ナット、ワッシャー方式の伸縮継手装置とする。)

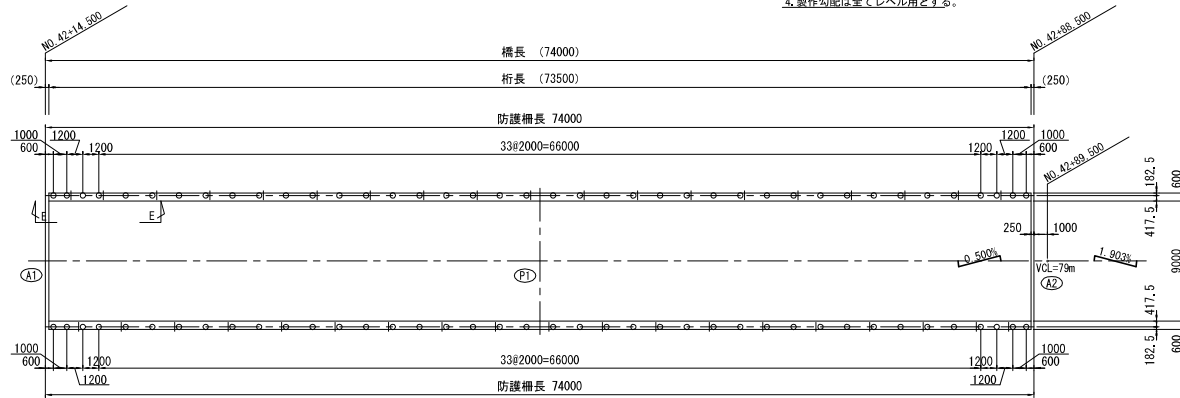
年度	平成27年	番号	54/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	伸縮継手装置(その2)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

防護柵

平面図 S=1/200

防護柵延長：148M000

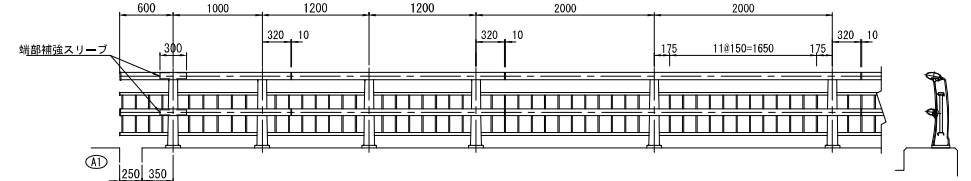
- 注記
1. 記入寸法はアンカーセンター間とし、実長で示す。
 2. () 内寸法は水平長を示す。
 3. 図中○印は支柱取付位置を示し、|印は横梁継手部を示す。
 4. 製作勾配は全てレベル用とする。



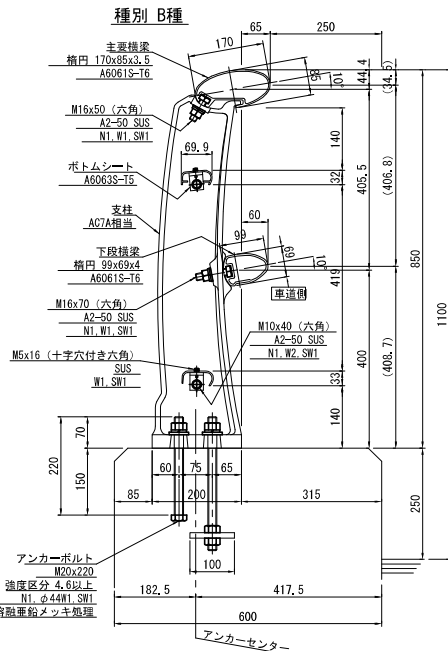
材料表

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	支柱		6	10.02	60.1	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
9	バラスト	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1, SW1
12	"	M12x30	12		0.05	0.6	A2-70 SUS	W1, SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
14	"	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
15	"	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1, W2, SW1
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1, SW1
17	なべタッピンネジ (雄)	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3, φ44W1, SW1
20	"	M20x220	12		0.68	8.2	強度区分4.6以上	N1, φ44W1, SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.88	11.3	SS400	100x200x12
総重量							247.2	Kg/12M
M当り							20.6	Kg/M (端部は除く)

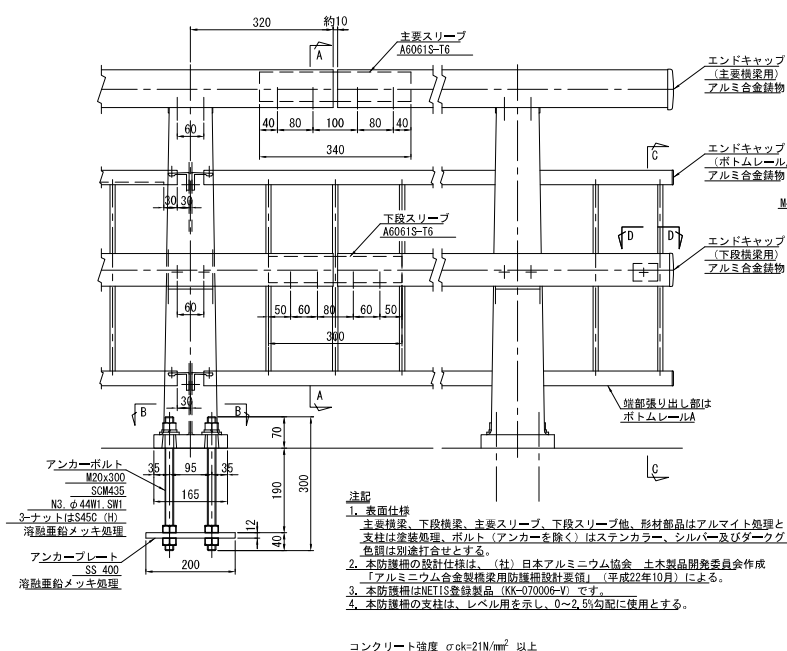
姿図 (E-E) S=1/30



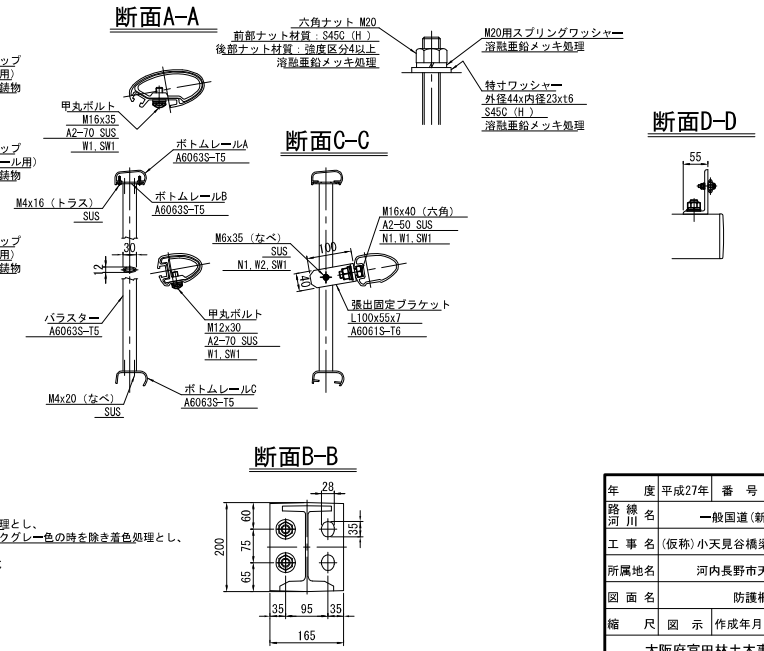
高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6



継手部 端部



アンカーナット締め付け部 S=1/3



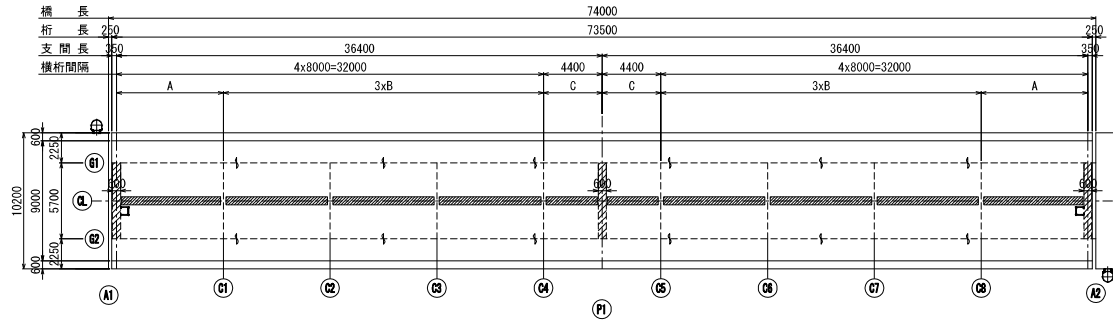
- 注記
1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト (アンカーを除く) はステンカラー、シルバー及びタークグレー色の時を除き着色処理とし、色別は別途打合せとする。
 2. 本防護柵の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成22年10月)による。
 3. 本防護柵はNETIS登録製品 (NS-07006-V) です。
 4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{sk} = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上

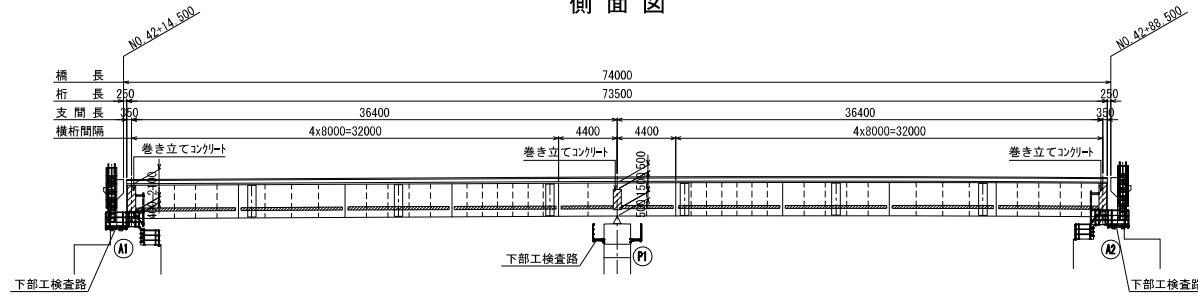
年度	平成27年	番号	55/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	防護柵		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その1） S = 1:200

平面図



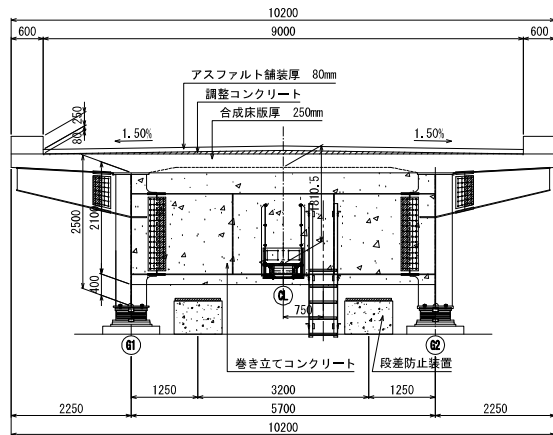
側面図



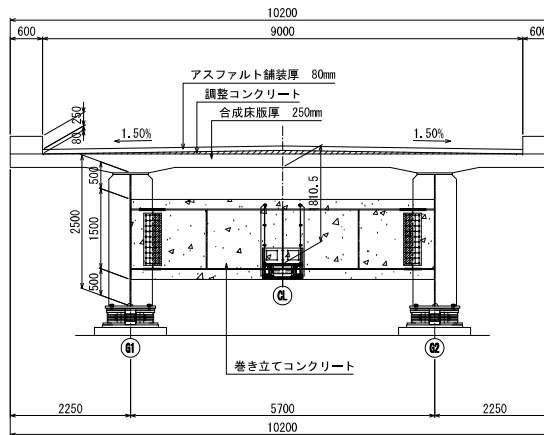
タイプ	数量	長さ
A	2	7430
B	6	7600
C	2	3830
合計	10	

断面図 S = 1:50

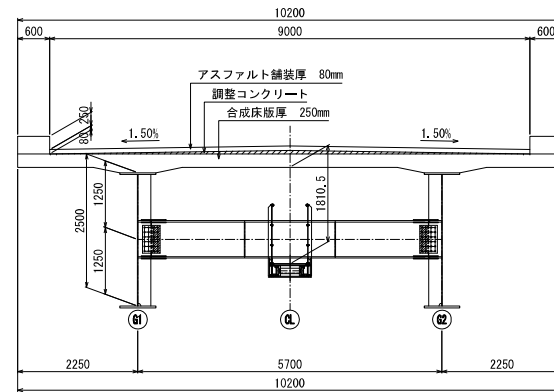
端支点部 S1, <S2>



中間支点部 P1



中間部



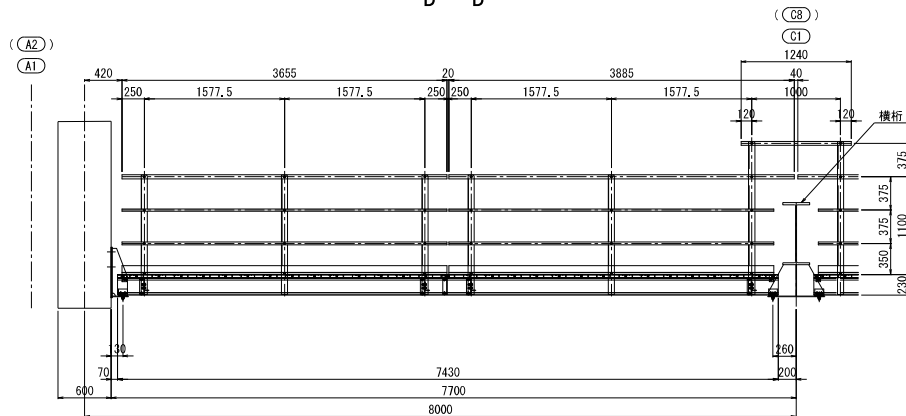
年 度	平成27年	番 号	26/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路 (その1)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その2） S = 1:30

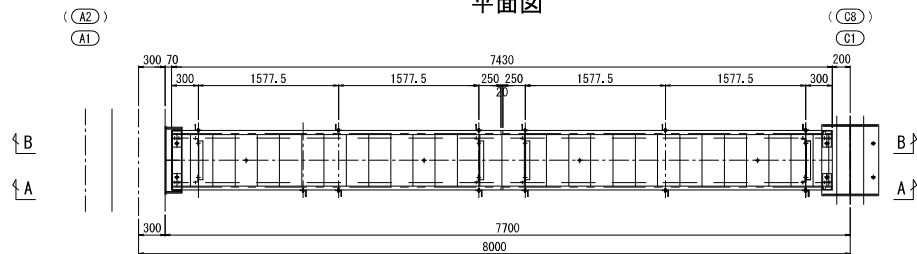
端支点部

タイプ A

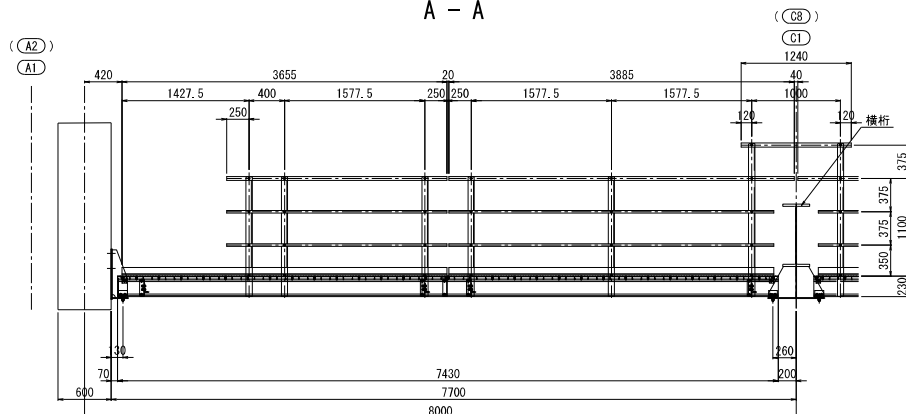
B - B



平面図

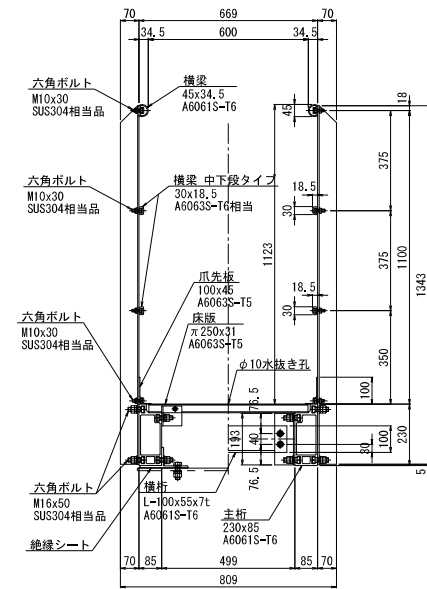


A - A



標準断面図 S=1:10

端部 支柱部



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き締め止めナットとする。

年 度	平成27年	番 号	27/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その2)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

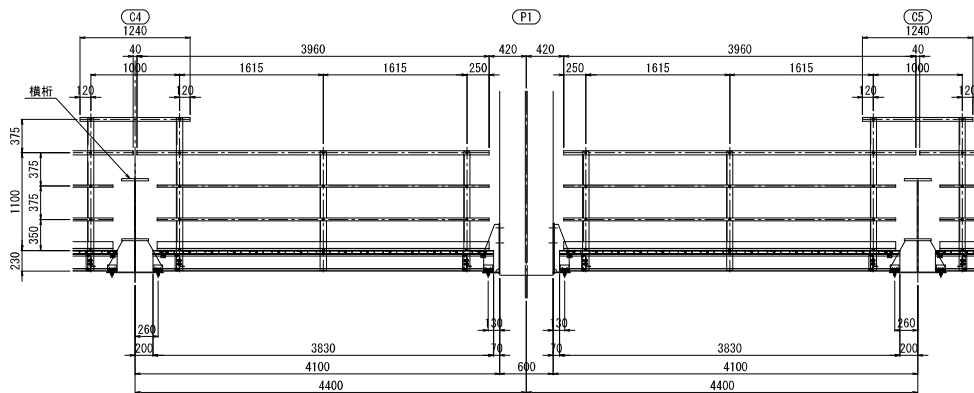
上部工検査路（その3） S = 1:30

中間支点部

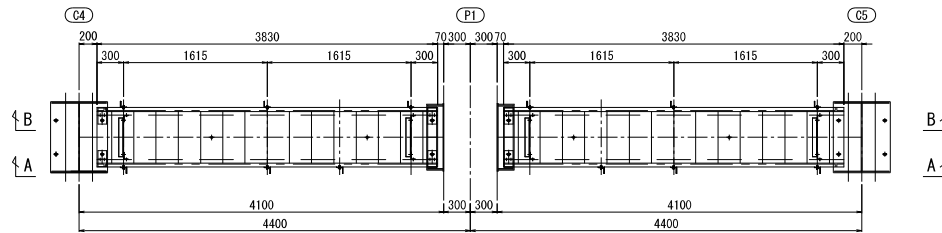
タイプ C

タイプ C

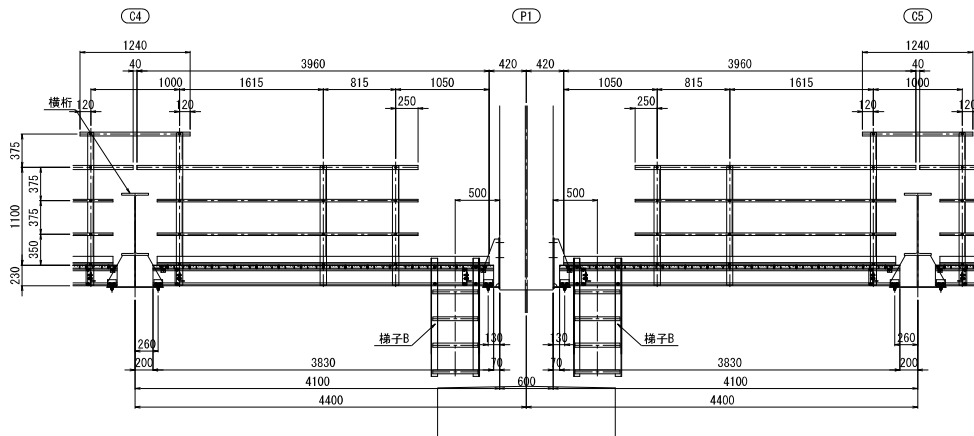
B - B



平面図

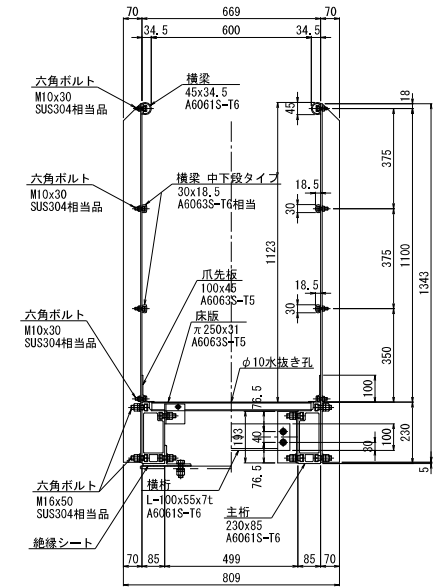


A - A



標準断面図 S=1:10

端部 支柱部



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き締め止めナットとする。

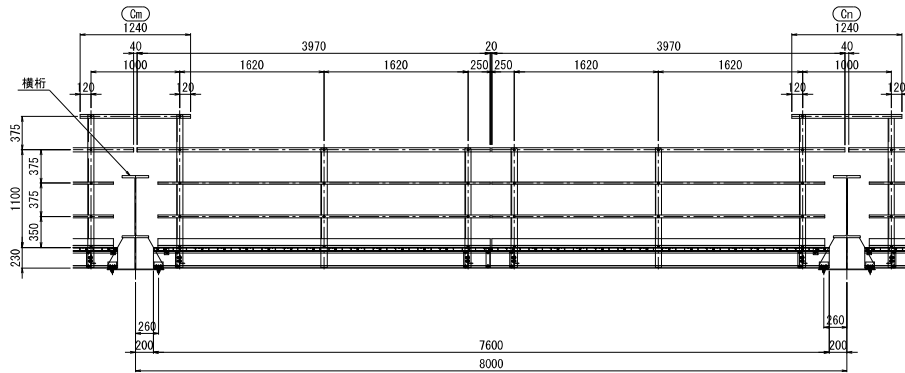
年 度	平成27年	番 号	28/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その3)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その4） S = 1:30

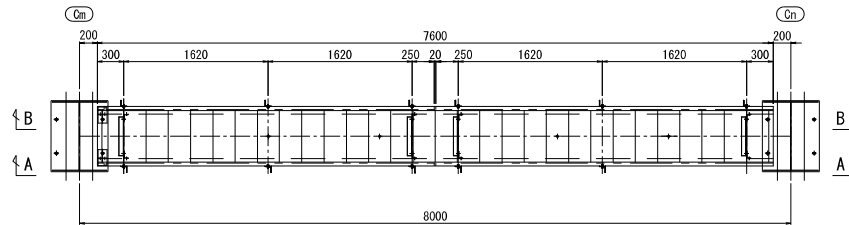
中間部

タイプ B

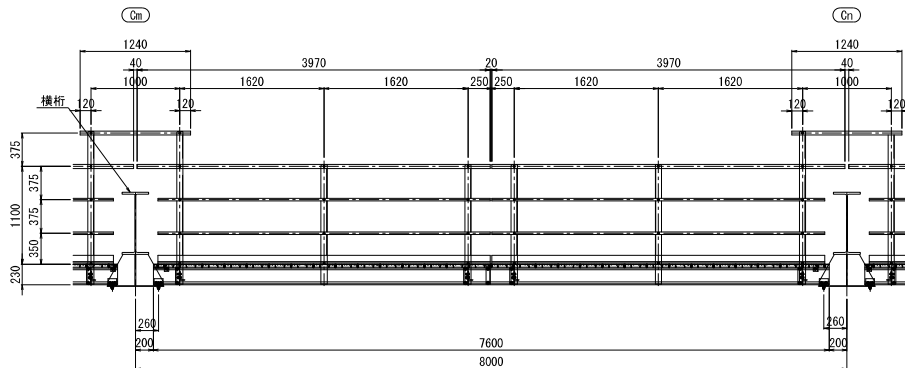
B - B



平面図

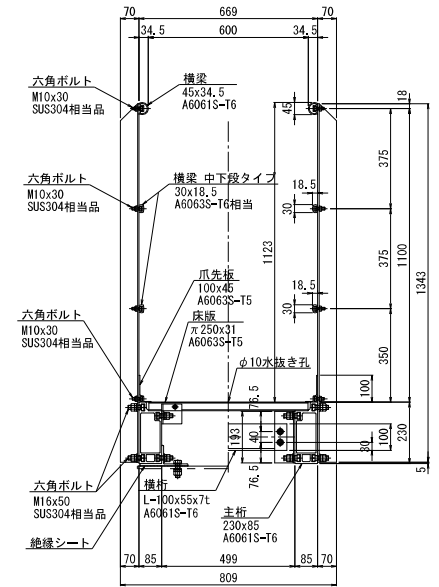


A - A



標準断面図 S=1:10

端部 支柱部



注記

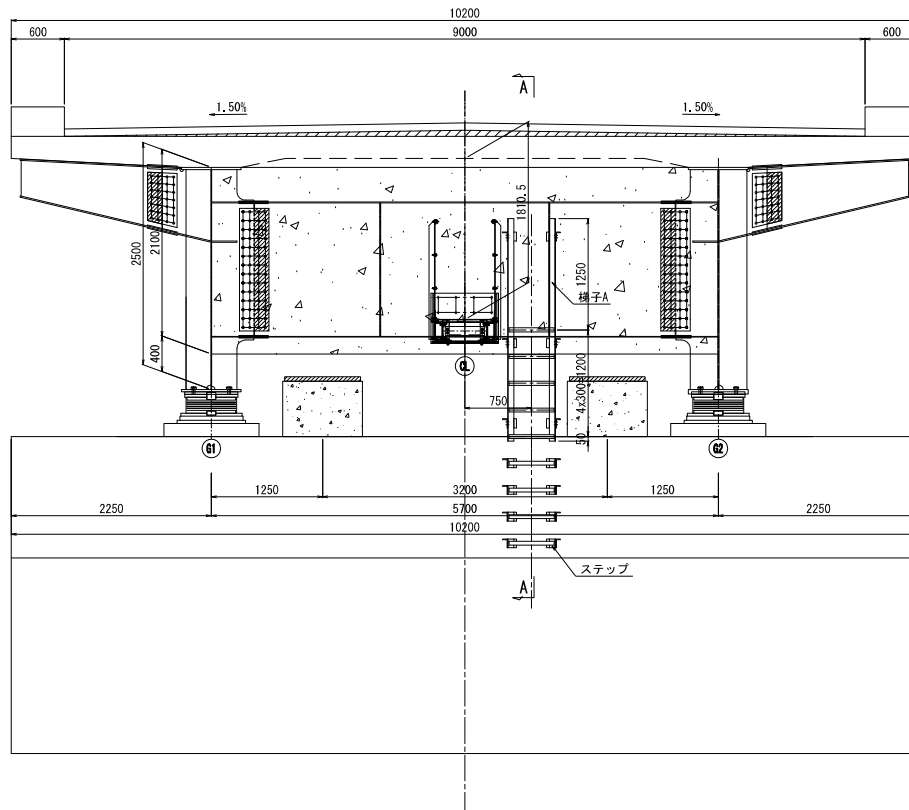
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き締めナットとする。

年度	平成27年	番号	29/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所屬地名	河内長野市天見地内		
図面名	上部工検査路(その4)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

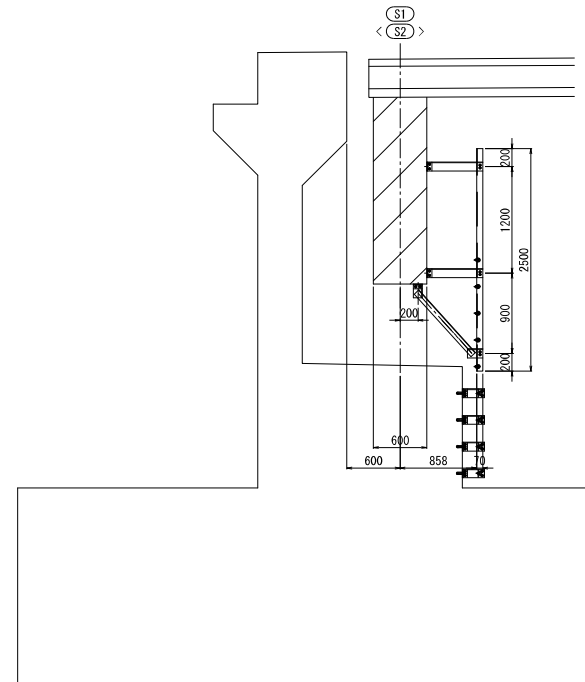
上部工検査路（その5） S = 1:30

端支点上横桁部

S1, <S2>



A - A

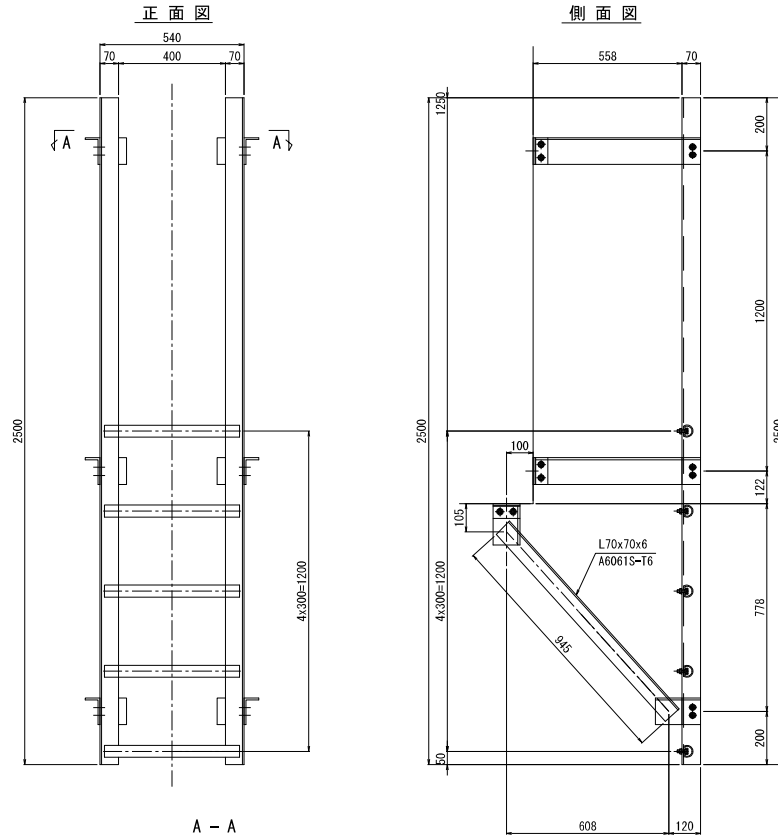


注記)
1. 本図はS1側を示しており、
S2側のステップ段数は、3段である。

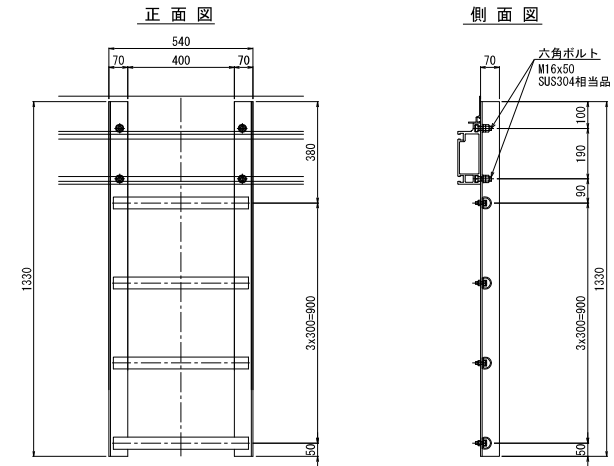
年 度	平成27年	番 号	30/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その5)		
縮 尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その6） S = 1:10

梯子A
製作数：2組



梯子B
製作数：2組



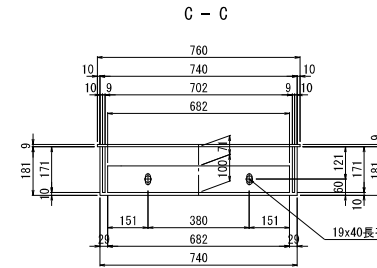
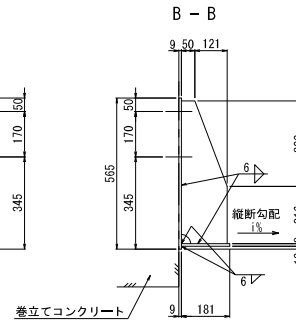
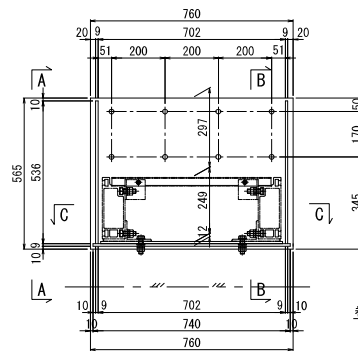
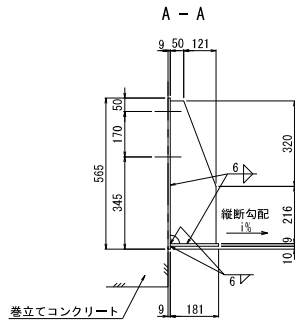
- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き地止めナットとする。
 4. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。

年 度	平成27年	番 号	31/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その6)		
縮 尺	1:10	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その7） S = 1:10

巻立て部受け台詳細

S1, S2, P1 製作数: 4組

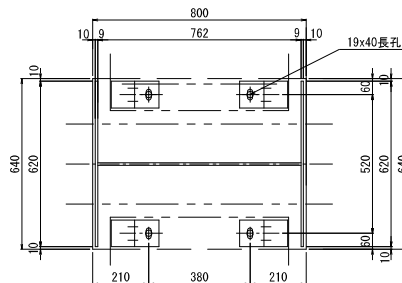
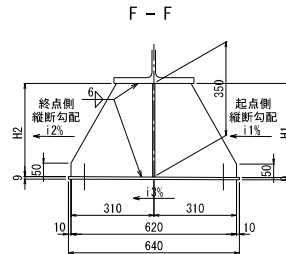
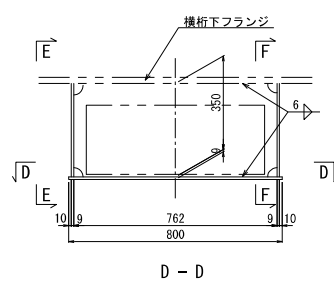
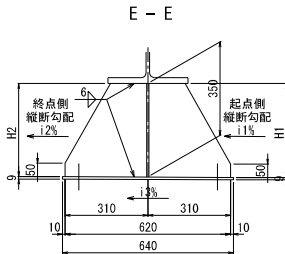


	i %
S1	0.500
P1 起点側	0.493
P1 終点側	0.386
S2	-0.531

- ※ 1 - PL 565 x 9 x 760 (SMA400A)
- ※ 2 - PL 168 x 9 x 536 (SMA400A)
- ※ 1 - PL 181 x 9 x 740 (SMA400A)
- ※ 1 - PL 100 x 9 x 682 (SMA400A)
- ※ 8 - ANC M16 x 100 (N1.3N1.W1付) (SS400相当品)

中間横桁部受け台詳細

製作数: 8組



- 1-PL 640x9x 800
- 2-PL 620x9x HH1
- 1-PL 350x9x 762

	i1 %	i2 %	i3 %	H1	H2	HH1
C1	0.500	0.500	0.500	351.6	348.5	352
C2	0.500	0.500	0.500	351.6	348.5	352
C3	0.500	0.500	0.500	351.6	348.5	352
C4	0.500	0.493	0.497	351.5	348.5	352
C5	0.386	0.199	0.293	350.9	349.1	351
C6	0.199	-0.044	0.078	350.2	349.8	350
C7	-0.044	-0.289	-0.167	349.5	350.5	351
C8	-0.289	-0.531	-0.410	348.7	351.3	351

注) i3%は、i1%とi2%の平均勾配とする。

注記

1. 特記なき材質は、全てSMA400AWとする。
2. ※印付の部材は、全て垂鉛メッキ仕上とする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上、6mm未満の部材はHDZ45とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は、HDZ35とする。
3. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
4. ナットは全て、弛み止めナットを使用すること。
5. 本図の受け台（鋼製）はアルミ検査路範囲外とする。

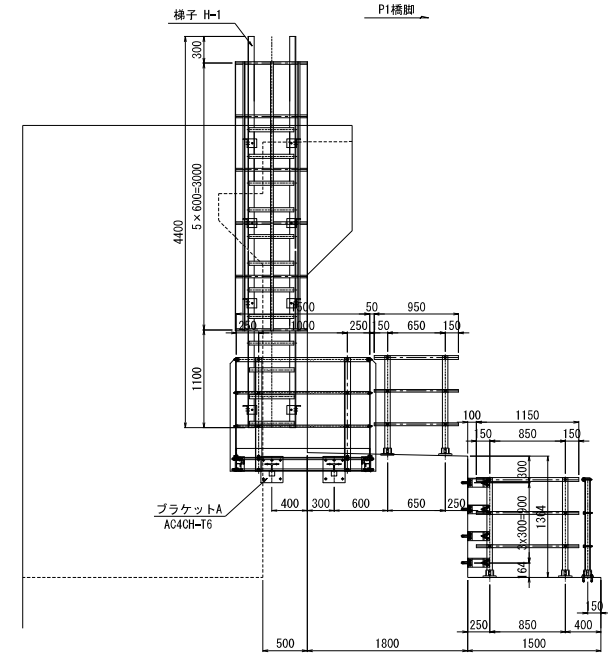
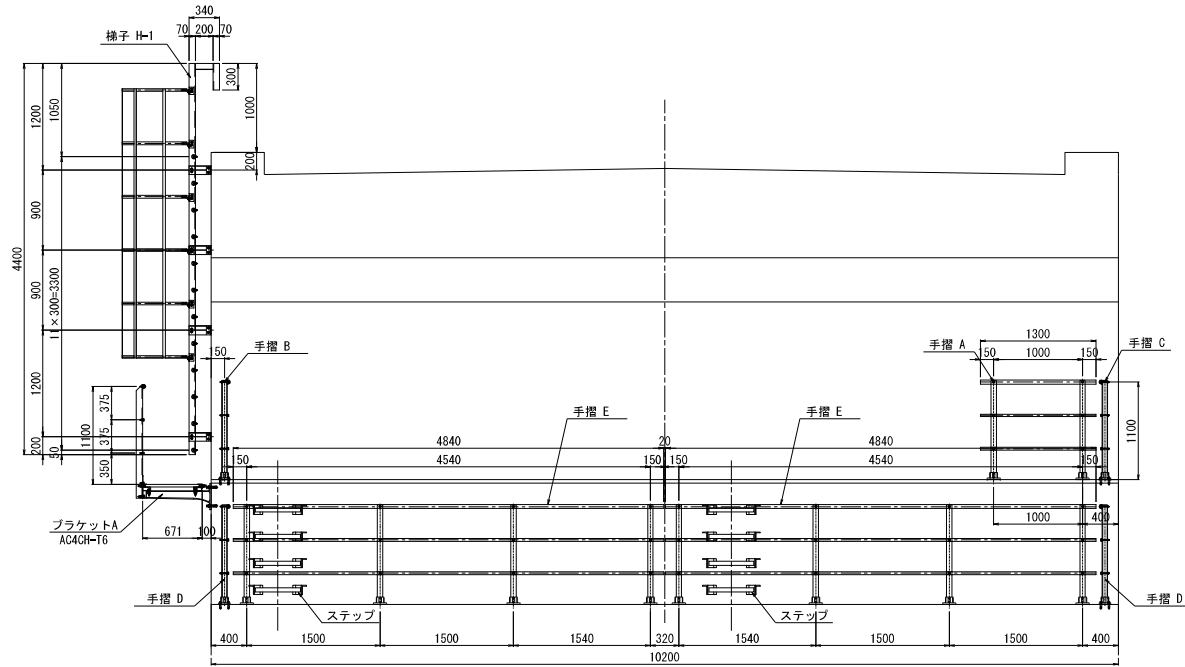
年 度	平成27年	番 号	32/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その7)		
縮 尺	1:10	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

下部工検査路（その1） S = 1:30

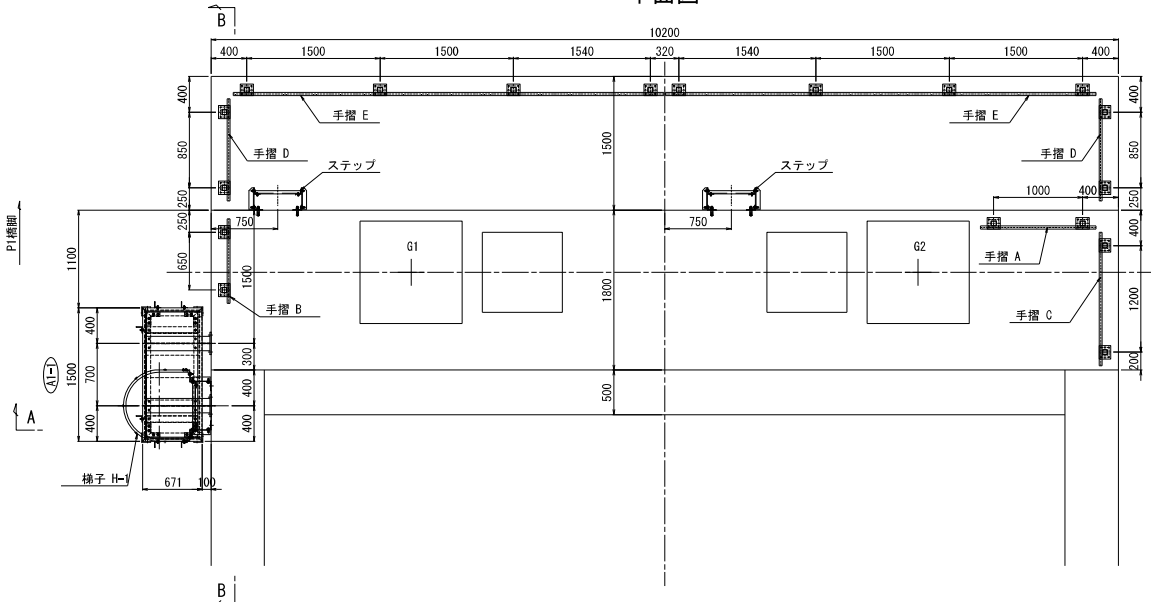
A1橋台

A - A

B - B



平面図



【検査路ユニット総括表】

ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1 A1-1	1500	671	1

【ブラケット総括表】

	ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1 ブラケットA	2	10

【梯子総括表】

	梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1 梯子		1	8
2 手摺		7	72
3 ステップ		8	16

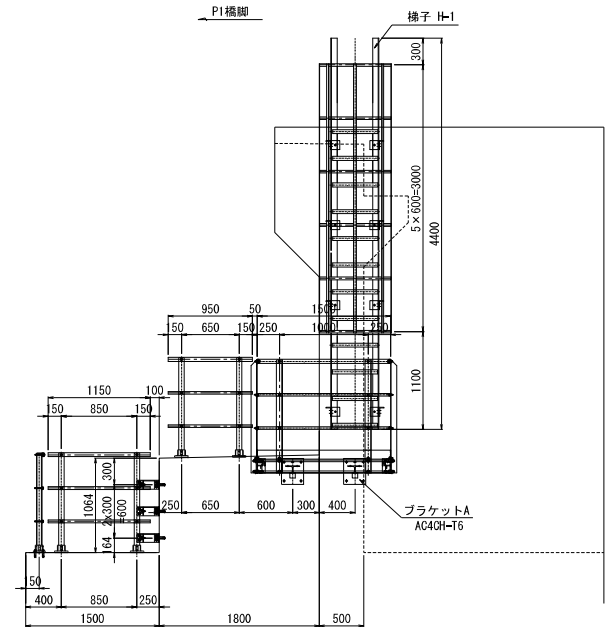
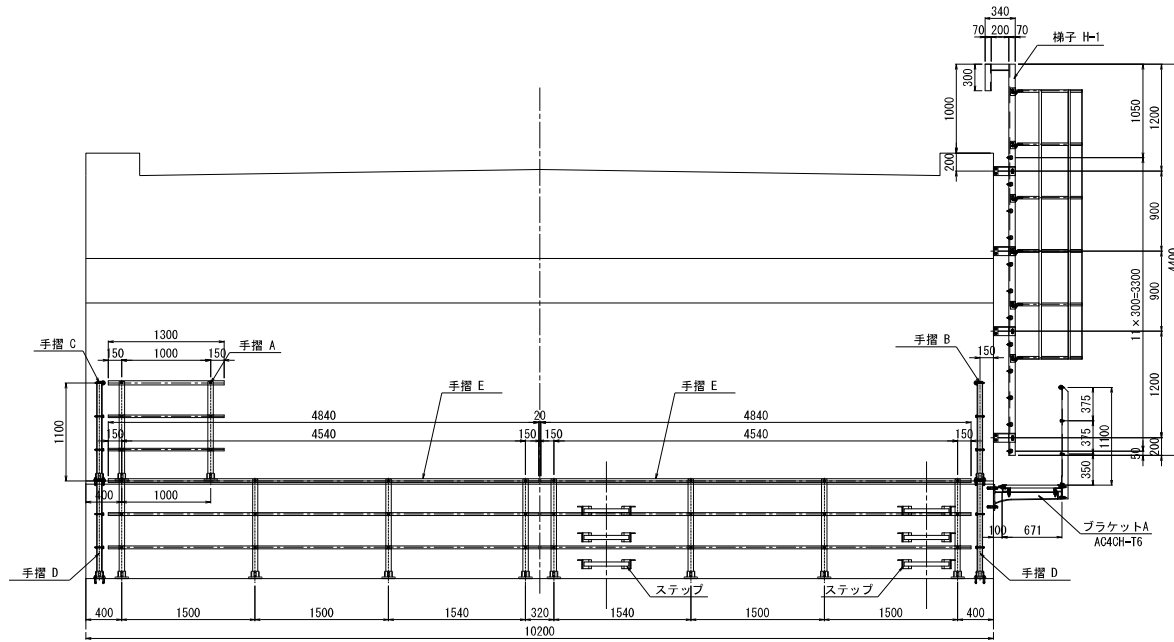
年 度	平成27年	番 号	33/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その1)		
縮 尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

下部工検査路（その2） S = 1:30

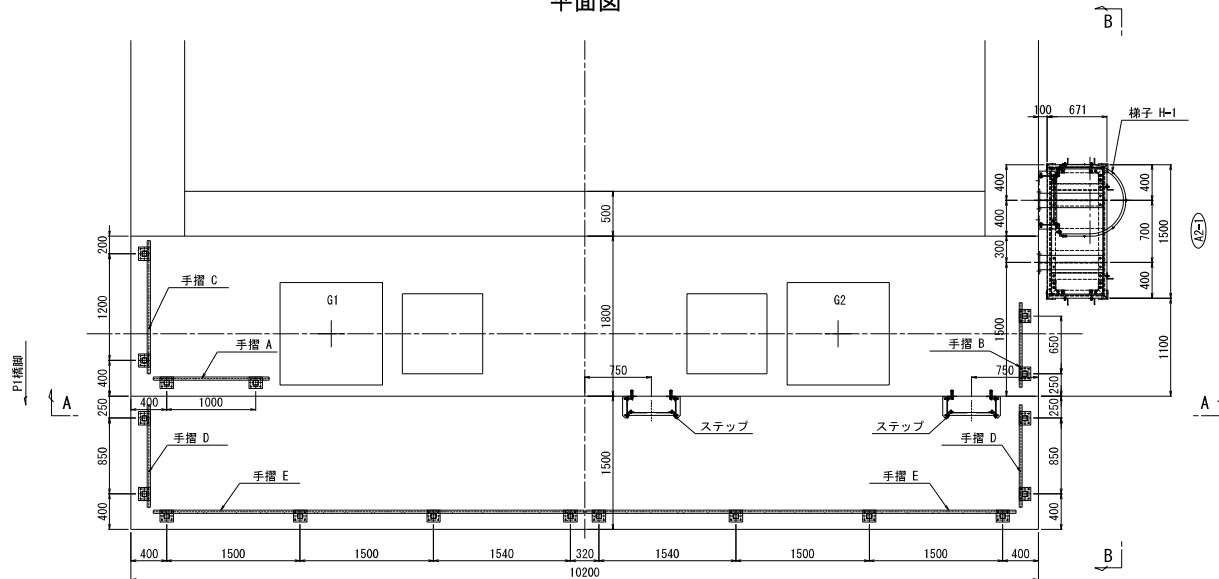
A2橋台

A - A

B - B



平面図



【検査路ユニット総括表】

ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1 A2-1	1500	671	1

【ブラケット総括表】

	ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1 ブラケットA	2	10

【梯子総括表】

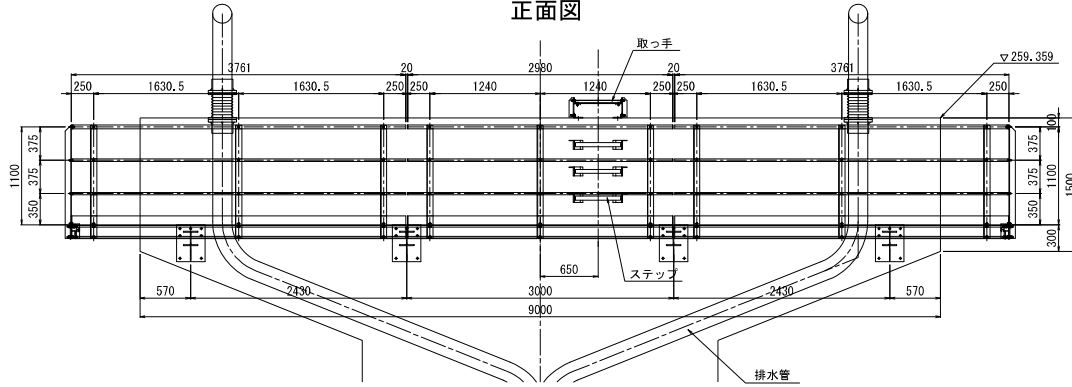
	梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1 梯子		1	8
2 手摺		7	72
3 ステップ		6	12

年 度	平成27年	番 号	34/153
路線名	河内川 一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所屬地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その2)		
縮 尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

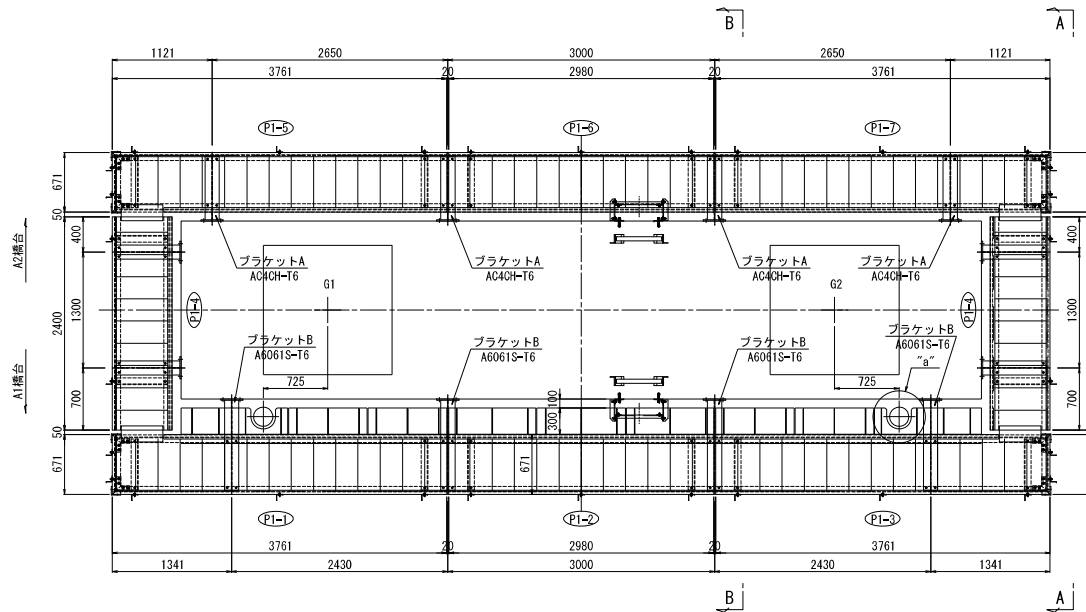
下部工検査路 (その3) S = 1:30

P1橋脚

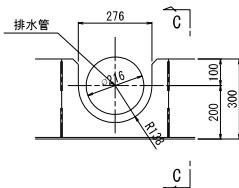
正面図



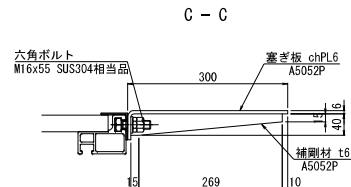
平面図



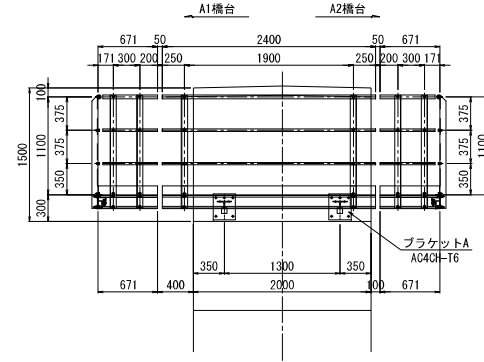
"a"部詳細 S=1:20



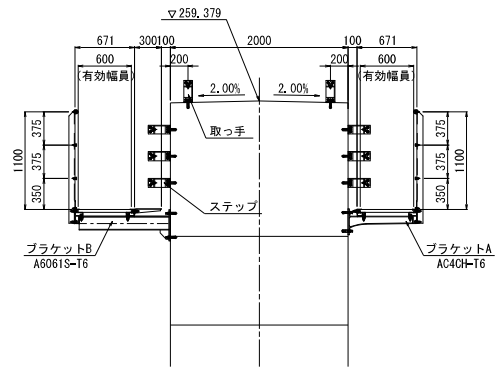
塞ぎ板詳細 S=1:5



A - A



B - B



【検査路ユニット総括表】

ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1 P1-1	3761	971	1
2 P1-2	2980	971	1
3 P1-3	3761	971	1
4 P1-4	2400	671	2
5 P1-5	3761	671	1
6 P1-6	2980	671	1
7 P1-7	3761	671	1

【ブラケット総括表】

	ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1 ブラケットA	8	40
2 ブラケットB	4	28

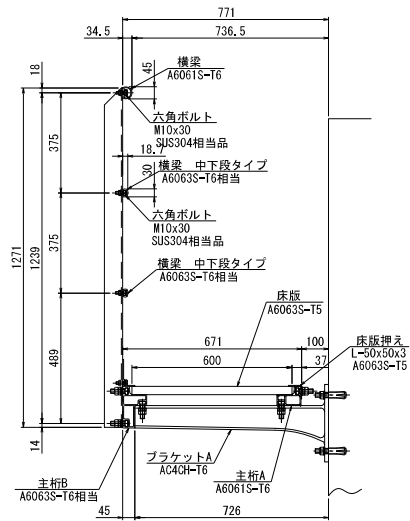
【梯子総括表】

	梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1 ステップ		6	12
2 取っ手		2	4

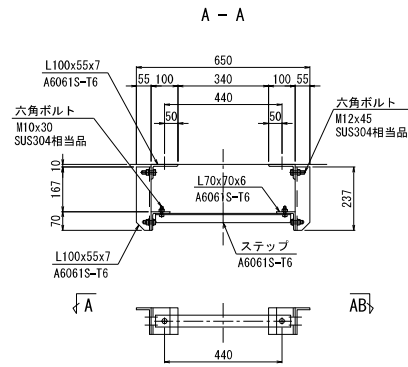
年 度	平成27年	番 号	35/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その3)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田土木事務所			

下部工検査路（その4） S = 1:10

標準断面図

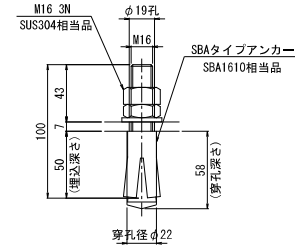


ステップ、取っ手詳細

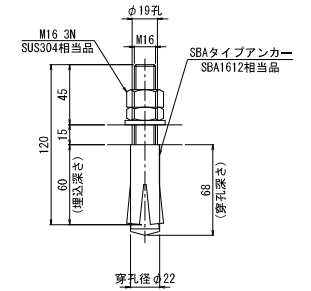


アンカー S=1:2

ステップ、取っ手用

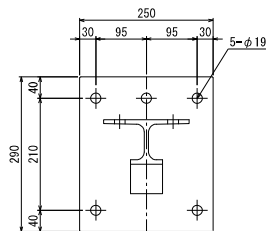


ブラケット用

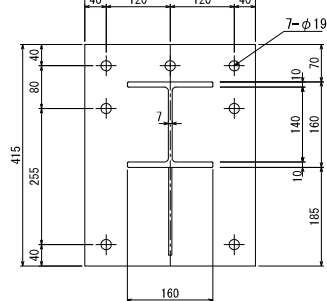


ブラケットベース S=1:5

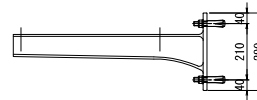
ブラケットA



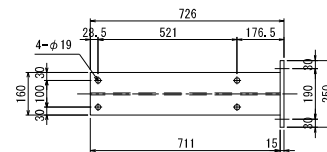
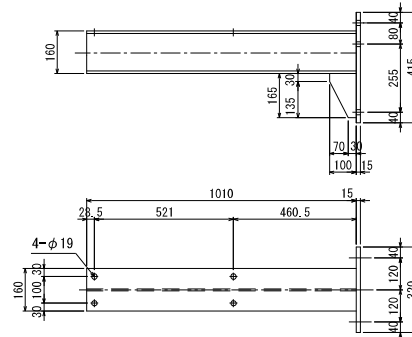
ブラケットB



ブラケットA



ブラケットB

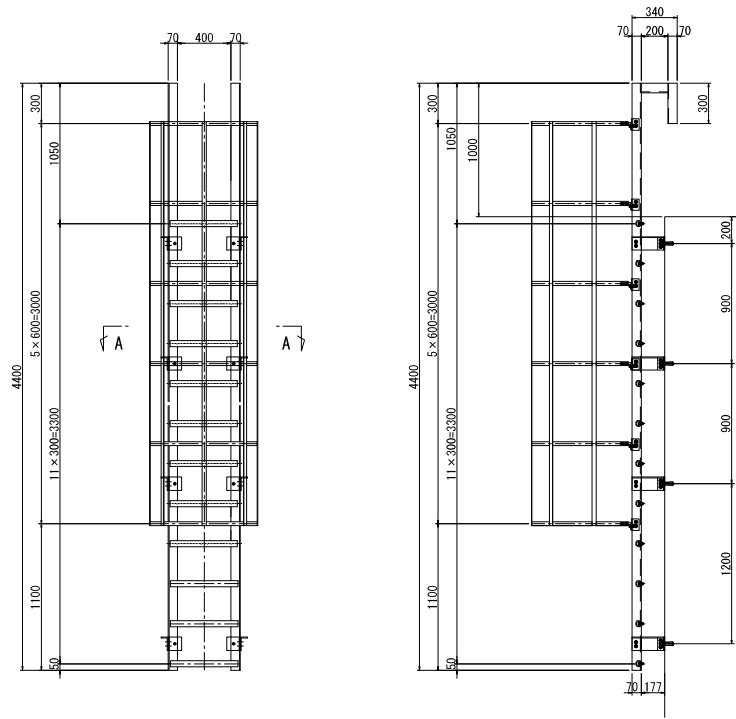


- 注記
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（A2シルバー色）とする。但し、ブラケット、補剛材は塗装処理とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き締めナットとする。
 4. 部材はすべて現場実測後、製作のこと。

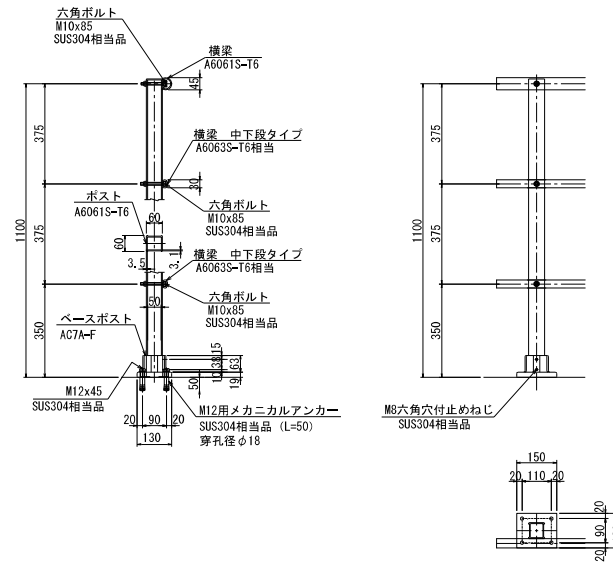
年 度	平成27年	番 号	36/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その4)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

下部工検査路（その5） S = 1:20

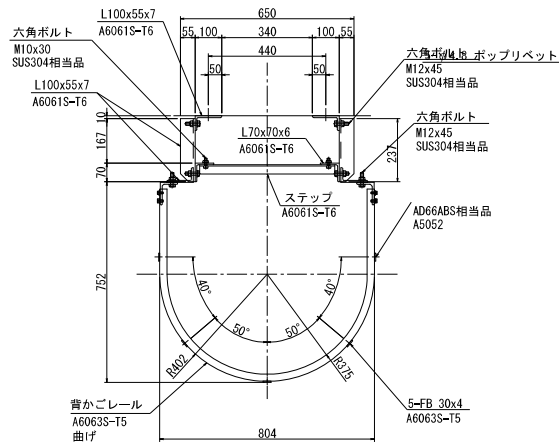
昇降梯子 H-1



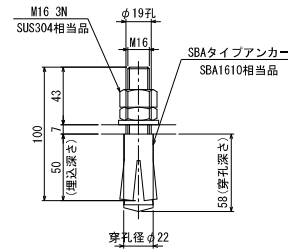
手摺 詳細 S=1:10



A - A S=1:10



アンカー S=1:2



- 注記
1. 梯子、手摺の表面処理はアルマイト(A2 シルバー色)とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き締めナットとする。
 4. 部材はすべて現場実測後、製作のこと。

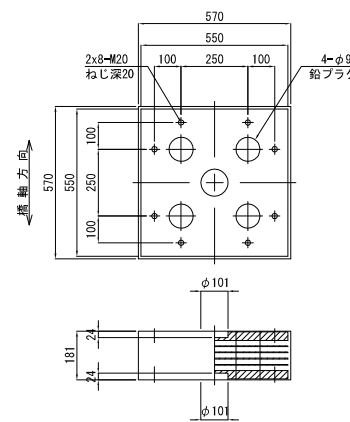
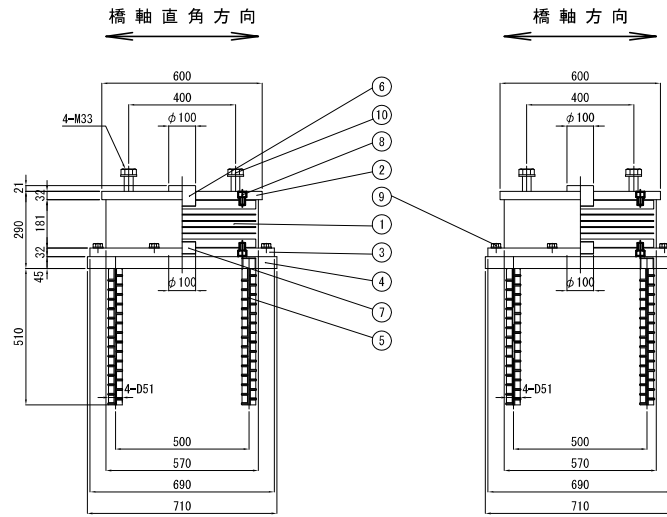
年 度	平成27年	番 号	37/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その5)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

支承 (その1)

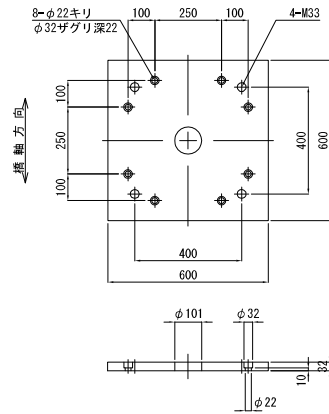
S = 1:10

A1, A2

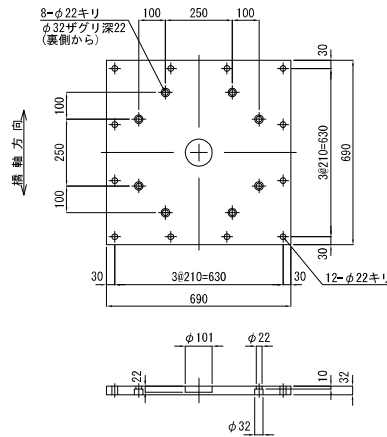
① ゴム支承 (NR+SS400+SM490A+Pb)



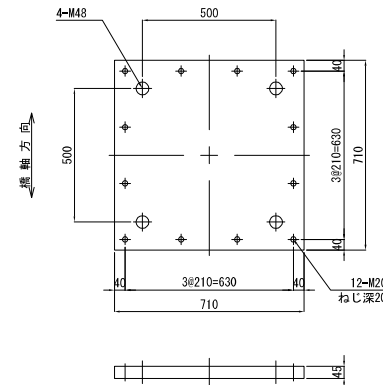
② 上沓 (SM490A)



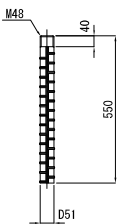
③ 下沓 (SM490A)



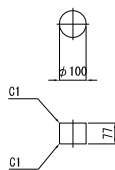
④ ベースプレート (SM490A)



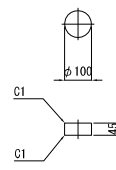
⑤ アンカーボルト (SD345)



⑥ 上側せん断キー (SM490A)



⑦ 下側せん断キー (SM490A)



設計条件

支承タイプ	レベル2対応支承 免震
最大反力	R _{max} 1880 KN
最大反力 回転照査用	R _{max2} 1200 KN
最大死荷重反力	R _d 1000 KN
最大活荷重反力	R _{L+1} 880 KN
照査荷重時変位量 (R _{L+1} /2)	δ c1 0.56 mm
回転変位量	δ r 0.92 mm
二次形状係数	
橋軸方向	S2 5.50
橋軸直角方向	S2 5.50
許容せん断ひずみ	γ _{se} 33.9 %
常時	
橋軸方向	ΔL1 21.8 mm
橋軸直角方向	ΔLe1 218 mm
地震時	
橋軸直角方向	ΔLe2 190 mm
試験変位量 (17.5%)	U _B 175 mm
等価剛性	K _B 3.134 KN/mm
等価減衰定数	h _B 21.8 %
圧縮ばね定数	K _v 785 KN/mm

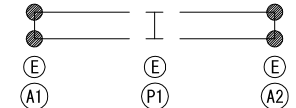
材料表 (1支承当り)

部番	品名	材質	個数	質量 (kg)	備考
1	ゴム支承	NR+SS400+SM490A+Pb	1	264.0	Ge=1.0N/mm ²
②	上沓	SM490A	1	86.2	
③	下沓	SM490A	1	115.8	
④	ベースプレート	SM490A	1	175.8	
⑤	アンカーボルト	SD345	4	35.0	
⑥	上側せん断キー	SM490A	1	4.7	
⑦	下側せん断キー	SM490A	1	2.8	
⑧	六角穴付きボルト		16	2.2	
⑨	六角ボルト		12	2.6	平座金付き
⑩	セットボルト		4	—	平座金付き
全質量 (kg)					689.1

注1. O印はS Gめっき仕様とする (付着量350g/m²以上とする)
 注2. 部番8は黒色酸化皮膜処理とし、締付後高湿度垂鉛未塗布
 注3. ゴム支承本体の質量は参考質量とする
 注4. 吊り作業用として必要に応じタップ加工を施してよ。

- ⑧ 六角穴付ボルト M20x30 強度区分 12.9
- ⑨ 六角ボルト M20x55 強度区分 8.8
平座金 22H
- ⑩ セットボルト M33xL 強度区分 8.8
平座金 22H

配置図



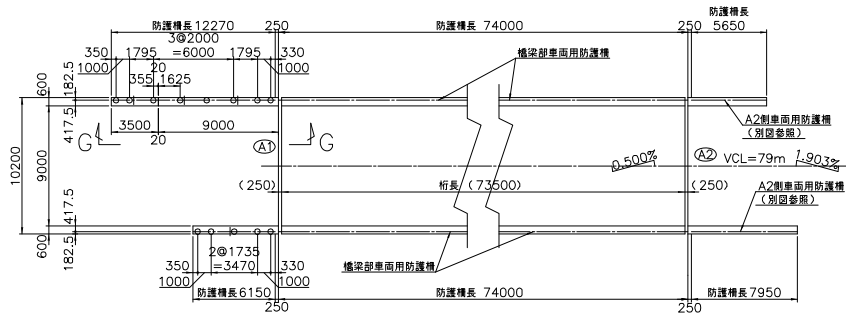
年 度	平成27年	番 号	49/153
路 線 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所 属 地 名	河内長野市天見地内		
図 面 名	支承 (その1)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

A 1 橋台防護柵

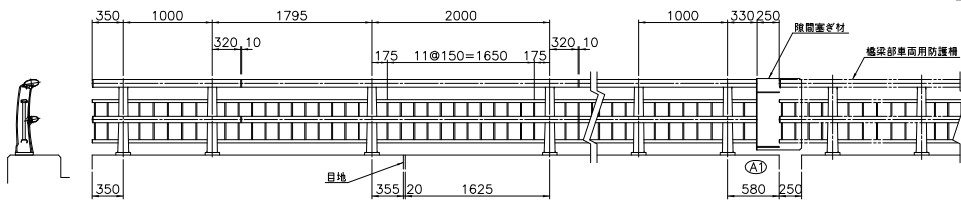
平面図 S=1/200

防護柵延長：18M420 (A1前)

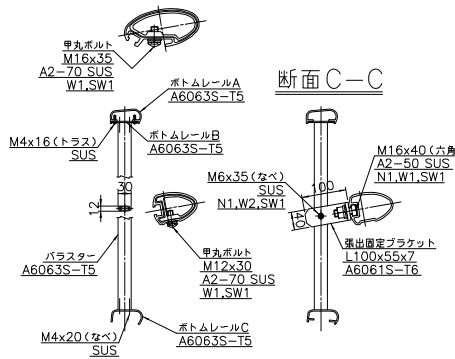
- 注記
1. 記入寸法はアンカーセンター押えとし、実長で示す。
 2. () 内寸法は水平長を示す。
 3. 図中の○印は支柱取付位置を示し、十印は構架継手部を示す。
 4. 製作勾配は全てレベル用とする。



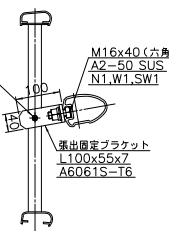
姿図 (G-G) S=1/30



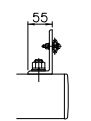
断面 A-A



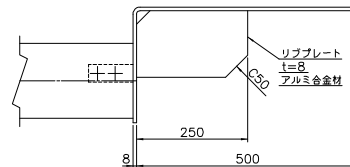
断面 C-C



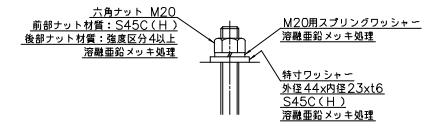
断面 D-D



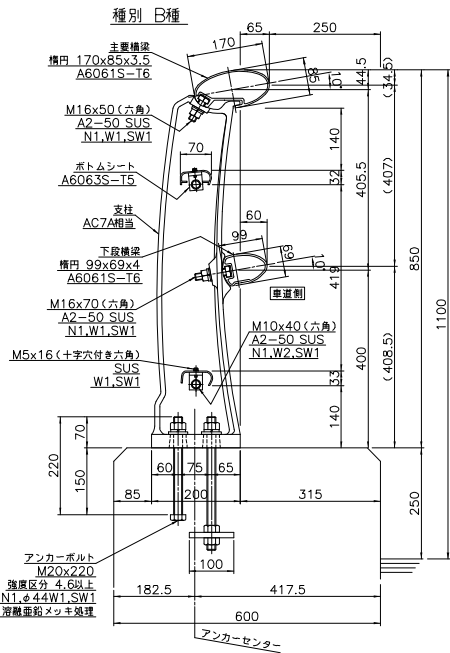
矢視 F-F



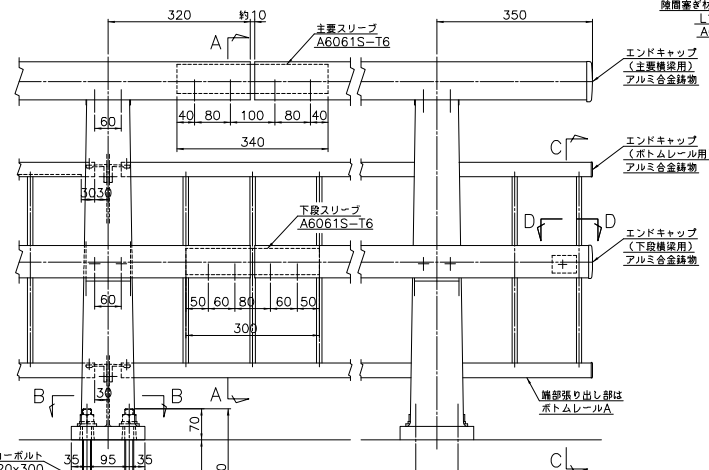
アンカーナット締め付け部 S=1/3



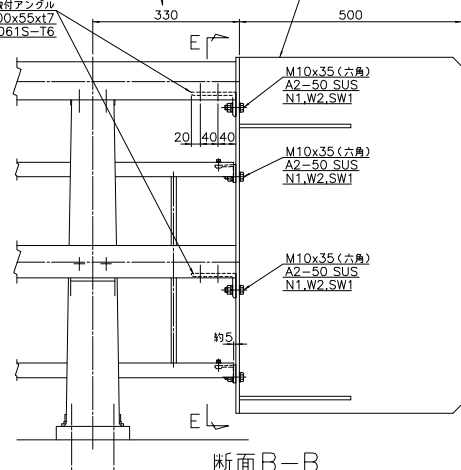
高欄兼用 車両防護柵取付詳細図 S=1/6



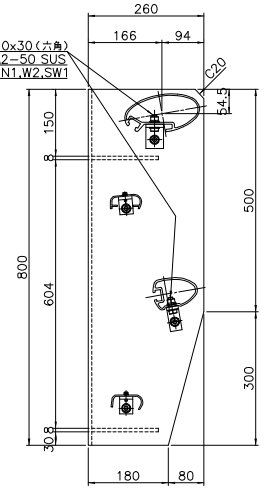
継手部 端部



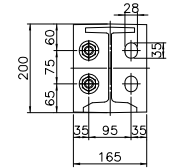
端部 F



断面 E-E



断面 B-B



材料表

部番	名称	寸法	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	主要構梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段構梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	支柱		6		10.02	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
9	ボラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L=47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1,SW1
12	六角ボルト	M12x30	12		0.05	0.6	A2-70 SUS	W1,SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
14	六角ボルト	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
15	六角ボルト	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1,W2,SW1
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
17	ねばタップピンネジ (2種)	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3,44W1,SW1
20	アンカーナット	M20x220	12		8.2	98.4	強度区分4.6以上	N1,44W1,SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.86	11.3	SS400	100x200x12
							総重量	247.2 Kg/12M
							M当り	20.6 Kg/M (橋脚は除く)

- 注記
1. 表面仕様
 主要構梁、下段構梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は産良処理、ボルト (アンカーを除く) はステンカラー、シルバークラレー色の時を除き着色処理とし、色別は別紙打合せとする。
 2. 本防護柵の設計仕様は、(株)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成 「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」 (平成22年10月) による。
 3. 本防護柵はNETIS登録製品 (KK-070006-V) である。
 4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck} = 21N/mm^2$ 以上

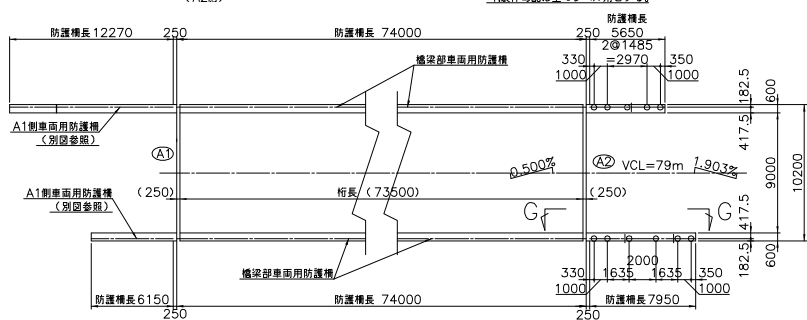
年度	平成27年	番号	107/153
路線名	一般国道 (新) 371号		
工事名	(仮称) 小見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	A 1 橋台防護柵		
縮尺	図示		
作成年月	平成29年2月		
大阪府富田土木事務所			

A 2 橋台防護柵

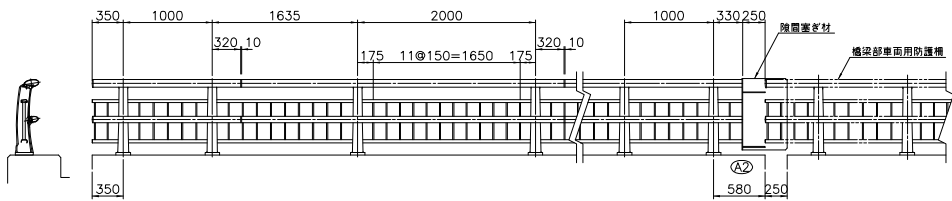
平面図 S=1/200

注記 1.記入寸法はアンカーセンター押えとし、実長で示す。
2.() 内寸法は水平長を示す。
3.○の中印は支柱取付位置を示し、十印は橋梁継手部を示す。
4.製作勾配は全てレベル用とする。

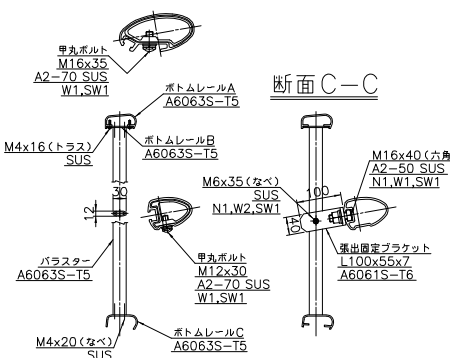
防護柵延長：13M600
(A2側)



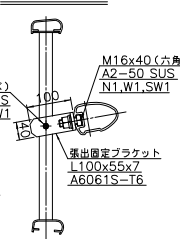
姿図 (G-G) S=1/30



断面 A-A



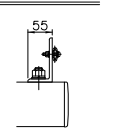
断面 C-C



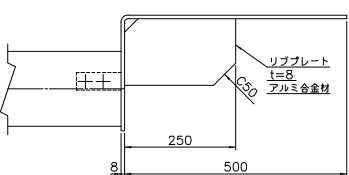
材料表

部番	名称	寸法	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	主要橋梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段橋梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	支柱		6		10.02	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
9	バラスト	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L=47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1,SW1
12	ナット	M12x30	12		0.05	0.6	A2-70 SUS	W1,SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
14	ナット	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
15	ナット	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1,W2,SW1
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
17	ねばタップピンネジ (2種)	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	トラスタップピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3,44W1,SW1
20	ナット	M20x220	12		8.2	98.4	強度区分4.6以上	N1,44W1,SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.86	11.3	SS400	100x200x12
							総重量	247.2 Kg/12M
							M当り	20.6 Kg/M (橋脚は除く)

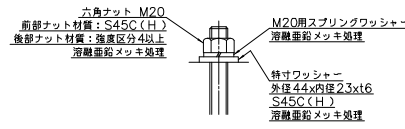
断面 D-D



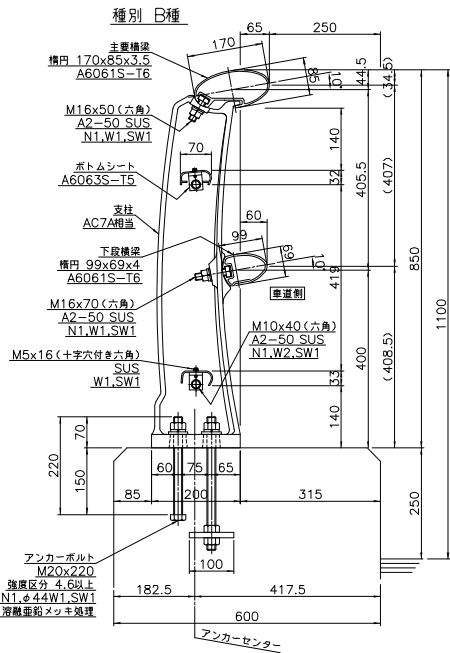
矢視 F-F



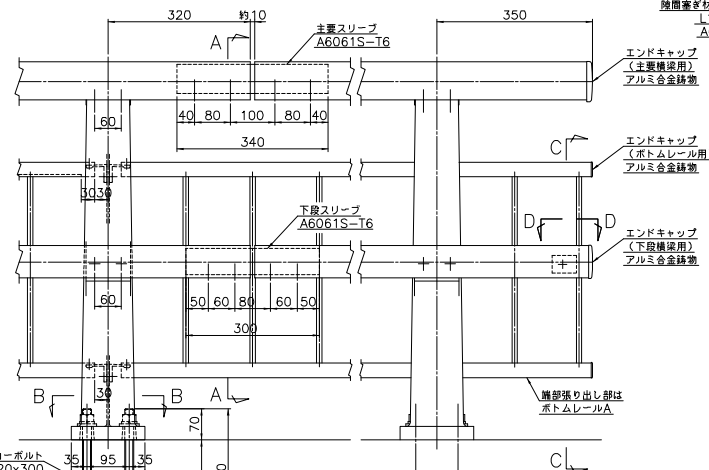
アンカーナット締め付け部 S=1/3



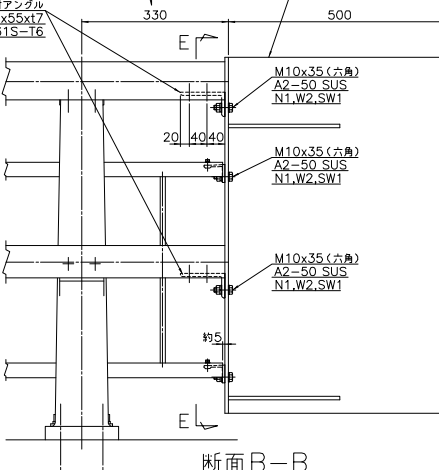
高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6



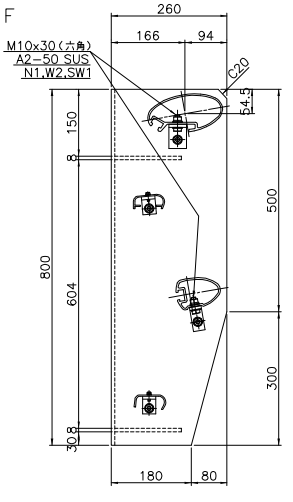
継手部 端部



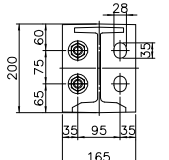
端部 F



断面 E-E



断面 B-B



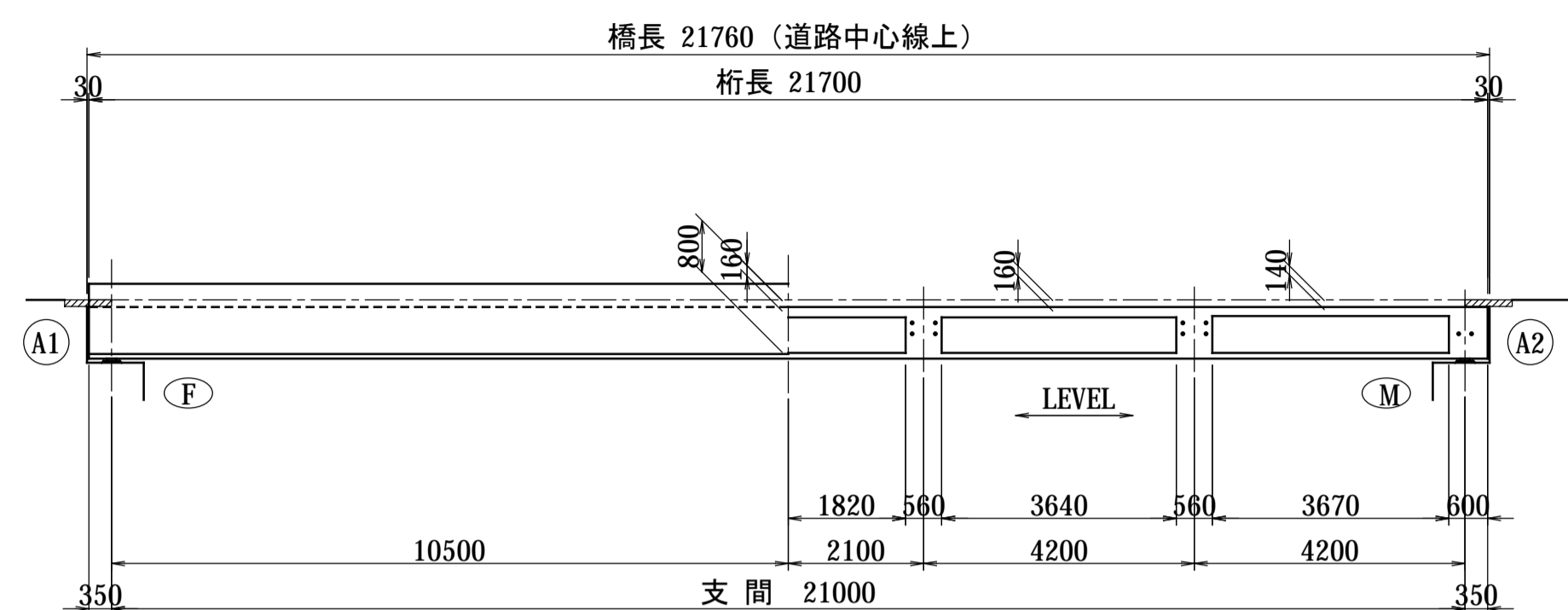
注記 1.表面仕様
主要橋梁、下段橋梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト(アンカーを除く)はステンカラー、シルバークラークカラー色の時を除き着色処理とし、他部は別設計仕様とする。
2.本防護柵の設計仕様は、(株)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成 「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成22年10月)による。
3.本防護柵はNETIS登録製品(KK-070006-V)です。
4.本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ 以上

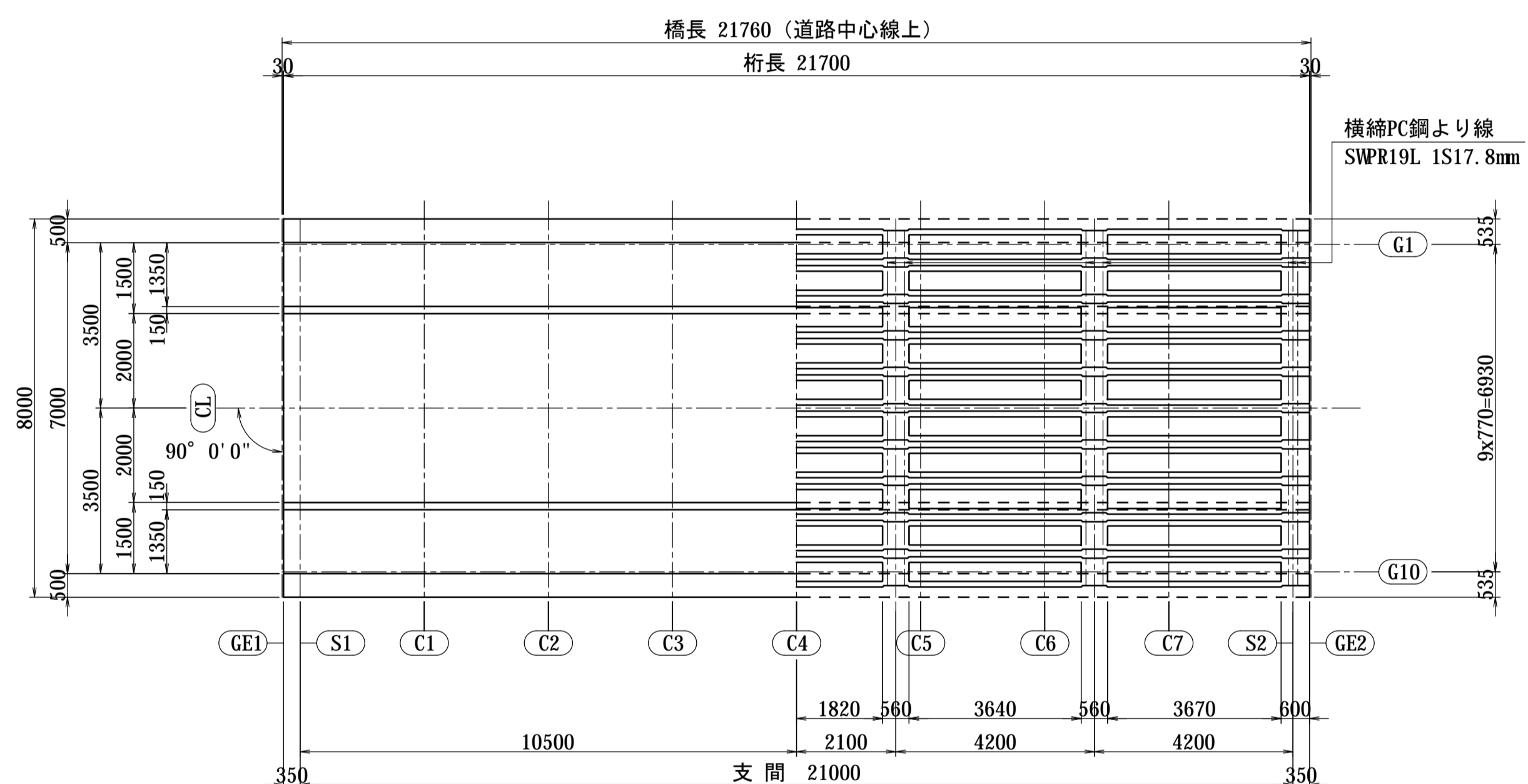
年度	平成27年	番号	108/153
路線名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	A 2 橋台防護柵		
縮尺	図示		
作成年月	平成29年2月		
大阪府富田土木事務所			

管理橋 上部工構造一般図

側面図 S=1/100



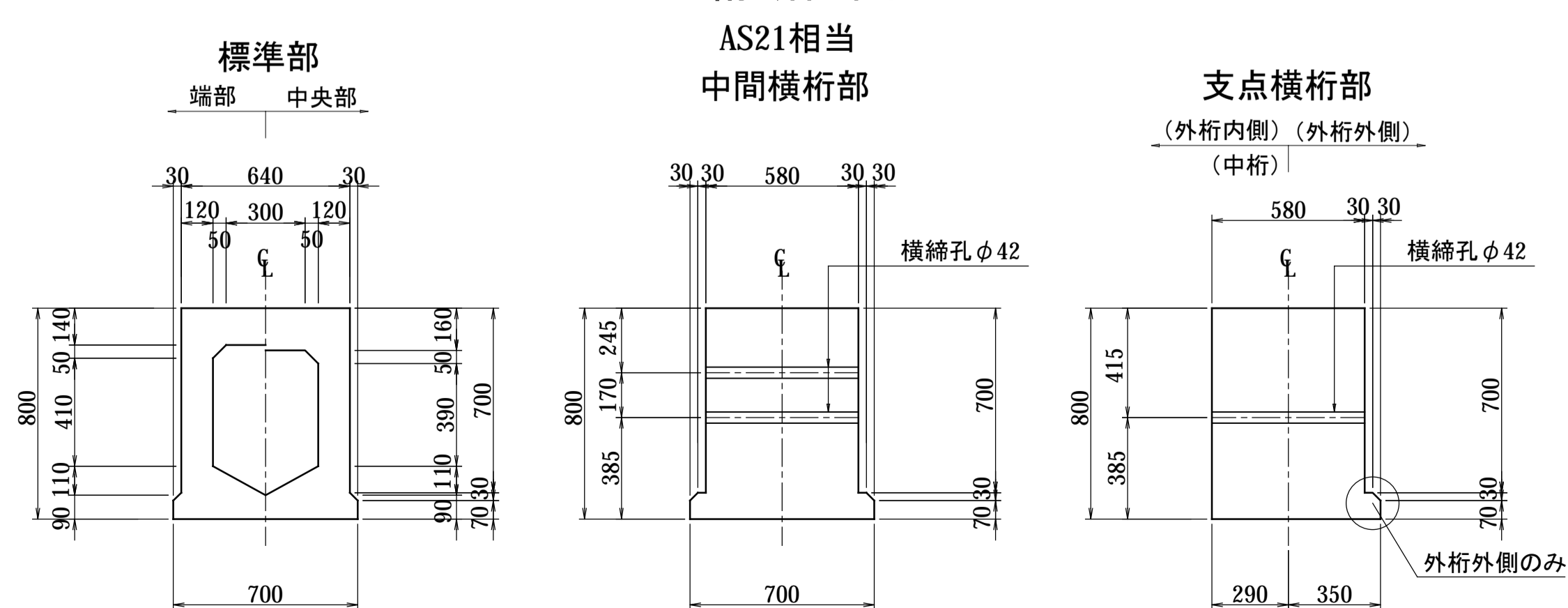
平面図 S=1/100



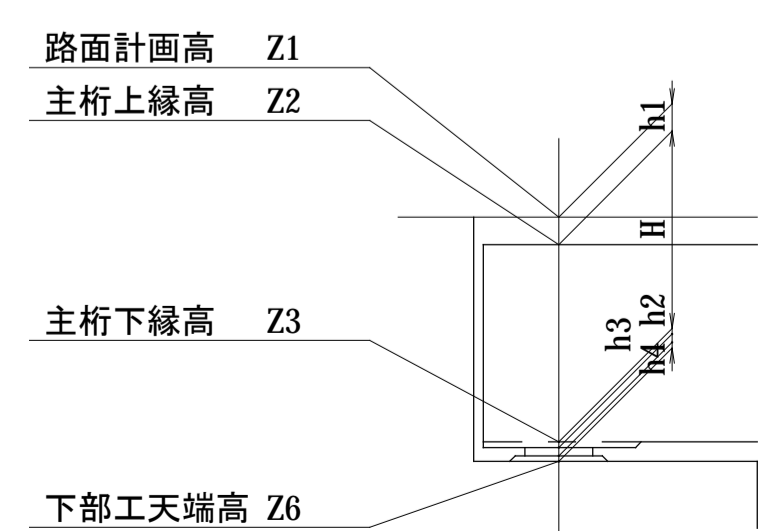
舗装厚・地覆高表 (単位: mm)

	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	平均
t1	108	104	86	70	61	58	61	70	86	104	108	75
t2	128	125	106	90	81	78	81	90	106	125	128	95
t3	130	127	108	93	83	80	83	93	108	127	130	97
t4	160	157	138	123	113	110	113	123	138	157	160	127
H	1088	1084	1066	1050	1041	1038	1041	1050	1066	1084	1088	1055

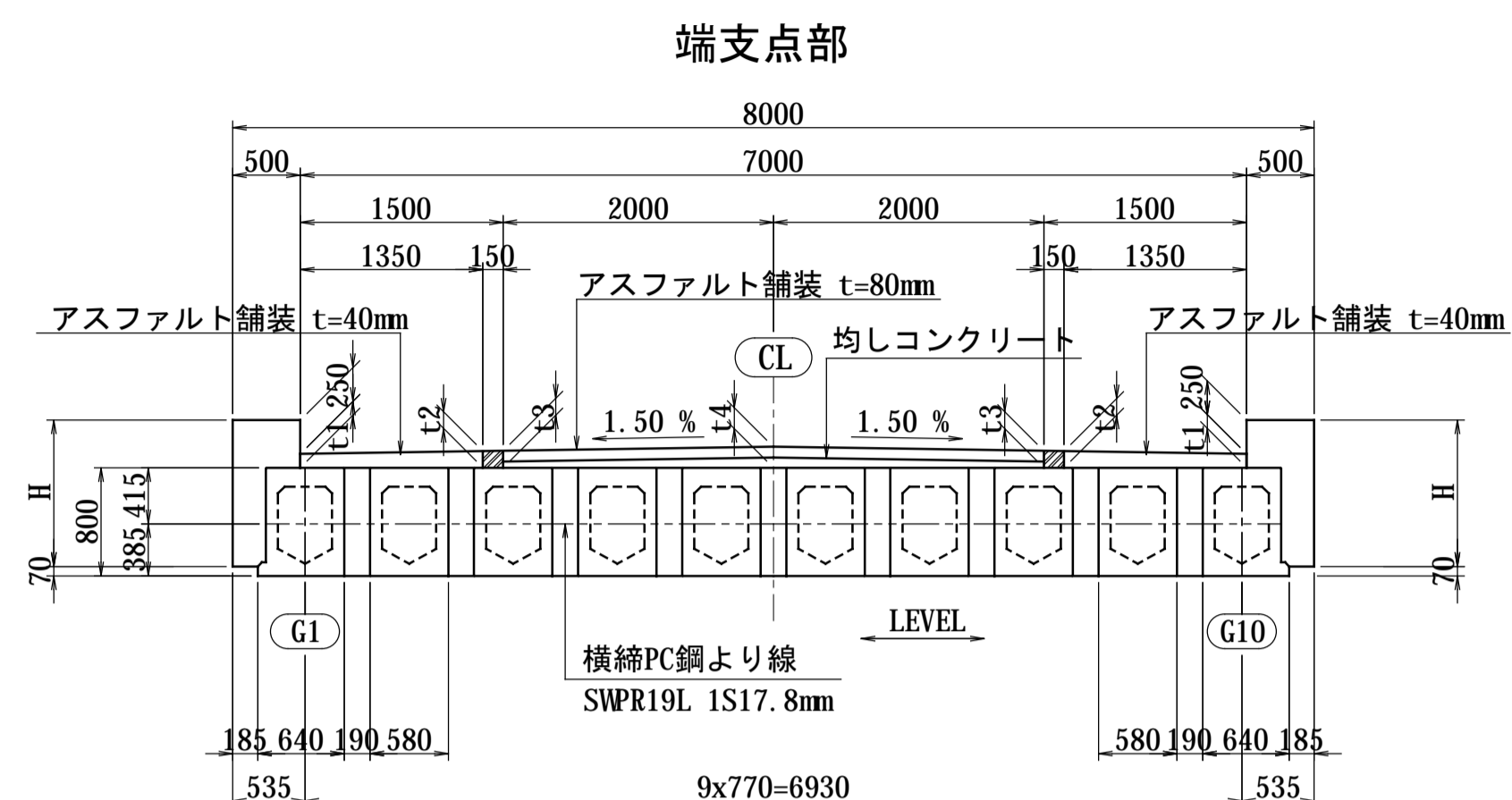
主桁断面図 S=1/20



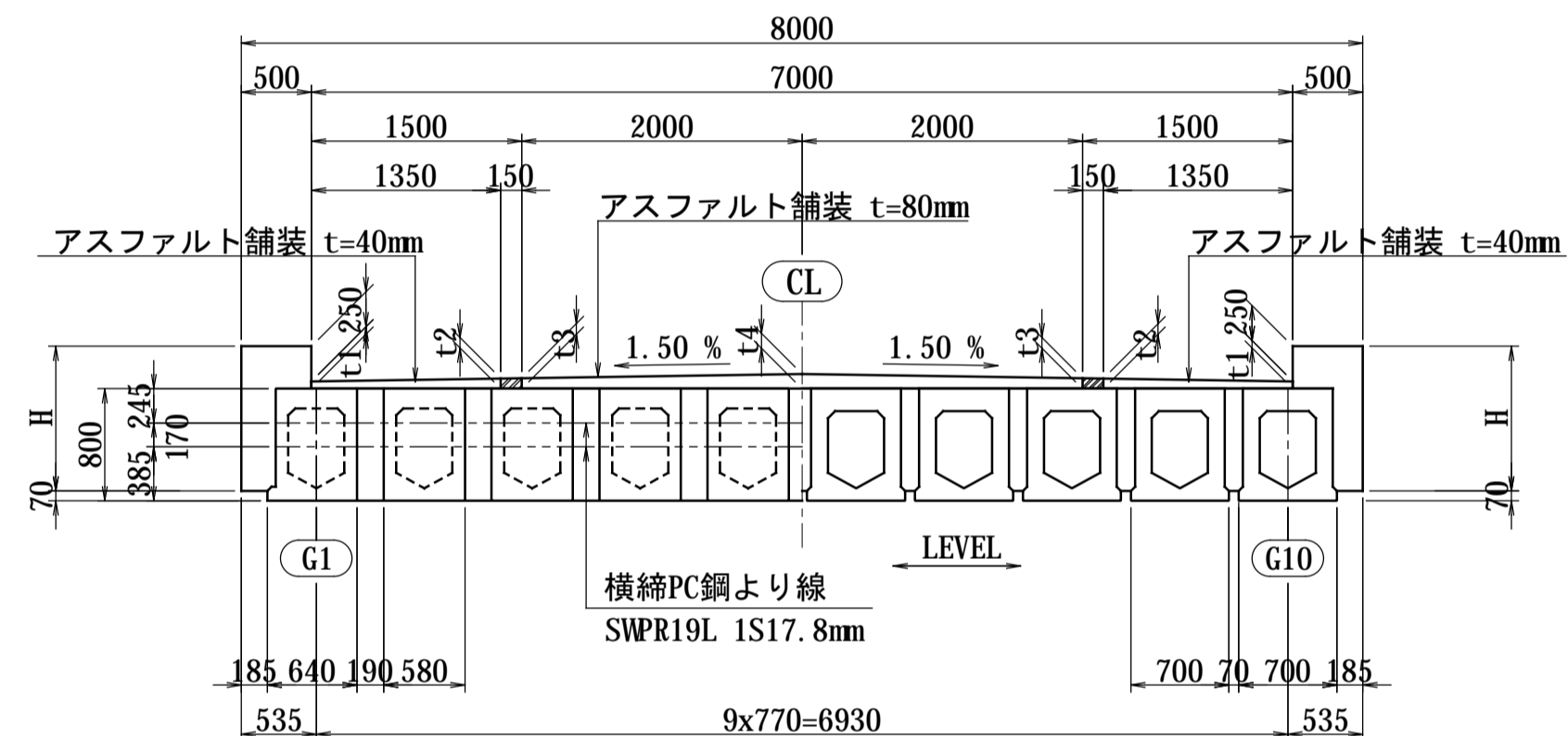
支承部構造高表



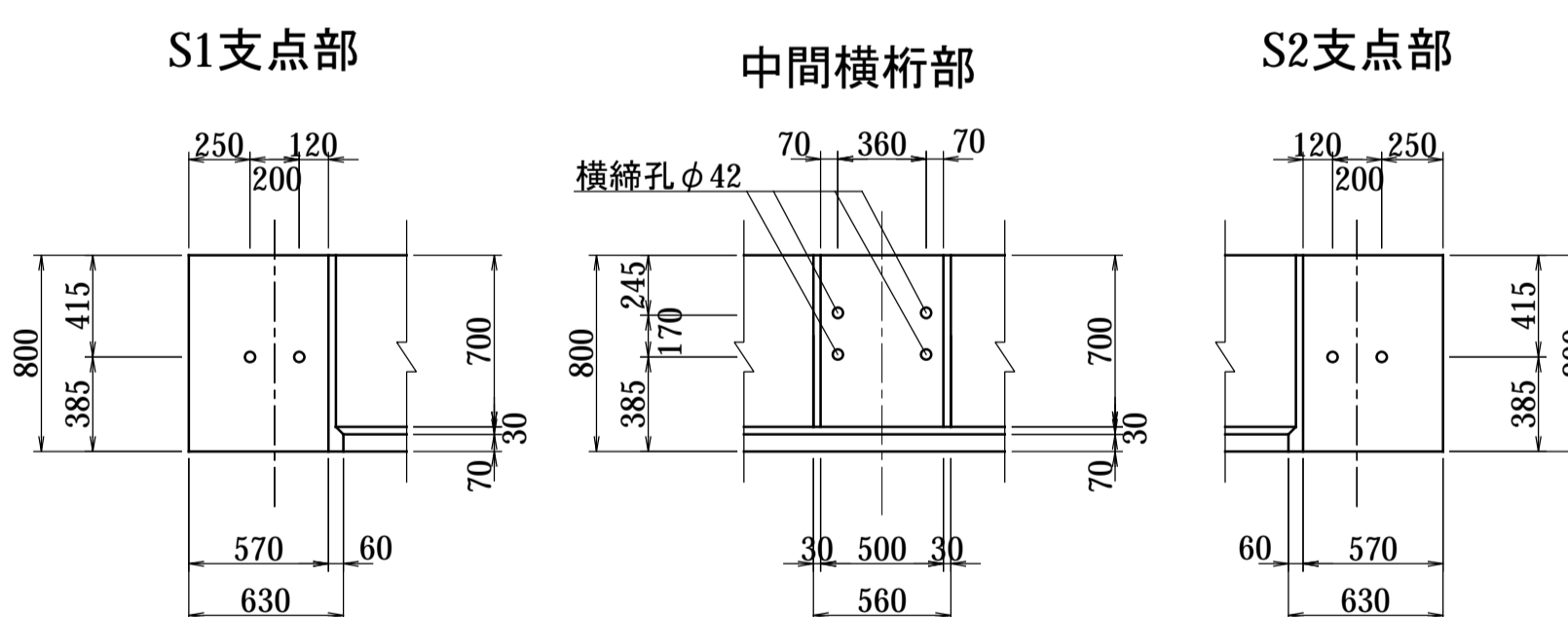
断面図 S=1/50



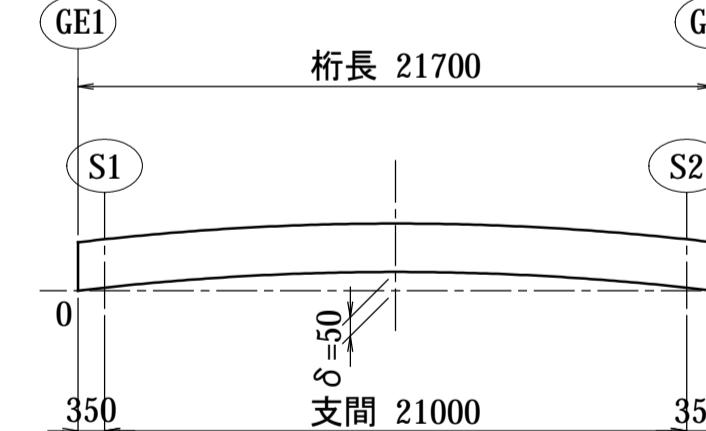
中間横桁部 標準部



横締め位置詳細図 S=1/30



キャンバー図



δは、主桁製作後90日のそり量である。
架設に当たっては、各工場のそり測定結果を基にして、設計計画に合うように、舗装厚等を調整する必要がある。

(単位: m)

	A1橋台			A2橋台		
	S1 支点上		S2 支点上			
	G1桁	CL	G10桁	G1桁	CL	G10桁
路面計画高 Z1	131.448	131.500	131.448	131.448	131.500	131.448
舗装厚 h1	0.105	0.157	0.105	0.105	0.157	0.105
主桁上縁高 Z2	131.343	131.343	131.343	131.343	131.343	131.343
桁高 H	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800
主桁下縁高 Z3	130.543	130.543	130.543	130.543	130.543	130.543
レア厚 h2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
支承厚 h3	0.079	0.079	0.079	0.079	0.079	0.079
沓座厚 h4	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
下部工天端高 Z4	130.434	130.434	130.434	130.434	130.434	130.434

設計条件

種別	プレストレストコンクリート道路橋
型式	プレテンション方式PC単床版橋
活荷重	A活荷重
衝撃係数	i=10/(25+1)...L荷重
橋長	21.760 m (道路中心線上)
桁長	21.700 m
支間	21.000 m
幅員構成	0.500m+1.500m(歩道)+4.000m(車道)+1.500m(歩道)+0.500m (法線方向)
斜角	A1側 90° 0' 0" A2側 90° 00' 00"

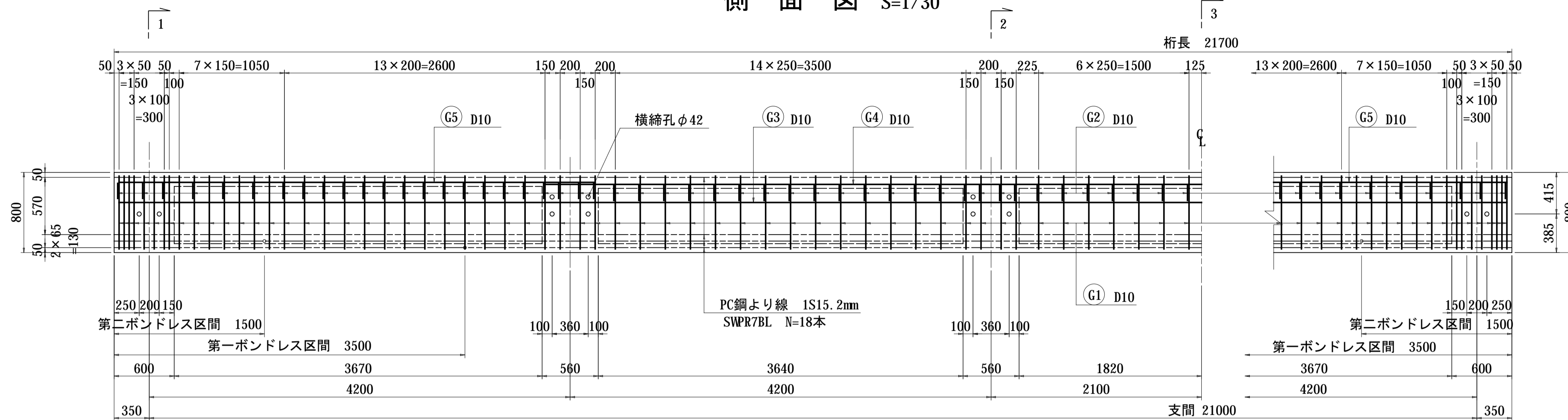
材料強度及び許容応力度

コンクリート	単位	主桁	床版・横桁
設計基準強度	N/mm ²	50.0	30.0
プレストレス 導入時圧縮強度	N/mm ²	35.0	25.0
許容曲げ圧縮応力度	導入直後	N/mm ²	20.0
	設計荷重	N/mm ²	16.0
許容曲げ引張応力度	導入直後	N/mm ²	-1.80
	設計荷重	N/mm ²	-1.80
平均せん断応力度	終局	N/mm ²	6.00
	荷重時	N/mm ²	6.80
許容斜引張応力度	死荷重時	N/mm ²	-1.20
	設計荷重時	N/mm ²	-2.30
P C 鋼材		SWPR7BL IS15.2	SWPR19L IS17.8
引張強度	N/mm ²	1850	1850
降伏点応力度	N/mm ²	1600	1600
許容引張応力度	導入時	N/mm ²	1440
	設計荷重	N/mm ²	1110
鉄筋		SD345	
降伏点応力度	N/mm ²	345.0	
許容引張応力度	主桁	N/mm ²	-
	床版	N/mm ²	140.0
	横桁	N/mm ²	200.0

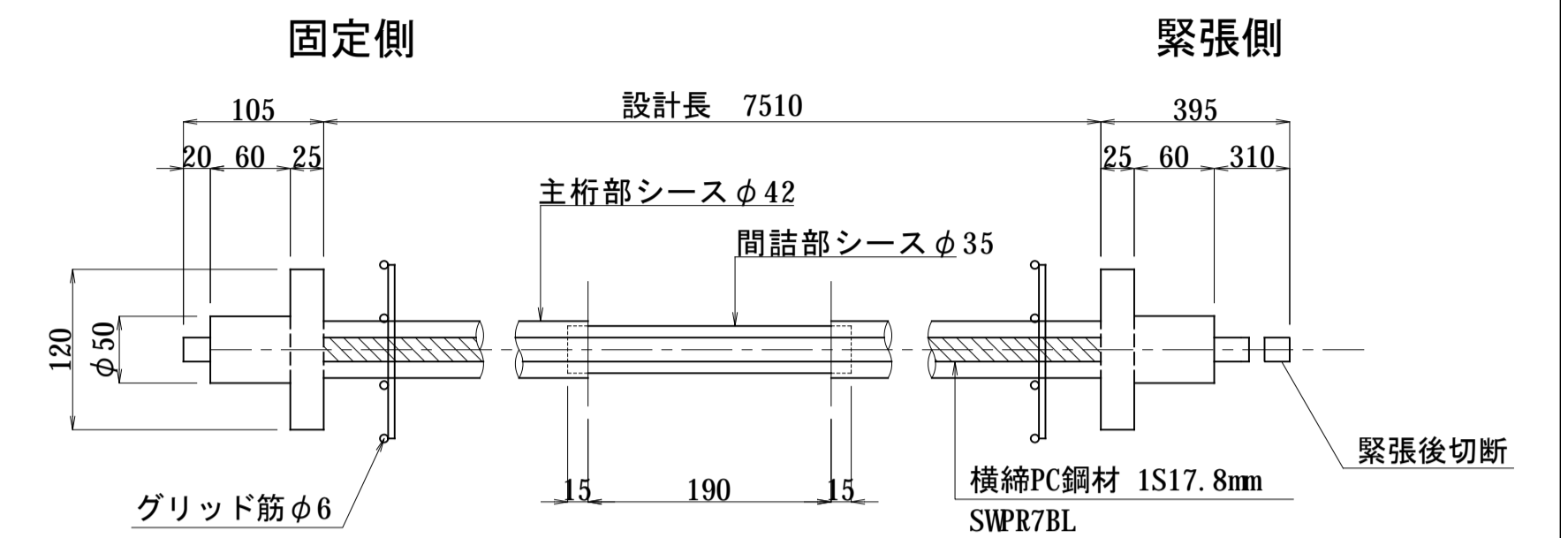
地覆コンクリート強度 σ_{ck}=24 N/mm²

管理橋 主桁配筋図

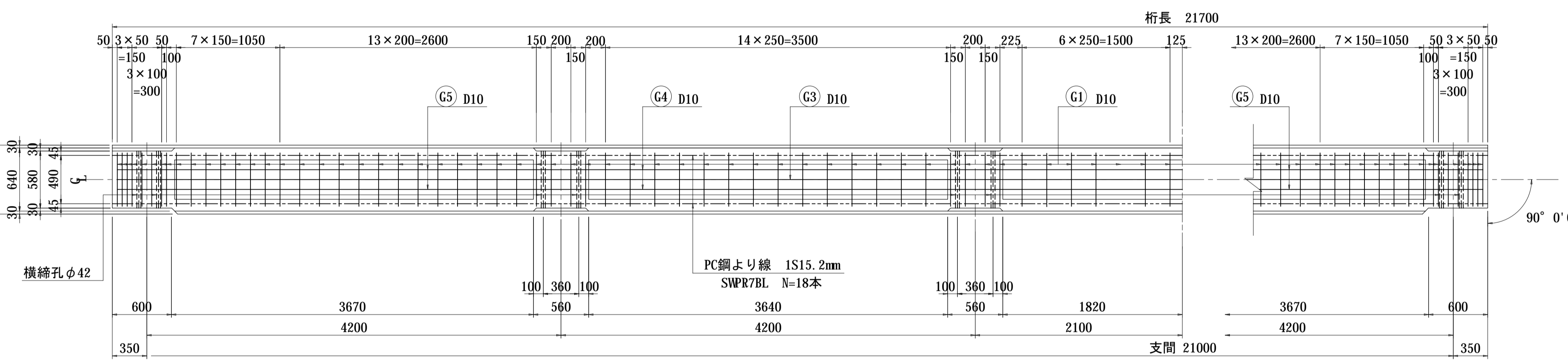
側面図 S=1/30



横締定着詳細図 S=1/5



平面図 S=1/30

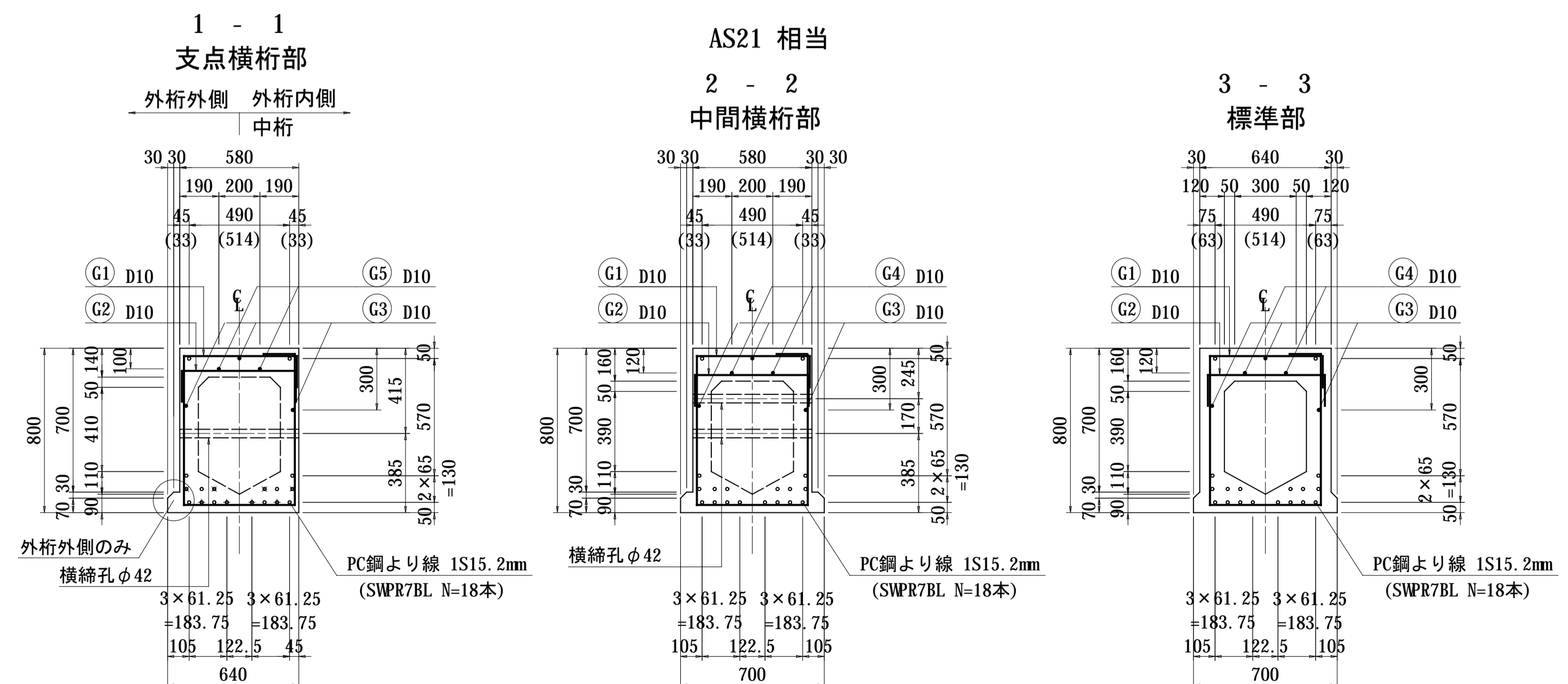


鉄筋表

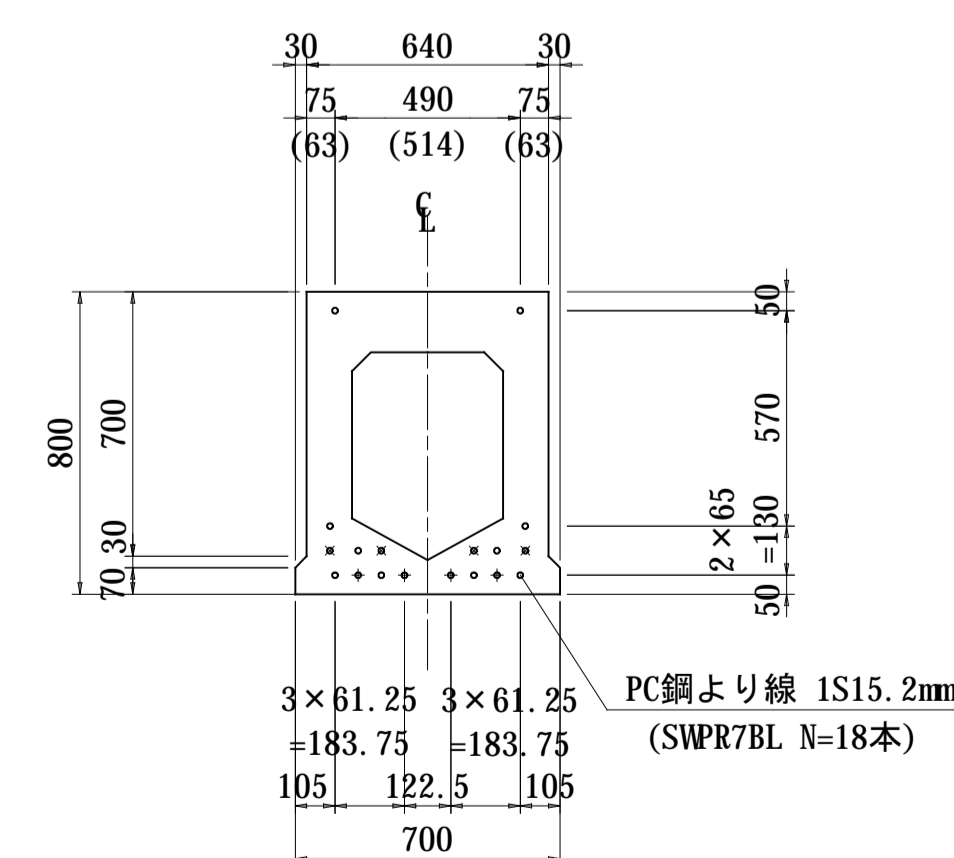
(主桁1本当たり)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
G1	D10	2830	114	0.560	1.58	180	□
2	"	840	96	"	0.47	45	┌
3	"	21890	3	"	12.26	37	—
4	"	13350	2	"	7.48	15	└
5	"	4770	4	"	2.67	11	—
φ6		1200	20	0.222	0.27	5	曲
主桁1本当たり							
D10					288	kg	
主桁全 10本							
合計					2880	kg	
グリッド筋 φ6					5	kg	
外桁全 2本					10	kg	

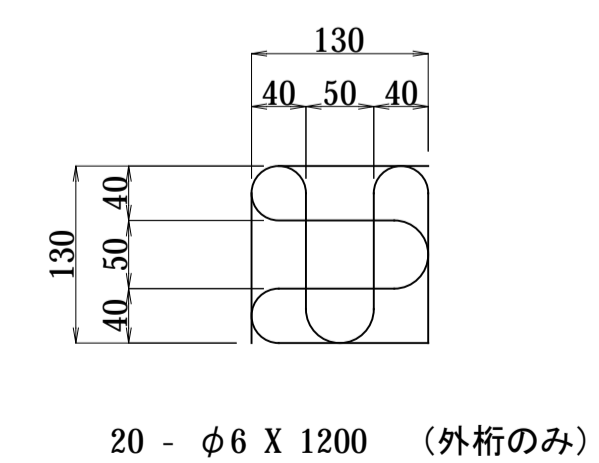
断面図 S=1/20



PC鋼材配置図 S=1:20



グリッド筋



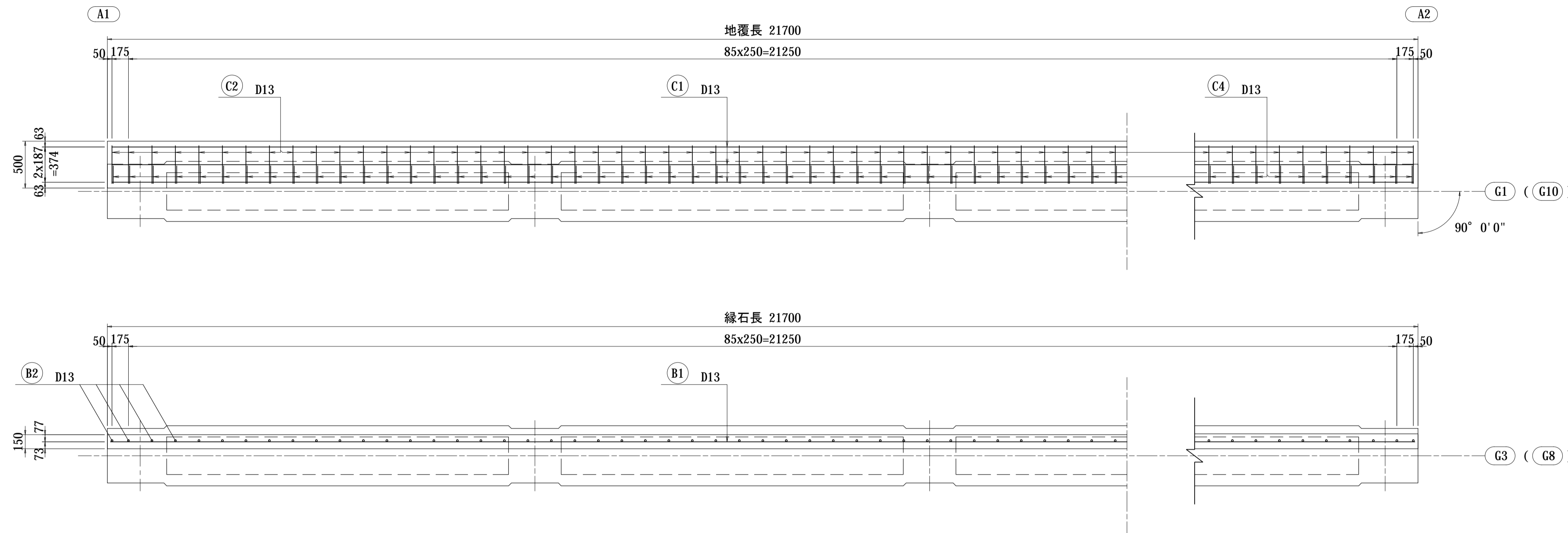
- P C 鋼 材 (N=18本)
- 第一ボンドコントロール鋼材 (N=4本)
- 第二ボンドコントロール鋼材 (N=4本)

注) 横締めは、フレシネ工法を参照したものである。

※ () 内寸法は、最下段及び最上段以外のPC鋼より線の水平距離を示す。

管理橋 地覆配筋図

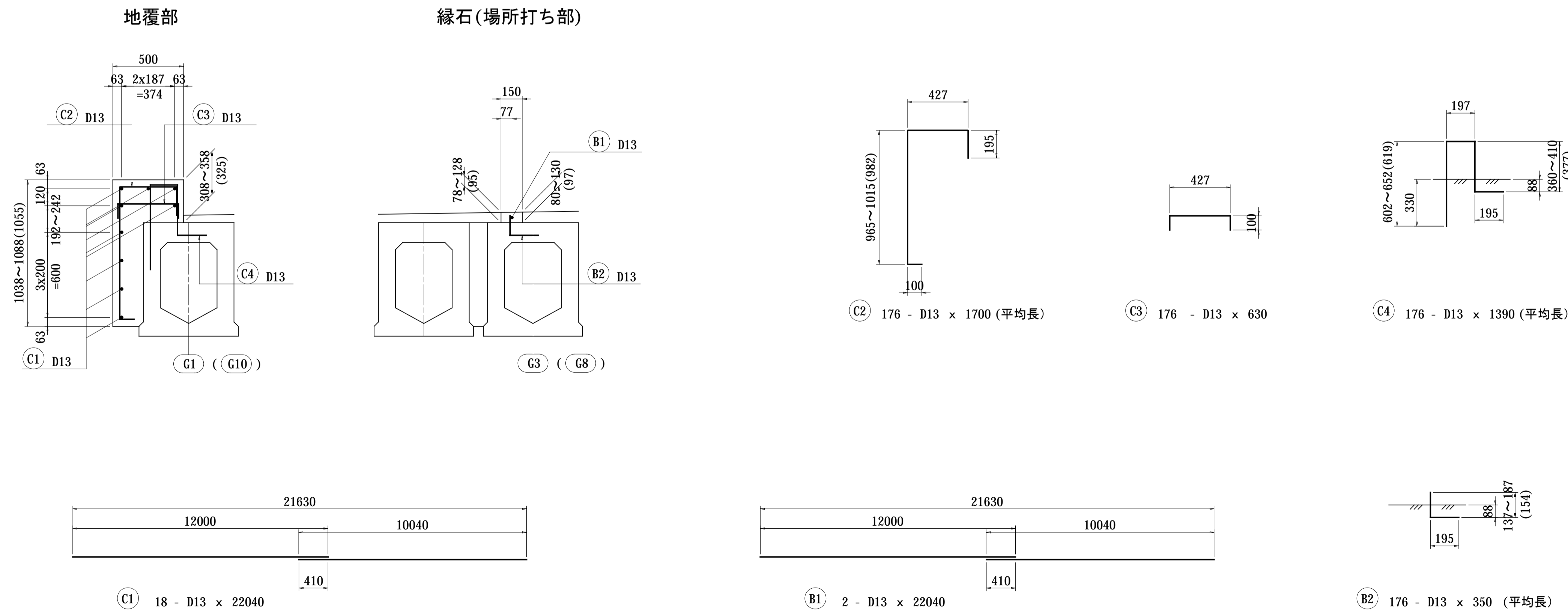
平面図 S=1/30



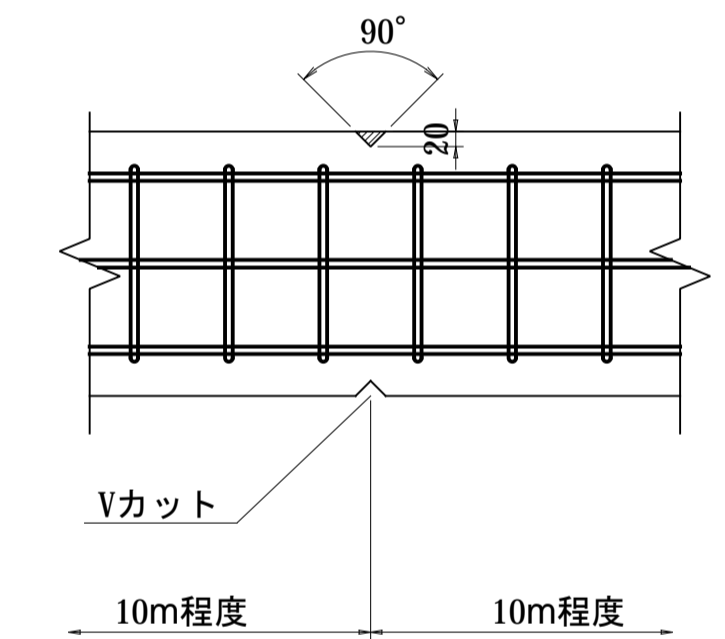
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当質量	質量	摘要
地覆							
C 1	D13	22040	18	0.995	21.93	395	—
2	"	1700	176	"	1.69	297	┌ (平均長)
3	"	630	176	"	0.63	111	┌ (平均長)
4	"	1390	176	"	1.38	243	┌ (平均長)
				SD345	D13	243 kg	(主桁埋込筋)
					D13	803 kg	
					合計	1046 kg	
縁石(場所打ち部)							
E 1	D13	22040	2	0.995	21.93	44	┌ (平均長)
2	"	350	176	"	0.35	62	┌ (平均長)
				SD345	D13	62 kg	(主桁埋込筋)
					D13	44 kg	
					合計	106 kg	

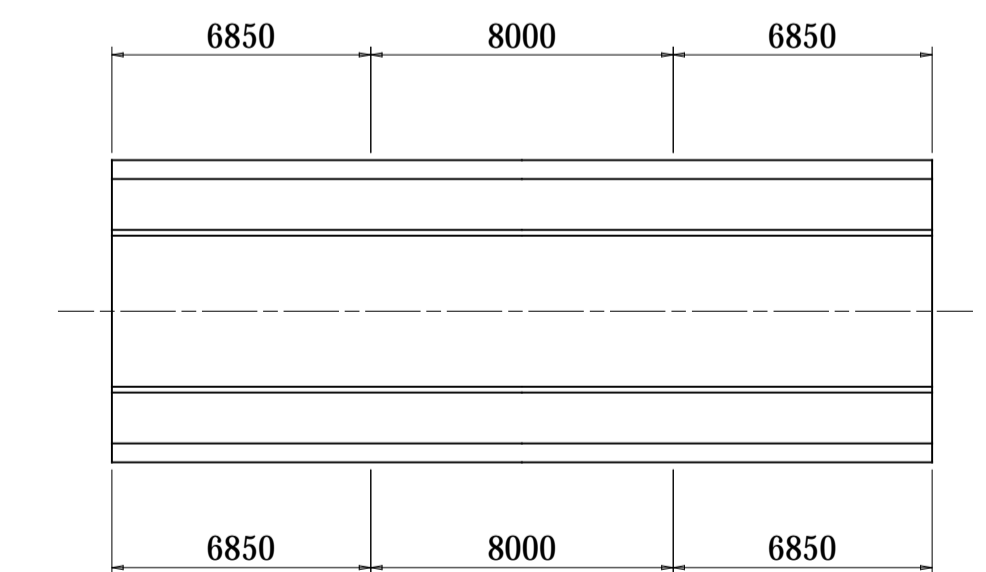
断面図 S=1/20



Vカット詳細図 S=1/20

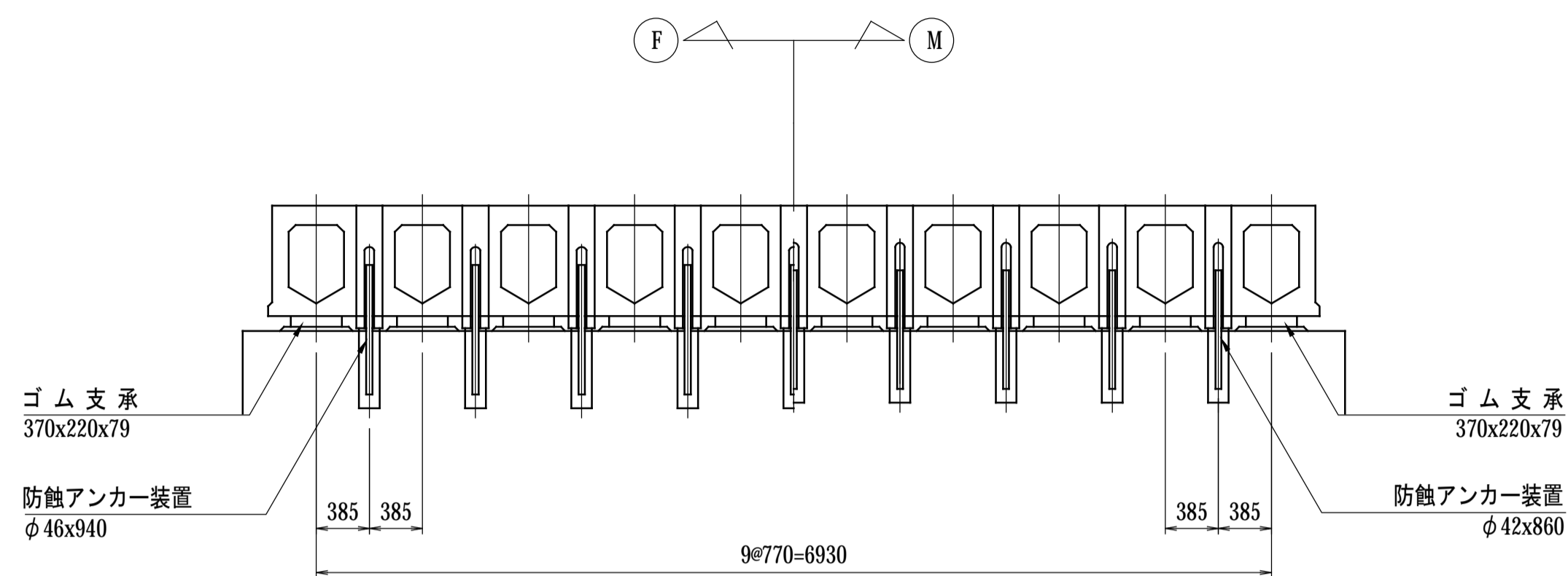


地覆Vカット位置図

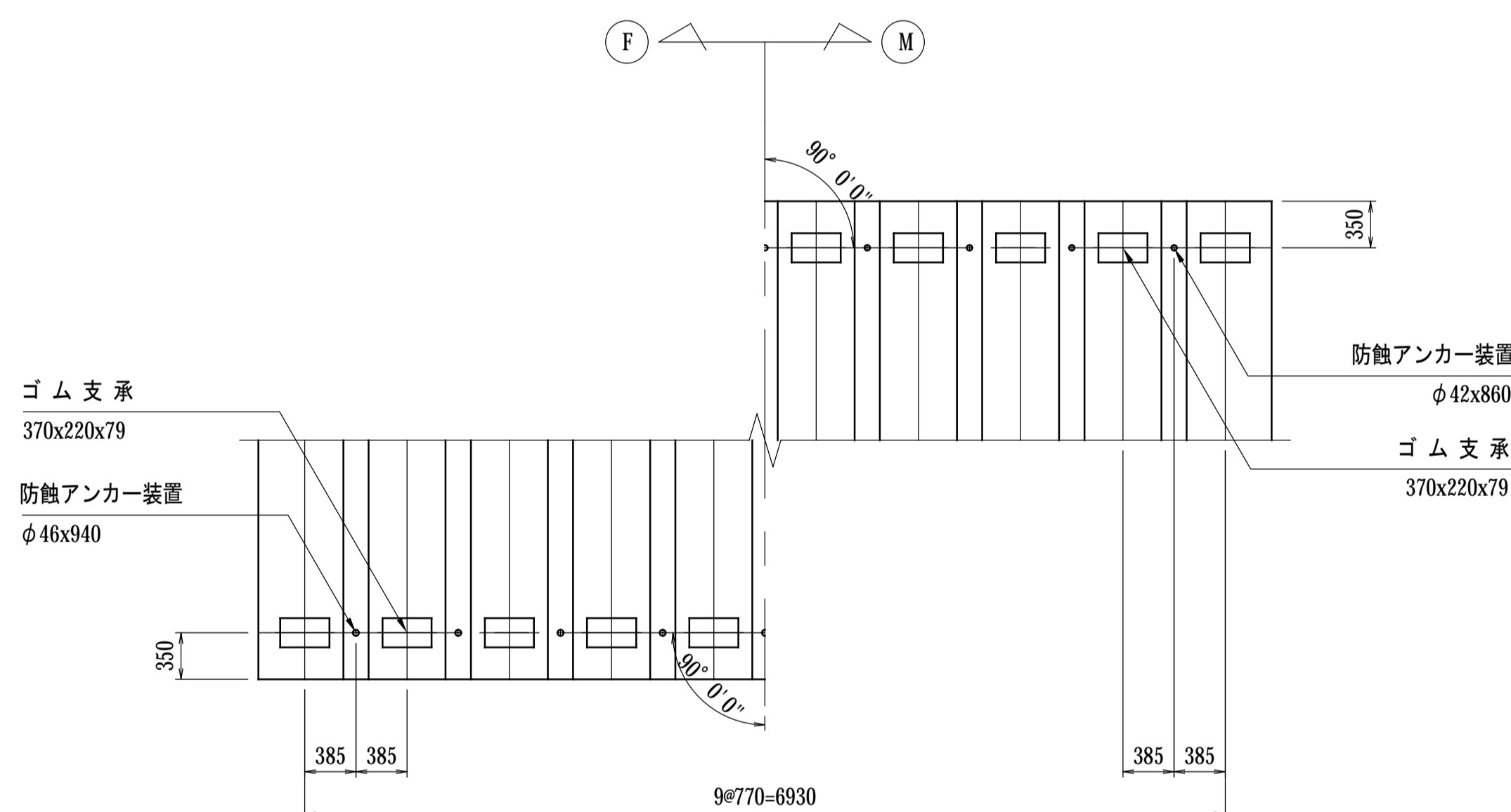


管理橋 支承詳細図

断面図 S=1:40



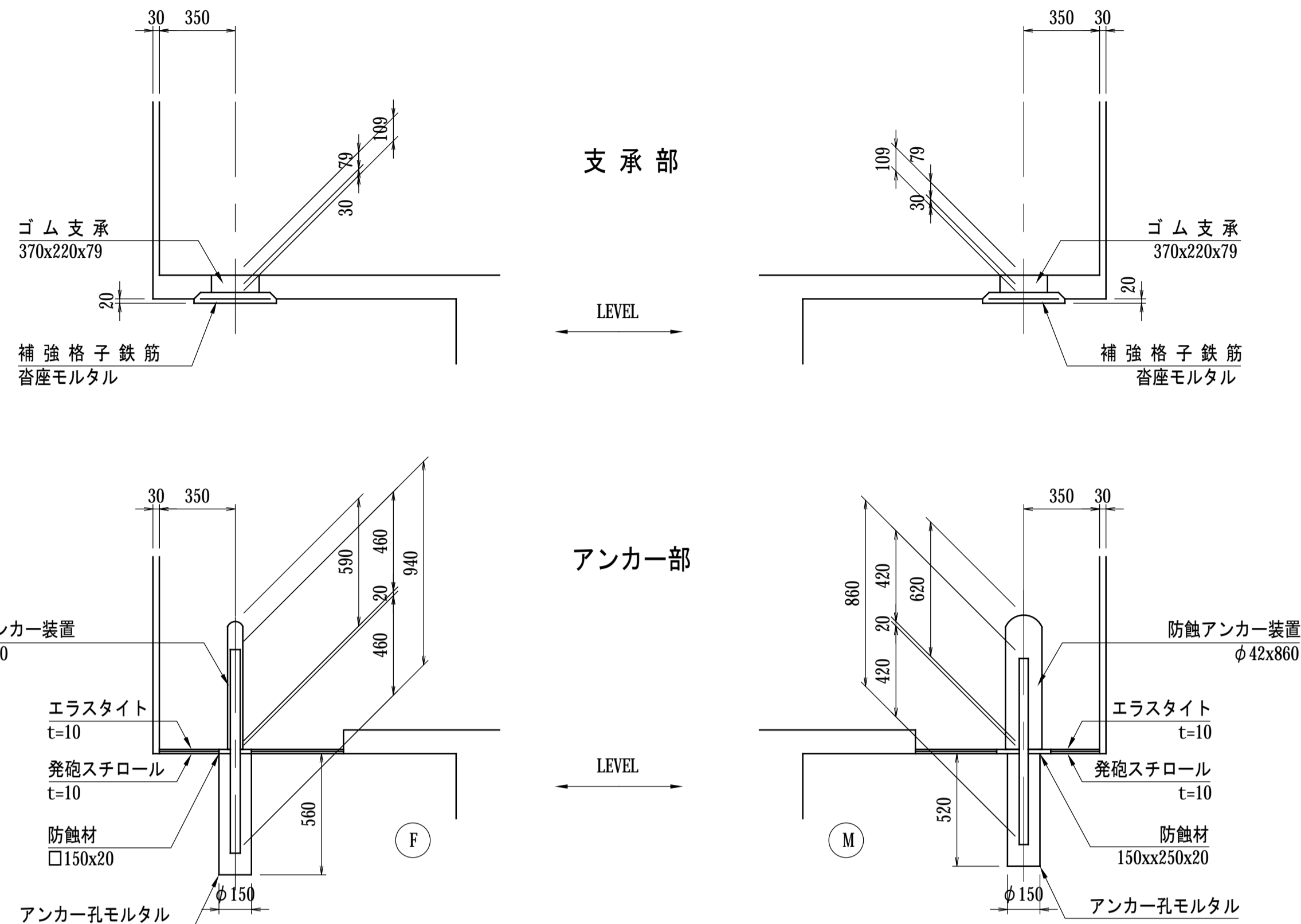
平面図 S=1:40



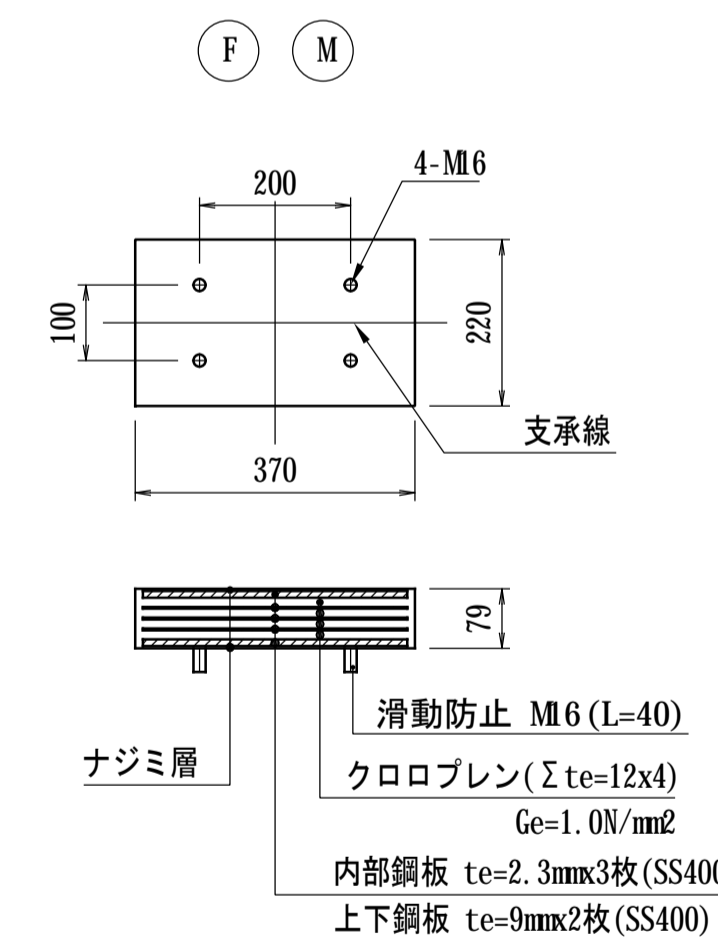
配置図 S=1:100



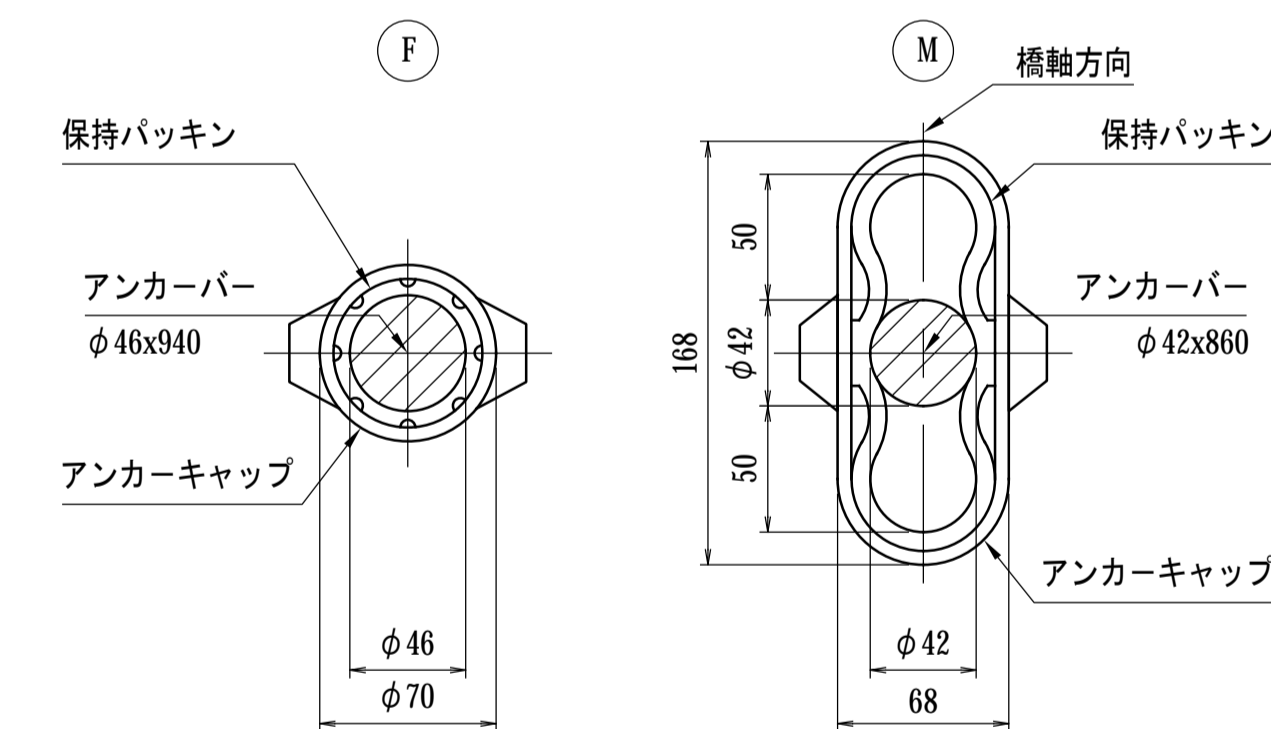
側面図 S=1:20



ゴム支承 S=1:10



アンカーキャップ S=1:3



材料表

名称	寸法	材質	単位	数量			備考
				Fix	Mov	合計	
ゴム支承	370x220x79	図示	枚	10	10	10	
"	370x220x79	"	"		10	10	
防蝕アンカー装置	PF46D	S35CV ポリエチレン又はFRP 樹脂ゴム	組	9		9	
"	PM2D	"	"		9	9	
防蝕材	□150x20	CRスポンジ	枚	9		9	
"	150x250x20	"	"		9	9	
補強格子鉄筋	400x250	SD345	kg	26.0	26.0	52.0	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.090	0.090	0.180	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.082	0.077	0.159	

§ 1 数量総括表

(その 1)

工種	種 別	仕 様	単 位	数 量	摘 要	
主桁製作工	プレテン桁購入工	AS21準用	本	10	L= 21.700 m	
	コンクリート	$\sigma_{ck}=50N/mm^2$	m ³	74.4	V= 7.434 m ³ /本	
			〃	——	V= 7.441 m ³ /本	
	質 量		t	185.9	W= 18.585 t/本	
			〃	——	W= 18.603 t/本	
	型 枠		側 枠	m ²	353.6	
			端 枠	m ²	9.3	
			内 型 枠	m ²	329.2	
	鉄 筋	SD345 D10	kg	2880		
	P C鋼より線	SWPR7BL 1S15.2	延長	m	3906.0	
質量			kg	4300.5		
ボンドレス鋼材		m	400.0			
横締めシース	Φ42	m	116.0			
横組工	コンクリート	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$	m ³	19.8		
	型 枠		間詰め型枠	m ²	12.9	
			横桁型枠	〃	4.9	
	P C鋼より線	SWPR19L 1S17.8	延長	m	150.2	
			質量	kg	248.1	
	シ ー ス	φ 3 5	m	39.6		
	グ ラ ウ ト	φ 3 5	m	150.2		
	定 着 具	1S17.8用 標準フプレート	組	40	θ =90° 00' 00"	
	ケーブル組立工	1S17.8用	m	150.2		
	緊張工	1S17.8用	本	20		
側部足場工		m	43.5			
地覆工	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	14.0		
	型 枠		m ²	69.347		
	鉄 筋	SD345	D13	kg	243	主桁埋込筋
			D13	〃	803	
			合計	〃	1046	
Vカット		箇所	4			

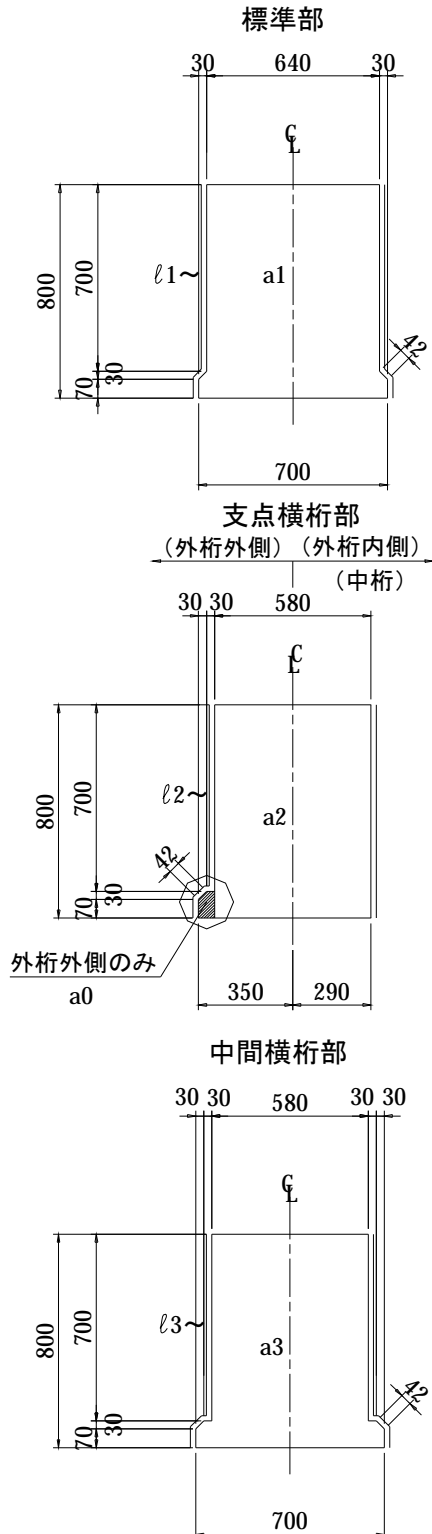
中桁
外桁
中桁
外桁

桁 1 本当り数量

種 別	仕 様	単 位	数 量			
			中 桁	外 桁	合 計	
プレテン桁購入	JIS5373-2004 AS21準用	本	8	2	10	
コンクリート	$\sigma_{ck}=50\text{N}/\text{mm}^2$	m^3	7.434	7.441	74.354	
質 量		t	18.585	18.603	185.886	
型 枠	側 枠	m^2	35.346	35.396	353.560	
	端 枠	m^2	0.928	0.939	9.302	
	内 型 枠	m^2	32.921	32.921	329.210	
鉄 筋	SD345 D10	kg	288	288	2880	
P C 鋼 よ り 線	SWPR7BL 1S15.2	延 長	m	390.600	390.600	3906.000
		質 量	kg	430.051	430.051	4300.510
	ボンドレス鋼材	m	40.000	40.000	400.000	
横 締 め シ ー ス	$\phi 42$	m	11.600	11.600	116.000	

§ 2 主桁製作工
2. 1 プレテン桁購入工

AS21準用



断面積

$$a1 = 0.640 \times 0.700 + 1/2 \times (0.640 + 0.700) \times 0.030 + 0.700 \times 0.070 = 0.5171 \text{ m}^2$$

周長

$$l1 = (0.700 + 0.042 + 0.070) \times 2 = 1.624 \text{ m}$$

断面積

$$a2 = 0.580 \times 0.800 = 0.4640 \text{ m}^2$$

$$a0 = 0.060 \times 0.100 - 1/2 \times 0.030 \times 0.030 = 0.0056 \text{ m}^2$$

周長

$$l2 = 0.800 + 0.800 = 1.600 \text{ m}$$

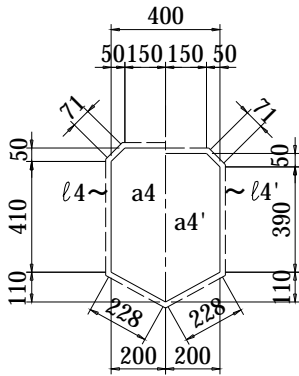
$$l2' = 0.700 + 0.030 + 0.042 + 0.070 + 0.800 = 1.642 \text{ m}$$

断面積

$$a3 = 0.580 \times 0.700 + 1/2 \times (0.640 + 0.700) \times 0.030 + 0.700 \times 0.070 = 0.4751 \text{ m}^2$$

周長

$$l3 = (0.700 + 0.030 + 0.042 + 0.070) \times 2 = 1.684 \text{ m}$$



断面積

$$\begin{aligned}
 a4 &= 0.400 \times 0.570 \\
 &\quad - 0.050 \times 0.050 \\
 &\quad - 0.200 \times 0.110 \\
 &= 0.2035 \text{ m}^2 \\
 a4' &= 0.400 \times 0.550 \\
 &\quad - 0.050 \times 0.050 \\
 &\quad - 0.200 \times 0.110 \\
 &= 0.1955 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

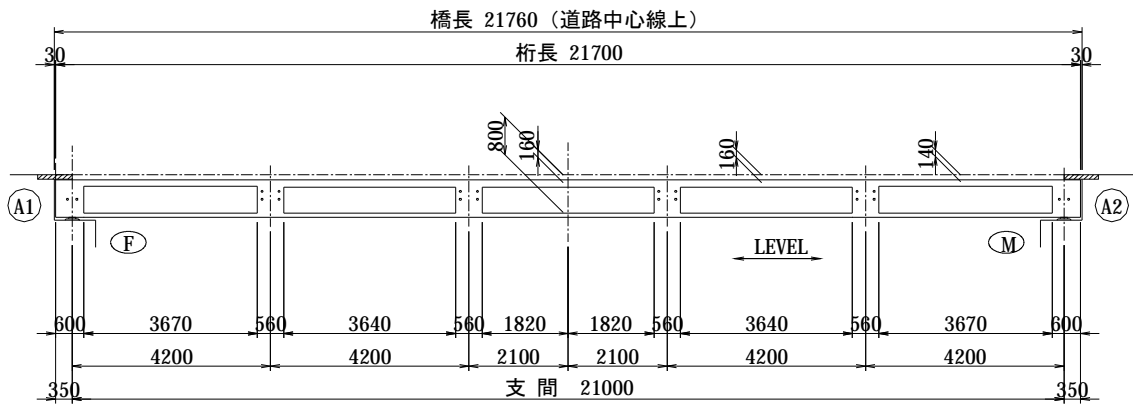
周長

$$\begin{aligned}
 l4 &= (0.150 + 0.071 \\
 &\quad + 0.410 + 0.228) \times 2 \\
 &= 1.718 \text{ m} \\
 l4' &= (0.150 + 0.071 \\
 &\quad + 0.390 + 0.228) \times 2 \\
 &= 1.678 \text{ m}
 \end{aligned}$$

桁本数

$$N = 10 \text{ 本}$$

斜 比 : 1.000000



2. 2 コンクリート ($\sigma_{ck} = 50\text{N/mm}^2$)

中 桁
標準部

$$V1 = \overset{a1}{0.5171} \times \left\{ \overset{\text{桁長}}{21.700} - \left(\overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 + \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 \right) \right\} = 9.442 \text{ m}^3$$

支点横桁部

$$V2 = \overset{a2}{0.4640} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 0.557 \text{ m}^3$$

中間横桁部

$$V3 = \overset{a3}{0.4751} \times \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 = 1.064 \text{ m}^3$$

ボイド控除部

$$- V4 = \overset{a4}{0.2035} \times 3.670 \times 2 = -1.494 \text{ m}^3$$

$$- V4 = \overset{a4'}{0.1955} \times (3.640 + 1.820) \times 2 = -2.135 \text{ m}^3$$

$$\underline{\Sigma V = 7.434 \text{ m}^3}$$

1本当たり体積
中 桁

$$V = 7.434 = 7.434 \text{ m}^3 / \text{本}$$

外 桁

$$V = 7.434 + \overset{a0}{0.0056} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 7.441 \text{ m}^3 / \text{本}$$

1本当たり質量
中 桁

$$W = \overset{\Sigma V}{7.434} \times \overset{\text{単位質量}}{2.5} = 18.585 \text{ t} / \text{本}$$

外 桁

$$W = \overset{\Sigma V}{7.441} \times \overset{\text{単位質量}}{2.5} = 18.603 \text{ t} / \text{本}$$

1橋当り

$$\Sigma V = \overset{V}{7.434} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{V}{7.441} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 74.354 \text{ m}^3 / \text{橋}$$

$$\Sigma W = \overset{W}{18.585} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{W}{18.603} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 185.886 \text{ t} / \text{橋}$$

2. 3 型 枠

2. 3. 1 側 枠

中 桁
標準部

$$A1 = \overset{l1}{1.624} \times \left\{ \overset{\text{桁長}}{21.700} - \left(\overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 + \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 \right) \right\} = 29.654 \text{ m}^2$$

支点横桁部

$$A2 = \overset{l2}{1.600} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 1.920 \text{ m}^2$$

中間横桁部

$$A3 = \overset{l3}{1.684} \times \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 = 3.772 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = 35.346 \text{ m}^2$$

中桁 1 本当たり

$$\overset{\Sigma A1}{\Sigma A} = 35.346 = 35.346 \text{ m}^2 / \text{本}$$

外 桁

$$\overset{\Sigma A1}{\Sigma A2} = 35.346 + \left(\overset{l2'}{1.642} - \overset{l2}{1.600} \right) \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 35.396 \text{ m}^2 / \text{本}$$

1 橋当り

$$\overset{\Sigma A1}{\Sigma A} = 35.346 \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{\Sigma A2}{35.396} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 353.560 \text{ m}^2 / \text{橋}$$

2. 3. 2 端 枠

中 桁

$$A1 = \overset{a2}{0.4640} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 = 0.928 \text{ m}^2$$

外 桁

$$A2 = \left(\overset{a2}{0.4640} + \overset{a0}{0.0056} \right) \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 = 0.939 \text{ m}^2$$

1 橋当り

$$\overset{\Sigma A1}{\Sigma A} = 0.928 \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{\Sigma A2}{0.939} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 9.302 \text{ m}^2 / \text{橋}$$

2. 3. 3 内型枠

$$\begin{aligned}
 A1 &= \overset{a4}{0.2035} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 \times 2 \\
 &\quad + \overset{l4}{1.718} \times \overset{\text{ポイド長}}{3.670} \times 2 \\
 &= 13.424 \text{ m}^2 \\
 A2 &= \overset{a4'}{0.1955} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 \times 3 \\
 &\quad + \overset{l4'}{1.678} \times \overset{\text{ポイド長}}{3.640} \times 3 \\
 &= 19.497 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A1 &= 32.921 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

1 橋当り

$$\Sigma A = \overset{A}{32.921} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 329.210 \text{ m}^2 / \text{橋}$$

2. 4 鉄 筋 (SD345)

D10 288 kg/本

1 橋当り

$$\Sigma W = \overset{w}{288} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 2880 \text{ kg / 橋}$$

2. 5 P C 鋼より線 (SWPR7BL 1S15.2) W = 1.101 kg/m

1) 鋼材長

$$\begin{aligned}
 L &= \overset{\text{実桁長}}{21.700} \times \overset{\text{鋼材本数}}{18} = 390.600 \text{ m} \\
 \Sigma L &= \overset{L}{390.600} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 3906.000 \text{ m / 橋}
 \end{aligned}$$

2) 鋼材質量

$$\begin{aligned}
 W &= \overset{L}{390.600} \times \overset{\text{単位質量}}{1.101} = 430.051 \text{ kg} \\
 \Sigma W &= \overset{L}{430.051} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 4300.510 \text{ kg / 橋}
 \end{aligned}$$

3) ボンドレス鋼材長

$$\begin{aligned}
 L &= \overset{\text{ボンドレス長}}{3.500} \times \overset{\text{鋼材本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} + \overset{\text{ボンドレス長}}{1.500} \times \overset{\text{鋼材本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} = 40.000 \text{ m} \\
 \Sigma L &= \overset{L}{40.000} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 400.000 \text{ m / 橋}
 \end{aligned}$$

2. 6 横締めシース (φ 42)

中 桁

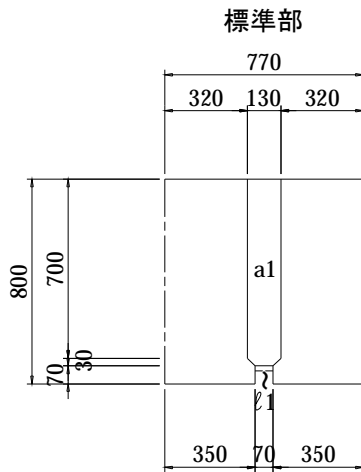
$$L = \overset{\text{ウェブ幅}}{0.580} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \\ \times \left(\overset{\text{本数}}{2} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} + \overset{\text{本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{4} \right) = 11.600 \text{ m}$$

外 桁

$$L = \overset{\text{ウェブ幅}}{0.580} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \\ \times \left(\overset{\text{本数}}{2} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} + \overset{\text{本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{4} \right) = 11.600 \text{ m}$$

$$\overset{L}{\Sigma L} = 11.600 \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + 11.600 \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 116.000 \text{ m /橋}$$

§ 3 横 組 工

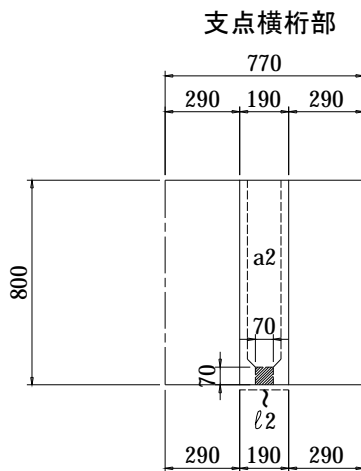


断面積

$$\begin{aligned} a1 &= 0.130 \times 0.730 \\ &\quad - 0.030 \times 0.030 \\ &= 0.0940 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

周 長

$$l1 = 0.070 \text{ m}$$

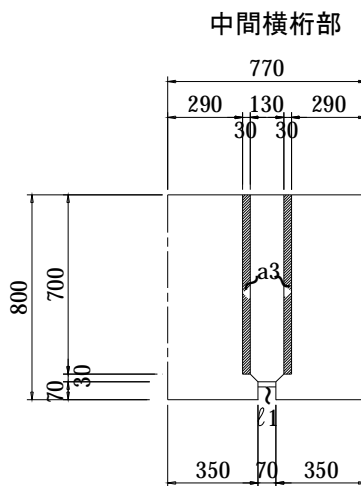


断面積

$$\begin{aligned} a2 &= 0.190 \times 0.800 \\ &= 0.1520 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

周 長

$$l2 = 0.190 \text{ m}$$



断面積

$$\begin{aligned} a3 &= 0.030 \times 0.700 \times 2 \\ &= 0.0420 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

3. 1 コンクリート ($\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$)

標準部

$$V1 = \overset{\text{a1}}{0.0940} \times \left(\overset{\text{桁長}}{21.700} - \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \right) \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 17.343 \text{ m}^3$$

支点横桁部

$$V2 = \overset{\text{a2}}{0.1520} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 1.642 \text{ m}^3$$

中間横桁部

$$V3 = \overset{\text{a3}}{0.0420} \times \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 0.847 \text{ m}^3$$

$$\frac{\Sigma V}{\Sigma V} = \frac{19.832 \text{ m}^3}{19.832 \text{ m}^3}$$

3. 2 型 枠

3. 2. 1 間詰型枠

$$A = \overset{\text{l1}}{0.070} \times \left(\overset{\text{桁長}}{21.700} - \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \right) \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 12.915 \text{ m}^2$$

3. 2. 2 横桁型枠

$$A1 = \overset{\text{l2}}{0.190} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 2.052 \text{ m}^2$$

$$A2 = \left(\overset{\text{a2}}{0.1520} + \overset{\text{l1}}{0.070} \times \overset{\text{桁間数}}{0.070} \right) \times 2 \times \overset{\text{桁間数}}{9}$$

斜 比

$$\times 1.000000 = 2.824 \text{ m}^2$$

$$\frac{\Sigma A}{\Sigma A} = \frac{4.876 \text{ m}^2}{4.876 \text{ m}^2}$$

3. 3 PC鋼より線

SWPR19L 1S17.8 (余長を含まず) (W= 1.652 kg/m)

延長
標準部

$$L = \overset{\text{鋼材長}}{7.510} \times \overset{\text{本数}}{20} = 150.200 \text{ m}$$

質量
標準部

$$W = 150.200 \times 1.652 = 248.130 \text{ kg}$$

3. 4 シース ($\phi 35$)

$$L = \left(0.015 + 0.190 + 0.015 \right) \times \overset{\text{本数}}{20} \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 39.600 \text{ m}$$

3. 5 グラウト

$$L = \qquad \qquad \qquad = 150.200 \text{ m}$$

3. 6 定着具 (標準プレート $\theta = 90^\circ 00' 00''$)

$$N = \underset{\text{本数}}{20} \times 2 \qquad \qquad \qquad = 40 \text{ 組}$$

3. 7 ケーブル組立工

$$L = 150.200 \text{ m}$$

3. 8 緊張工

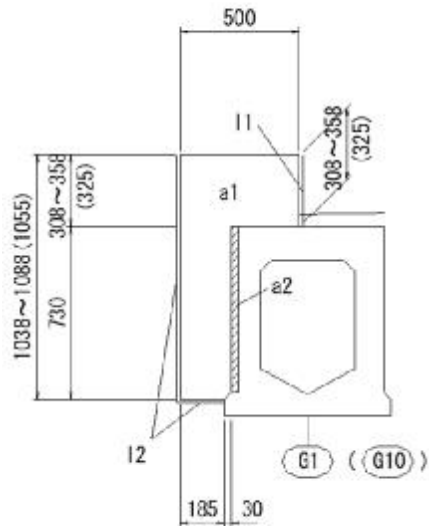
$$N = \qquad \qquad \qquad = 20 \text{ 本}$$

3. 9 側部足場工

$$L = \underset{\text{橋長}}{21.760} \times 2 \qquad \qquad \qquad = 43.520 \text{ m}$$

§ 4 地 覆 工

断面形状



$$\text{地覆長} = 21.700 \text{ m}$$

平均地覆高の計算

$$\text{左側} = \text{舗装計算より} l_2(\text{平均}) + 250 = 0.325 \text{ m}$$

$$\text{右側} = \text{舗装計算より} l_2(\text{平均}) + 250 = 0.325 \text{ m}$$

断面積

$$a_1 = 0.325 \times 0.500 + 0.215 \times 0.730 - 1/2 \times 0.030 \times 0.030 = 0.3190 \text{ m}^2$$

$$a_2 = 0.700 \times 0.030 = 0.0210 \text{ m}^2$$

周長

$$l_1 = 0.325 \text{ m}$$

$$l_2 = 1.055 + 0.185 = 1.240 \text{ m}$$

4. 1 コンクリート ($\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$)

$$V1 = \overset{\text{a1}}{0.3190} \times \overset{\text{地覆長}}{21.700} \times 2 = 13.845 \text{ m}^3$$

$$V2 = \overset{\text{a2}}{0.0210} \times \left(\overset{\text{端横桁幅}}{0.600} \times \overset{\text{ヶ所数}}{4} + \overset{\text{中間横桁幅}}{0.560} \times \overset{\text{ヶ所数}}{8} \right) = 0.144 \text{ m}^3$$

$$\underline{\Sigma V = 13.989 \text{ m}^3}$$

4. 2 型 枠

$$A1 = \overset{\text{l1}}{0.325} \times \overset{\text{地覆長}}{21.700} \times 2 = 14.105 \text{ m}^2$$

$$A2 = \overset{\text{l2}}{1.240} \times \overset{\text{地覆長}}{21.700} \times 2 = 53.816 \text{ m}^2$$

$$A3 = \left(\overset{\text{桁端部}}{0.358} \times \overset{\text{a2}}{0.500} + \overset{\text{斜 比}}{0.215} \times 0.730 - 1/2 \times 0.030 \right. \\ \left. \times 0.030 + 0.0210 \right) \times 1.000000 \times 4 = 1.4260 \text{ m}^2$$

$$\underline{\Sigma A = 69.347 \text{ m}^2}$$

4. 3 鉄 筋 (SD345)

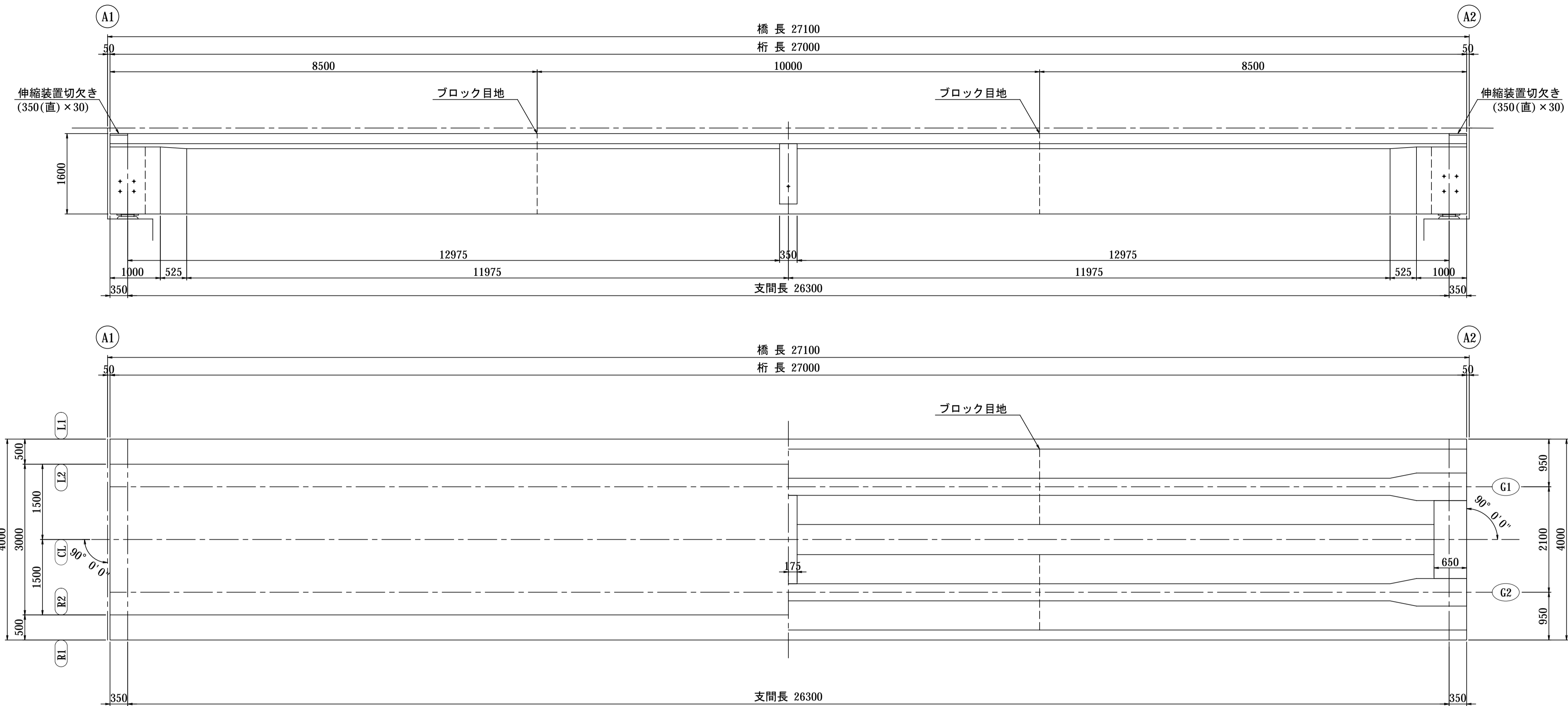
D13	243 kg	(桁埋込筋)
D13	803 kg	
合 計	1046 kg	

4. 4 Vカット

$$N = 4 \text{ ヶ所}$$

下流管理橋 上部工構造一般図

側面図 S=1:50



設計条件

構造形式	ポストテンション方式PC単純T桁橋(セグメント工法)
橋長	27.100m
桁長	27.000m
支間	26.3000m
幅員構成	0.500m+3.000m+0.500m+4.000m
荷重	A活荷重
衝撃係数	i=20/(50+SPAN) (T荷重) i=10/(25+SPAN) (L荷重)
斜角	右 90° 00' 00" 左 90° 00' 00"

材料強度及び許容応力度

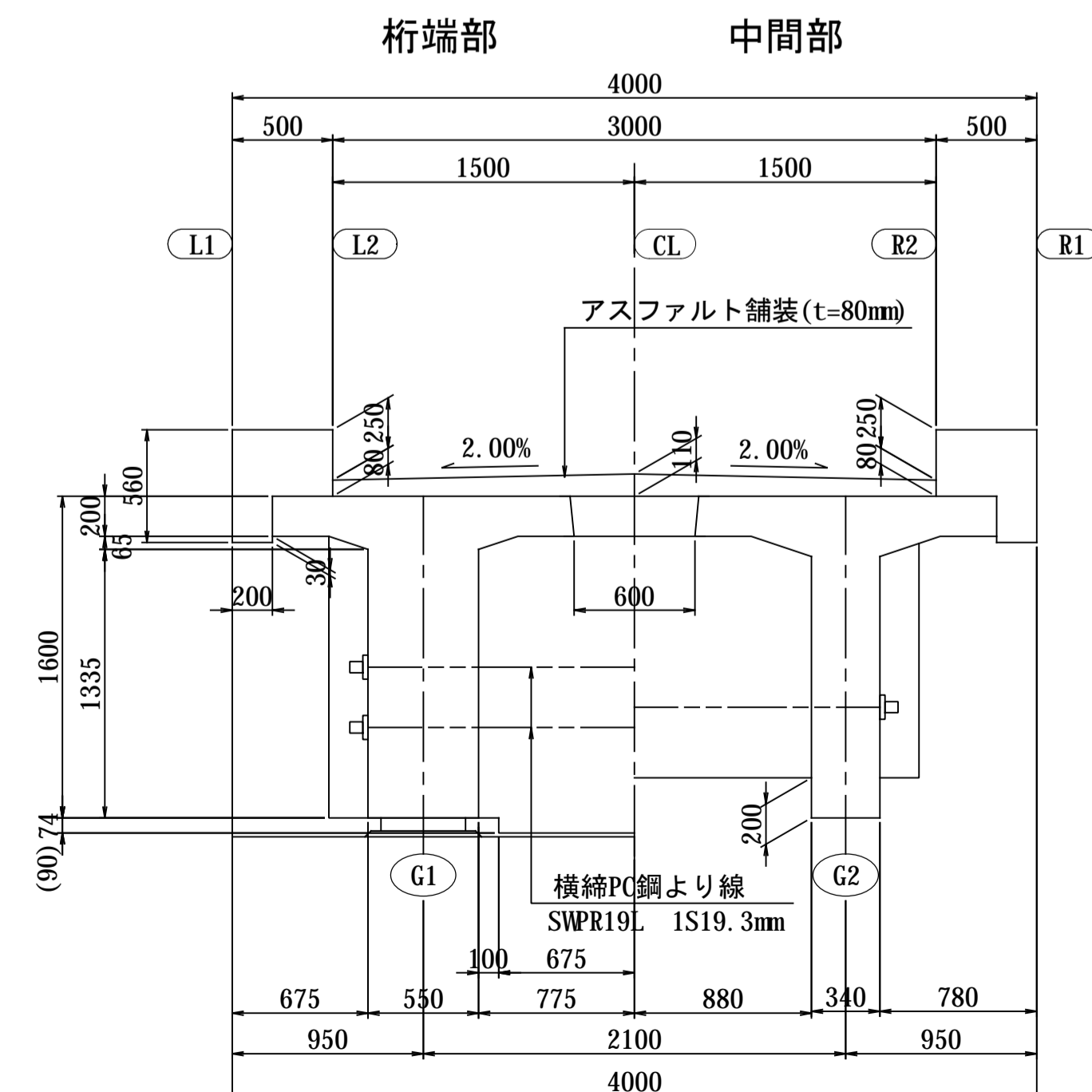
コンクリート	単位	主桁	場所打ち
設計基準強度	N/mm ²	50.00	30.00
許容曲げ圧縮応力度	プレストレス導入直後	21.00	14.00
	設計荷重時	16.00	11.00
許容曲げ引張応力度	プレストレス導入直後	-1.80	0.00
	全死荷重時	0.00	0.00
	設計荷重時	-1.80	0.00
平均せん断応力度	設計荷重時	0.65	0.45
	終局荷重時	6.00	4.00
	終局荷重時(せん断+ねじり)	6.80	4.80
許容斜引張応力度	死荷重時	-1.20	-0.80
	死荷重時(せん断+ねじり)	-1.50	-1.10
	設計荷重時	-2.30	-1.70
	設計荷重時(せん断+ねじり)	-2.80	-2.20
プレストレス導入時圧縮強度	"	35.00	25.00

P C 鋼材	単位	主桁	横桁床版
P C 鋼材の種類		12S12.7B	1S19.3
P C 鋼材の材質		SWPR7BL	SWPR19L
引張強度	N/mm ²	1850.0	1850.0
降伏点応力度	"	1600.0	1600.0
許容引張応力度	設計荷重時	1110.0	1110.0
	プレストレス導入直後	1295.0	1295.0
	緊張作業時	1440.0	1440.0

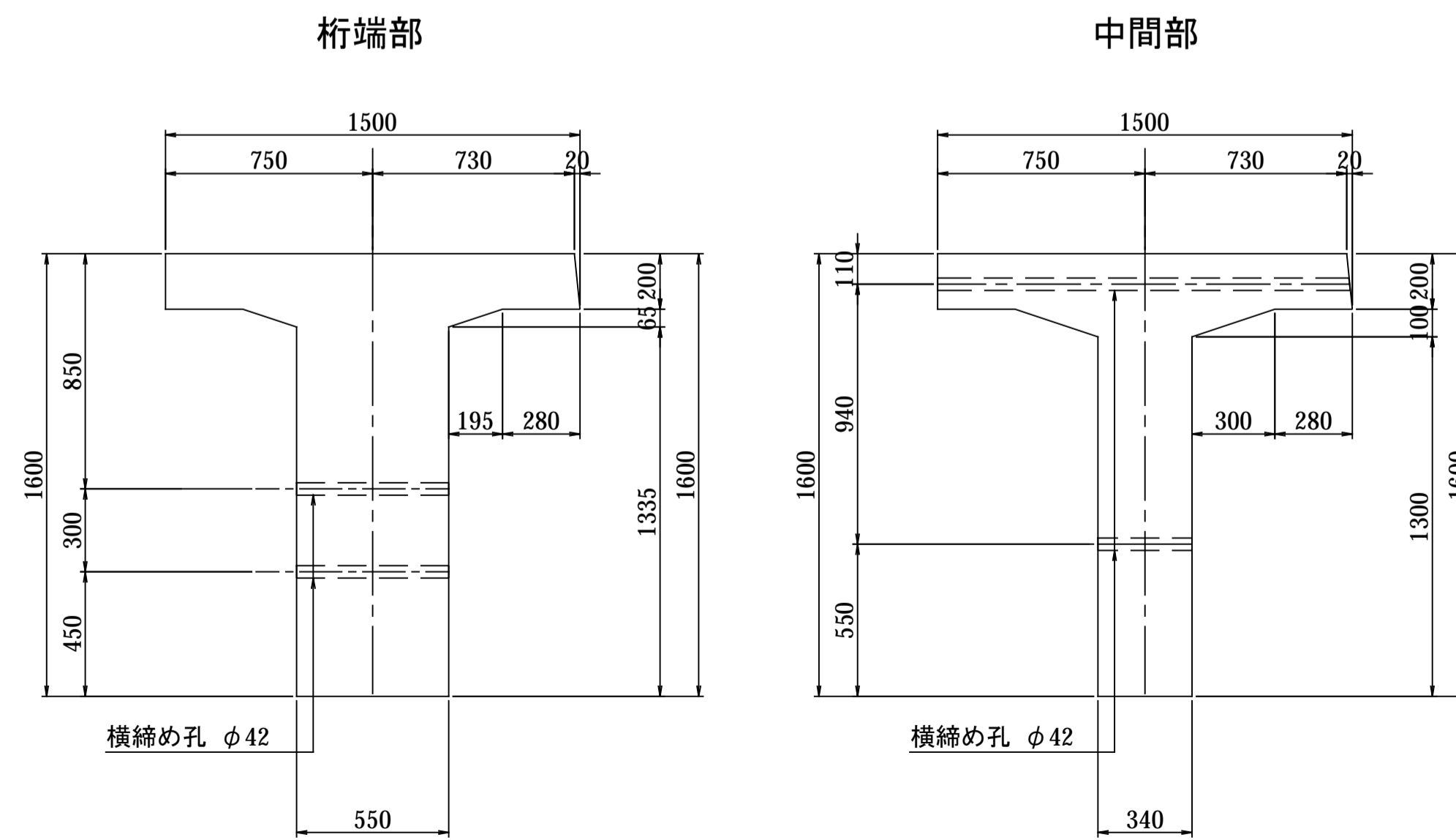
鉄筋	単位	一般	床版
許容引張応力度	N/mm ²	180.0	140.0
降伏点応力度	"	345.0	345.0

※ 床版の許容値については、140N/mm²に対して20N/mm²程度余裕を持たせる。

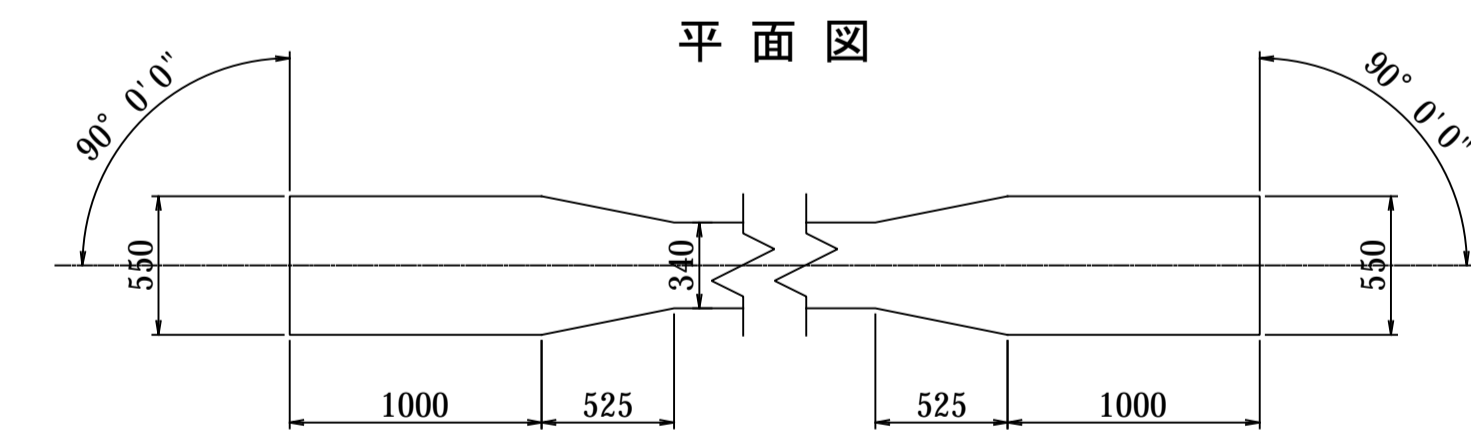
断面図 S=1:30



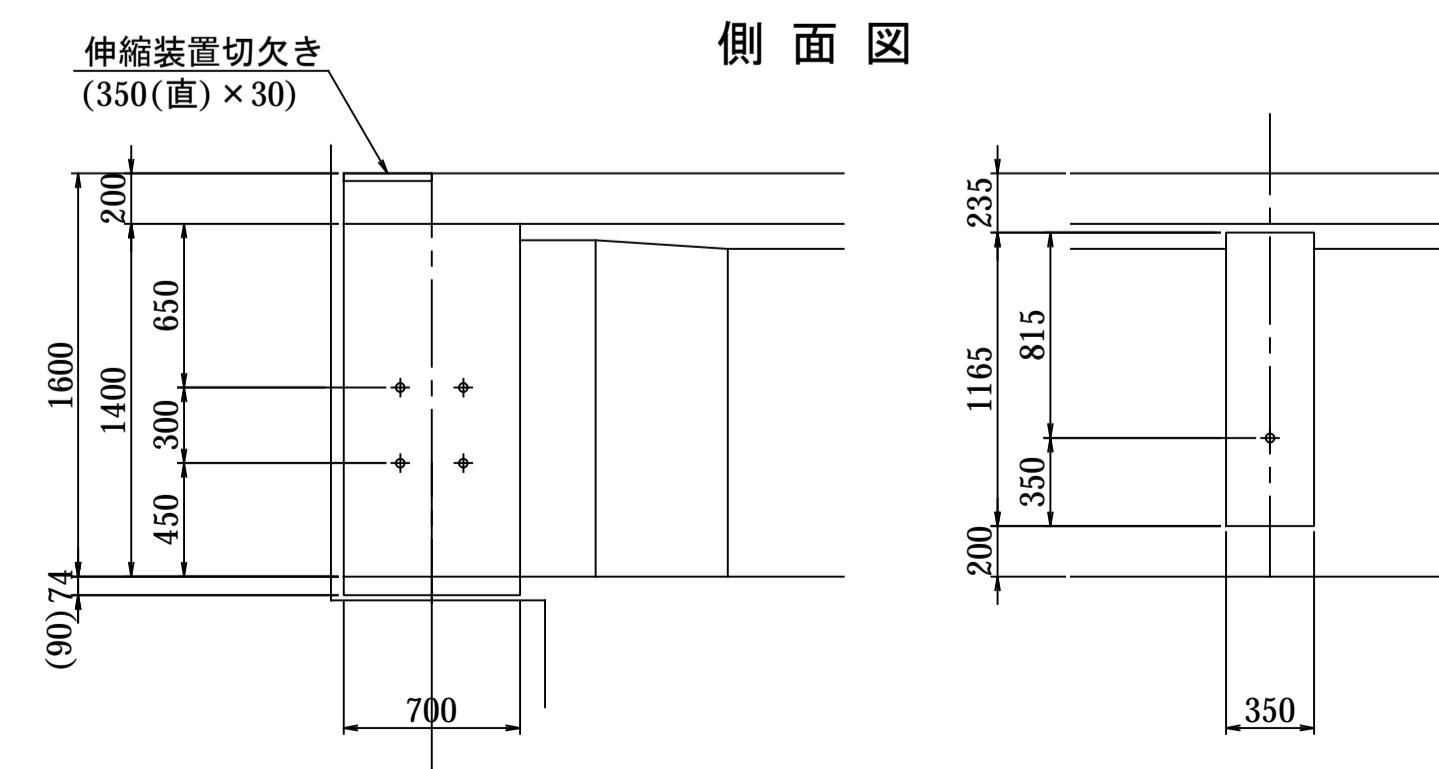
主桁断面図 S=1:20



桁端部形状図 S=1:30



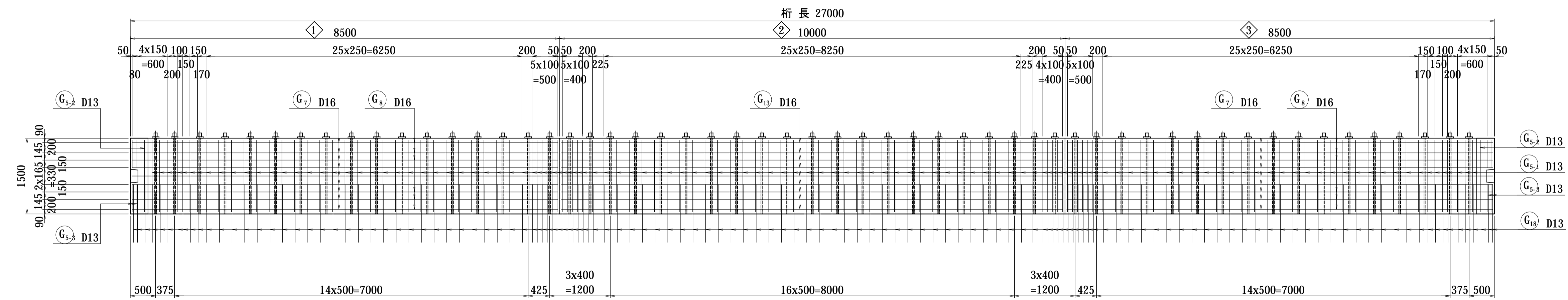
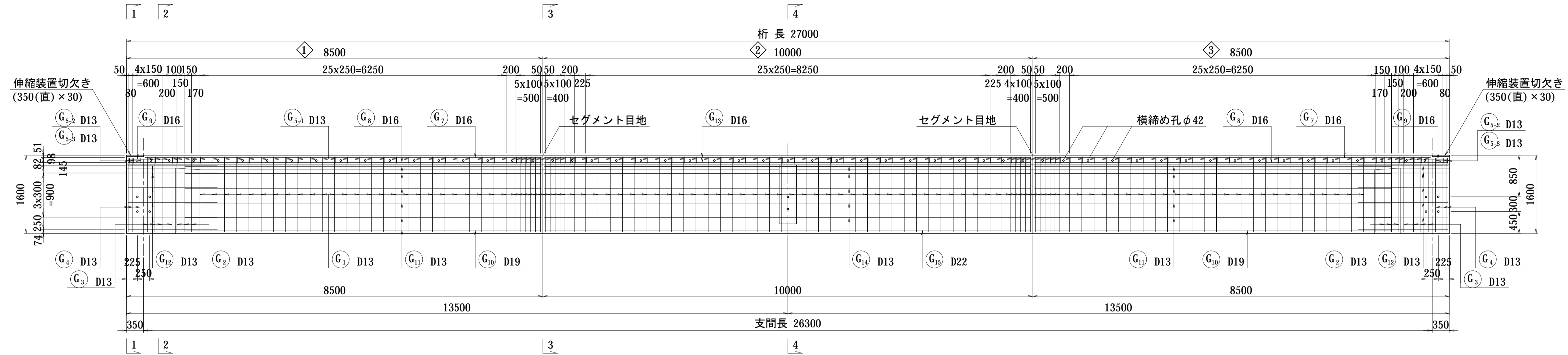
横桁部詳細図 S=1:30



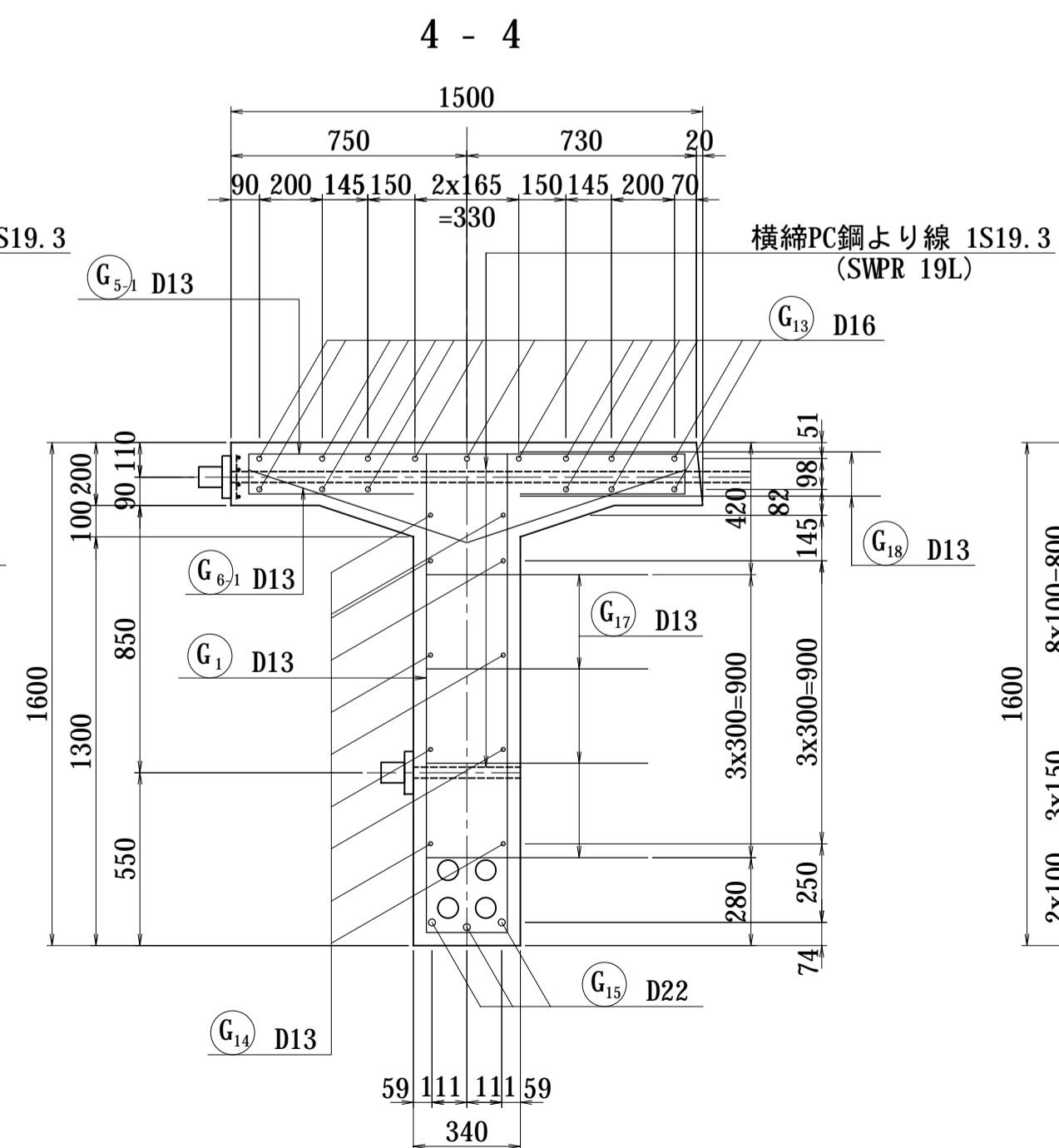
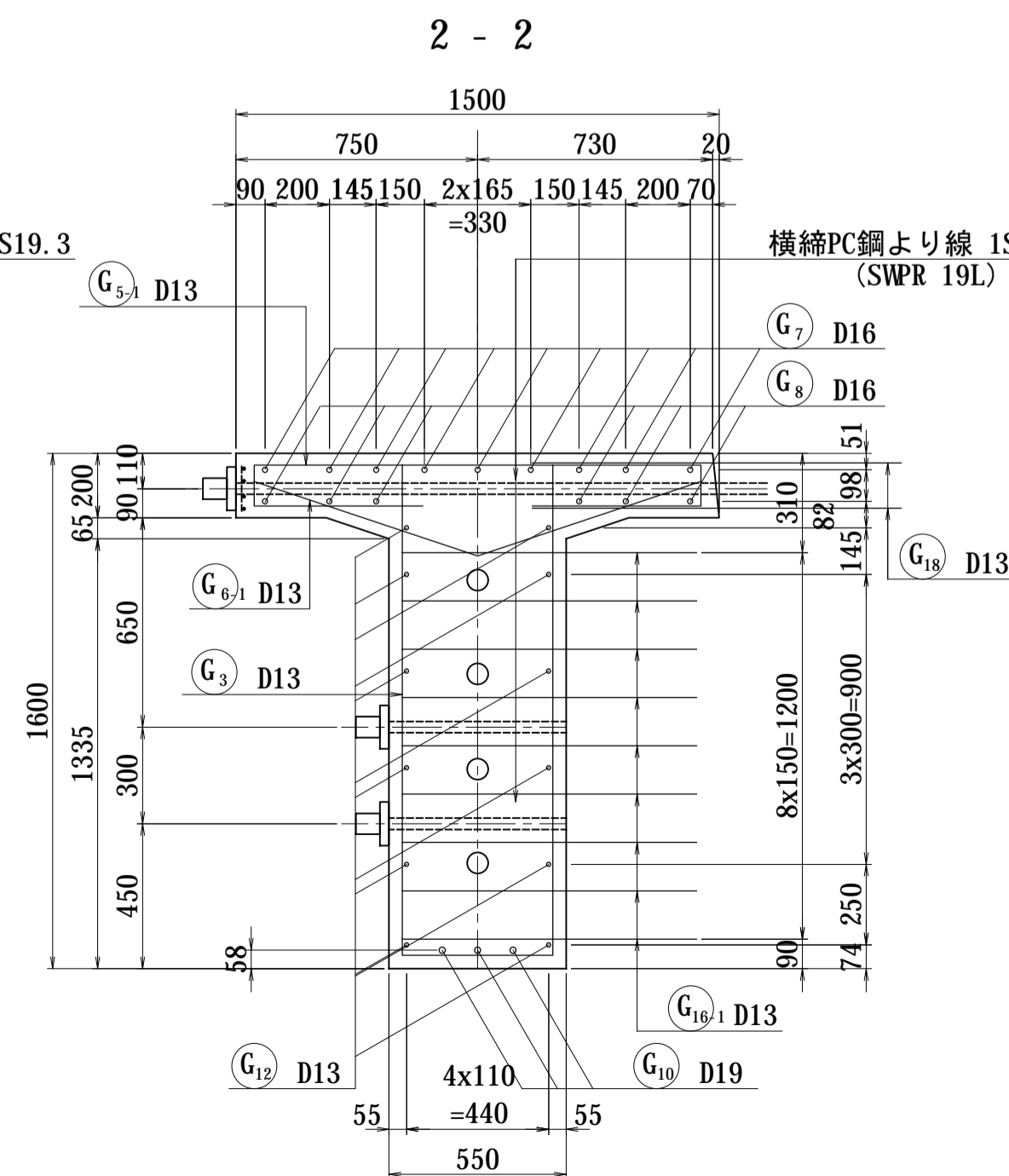
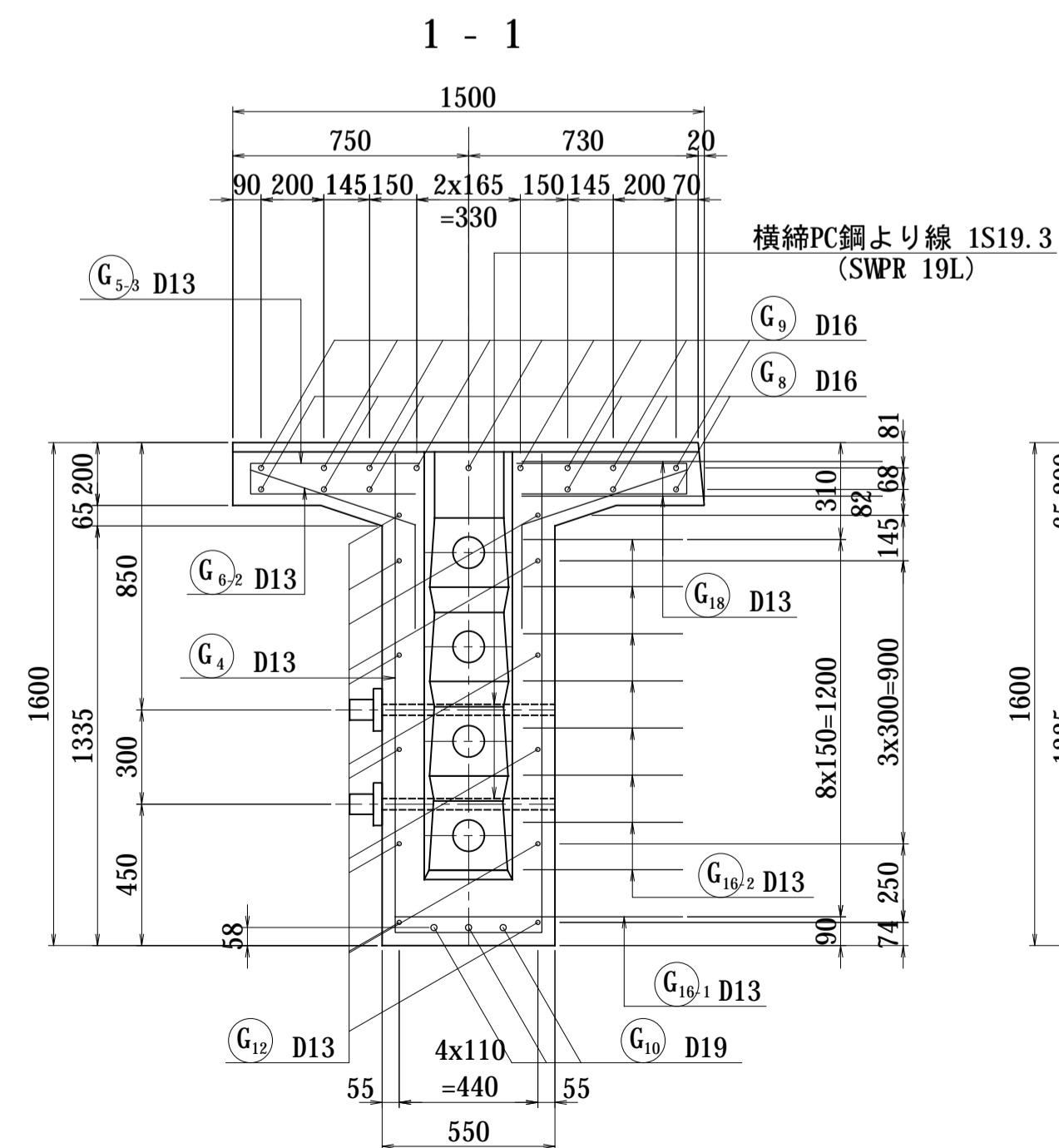
注記：()内寸法はA2側の数値を示す。

下流管理橋 主桁配筋図 (その1)

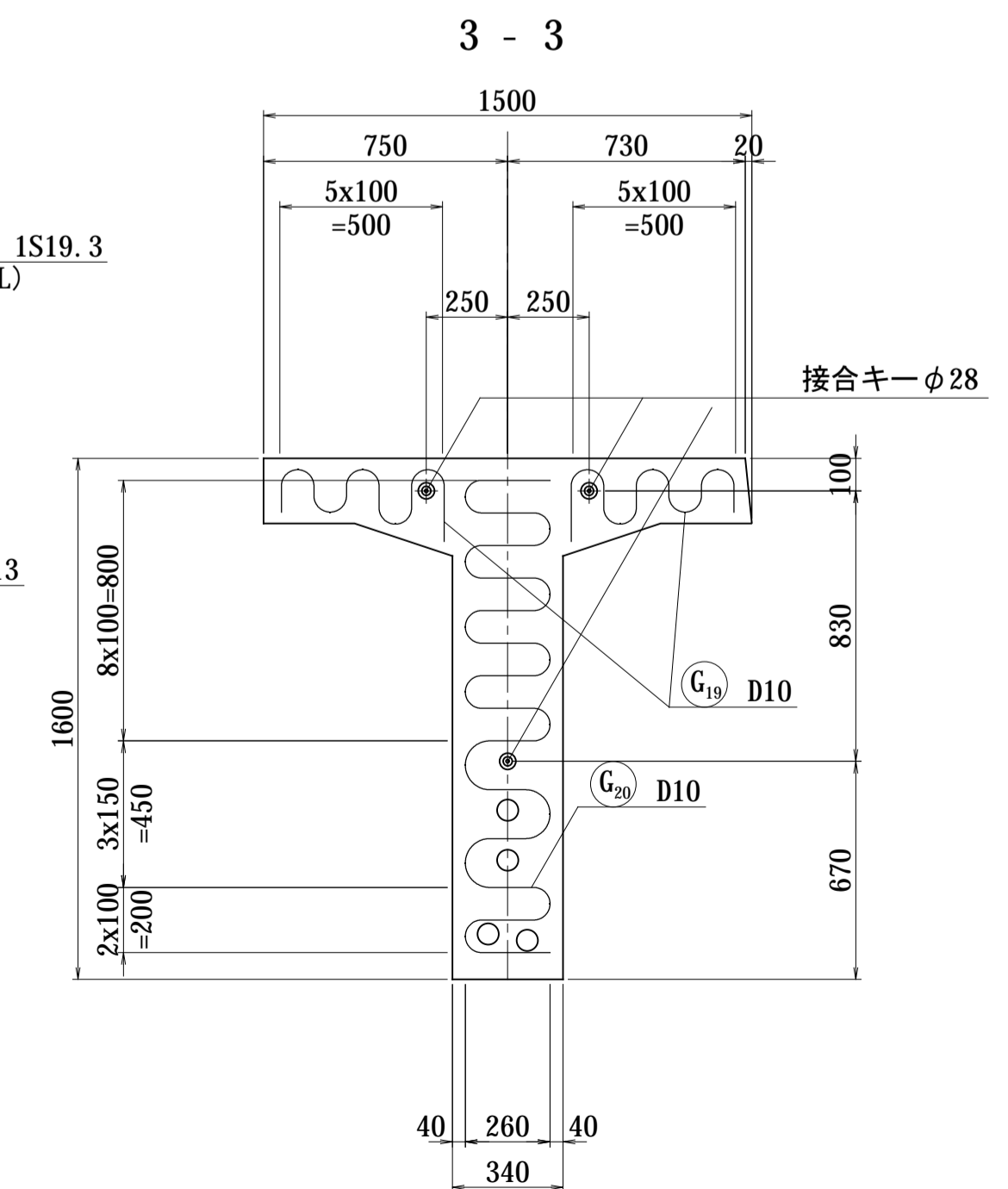
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20

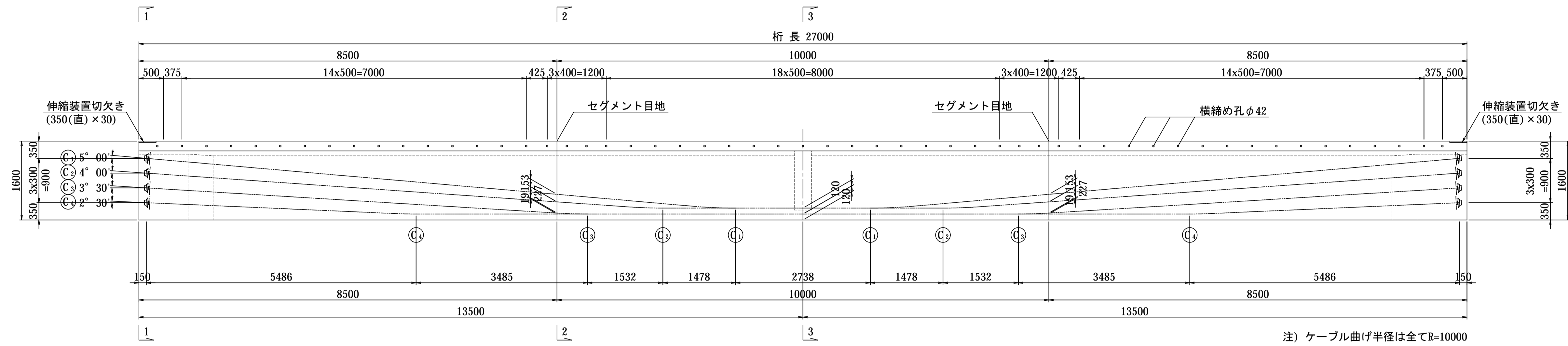


セグメント目地部補強図

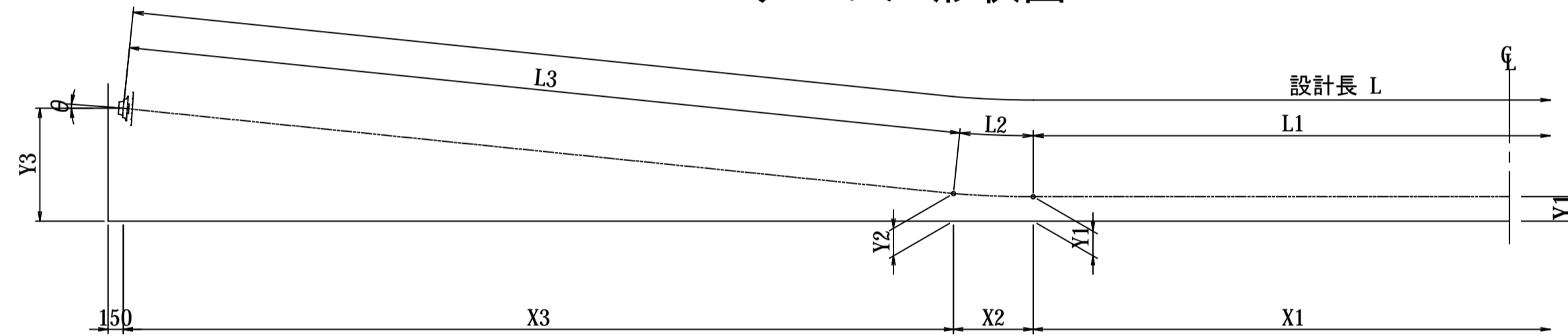


下流管理橋 PC鋼材配置図

側面図 S=1:50



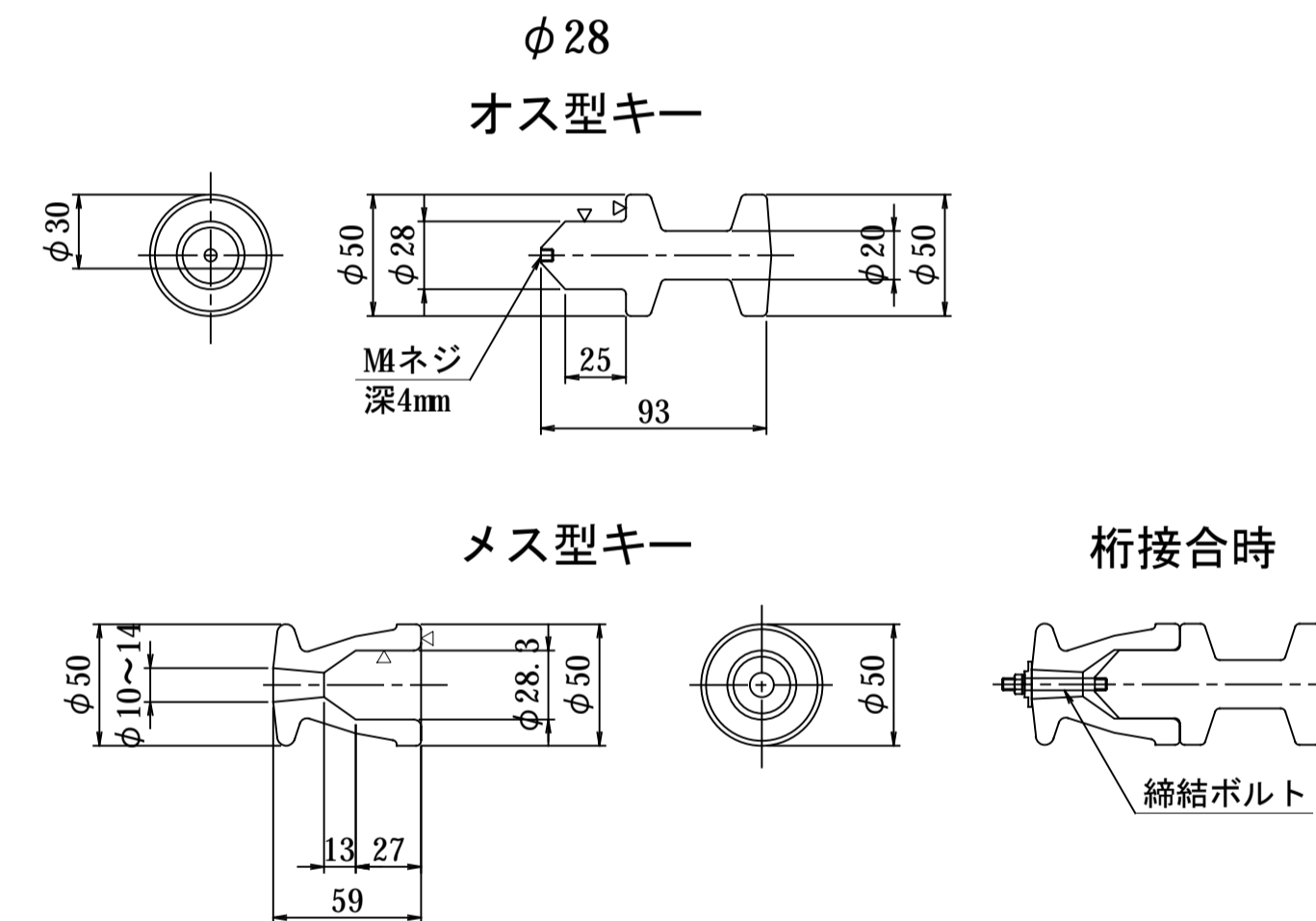
ケーブル形状図



ケーブル形状表 (桁1本当たり)

ケーブル番号	X1	Y1	X2	Y2	X3	Y3	R	θ	L1	L2	L3	設計長L	摘要
C1	2738	240	872	278	11109	1250	10000	5° 00' 00"	2738	873	11152	26787	
C2	5695	240	698	264	9805	950	10000	4° 00' 00"	5695	698	9829	26749	
C3	8758	120	610	139	8360	650	10000	3° 30' 00"	8758	611	8376	26732	
C4	15728	120	436	130	5050	350	10000	2° 30' 00"	15728	436	5055	26710	
106.978 m													
鋼材質量 $W = 180.376 \times 9.288 = 1675.3 \text{ kg}$													

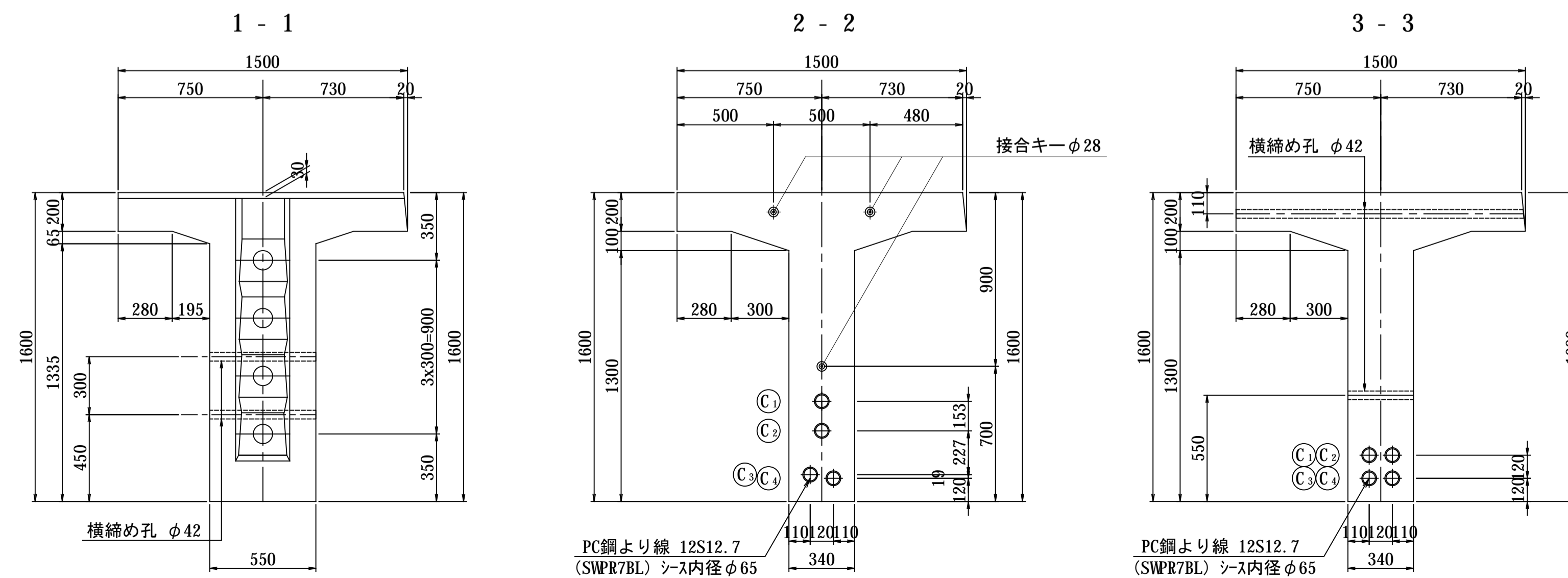
接合キー詳細図 S=1:3



接合キー材料表 φ28 (一組当たり)

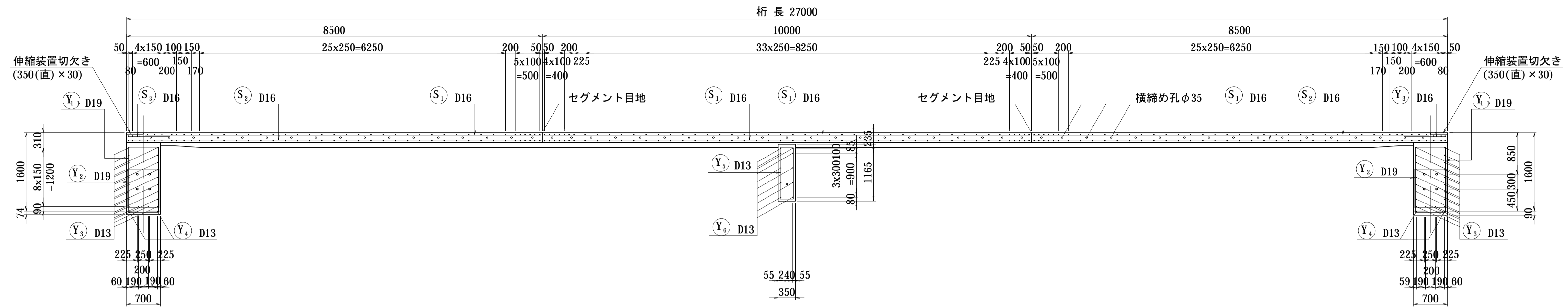
名称	材質	数量	摘要
オス型キーφ28用	FCD450	1	
メス型キーφ28用	FCD450	1	
ボルト M8	SS400	1	両端ネジ切り
ナット M8	SS400	2	
スプリングワッシャー	SS400	2	
座金	ナイロン樹脂	1	

主桁断面図 S=1:20

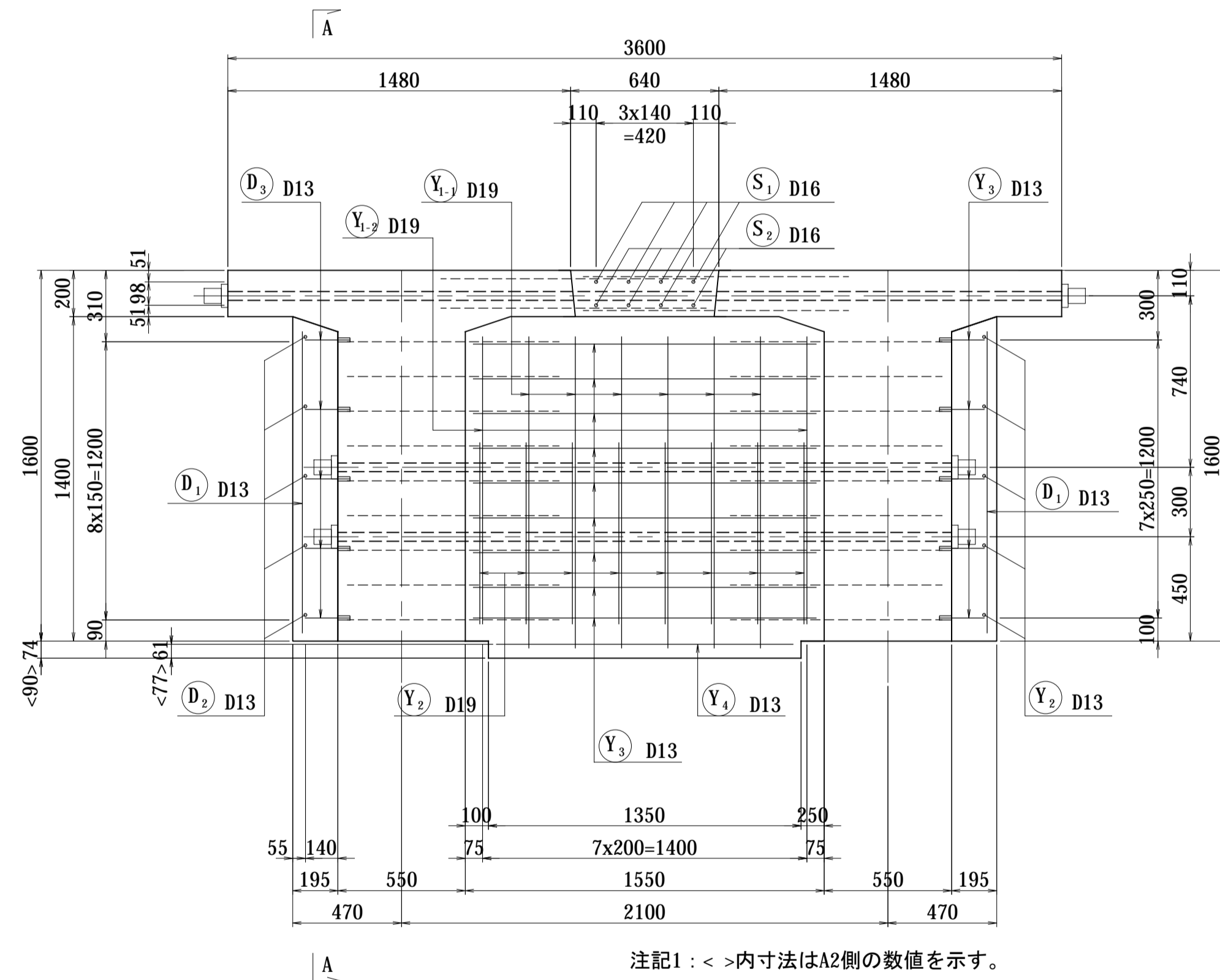


下流管理橋 横組配筋図 (その1)

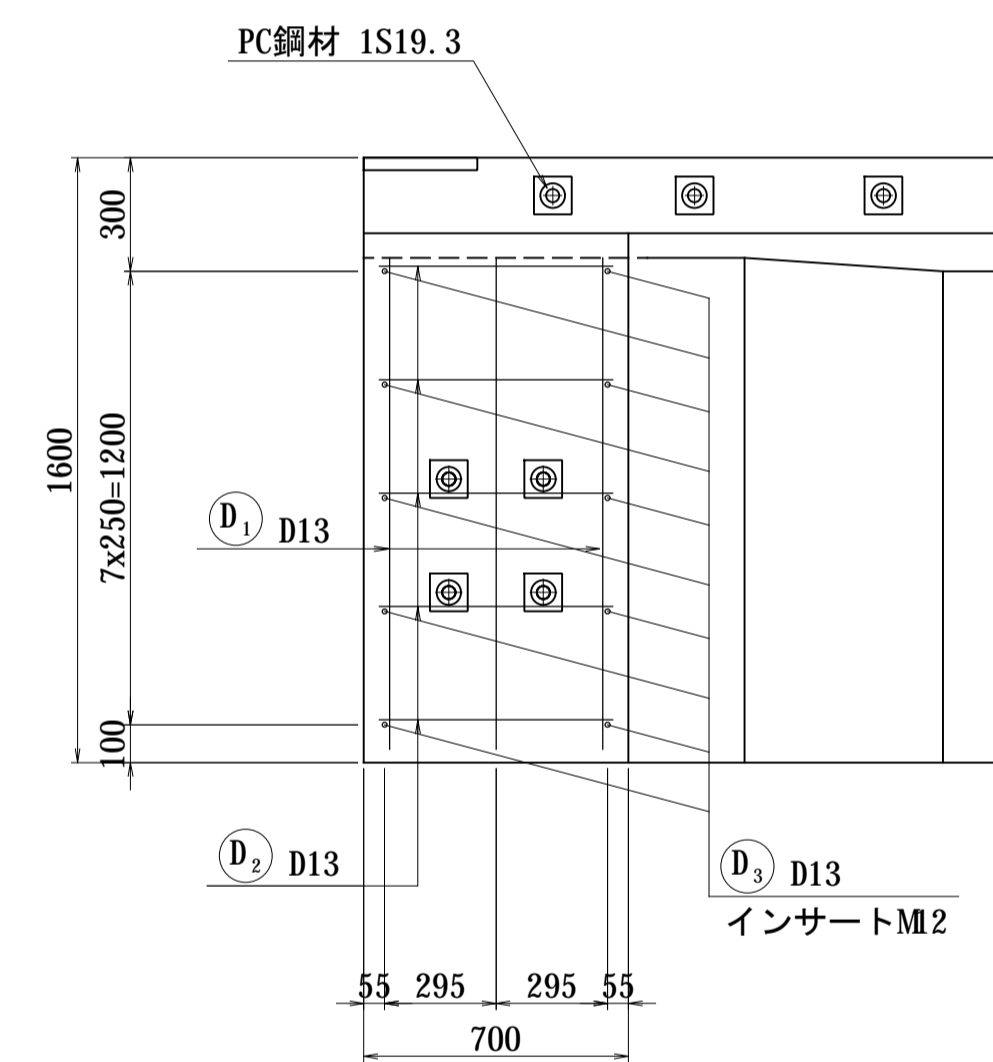
側面図 S=1:50



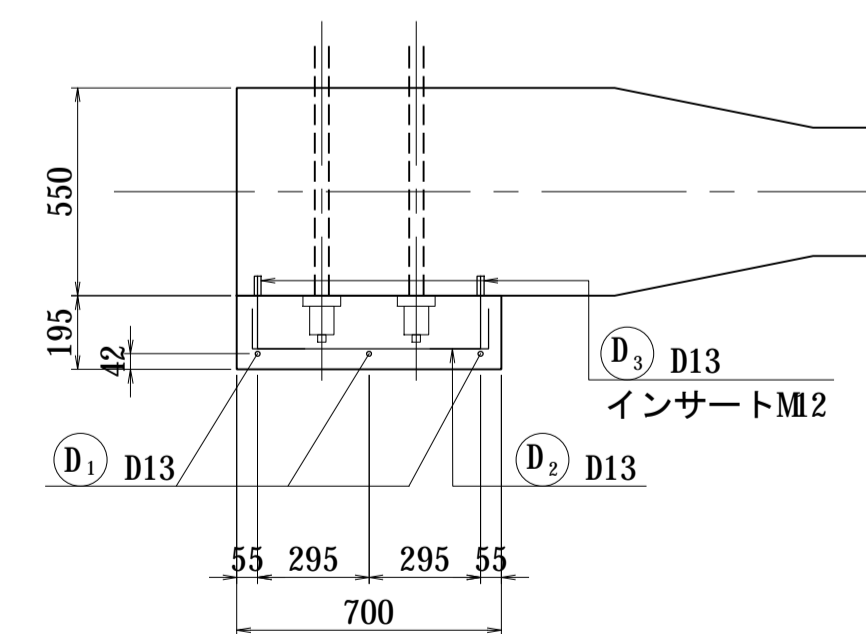
断面図 S=1:20
端支点横桁



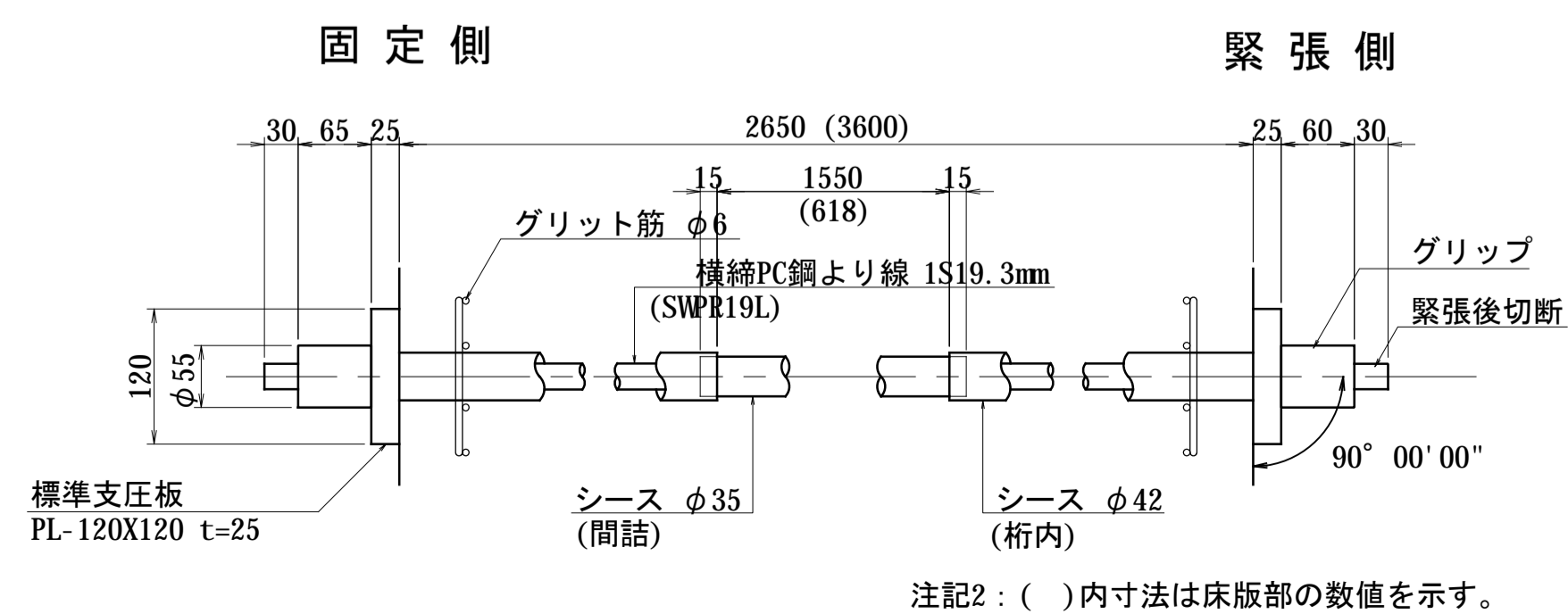
ダイヤフラム詳細図 S=1:20
側面図 (A - A)



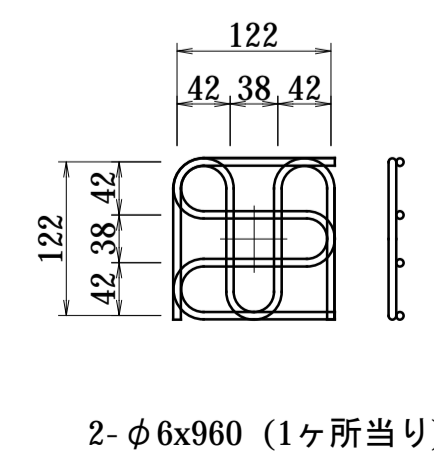
平面図



横締定着具詳細図 S=1:6

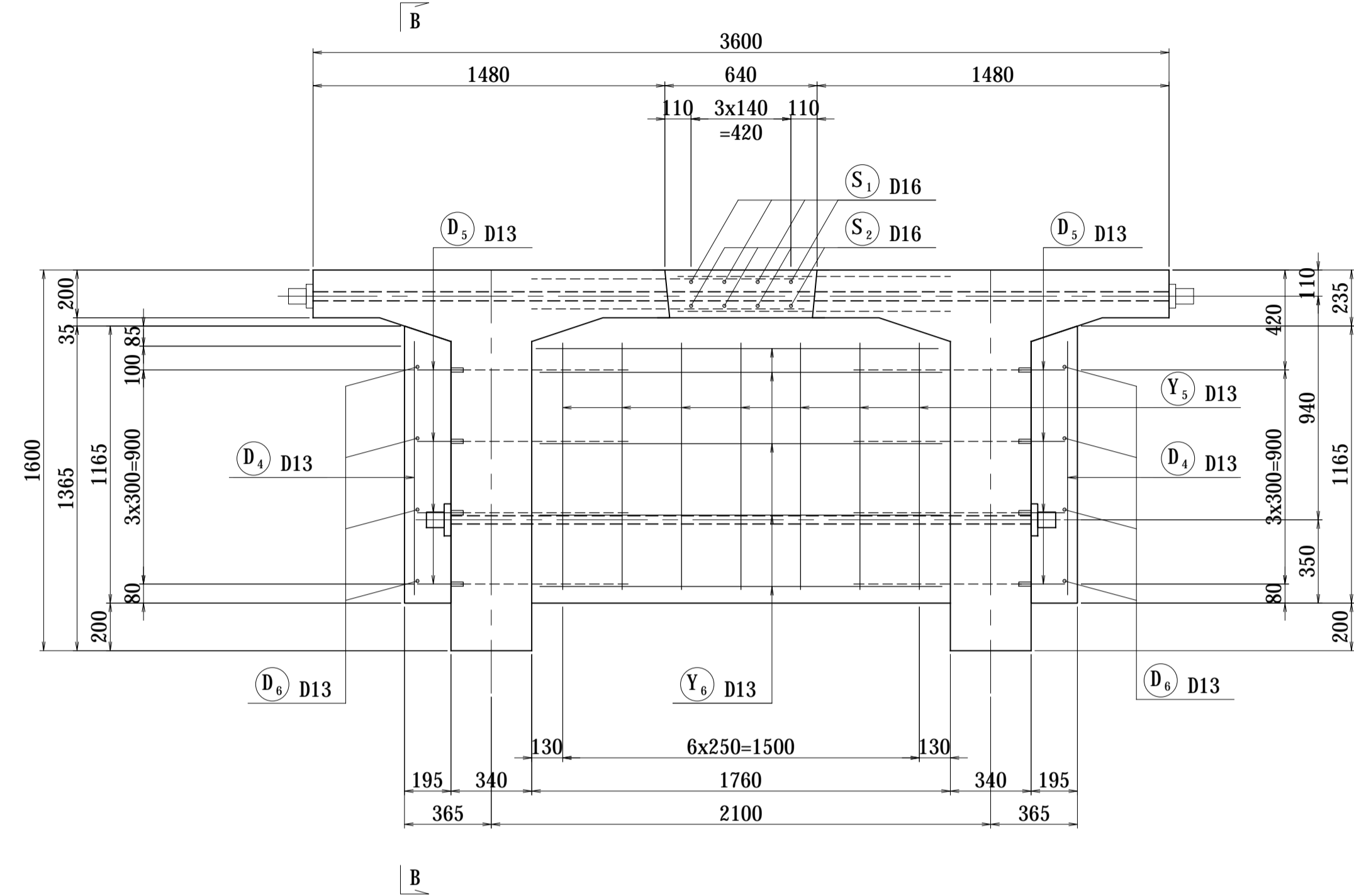


グリッド筋 S=1:6

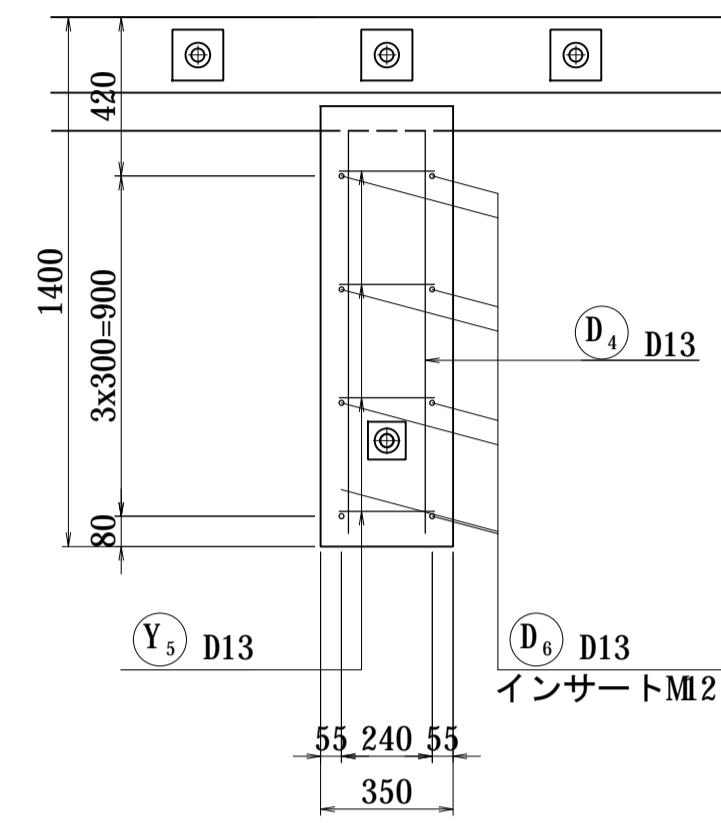


下流管理橋 横組配筋図 (その2)

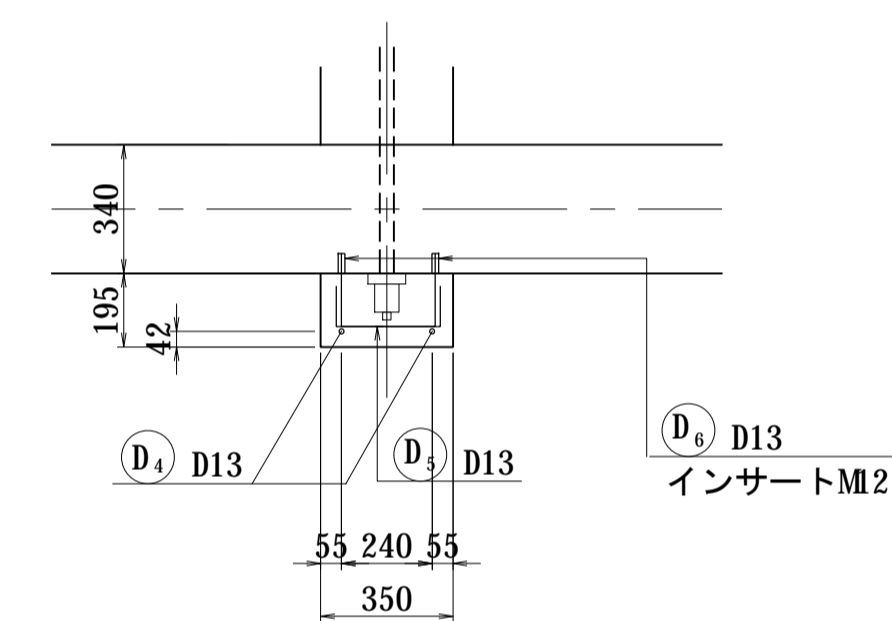
断面図 S=1:20
中間横桁部



ダイヤフラム詳細図 S=1:20
側面図 (B - B)



平面図

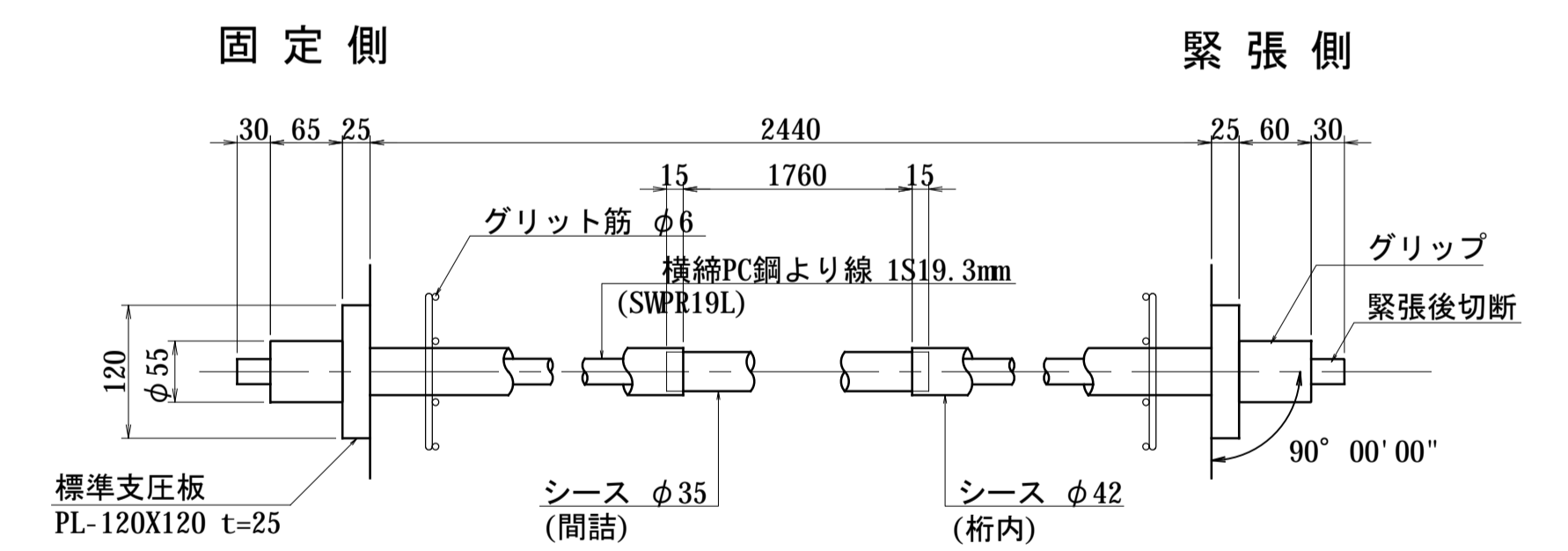


鉄筋表

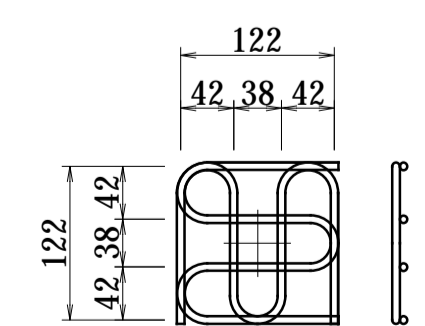
(1橋当り)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	1本当り質量 (Kg/本)	質量 (Kg)	形状	摘要	
S	1	D16	11000	16	1.560	17.16	275	—	
	2	D16	5830	8	1.560	9.09	73	〃	
	3	D16	850	8	1.560	1.33	11	〃	
Y	1-1	D19	4460	12	2.250	10.04	120	□	
	1-2	D19	4260	4	2.250	9.59	38	〃	
	2	D19	3360	16	2.250	7.56	121	〃	
	3	D13	1480	40	0.995	1.47	59	—	
	4	D13	1280	4	0.995	1.27	5	〃	
	5	D13	3030	7	0.995	3.01	21	□	
D	1	D13	1300	12	0.995	1.29	15		
	2	D13	850	20	0.995	0.85	17	┌	
	3	D13	280	40	0.995	0.28	11	└	(ねじ切り)
	4	D13	1070	4	0.995	1.06	4		
	5	D13	500	8	0.995	0.50	4	┌	
	6	D13	280	16	0.995	0.28	4	└	(ねじ切り)
							D19	279	Kg
							D16	359	Kg
							D13	157	Kg
							合計	795	Kg
							インサート M2 N=56個		

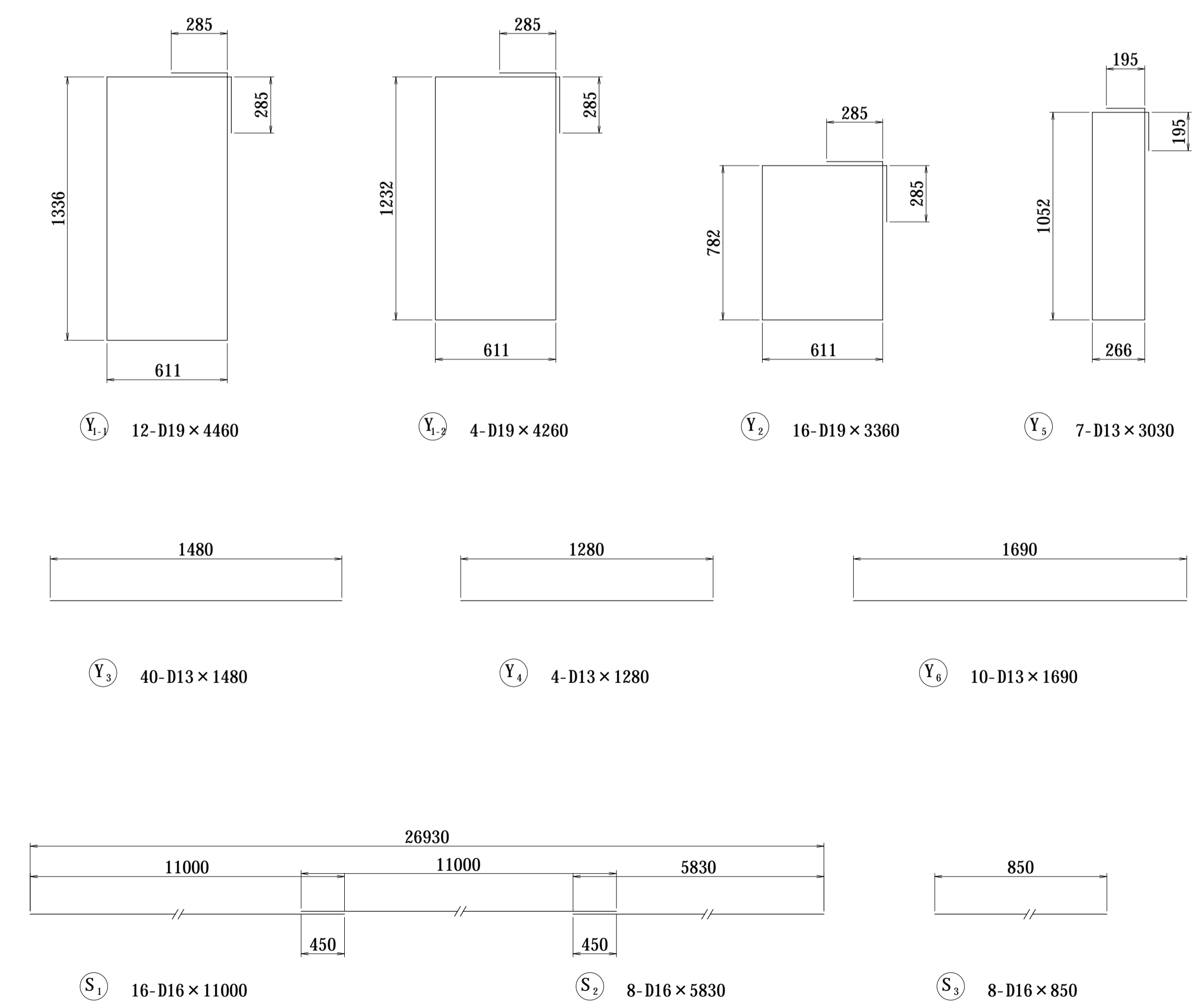
横締着具詳細図 S=1:6



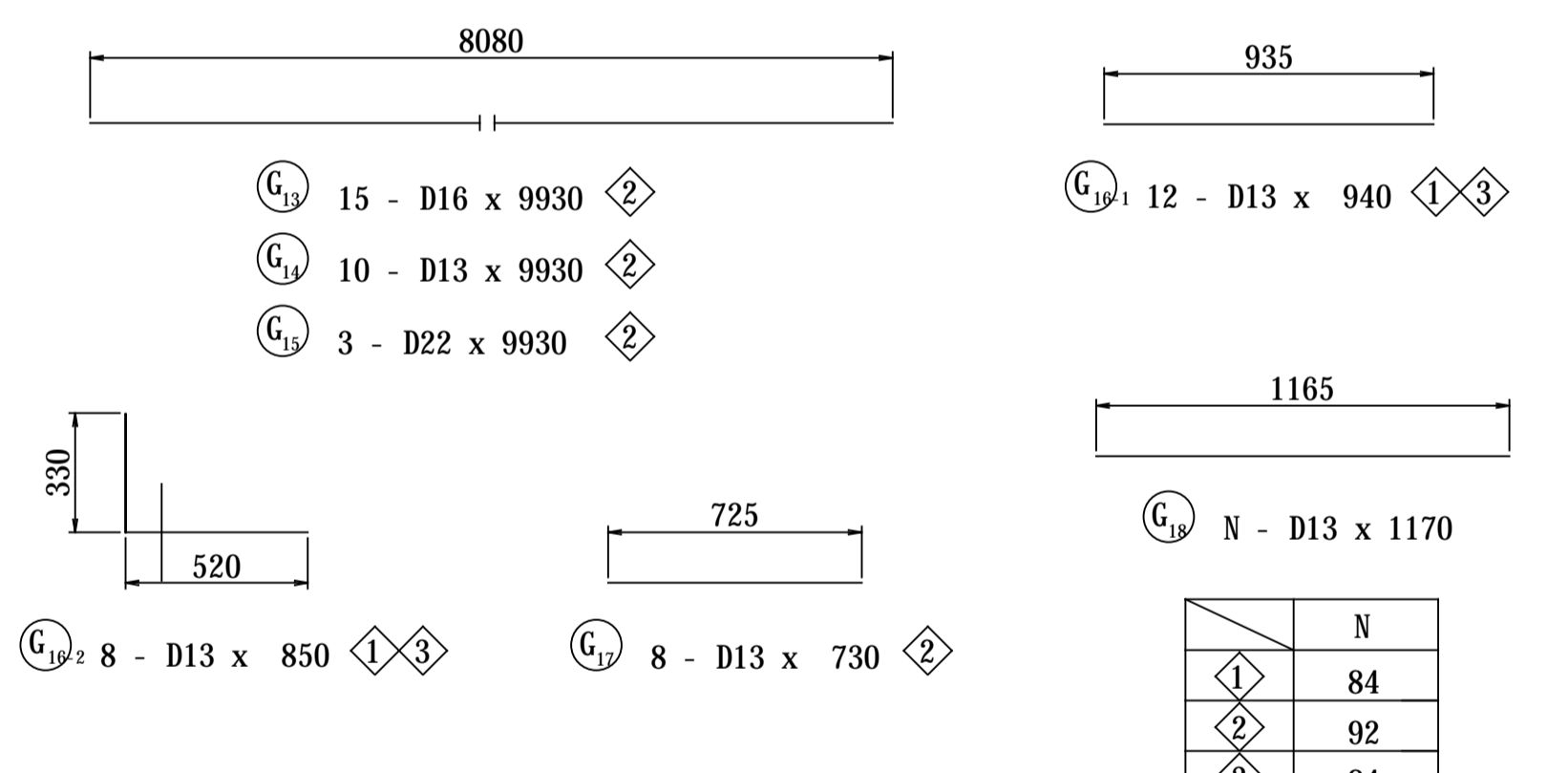
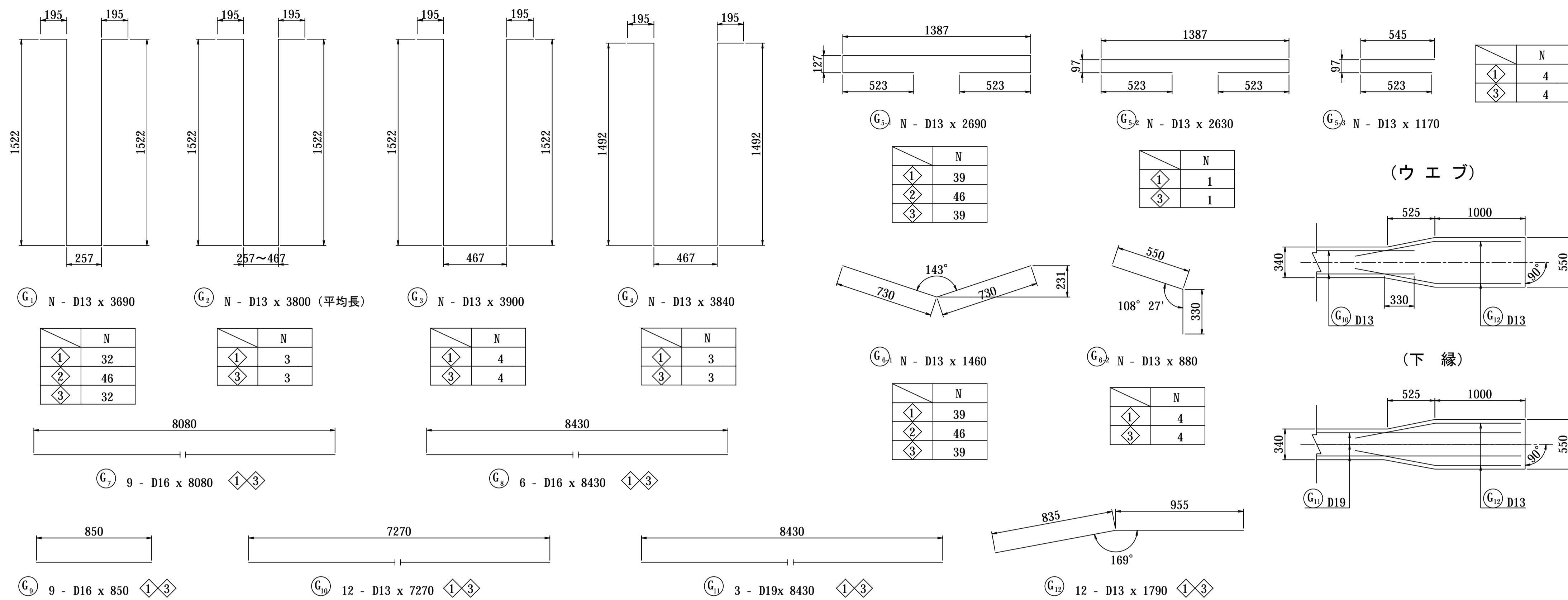
グリッド筋 S=1:6



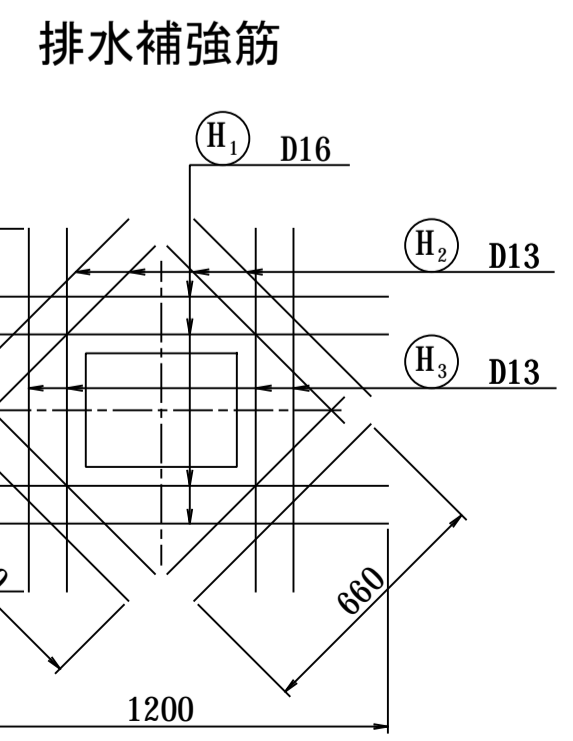
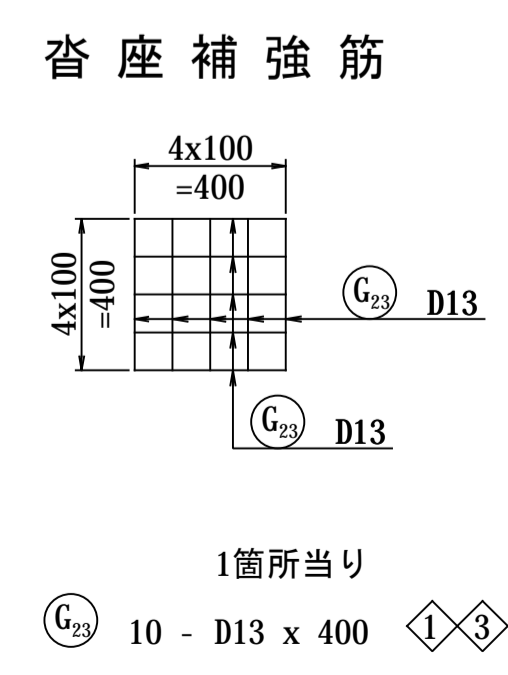
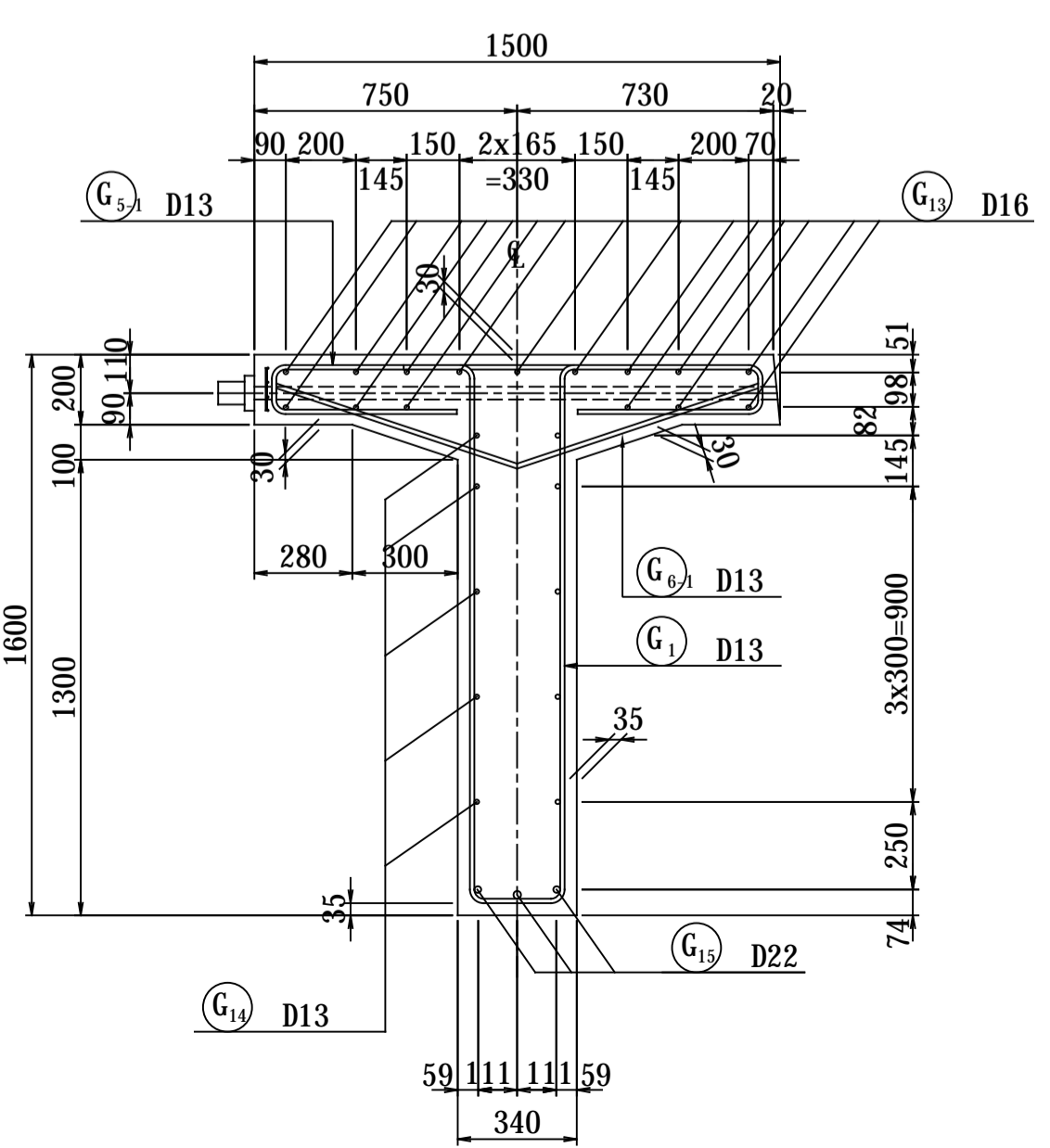
2-φ6x960 (1ヶ所当り)



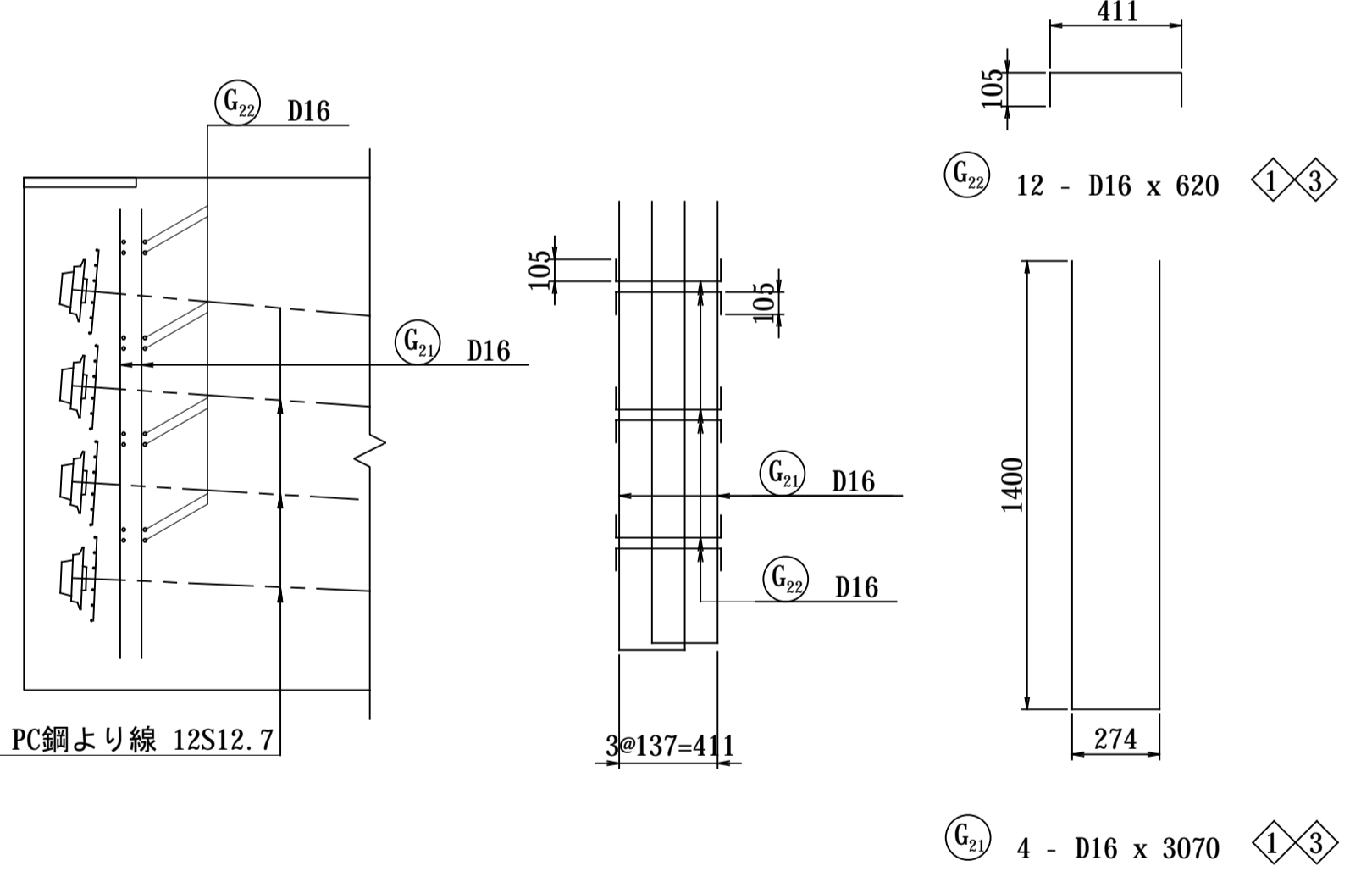
下流管理橋 主桁配筋図 (その2)



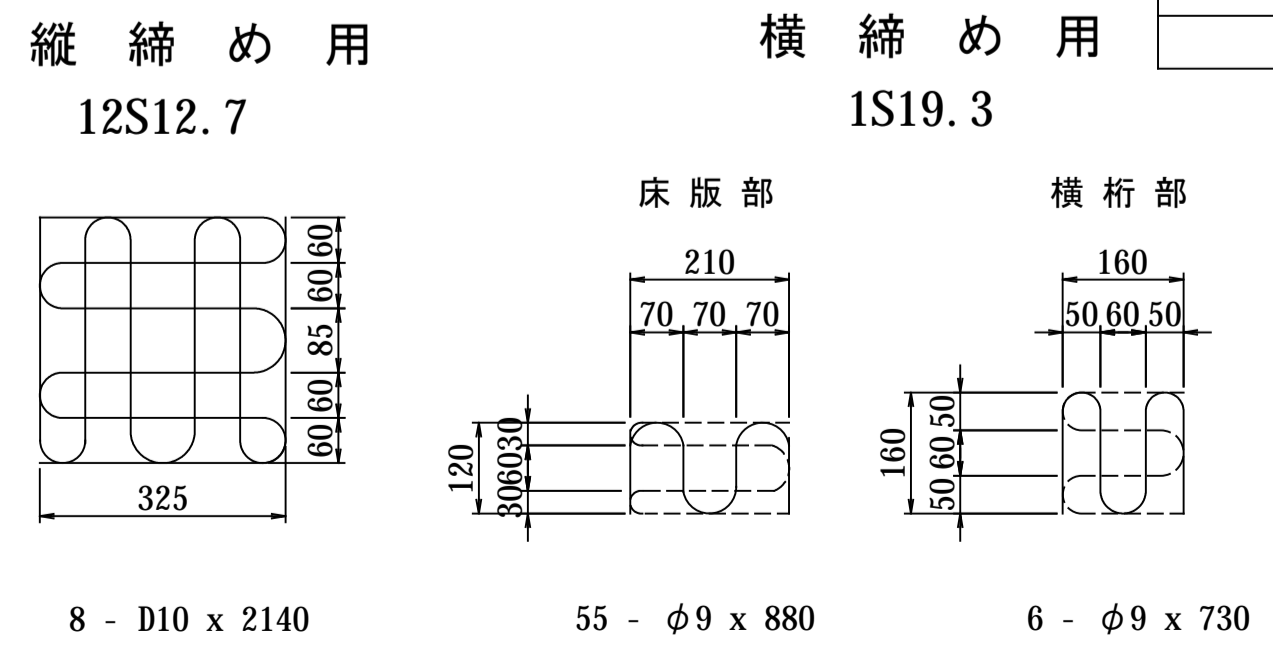
主桁断面詳細図 S=1/20



縦締ケーブル補強



グリット筋

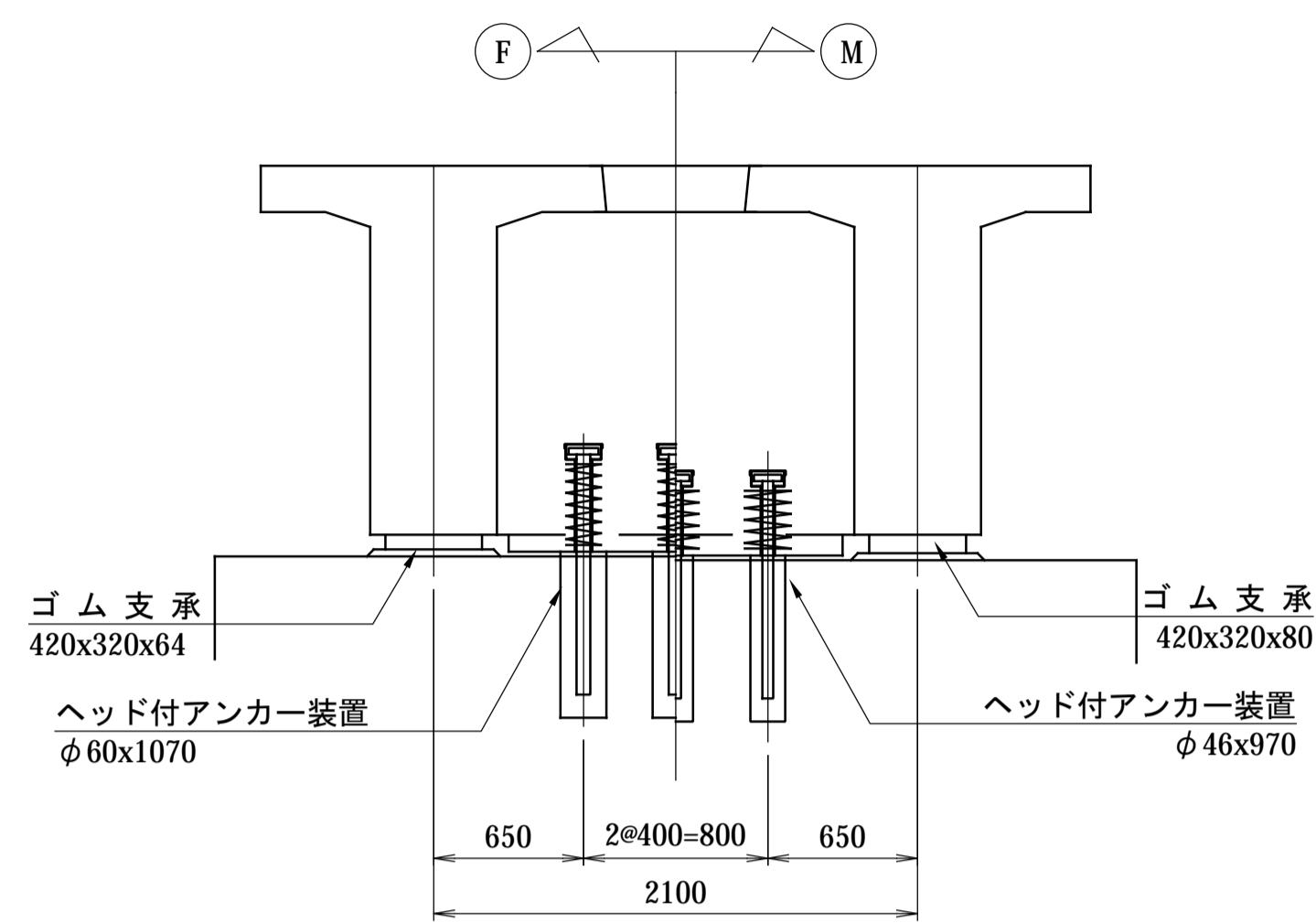


鉄筋表

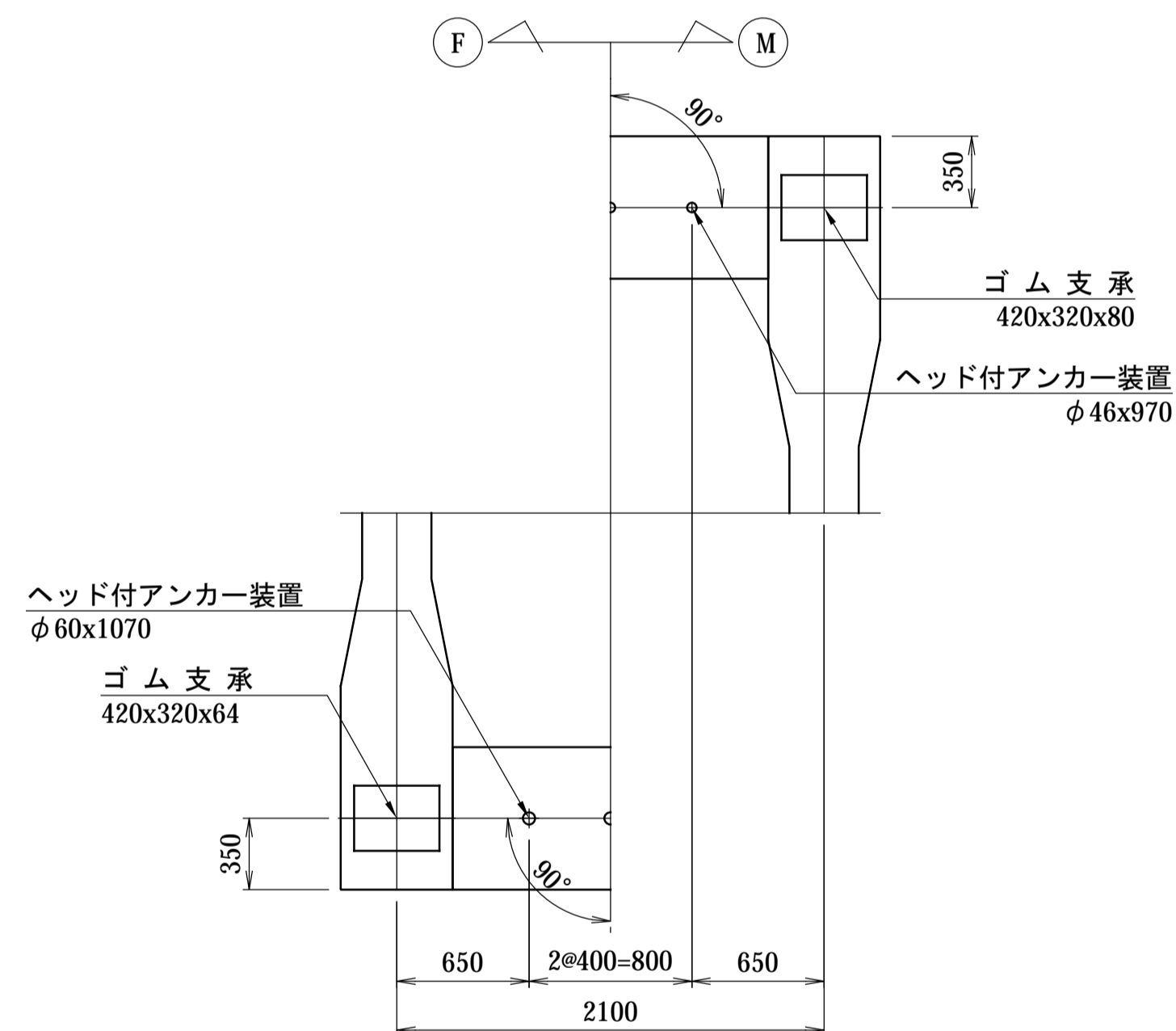
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
① フロック							
G 1	D 13	3690	32	0.995	3.67	117	U
2	D 13	3800	3	0.995	3.78	11	U (平均長)
3	D 13	3900	4	0.995	3.88	16	U
4	D 13	3840	3	0.995	3.82	11	U
5-1	D 13	2690	39	0.995	2.68	105	U
5-2	D 13	2630	1	0.995	2.62	3	U
5-3	D 13	1170	4	0.995	1.16	5	U
6-1	D 13	1460	39	0.995	1.45	57	U
6-2	D 13	880	4	0.995	0.88	4	U
7	D 16	8080	9	1.560	12.60	113	U
8	D 16	8430	6	1.560	13.15	79	U
9	D 16	850	9	1.560	1.33	12	U
10	D 13	7270	12	0.995	7.23	87	U
11	D 19	8430	3	2.250	18.97	57	U
12	D 13	1790	12	0.995	1.78	21	U
16-1	D 13	940	12	0.995	0.94	11	U
16-2	D 13	850	8	0.995	0.85	7	U
18	D 13	1170	84	0.995	1.16	97	U
19	D 10	1230	2	0.560	0.69	1	U
20	D 10	4470	1	0.560	2.50	3	U
21	D 16	3070	4	1.560	4.79	19	U
22	D 16	620	12	1.560	0.97	12	U
23	D 13	400	10	0.995	0.40	4	U
H 1	D 16	1200	16	1.560	1.87	30	U
2	D 13	960	8	0.995	0.96	8	U
3	D 13	960	8	0.995	0.96	8	U
						898 kg	
						D 19	57 kg
						D 16	265 kg
						D 13	572 kg
						D 10	4 kg
						合計	898 kg
② フロック							
G 1	D 13	3690	46	0.995	3.67	169	U
5-1	D 13	2690	46	0.995	2.68	123	U
6-1	D 13	1460	46	0.995	1.45	67	U
13	D 16	9930	15	1.560	15.49	232	U
14	D 13	9930	10	0.995	9.88	99	U
15	D 22	9930	3	3.040	30.19	91	U
17	D 13	730	8	0.995	0.73	6	U
18	D 13	1170	92	0.995	1.16	107	U
19	D 10	1230	4	0.560	0.69	3	U
20	D 10	4470	2	0.560	2.50	5	U
						902 kg	
						D 22	91 kg
						D 16	232 kg
						D 13	571 kg
						D 10	8 kg
						合計	902 kg
						主桁1本当り	D 22 91 kg
						D 19	114 kg
						D 16	762 kg
						D 13	1715 kg
						D 10	16 kg
						合計	2698 kg

下流管理橋 支承詳細図

断面図 S = 1:30



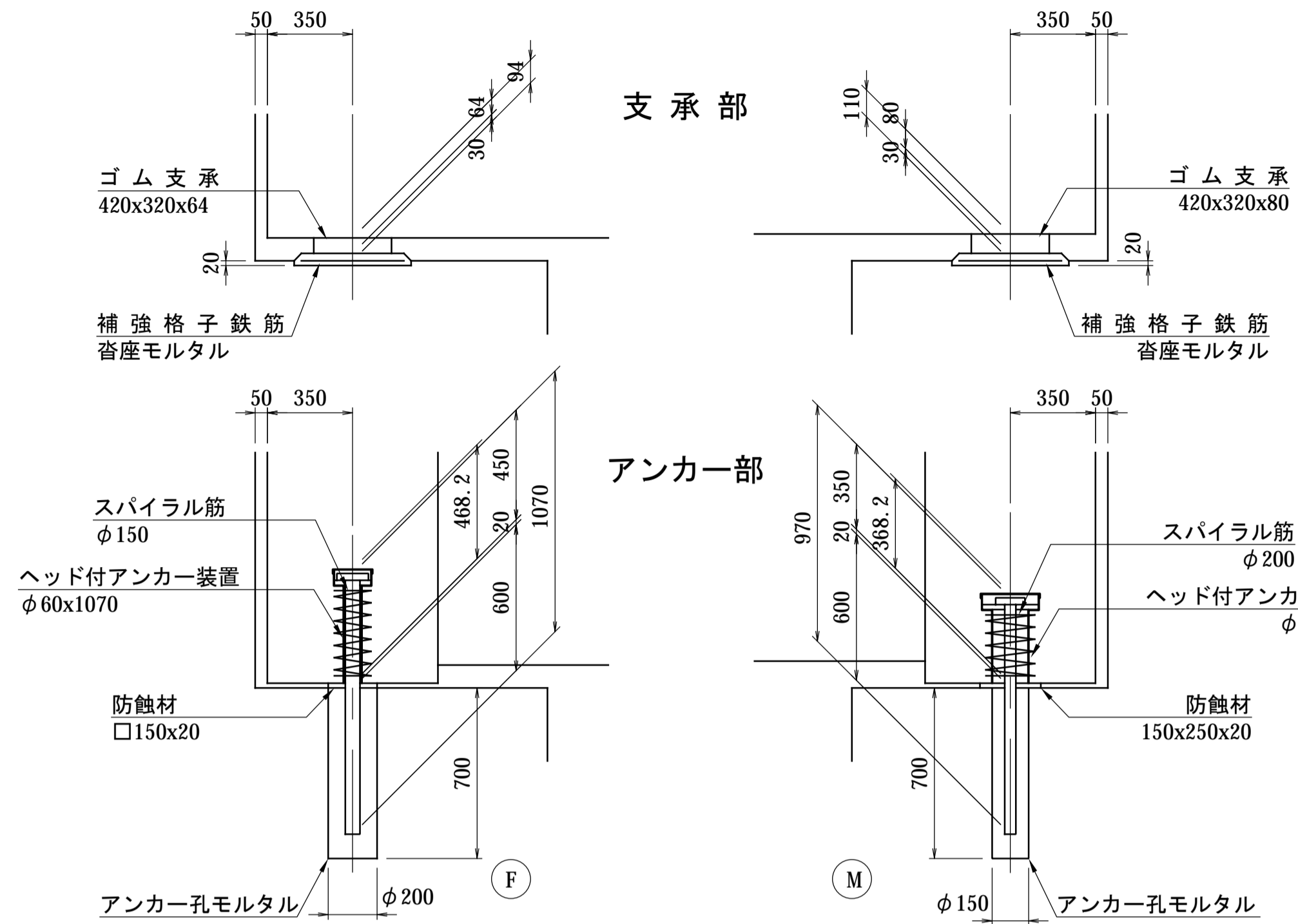
平面図 S = 1:30



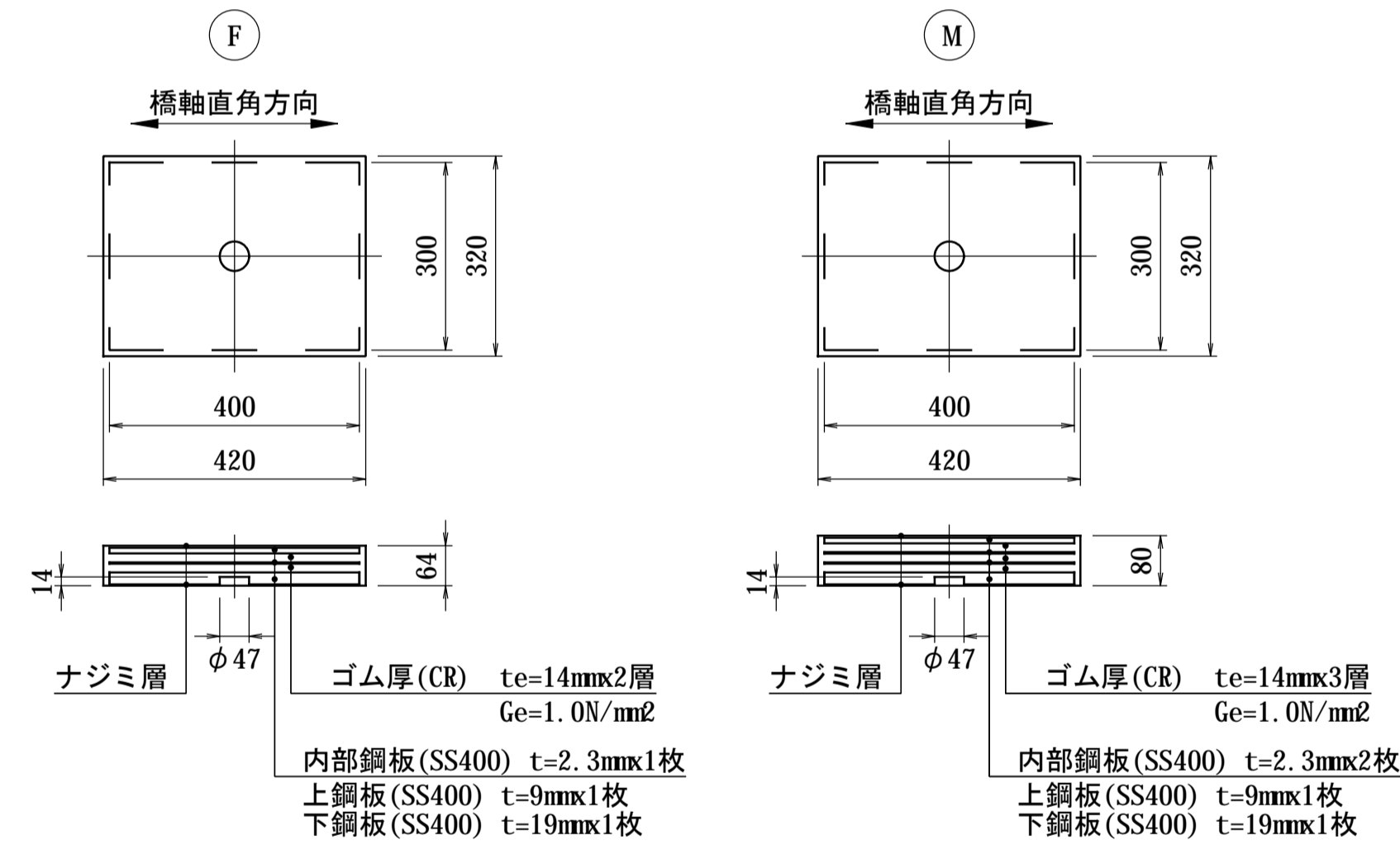
配置図 S = 1:200



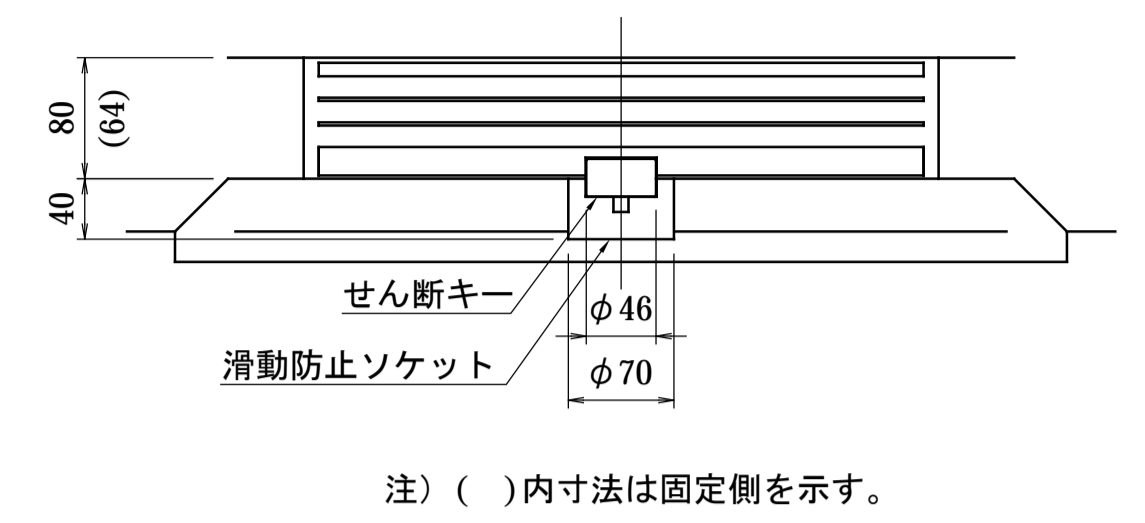
側面図 S = 1:20



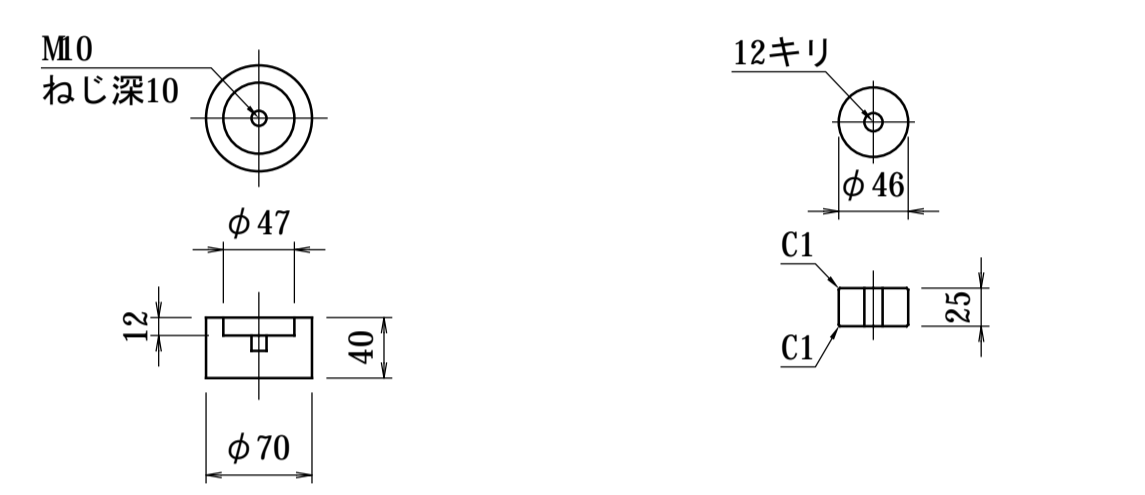
ゴム支承 S = 1:10



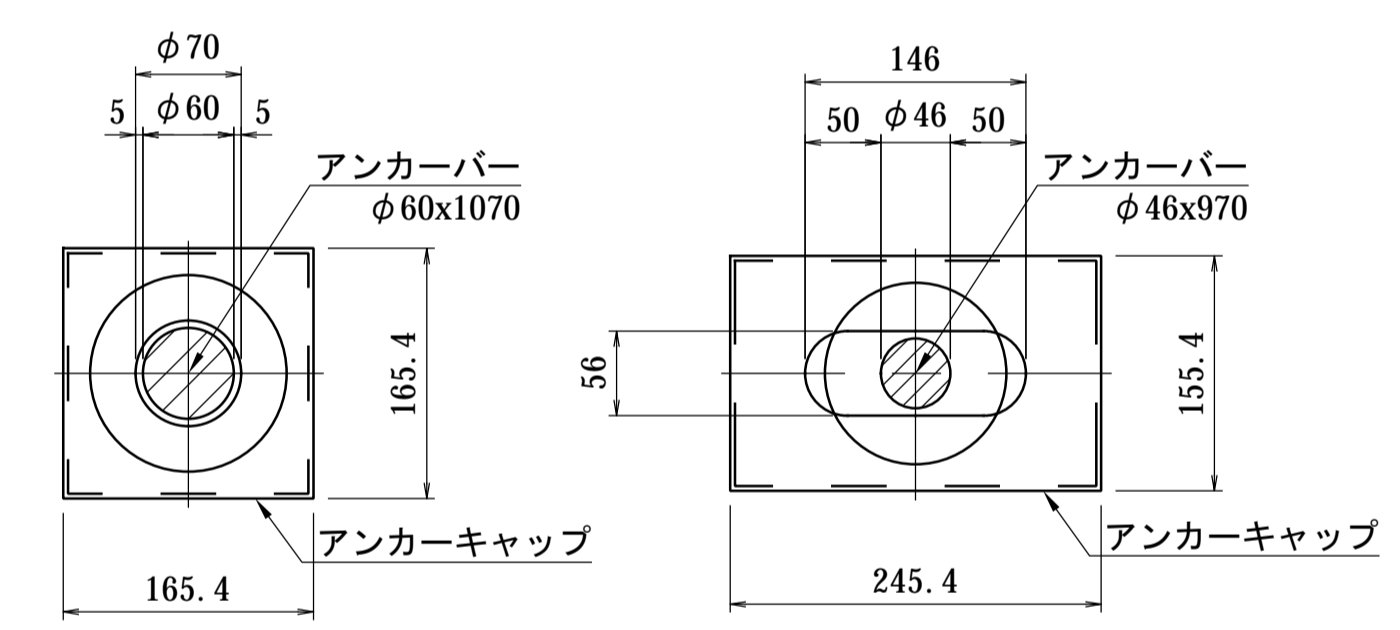
取付詳細図 S = 1:5



滑動防止ソケット (SS400, ST-SG) S = 1:5
せん断キー (SS400, ST-SG) S = 1:5



ヘッド付アンカー装置 S = 1:5



材料表

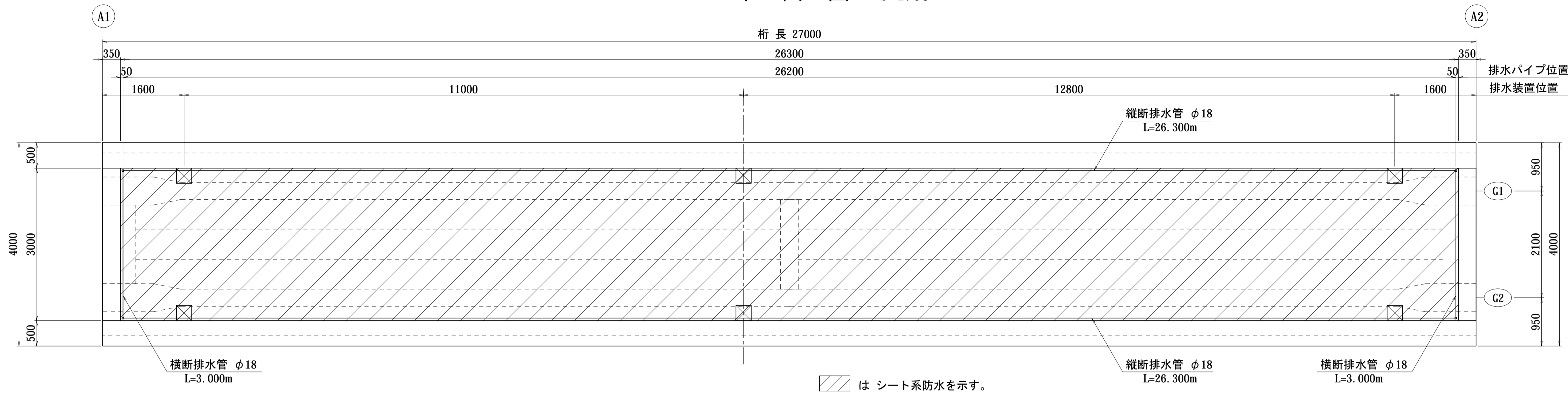
名称	寸法	材質	単位	数量			備考
				Fi	Mo	合計	
ゴム支承	420x320x80	図示	枚	2	2	2	DSFパッド、滑動防止装置付
"	420x320x64	"	"	2	2	2	"
ヘッド付アンカー装置	M6D	下表参照	組	3	3	3	ST-SG
"	F60D	"	"	3	3	3	"
防 蝕 材	150x250x20	CRスポンジ	枚	3	3	3	
"	□150x20	"	"	3	3	3	
補強格子鉄筋	500x400	SD345	kg	10.0	10.0	20.0	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.026	0.026	0.052	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.061	0.034	0.095	

ヘッド付アンカー材料表(1組当り)

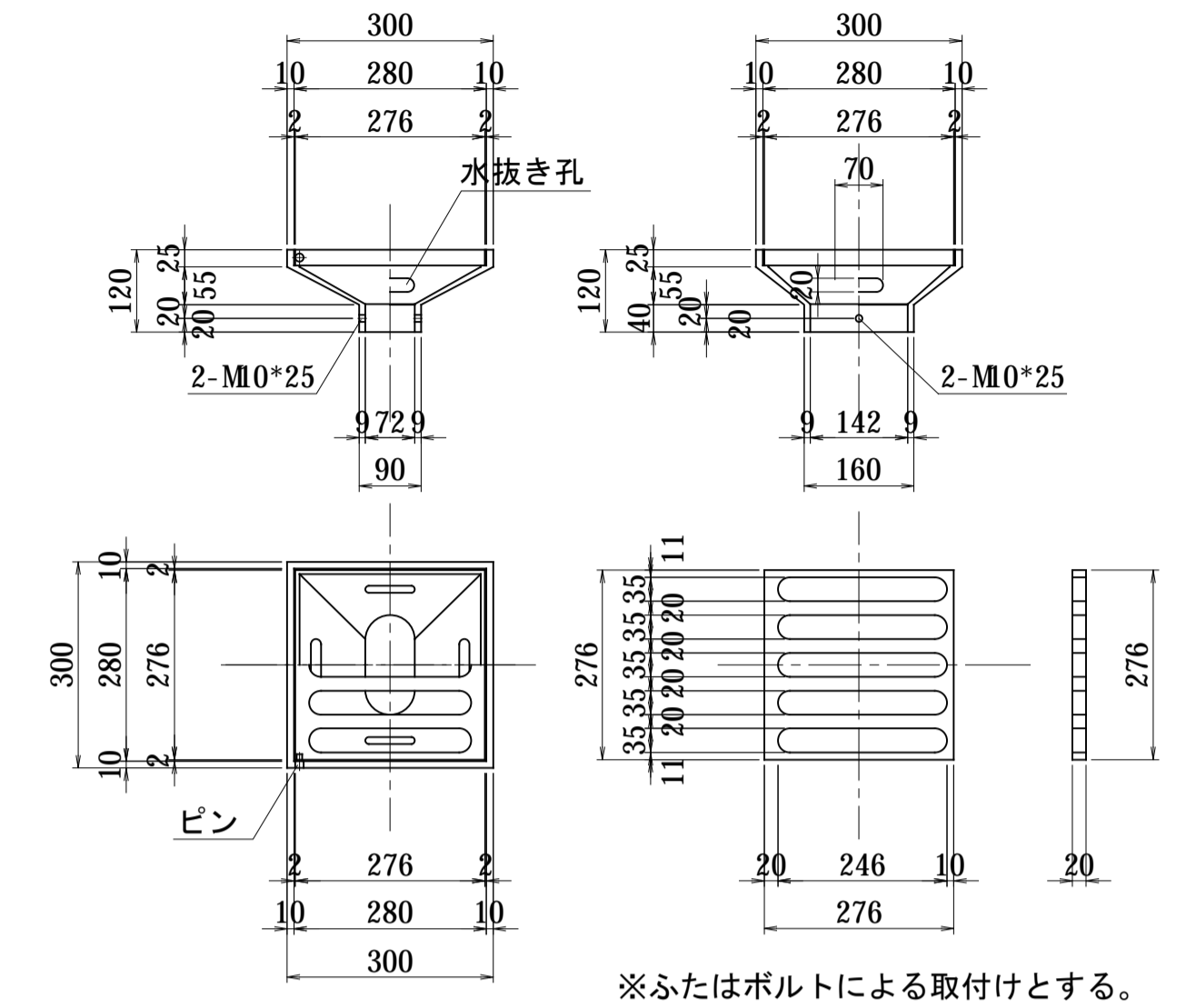
名称	材質	数量	備考
アンカーバー	S35CN	1	ST-SG
アンカーキャップ	SS400	1	ST-SG
支圧板	SM90A	1	ST-SG
セット用スポンジ	CRスポンジ	1	
スパイラル筋	SR235	1	

下流管理橋 橋面防水詳細図

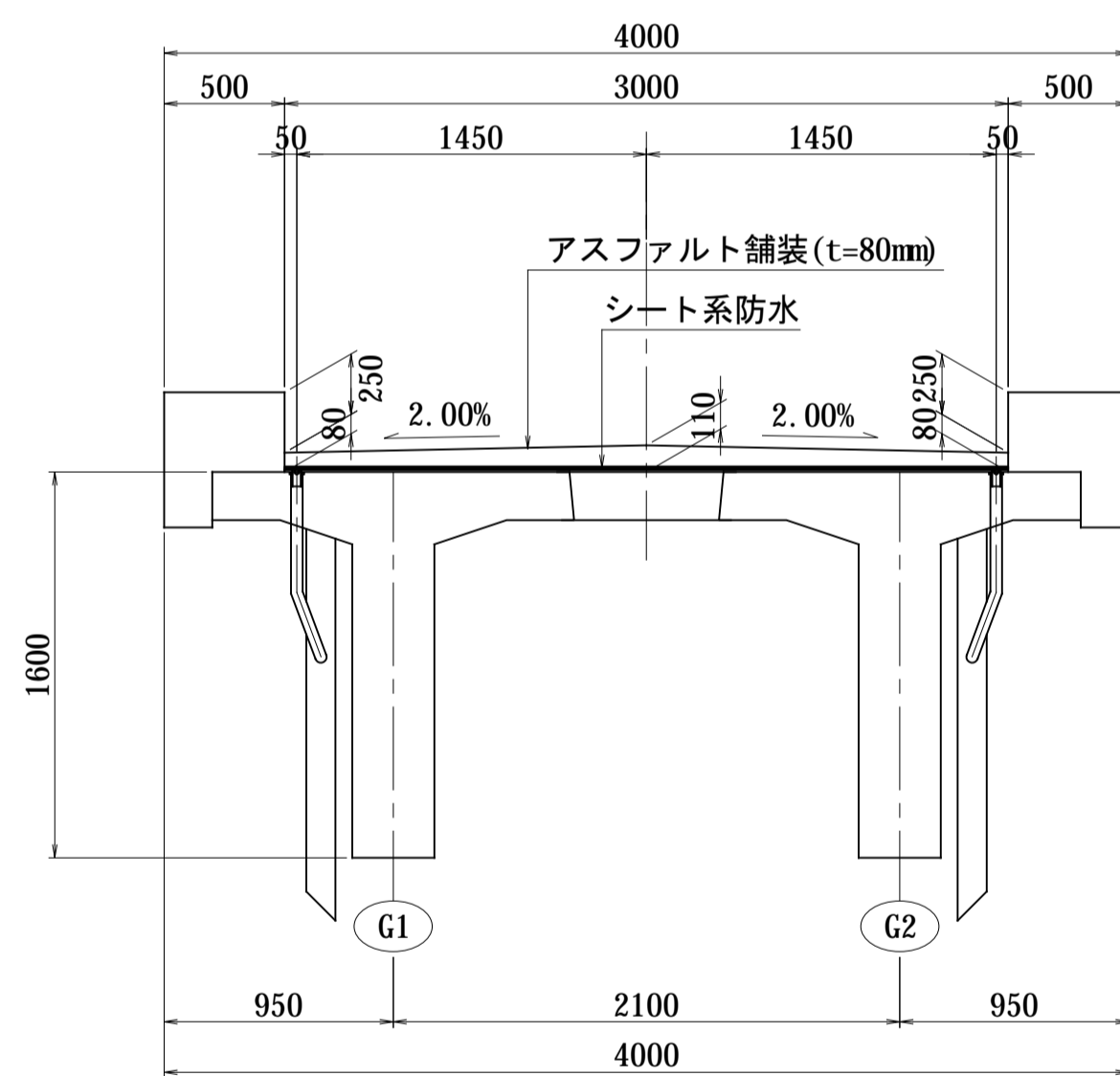
平面図 S=1:50



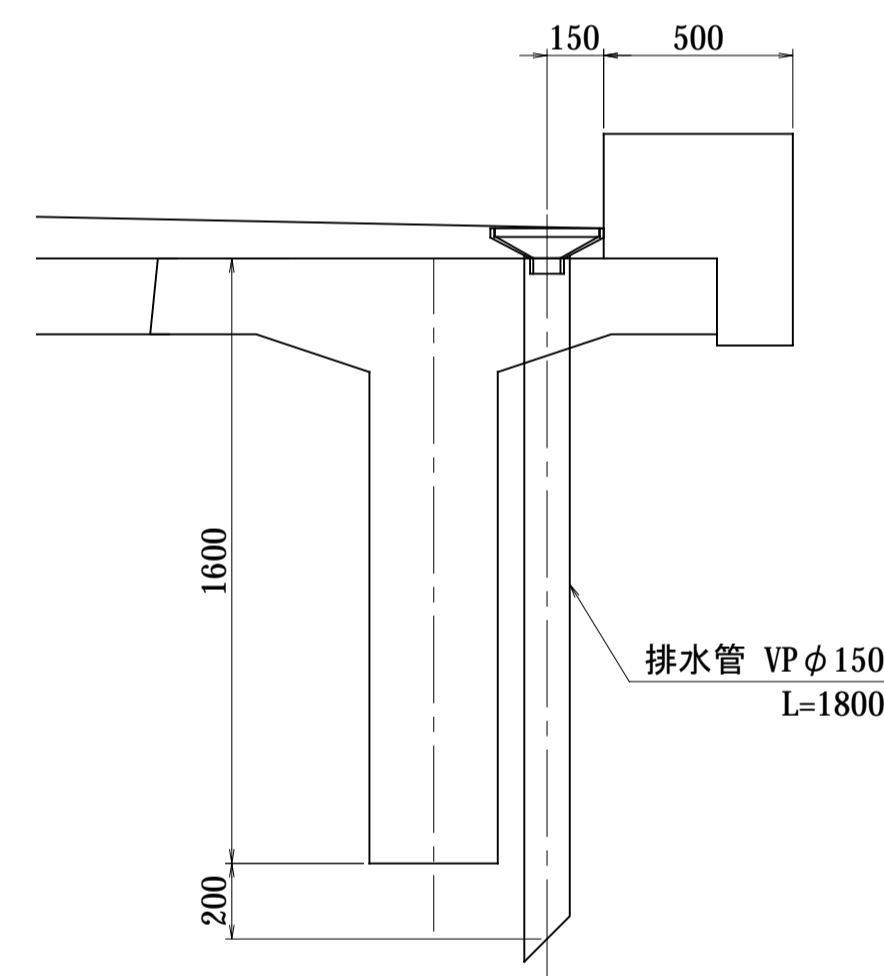
排水装置 S=1/10



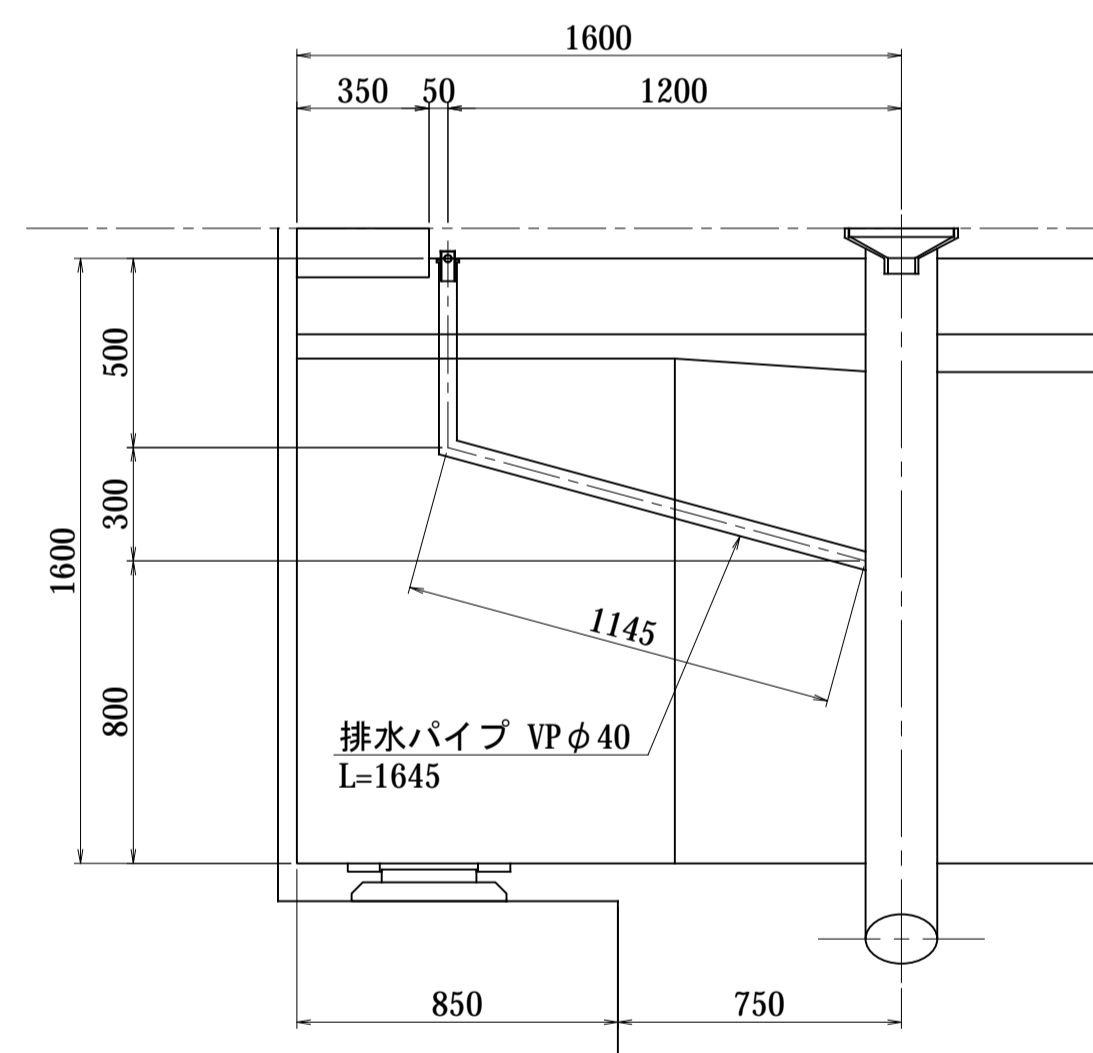
断面図 S=1:30



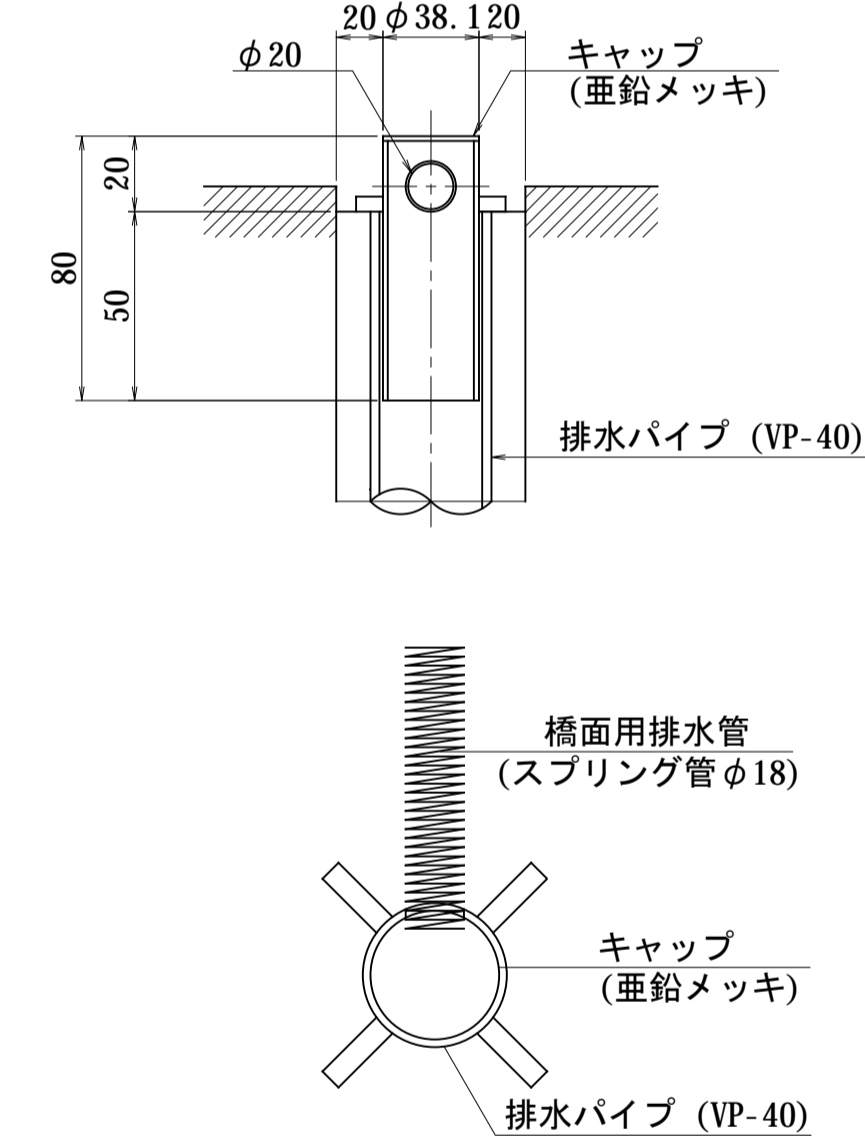
排水装置取付図 S=1/20



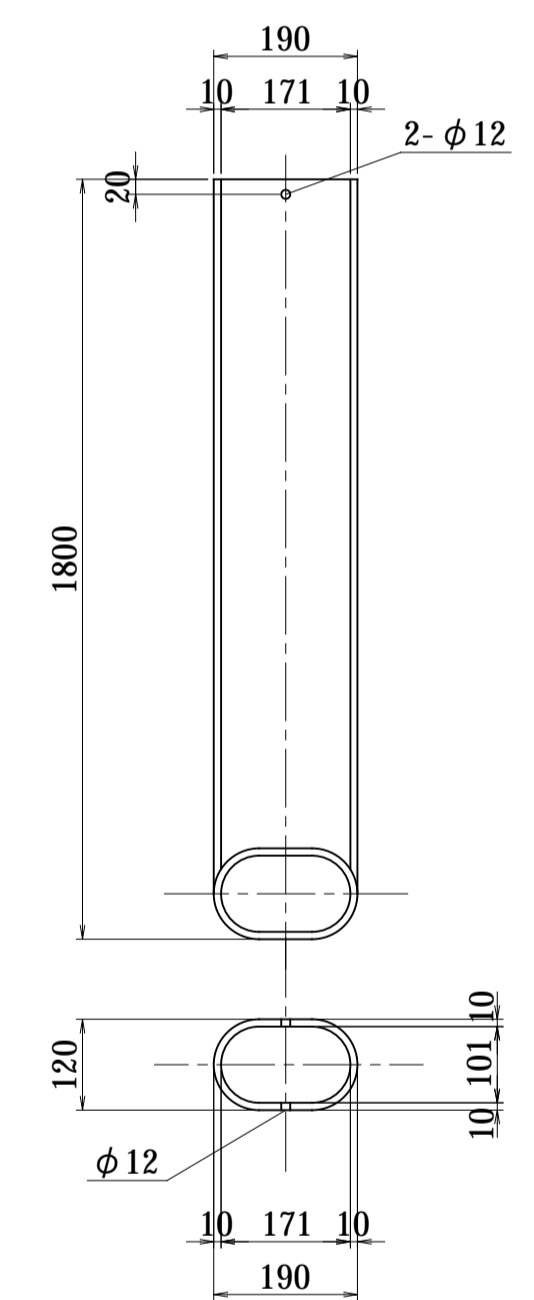
排水パイプ取付図 S=1/20



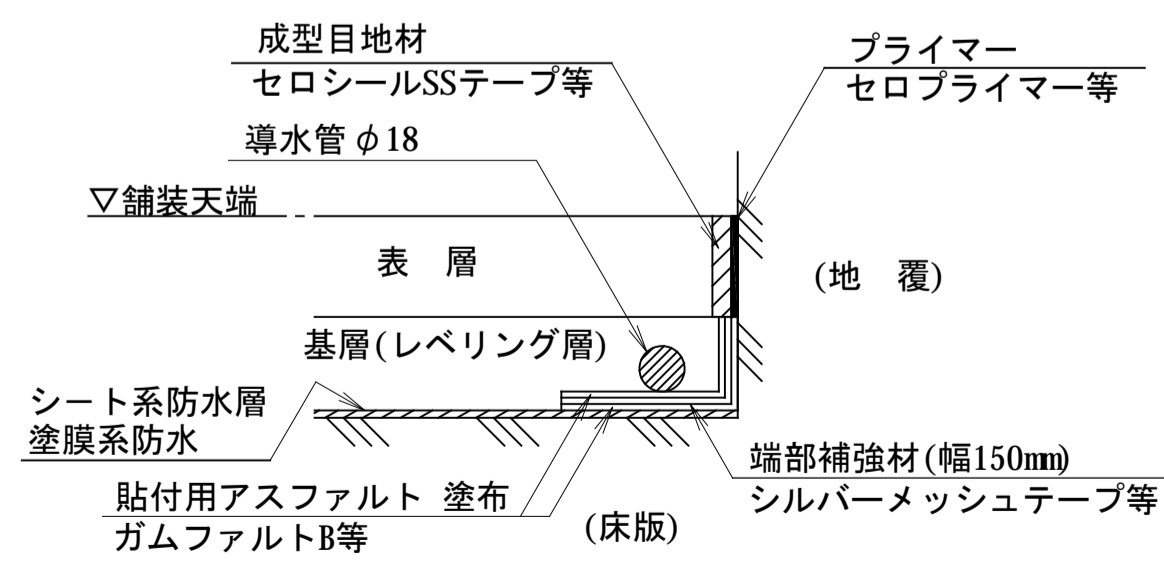
排水パイプ詳細図 S=1/2



排水装置 (VP150)

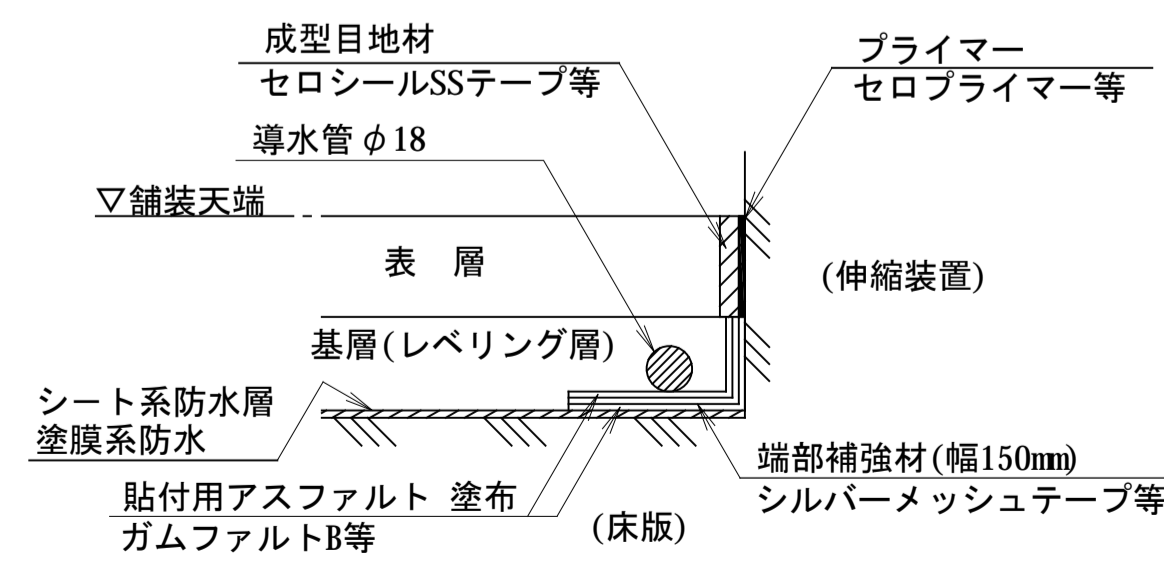


縦断排水, 地覆部防水詳細図



- ※ 防水層は、基層部まで立ち上げる。
- ※ 目地材は、表層部に設置する。
- ※ スパイラルパイプは、基層部に設置する。

横断排水, 端部防水詳細図



- ※ 防水層は、基層部まで立ち上げる。
- ※ 目地材は、表層部に設置する。
- ※ スパイラルパイプは、基層部に設置する。

材料表

品名	材質	数量	質量(kg)	備考
本体	FC250	1	24.4	
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
1組分 合計			24.6 kg/組	

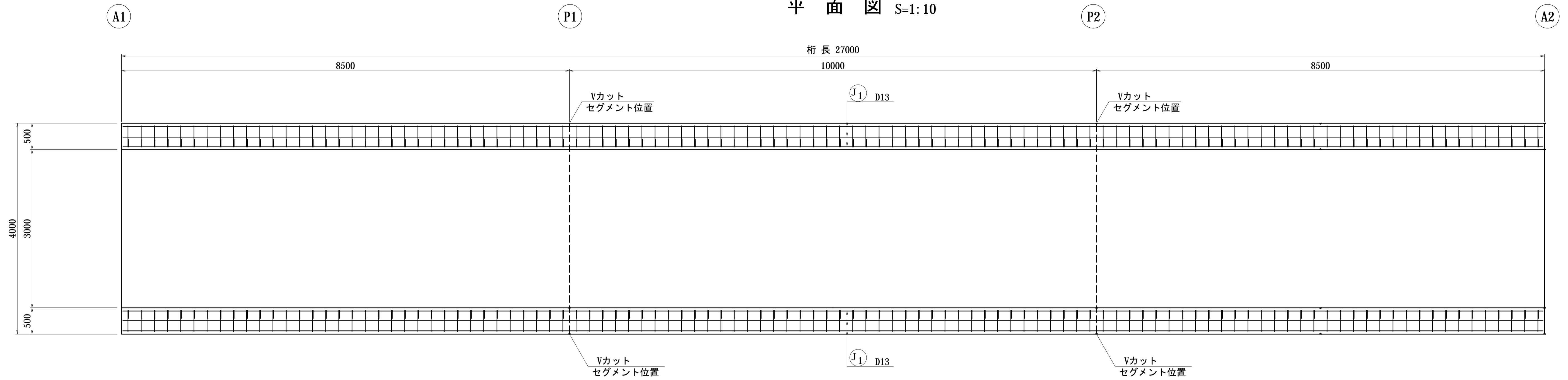
(1ヶ所当り)

材料表

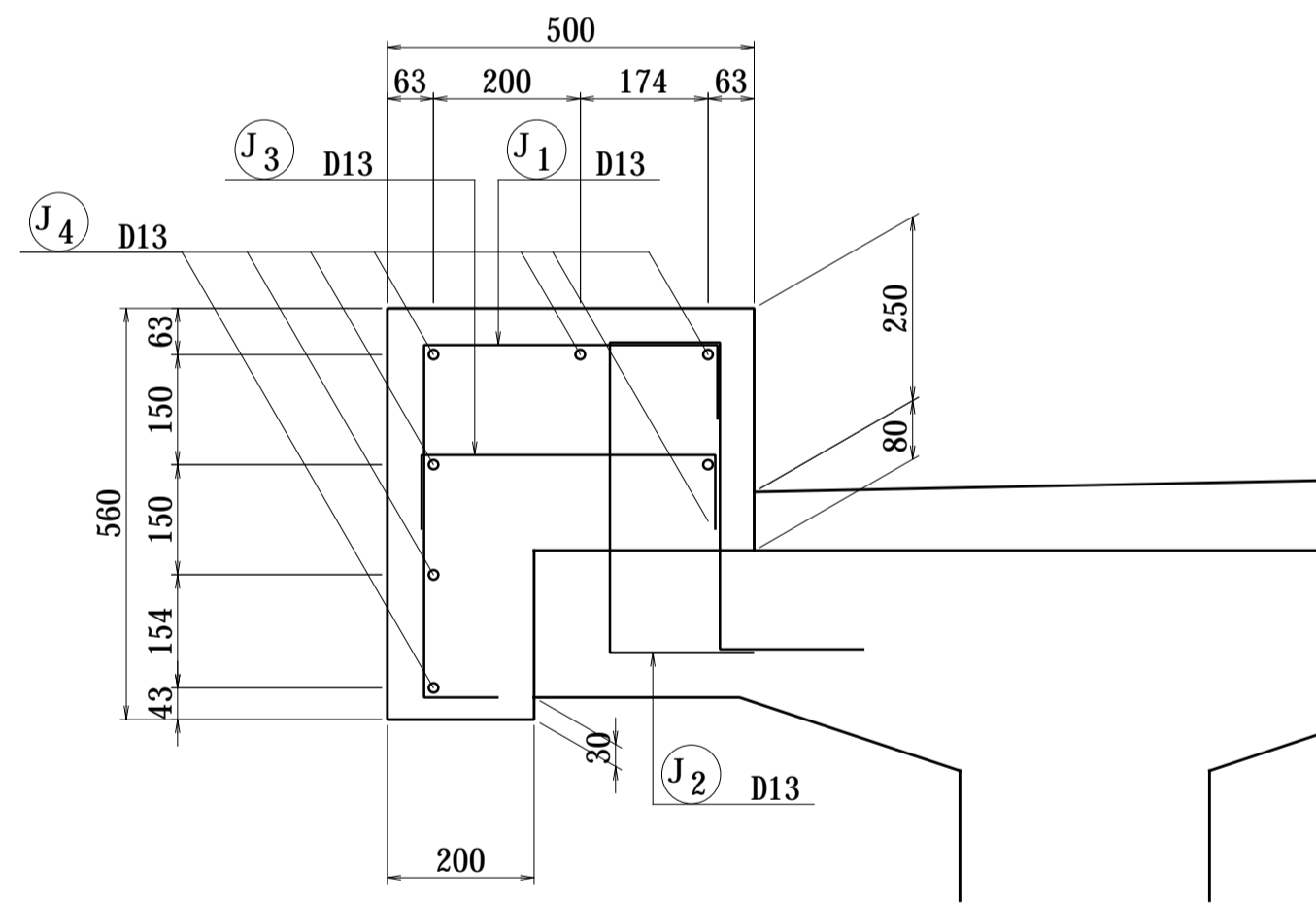
名称	規格,寸法	単位	数量	備考
防水層	シート系	m ²	78.9	
導水管	φ18	m	58.6	
成型目地材	ゼロシールSSテープ等	m	58.6	
端部補強材(幅150mm)	シルバーメッシュテープ等	m	58.6	
キャップ	亜鉛メッキ	個	4	
排水パイプ(VP40)	Aタイプ L=1310	m	6.6	N=4

下流管理橋 地覆配筋図

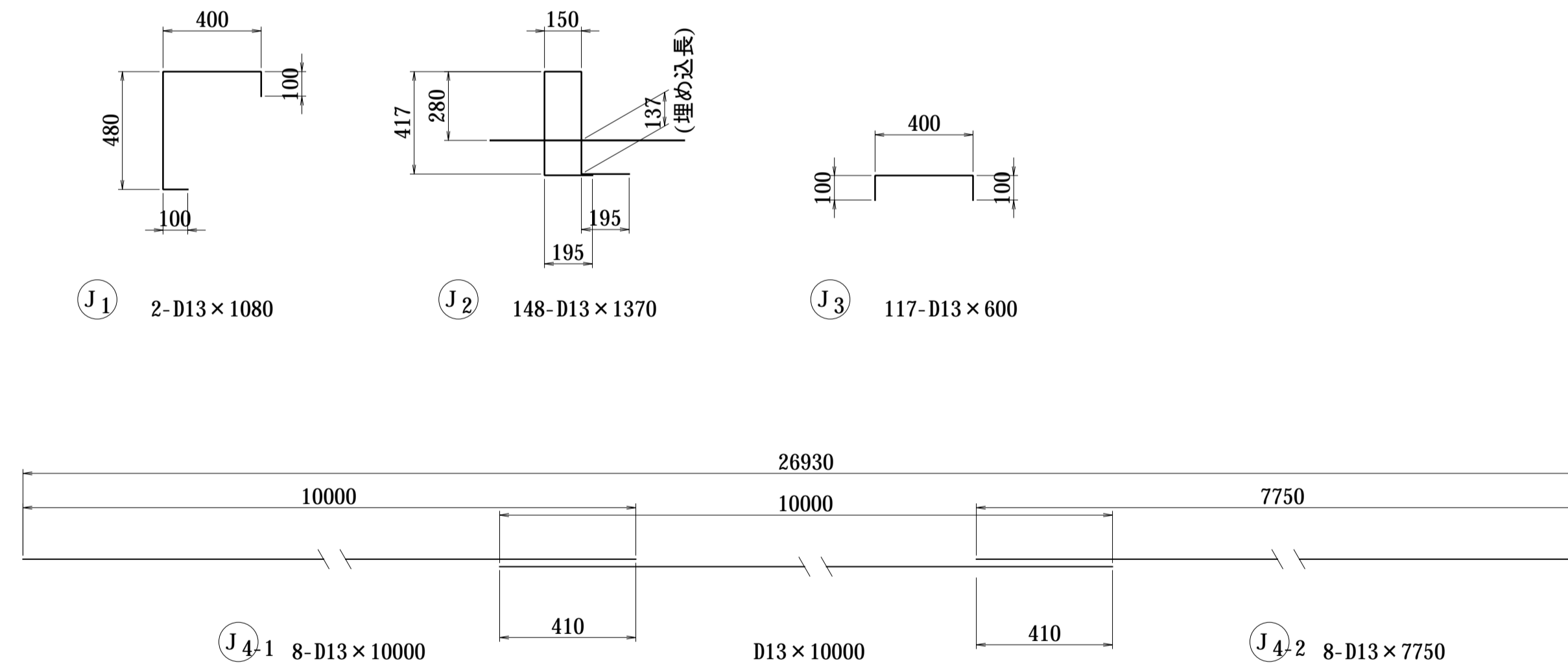
平面図 S=1:10



断面図 S=1:10

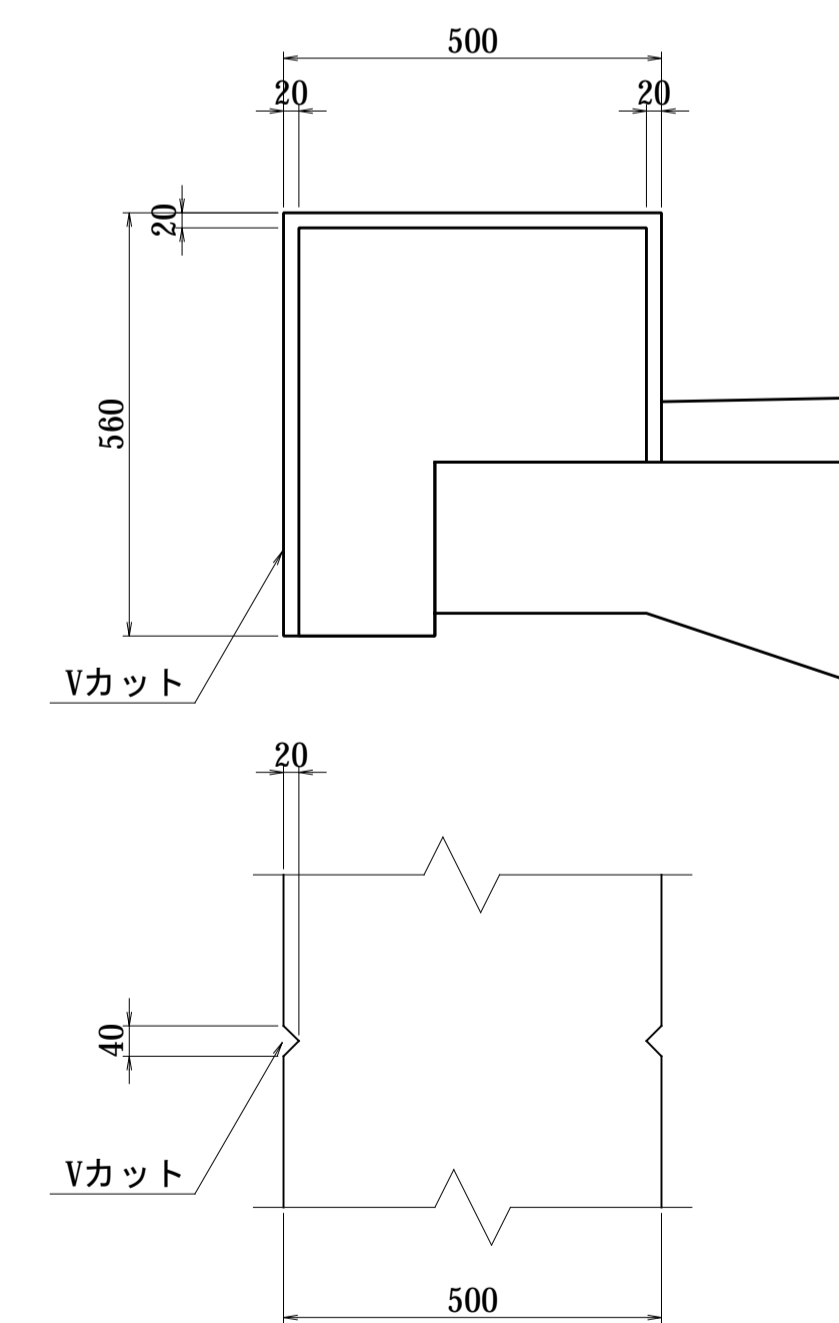


加工図 S=1:20

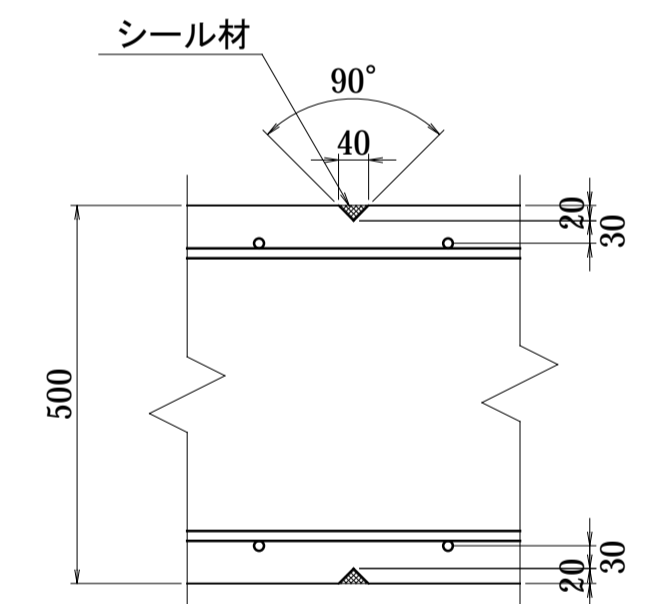


Vカット詳細図 S=1:10

断面図



Vカット形状



鉄筋表

(1橋当り)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	1本当り質量 (Kg/本)	質量 (Kg)	形状	摘要
J 1	D13	1080	146	0.995	1.07	127	┌	主桁埋込み鉄筋
2	"	1370	148	"	1.19	176	└	
3	"	600	117	"	0.50	59	┌	
4-1	"	10000	28	"	9.95	279	—	
4-2	"	7750	14	"	7.71	108	—	
						D13 953 Kg		
						D13 428 Kg	主桁埋込み鉄筋	
						合計 D13 1381 Kg		

§ 1. 数量総括表

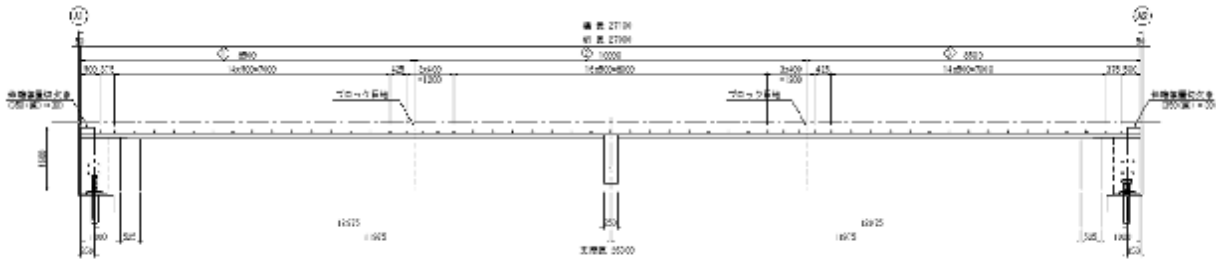
1.1 数量総括表

種別	項目	仕様	単位	数量	摘要	
主 桁 工	ポステンT桁 桁高=2.30m	外桁	本	2		
		中桁	本			
		計	本	2		
	コンクリート	$\sigma_{ck}=50N/mm^2$	m^3	44.8		
	質量	主桁総質量	t	112.0		
	型 枠	側型枠		m^2	225.7	
		端型枠		m^2	4.3	
		合計		m^2	230.0	
		底板		m^2	29.7	
	仕切板		m^2	3.2	セグメント目地部	
	接合キー	$\phi 28$	組	12.0	〃	
	接着材		m^2	3.2	〃	
	引 張 P C 鋼 材	PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7B	kg	1987.2	
		シース	$\phi 70$	m	214.0	
		グラウト	$\phi 70$	m	214.0	
		定着具	12S12.7B用	組	16	グリッド筋含む
		緊張工	12S12.7B(両引き)	ケーブル	8	
	横締孔用シース	$\phi 42$	m	173.4	埋込みシース	
	鉄 筋	D25	SD345	kg	0	
		D22	〃	kg	91	
D19		〃	kg	114		
D16		〃	kg	762		
小計		〃	kg	967	D16~D25	
D13		〃	kg	1715		
D10		〃	kg	16		
合計	〃	kg	2698			

1.2 主桁数量集計表

種別	項目	仕様	単位	数量		摘要	
				外桁	中桁		
主 桁 工	ポステンT桁 桁高=1.60m	外桁	本	2			
		中桁	本		-		
	コンクリート	$\sigma_{ck}=50N/mm^2$	m ³	22.408			
	質量	主桁質量	t	56.020			
	型 枠	側型枠		m ²	112.832		
		端型枠		m ²	2.161		
		合計		m ²	114.993		
		底板		m ²	14.850		
	仕切板		m ²	1.608		セグメント目地部	
	接合キー	φ28	組	6		〃	
	接着材		m ²	1.608		〃	
	引 張 P C 鋼 材	PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7B	kg	993.612		
		シース	φ70	m	106.978		
		グラウト	φ70	m	106.978		
		定着具	12S12.7B用	組	8		グリッド筋含む
		緊張工	12S12.7B(両引き)	ケーブル	4		
	横締孔用シース	φ42	m	86.690		埋込みシース	
	鉄 筋	D25	SD345	kg			
		D22	〃	kg	91		
D19		〃	kg	114			
D16		〃	kg	762			
小計		〃	kg	967		D16~D25	
D13		〃	kg	1715			
D10		〃	kg	16			
合計	〃	kg	2698				

§2 主桁製作工（主桁1本当たり）



①・③. セグメント

標準部 L1 = 8.500 - 支点部 1.000 - 拡幅部 0.525 = 6.975 m

拡幅部 L2 = 0.525 = 0.525 m

支点部 L3 = 1.000 = 1.000 m

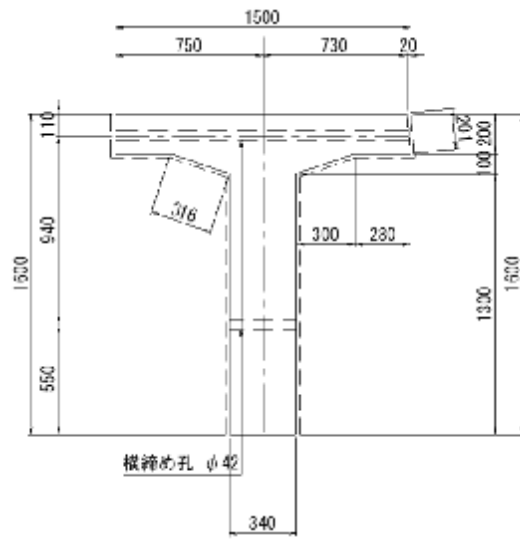
②. セグメント

標準部 L1 = 10.000 = 10.000 m

斜比 $\theta = 90^{\circ} 00' 00$ ($\alpha = 1.00000$)

・各断面積 及び 周長の計算

標準部



断面積

$$A1 = 1.500 \times 0.200 - 1/2 \times 0.020 \times 0.200 = 0.2980 \text{ m}^2$$

$$A2 = 1/2 \times (0.940 + 0.340) \times 0.100 = 0.0640 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.340 \times 1.300 = 0.4420 \text{ m}^2$$

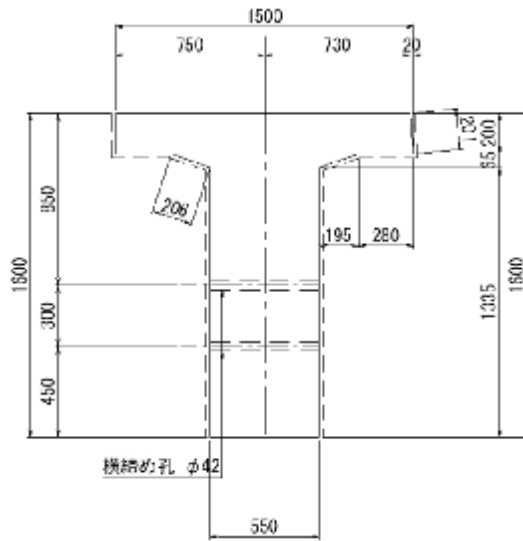
外桁 $\Sigma a = 0.8040 \text{ m}^2$

周長

外桁

$$I1 = \frac{(0.280 + 0.316 + 1.300)}{2} + 0.200 + 0.201 = 4.193 \text{ m}$$

桁端部



断面積

$$A1 = 1.500 \times 0.200 - 1/2 \times 0.020 \times 0.200 = 0.2980 \text{ m}^2$$

$$A2 = 1/2 \times (0.940 + 0.550) \times 0.065 = 0.0484 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.550 \times 1.335 = 0.7343 \text{ m}^2$$

外桁 $\Sigma a = 1.0807 \text{ m}^2$

周長

外桁

$$I1 = \frac{(0.280 + 0.206 + 1.335)}{2} + 0.200 + 0.201 = 4.043 \text{ m}$$

2.1 コンクリート ($\sigma_{ck} = 50\text{N/mm}^2$)

・ ①・③. セグメント

$$\text{標準部 } V1 = 0.8040 \times 6.975 = 5.608 \text{ m}^3$$

$$\text{拡幅部 } V2 = 1/2 \times (0.8040 + 1.0807) \times 0.525 = 0.495 \text{ m}^3$$

$$\text{支点部 } V3 = 1.0807 \times 1.000 - 1.480 = 1.081 \text{ m}^3$$

$$\text{外桁1本当り } \Sigma V = 7.184 \text{ m}^3$$

・ ②. セグメント

$$\text{標準部 } V1 = 0.8040 \times 10.000 = \frac{8.040 \text{ m}^3}{\text{外桁1本当り}}$$

外桁1本当り

$$V = 7.184 \times 2 + 8.040 = 22.408 \text{ m}^3$$

1橋当り

$$V = 22.408 \times 2 = 44.816 \text{ m}^3$$

主桁質量 ($\gamma = 2.5 \text{ t/m}^3$)

セグメント当たり質量 (外桁)

・ ①・③. セグメント $W = 7.184 \times 2.5 = 17.960 \text{ t/セグメント}$

・ ②. セグメント $W = 8.040 \times 2.5 = 20.100 \text{ t/セグメント}$

$$\text{外桁合計 } \Sigma W = 17.960 \times 2 + 20.100 = 56.020 \text{ t/本}$$

1橋当り

$$W = 56.020 \times 2 = 112.040 \text{ t}$$

2.2 型枠

側枠

・ ①・③. セグメント

標準部

$$A1 = 4.193 \times 6.975 = 29.246 \text{ m}^2$$

拡幅部

$$A2 = 1/2 \times (4.193 + 4.043) \times 0.525 = 2.162 \text{ m}^2$$

横桁部

$$A3 = 4.043 \times 1.000 = 4.043 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 35.451 \text{ m}^2$$

・ ②セグメント

標準部

$$A1 = 4.193 \times 10.000 = 41.930 \text{ m}^2$$

外桁1本当り

$$V = 35.451 \times 2 + 41.930 = 112.832 \text{ m}^2$$

1橋当り

$$V = 112.832 \times 2 = 225.664 \text{ m}^3$$

棲枠

・ 外桁

$$A = 1.0807 \times 2 \times 1.00000 = 2.161 \text{ m}^2$$

仕切板

・ 外桁

$$A = 0.8040 \times 2 = 1.608 \text{ m}^2$$

底枠

・ 外桁

$$A = 0.550 \times 27.000 = 14.850 \text{ m}^2$$

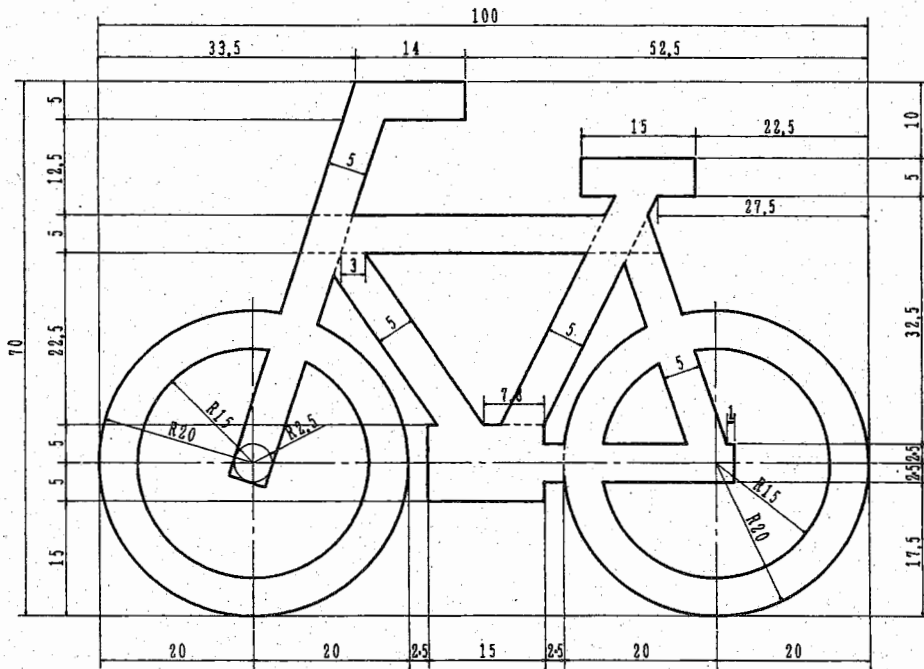
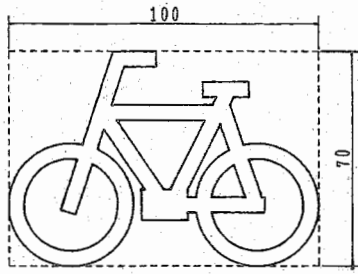
2.3 鉄筋 (SD345)

外桁 (1本当り) (図面参照)

D22	91	kg
D19	114	kg
D16	762	kg
D13	1715	kg
D10	16	kg
合計	2698	kg

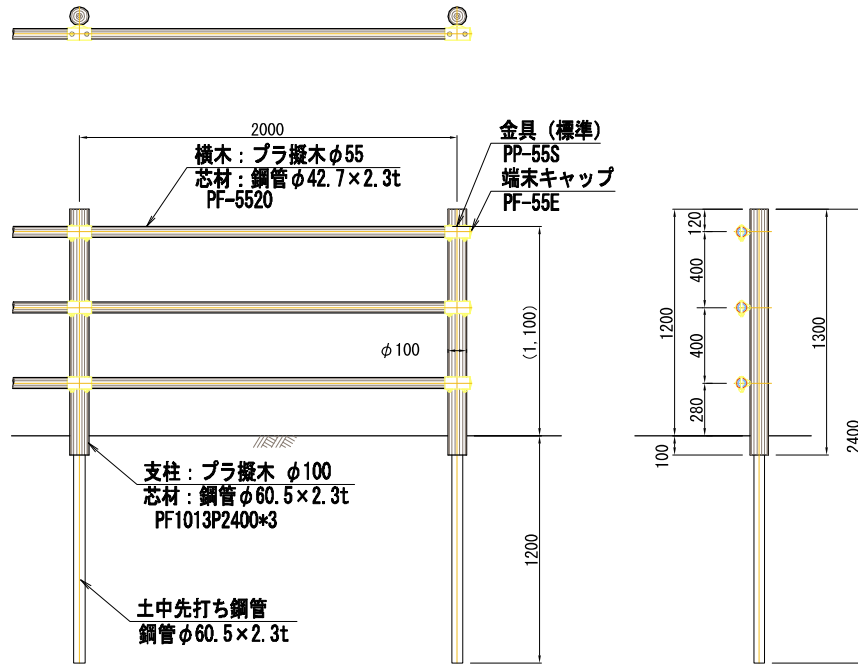
2.4 PC鋼より線 (SWPR7BL 12S12.7mm N = 4本) (図面参照)

- 設計長 $L1 = 106.978 \text{ m} = 106.978 \text{ m}$
- 1) 設計質量 $W1 = 106.978 \times 9.288 = 993.612 \text{ kg}$
- 2) シース ($\phi 70\text{mm}$)
 $L = L1 = 106.978 \text{ m}$
- 3) グラウト
 $L = L1 = 106.978 \text{ m}$
- 4) 定着具 (12S12.7mm 用) グリッド筋含む
 $N = 4 \times 2 = 8 \text{ 組}$
- 5) 緊張本数 (両引き)
 $N = 4 \text{ 本}$
- 6) ケーブル組立工
 $L = L1 = 106.978 \text{ m}$
- 7) 横締用シース ($\phi 42\text{mm}$)
外桁 $L = 1.490 \times 55 + 0.550 \times 8 + 0.340 \times 1 = 86.690 \text{ m}$
- 8) 接着剤
外桁 $A = 0.8040 \times 2 = 1.608 \text{ m}^2$
- 9) 接合キー ($\phi 28\text{mm}$)
外桁 $N = 3 \times 2 = 6 \text{ 組}$



取付里道 構造図

転落防止柵 S=1:20

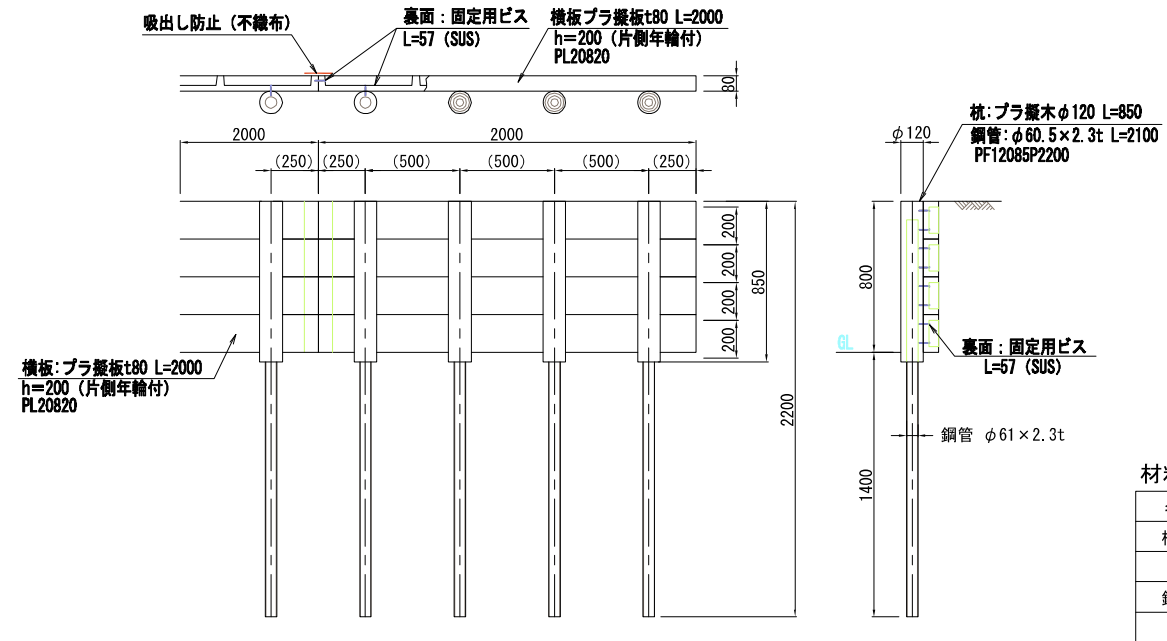


材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵	プラ覆 H=1200	m	10.00	土中用

土留め工 S=1:20

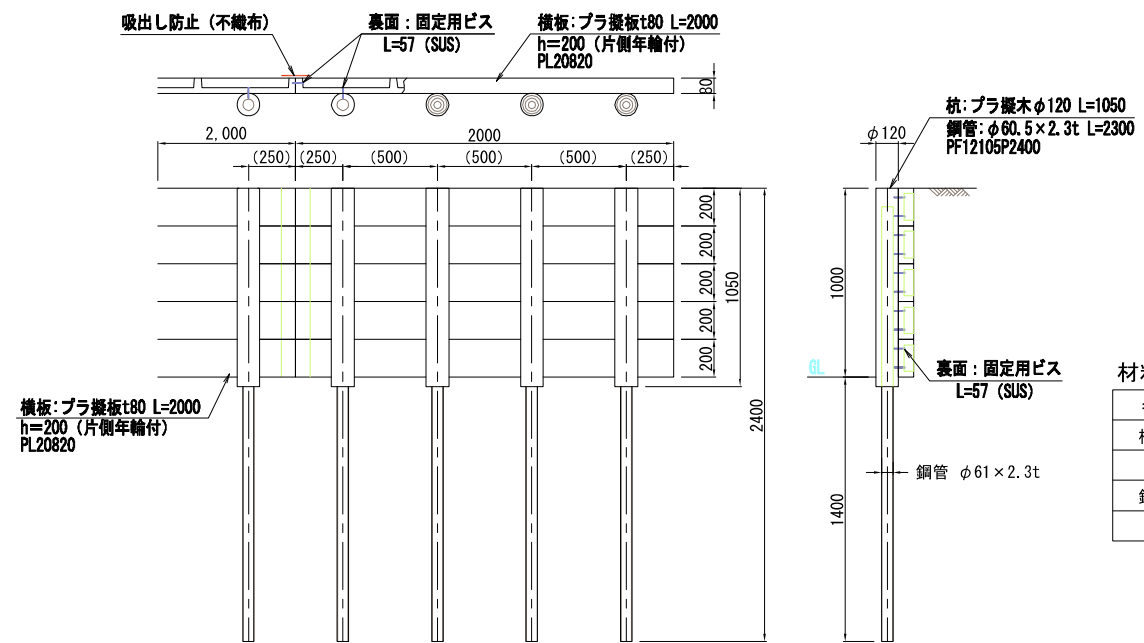
土留め工(A)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラ覆板t80 L=2000	枚	20.00	
杭	プラ覆木φ120 L=850	本	20.00	
鋼管	φ60.5×2.3t L=2100	本	20.00	

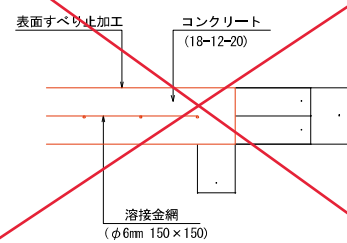
土留め工(B)



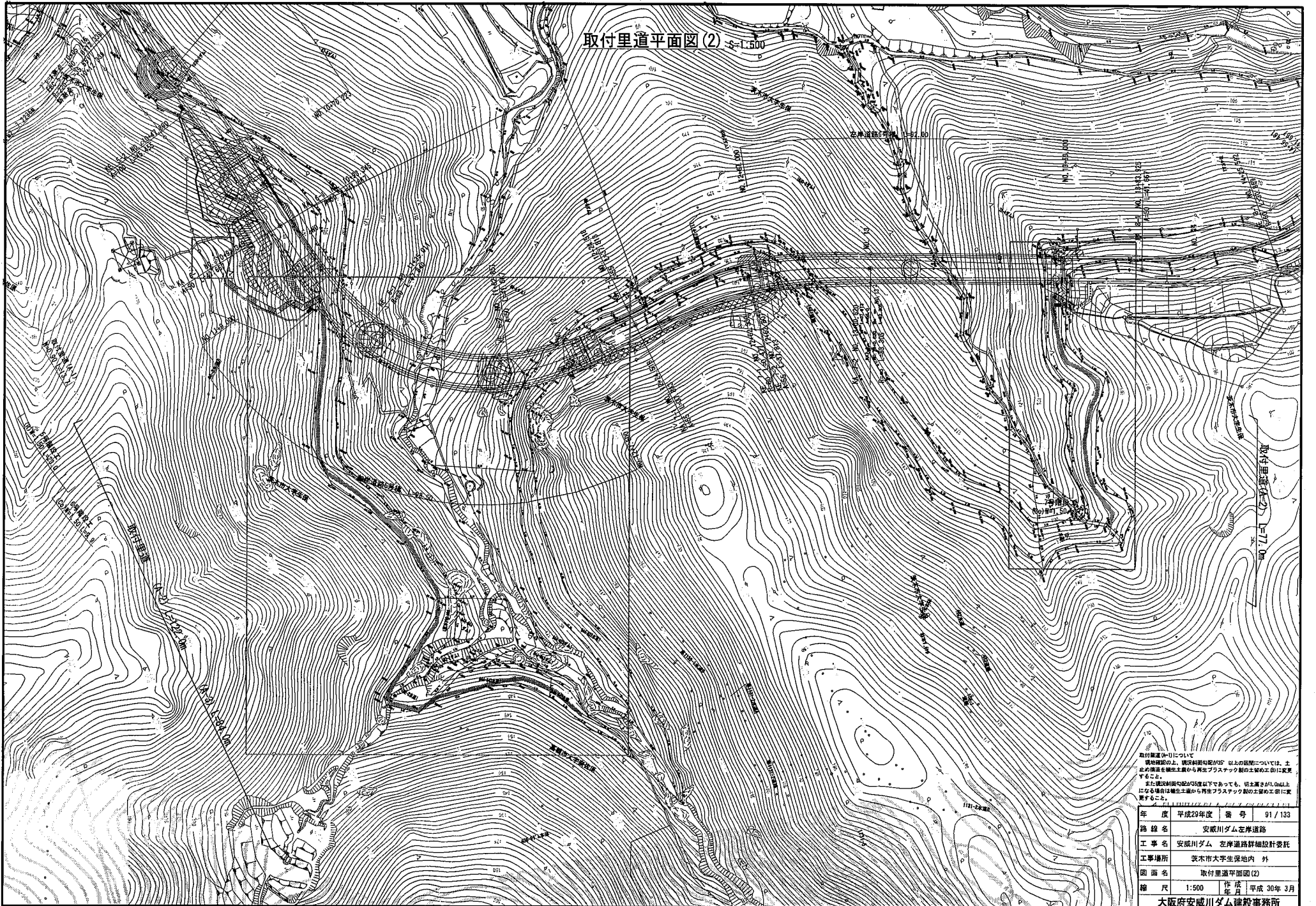
材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラ覆板t80 L=2000	枚	25.00	
杭	プラ覆木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼管	φ60.5×2.3t L=2300	本	20.00	

コンクリート舗装構成図 S=1:10



取付里道平面図(2) 1:500



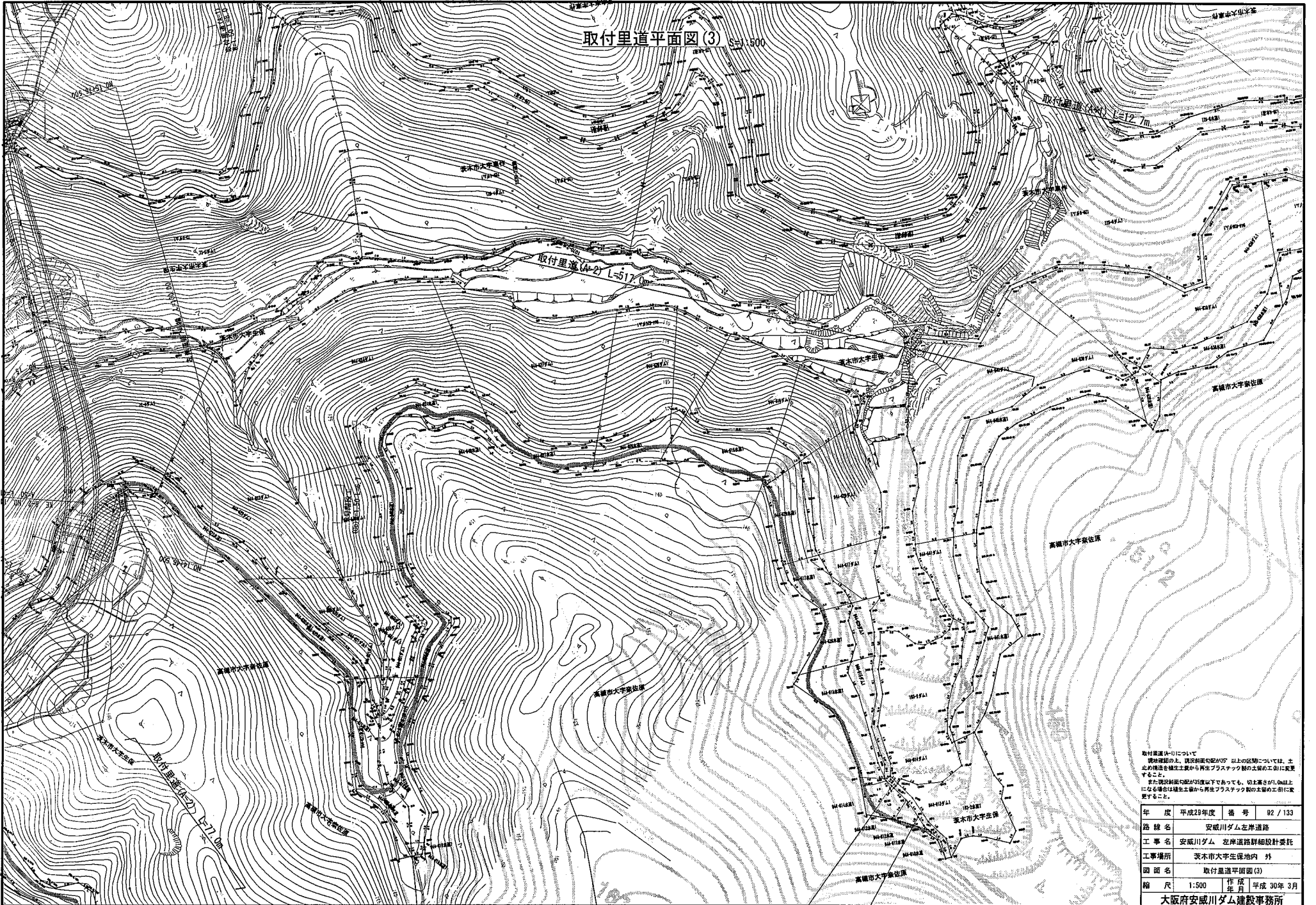
取付里道(左) L=77.0m
 取付里道(右) L=77.0m
 取付里道(左) L=77.0m
 取付里道(右) L=77.0m

取付里道(左) L=77.0m
 取付里道(右) L=77.0m

年度	平成29年度	番号	91/133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内外		
図面名	取付里道平面図(2)		
縮尺	1:500	作成年月	平成30年3月

大阪府安威川ダム建設事務所

取付里道平面図(3)



取付里道(かり)について
 調査結果の上、調査断面勾配が3%以上の区間については、土
 止め構造を養生土壁から再生プラスチック製の土留の工法に変更
 すること。
 許容断面勾配が3%以下であっても、切土高さが1.0m以上
 になる場合は養生土壁から再生プラスチック製の土留の工法に変更
 すること。

年度	平成29年度	番号	92 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市立生保地内 外		
図面名	取付里道平面図(3)		
縮尺	1:500	作成 年月	平成 30年 3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

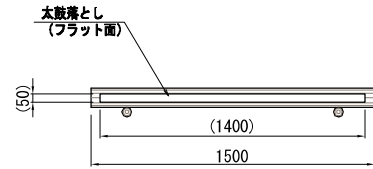
階段工構造図(6)

階段工(R)

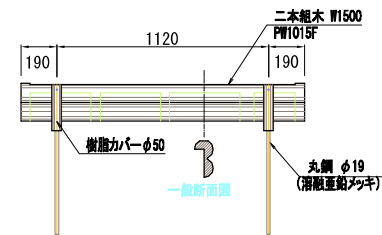
S=1:20

標準図

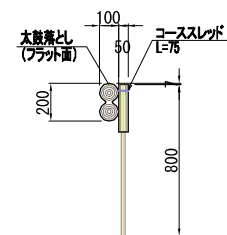
平面図



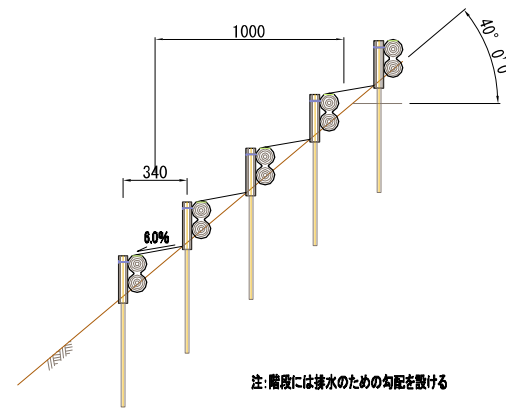
正面図



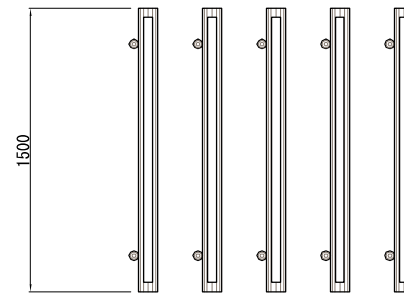
断面図



側面図



平面図

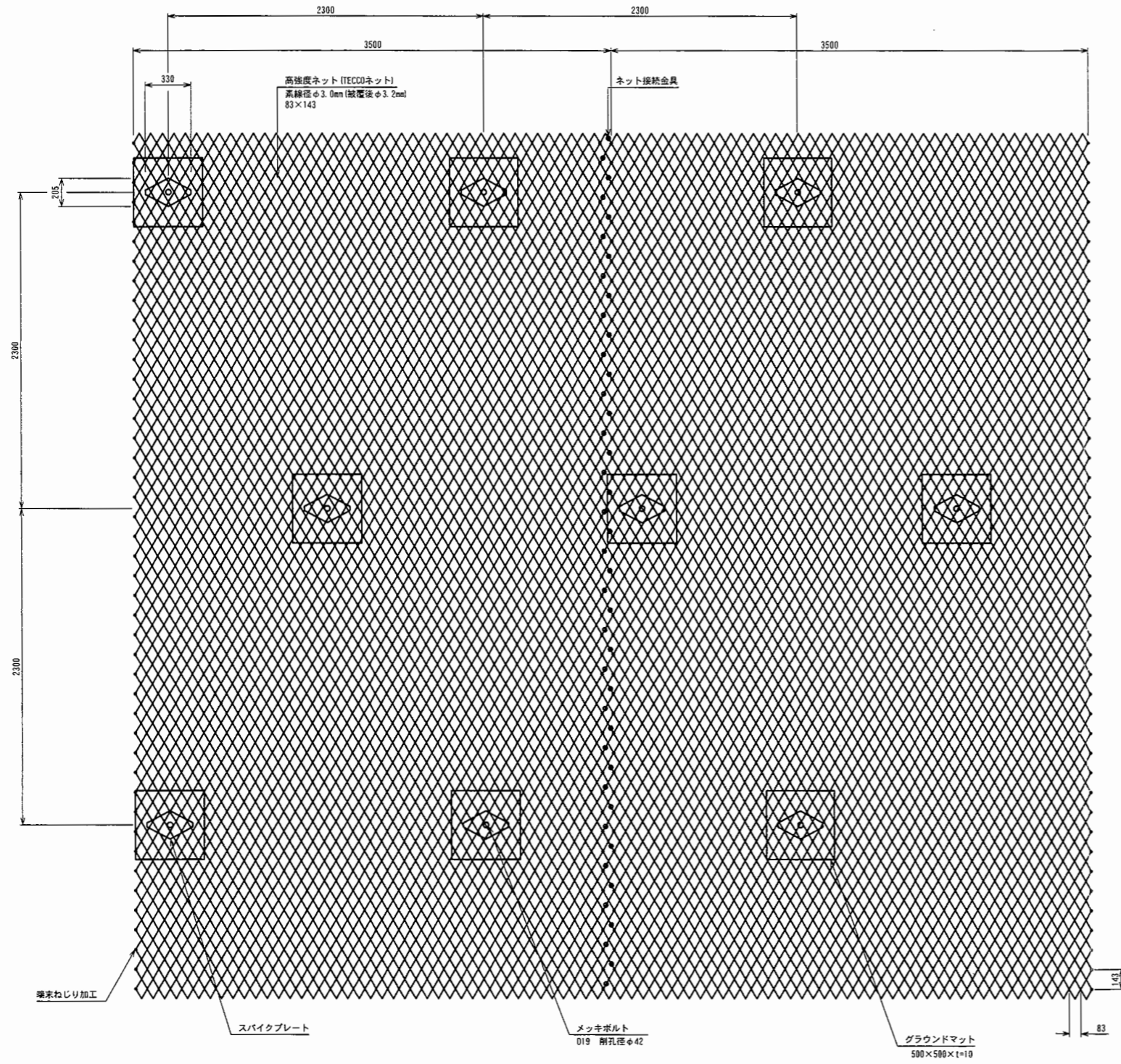


年度	平成29年度	番号	104 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム 左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内 外		
図面名	階段工構造図(5)		
縮尺	1:20	作成年月	平成 30年 3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

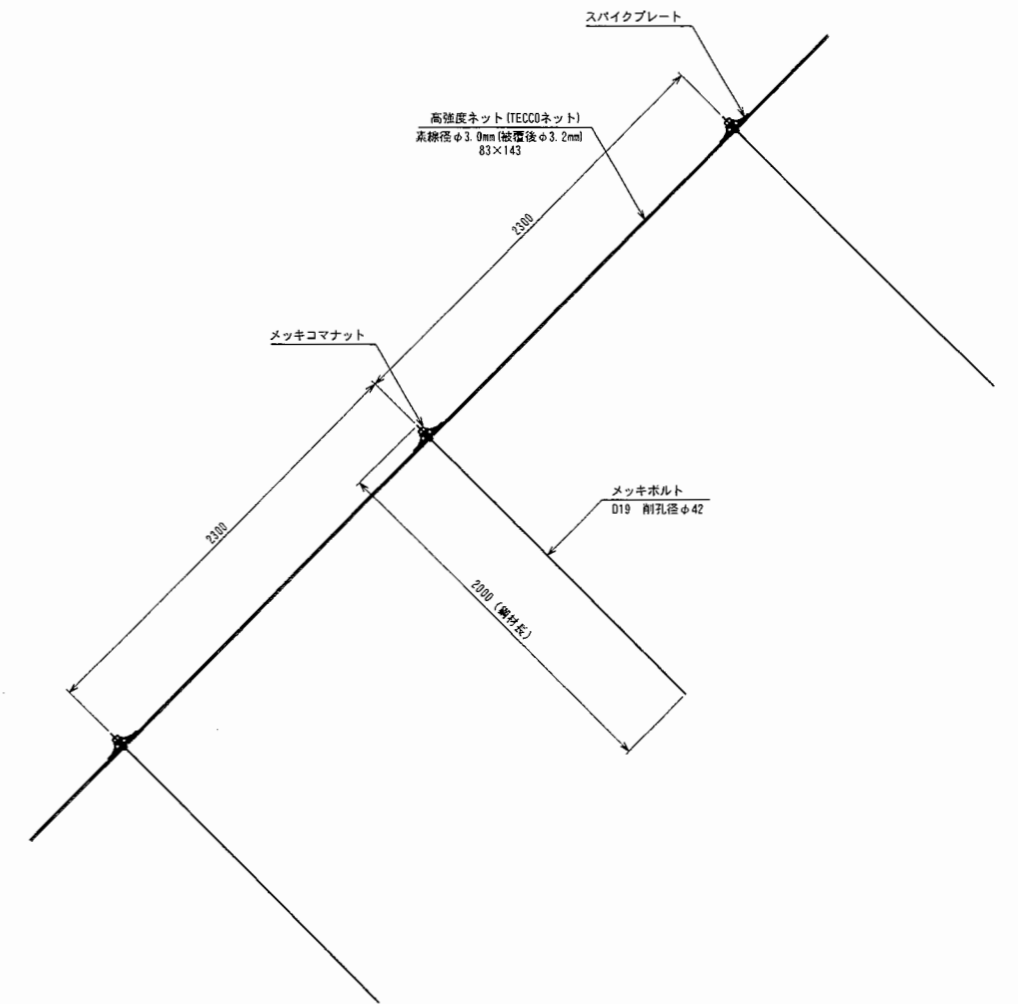
パワーネット工法 構造図

(参考図)

展開図 S=1/20



標準断面図 S=1/20

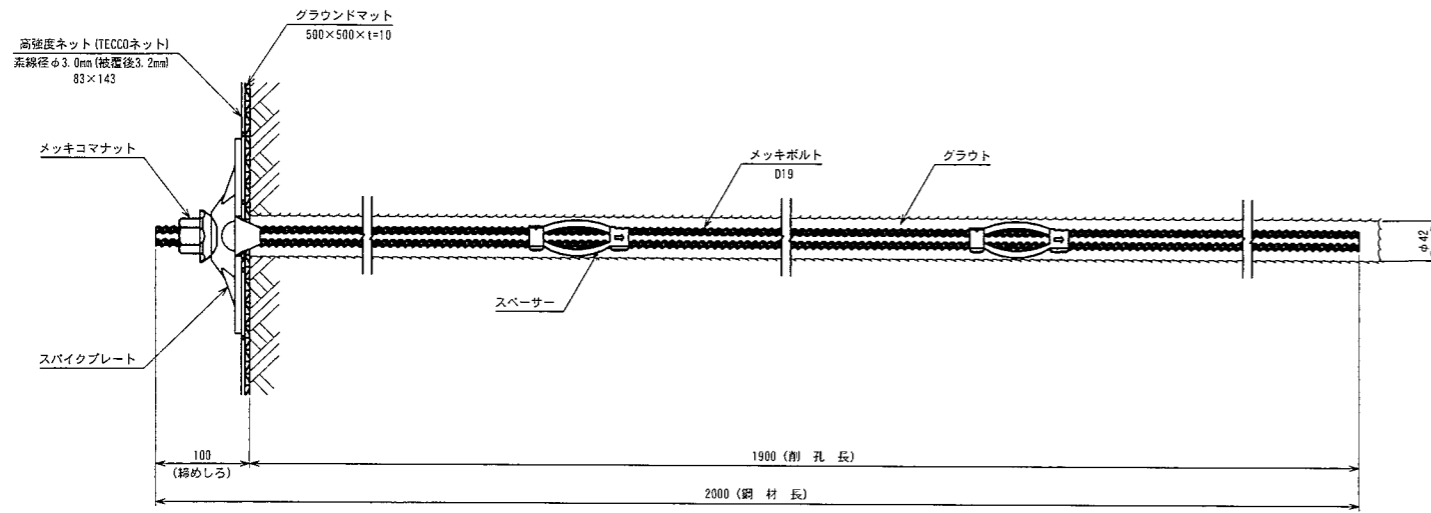


年度	H30	図面番号
路線名	主要地方道大阪生駒線	
委託名	主要地方道大阪生駒線外 道路防災設計委託	
委託場所	大阪府大東市中垣内町	
図面名	パワーネット構造図(参考図)	
縮尺	S=1:20	
大阪府 枚方土木事務所		

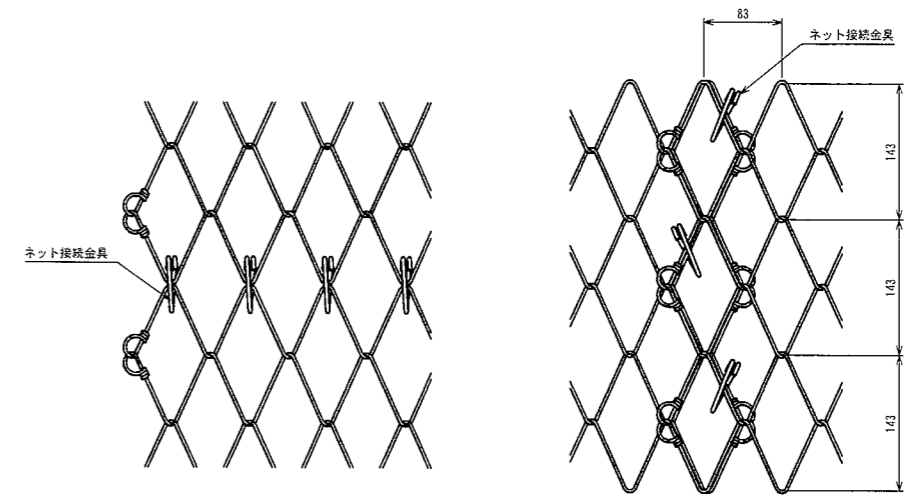
パワーネット工法 詳細図

(参考図)

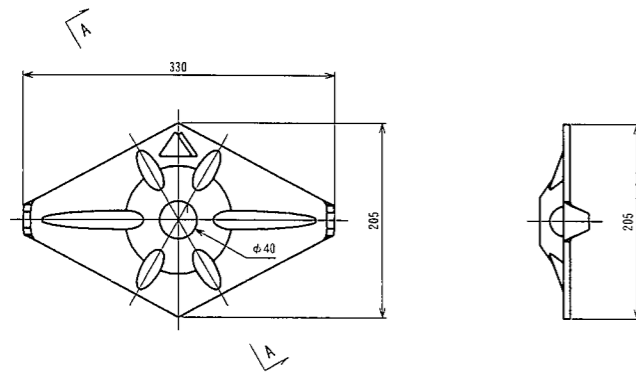
メッキボルト全体図 S=1/4



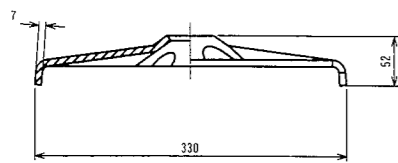
接続例 S=1/4



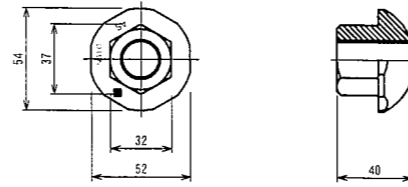
スパイクプレート S=1/4
P33/40N



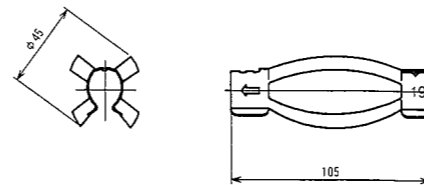
A-A断面図



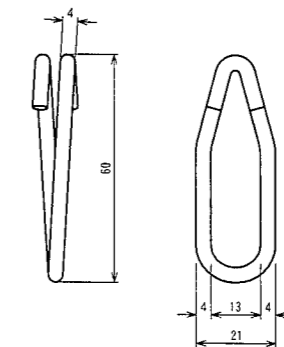
メッキコマナット S=1/2
(D19用)



スペーサー-D19-45 S=1/2
(電気メッキ)



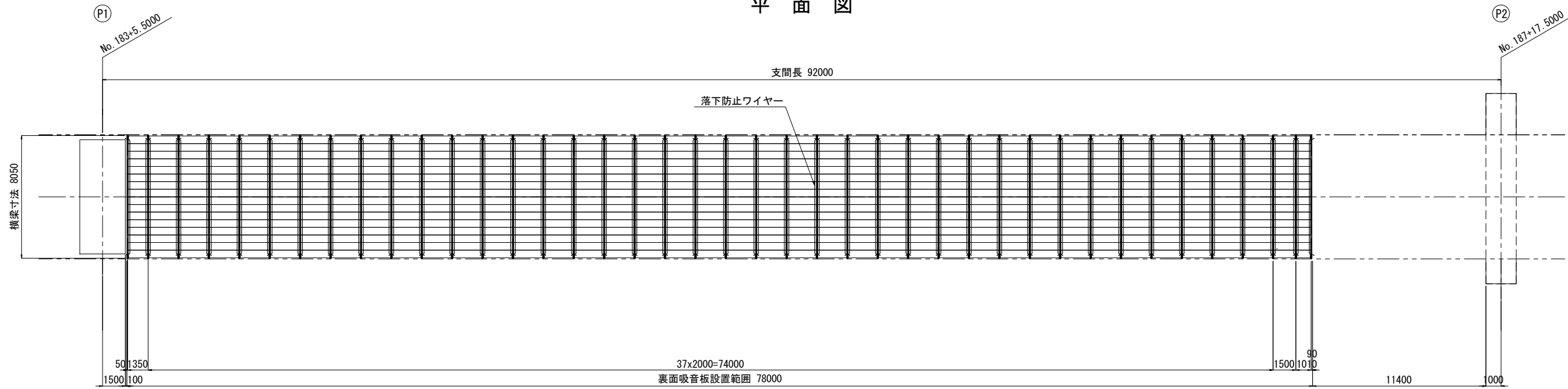
ネット接続金具 S=1/1



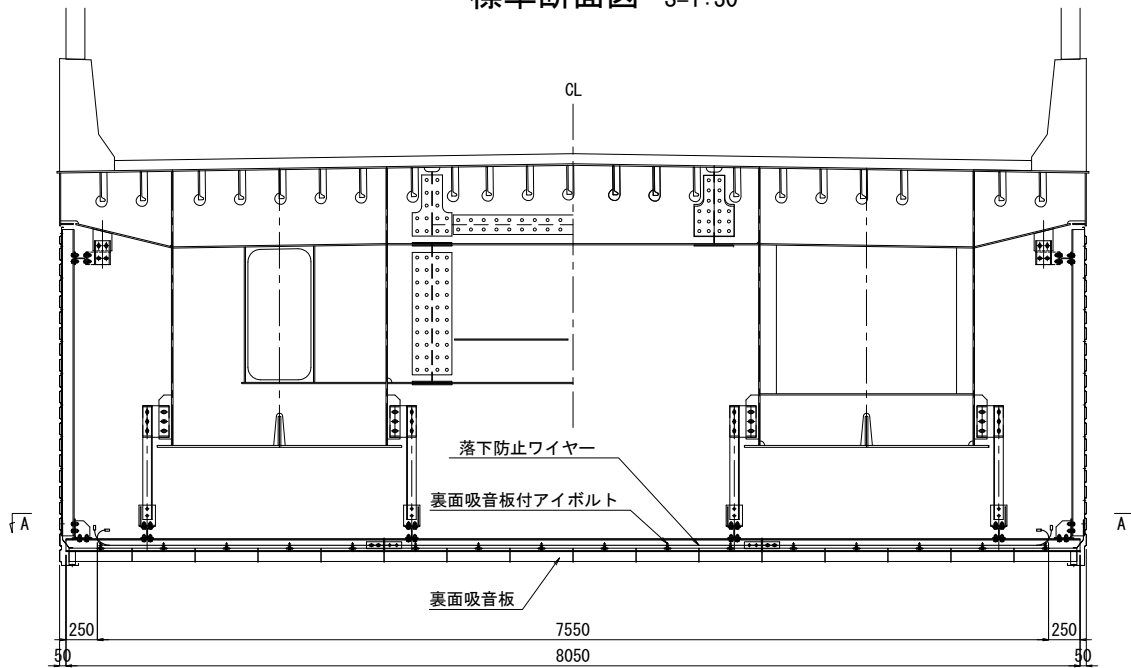
年度	H30	図面番号	
路線名	主要地方道大阪生駒線		
委託名	主要地方道大阪生駒線外 道路防災設計委託		
委託場所	大阪府大東市中垣内町		
図面名	パワーネット詳細図(参考図)		
縮尺	S=図示		
大阪府枚方土木事務所			

裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図 S=1:150

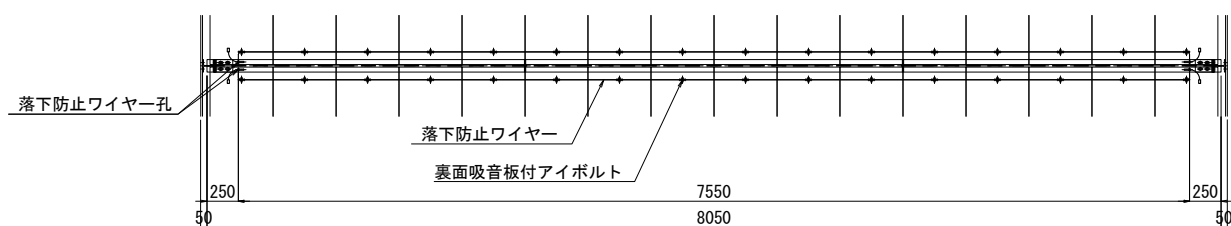
平面図



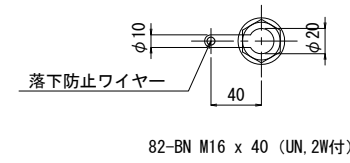
標準断面図 S=1:30



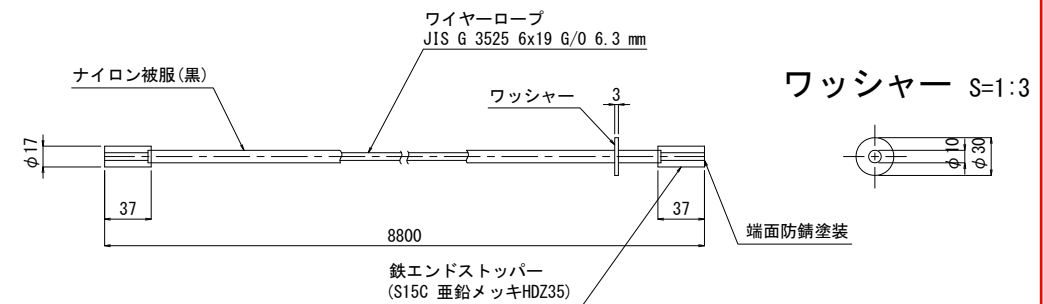
A - A S=1:30



落下防止ワイヤー取付詳細 S=1:3



落下防止ワイヤー S=1:3
(製作数 80本)



- 注記)
1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
 2. 特記なき材料は、熔融亜鉛めっきを施す。付着量は、以下の通りとする。
ボルト・ナット：JIS H8641 HDZ35
鋼 材：JIS H8641 HDZ55
 3. 普通ボルトは全て緩み止めナットを使用する。

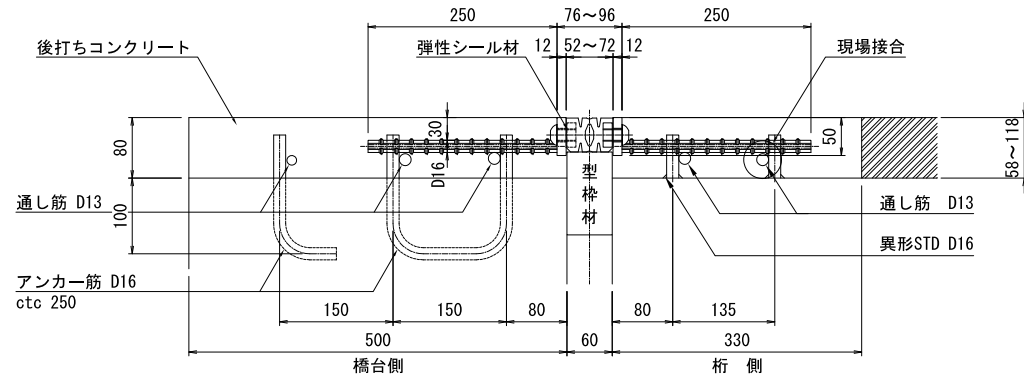
平成27年度	図面番号	112 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	吹田市吹東町地内~吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図 縮尺 S=1:150	
大阪府茨木土木事務所		

伸縮継手詳細図 (その2)

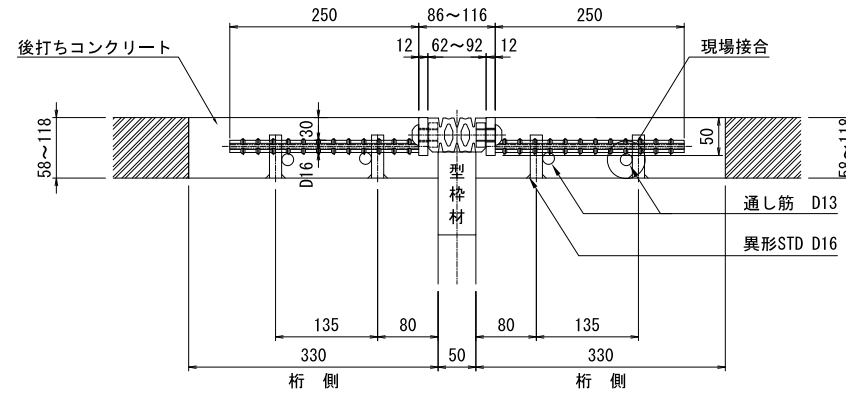
上流側

伸縮継手断面図 S=1:5
(参考図)

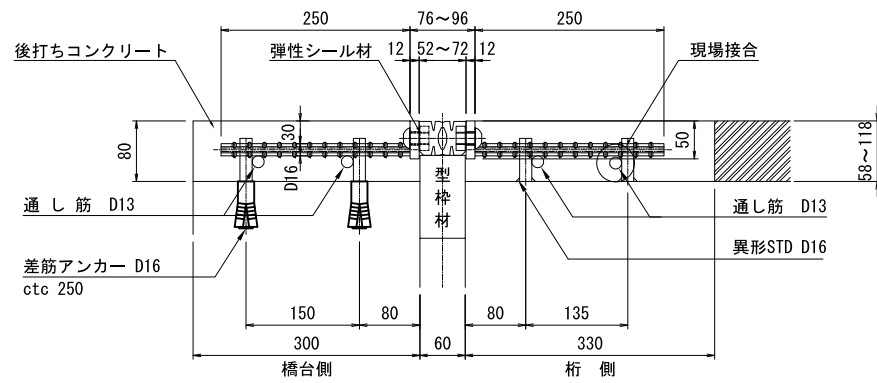
プロフジョイントN×型-20用 同等品以上
A1, A2部 歩道部 新設



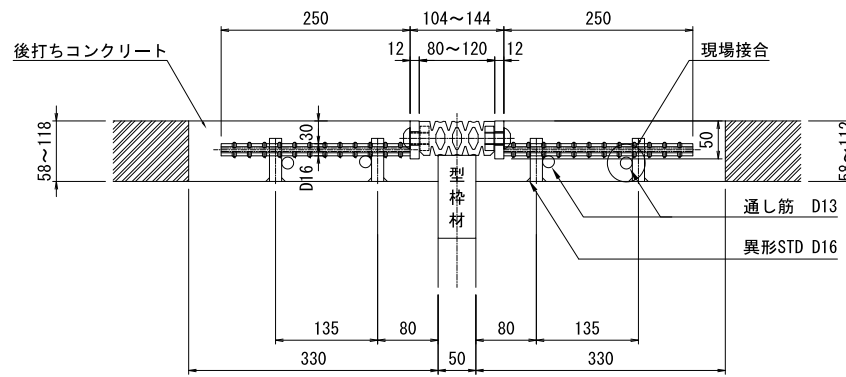
プロフジョイントN×型-30用 同等品以上
P3部 歩道部



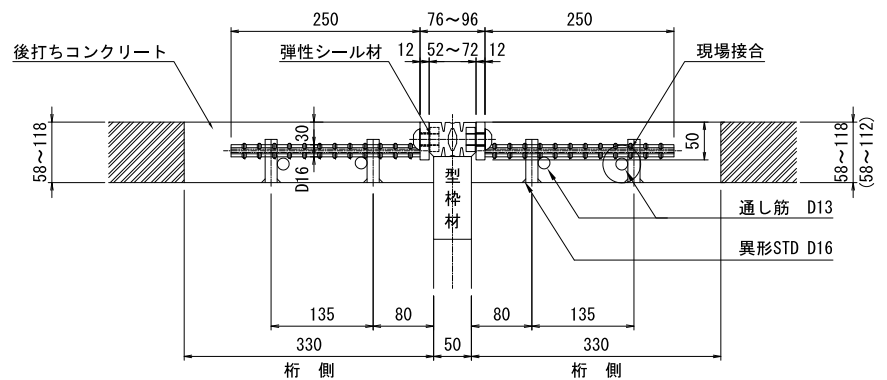
プロフジョイントN×型-20用 同等品以上
A1, A2部 歩道部 既設



プロフジョイントN×型-40用 同等品以上
P4部 歩道部



プロフジョイントN×型-20用 同等品以上
P1, P2, P5, P6部 歩道部



※ () 内寸法はP2を示す。

伸縮装置の現地設置基準

伸縮装置タイプ	架設時温度t(°C)		
	t<15	25≧t≧15	25<t
プロフジョイントN×型-20用	64	62	60
プロフジョイントN×型-30用	81	77	73
プロフジョイントN×型-40用	106	100	94

※架設時温度は現地での平均気温

材料表

名 称	材 質	A1, A2側	P1, P5, P6側	P2側	P3側	P4側	Σ合計	備 考	出荷マーク
		長さ	長さ	長さ	長さ	長さ			
プロフジョイントN×型-20用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345	2.000 m					8.000 m	22.1kg/m	F1 (A1, A2)
		2.000 m							F2 (A1, A2)
(通し筋 D13)	SD345	8*2.000 m					37.180 m		伸縮本体に仮組込し出荷
		1*2.590 m							
プロフジョイントN×型-20用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345		2.000 m	1.570 m			15.570 m	22.1kg/m	M1 (P1, P2, P5, P6)
			2.000 m	2.000 m					M2 (P1, P2, P5, P6)
(通し筋 D13)	SD345		8*2.000 m	4*1.570 m			62.280 m		伸縮本体に仮組込し出荷
				4*2.000 m					
プロフジョイントN×型-30用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345				2.000 m		4.000 m	22.7kg/m	M1 (P3)
					2.000 m				M2 (P3)
(通し筋 D13)	SD345				8*2.000 m		16.000 m		伸縮本体に仮組込し出荷
プロフジョイントN×型-40用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345					1.570 m	3.570 m	23.6kg/m	M1 (P4)
						2.000 m			M2 (P4)
(通し筋 D13)	SD345					4*1.570 m	14.280 m		伸縮本体に仮組込し出荷
						4*2.000 m			
地覆目地用シール材	バックアップ材	0.500 m	0.700 m	0.700 m	0.700 m	0.700 m	5.200 m		ウレタンフォーム 75*75
	プライマー材						1 瓶		※2 プライマー
	シリコンシール材	0.75 リッター	0.88 リッター	0.88 リッター	0.88 リッター	0.88 リッター	6.78 リッター		STシールA
工場取付	桁側異形STD D16×90	SD345	34 本	68 本	60 本	68 本	60 本	460 本	※1

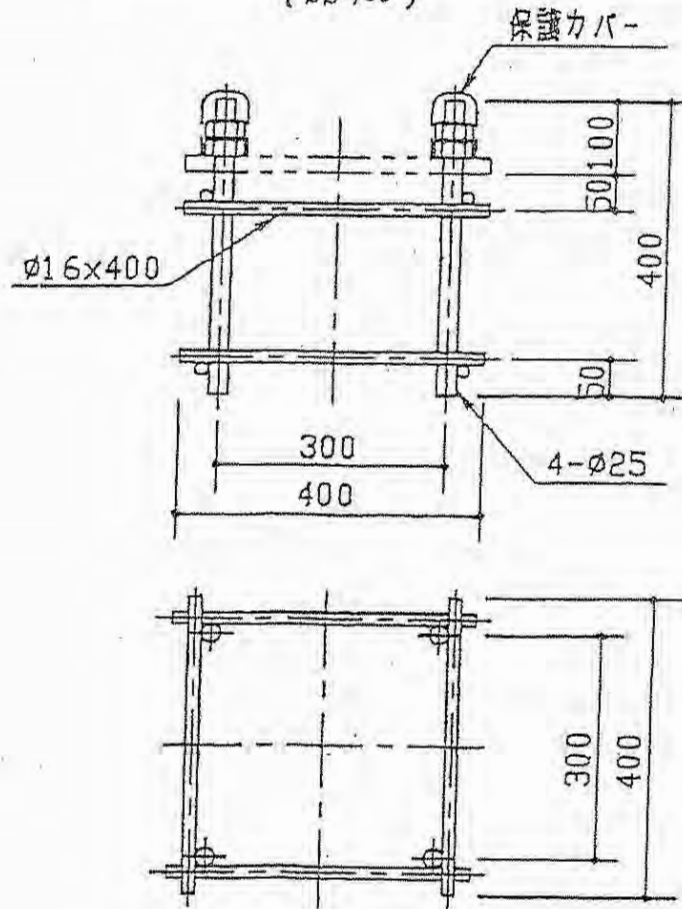
現場施工	材 質	規格	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位				
橋台側アンカー筋	SD345	D16×450	10	本				20	本					
橋台側アンカー筋	SD345	D16×210	10	本				20	本					
橋台側アンカー筋	SD345	D16×50	12	本				24	本	差筋アンカー				
型枠材										発砲スチロール材				
後打コンクリート	σck=24N/mm2		0.254	m³	0.232	m³	0.200	m³	0.232	m³	0.200	m³	1.836	m³

- ※1 伸縮装置の高さ調整後、所定高さにて現地で切断する。
- ※2 地覆シール材施工と伸縮継手部ゴム断面への塗布に利用
- ※3 橋台のコンクリート強度が24N/mm2を超える場合には、後打ちコンクリート強度は橋台のコンクリート強度以上とする。
- ※4 本図面は、仕様を規定するものであり、製品を指定するものではない。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30~31年度	図面番号
事業名	
路線名	一般府道 相川停車場線
河川名	一般河川 淀川水系 安成川
工事名	一般府道 相川停車場線 新大阪橋歩道拡幅設計業務
施工地名	吹田市南高浜町地内
図面名	伸縮継手詳細図 (その2)
縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所	

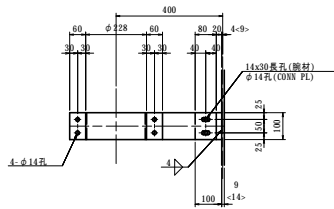
アンカーボルト詳細図 S=1/10
(SS400)



上部工排水装置 (その6) s=1:10

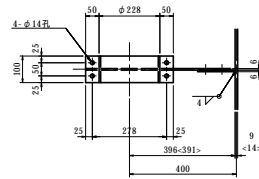
取付金具詳細図

S1-1<S1-2>
製作数:5<4>

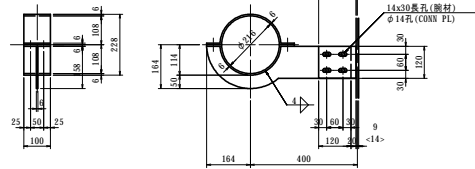


- ※ 1-PL 100x6x100 (SM400AW)
- 1-FB 100x6x262<257>
- 2-FB 100x6x462
- 2-BN M2x40 (2-WF)
- 4-BN M2x35 (2-WF)

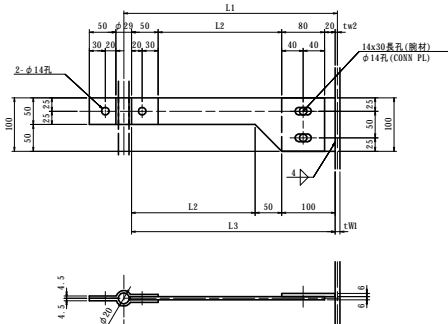
S2-1<S2-2>
製作数:18<4>



- ※ 1-PL 120x6x140 (SM400AW)
- 1-PL 158x6x540<535>
- 2-FB 100x6x446
- 8-BN M2x35 (2-WF)



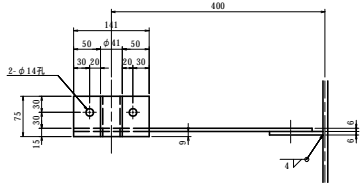
S3-1~S3-3 s=1:5
製作数:n



- ※ 1-PL 100x6x100 (SM400AW)
- 2-BN M2x35 (2-WF)
- 1-PL 100x6xL1
- 2-FB 50x4.5x135
- 1-BN M2x30 (2-WF)
- 1-BN M2x40 (2-WF)

	L1	L2	L3	L4	tw1	tw2	n
S3-1	550	381.5	531.5	512	9	4	3
S3-2	400	231.5	381.5	382	9	4	3
S3-3	550	376.5	526.5	507	14	9	1

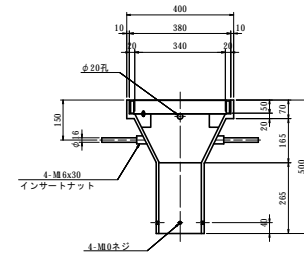
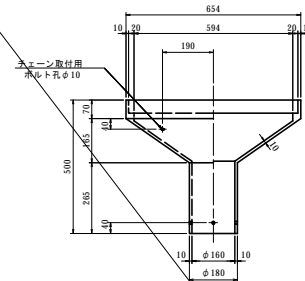
S4-1<S4-2> s=1:5
製作数:20<4>



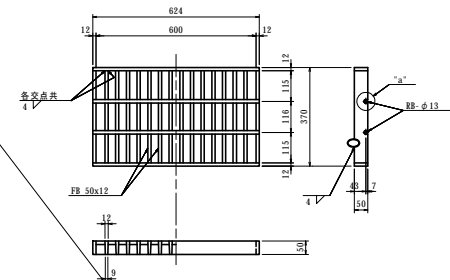
- ※ 1-PL 100x6x100 (SM400AW)
- 2-BN M2x35 (2-WF)
- 1-PL 100x6x447<442>
- 2-FB 75x4.5x156
- 2-BN M2x30 (2-WF)

排水樹詳細図

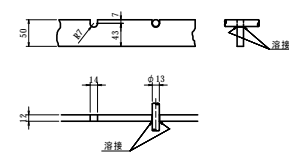
製作数:6



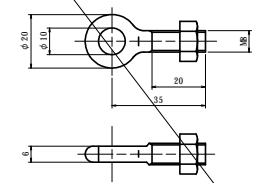
樹蓋詳細図



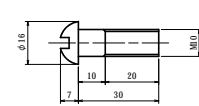
"a"部詳細図 s=1:5



チェーン取付用ボルト詳細図 s=1:1



ビス (M10x30) 詳細図 s=1:1



- 注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 普通ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 3. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキを施す。
亜鉛の付着量は、JIS H 8 6 4 1 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナットおよび板厚
6.0mm未満の部材は、HDZ35とする。

排水樹材料表

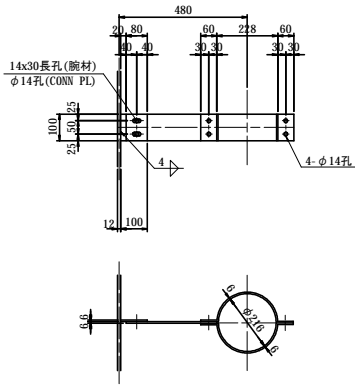
符号	品名	材質	数量	質量(kg)	備考
1	本体	FC250	1	56.5	
2	グレーチング	SS400	1	30.0	亜鉛メッキ
3	ビス	SS400	4	0.1	亜鉛メッキ
4	チェーン取付ボルト	SS400	1	0.1	亜鉛メッキ
5	チェーン	SS400	1	0.2	亜鉛メッキ L=300
1期分合計				86.9	kg

平成 26 年度		図面番号
事業名	安威川ダム左岸道路	
路線名	安威川ダム左岸道路 橋梁建設費負担(5年償)	
工事名	安威川ダム左岸道路 橋梁建設費負担(5年償)	
施工地名	茨木市大字生保地内	
図面名	上部工排水装置 (その6)	冊次 図示
大阪府安威川ダム建設事務所		

取付金具詳細

(S1) ~ (S8)

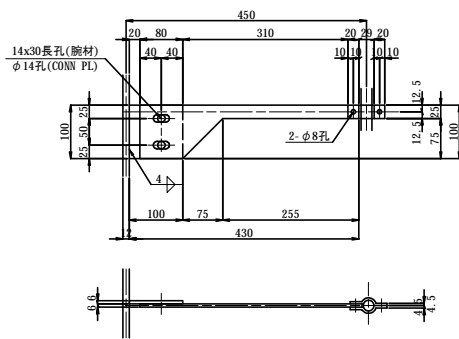
(製作数: n)



- ※ 1 - PL 100 x 6 x 100 (SM400AW)
- 1 - FB 100 x 6 x LL1
- 2 - FB 100 x 6 x 466
- 2 - BN M2 x 40 (2-W付)
- 4 - BN M2 x 35 (2-W付)

	L1	LL1	n
S1	468	328	1
S2	510	370	1
S3	455.2	315	1
S4	480	340	5
S5	599.9	460	1
S6	452.1	312	1
S7	455.4	315	1
S8	410	270	5

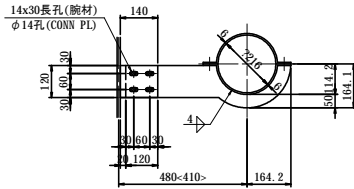
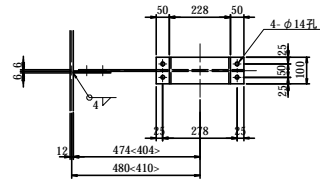
(S9) S=1:5
(製作数: 4)



- ※ 1 - PL 100 x 6 x 100 (SM400AW)
- 2 - BN M2 x 35 (2-W付)
- 1 - PL 100 x 6 x 410
- 2 - FB 25 x 4.5 x 78
- 2 - BN M6 x 30 (2-W付)

(B1) , (B2)

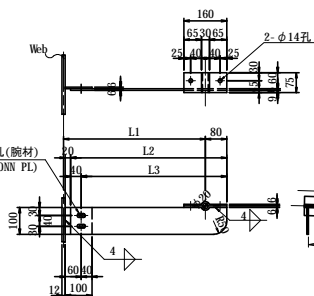
(製作数: 37<41>)



- ※ 1 - PL 120 x 6 x 140 (SM00A)
- 1 - PL 158 x 6 x 618<548>
- 2 - FB 100 x 6 x 449
- 8 - BN M2 x 40 (2-W付)

(B3) ~ (B7)

(製作数: n)



- ※ 1-PL 100 x 6 x 100 (SM00A)
- 2-PL 75 x 6 x 162 (SM00A)
- 1-PL 100 x 6 x LL1 (SM00A)
- 4-BN M2 x 35 (2-W付)

	L1	L2	L3	LL1	n
B3	599.9	653.9	613.9	654	1
B4	749.9	803.9	763.9	804	1
B5	450	504	464	504	2
B6	480	534	494	534	6
B7	410	464	424	464	6

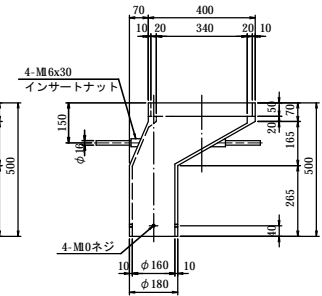
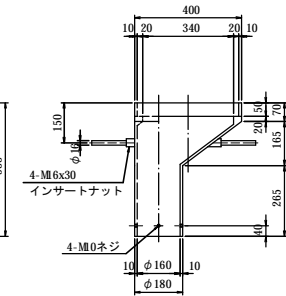
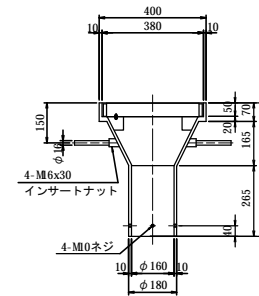
排水柵詳細

(製作数: 各1)

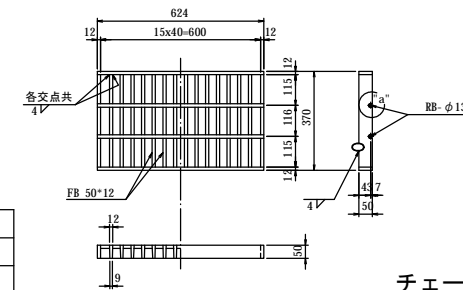
DL1, DR1, DR2用

DL2, DL3, DR3~DR6用

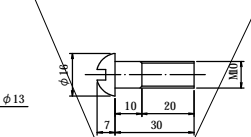
DL4~DL6用



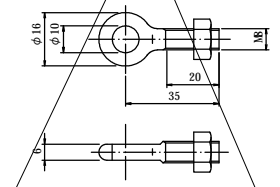
柵蓋詳細図



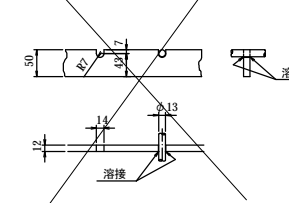
Biss (M0*30) 詳細図 S=1:1



チェーン取付用ボルト詳細図 S=1:1



"a"部詳細 S=1:5



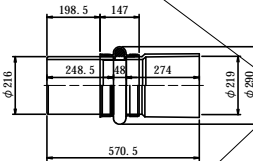
符号	品名	材質	数量	重量	備考
1	本体	FC250	1	56.5	
2	グレーチング	SS400	1	30.0	垂鉛メッキ
3	ビス	SS400	4	0.1	垂鉛メッキ
4	チェーン取付ボルト	SS400	1	0.1	垂鉛メッキ
5	チェーン	SS400	1	0.2	L=300 垂鉛メッキ
1組分合計					86.9kg

伸縮継手詳細

EX1

製作数: 8

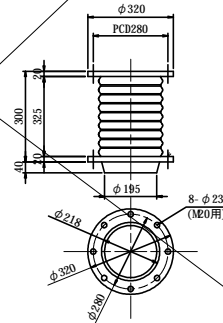
MECジョイント JA-1相当品



EX2

製作数: 4

フレキシブルジョイント G5型



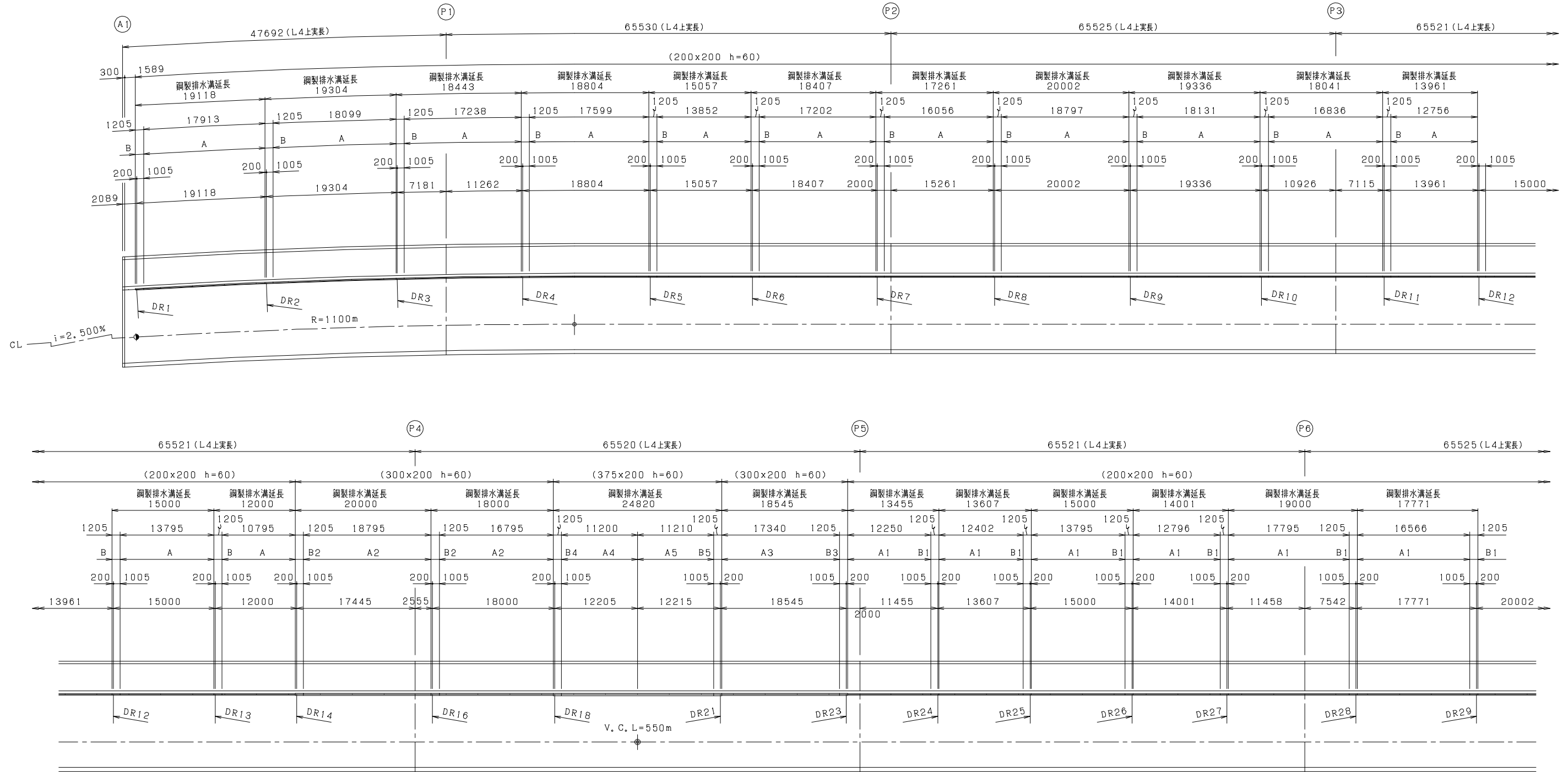
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは全て締め止めナットを使用すること。
 3. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。垂鉛の付着量は、JIS H8641 HZ55とする。但し、ボルト・ナット及びひばり厚6.0mm未満の部材はHZ35とする。

平成 25 年度		図面番号	/
事業名	河川 安威川ダム左岸道路		
路線名	茨木市大学生保		
工事名	上部工排水装置 (その6)		
施工地名	図示		
図面名	大阪府 安威川ダム建設事務所	竣工	図示

鋼製排水溝 (その1)

鋼製排水溝設置図 S=1/300

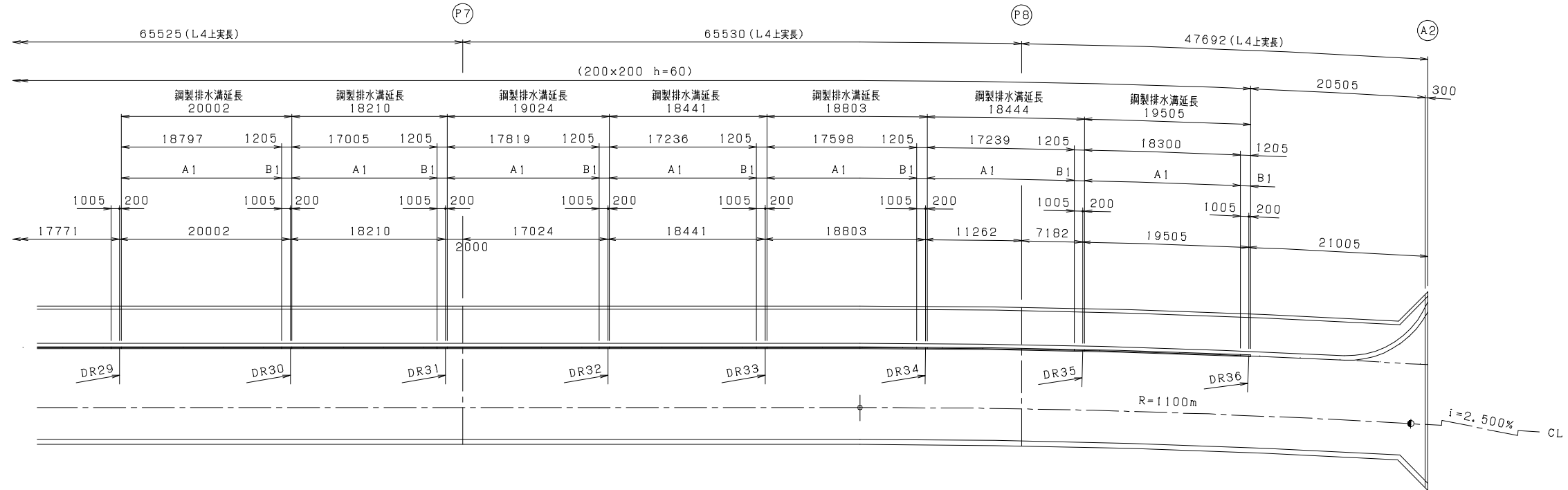
※ 鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。(縦断勾配考慮)



鋼製排水溝 (その2)

鋼製排水溝設置図 S=1/300

※ 鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。(縦断勾配考慮)



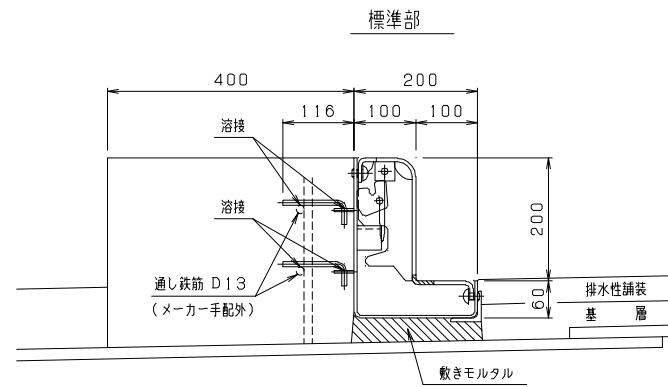
鋼製排水溝 数量表

ドレン符号	寸法	延長(m)	記事
A	200x200 h=60	209.069	標準部
B	200x200 h=60	15.665	流末部、End PL付
A1	200x200 h=60	209.598	標準部
B1	200x200 h=60	15.665	流末部、End PL付
A2	300x200 h=60	35.590	標準部
B2	300x200 h=60	2.410	流末部、End PL付
A3	300x200 h=60	17.340	標準部
B3	300x200 h=60	1.205	流末部、End PL付
A4	375x200 h=60	11.200	標準部
B4	375x200 h=60	1.205	流末部、End PL付
A5	375x200 h=60	11.210	標準部
B5	375x200 h=60	1.205	流末部、End PL付
流末排水管 - 1		26ヶ所	
流末排水管 - 2		5ヶ所	
流末排水管 - 3		31ヶ所	
流末排水管 - 4		31ヶ所	
合計		531.362	

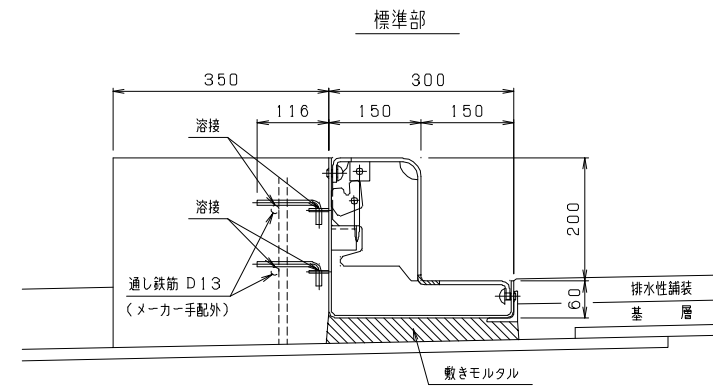
※ hは、鋼製排水溝の埋込深さを示す。

- 仕様特記
- 製品の表面処理は「溶融亜鉛・アルミニウム合金めっき (Mg入り)」とし亜鉛付着量 350 g/m² (50 μm) 以上とする。
(主要部材の平均付着量とします)
 - その上にナイロンコーティング (ナイロン12) を平均膜厚 300 μm 以上とする。
 - フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能な事。
 - フタは跳ね上がり防止機能を有し、跳ね上がり防止機能は流水範囲に位置しない事。
 - フタ補強リブ付きタイプは、流末方向に所定の間隔毎に取付け流水を妨げない事。

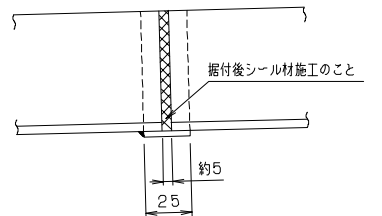
鋼製排水溝断面図 S=1/6



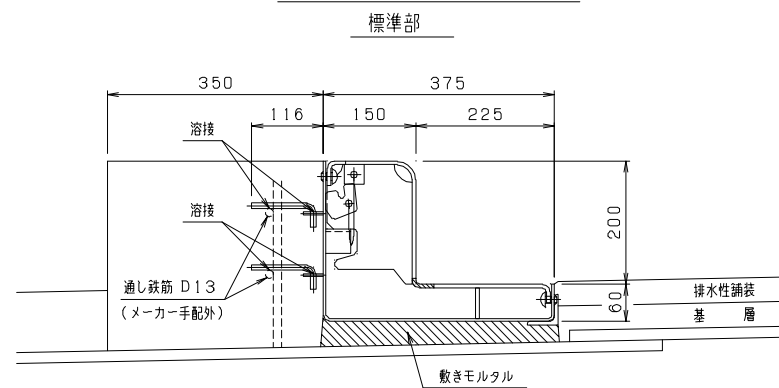
鋼製排水溝断面図 S=1/6



継ぎ手目地詳細図

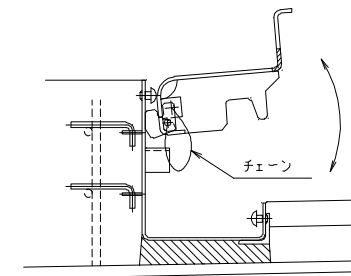


鋼製排水溝断面図 S=1/6



清掃時断面図 S=1/6

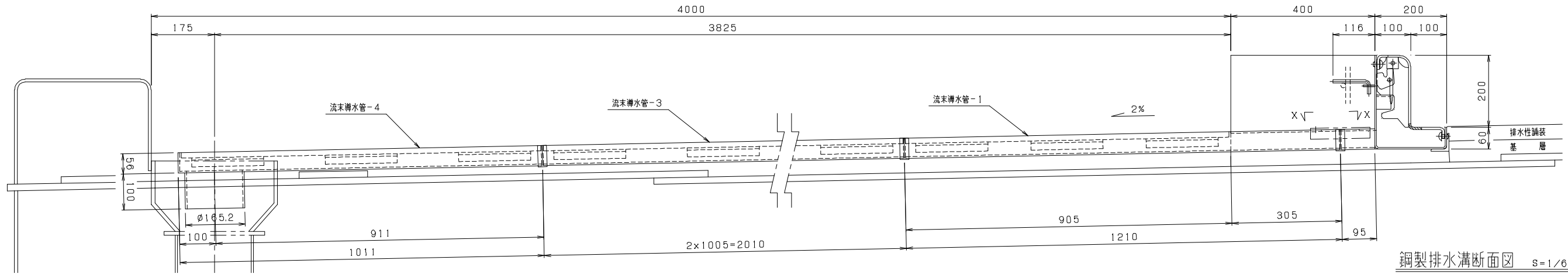
※フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能
※フタは跳ね上がり防止機能付き



鋼製排水溝（その3）

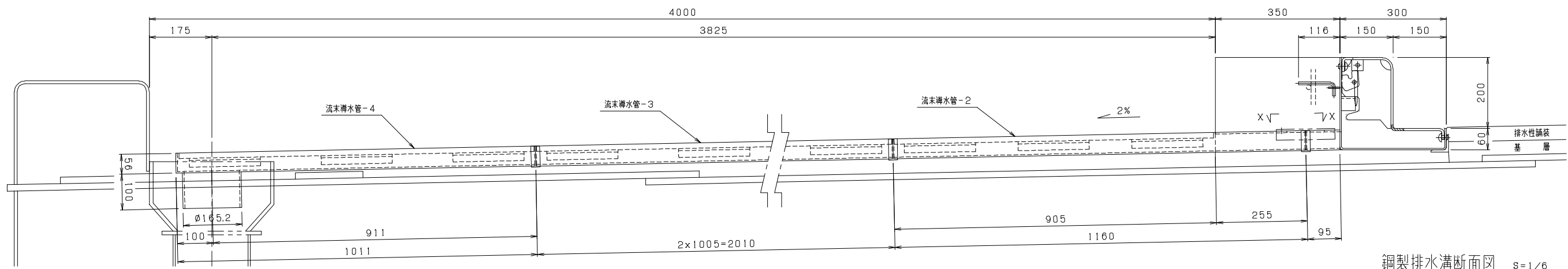
鋼製排水溝断面図 S=1/6

流末部 DR1~DR13、DR24~DR36



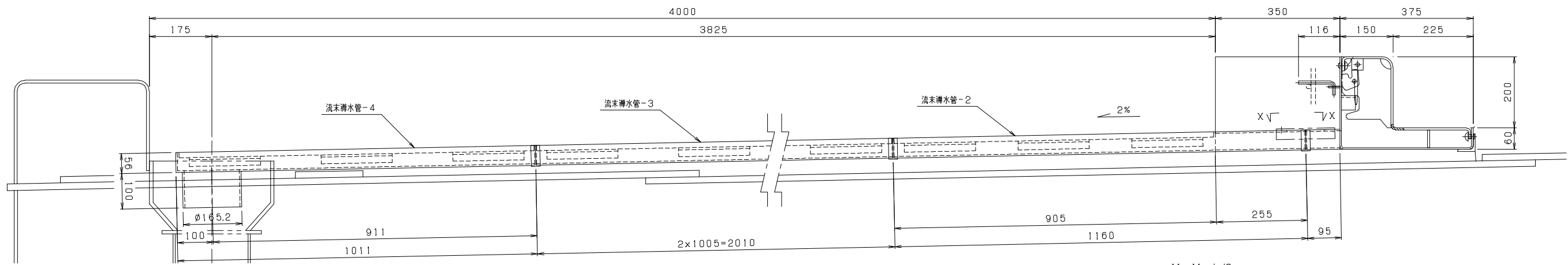
鋼製排水溝断面図 S=1/6

流末部 DR14、DR16、DR23

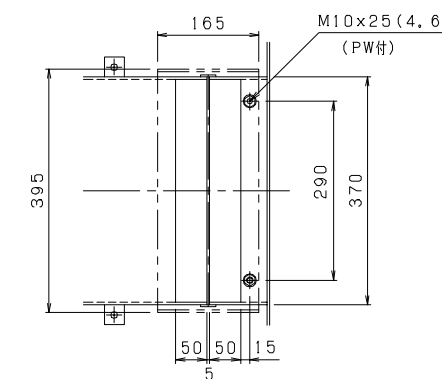


鋼製排水溝断面図 S=1/6

流末部 DR18、DR21



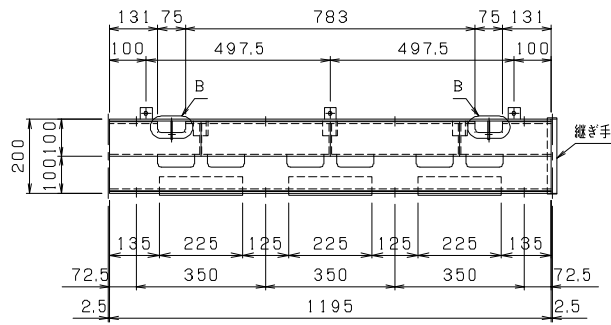
X-X 矢視



鋼製排水溝 (その4)

鋼製排水溝詳細図 S=1/10

A-200x200x1200
h=60 標準部

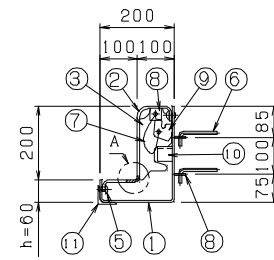


材料表 A-200x200x1200 h=60

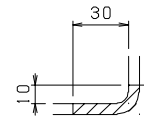
符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 520x4.5x1195	22.0
2	1-PL 457x6.0x1195	25.7
3	3-PL 194x6.0x87.5	1.60
4	1-PL 25x3.0x520	0.31
5	8-Bolt M12x18 (角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
6	6-RB φ9x135	0.40
7	1-Chain φ4x200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32x4.5x32	0.28
9	2-PL 50x4.5x56	0.13
10	3-L 40x40x5.0x40	0.36
11	3-L 50x50x6.0x225	2.99
総重量		54.1
m重量		45.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

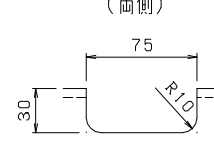
※ A1- 200x200x1200 h=60 ... 54.1kg (45.1kg/m)
A1は、Aに対して線対称とする。



A部詳細図

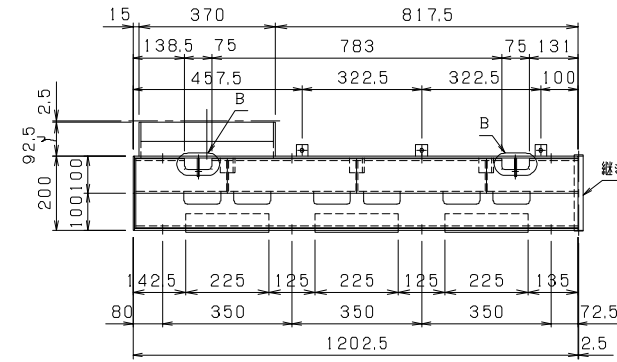


B部詳細図



鋼製排水溝詳細図 S=1/10

B-200x200x1205
h=60 流末部

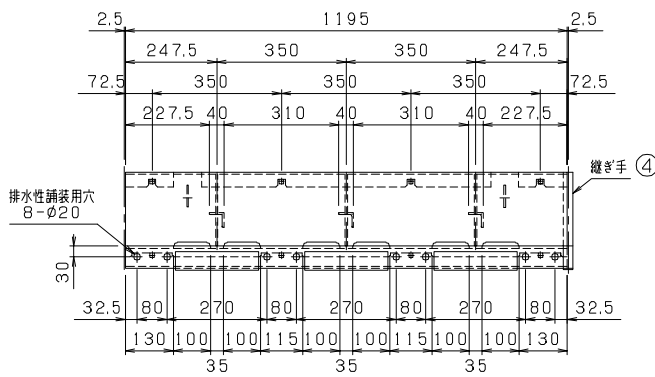
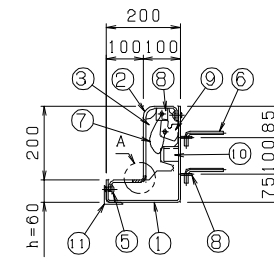


材料表 B-200x200x1205 h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 520x4.5x1202.5 (End PL付)	23.1
2	1-PL 457x6.0x1195	25.7
3	3-PL 194x6.0x87.5	1.60
4	1-PL 25x3.0x520	0.31
5	8-Bolt M12x18 (角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
6	6-RB φ9x135	0.40
7	1-Chain φ4x200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32x4.5x32	0.28
9	2-PL 50x4.5x56	0.13
10	3-L 40x40x5.0x40	0.36
11	3-L 50x50x6.0x225	2.99
12	PL 370x56x4.5x92.5	2.78
総重量		58.0
m重量		48.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ B1- 200x200x1205 h=60 ... 58.0kg (48.1kg/m)
B1は、Bに対して線対称とする。

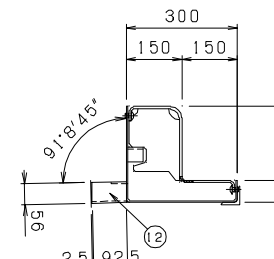
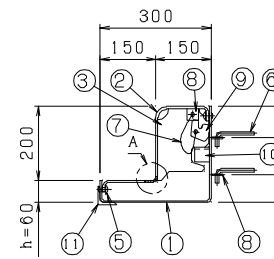


材料表 A2-300x200x1200 h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 620x4.5x1195	26.2
2	1-PL 557x6.0x1195	31.4
3	3-PL 194x6.0x137.5	2.80
4	1-PL 25x3.0x620	0.37
5	8-Bolt M12x18 (角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
6	6-RB φ9x135	0.40
7	1-Chain φ4x200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32x4.5x32	0.28
9	2-PL 50x4.5x56	0.13
10	3-L 40x40x5.0x40	0.36
11	3-L 50x50x6.0x225	2.99
総重量		65.3
m重量		54.4

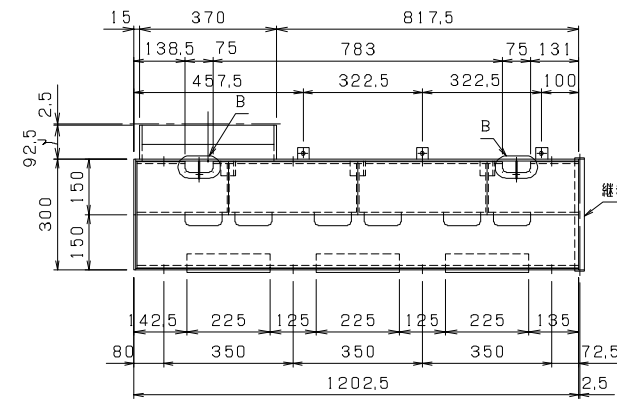
※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ A3- 300x200x1200 h=60 ... 65.3kg (54.4kg/m)
A3は、A2に対して線対称とする。



鋼製排水溝詳細図 S=1/10

B2-300x200x1205
h=60 流末部

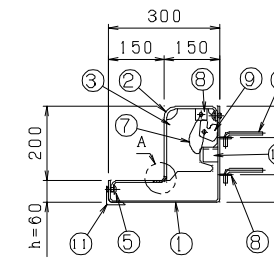


材料表 B2-300x200x1205 h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 620x4.5x1202.5 (End PL付)	27.9
2	1-PL 557x6.0x1195	31.4
3	3-PL 194x6.0x137.5	2.80
4	1-PL 25x3.0x620	0.37
5	8-Bolt M12x18 (角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
6	6-RB φ9x135	0.40
7	1-Chain φ4x200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32x4.5x32	0.28
9	2-PL 50x4.5x56	0.13
10	3-L 40x40x5.0x40	0.36
11	3-L 50x50x6.0x225	2.99
12	PL 370x56x4.5x92.5	2.78
総重量		69.8
m重量		57.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

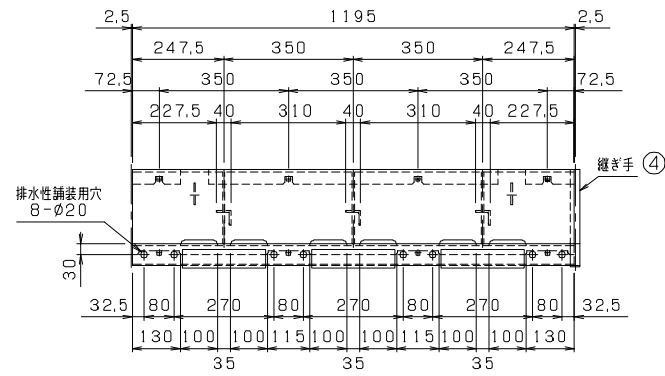
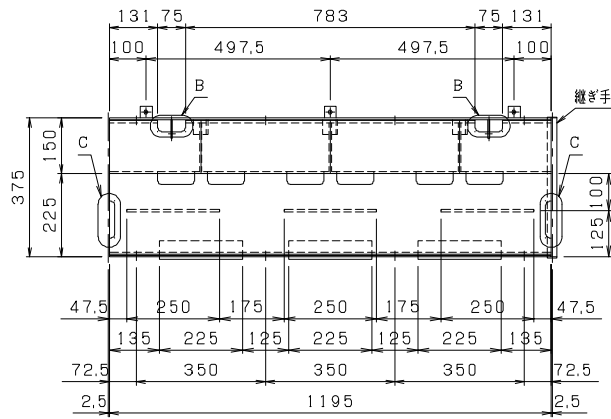
※ B3- 300x200x1205 h=60 ... 69.8kg (57.9kg/m)
B3は、B2に対して線対称とする。



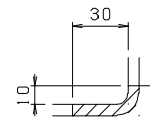
鋼製排水溝 (その5)

鋼製排水溝詳細図 s=1/10

A4-375x200x1200
h=60 標準部



A部詳細図

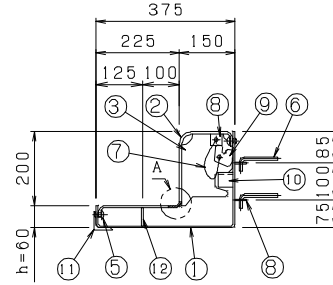


材料表 A4-375x200x1200 h=60

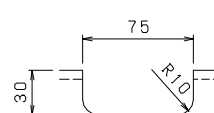
符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 695X4.5X1195	29.3
2	1-PL 632X6.0X1195	35.6
3	3-PL 194X6.0X137.5	2.80
4	1-PL 25X3.0X695	0.41
5	8-Bolt M12X18 (角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
6	6-RB ϕ 9X135	0.40
7	1-Chain ϕ 4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
12	3-PL 49.5X6.0X250	1.74
総重量		74.4
m重量		62.0

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

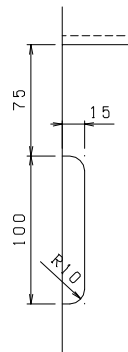
※ A5-375x200x1200 h=60 ... 74.4kg (62.0kg/m)
A5は、A4に対して線対称とする。



B部詳細図 (両側)

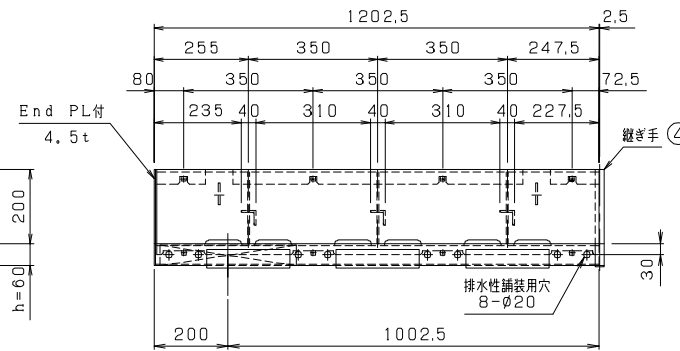
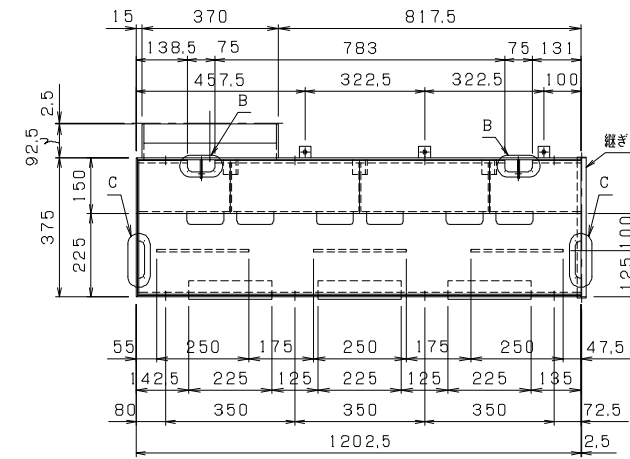


C部詳細図 (両側)



鋼製排水溝詳細図 s=1/10

B4-375x200x1205
h=60 流末部

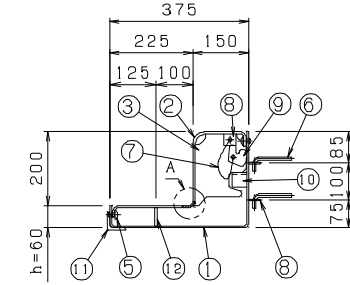


材料表 B4-375x200x1205 h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 695X4.5X1202.5 (End PL付)	31.3
2	1-PL 632X6.0X1195	35.6
3	3-PL 194X6.0X137.5	2.80
4	1-PL 25X3.0X695	0.41
5	8-Bolt M12X18 (角根丸頭ボルト) (4, 6)	0.24
6	6-RB ϕ 9X135	0.40
7	1-Chain ϕ 4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
12	3-PL 49.5X6.0X250	1.74
13	PL 370x56x4.5x92.5	2.78
総重量		79.1
m重量		65.6

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ B5-375x200x1205 h=60 ... 79.1kg (65.6kg/m)
B5は、B4に対して線対称とする。

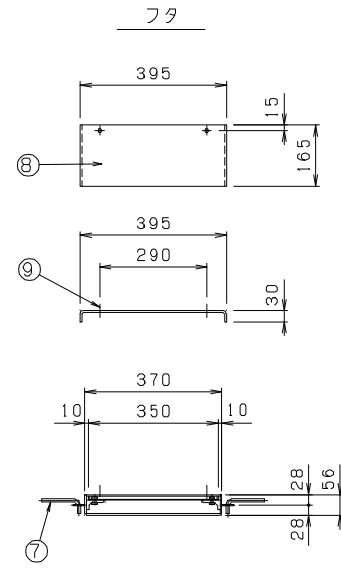
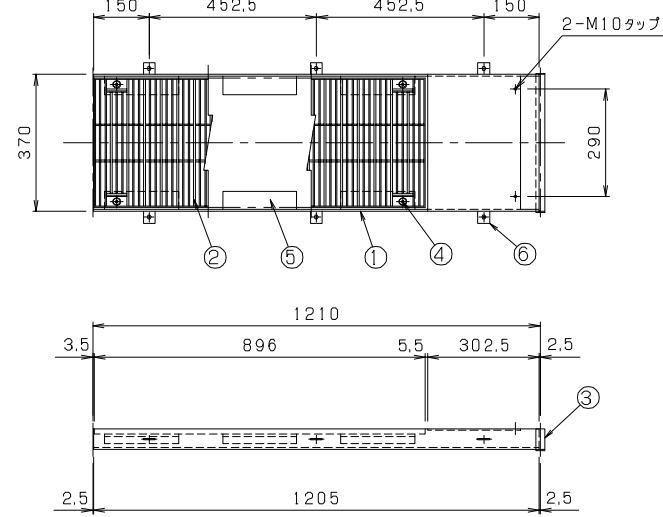


B部詳細図 (両側)



鋼製排水溝 (その6)

流末導水管-1 詳細図 S=1/10

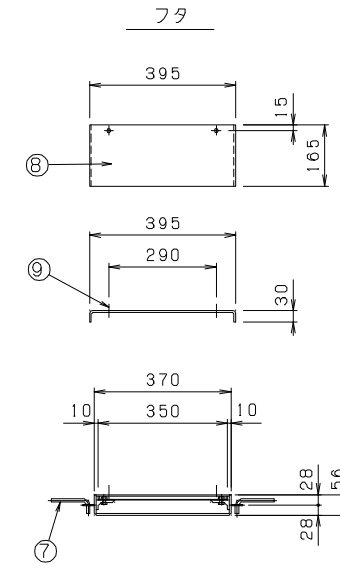
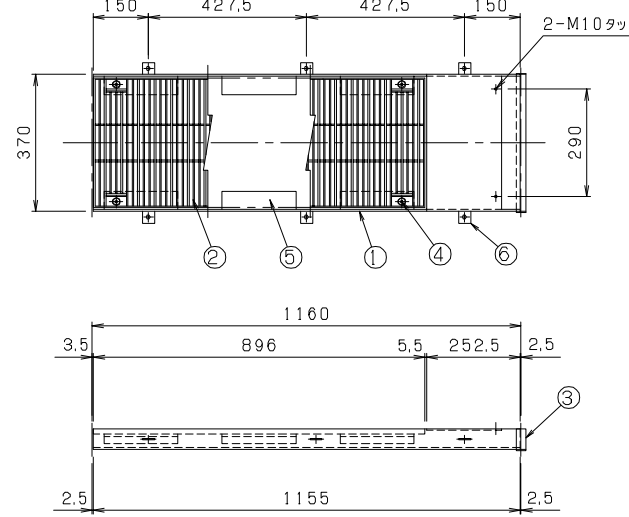


材料表 流末導水管-1

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1205	23.8
2	1-グレーチング 350X15X896 (SUS)	11.2
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付 (SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB $\phi 9$ X135	0.40
8	1-PL 395X30X4.5X165	2.65
9	2-Bolt M10X25 (4.6) PW付	0.06
総重量		44.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

流末導水管-2 詳細図 S=1/10

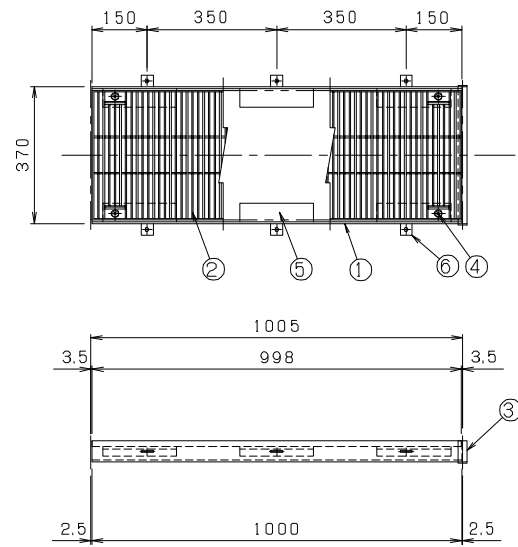


材料表 流末導水管-2

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1155	22.3
2	1-グレーチング 350X15X896 (SUS)	11.2
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付 (SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB $\phi 9$ X135	0.40
8	1-PL 395X30X4.5X165	2.65
9	2-Bolt M10X25 (4.6) PW付	0.06
総重量		42.6

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

流末導水管-3 詳細図 S=1/10

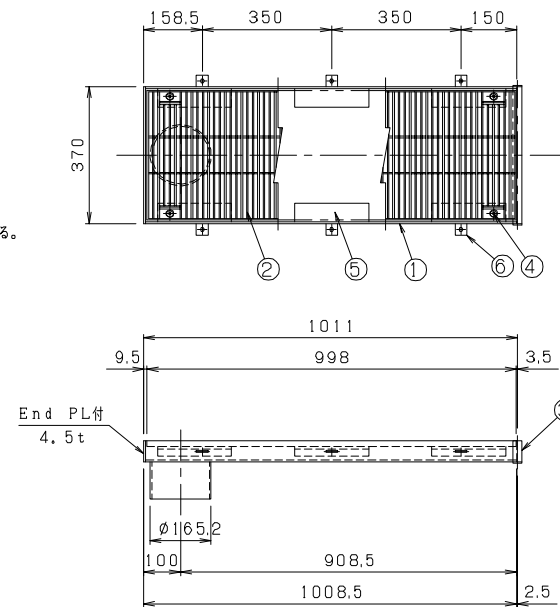


材料表 流末導水管-3

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1000	17.0
2	1-グレーチング 350X15X998 (SUS)	12.5
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付 (SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB $\phi 9$ X135	0.40
総重量		35.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

流末導水管-4 詳細図 S=1/10



材料表 流末導水管-4

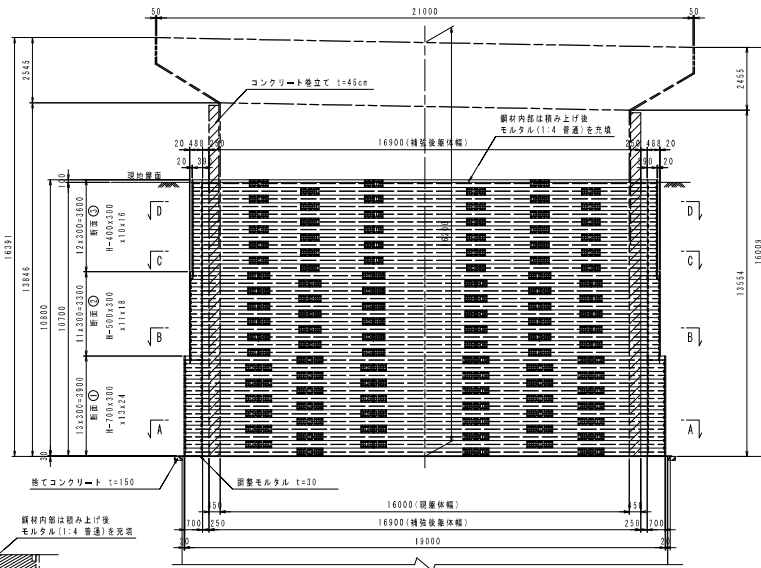
符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1008.5 (End PL付)	17.8
2	1-グレーチング 350X15X998 (SUS)	12.5
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付 (SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB $\phi 9$ X135	0.40
8	1-GP $\phi 165.2$ X5.0X100 (150A:SGP)	1.98
総重量		38.7

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

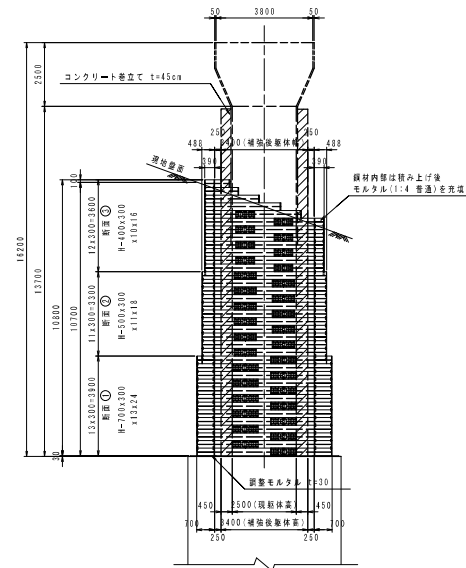
P8橋脚軸管構造図

S=1:100

正面図

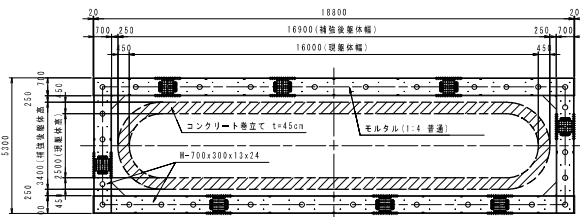


側面図

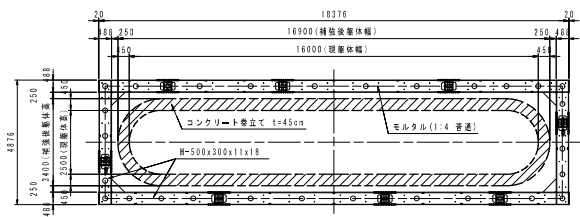


平面図

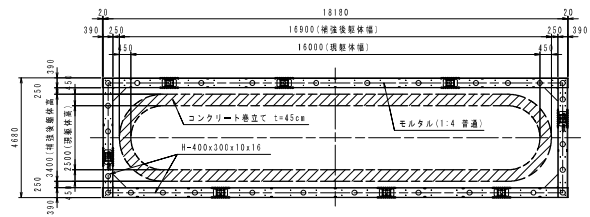
A - A



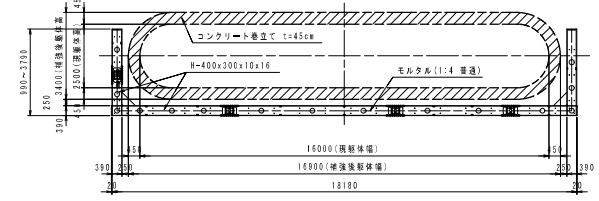
B - B



C - C



D - D

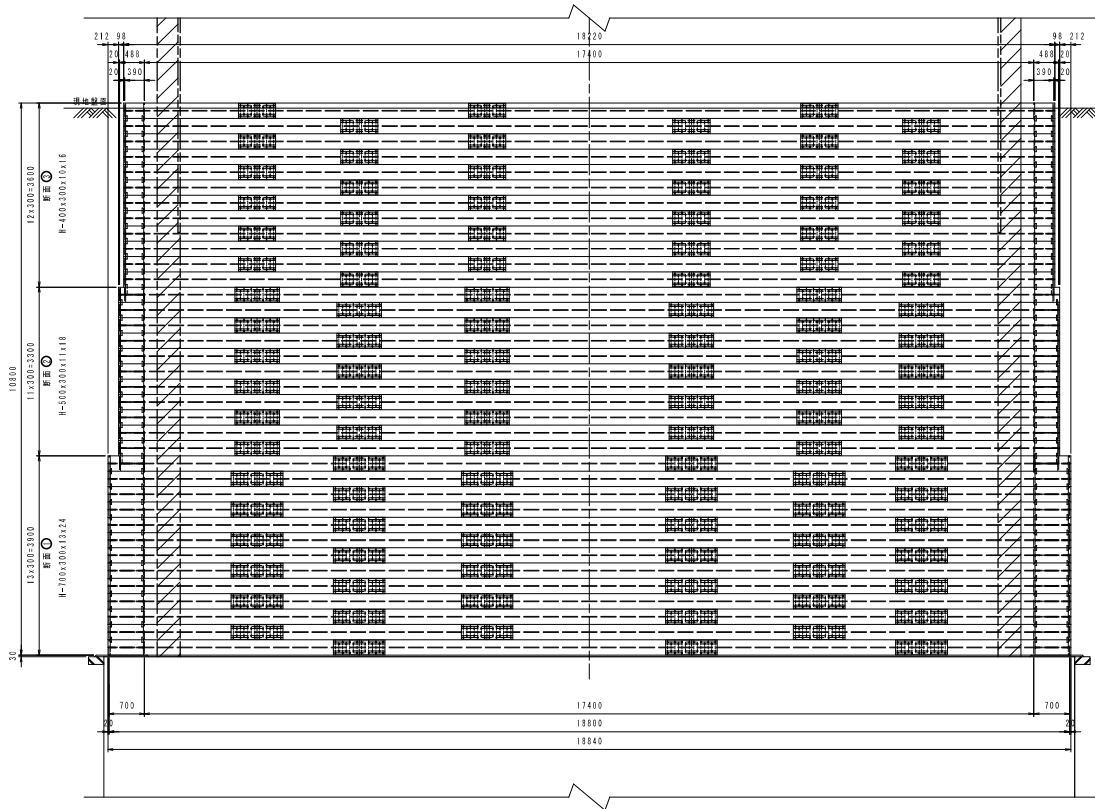


工事名	工事
図面名	P8橋脚軸管構造図
縮尺	図面番号 60 第之内 28
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方教育庁 交川交川事務科	印

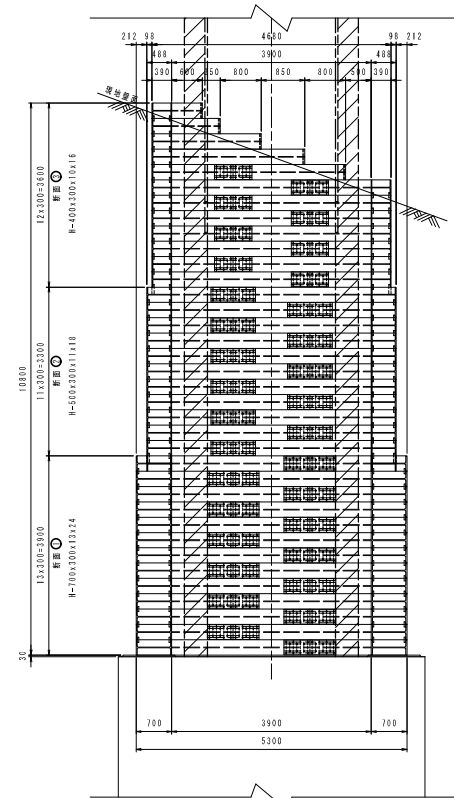
P8橋脚脚管詳細図(その1)

S=1:50

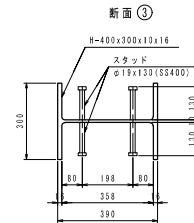
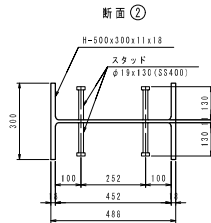
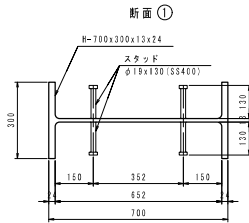
正面図



側面図



断面図 S=1:10



- 注記:
1. 特記なき材質は全てS440Aとする。
 2. 特記なき材料は全て溶接面メッキとする。
規格JIS H8641とし、付着量はH025とする。
ただし、ポルト鋼はH025とする。
(丸径はφ24,5を標準とする。)
 3. ④印はH18 M22 (F81)を表示する。
 4. 施工中に鋼材が腐食した場合は発泡溶剤等の対策を行うこと。

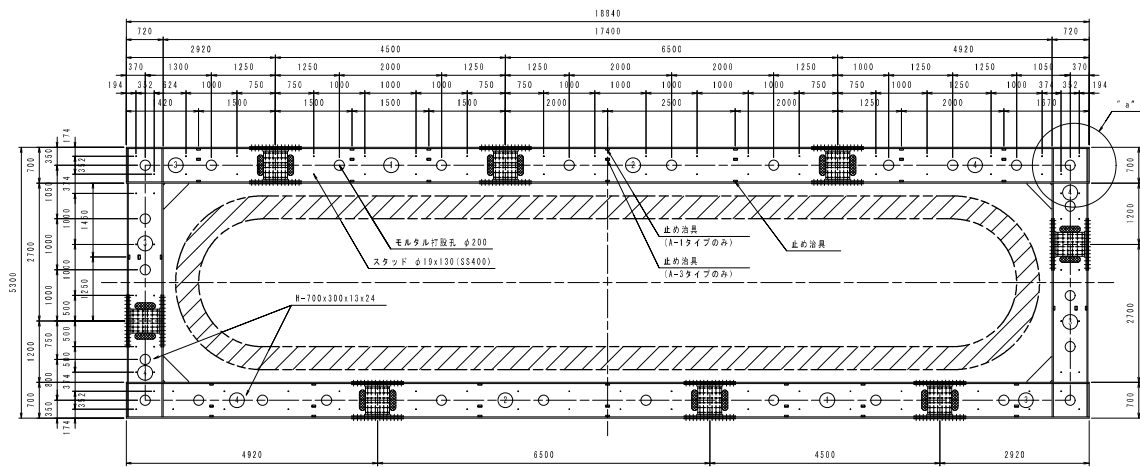
工事名	工事
図面名	P8橋脚脚管詳細図(その1)
縮尺	図示 図面番号 60 裏之内 29
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方教育庁 淀川支川事務所	印

P8橋脚軸管詳細図(その2)

S=1:50

平面図

A-1, A-3タイプ



A-1タイプ

箇所数: 6

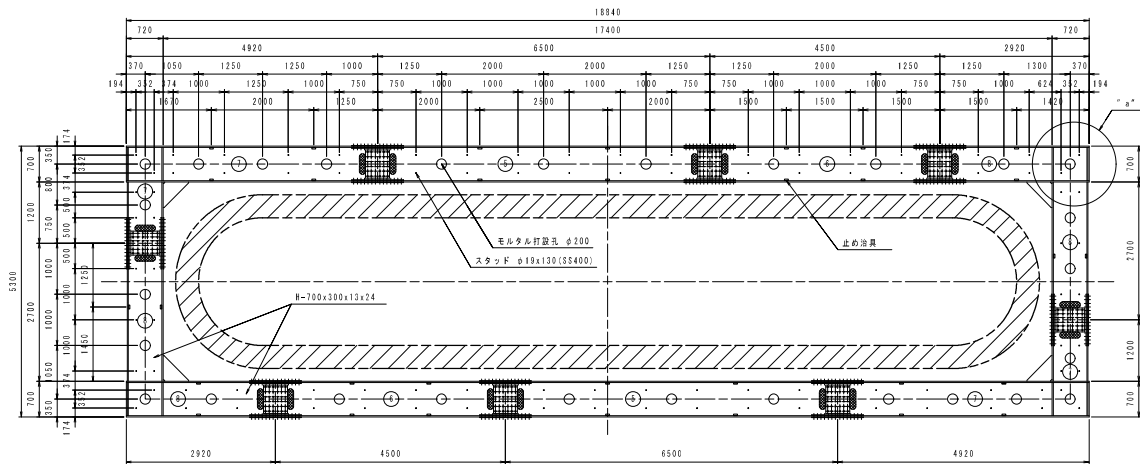
- ① 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x4500
16-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ② 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x6500
24-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ③ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x2920
1-H 700x300x13x24x2700
24-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652
- ④ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x4920
1-H 700x300x13x24x1200
28-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

A-3タイプ

箇所数: 1

- ① 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x4500
16-S1UD φ19x130 (SS400)
2-PL 75x30x100 (SM490B)
2-PL 75x48x194 (SM490C)
- ② 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x6500
24-S1UD φ19x130 (SS400)
2-PL 75x30x100 (SM490B)
2-PL 75x48x194 (SM490C)
- ③ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x2920
1-H 700x300x13x24x2700
24-S1UD φ19x130 (SS400)
2-PL 75x30x100 (SM490B)
2-PL 75x48x194 (SM490C)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652
- ④ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x4920
1-H 700x300x13x24x1200
28-S1UD φ19x130 (SS400)
2-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

A-2タイプ



A-2タイプ

箇所数: 6

- ⑤ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x6500
24-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ⑥ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x4500
16-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ⑦ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x4920
1-H 700x300x13x24x1200
28-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652
- ⑧ 箇所数: 2
1-H 700x300x13x24x2920
1-H 700x300x13x24x2700
24-S1UD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

注:

1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラブはR25とする。
3. 特記なき塗料は全て溶融亜鉛メッキとする。
規格JIS H8641とし、付着量はHDZ5とする。
ただし、ポルトホールはHDZ5とする。
4. 印はH18 R22 (F17)を示す。
(丸径はφ14.5を標準とする。)
5. 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増減させるものとする。
6. 施工中に鋼材が腐食した場合は亜鉛溶剤等の対策を行うこと。
7. 各取組は「P8橋脚軸管詳細図(その1)」を参照する。

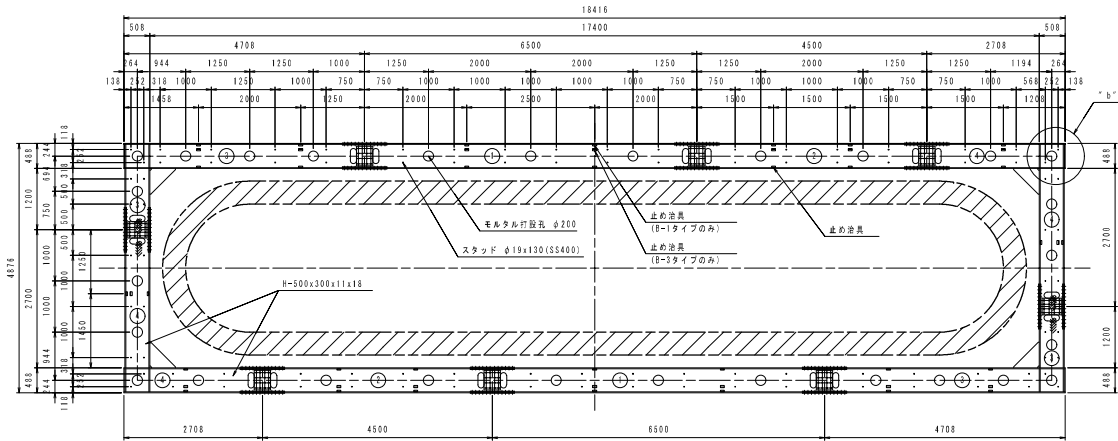
工事名	工事
図面名	P8橋脚軸管詳細図(その2)
縮尺	S=1:50 図面番号 60 裏之内 10
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方整備局 淀川支川事務所	印

P8橋脚軸管詳細図(その3)

S=1:50

平面図

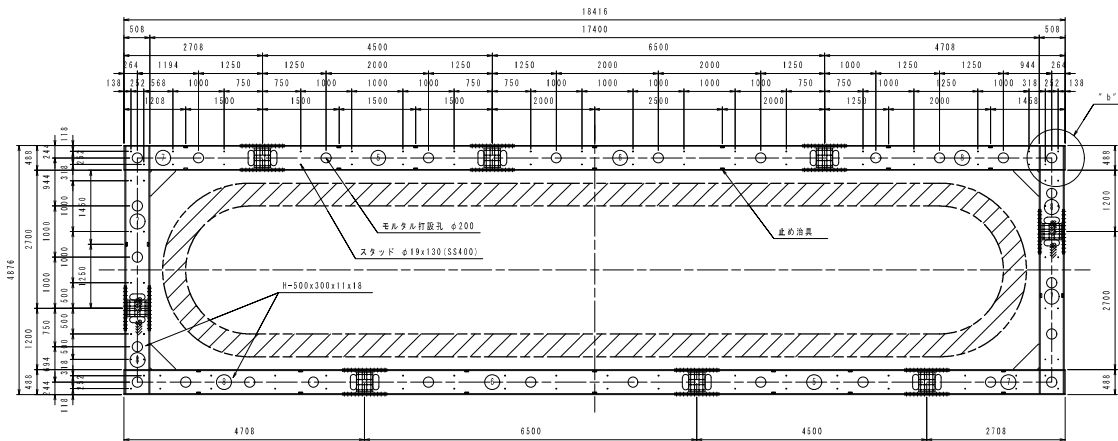
B-1, B-3タイプ



- B-1タイプ
筋筋数:5
- ① 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x6500
24-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ② 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x4500
16-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ③ 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x4708
1-H 500x300x11x18x1200
28-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452
 - ④ 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x2708
1-H 500x300x11x18x2700
24-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

- B-3タイプ
筋筋数:1
- ① 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x6500
1-H 500x300x11x18x4500
16-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
2-PL 75x46x105(SW490C)
 - ② 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x4500
16-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
2-PL 75x46x105(SW490C)
 - ③ 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x4708
1-H 500x300x11x18x1200
28-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x11x500
2-PL 75x46x105(SW490C)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452
 - ④ 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x2708
1-H 500x300x11x18x2700
24-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
2-PL 75x46x105(SW490C)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

B-2タイプ



- B-2タイプ
筋筋数:5
- ① 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x4500
16-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ② 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x6500
24-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ③ 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x2708
1-H 500x300x11x18x2700
24-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452
 - ④ 筋筋数:2
1-H 500x300x11x18x4708
1-H 500x300x11x18x1200
28-ST100 φ19x130(S5400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

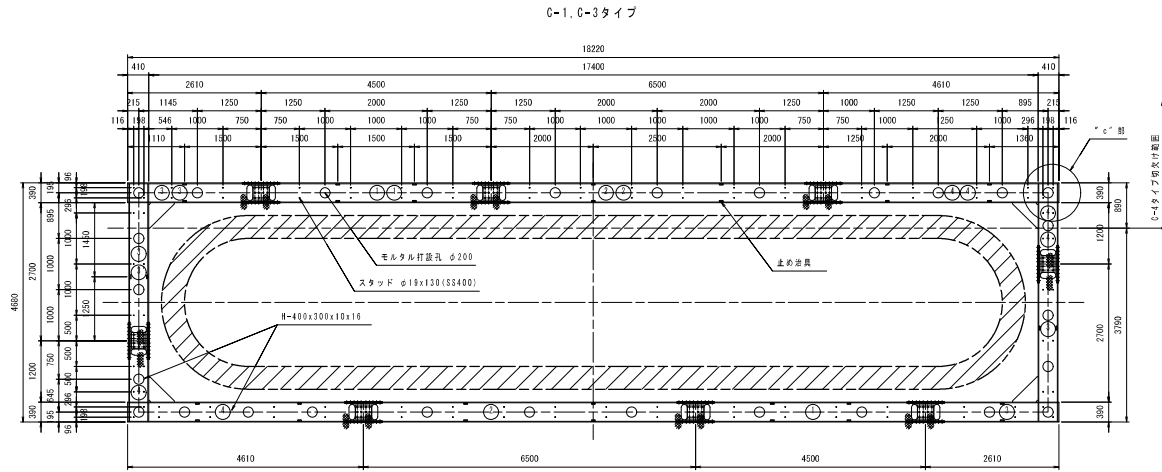
- 注記:
1. 特記なき材質はS490Aとする。
 2. 特記なきスカーラップはR25とする。
 3. 特記なき継手は全て溶接継手とする。
縦横JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
ただし、ポルト鋼はHDZ55とする。
 4. 印はH18 R22(FR1)を示す。
(丸径はφ14.5を標準とする。)
 5. 止め油具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増減させるものとする。
 6. 施工中に鋼材が損傷した場合は溶接溶剤等の対策を行うこと。
 7. 各取組は「P8橋脚軸管詳細図(その1)」を参照する。

工事名	工事
図面名	P8橋脚軸管詳細図(その3)
縮尺	S=1:50 図面番号 60 第 3 頁 之 11
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方整備局 淀川支川事務所	印

P8橋脚脚管詳細図(その4)

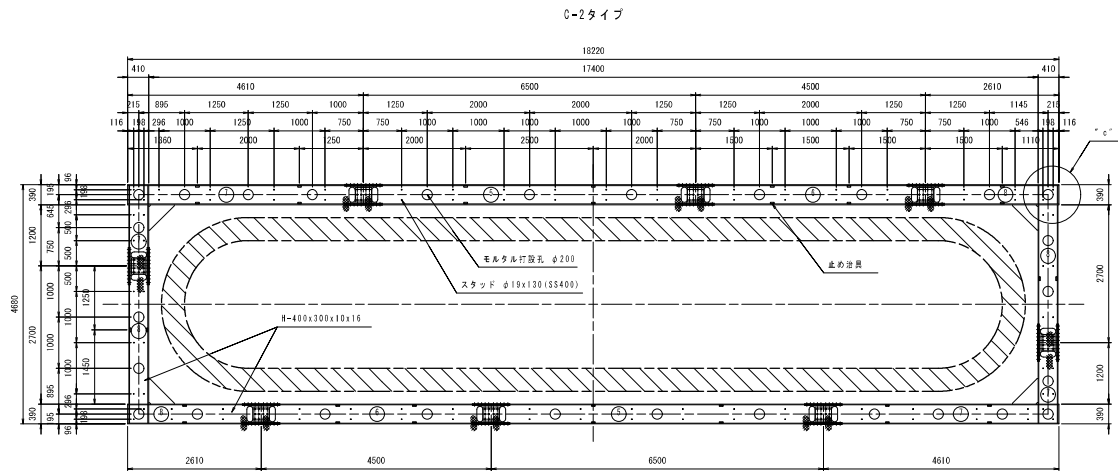
S=1:50

平面図



- 0-1タイプ
箇所数:3
- ① 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ② 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ③ 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x2610
1-M 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358
- ④ 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x4610
1-M 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

- 0-3タイプ
箇所数:1
- ① 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B) (C-4タイプ切欠け範囲なし)
- ② 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B) (C-4タイプ切欠け範囲なし)
- ③ 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x2610
1-M 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B) (C-4タイプ切欠け範囲なし)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358
- ④ 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x4610
1-M 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B) (C-4タイプ切欠け範囲なし)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358



- 0-2タイプ
箇所数:3
- ③ 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ④ 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
- ⑤ 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x4610
1-M 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358
- ⑥ 箇所数:2
1-M 400x300x10x16x2610
1-M 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130 (SS400)
4-PL 75x30x100 (SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

- 0-1タイプ
箇所数:1
- ① 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130 (SS400)
- ② 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130 (SS400)
- ③ 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x2610
1-M 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130 (SS400)
2-PL 75x30x100 (SM490B) (C-4タイプ切欠け範囲なし)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358
- ④ 箇所数:1
1-M 400x300x10x16x4610
1-M 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130 (SS400)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

注記:

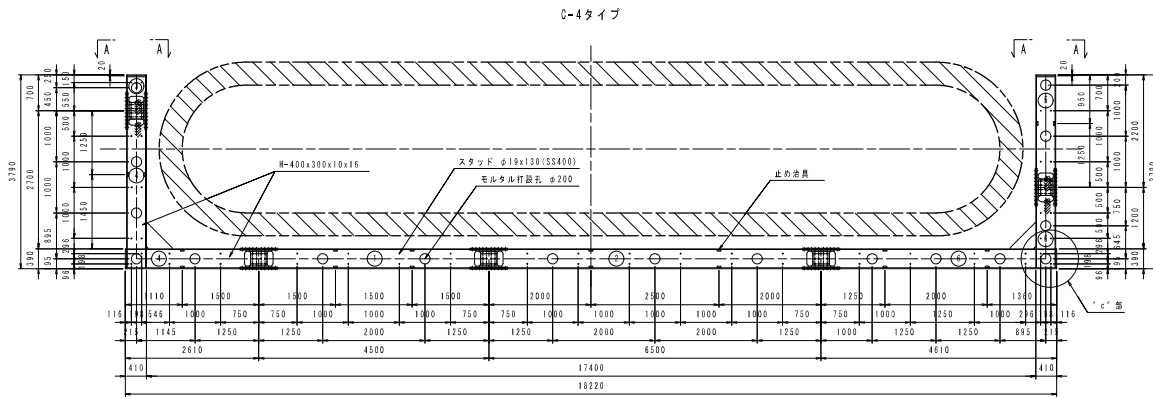
- 特記なき材質は全てSM490Aとする。
- 特記なきスカーリップはR35とする。
- 特記なき継手は全て溶接継手とする。
縦継ぎ IS H8641 とし、付着量はHD255とする。
ただし、ボルト継ぎはHD255とする。
- 印はH18 R22 (F11) を示す。
(丸径はφ14, 5を標準とする。)
- 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増減させるものとする。
- 施工中に鋼材が腐蝕した場合は溶接部溶接等の対策を行うこと。
- 各図詳細は「P8橋脚脚管詳細図(その1)」を参照する。

工事名	工事
図面名	P8橋脚脚管詳細図(その4)
縮尺	S=1:50 図面番号 60 裏之内 12
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方教育庁 淀川支庁事務所	印

P8橋脚軸管詳細図(その5)

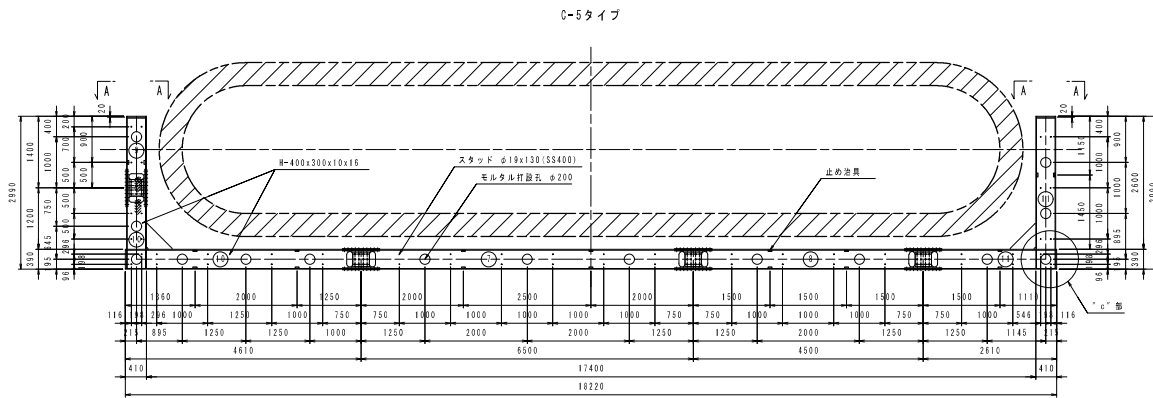
S=1:50

平面図



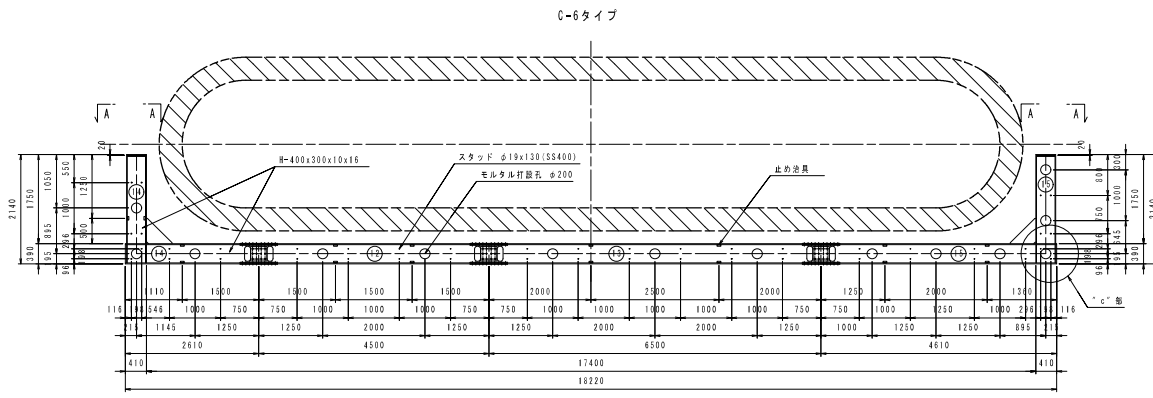
- C-4タイプ
箇所数:1
- ① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x700
4-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 145x16x358

- ④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358
- ⑤ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2200
8-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SW490B)
2-PL 145x16x358
- ⑥ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358



- C-5タイプ
箇所数:1
- ① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x1400
8-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SW490B)
2-PL 145x16x358

- ④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358
- ⑤ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2600
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358



- C-6タイプ
箇所数:1
- ① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
 - ③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x1750
20-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

- ④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1750
20-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SW490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

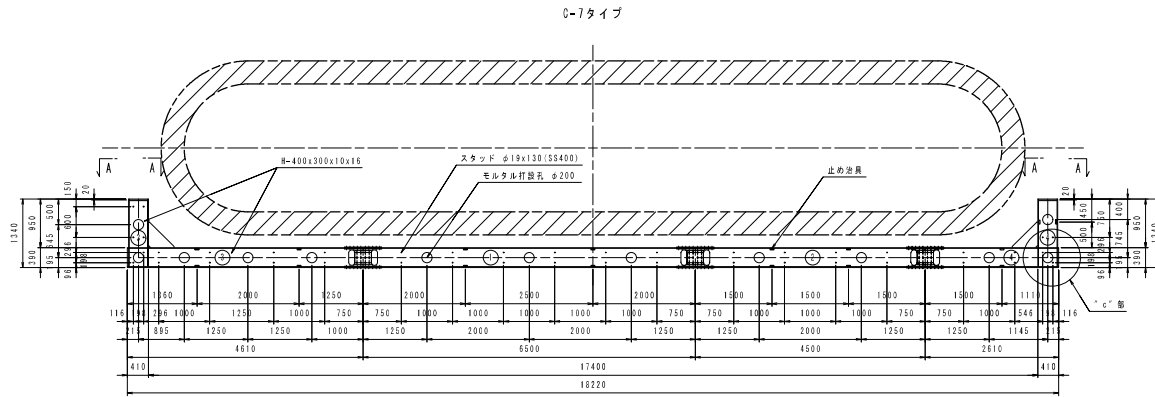
- 注:
1. 特記なき材質は全てSW490Aとする。
 2. 特記なきスカーップはR35とする。
 3. 特記なき継手は全て溶接継手とする。
規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
ただし、ボルト頭はHDZ55とする。
 4. 印はH18 R22(F81)を示す。
(丸径はφ14.5を標準とする。)
 5. 止め油具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増減させるものとする。
 6. 施工中に鋼材が損傷した場合は経路溶接等の対策を行うこと。
 7. 各図詳細は「P8橋脚軸管詳細図(その7)」を参照する。

工事名	工事
図 名	P8橋脚軸管詳細図(その5)
縮 尺	S=1:50 図 番 号 60 第 之 内 13
設 計 年 月	平 成 30 年 3 月
近 畿 地 方 政 府 局 交 通 支 庁 事 務 所	印

P8橋脚軸管詳細図(その6)

S=1:50

平面図



C-7タイプ

箇所数:1

- ① 箇所数:1
- 1-H 400x300x10x16x6500
- 24-STUD φ19x130(SS400)
- 4-PL 75x30x100(SM490B)

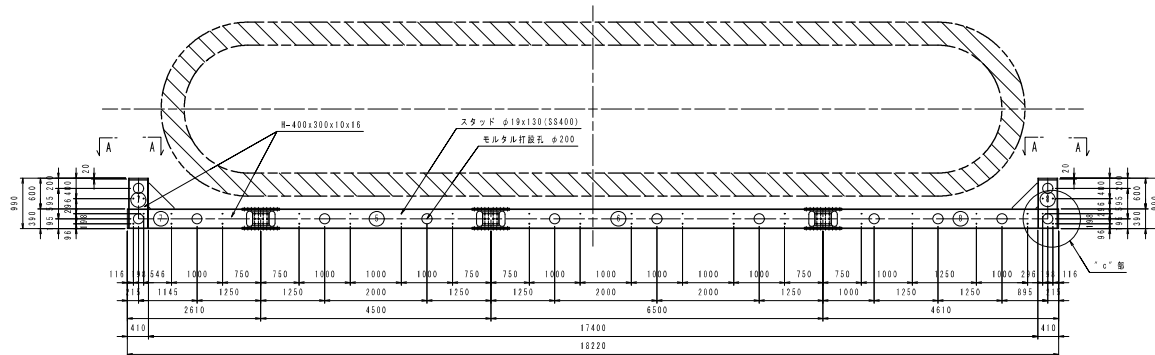
- ② 箇所数:1
- 1-H 400x300x10x16x4500
- 16-STUD φ19x130(SS400)
- 4-PL 75x30x100(SM490B)

- ③ 箇所数:1
- 1-H 400x300x10x16x4610
- 1-H 400x200x10x16x950
- 24-STUD φ19x130(SS400)
- 4-PL 75x30x100(SM490B)
- 1-PL 500x10x500
- 6-PL 145x16x358

④ 箇所数:1

- 1-H 400x300x10x16x2610
- 1-H 400x300x10x16x650
- 16-STUD φ19x130(SS400)
- 4-PL 75x30x100(SM490B)
- 1-PL 500x10x500
- 6-PL 145x16x358

C-8タイプ



C-8タイプ

箇所数:1

- ① 箇所数:1
- 1-H 400x300x10x16x4500
- 16-STUD φ19x130(SS400)

- ② 箇所数:1
- 1-H 400x300x10x16x6500
- 24-STUD φ19x130(SS400)

- ③ 箇所数:1
- 1-H 400x300x10x16x2610
- 1-H 400x300x10x16x6000
- 16-STUD φ19x130(SS400)
- 1-PL 500x10x500
- 6-PL 145x16x358

④ 箇所数:1

- 1-H 400x300x10x16x4610
- 1-H 400x300x10x16x600
- 24-STUD φ19x130(SS400)
- 1-PL 500x10x500
- 6-PL 145x16x358

注記:

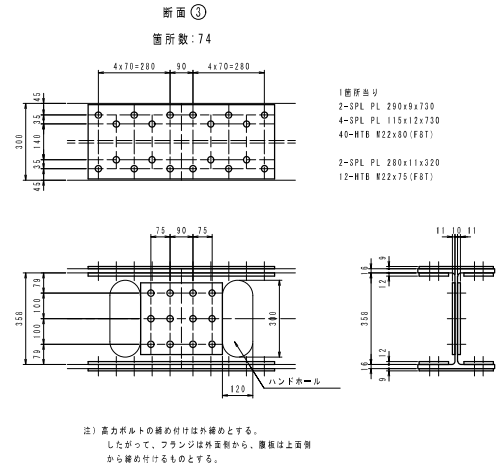
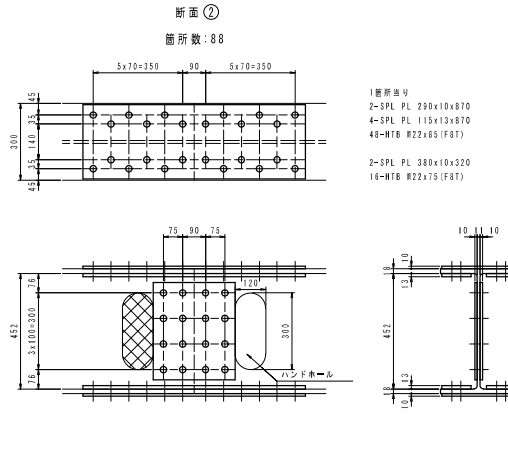
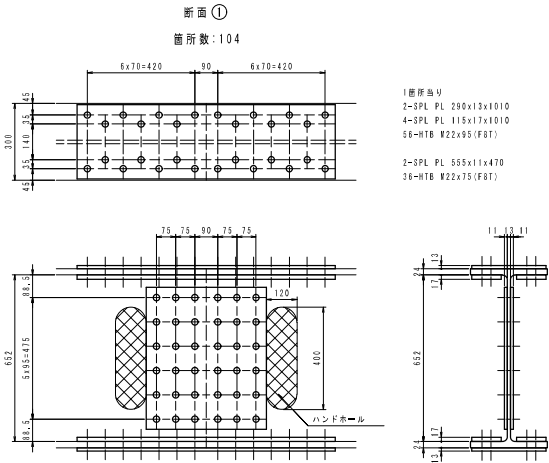
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーップはR25とする。
3. 特記なき塗料は全て溶融亜鉛メッキとする。
 縦格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
 ただし、ポルト鋼はHDZ35とする。
4. 印はH18 R22(F81)を示す。
 (丸径はφ14.5を標準とする。)
5. 止め出員は1ブロックあたり4箇所とする。
 ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増減させるものとする。
6. 施工中に鋼材が損傷した場合は亜鉛溶剤等の対策を行うこと。
7. 各取組は「P8橋脚軸管詳細図(その7)」を参照する。

工事名	工事
図面名	P8橋脚軸管詳細図(その6)
縮尺	S=1:50 図面番号 60 第之内 14
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方整備局 淀川支川事務所	印

P8橋脚軸管詳細図(その7)

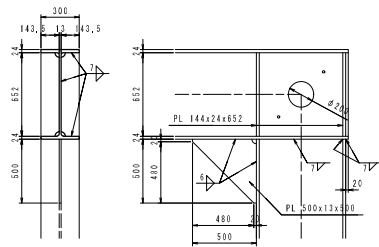
S=1:10

添接詳細図

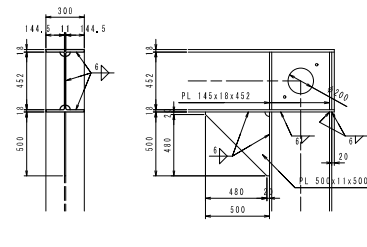


注) 高力ボルトの締め付けは外締めとする。
したがって、フランジは外歪割から、裏板は上面割から締め付けるものとする。

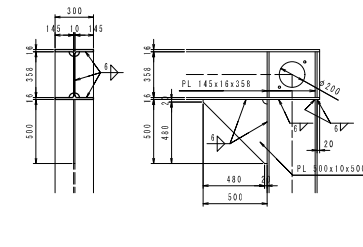
"a"部詳細図 S=1:20



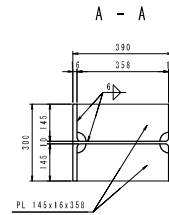
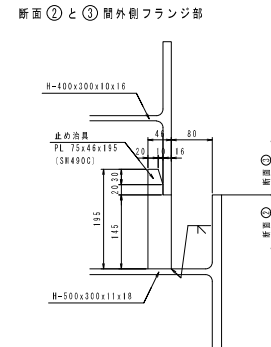
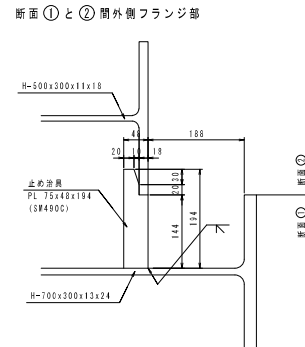
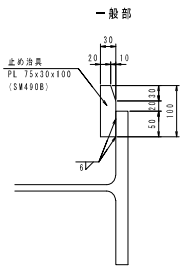
"b"部詳細図 S=1:20



"c"部詳細図 S=1:20



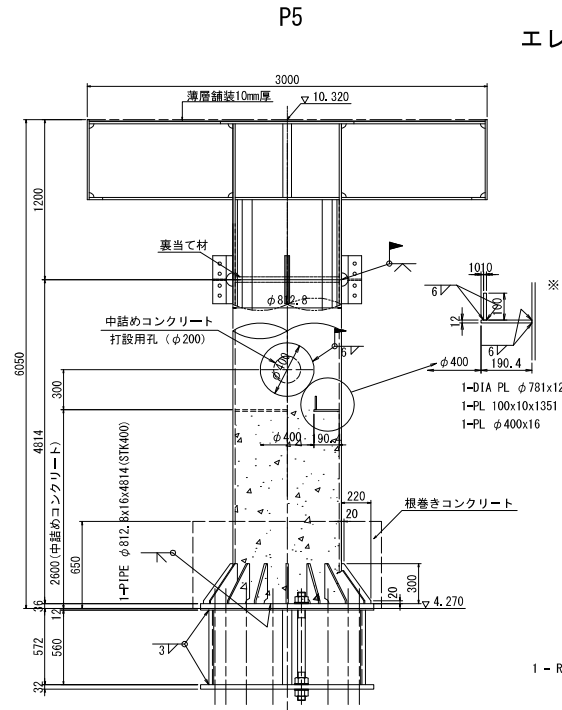
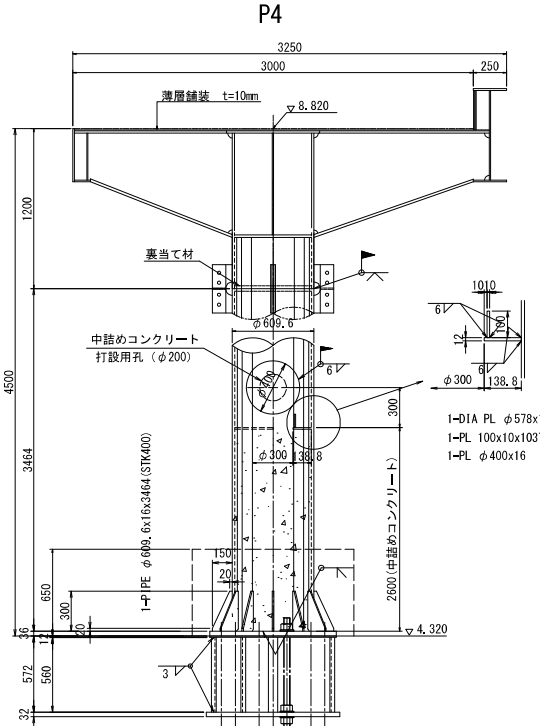
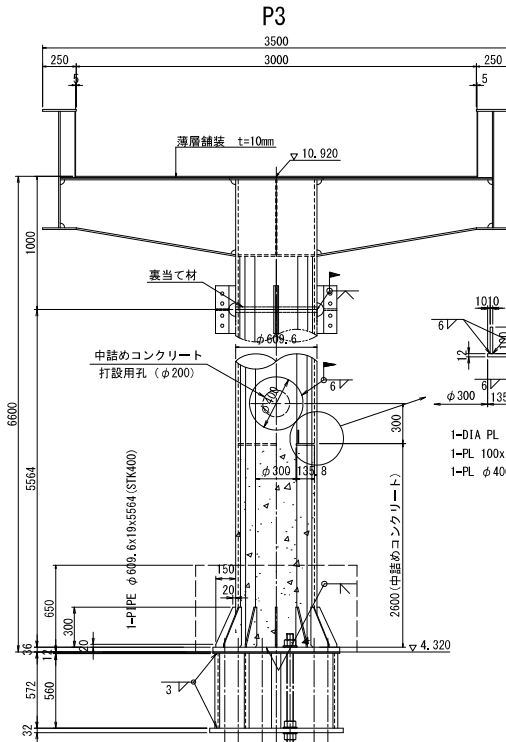
止め治具詳細図 S=1:5



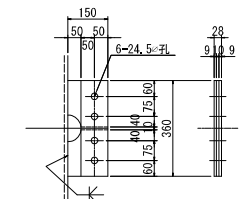
- 注記:
1. 特記なき材質は全てS#490Aとする。
 2. 特記なきスカーップはR35とする。
 3. 特記なき部材は全て溶接面鉛メッキとする。
規格JIS H0641とし、付着量はH0255とする。
ただし、ボルト類はH0235とする。
 4. ④印はH18 W22 (F8T)を示す。
(孔径はφ24.5を標準とする。)
 5. 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を
増減させるものとする。

工事名	工事
図 添 名	P8橋脚軸管詳細図(その7)
縮 尺	図添 図添番号 60 裏之内 35
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方整備局 淀川支川事務所	印

南側歩道橋 支柱(その2) S=1:20

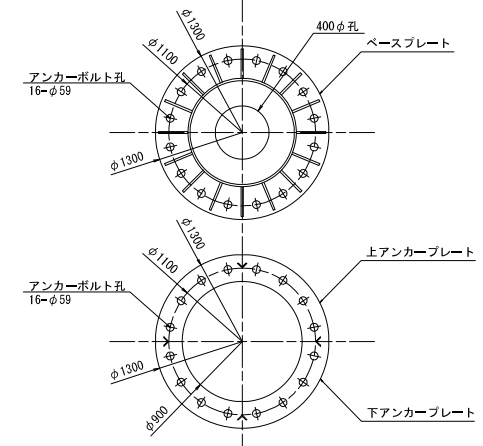
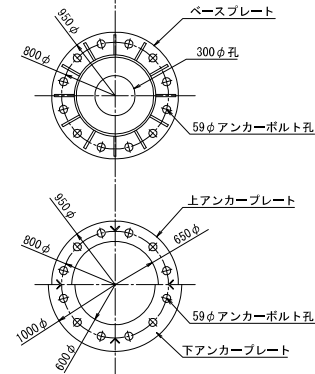
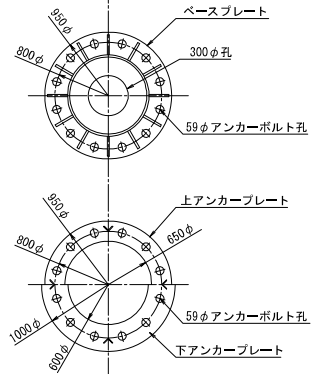
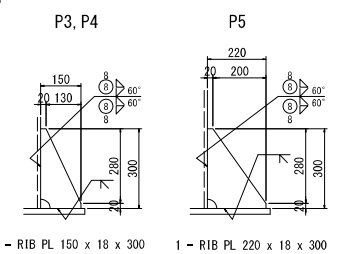


エレクションピース詳細 S=1:10

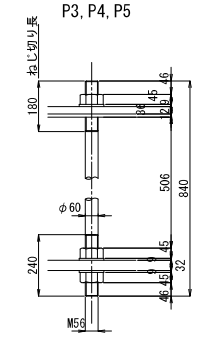


※ エレクションピースは溶接後切断し、溶接面を仕上げ。
 2 - PL 150 x 10 x 175
 2 - PL 100 x 9 x 360
 4 - HTB M22 x 70 (F10T)

リブ詳細図 S=1:10

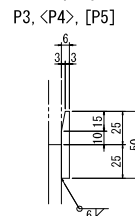


アンカーボルト詳細 S=1:10



注記)
 1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 2. 特記なきスカラーは、全て 35R を示す。

裏当て材詳細図 S=1:2



12-Rib PL 150x18x300
 1-Base PL 950φx36 (SM490YB)
 1-Anc. PL 950φx12
 1-Anc. PL 1000φx32
 4-L 50x50x6x560 (SS400)
 12-Anc M56x840 (S35CN)
 (3-1種ナット, 3-ワ付)

12-Rib PL 150x18x300
 1-Base PL 950φx36 (SM490YB)
 1-Anc. PL 950φx12
 1-Anc. PL 1000φx32
 4-L 50x50x6x560 (SS400)
 12-Anc M56x840 (S35CN)
 (3-1種ナット, 3-ワ付)

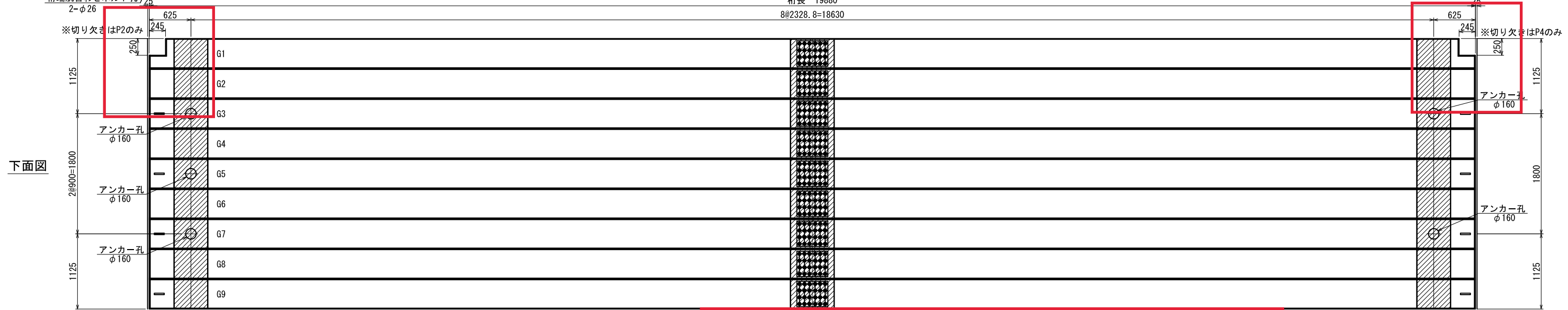
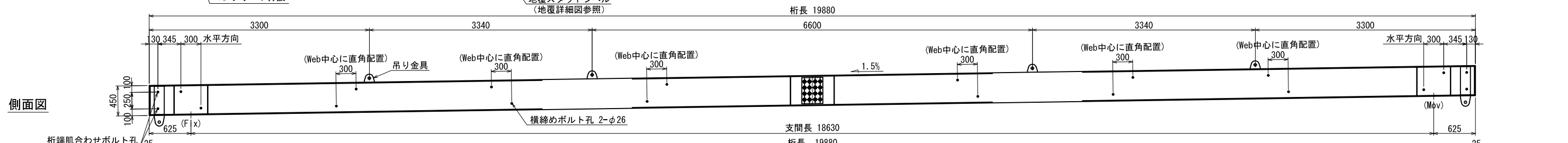
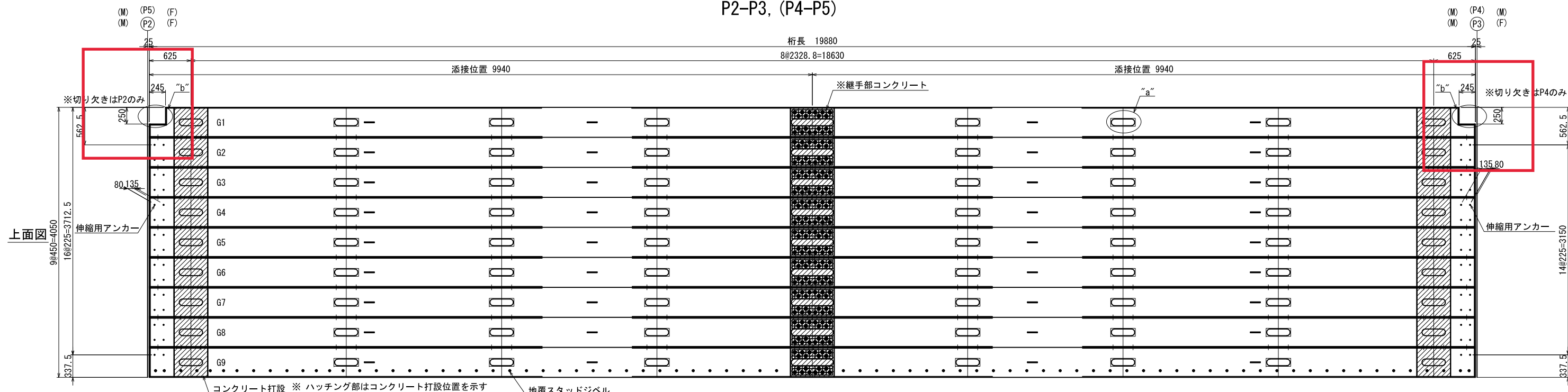
16-RIB PL 220x18x300
 1-BASE PL φ1300x36 (SM490YB)
 1-ANCHOR PL φ1300x12
 1-ANCHOR PL φ1300x36
 4-L 50x50x6x560 (SS400)
 16-Anc M56x840 (S35CN)
 (3-1種ナット, 3-ワ付)

1 - FB 50 x 6 x 1777<1796>[2434] (SS400)

平成27年度	図面番号	28 / 57
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場所	枚田市枚東町~枚田市南正雀3丁目地内	
図面名	南側歩道橋支柱(その2) 脚尺	図示
大阪府茨木土木事務所		

パネル詳細図 (その1) S=1:30

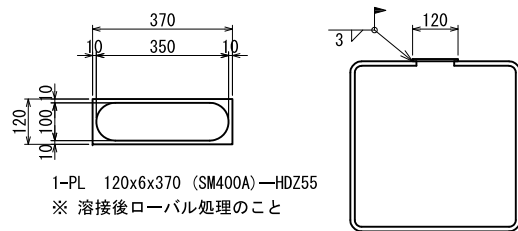
上流側
P2-P3, (P4-P5)



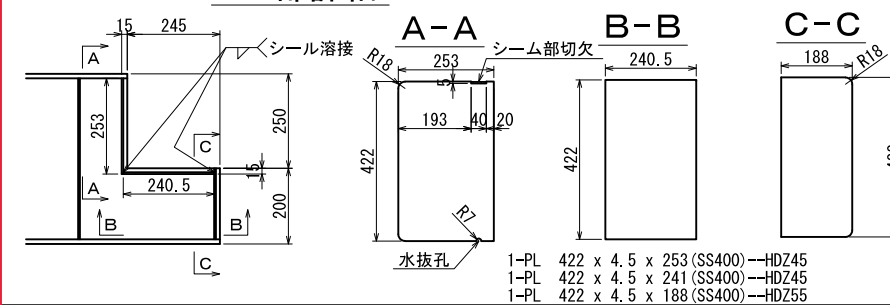
主桁関連全体数量

- 主桁 18-□ 450x450x12x 9948 (BCR295)→HDZ55
- 仕切板(端) 47-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)→HDZ45-桁端部のみ亜鉛メッキ
- 仕切板(Fix側アンカー部) 6-PL 422 x 6 x 422 (SS400)
- 仕切板(切り欠き部) 1-PL 422 x 4.5 x 253 (SS400)→HDZ45
- 仕切板(切り欠き部) 1-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400)→HDZ45
- 仕切板(切り欠き部) 1-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)→HDZ45
- 仕切板(現場継手部) 18-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)
- 仕切板押え(端) 30-DB D13 x 500 (SD345)
- 仕切板押え(Fix側アンカー部) 6-DB D13 x 685 (SD345)
- 横締めボルト 128-BN M22x70 (SS400) (HLR-Nut, 2-Washer付)→HDZ35
- 端部ボルト 32-BN M22x70 (SS400) (HLR-Nut, 2-Washer付)→HDZ35
- 吊り金具 36-PL 120x12x150 (SM400A)→HDZ55
- ボルト締め用孔蓋 54-PL 120x6x370 (SM400A)→HDZ55
- ソールプレート 18-Sole PL 220x28x390 (SM400A)→HDZ55

"a" 部詳細 S=1:10



"b" 部詳細 S=1:10 Mov側 P4(G1桁)、Fix側 P2(G1桁)

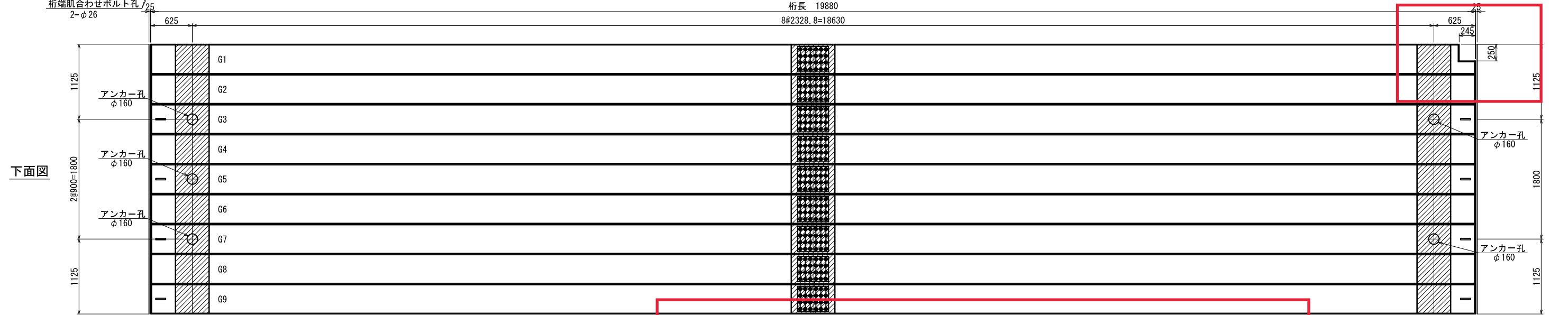
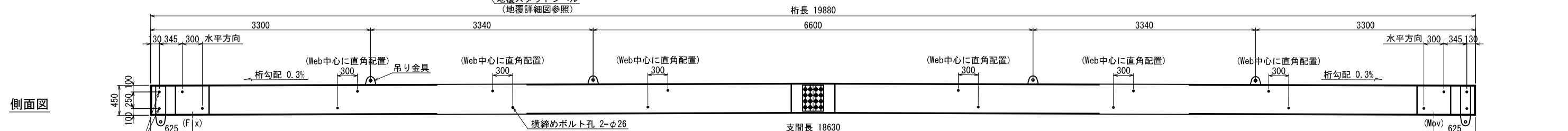
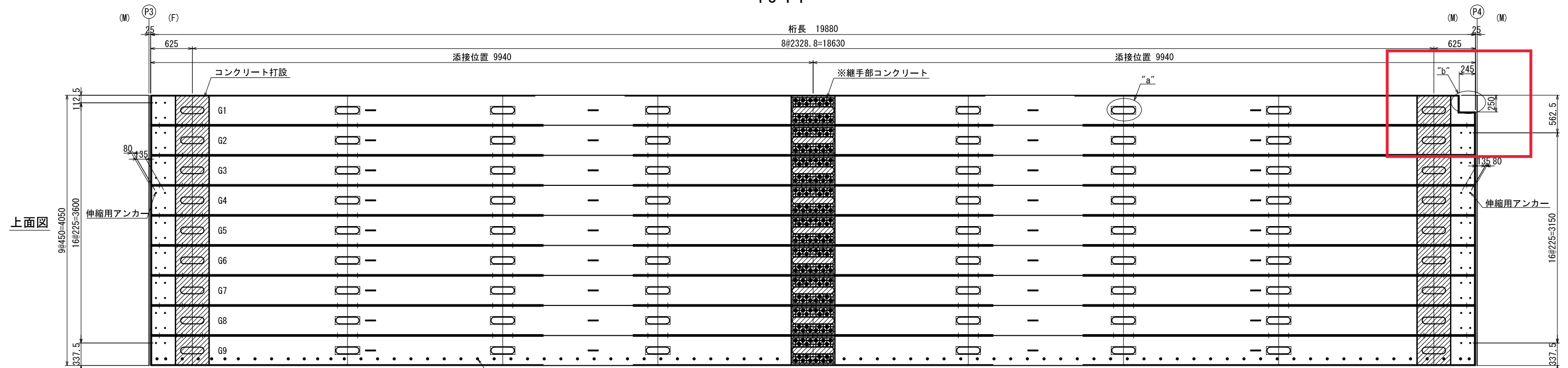


※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30~31年度	図面番号
事業名	一般府道 相川停車場線
路線名	一般府道 相川停車場線
河川名	一般府道 相川停車場線
工事名	一般府道 相川停車場線
施工地名	新大阪橋歩道拡幅設計業務
図面名	吹田市南高浜町地内
縮尺	パネル詳細図 (その1)
図示	縮尺 図示
大阪府茨木土木事務所	

パネル詳細図 (その1) S=1:30

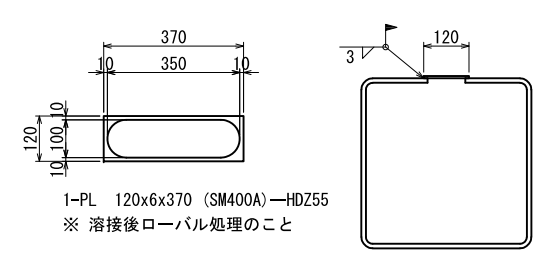
上流側
P3-P4



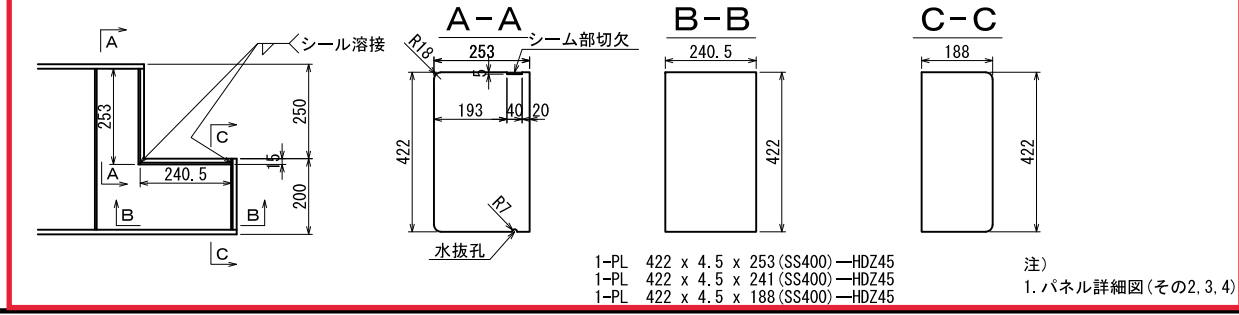
主桁関連全体数量

- 主桁 18-□ 450x450x12x 9941 (BCR295)→HDZ55
- 仕切板(端) 47-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)→HDZ45-桁端部のみ亜鉛メッキ
- 仕切板(Fix側アンカー部) 6-PL 422 x 6 x 422 (SS400)
- 仕切板(切り欠き部) 1-PL 422 x 4.5 x 253 (SS400)→HDZ45
- 仕切板(切り欠き部) 1-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400)→HDZ45
- 仕切板(切り欠き部) 1-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)→HDZ45
- 仕切板(現場継手部) 18-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)
- 仕切板押え(端) 30-DB D13 x 500 (SD345)
- 仕切板押え(Fix側アンカー部) 6-DB D13 x 684 (SD345)
- 横締めボルト 128-BN M22x70 (SS400) (HLR-Nut, 2-Washer付)→HDZ35
- 端部ボルト 32-BN M22x70 (SS400) (HLR-Nut, 2-Washer付)→HDZ35
- 吊金具 36-PL 120x12x150 (SM400A)→HDZ55
- ボルト締め用孔蓋 54-PL 120x6x370 (SM400A)→HDZ55
- ソールプレート 18-SoIe PL 220x26x390 (SM400A)→HDZ55

"a" 部詳細 S=1:10



"b" 部詳細 S=1:10 Mov側(G1桁)



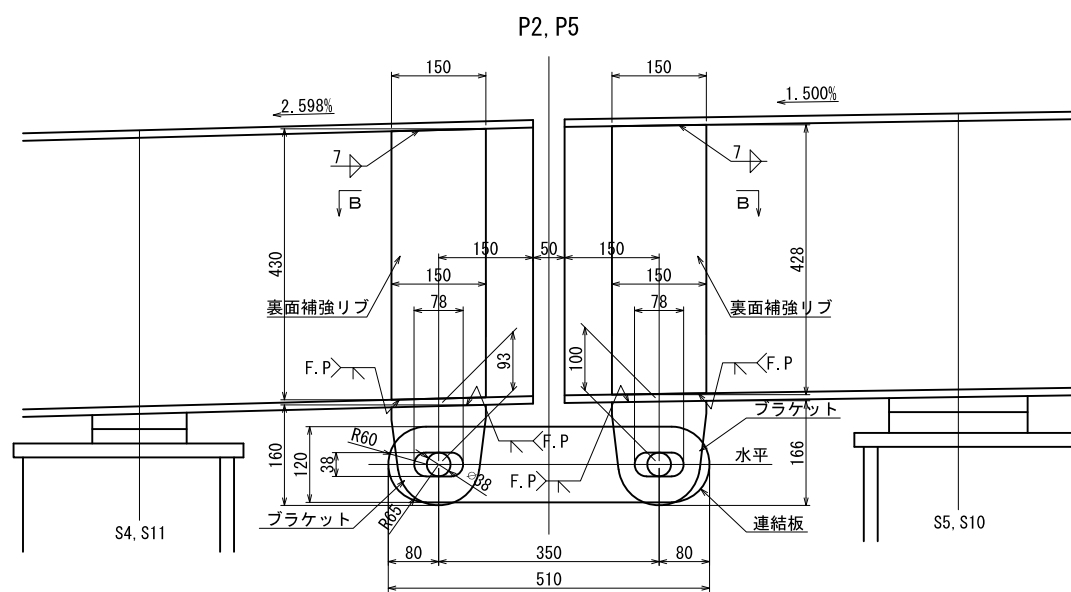
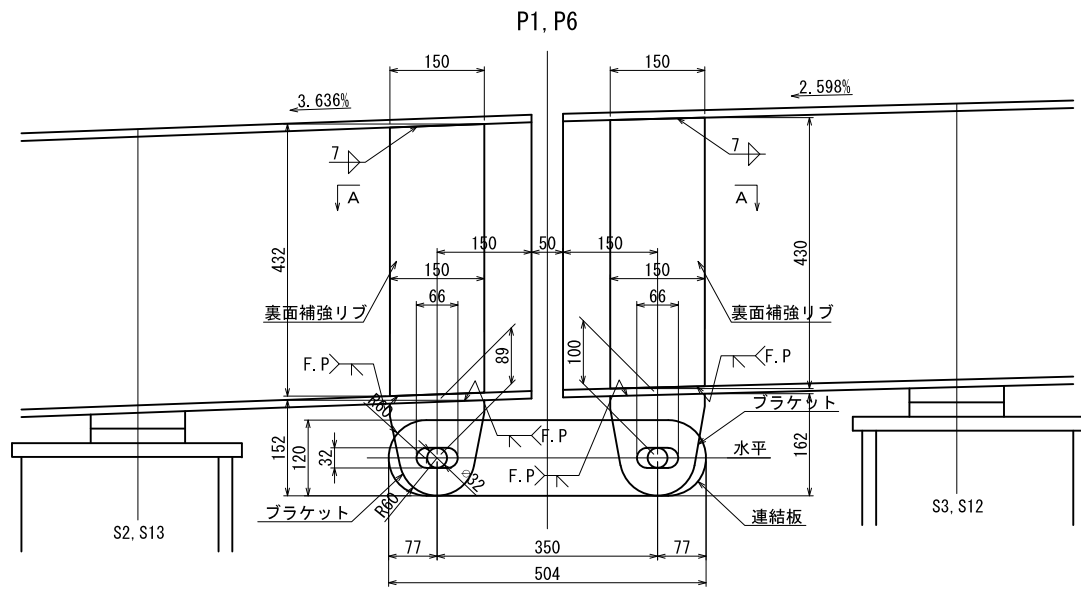
※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30~31年度	図面番号
事業名	一般府道 相川停車場線
路線名	一般府道 相川停車場線
河川名	一般府道 相川停車場線
工事名	一般府道 相川停車場線
施工地名	吹田市南高浜町地内
図面名	パネル詳細図 (その1)
縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所	

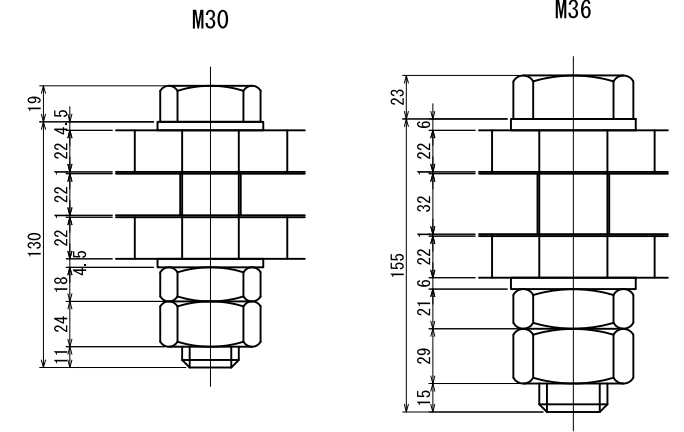
落橋防止構造詳細図

上流側

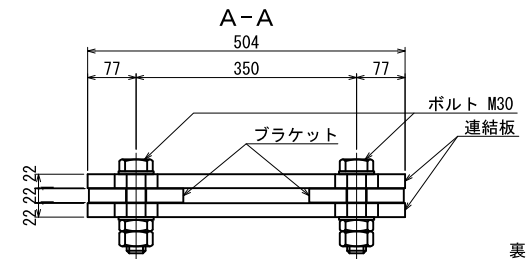
側面図 S=1:6



連結ボルト詳細図 S=1:2

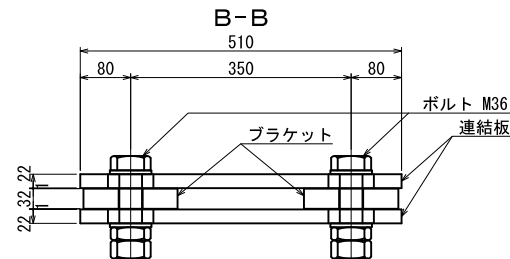


※ 連結ボルトはブラケットと連結板に1mm程度隙間を設け締め付けないこと。



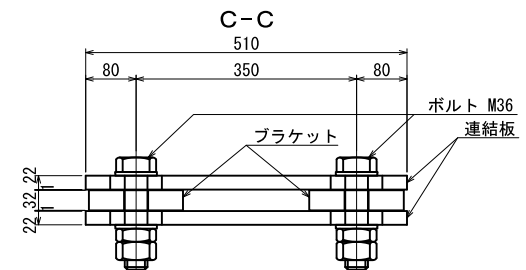
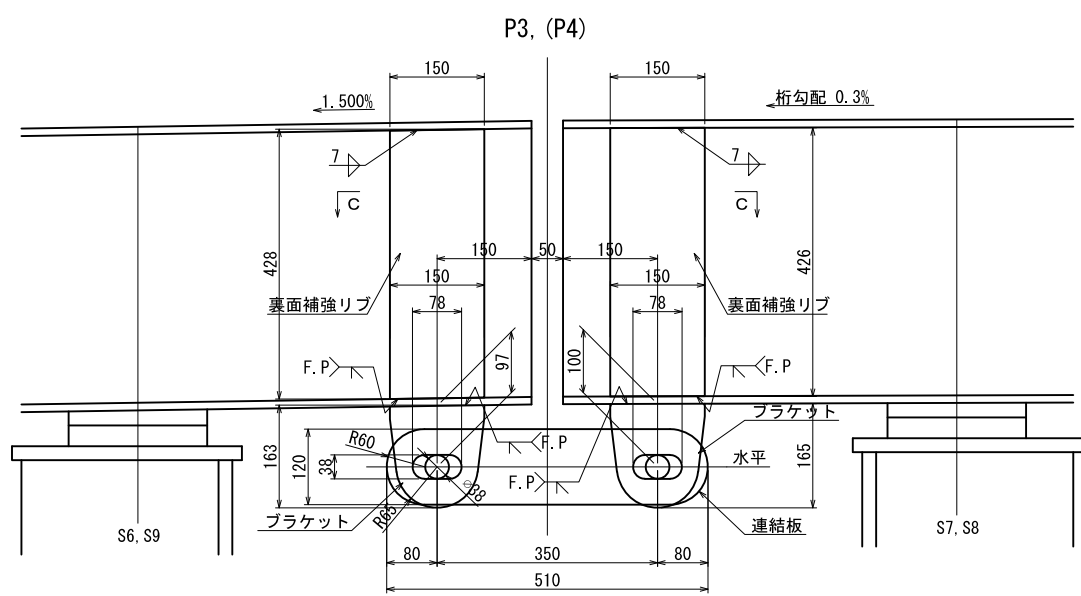
- 製作数：4 / 1橋脚当り
- 連結板 2-PL 120 x 22 x 504 (SM400A)→HDZ55
 - ブラケット 1-PL 152 x 22 x 150 (SM400A)→HDZ55→S2, S13側
 - ブラケット 1-PL 162 x 22 x 150 (SM400A)→HDZ55→S3, S12側
 - 裏面補強リブ 1-PL 432 x 22 x 150 (SM400A)→HDZ55→S2, S13側
 - 裏面補強リブ 1-PL 430 x 22 x 150 (SM400A)→HDZ55→S3, S12側
 - 2-BN M30x130 (S35CN) (1-Nut1種, 3種, 2-Washer付)→HDZ35

※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと



- 製作数：4 / 1橋脚当り
- 連結板 2-PL 120 x 22 x 510 (SM400A)→HDZ55
 - ブラケット 1-PL 160 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S4, S11側
 - ブラケット 1-PL 166 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S5, S10側
 - 裏面補強リブ 1-PL 430 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S4, S11側
 - 裏面補強リブ 1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S5, S10側
 - 2-BN M36x155 (S35CN) (1-Nut1種, 3種, 2-Washer付)→HDZ35

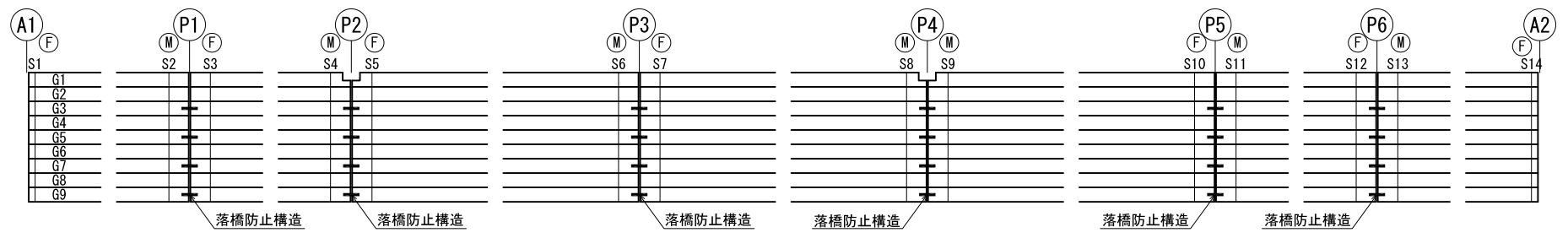
※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと



- 製作数：4 / 1橋脚当り
- 連結板 2-PL 120 x 22 x 510 (SM400A)→HDZ55
 - ブラケット 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S6, S9側
 - ブラケット 1-PL 165 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S7, S8側
 - 裏面補強リブ 1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S6, S9側
 - 裏面補強リブ 1-PL 426 x 32 x 150 (SM400A)→HDZ55→S7, S8側
 - 2-BN M36x155 (S35CN) (1-Nut1種, 3種, 2-Washer付)→HDZ35

※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと

配置図

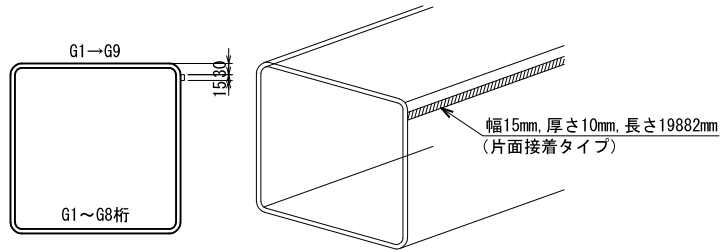


※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30~31年度	図面番号
事業名	一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線 新大阪橋歩道拡幅設計業務
施工地名	吹田市南高浜町地内
図面名	落橋防止構造詳細図
縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所	

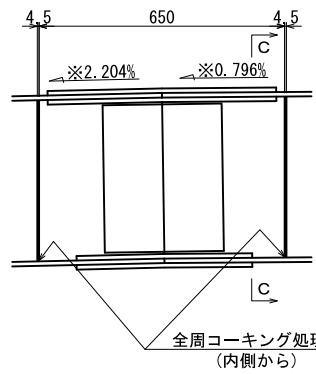
パネル詳細図 (その3)

隙間テープ S=1:10



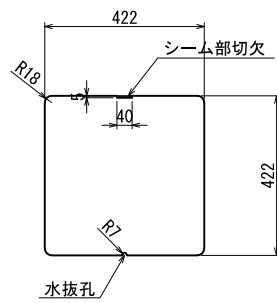
※ G9桁を除き全長に渡り上図位置に隙間テープを貼り付ける。
片側のみ(右側)に貼り付ける
※ めっき処理後に接着のこと。

添接部仕切板 S=1:10



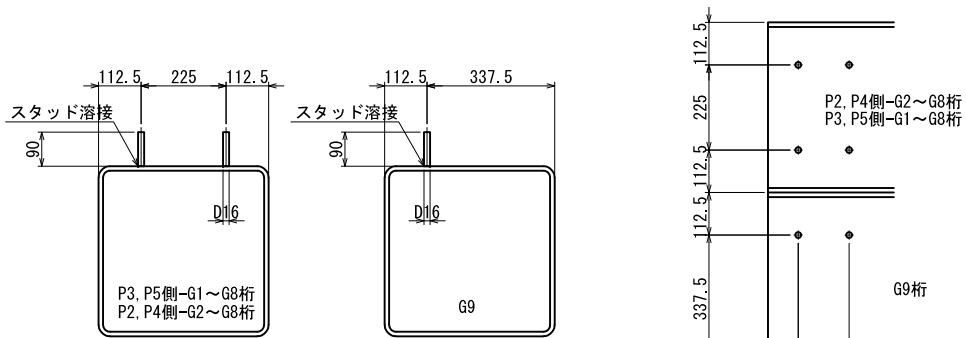
2-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)
※ 製作時桁勾配を示す。(完成時1.5%)

C-C
上面シーム



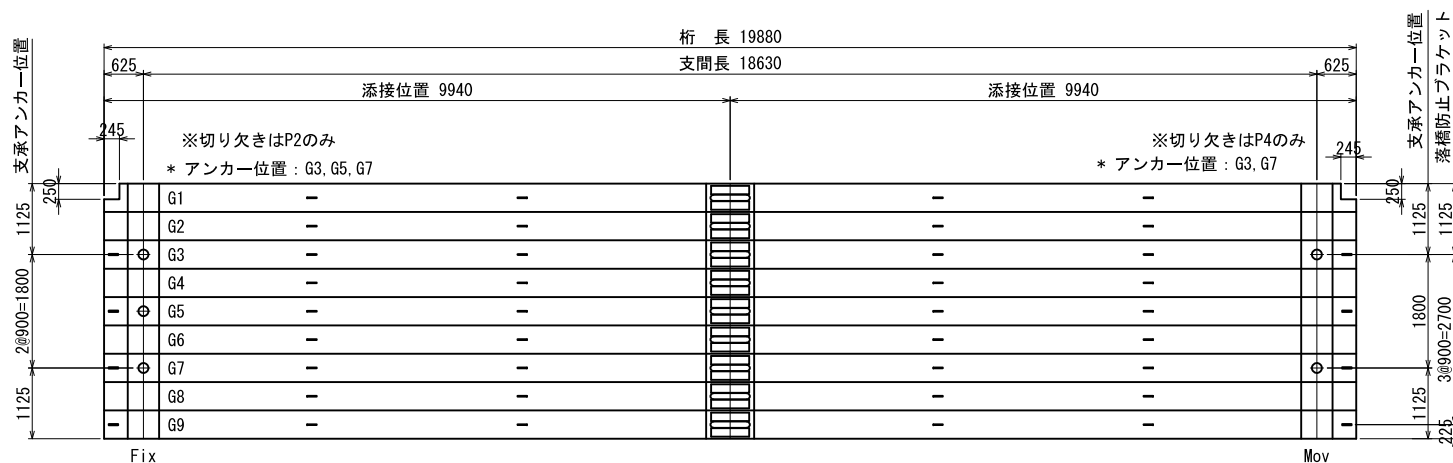
* 上面を除く3面中央付近に点溶接を行う
【現地でコンクリート打設前に水抜き孔をコーキング実施】

伸縮用異形STD S=1:10



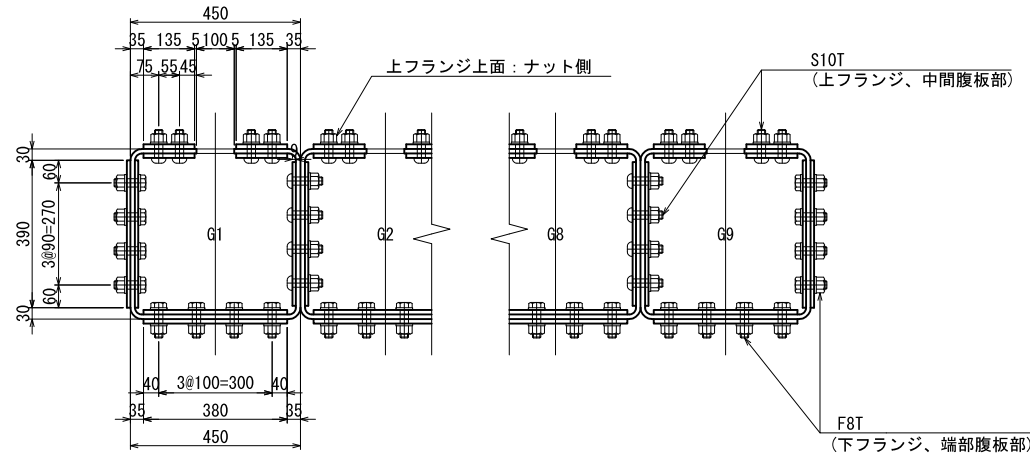
全体本数 64-異形STD D16x90 (SD345相当)-HDZ55
【伸縮装置の高さ調整後、所定高さに現地切断する。】

配置図



上流側
P2-P3, (P4-P5)

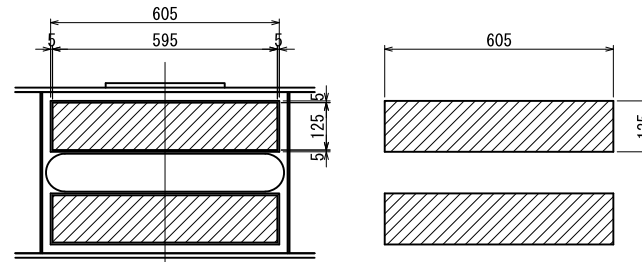
添接部断面図



※ 摩擦接合面は表面粗さが60μmRz以上となるようプラストにより処理を行うこと。
※ 摩擦接合面及びボルト孔のめっきのたまりは取り除くこと。
※ プラスト処理の範囲は接合の境界から5mm程度内側の領域とする。

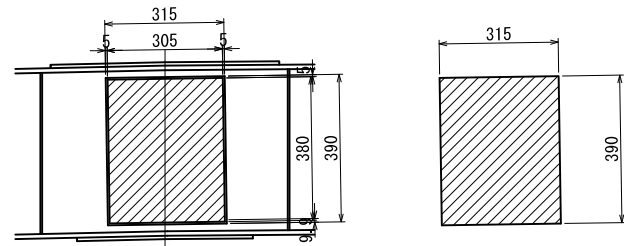
摩擦接合処理

角鋼管添接部 上フランジ 添接板



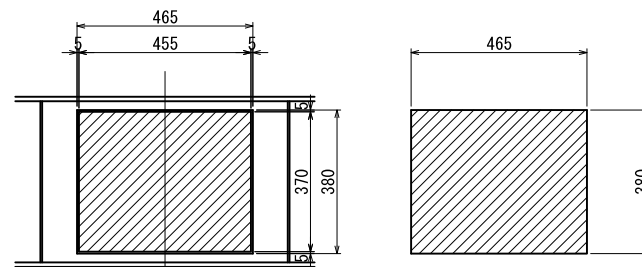
摩擦接合面(片側)プラスト処理

腹板



摩擦接合面(片側)プラスト処理

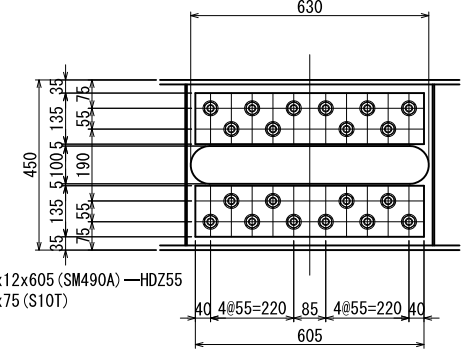
下フランジ



摩擦接合面(片側)プラスト処理

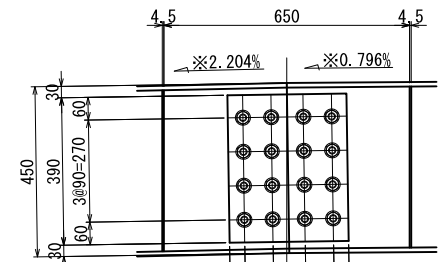
添接部詳細図 S=1:10

上フランジ添接



4-PL 135x12x605 (SM490A)-HDZ55
20-CB M22x75 (S10T)

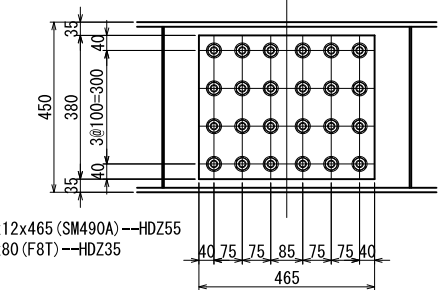
腹板添接



中間腹板部 2-PL 390x9x315 (SM490A)-HDZ55
16-TCB M22x80 (S10T)
端部腹板部 2-PL 390x9x315 (SM490A)-HDZ55
16-HTB M22x70 (F8T)-HDZ35

※ 製作時桁勾配を示す。(完成時1.5%)

下フランジ添接



2-PL 380x12x465 (SM490A)-HDZ55
24-HTB M22x80 (F8T)-HDZ35

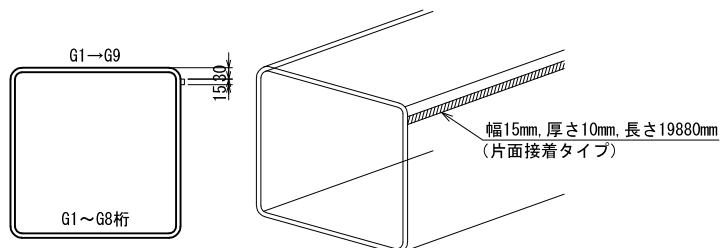
※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30~31年度	図面番号
事業名	一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線
路線名	一般府道 相川停車場線
河川名	一般府道 相川停車場線
工事名	一般府道 相川停車場線 新大阪橋歩道拡幅設計業務
施工地名	吹田市南高浜町地内
図面名	パネル詳細図 (その3)
縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所	

注)
1. パネル詳細図(その1,2,4)も参照のこと。

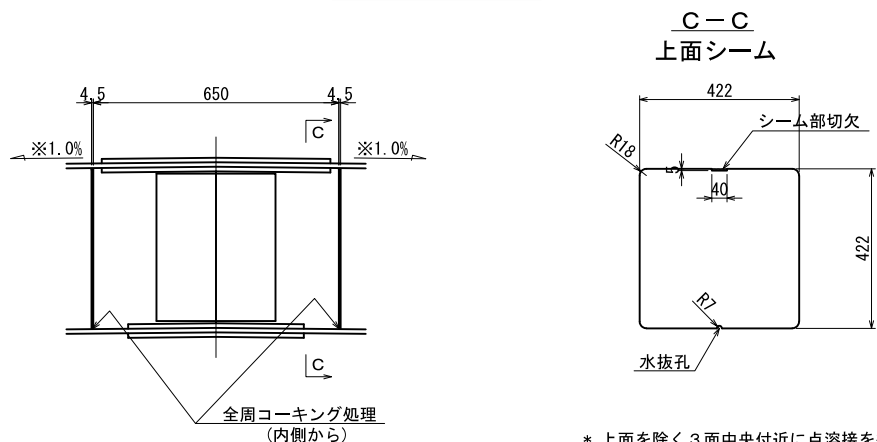
パネル詳細図 (その3)

隙間テープ S=1:10



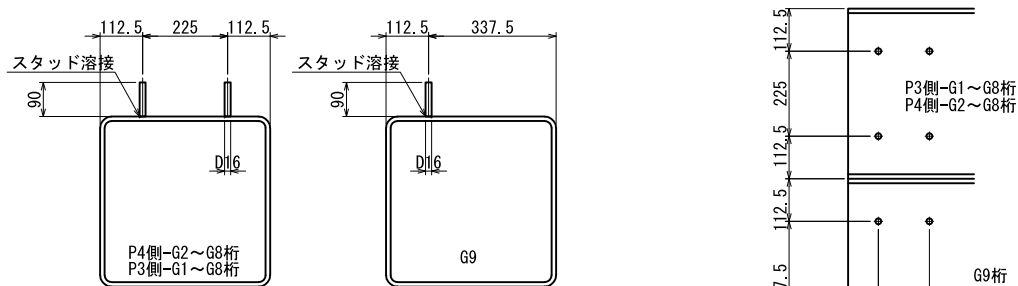
※ G9桁を除き全長に渡り上図位置に隙間テープを貼り付ける。
片側のみ(右側)に貼り付ける
※ めっき処理後に接着のこと。

添接部仕切板 S=1:10



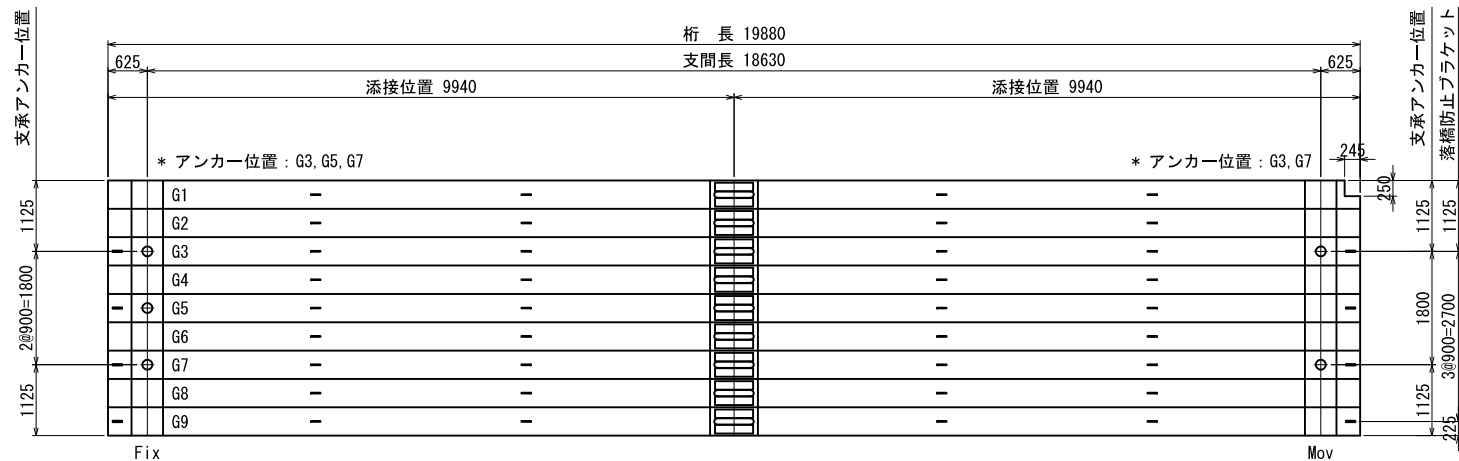
※ 上面を除く3面中央付近に点溶接を行う
【現地でコンクリート打設前に水抜き孔をコーキング実施】
2-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)
※ 製作時桁勾配を示す。(完成時0.3%)

伸縮用異形STD S=1:10



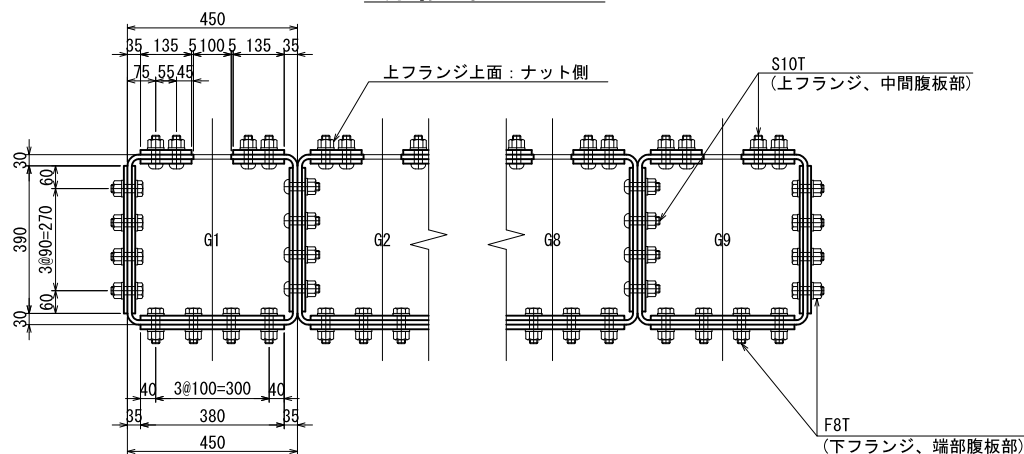
全体本数 64-異形STD D16x90 (SD345相当) —HDZ55
【伸縮装置の高さ調整後、所定高さに現地切断する。】

配置図



上流側
P3-P4

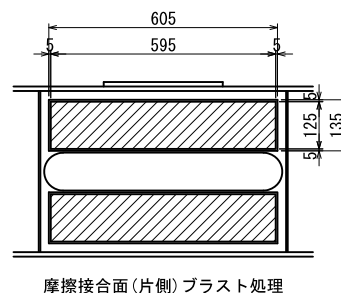
添接部断面図



※ 摩擦接合面は表面粗さが60 μ mRz以上となるようプラストにより処理を行うこと。
※ 摩擦接合面及びボルト孔のめっきのたまりは取り除くこと。
※ プラスト処理の範囲は接合の境界から5mm程度内側の領域とする。

摩擦接合処理

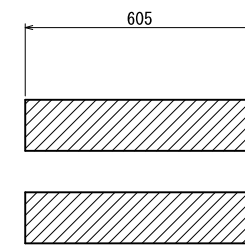
角鋼管添接部



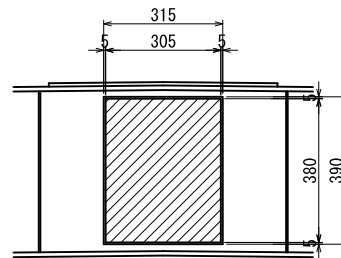
摩擦接合面(片側)プラスト処理

添接板

上フランジ

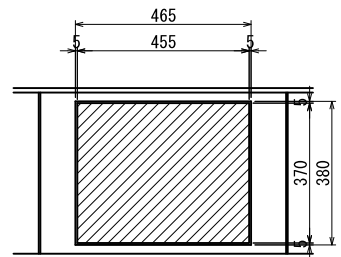


腹板



摩擦接合面(片側)プラスト処理

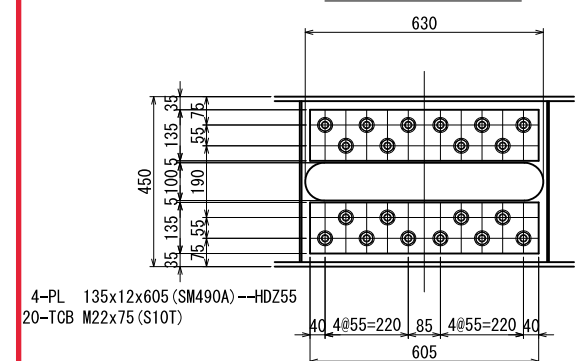
下フランジ



摩擦接合面(片側)プラスト処理

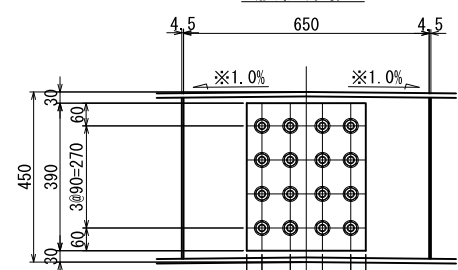
添接部詳細図 S=1:10

上フランジ添接



4-PL 135x12x605 (SM490A) —HDZ55
20-TCB M22x75 (S10T)

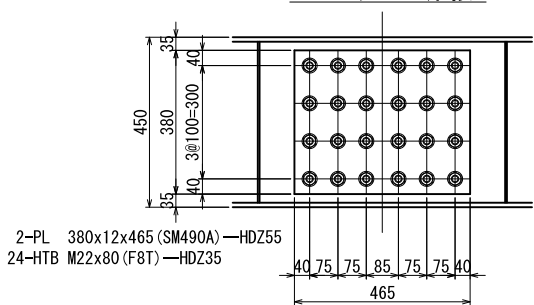
腹板添接



中間腹板部 2-PL 390x9x315 (SM490A) —HDZ55
16-TCB M22x80 (S10T)
端部腹板部 2-PL 390x9x315 (SM490A) —HDZ55
16-HTB M22x70 (F8T) —HDZ35

※ 製作時桁勾配を示す。(完成時0.3%)

下フランジ添接



2-PL 380x12x465 (SM490A) —HDZ55
24-HTB M22x80 (F8T) —HDZ35

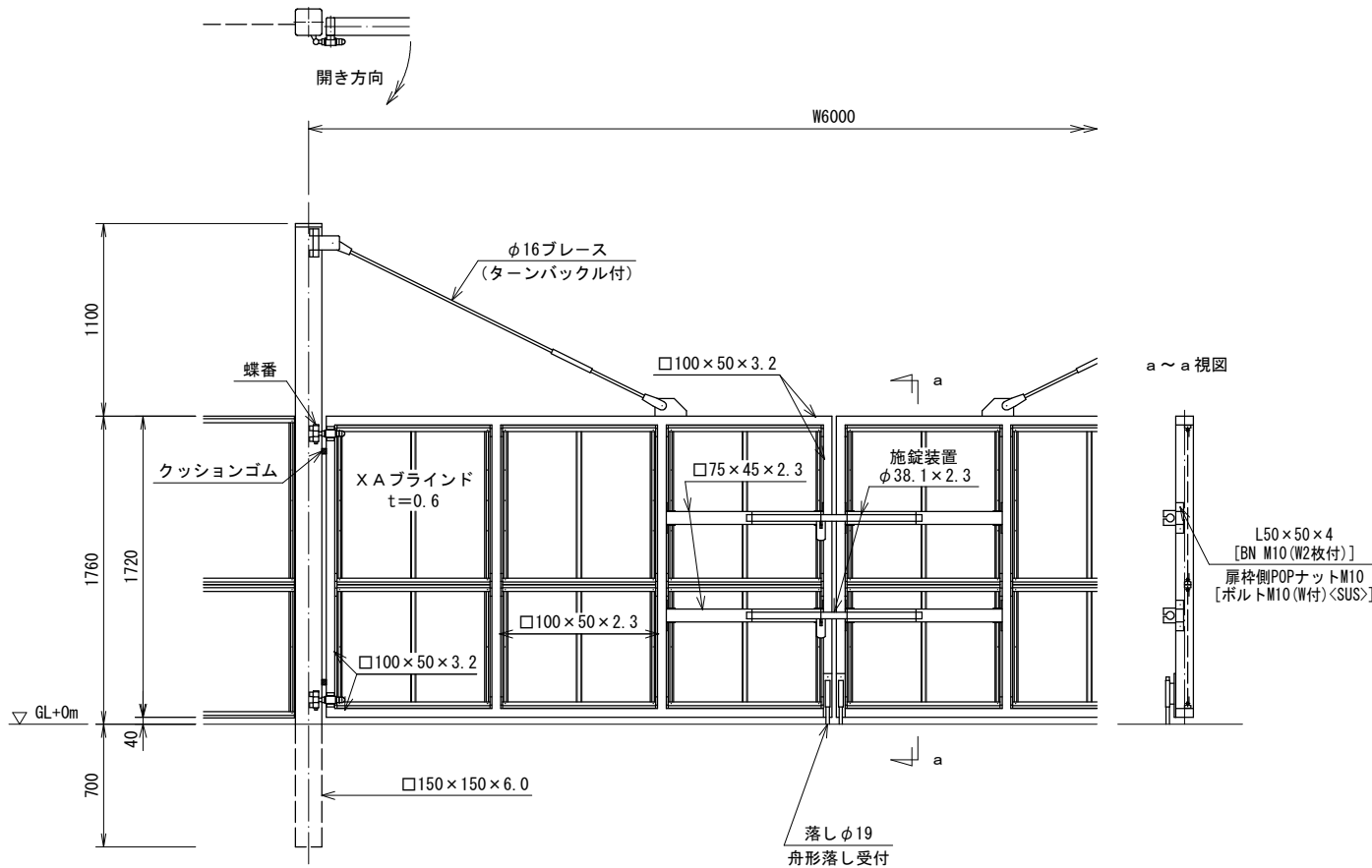
注)
1. パネル詳細図(その1, 2, 4)も参照のこと。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

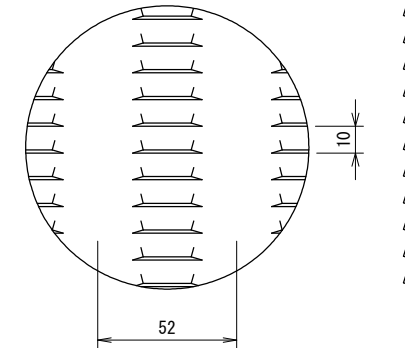
平成30~31年度	図面番号
事業名	一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線 一般府道 相川停車場線
工事名	一般府道 相川停車場線 新大阪橋歩道拡幅設計業務
施工地名	吹田市南高浜町地内
図面名	パネル詳細図 (その3)
縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所	

目かくしフェンス両開き門扉H1800×W6000 S=1:30

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



X A ブラインド S=1:2
t=0.6

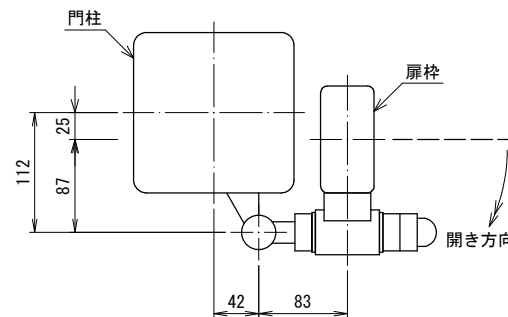


設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

備考

1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、門柱及び扉枠は溶融亜鉛めっきの上液体塗装、ブレースは溶融亜鉛めっきの上着色処理、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のボルト・ナット、施錠装置、落し及びボルト式蝶番は溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 本図門扉は施錠側180°開き、施錠側落としとする。
3. 扉枠にはめっきの為、湯抜穴を適所（見苦しくない位置）に設けるものとする。

門柱・扉枠位置関係図



特／標／Z94064

ロードスクリーン

ロードスクリーンは、夜間走行の際、対向車のヘッドライトが運転者に眩惑を与え、衝突・接触事故などを誘発するのを防止するための施設です。本体にエキスパンドメタルを使用し、優れた遮光効果を発揮する経済的な遮光板です。

■ すぐれた遮光効果を発揮します。

ロードスクリーンの形状は、遮光効果を十分に考えた設計で、運転者を対向車のヘッドライトから守ります。また、運転者の視野を妨げず、圧迫感も与えません。

■ 遮光角度に応じた使い分けができます。

エキスパンドメタルを使い分けることにより、直線区間、曲線区間の必要遮光角度に応じた使用ができるように設計されています。

■ 価格は低廉、維持管理も経済的です。

ロードスクリーンは、ほかの遮光板に比べて低廉です。そのうえ、溶融亜鉛めっきを施してありますから、耐久性に富み、維持管理がきわめて容易です。

■ 美しい外観です。

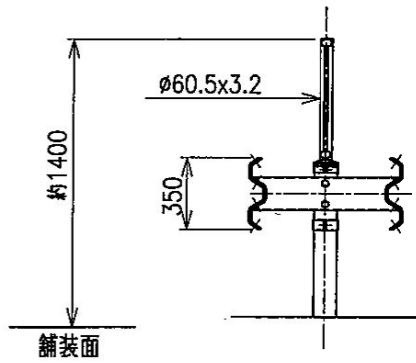
外観は優美で周囲の環境にマッチし、風致を害することはありません。

記号	分類	遮光板本体 板厚 x 幅 x 長さ (mm)	中間支柱 板厚 x 径 x 長さ (mm)	端末支柱 板厚 x 径 x 長さ (mm)	参考重量 (kg/m)
RS-A1	片面ガードレールとの併用型 (φ139.8 との取付用)	2.3x575x4,000	3.2xφ60.5x925	3.2xφ60.5x925	9.31
RS-A2	片面ガードレールとの併用型 (φ114.3 との取付用)				9.26
RS-B1	両面ガードレールとの併用型 (φ139.8 との取付用)		3.2xφ60.5x930	3.2xφ60.5x930	9.15
RS-B2	両面ガードレールとの併用型 (φ114.3 との取付用)				9.09
☆ RS-C	コンクリート建込用	2.3x1,100x4,000	4.2xφ89.1x1,550	4.2xφ89.1x1,550	13.90

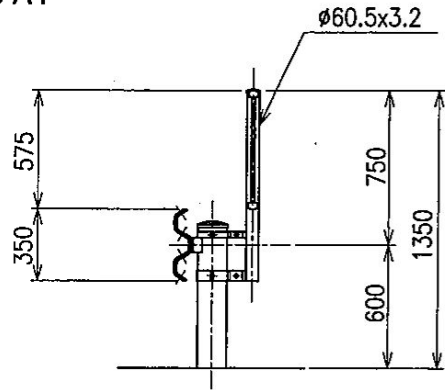
☆ 遮光高さ H=1150

形状・寸法図

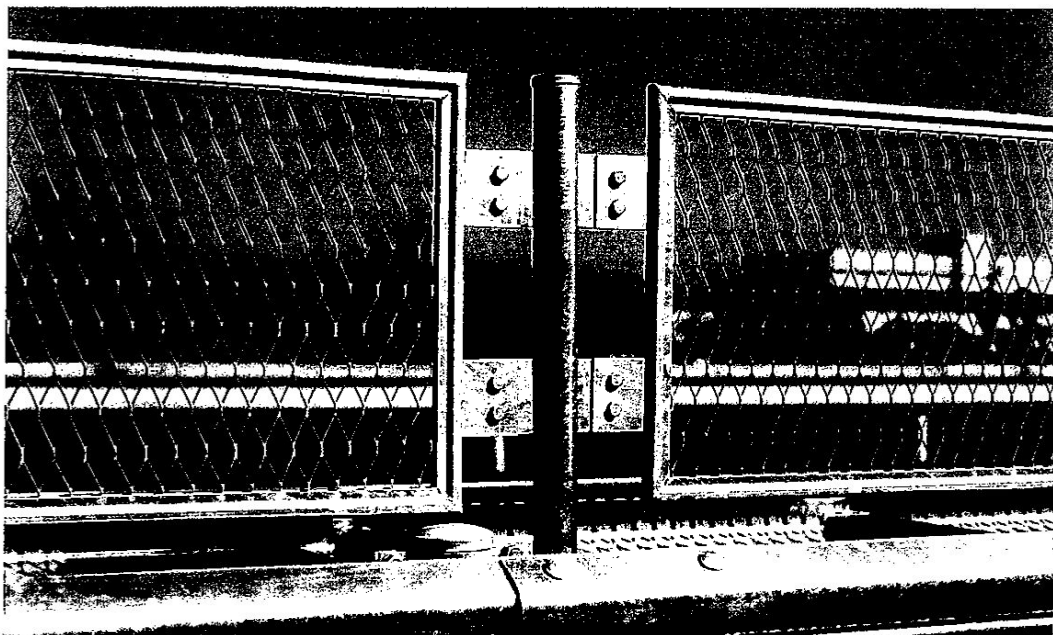
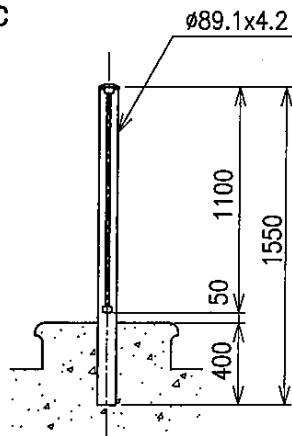
RS 中分用



RS-A1



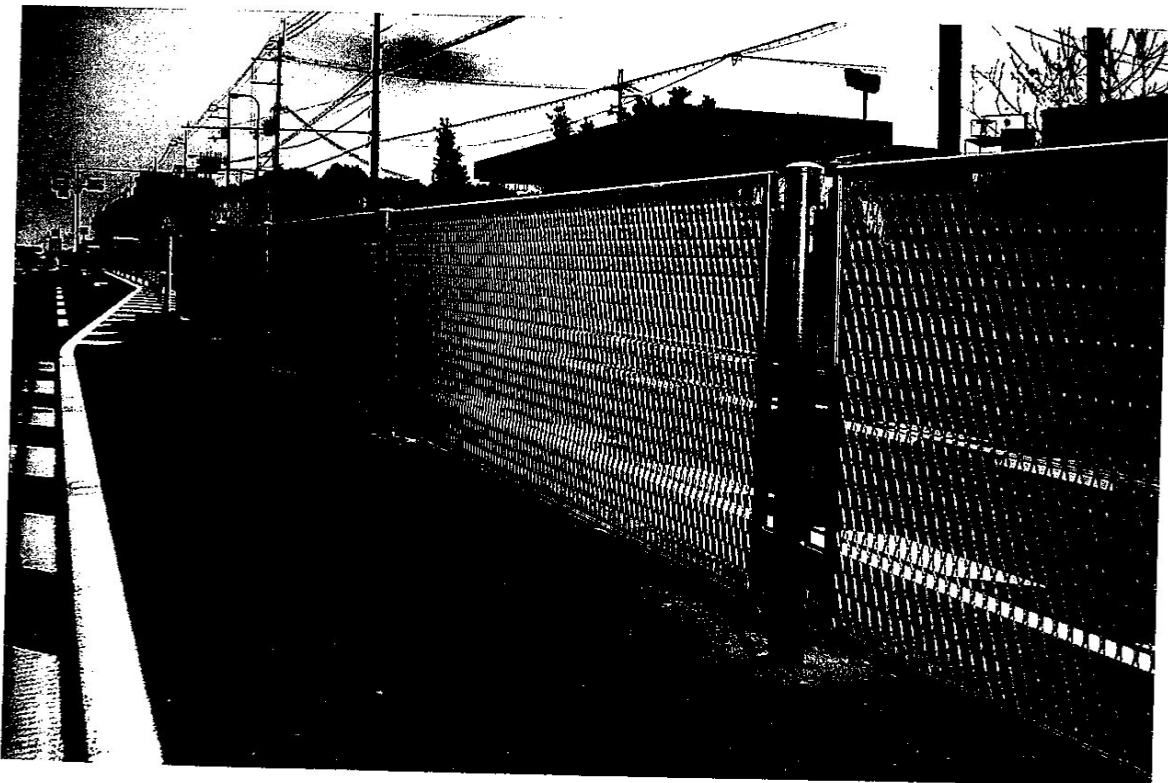
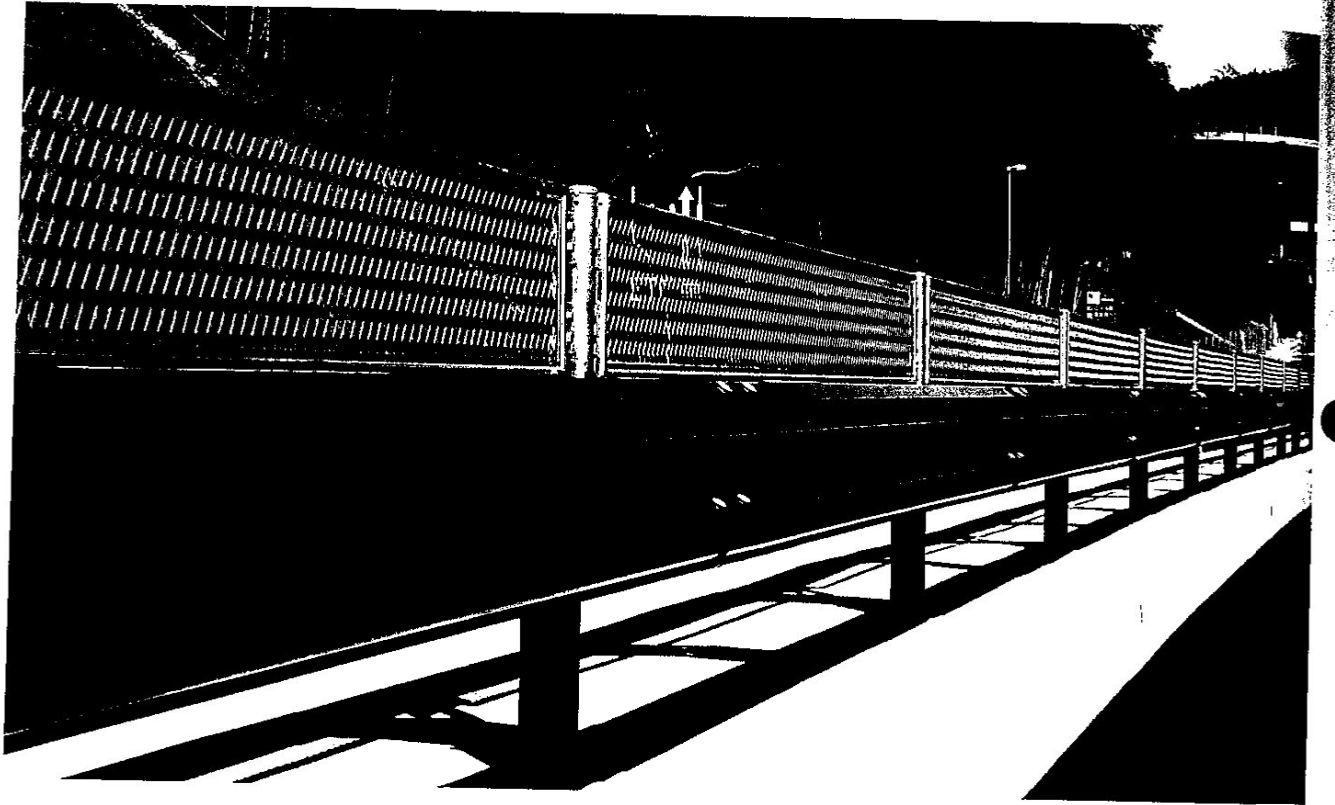
RS-C



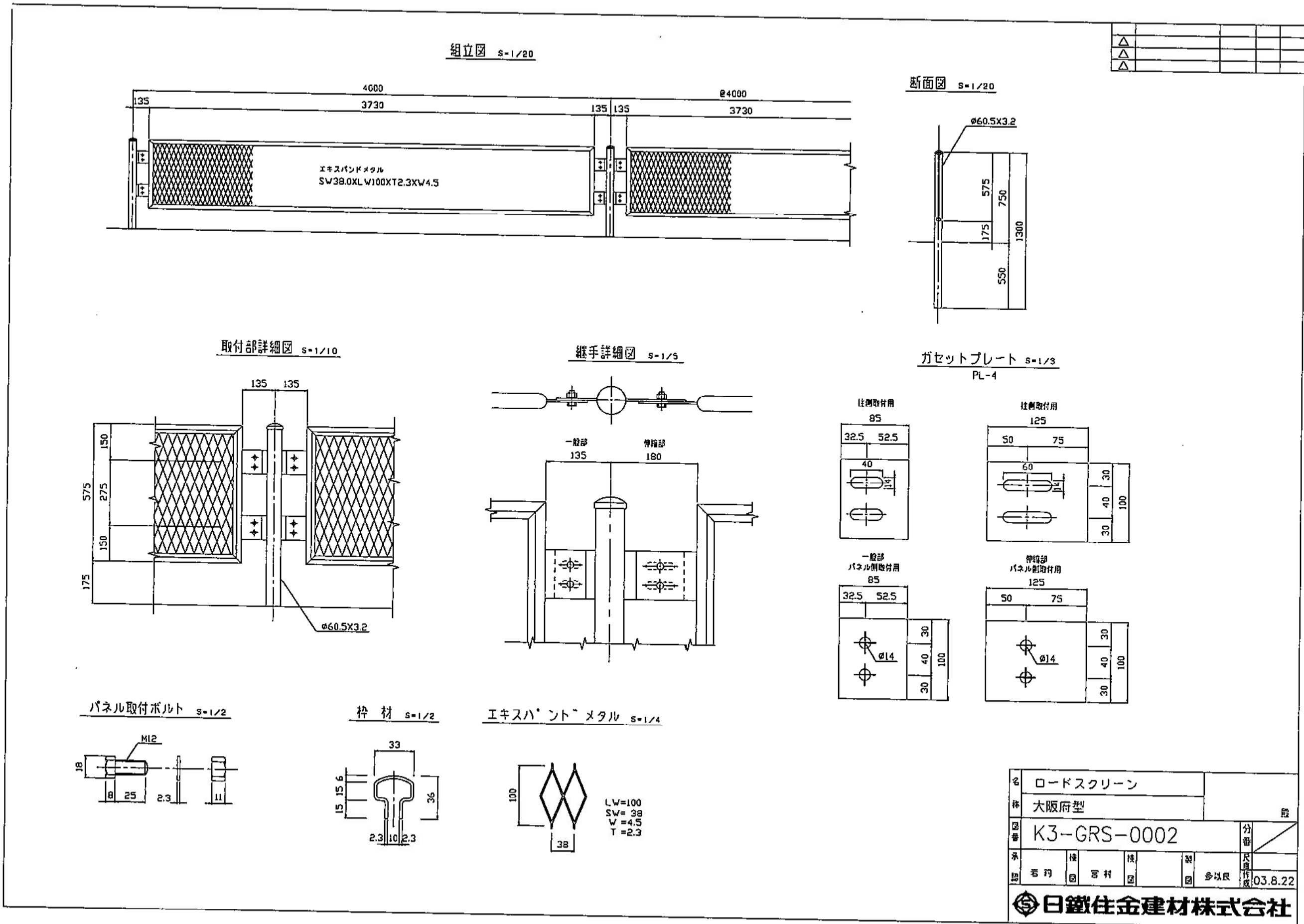
その他商品
ロードスクリーン

ロードスクリーン

施工例

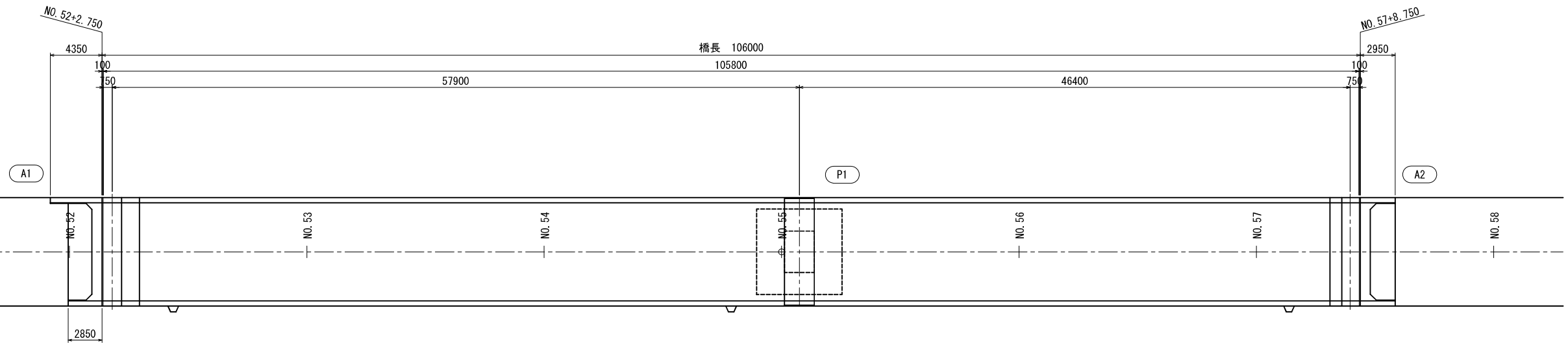
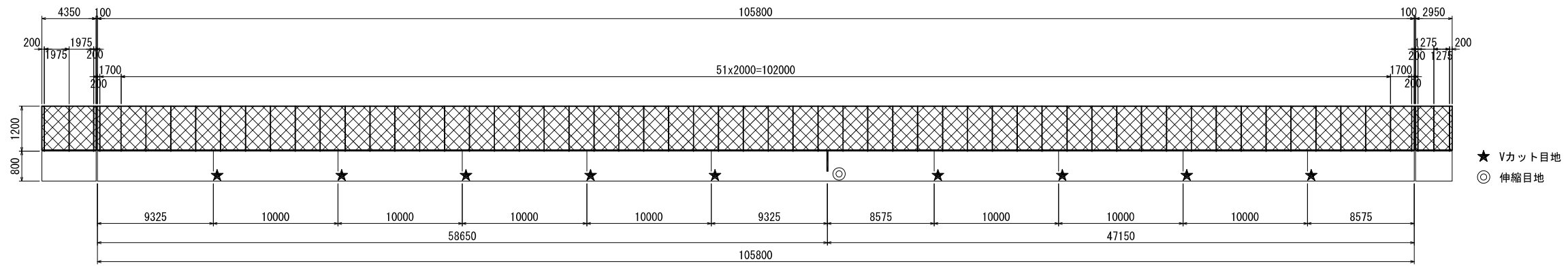


(参考図) 価格調査はH=850で行うこととしている。

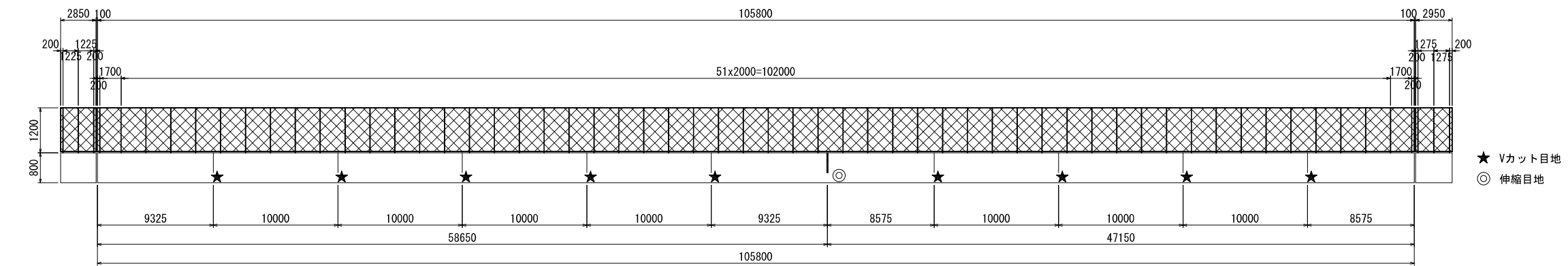


落下物防止柵詳細図(その1) S=1:200

左側壁高欄



右側壁高欄



上部工壁高欄

左側	支柱	本	54
	アンカーボルト(U型)	本	108
右側	支柱	本	54
	アンカーボルト(U型)	本	108

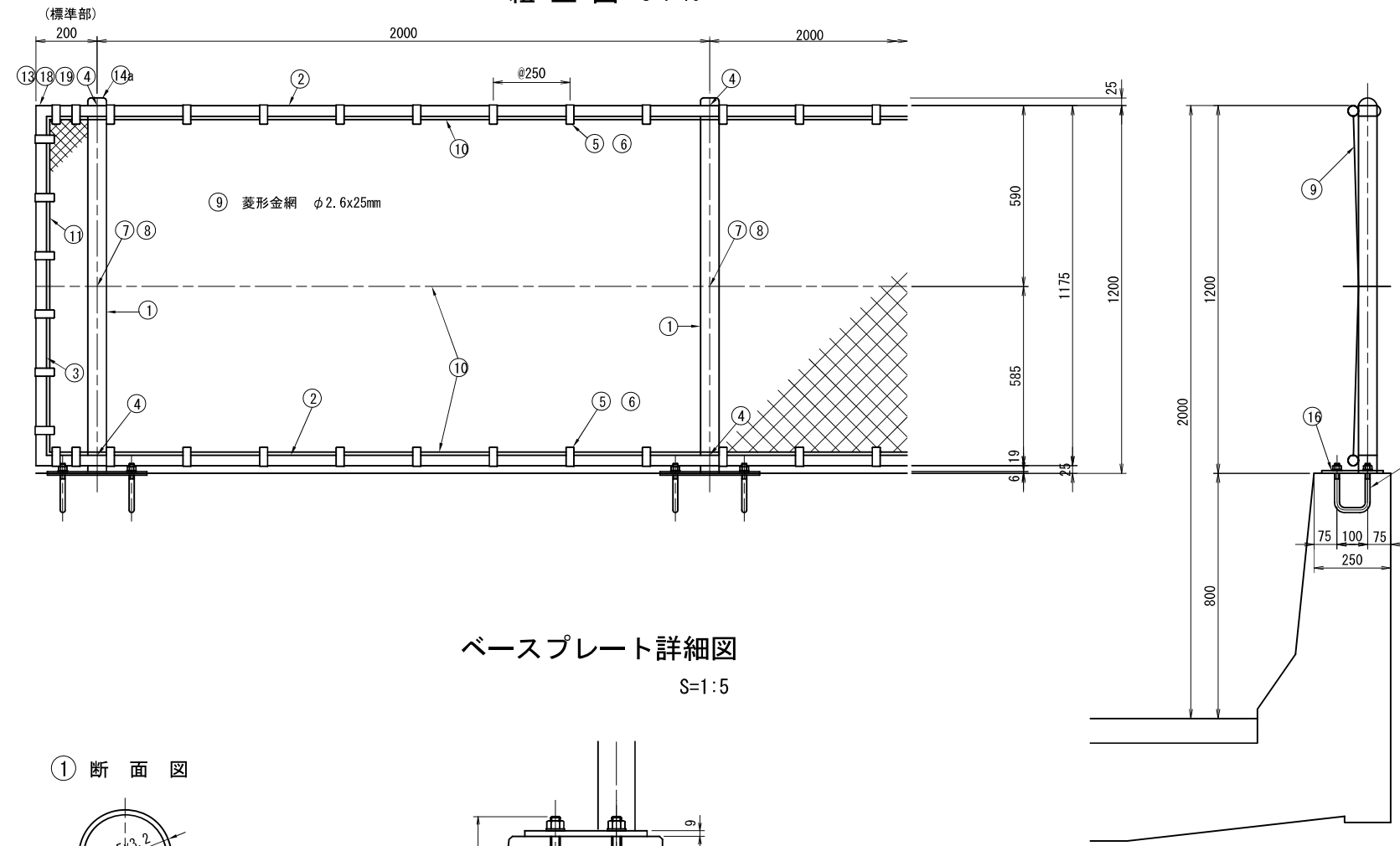
橋台壁高欄

左側	支柱	本	6
	アンカーボルト(U型)	本	12
右側	支柱	本	6
	アンカーボルト(U型)	本	12

平成 25 年度	図面番号	79	115
事業名	主要地方道伏見柳谷高欄線 高欄東道路 (成合工区) 仮称紅葉橋梁詳細設計委託		
路線名	(主) 伏見柳谷高欄線 (高欄東道路)		
工事名			
施工地名	高槻市紅葉町地内外		
図面名	落下物防止柵詳細図(その1) 縮尺 図示		
大阪府茨木土木事務所			

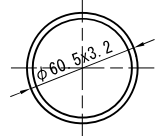
落下物防止柵詳細図(その2)

組立図 S=1:10

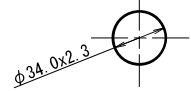


ベースプレート詳細図 S=1:5

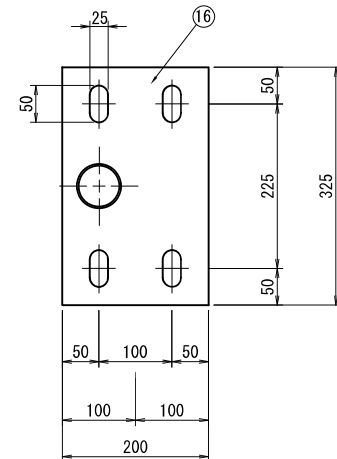
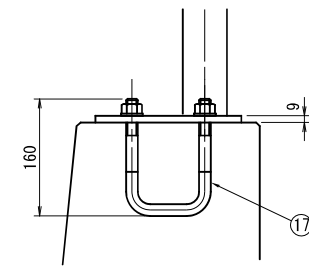
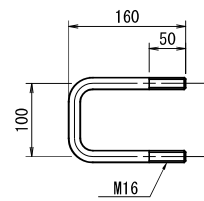
① 断面図



③ 断面図

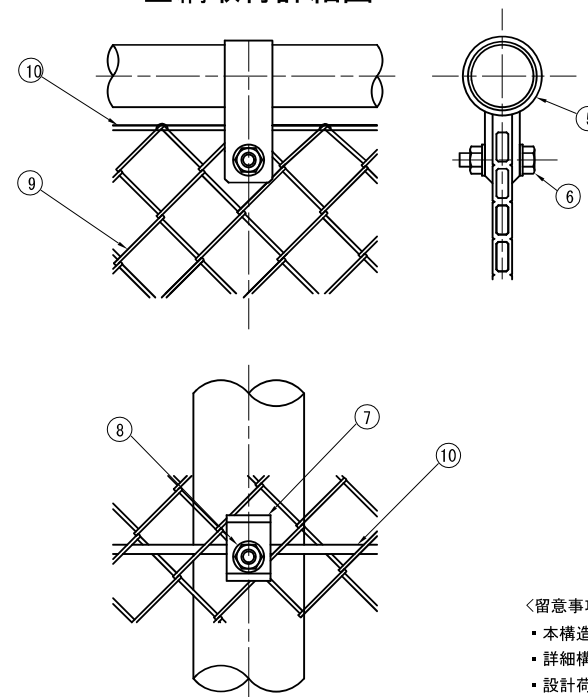


⑰ アンカーボルト(U型)



縦断勾配に対しては、ベースプレートで調整する

金網取付詳細図



交差道路用:G1タイプ

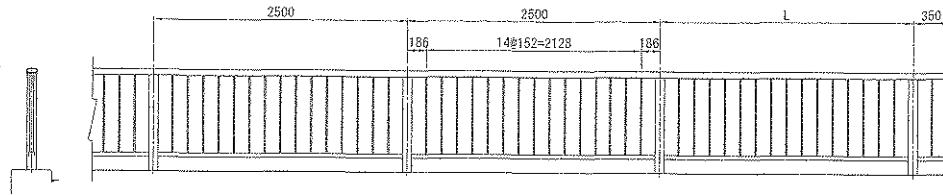
区分	番号	名称	規格	材質	外装	備考	
柵部	1	中間支柱	φ60.5x3.2	STK400	HDZ55	A-5.760cm ² Z-7.84cm ³	
	2	胴縁	φ34.0x2.3	"	"	A-2.291cm ² Z-1.70cm ³	
	4	胴縁取付Uボルト	M8	SUS304		W, SW付	
	5	金網取付バンド	t=2.3	SS400	HDZ35		
	6	ボルト、ナット	M8x30	SUS304		W2枚付	
	7	金網止め金具	t=2.3	SS400	HDZ35		
	8	ボルト、ナット	M8x90	SUS304		W2枚付	
	9	菱形金網	φ2.6x25mm	Z-GS7		垂鉛付着量 400g/m ² 以上	
	10	横力骨線	φ4.0	SWMGS-7		"	
	12	胴縁継手	φ27.2x2.3	STK400	HDZ35		
	13	ボルト、ナット	M8x50	SUS304		W2枚, SW付	
	14a	キャップ	t=2.3	SS400	HDZ55		
	16	ベースプレート	t=9	"	"		
	17	アンカーボルト(U型)	M16	4T	HDZ35	W付	
	羽根出し部	3	袖胴後	φ34.0x2.3	STK400	HDZ55	
		11	縦力骨線	φ5.0	SWMGS-7		垂鉛付着量 400g/m ² 以上
		18	胴縁継手取付金具	t=3.2 φ27.2x2.3	SS400	HDZ35	
19	ボルト、ナット	M10x30	SUS304		W2枚, SW付		

<留意事項>

- ・本構造詳細は国土交通省近畿地方整備局 土木工事標準設計図集に基づく。
- ・詳細構造変更の際は、G1タイプと同等品とすること。
- ・設計荷重は、風荷重3kN/m²を考慮。

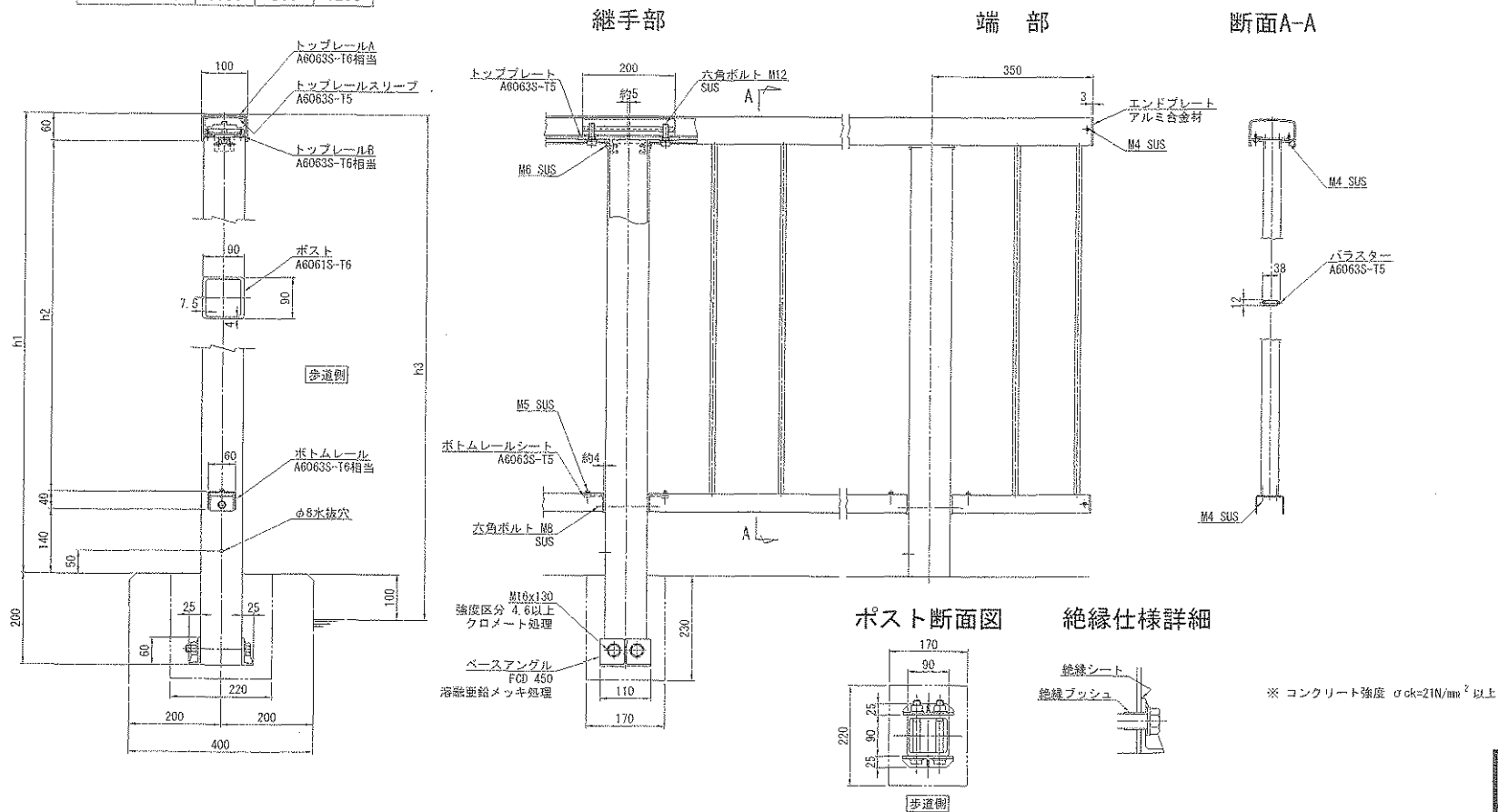
平成 25 年度	図面番号	80	115
事業名	主要地方道伏見柳谷高槻線 高槻東道路 (成合工区) 仮称紅葉橋梁詳細設計委託		
路線名	(主) 伏見柳谷高槻線 (高槻東道路)		
工事名			
施工地名	高槻市紅葉町地内外		
図面名	落下物防止柵詳細図(その2)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

姿 図



歩行者自転車用柵取付詳細図

製品番号	h1	h2	h3
KR-1031-10	1000	760	1100
KR-1031-11	1100	860	1200



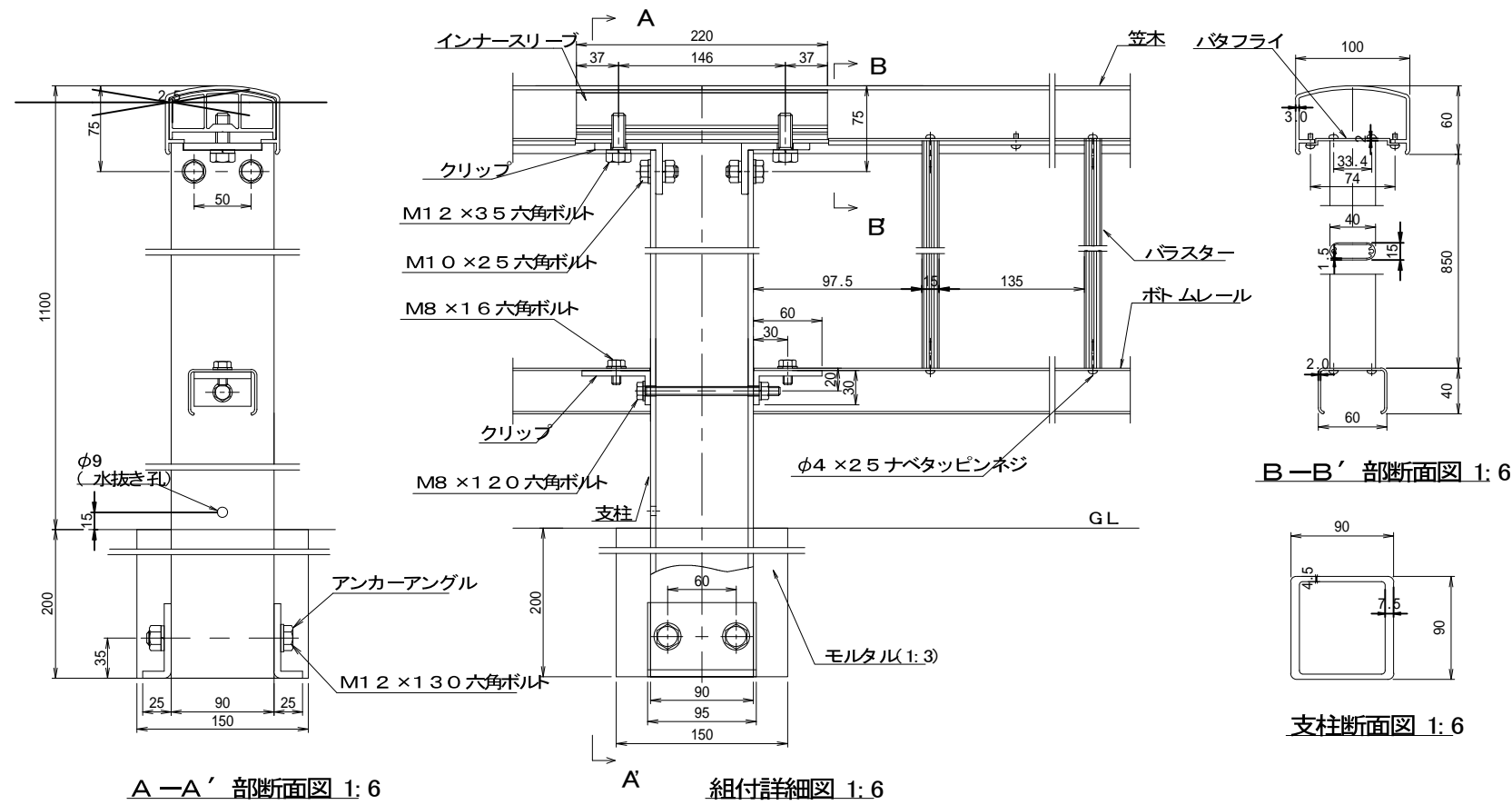
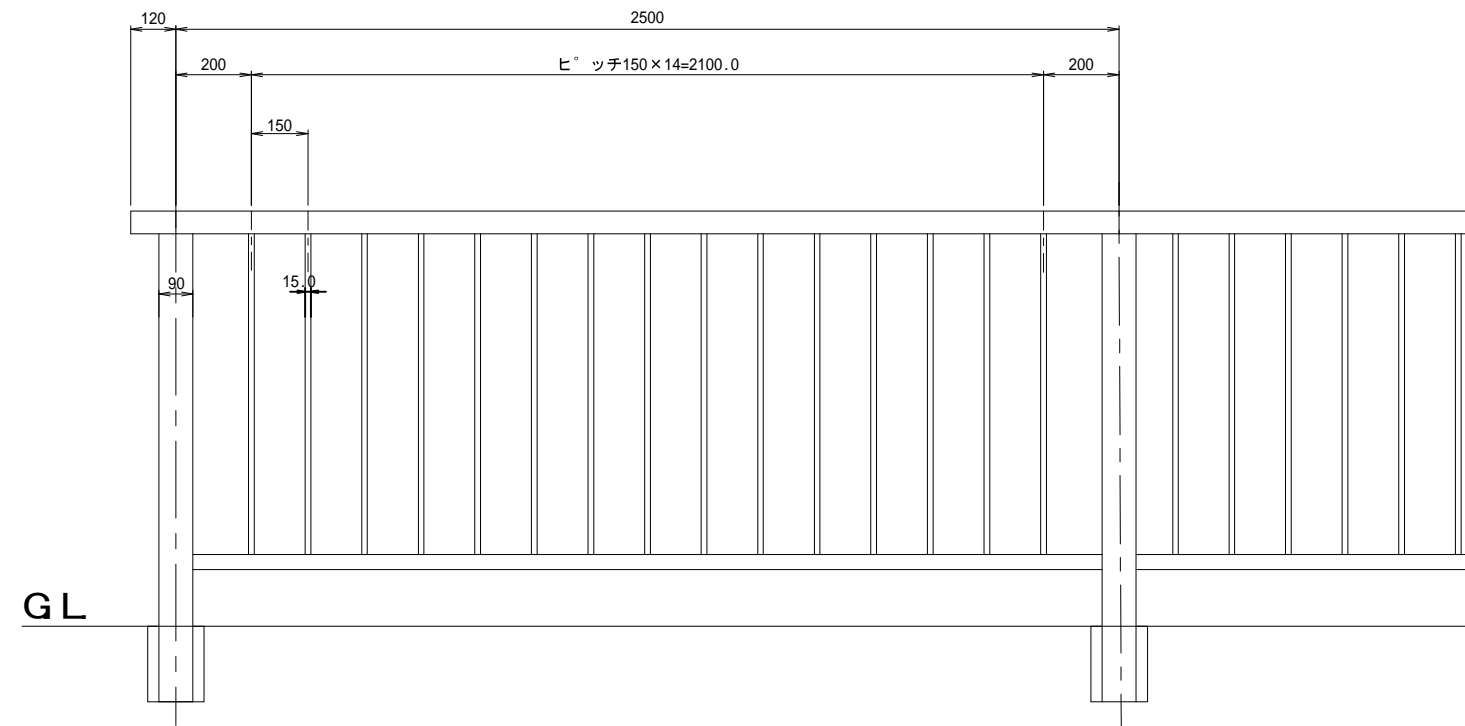
S. N. R. KR-1031-10

S. N. R. KR-1031-11

転落防止柵構造図

正面図

S=1:20



転落防止柵 (SP種) 埋込タイプ	
色	ダークラウン系 (7μm付塗装)
部材名	規格・材質
支柱	JIS H 4100 A6061S-T6
笠木	JIS H 4100 A6063S-T6
ボトムレール	JIS H 4100 A6063S-T6
バラスター	JIS H 4100 A6063S-T6
ハタフライ	JIS H 4100 A6063S-T6
インナーパイプ	JIS H 4100 A6063S-T6
アンカーアングル	JIS G 3101 SS400
クリップ	JIS H 4100 A6061S-T6
ボルト	JIS B 1180
ナット	JIS B 1122

(参考図)

年度	番号
路線	
河川名	
工事名	
工事場所	
図面名	
縮尺	図示